風総第３号　　令和６年８月

風間浦村
消防庁舎等建設工事

設　　計　　図

図面ﾘｽﾄ

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
建築工事						電気設備工事		機械設備工事	
特－1	特記仕様書（1）	A-50	防火水槽　基礎図	S-01	構造関係共通図(1)	E-01	電気設備　特記仕様書	M-01	機械設備　特記仕様書-1
特－2	特記仕様書（2）	A-51	防火水槽　構造図	S-02	構造関係共通図(2)	E-02	電気設備工事　特記仕様書（補足）	M-02	機械設備　特記仕様書-2
特－3	特記仕様書（3）	A-52	防火水槽　埋設図	S-03	構造関係共通図(3)	E-03	工事区分表	M-03	機械設備　特記仕様書-3
特－4	特記仕様書（4）	A-53	1階家具図ｷｰﾌﾟﾗﾝ	S-04	構造関係共通図(4)	E-04	幹線・動力岐設備　1階平面図	M-04	機械設備　配置図・桝ﾘｽﾄ
特－5	特記仕様書（5）	A-54	2階家具図ｷｰﾌﾟﾗﾝ	S-05	構造関係共通図(5)	E-05	照明灯・回転灯　参考姿図	M-05	衛生設備　衛生器具・機器表
特－6	特記仕様書（6）	A-55	家具詳細図-1	S-06	構造関係共通図(6)	E-06	ｵﾞｰﾘﾝｸﾞﾌｰｽ　参考施工例	M-06	衛生設備　1階平面図
特－7	特記仕様書（7）	A-56	家具詳細図-2	S-07	構造関係共通図(7)	E-07	照明器具　参考姿図	M-07	衛生設備　2階平面図
特－8	特記仕様書（8）	A-57	家具詳細図-3	S-08	構造関係共通図(8)	E-08	電灯分岐設備　1階平面図	M-08	衛生設備　RF階平面図
特－9	特記仕様書（9）	A-58	家具詳細図-4	S-09	認定露出柱脚工法設計施工標準(1)	E-09	電灯分岐設備　2階平面図	M-09	衛生設備　1階平面詳細図
		A-59	家具詳細図-5	S-10	認定露出柱脚工法設計施工標準(2)	E-10	電灯分岐設備　R階平面図	M-10	衛生設備　2階平面詳細図
		A-60	ﾎｰｽﾘﾌﾀｰFH120型　組立及び詳細図	S-11	ﾃﾞｯｷ合成ｽﾗﾌﾞ設計・施工標準仕様書	E-11	防災照明設備　1階平面図	M-11	衛生設備　RF階平面詳細図
A-01	仕上表1	A-61	ﾎｰｽﾘﾌﾀｰFH120型　鉄骨詳細図	S-12	ﾙｰﾌﾃﾞｯｷ設計・施工標準仕様書	E-12	防災照明設備　2階平面図	M-12	浄化槽設備-1
A-02	仕上表2	A-62	引揚救助降下板　組立及び詳細図	S-13	地質調査図	E-13	設備機器電源設備　1階平面図	M-13	浄化槽設備-2
A-03	敷地求積図	A-63	登はん訓練用ｱﾙﾐ梯子　組立及び詳細図	S-14	基礎伏図	E-14	設備機器電源設備　2階平面図	M-14	浄化槽設備-3
A-04	建物求積図、室別求積図、防火区画図	A-64	訓練設備雑詳細図	S-15	1階梁伏図	E-15	ｺﾝｾﾝﾄ設備　1階平面図	M-15	浄化槽設備-4
A-05	敷地案内図、建築概要、配置図			S-16	基礎ﾘｽﾄ(1)、ｽﾗﾌﾞﾘｽﾄ、雑配筋図	E-16	ｺﾝｾﾝﾄ設備　2階平面図	M-16	浄化槽設備-5
A-06	1階平面図			S-17	基礎ﾘｽﾄ(2)、地中梁ﾘｽﾄ、地中小梁ﾘｽﾄ	E-17	電灯分電盤　単線結線図	M-17	油送・消火設備　1階平面図
A-07	2階平面図			S-18	2階梁伏図	E-18	動力分電盤　単線結線図	M-18	油送・消火設備　2階平面図
A-08	屋根伏図			S-19	R階梁伏図	E-19	幹線・動力分岐設備　1階平面図	M-19	油送設備　ﾀﾝｸ姿図・機器表
A-09	立面図			S-20	軸組図(1)	E-20	幹線・動力分岐設備　2階平面図	M-20	空調設備　空調機器表-1
A-10	断面図	A-70	施設計画平面図	S-21	軸組図(2)	E-21	幹線・動力分岐設備　2階平面図	M-21	空調設備　空調機器表-2
A-11	矩計図.1	A-71	割付計画平面図	S-22	軸組図(3)	E-22	ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ系統配線図	M-22	空調設備　1階平面図
A-12	矩計図.2	A-72	造成計画平面図	S-23	鉄骨部材ﾘｽﾄ(1)	E-23	構内交換設備・構内情報通信網設備　1階平面図	M-23	空調設備　2階平面図
A-13	階段詳細図	A-73	排水計画平面図	S-24	鉄骨部材ﾘｽﾄ(2)	E-24	構内交換設備・構内情報通信網設備　2階平面図	M-24	空調設備　屋根伏せ図
A-14	屋外階段詳細図	A-74	柵・階段・土留計画平面図	S-25	鉄骨詳細図(1)	E-25	司令端末設備・気象観測設備　1階平面図	M-25	空調設備　換気機器表
A-15	1階平面詳細図	A-75	舗装面積算定図	S-26	鉄骨詳細図(2)	E-26	司令端末設備・気象観測設備　2階平面図	M-26	換気設備　1階平面図
A-16	2階平面詳細図	A-76	区画線計画平面図	S-27	鉄骨詳細図(3)	E-27	司令端末設備・気象観測設備　R階平面図	M-27	換気設備　2階平面図
A-17	1階展開図.1	A-77	植栽計画平面図	S-28	屋上空調機器置場構造図	E-28	誘導支援設備	M-28	機械設備　防災倉庫平面図
A-18	1階展開図.2	A-78	旧体撤去算定図	S-29	屋外階段構造図(1)	E-29	拡声設備　系統図	M-29	自動制御設備　計装図
A-19	1階展開図.3	A-79	A路線縦断図	S-30	屋外階段構造図(2)	E-30	拡声設備　機器参考姿図	M-30	自動制御設備　1階平面図
A-20	1階展開図.4	A-80	K路線縦断図	S-31	屋外階段構造図(3)	E-31	拡声設備　１階平面図	M-31	自動制御設備　2階平面図
A-21	1階展開図.5	A-81	A路線標準横断図			E-32	拡声設備　２階平面図	M-32	空調設備　屋根伏せ図
A-22	2階展開図.1	A-82	外構土工算定図	S-101	防災倉庫　地質調査図、基礎伏図、基礎ﾘｽﾄ	E-33	音響設備　平面図・機器参考姿図		
A-23	2階展開図.2	A-83	A路線横断図(1)	S-102	土台伏図、屋根伏図、部材ﾘｽﾄ、軸組図	E-34	監視カメラ機器姿図・テレビ系統図		
A-24	2階展開図.3	A-84	A路線横断図(2)	S-103	1階耐力壁配置図、鉄骨詳細図	E-35	監視カメラ設備・テレビ共同受信設備　１階平面図		
A-25	2階展開図.4	A-85	A路線横断図(3)			E-36	監視カメラ設備・テレビ共同受信設備　２階平面図		
A-26	1階建具伏図	A-86	D路線縦断図			E-37	【防災倉庫】　電灯設備　平面図		
A-27	2階建具伏図	A-87	D路線横断図(1)			E-38	【防災倉庫】　受変電設備　単線結線図・装柱図		
A-28	建具表.1	A-88	D路線横断図(2)			E-39	【防災倉庫】　受変電設備・発電機配置図・幹線設備・分電盤単結		
A-29	建具表.2	A-89	D路線横断図(3)			E-40	【防災倉庫】　発電機特記仕様書・参考姿図		
A-30	建具表.3	A-90	構造物詳細図						
A-31	1階天井伏図	A-91	自由勾配側溝展開図(その.2)						
A-32	2階天井伏図	A-92	集水桝詳細図						
A-33	雑詳細図.1	A-93	流末処理工						
A-34	雑詳細図.2	A-94	転落防止柵・車止め詳細図						
A-35	屋上有孔折板平面図・屋根伏図・立面図	A-95	防風柵詳細図						
A-36	屋上有孔折板詳細図	A-96	土留工詳細図						
A-37	屋上有孔折板部分詳細図	A-97	交差点詳細図						
A-38	屋上空調機基礎詳細図								
A-39	防災倉庫　平面図・屋根伏図・立面図・断面図・求積図								
A-40	防災倉庫　矩計図								
A-41	防災倉庫　平面詳細図、建具表								
A-42	防災倉庫　展開図								
A-43	OAﾌﾛｱ割付図								
A-44	ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ詳細図-1								
A-45	ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ詳細図-2								
A-46	ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾀﾞｰ詳細図-3								
A-47	移動間仕切詳細図								
A-48	ｻｲﾝｷｰﾌﾞﾗﾝ								
A-49	ｻｲﾝ詳細図								

風間浦村消防庁舎等建設工事　特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1. 工事場所　下北郡風間浦村大字易国間字古野
61-72, 61-73, 61-74, 61-75, 61-93の各一部, 61-77, 61-78, 61-79, 61-95, 61-111

2. 敷地面積　7,892.33㎡

3. 工事種目

(1) 消防庁舎　鉄骨造　２階建　新築　１棟
建築面積　649.92 ㎡
延べ面積　938.91 ㎡
１階　556.39 ㎡
２階　382.52㎡

(2) 防災倉庫　木造　平屋建　新築　１棟
建築面積　133.32 ㎡
延べ面積　133.32 ㎡

(3) 外構
①敷地造成工　新設　一式
②法面工　新設　一式
③擁壁工　新設　一式
④雨水排水設備工　新設　一式
⑤園路広場整備工　新設　一式
⑥管理施設整備工　新設　一式

(4) 電気設備（別図仕様書による）　一式

(5) 機械設備（別図仕様書による）　一式

4. 指定部分　・有　⊙無　対象部分（　　）
指定部分工期　　年　　月　　日

5. 工事範囲
※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち _____ の工事範囲は下記のとおりとする。

Ⅱ．建築工事仕様

(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版」（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書のうち、○を付けたものを適用する。

⊙建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という。）
・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の特記仕様書は（　／　）図、機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図による。

(3) 本特記仕様書の表記
1) 項目は、⊙ 印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ㊒ 印の付いた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の（　．　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
4) G 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和4年2月25日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 各章共通事項	⊙ 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速（Vo=　34 m/s） 地表面粗度区分　（・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ） ・積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表（　十四　）
	⊙ 環境への配慮	(1.4.1) 1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、 パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない雖揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	⊙ 材料の品質等	(1.4.2) 1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 x11, a0.25, sm1, q1, t0:床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既製調合モルタル(タイル工事用)、既製調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、錠前類、クローザー類、自動ドア機構、自閉式吊り引戸機構（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、 可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、煙突用成形、ライニング材、天井点検口、床点検口、グレーチング、トップライト、屋上緑化システム、ポリマーセメントモルタル、錆鉄製ふた
2 仮設工事	⊙ 足場等	(2.2.4) 「「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省　平成21年4月24日）の「（別紙）手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
3 土工事	⊙ 埋戻し及び盛土	(3.2.3) 材料及び工法 ※標準仕様書表3.2.1による 種別 ・A種　適用場所（　　） ⊙B種　適用場所（　全て　） ・C種　適用場所（　　）　土質（　　）　受渡場所（　　） ・D種　適用場所（　　） （品質　細粒分（75μm以下）の含有率（重量百分率）の上限を50%未満とする） ・材料（　　）　工法（　　）
4 ～ 7		特記仕様書（構造関係）による 4章　地業工事 5章　鉄筋工事 6章　コンクリート工事 7章　鉄骨工事

8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

・補強コンクリートブロック造

ブロックの種類等　(8.2.2、3、5、7、8)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓﾃﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	ﾓﾃﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
・				・無　・有		
・						

モルタルの調合（容積比）
※標準仕様書表8.2.1による
・セメント（　　）：砂（　　）
各部の配筋
※図示による　・
目地仕上げ
・押し目地仕上げ
・化粧目地仕上げ
まぐさを受ける開口部両側のブロックのモルタル又はコンクリートで充填する範囲
※図示による　・

・コンクリートブロック帳壁及び塀

ブロックの種類等　(8.3.2～4)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ(mm)	ﾓﾃﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 長さ	ﾓﾃﾞｭｰﾙ呼び寸法(mm) 高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
・				・無　・有		
・空洞ブロックC(16)				・無　・有		
・型枠状ブロック 20				・無　・有		

モルタルの調合（容積比）
※標準仕様書表8.2.1による
・セメント（　　）：砂（　　）
塀に用いるブロックの正味厚さ(mm)
塀の高さが2m以下　※120　・
2m超え　※150　・
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状
※図示による　・
各部の配筋
※図示による　・

・ALCパネル

ALCパネルの区分等　(8.4.2～5)

区分			単位荷重（N/m²）正荷重	単位荷重（N/m²）負荷重	厚さ(mm)	幅 及び長さ	耐火性能(時間)	構法の種別
・外壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠	・	・	・	図示による	・なし ・1	・A種 ・B種
・間仕切壁用	・一般 ・コーナー	・平 ・意匠	—	—	・	図示による	・なし ・1	・C種 ・D種 ・E種
・屋根用	—	—	・	・	・	図示による	・0.5	※F種
・床用	—	—	・	—	・	図示による	・1 ・2	

パネルの相互の接合部に挿入する耐火目地材
・
外壁、屋根パネルの構法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の耐風圧性能
外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
・図示による　・
目地幅(mm)
（パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部）
※10～20　・
外壁、間仕切壁パネルの伸縮目地への耐火目地材の充填
・適用する　・適用しない

⊙ 押出成形セメント板（ECP）

ECPの種類等　(8.5.2～5)

パネルの種類	形状	長さ(mm)	幅(mm)	工法の種別	備考
⊙外壁パネル	⊙F	・50 ⊙60 ・	※600 ・	・A種　⊙B種	
	・D	・50 ・60			
	・T	60			
・間仕切壁パネル	・F	・50 ・60 ・	※600 ・	・B種　・C種	
	・D	・50 ・60			
	・T	60			

注）F：フラットパネル、D：デザインパネル、T：タイルベースパネル

外壁パネルの工法における耐風圧性能
1章 適用区分による風圧力の（・1　⊙1.15　・1.3）倍の耐風圧性能
外壁パネル工法及び間仕切りパネル工法における耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
・図示による　・
パネル相互の目地幅(mm)
・長辺（　　）　短辺（　　）
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm)
※15程度　・
耐火構造以外の目地及び隙間の処理
※パネルの製造所の仕様　・
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した資料を提出する

		孔あけ及び欠き込みの大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに孔あけを設ける場合	短辺	パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下	150mm以下
	長辺	500mm以下	300mm以下
パネルに欠き込みを設ける場合	短辺	パネル幅の1/2以下、かつ、300mm以下	300mm以下
	長辺	500mm以下	300mm以下

9 防水工事

⊙ アスファルト防水

屋根保護防水　(9.2.2～5)(表 9.2.3～9)
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート
・A-1			※ｶﾞﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚さ0.15mm以上又はﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ70g/㎡程度 ・
⊙A-2	屋根2・3平場		
・A-3			
・B-1			
・B-2			
・AI-1		(種類) ※JIS A 9521に基づく押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝフォーム断熱材3種bA（ｽｷﾝ層付き） (厚さ)(mm) ・ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝt50	※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 70g/㎡程度 ・
⊙AI-2	屋根2・3立上り		
・AI-3			
・BI-1			
・BI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.3及び表9.2.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.5及び表9.2.6による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
立上り部への断熱材及び絶縁用シート
※設置しない　・設置する
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※水下　80mm以上
床タイル張り　※水下　60mm以上
立上り部の保護工法
・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
窯業系パネルⅠ類　厚さ（　　）mm　幅（　　）mm
・れんが押え（※JIS R 1250　・　　）
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）

屋根露出防水
防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 G
・D-1			・ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類の製造所の仕様 ・	・適用する
・D-2					・適用する
・DI-1		標準仕様書9.2.2(9) (種類) ・ (厚さ)(mm) ・			・適用する
・DI-2					・適用する

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.2.7及び表9.2.8による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部開辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・（　　）個

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E-1		・E-2	

保護層
・設ける（※図示による　・　　）
・設けない
E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位
・

防水層の下地の立上り
※コンクリート打放し仕上げ　標準仕様書表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度
・
防水層の下地のモルタル塗り
・適用する（施工範囲　※図示による　・　　）
・適用しない
屋上排水溝
※図示による　・

DRAWING	特記仕様書（１）	SCALE	A1：NON　A3：NON
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	特-01

・改質アスファルトシート防水

屋根露出防水　(9.3.2、3)(表 9.3.1〜3)

防水層の種別

種別	施工箇所	断熱材 G	防湿用シート	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 G
・AS-T1				・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様	※改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様	・適用する
・AS-T2						・適用する
・AS-T3						・適用する
・AS-T4						・適用する
・AS-J1				・	・	・適用する
・AS1-T1		標準仕様書9.3.2(3)(ｳ)(種類)・(厚さ)(mm)・	・設ける(改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄの製造所の仕様)・設けない			・適用する
・AS1-J1						・適用する

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.1から表9.3.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.3.2及び表9.3.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L−30×15×2.0mm程度
・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・（　　）個

・合成高分子系ルーフィングシート防水

防水層の種別　(9.4.2〜4)(表9.4.1〜3)

種別	施工箇所	可塑剤移行防止ｼｰﾄの材質	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水 G
・S-F1				・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	・適用する
・S-F2						・適用する
・S-M1				・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	・適用する
・S-M2						・適用する
・SI-F1			標準仕様書9.4.2(3)(ｴ)(b)(種類)・(厚さ)(mm)・	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	・適用する
・SI-F2						・適用する
・SI-M1			標準仕様書9.4.2(3)(ｴ)(a)(種類)・(厚さ)(mm)・	・ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	※ﾙｰﾌｨﾝｸﾞｼｰﾄの製造所の仕様・	・適用する
・SI-M2		※発泡ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰﾄ・				・適用する

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様
・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・設置する　・設置しない

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	保護層 平場の保護モルタル塗厚	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・S-C1		・	※7mm以下・

平場のモルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類
目地割
※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度
・
目地の種類
※押し目地　・

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※標準仕様書表9.4.1から表9.4.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類　・
厚さ　・（　　）mm以上

固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・（　　）個
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示による　・　　）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・行う（・図示による　・　　）
・行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の（・1　・　　）倍の風圧力に対応した工法

・塗膜防水

防水層の種別　(9.5.3)(表 9.5.1、2)

種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	保護層	高日射反射率防水 G
・X-1		・主材料の製造所の仕様・	※主材料の製造所の仕様・		・適用する
・X-2		・主材料の製造所の仕様・	※主材料の製造所の仕様・		・適用する
・Y-1	※地下外壁防水・				
・Y-2	※屋内防水・			・適用する・適用しない	

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※主材料の製造所の仕様
・
設置数量
※主材料の製造所の仕様
・（　　）個

・ケイ酸質系塗布防水

防水層の種別　(9.6.4)(表9.6.1)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・C-SUI		・C-SUP	

防水層の下地
壁
※コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4　B種）
・
天井部
※コンクリート打放し仕上げ（表6.2.4　B種）
・
下地処理
コンクリートの打継ぎ箇所の処理
※打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる。目地棒の除去後、水洗い清掃し、ケイ酸質系塗布防水材の製造所の仕様により、ポリマーセメントモルタルを充填する。
・図示による
・
標準仕様書9.6.4(2)の(ｲ)、(ﾛ)　以外の下地処理
・図示による　・

・シーリング

下表以外は、標準仕様書表 9.7.1による。　(9.7.2、3、5)(表 9.7.1)
ただし、外壁タイル接着剤張り目地の場合のシーリングは11章に、カーテンウォール目地の場合のシーリングは17章による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

仕上げを行わない施工箇所（・図示による　・　　）
シーリング材の目地寸法
※標準仕様書9.7.3(1)(ｱ)〜(ｳ)による
・図示による
・
接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

10 石工事

・施工

石材の割付け　(10.1.3)
※図示による　・

・石材等

天然石　(10.2.1、3)(表 10.2.1、2)

施工箇所	岩石の種類	形状及び寸法(mm)	厚さ(mm)	表面仕上げの種類	備考
・男子トイレ	御影石	・図示による			

ジェットバーナー仕上げのバフ仕上げの有無
・あり　・なし

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状による区分	仕上げ面による区分	寸法(mm)	表面仕上げの種類	備考
	※大理石・花こう岩	※1.5〜12・	・平もの・役もの	・片面・両面			

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げの種類	備考
	※大理石・花こう岩	※1.5〜12・	・300型・400型		

その他の材料
取付け用モルタル
※専門工事業者の指定する製品
・
既調合の目地モルタル
※専門工事業者の指定する製品
・
浸透性吸水防水剤
※専門工事業者の指定する製品
・
石裏面処理材
※専門工事業者の指定する製品
・
裏打ち処理材
※専門工事業者の指定する製品
・
ドレンパイプの材質
・樹脂ネット製パイプ　クロスメッシュ巻き　25〜35φ
・
金物の固定に使用する充填材料等
※専門工事業者の指定する製品
・

・外壁湿式工法

受金物　(10.2.2、3)(10.3.2、3)
材質
※SUS304　・
形状及び寸法
・L−75×75×6(mm)の加工　長さ100mm又は150mm
・
アンカーの材質及び寸法
材質
※SS400　・
寸法
・
あと施工アンカーの材質、寸法等
種類　・
材質　・
寸法　・
ドレンパイプ
・設ける(設置位置：図示による)
・設けない
石裏面処理
・適用する　・適用しない
裏打ち処理
・適用する　・適用しない
下地ごしらえ
※あと施工アンカー・横筋流し工法
・あと施工アンカー工法
・流し筋工法
目地
一般目地
・目地モルタル　(目地幅　・　　)
・既調合の目地モルタル　(目地幅　・　　)
※シーリング材　(種類　※標準仕様書表9.7.1による　・　　)
(目地幅及び深さ　・　　)
伸縮調整目地
位置
・図示による
シーリング材の種類
※標準仕様書表9.7.1による
・
目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

・内壁空積工法

受金物　(10.2.2)(10.4.2、3)
材質
※SUS304　・
形状及び寸法
・L−75×75×6(mm)の加工　長さ100mm又は150mm
・
あと施工アンカーの材質、寸法等
種類　・
材質　・
寸法　・
石裏面処理
・適用する　・適用しない
裏打ち処理
・適用する　・適用しない
下地ごしらえ
※あと施工アンカー・横筋流し工法
・あと施工アンカー工法
一般目地
・目地モルタル　(目地幅　・　　)
・既調合の目地モルタル　(目地幅　・　　)
・シーリング材　(種類　※標準仕様書表9.7.1による　・　　)
(目地幅及び深さ　・　　)
伸縮調整目地
位置
・6m程度
・
シーリング材の種類
※標準仕様書表9.7.1による
・
目地寸法
・図示による

・外壁乾式工法

乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等　(10.2.2)(10.5.2、3)(表10.2.4)
※標準仕様書表10.2.4による
(方式：・スライド方式　・ロッキング方式)
・図示による
あと施工アンカーの材質、寸法等
種類　・
材質　・
寸法　・
だ圧用の穴の位置
※標準仕様書10.5.2(2)(ｱ)による
・図示による
裏打ち処理
・適用する　・適用しない
建築基準法に基づく風圧力に対応した工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
シーリング材
種類
※標準仕様書9.7.1による
・
目地幅及び深さ
・

・床及び階段の石張り

浸透性吸収防水材　(10.6.2、3)
(床石張り)・適用する　・適用しない
石裏面処理
(床石張り)・適用する　・適用しない
(階段張り)・適用する　・適用しない
裏打ち処理
(床石張り)・適用する　・適用しない
一般目地
・目地モルタル　(目地幅　・　　)
・既調合の目地モルタル　(目地幅　・　　)
・シーリング材　(種類　※標準仕様書表9.7.1による　・　　)
(目地幅及び深さ　・　　)
伸縮調整目地
位置
※標準仕様書10.6.2(5)(a)による
・図示による
シーリング材の種類
※標準仕様書表9.7.1による
・
目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示による

・笠木、甲板等の石張り

取付け工法　(10.2.2)(10.7.2)
・湿式工法
・乾式工法
特殊部位用金物
材質
※SUS304　・
寸法等
引金物
※標準仕様書表10.2.3による
・
だぼ
※標準仕様書表10.2.3による
・
かすがい
※標準仕様書表10.2.3による
・
受金物
※標準仕様書10.2.2(1)(ｲ)による
・
乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等
ファスナー
※標準仕様書表10.2.4に準ずる
(方式：・スライド方式　・ロッキング方式)
・図示による
あと施工アンカーの材質、寸法
種類　・
材質　・
寸法　・
石裏面処理
・適用する　・適用しない
乾式工法の場合の取付け代
※70mm程度　・
石材の裏面の補強用モルタル
・適用する　・適用しない
一般目地
・目地モルタル　(目地幅　・　　)
・既調合の目地モルタル　(目地幅　・　　)
・シーリング材　(種類　※標準仕様書表9.7.1による　・　　)
(目地幅及び深さ　・　　)
伸縮調整目地
位置
※標準仕様書10.6.2(5)(a)による
・図示による
シーリング材の種類
※標準仕様書表9.7.1による
・
目地寸法
・図示による

DRAWING	特記仕様書（2）
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事
SCALE	A1：NON　A3：NON
DATE	2024.03
DRAWING No.	特-02

アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男

11 タイル工事

・伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

位置 (11.1.3)(表11.1.1)
※標準仕様書表11.1.1による
・図示による
目地寸法
・図示による

・見本焼き
試験施工

見本焼き (11.1.4)
・行う(施工箇所:) ・行わない
試験張り
・行う(範囲、仕様等は図示による) ・行わない

・セメントモルタルによるタイル張り

タイルの形状、寸法等 (11.2.2、6)

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用G	吸水率による区分 I類	II類	III類	施ゆ	施わ	ずり ゆ	ずり わ有	ずり 無	色 標準	色 特注	耐凍害性 有	耐凍害性 無	耐滑り性
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

備考欄:参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。

既調合モルタル(品質・性能、試験方法は別表による)
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

既調合目地材(品質・性能、試験方法は別表による)

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
※目荒し工法(高圧水洗処理)
・MCR工法
・
壁タイル張りの工法
内外装タイル
・密着張り
・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル
・マスク張り
・モザイクタイル張り

・有機系接着剤によるタイル張り

タイルの形状、寸法等 (11.3.2~5)

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用G	吸水率による区分 I類	II類	III類	施ゆ	施わ	ずり ゆ	ずり わ有	ずり 無	色 標準	色 特注	耐凍害性 有	耐凍害性 無	耐滑り性
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

備考欄:参照タイルシリーズ

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
目地のシーリング材
打継ぎ目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
ひび割れ誘発目地
※ポリウレタン系シーリング材
・
伸縮調整目地及びその他の目地
※変成シリコーン系シーリング材
・
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
※目荒し工法(高圧水洗処理)
・MCR工法
・
外装タイルの目地詰め
・行う ・行わない

12 木工事

・施工一般

材料のホルムアルデヒド放散量 (12.2.1)
※F☆☆☆☆又は標準仕様書12.2.1(1)(ｲ)(b)による
・

・製材G

(12.2.1)(12.4.1)(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)

・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
図示		※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・
		※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・
		※2級 ・	※A種 ・B種 ・		・

・造作用単板積層材G

・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 (12.2.1)

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・
				・適用する ・適用しない	・
				・適用する ・適用しない	・

・JAS 0701 以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・

・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面		※上小節 ・	※A種 ・B種 ・		・
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種 ・B種 ・		・
			※A種 ・B種 ・		・

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種 ・		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種 ・		・
		※1等 ・	※10%以下 ・A種 ・B種 ・		・

・JAS 1083(製材)以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・
		( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・
		( ) 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・	・

・造作用集成材G

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 (12.2.1)

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
窓枠		ﾔﾋ			※1等 ・2等	・
					※1等 ・2等	・
					※1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	材種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板: 芯材:				※1等 ・2等	・
		化粧薄板: 芯材:				※1等 ・2等	・
		化粧薄板: 芯材:				※1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
図示				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・
				※15%以下 ・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下 ・	・
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下 ・	・
	化粧薄板: 芯材:				※15%以下 ・	・

・合板等

・JAS 3079 に基づく直交集成板G

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種名	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・
							・
							・

・「合板の日本農林規格」による普通合板G (12.2.1)

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
図示	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・
						・
						・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板G

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
図示	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない	・適用する( ) ・適用しない	・
								・
								・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・1類 ・特類	・適用する ・適用しない	・
					・
					・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板G

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボードG

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法(mm)

・MDF G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

・接合具等

造作材の化粧面の釘打ち (12.2.2)
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
(標準仕様書表12.2.3~5に示す程度の市販品 表14.2.2のF種程度)
・ (形状: 寸法: 材質:)

・接着剤

接着剤のホルムアルデヒドの放散量 (12.2.2、3)
※F☆☆☆☆ ・

・防腐・防蟻処理

・防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 (12.3.1、2)
適用部位:( )

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品
	・	
	・	

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部位( )
・合板等の加圧注入処理の適用
適用部位( )

・内部間仕切軸組及び床組み

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) (12.4.1)
※杉又は松 ・
・床組みに用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)
※杉又は松 ・

・窓、出入口その他

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) (12.5.1)
・吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
・ﾔﾋ

・床板張り

・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) (12.6.1)
※ひのき ・

・壁及び天井下地

・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) (12.7.1)
※杉又は松 ・

13 屋根及びとい工事

・長尺金属板葺

(13.2.2、3)

施工箇所	板及びﾌｨﾙﾑの種類	塗膜の耐久性の種類、めっき付着量	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
図示	※JIS G 3322 のxsm1,19: 屋根用 (着色 ・有)	・5類(AZ150) ・	xsm1,19:・0.4 ・0.5 ・	・心木なし瓦棒葺 ⊙立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺 ・	

下葺材料
⊙アスファルトルーフィング 940
・ 改質アスファルトルーフィング下葺材
(・一般タイプ ・複層基材タイプ ・粘着層付タイプ)
横葺きの場合のけらば納め
・つかみ込み納め ・けらば包み納め
工法
1章 適用区分による風圧力の (⊙1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法
雪止め
⊙設置する (形状及び施工箇所 ・図示による ・)
・設置しない

・折板葺

(13.2.2)(13.3.2.)(表 13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ﾋﾟｯﾁによる区分 山高	山ﾋﾟｯﾁ	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先 面戸板	耐火性能
屋外階段	・重ね形 ⊙はぜ締め形 ・かな合形	150	500	( )種	※鋼板製 ・ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製	0.8	・有り ⊙無し	⊙30分 ・無し
	・			・	・			

材料
折板の材質の種類(※JIS G 3302の屋根用(着色 ・有) ・)
塗膜の耐久性の種類、めっき付着量(・5類(AZ150) ・)
断熱材張り
・行う (断熱材の種別: 厚さ(mm): 防火性能:)
⊙行わない
工法
1章 適用区分による風圧力の(・1 ⊙1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法
耐雪性能に対応した工法の適用
⊙適用する ・適用しない
折板のけらば納め
※けらば包みによる方法
雪止め
⊙設置する (形状及び施工箇所 ・図示による ・)
・設置しない

・粘土瓦葺

(13.4.2、3)

施工箇所	種類 製法による区分	種類 形状による区分	種類 寸法による区分	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦
						・適用する ・適用しない
						・適用する ・適用しない

桟瓦の防災瓦の使用 ・適用する ・適用しない
JISA5208に基づく凍害試験等
・行う ・行わない

DRAWING	特記仕様書(3)	SCALE	A1:NON A3:NON
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No.	特-03

瓦桟木
材質
※杉　・
寸法
※幅21×高さ15(㎜)以上
・
棟補強用心材
材質
※杉　・
寸法
※幅40×高さ30(㎜)
・
瓦緊結用釘及びねじ
種類（　　）　径（　　）　長さ（　　）
棟補強等に使用する金物等
材質
・ステンレス製
・溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製
形状、寸法及び留付け方法
※図示による　・
工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法
風圧力又は地震力に対応した瓦の緊結方法等
※図示による　・
瓦桟木の留付け工法
※図示による　・
棟の工法
・7寸丸伏せ棟又はF形用冠瓦伏せ棟
・のし積み棟
・
面戸、雀口、葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
・モルタル　・瓦葺き用しっくい

⊙ とい

といその他の材種　(13.5.2、3)(表 13.5.4)
・配管用鋼管
・硬質ポリ塩化ビニル管
⊙ルーフドレン
・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類　・　　）
・
とい受金物
材種
※標準仕様書表13.5.2による （溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品（とい径 100 以下）
・25×4.5(㎜)以上（とい径 100 を超えるもの）
・
取付け間隔
※標準仕様書表13.5.2による
・
足金物
材種
※標準仕様書表13.5.2による （溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品　・
取付け間隔
※標準仕様書表13.5.2による
・
多雪地域
⊙適用する　・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
鋼管製といの防露巻き
※標準仕様書表13.5.4による
・
ルーフドレンの種類及び呼び

種別		呼び	施工箇所
⊙ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　⊙100 ・125　・150	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　・100 ・125　・150	
・バルコニー中継用	・ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	
・バルコニー用	・ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	

14 金属工事

⊙ アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

(14.2.1)(表 14.2.1)

種類	色合い等	施工箇所（成形板、笠木、建具以外）
・AB-1種		
・AB-2種	・標準色 ・特注色	
・AC-1種		
・AC-2種	・標準色 ・特注色	
・BA-1種		
・BA-2種	・標準色 ・特注色	
⊙BB-1種		笠木
・BB-2種	・標準色 ・特注色	
・BC-1種		
・BC-2種	・標準色 ・特注色	
・C種	・標準色 ・特注色	

陽極酸化皮膜の着色方法
※二次電解着色
・三次電解着色

⊙ 鉄鋼の亜鉛めっき

(14.2.2)(表 14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所（手すり、タラップ以外）
⊙ 溶融亜鉛めっき	・A種	
	⊙B種	屋外階段
	・C種	
・ 電気亜鉛めっき	・D種 ・E種 ・F種	

⊙ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　(14.4.2～4)(表14.4.1)
屋外
※25形　・19形
屋内
※19形　・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びインサートの間隔　・図示による　・
周辺部の端からの間隔　・図示による　・
野縁の間隔　・図示による　・
・つりボルトの間隔が900㎜を超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）
・天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法　※図示による　・　　）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所　・図示による　・　　）
（補強方法　※図示による　・　　）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。
屋外の軒天井、ピロティ天井の工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⊙ 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナの種類　(14.5.3、4)(表 14.5.1)
※標準仕様書表14.5.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
⊙図示による
・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※標準仕様書14.5.4.(5)による
・

・ 金属成形板張り

(14.6.2、3)(表 14.2.1)

種別	製法	形状	板幅(㎜)	板厚(㎜)	表面処理 種別	表面処理 色合い等
・アルミニウム	・押出し ・ロール ・プレス ・	ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ形 パネル形				

取付け用下地
※標準仕様書14.4による
・図示による
伸縮調整継手
・設ける
（施工箇所　・図示による　・　　）
・設けない
屋外の軒天井、ピロティ天井の工法
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⊙ アルミニウム製笠木

種類　(14.7.2、3)(表 14.2.1)(表 14.7.1)
・250形　・300形　・350形　⊙図示
表面処理
種別（　　）種
色合等　・標準色（　　）　・特注色（　　）
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

15 左官工事

⊙ モルタル塗り

モルタル　(15.3.2、5)
⊙現場調合材料
・既調合材料
既製目地材
・設ける
施工箇所（　　）　形状（※図示による　・　　）
・設けない
床の目地
・設ける
目地割り
※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）
・
目地の種類
※押し目地
・
・設けない
屋外のタイル張り下地及び屋内の吹抜け部分等のタイル張りの下地モルタル塗り及び
下地調整塗材塗りの接着力試験
・適用する　⊙適用しない
防水剤（品質・性能、試験方法は別表による）

⊙ ラス系下地

ラス系下地　(15.2.4)
・二層下地通気構法
・単層下地通気構法
換気口部の措置　（※公共木造建築工事標準仕様書11.4.3.(2)(ｲ)　・　　）
⊙直張りラスモルタル下地
・直張りラスシートモルタル下地

ラスの材料
種類及び記号　（　　）
単位面積当たりの質量（　　）
ラスシートの材料
ラス目による区分（※M　・　　）
山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分
（・LS4(建築基準法に基づく耐力壁)　・　　）
ステープルの形状及び寸法（　　）
直張りラスシートモルタル下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスシートの施工

⊙ せっこうボード
その他のボード下地

せっこうボード及びせっこうラスボードの種類及び厚さ　(15.2.5)
種類（⊙GB-R　・GB-L　・　　）　厚さ（ 12.5 ㎜）
木質系セメント板の種類及び厚さ
種類（・　　）　厚さ（　　㎜）

・ こまい下地

建築基準法に基づく耐力壁の指定（・あり　・なし）　(15.2.6)

・ 木ずり下地

木ずり用小幅板の種類（※すぎ(心去り材)　・　　）　(15.2.7)

・ 仕上塗材仕上げ

内装仕上げに用いる塗材のホルムアルデヒド放散量　(15.6.2)
※F☆☆☆☆
・
仕上塗材の種類
・薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
・外装薄塗材Si	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り		
・可とう形外装塗材Si	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り		
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
	・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り		
・可とう形外装塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・適用する	・
	・凹凸状	・吹付け		
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け	・適用する	・
・内装薄塗材C ・内装薄塗材L	・凹凸状	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
・内装薄塗材Si ・内装薄塗材E	・砂壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り		
・内装薄塗材W	・京壁状じゅらく ・ゆず肌状	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り		

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り			
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り			
・内装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り			
・内装厚塗材L	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	・適用する	・
・内装厚塗材G	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り	・適用する	・適用する	・

・ マスチック塗材塗り

種別　(15.7.2)
・A種　・B種

⊙ ロックウール吹付け

ロックウールのホルムアルデヒド放散量　(15.12.2、3)
※F☆☆☆☆
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
仕上げ吹付け厚さ
・図示による
・25㎜
・

・ しっくい塗り

しっくい　(15.10.2～4)
・既調合材料
色しっくい　・適用する　・適用しない
・現場調合材料
下地
・せっこうボード　・せっこうラスボード　・モルタル塗り　・木ずり
・こまい　・下塗りをせっこうプラスターとし上塗りに使用する場合
・
既調合しっくいの調合
・せっこうボード下地　※標準仕様書表15.10.1　・
・モルタル塗り下地　※標準仕様書表15.10.2　・
・せっこうラスボード下地　※製造所の仕様による　・
現場調合しっくいの調合及び各層の塗厚
・木ずり下地　※標準仕様書表15.10.3　・
・せっこうプラスター下地、こまい下地　※標準仕様書表15.10.4　・
既調合しっくいの上塗り仕上げ工法
・なで切り仕上　・パターン仕上げ

・ こまい壁塗り

のり　(15.11.2～5、7、8)
・土壁用ののり
※つのまた
・ふのり
・ぎんなんそう
・粉末海藻
・
・砂壁用ののり
※ふのり
・つのまた
・こんにゃくのり
・にかわ
・合成高分子系混和剤
・
色土
・土物仕上げに用いる色土の種類（　　）
・大津仕上げに用いる色土の種類（　　）
色砂の種類
・天然砂と岩石の砕砂
・人工的に着色・製造したもの
下塗りの調合
※標準仕様書表15.11.2
・
塗厚
※標準仕様書表15.11.8による
・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合（　　）
・
こまい壁の工程
※A種　・B種

・内装厚塗材Si ・内装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り			

・ 複層仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材Si ・複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			
・防水形複層塗材CE ・防水型複層塗材RE ・防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・	・耐候形1種 ・耐候形2種 ・耐候形3種	・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			

・ 軽量骨材仕上塗材

種類（呼び名）	防火材料
・吹付用軽量塗材	・
・こて塗用軽量塗材	・

こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類
・土物仕上げ工法
・水ごね土物1工法
・水ごね土物2工法
・のりさし土物工法
・のりごね土物工法
・砂壁仕上げ工法
・切返し仕上げ工法
こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類
・普通大津仕上げ工法
・大津みがき仕上げ工法
ちりじゃくり
・図示による　・

16 建具工事

・ 防火戸
⊙建具表による (16.1.3)
・

・ 見本の製作等
建具見本の製作　・行う（建具符号：　）　(16.1.4)
・行わない
建具見本製作の目的等　・
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　）
・行わない

・ 防犯建物部品
・適用する（・建具表による　・　）　(16.1.6)
・適用しない

⊙ アルミニウム製建具
性能値等 (16.2.2、4、5)（表14.2.1）(表16.2.1、2)
耐風圧性の等級（・　S-5　）
（建具符号　⊙建具表による　・　）
気密性の等級（・　A-4　）
（建具符号　⊙建具表による　・　）
水密性の等級（・　W-5　）
（建具符号　⊙建具表による　・　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　）
・B種（建具符号　・建具表による　・　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　）
・D種（建具符号　・建具表による　・　）
・E種（建具符号　・建具表による　・　）
枠の見込み寸法（⊙建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443J1　・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
⊙BB-1　・BB-2　（標準仕様書表14.2.1）
着色
⊙標準色　・特注色
屋内の建具
種別
⊙BC-1　・BC-2　（標準仕様書表14.2.1）
着色
⊙標準色　・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式　⊙排水式
工法
水切り板、ぜん板
※図示による　・
木下地の場合の内付け建具
・適用しない　⊙適用する

⊙ 網戸等 (16.2.3)

種類	材質	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

・ 樹脂製建具
性能値等 (16.2.5)（16.3.2～5）（表16.3.1～3）
耐風圧性の等級（　）
気密性の等級　（　）
水密性の等級　（　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　）
・B種（建具符号　・建具表による　・　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　）
・D種（建具符号　・建具表による　・　）
・E種（建具符号　・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・T-1　・T-2 ）
（建具符号　・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級（・H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8 ）
（建具符号　・建具表による　・　）
外部 に面する建具の日射熱取得性の等級　・
枠の見込み寸法　・建具表による　・

材料
ガラス
※複層ガラス（組合せは建具表による）
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
表面色　・標準色　・特注色
工法
水切り板、ぜん板　※図示による　・
木下地の場合の内付け建具　・適用しない　・適用する

⊙ 鋼製建具
性能値等 (16.2.2)（16.4.2～4）(16.4.6)　(表16.4.2)
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号　・建具表による　・　）
⊙適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級　（・　）
（建具符号　・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号　・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI　・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※標準仕様書表16.4.2による
・　使用箇所（　）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による　・

⊙ 鋼製軽量建具
性能値等 (16.2.2)（16.5.2～4）(16.5.6)（表16.5.1）
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号　・建具表による　・　）
⊙適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号　・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
鋼板
⊙亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
召合わせ、縦小口包み板の材質
※鋼板　・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ（mm）
※標準仕様書表16.5.1による
・
使用箇所（　）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※建具表による　・

・ ステンレス製建具
性能値等 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～5)
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号　・建具表による　・　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級　（・　）
（建具符号　・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号　・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ G
断熱性の等級（　）
（建具符号　・建具表による　・　）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443J1
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL　・
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※HL　・鏡面仕上げ　・
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ
・角出し曲げ（b角（切込み後の残り板厚0.75mm、裏板補強有り））
・角出し曲げ（c角（切込み後の残り板厚1.0mm））

⊙ 木製建具
建具材の加工、組立時の含水率 (16.7.2～4)
※A種　・
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

⊙フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※標準仕様書16.7.2(2)(4)(a)による　・
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
⊙普通合板 G	表面の樹種 ・ 板面の品質（※広葉樹1等　・　） 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・天然木 化粧合板 G	樹種名（　） 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・特殊加工 化粧合板 G	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・MDF G		

表面板の厚さ
※表16.7.6による　・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない　・適用する
・かまち戸
かまち樹種（　）　鏡板樹種（　）
見込み寸法　※36mm　・建具表による　・
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子
・新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁
・生地縁（素地）
・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・
・戸ぶすま
表面板の仕上　・建具表による
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・

枠、くつずりの材料
・建具表による　・

⊙ 建具用金物
金物の種類及び見え掛り部の材質等 (16.8.2、3)(表16.8.1～5)
※標準仕様書表16.8.1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.2による
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.3による
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※標準仕様書表16.8.4による
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※標準仕様書表16.8.5による
・建具表による
握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・建具表による
・
シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠（品質・性能、試験方法は別表による）
クローザ類（品質・性能、試験方法は別表による）

⊙ 鍵
マスターキー (16.8.4)
⊙製作する　・製作しない
鍵の製作本数
※各室3本1組（室名札付き）　・
鍵箱
※有り　・無し

・ 自動ドア開閉装置
戸の開閉方式 (16.9.2、3)
・建具表による　・
・引き戸用駆動装置
性能値
※標準仕様書表16.9.1（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
種類・開閉方式　（　）
耐電圧　（　）
温度上昇　（　）
耐久性（サイクル）　（　）
防錆　（　）
電源　（　）
・車椅子使用者用便房出入り口引き戸用駆動装置
性能値
※標準仕様書表16.9.2（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
耐電圧　（　）
温度上昇　（　）
耐久性（サイクル）　（　）
防錆　（　）
電源　（　）
・引き戸用検出装置
性能値
※標準仕様書表16.9.3（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
耐電圧　（　）
防錆　（　）
防滴　（　）
電源　（　）
引き戸用検出装置の種類　標準仕様書表16.9.4
・建具表による　・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ　・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ　・非接触スイッチ
凍結防止措置
・行う　・行わない

・ 自閉式上吊り引戸装置
性能値等 (16.10.3)（表16.10.1）
※標準仕様書表16.10.1
・以下による
手動開き力　（　）
手動閉じ力　（　）
閉じ速度の調整　（　）
制動区間　（　）
開閉繰返し　（　）
耐衝撃性　（　）

・ 重量シャッター
シャッターの種類 (16.11.2、3)
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（　）pa
開閉方式の種類
※電動式（手動併用）　・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所　・建具表による　・　）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（設置箇所　・建具表による　・　）
管理用シャッターのシャッターケース
・設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯）
めっきの付着量
※Z12又はF12
・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・

⊙ 軽量シャッター
開閉方式の種類 (16.12.2～4)
※手動式
・電動式（手動併用）
耐風圧強度（　）pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　）
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※Z06又はF06　・　・　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※AZ90　・　）
スラットの形状
・インターロッキング形
・オーバーラッピング形

DRAWING 特記仕様書（５）	SCALE A1：NON　A3：NON
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　則男	DRAWING No. 特-05

・オーバーヘッドドア

(16.13.2、3)

セクション材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材料
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）

ⓞガラス

・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類　(9.7)(16.14.2～4)(図16.14.1)
⊙建具表による
・

・型板ガラスの厚さによる種類
⊙建具表による
・

・網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・建具表による
・

・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・建具表による
・
落球衝撃はく離性及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類

・強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
⊙建具表による
・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
・建具表による
・
性能による種類
・1種　・2種

・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
⊙建具表による
・
断熱性による区分
・T1　・T2　⊙T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性及び日射遮蔽性による区分
⊙G　・S
乾燥気体の種類
⊙空気　・アルゴン　・

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・
日射熱遮へい性による区分
・1種　・2種　・3種
耐久性による区分（日射熱遮蔽性による区分が2種の場合）
・A類　・B類

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・

ガラスの留め材及び溝の大きさ　(16.14.2)(9.7)

建具の種類	ガラス留め材の種別	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・
鋼製及び鋼製軽量	⊙シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・
樹脂製	・グレイジングガスケット ・	※建具製造所の仕様による ・図示による ・

耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

・ガラスブロック積み

(16.14.5)

呼び寸法（mm）	厚さ（mm）	色調	目地幅（mm）	伸縮調整目地位置（mm）	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材
※図示による　・
力骨
材質
※ステンレス鋼(SUS304)　・
寸法
※径5.5mm　・
形状
※はしご形状複筋及び単筋　・
化粧目地モルタルの色（・白　・グレー）
シーリングの種類　（・SR-1　・PS-1）
金属製化粧カバー
材質
・ステンレス製　・アルミニウム製　・　(17.3.2～6)(表17.3.1、2)
寸法
※図示による　・
形状
※図示による　・
木下地の場合のアンカー等の取付け間隔
・図示による　・
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
・
工法
Ⅰ章 適用区分による風圧力の（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

17 カーテンウォール工事

・取付け形態、性能等

取付け形態による分類　(17.1.3)
・層間方式
・柱・梁方式
・方立方式
・スパンドレル方式
・
性能

水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性	耐温度差性(℃)
				・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60

耐風圧性
Ⅰ章 適用区分による風圧力（・1　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

主要部材の耐風圧性能（ガラスを除く）

支点間距離(h)	耐風圧性能
4m以下	・たわみ量が±(1/150)×h かつ絶対量20mm以下であること ・
4mを超える	・

耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
性能の確認方法及び判定方法
※性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける

・メタルカーテンウォール

金属系材料の種類　(17.2.2、3、5、6)
・アルミニウム材
・鋼材
・ステンレス鋼材
シーリング材の種類（目地等）
種類及び寸法等　※図示による　・
ガラスの取付け材料
・シーリング
種類（・SR-2　・SR-1）
・構造ガスケット
形状、寸法等　※図示による
断熱材□
種類及び範囲　※図示による
形状及び仕上げ
製品の寸法許容差
※標準仕様書表17.2.1による
・
見え掛かり部の仕上げ
（アルミニウム材の場合）
規格等　標準仕様書16.2.3による
種別　・　(標準仕様書表14.2.1)
着色　・標準色　・特注色
（鋼材及びステンレス鋼材の場合）
・
ガラス溝の寸法、形状等
※カーテンウォールの製造所の仕様
・

取付け
躯体付け金物の取付け位置の寸法許容差
鉛直方向
※±10mm　・
水平方向
※±25mm　・
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅
※±3mm　・
目地の心の通り
※0～2mm　・
目地両側の段差
※0～2mm　・
各階の基準墨から各部位までの距離
※±3mm　・
耐火処理
適用部位、材料等　※図示による
ガラスの取付け材料
ガラスの取付け材料がシーリングの場合のガラスの支持方法
※4辺支持　・

・PCカーテンウォール

材料
コンクリート
種類（・普通コンクリート　・軽量コンクリート1種　・　）
品質
設計基準強度(Fc)　※30N/?　・
スランプ　※12cm　・
気乾単位容積質量
・普通コンクリートの場合　2.1t/?を超え2.5t/?以下
・軽量コンクリートの場合1.8 t/ m3～2.1 t/ m3
・
単位水量の最大値
※185kg/?　・
鉄筋
種類の記号　※SD295　・
補強鉄線
径(mm)　・3.2　・4.0　・5.0　・6.0
網目寸法　・
シーリング材の種類（目地等）
種類及び寸法等　※図示による　・
ガラスの取付け材料
・構造ガスケット
形状、寸法等　・図示による
耐火処理
適用部位、材料等　※図示による
断熱材G　種類（　　）
種類及び範囲　※図示による
先付けの材料
・表面仕上材
・セラミックタイル
・石材
・建具枠
・ゴンドラ用ガイドレール
形状及び仕上げ
製品の見え掛り部の寸法許容差
辺長
※±3mm　・
対角線長の差
※0～5mm　・
版厚
※±2mm　・
開口部内法寸法
※±2mm　・
ねじれ、反り
※0～5mm　・
曲がり
※0～3mm　・
面の凸凹
※0～3mm　・
先付け金物の位置
※0～5mm　・
PCカーテンウォールの仕上げ
・
構造ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
※図示による　・
製作
PC版の配筋　※図示による
取付け
躯体付け金物の取付位置の寸法許容差
鉛直方向
※±10mm　・
水平方向
※±25mm　・
カーテンウォール部材の取付け位置の寸法許容差
目地の幅
※±5mm　・
目地の心の通り
※0～3mm　・
目地両側の段差
※0～4mm　・
各階の基準墨から各部位までの距離
※±5mm　・
ガラスの取付け方法
・ガラスの取付け材が構造用ガスケットで複層ガラス等を使用する場合は排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う

18 塗装工事

ⓞ材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　(18.1.3)
※F☆☆☆☆　・
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・以下の箇所を除き防火材料とする。
（箇所：　　）

ⓞ素地ごしらえ

(18.2.2～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面（DP以外）		※C種　・A種　・B種
鉄鋼面（DPのみ）		※B種　・A種　・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種　・A種
押出成形セメント板面		※B種　・A種
コンクリート面（DPのみ）		※A種　・B種
せっこうボード面及び	目地：継目処理工法	※A種　・B種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	※B種　・A種

ⓞ錆止め塗料塗り

(18.3.2、3)

下地面	塗料の種別	錆止め塗料の種別	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP	A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
	DP	C種及びD種	表18.3.4
	EP-G	※B種　・A種	見え掛り：A種 見え隠れ：B種
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種　・B種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種
	DP	B種	表18.3.6
	EP-G	C種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種

ⓞ塗装

(18.4.1～18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類	高日射反射率塗料□
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種　・B種	－	－
	木部屋内	※B種　・A種		－
	鉄鋼面	※B種　・A種		・適用する
	亜鉛めっき鋼面	－		・適用する
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種　・A種	－	－
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	－	－
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	－	上塗り塗料の等級(　)級	・適用する
	亜鉛めっき鋼面	－	上塗り塗料の等級(　)級	－
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	・A種　・B種 ・C種	－	－
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 ﾓﾙﾀﾙ面 ﾌﾟﾗｽﾀｰ面 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面 その他ﾎﾞｰﾄﾞ面等	※B種　・A種	－	－
	屋内の鉄鋼面 鉄鋼面 亜鉛めっき鋼面	※B種　・A種	－	－
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種　・A種	－	－
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種　・A種	－	－
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	－	－
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種　・A種	－	－

高日射反射率塗装□を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする。
クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する（着色剤：・溶剤形着色剤　・油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない
オイルステン塗りの工程等
・

19 内装工事

ⓞ接着剤

ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル用接着剤のホルムアルデヒド放散量　(19.2.2)
※F☆☆☆☆　・
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示による　・

ⓞ下地の工法

標準仕様書19.2.3(ｱ)～(ｳ)以外の下地の工法　(19.2.3)
・図示による　・

ⓞビニル床シートG

(19.2.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	⊙無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0 ・	

接合部の処理
※熱溶接工法　・

DRAWING	特記仕様書（6）	SCALE	A1：NON　A3：NON
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	特-06

・ビニル床タイル G

(19.2.2)

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT（ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・TT（単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・FT（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・FOA（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） ・FOB（薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	⊙無地 ・柄物	・300×300 ⊙450×450 ・500×500 ・	※2.0 ・2.5 ・3.0 ・	

・特殊機能床材

(19.2.2)

・帯電防止床シート
種類　（　　）
性能　（　　）
厚さ(mm)（　　）

⊙帯電防止床タイル
種類　（　　）
性能　（　　）
寸法(mm)（　450　×　450　）
厚さ(mm)（　　2.0　　）

・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類　（　　）
形状　（　　）

・耐動荷重性床シート
種類　（　　）
厚さ(mm)（　　）

・防滑性床シート
種類　（　　）
厚さ(mm)（　　）

・防滑性床タイル
種類　（　　）
寸法(mm)（　　×　　）
厚さ(mm)（　　）

・ビニル幅木

材質の種類　(19.2.2)
⊙軟質　・硬質
高さ(mm)
※60　・75　・100
厚さ(mm)
※1.5以上　・

・ゴム床タイル

種類　(19.2.2)
・単層品　・積層品
色柄（　　）
厚さ(mm)
・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)（　　×　　）

・カーペット敷き □

・織じゅうたん　(19.3.2、3)(表19.3.1)(表19.3.2)

織り方	パイル形状	備考（参考価格）
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル	

色柄
※模様のない無地
・
パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）
・
帯電性
・適用する　・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm
・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ（mm）	工法	帯電性	備考（参考価格）
・カットパイル	・5～7　・	・全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用する ・適用しない	
・ループパイル	・4～6　・			
・カット、ループ併用	・			

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号　呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

・タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考（参考価格
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き
・模様流し
・
階段部分
※模様流し
・市松敷き
・
見切り、押え金物
材質（　　）
種類（　　）
形状等
※図示による　・

・合成樹脂塗床

(19.4.2、3)(表19.4.4、5)

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
⊙厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ⊙厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ⊙防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

・フローリング張り □

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等　(19.5.2～5)(表19.5.1～6)
※標準仕様書19.5.2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆　・

・単層フローリング　(フローリングボード1等)
工法
・釘留め工法（・根太張り　・直張り　）
・接着工法
樹種
※なら　・
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない

・単層フローリング　(フローリングブロック1等)
樹種
・
厚さ（mm）
・
大きさ
・
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない

・複合フローリング
工法
・釘留め工法（・根太張り　・直張り　）
・接着工法
樹種
※なら　・
種別
・A種　・B種　・C種
間伐材等の適用
・適用する　・適用しない

接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート
・

・畳敷き

種別　(19.6.2)(表 19.6.1)
・A種　・B種　・C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N）
下地の種類
・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン □ ）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

衝撃緩和型畳　（畳表：・C1　・C2）

⊙せっこうボード、その他のボード及び合板張り

(19.7.2、3)(表 19.7.1)

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
合板のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書19.7.2(3)(f)の(a)～(d)のいずれか　・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

種類等	厚さ(mm)、規格等
木質系セメント板 G	
・木毛セメント板 ・硬質（HW）・中質（MW）・普通（NW）	※図示による　・15　・20　・25
・木片セメント板 ・硬質（HF）・普通（NF）	※図示による　・12　・15　・18　・21　・30
繊維強化セメント板	
⊙けい酸カルシウム板（タイプ2） 普通ボード 0.8FK	※図示による　・6　・8
火山性ガラス質複層板	
・火山性ガラス質複層板 種類　※図示による　・	※図示による　・
繊維板 G	
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ（MDF）	※図示による　・3　・7　・9　・12　・
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（無処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DI） ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DE）	※図示による　・2.5　・3.5　・5　・7　・
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ（A-1B） ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による　・9　・12　・15　・18
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ G	
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・無研磨板（VN） ・研磨板（VS）	※図示による　・10　・12　・15　・18　・
・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DV） ・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DO） ・塗装（DC）	※図示による　・10（難燃）　・12（難燃）　・
吸音材料	
・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（DR） ・ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ ・凹凸ﾀｲﾌﾟ	・9（不燃）　・12（不燃） ・12（不燃）　・15（不燃）
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（1号）	※図示による　・25　・
・ｶﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（32K）	・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み）　・
せっこうﾎﾞｰﾄﾞ	
⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-R）	※12.5（不燃）　・15（不燃）　・
⊙ｼｰﾘﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-S）	・12.5（・不燃　・準不燃）
⊙強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-F）	・12.5（不燃）　・15（不燃）
⊙せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ（GB-L）	・9.5
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-NC） ・化粧無し（下地張り用） ・化粧有り（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	・9.5（不燃）
合板類	
・普通合板 G 表板の樹種名： 板面品質： 防虫処理 ・行う　・行わない	※図示による ・
・天然木化粧合板 G 化粧板の樹種名： 防虫処理 ・行う　・行わない	※図示による ・
・特殊加工化粧合板 G 化粧加工の方法 ・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装　・ 表面性能 ・ 防虫処理 ・行う　・行わない	※図示による ・

天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを行う場合
※図示による　・
合板類の張付け
・A種　・B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
⊙ベベルエッジ　・スクェアエッジ

20 ユニット及びその他の工事

・壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量　(19.8.2、3)
※F☆☆☆☆　・

施工箇所	壁紙の種類						防火性能	備考（参考価格）
	紙	繊維	塩化ビニル	プラスチック	無機質	その他		
図示による	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃　・準不燃	

モルタル及びプラスター面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種
せっこうボード面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種

・断熱材 G

フェノールフォーム断熱材、保温材又は接着剤のホルムアルデヒド放散量　(19.9.2～4)
※F☆☆☆☆　・
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
・断熱材打込み工法

種類	厚さ（mm）	施工箇所
※図示による		
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 （・　　）	・	
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし） （・2種bA　・3種bA　・3種bC　・3種bD）	・	
・硬質ウレタンフォーム断熱材	・	
・フェノールフォーム断熱材	・	

・断熱材現場発泡工法
断熱材の種類
⊙A種1　・A種1H　・
吹付け厚さ（mm）
・25、30、100
施工箇所
・図示による　・
（品質・性能、試験方法は別表による）

・フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法（mm）	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	備考
・事務室 ・災害対策室	・置敷式 ⊙支柱調整式	⊙600×600 ・	100	・1.0G ・0.6G	⊙3,000N ・5,000N ・	⊙帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・	

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による
・以下による
パネルの長さの寸法精度
（　　）
パネルの平面形状（角度）の寸法精度
（　　）
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度
（　　）
帯電防止性能
・評価値（U）≧0.6以上
・評価値（U）≧1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗（R）≧1×10?Ω
（品質・性能、試験方法は別表による）

・可動間仕切

(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類		パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	防火性能
	ｽﾀｯﾄﾞ	ﾊﾟﾈﾙ			
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式			・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具
・有り（※図示による　・　　）
・無し
パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落とし は、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材料のホルムアルデヒド放出量
※F☆☆☆☆　・

⊙移動間仕切

(20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材		遮音性(dB/500Hz)
				材質	仕上げ	
⊙平行方向 移動式 ・二方向 移動式	⊙手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾟｯｼｭ式 ⊙ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・	50/69	⊙鋼板 ⊙ｼﾅ合板	⊙焼付塗装 ⊙壁紙張り ・	・36未満 ・36以上

パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け金重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
⊙図示による
パネルをランナに取り付ける部品
※ランナに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
・

DRAWING	特記仕様書（7）	SCALE	A1：NON　A3：NON
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　則男		DRAWING No.	特-07

ハンガーレール及びランナ
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナ数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
・
(品質・性能は別表による)

⊙トイレブース (20.2.5)

表面材の材料	脚部 種類	ドアエッジ 材質
⊙メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製

(品質・性能、試験方法は別表による)

⊙手すり (20.2.6)
材料の種類及び仕上げ
・SUS304　表面処理　※HL程度　・
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき（※標準仕様書表14.2.2による種別（　　）種）
⊙アルミニウム 表面処理　（※標準仕様書表14.2.1による種別（　　）種）
色合い　・標準色（　　）　・特注色（　　）
手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材 (材種：　　)	・クリアラッカー ・	・35程度 ・45程度 ・		
・ビニル製		・35程度 ・45程度 ・		

⊙階段滑り止め (20.2.7)
材種
⊙ステンレス製
・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材
・
形状
※タイヤ型(タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等)
・タイヤレス型
端部の形状
⊙フラットエンドあり
・フラットエンドなし
寸法(幅)
⊙35mm程度　・40mm程度　・50mm程度
取付け工法
※接着工法
・埋込み工法

・黒板及びホワイトボード G (20.2.9)
・黒板
区分
※焼き付け　・
種類
・鋼製黒板
・ほうろう黒板
・
色
※緑　・
・ホワイトボード

⊙鏡 (20.2.10)
取付け箇所（1階→男子ﾄｲﾚ　2階→男子ﾄｲﾚ、女子ﾄｲﾚ、洗面室）
寸法（mm）
⊙図示による　・
厚さ（mm）
※5　・

⊙表示 (20.2.11)
⊙設置する　（設置場所：※図示による　・　　）
形状・寸法（・30φ　・　　）
材質　（・ステンレス製　・　　）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品　・
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示による

・タラップ (20.2.12)
材質及び仕上げ
・SUS304（スリップ止め加工　※あり　・なし　）
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表14.2.2による種別（※C種　・　種））

・煙突ライニング (20.2.13)
適用安全使用温度
・
工法
※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)
・

・ブラインド (20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	ｽﾗｯﾄの種類	ｽﾗｯﾄ幅	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ取付箇所
・横形	・手動	※ギヤ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 G ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示による ・
	・電動	ー				
・縦形	・手動	※2本操作ｺｰﾄﾞ式 ・1本操作ｺｰﾄﾞ式	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	・図示による ・
	・電動	ー				

縦型ブラインドのスラットの材質
・アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
・クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする

・ロールスクリーン (20.2.15)

操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による ・	・

スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする

・カーテン (20.2.16)

形式		開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付け箇所	備考
・ｼﾝｸﾞﾙ ・ﾀﾞﾌﾞﾙ	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ﾌﾞﾚｰﾝひだ		・図示による ・	

生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする
暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※300mm以上
・

⊙カーテンレール (20.2.16)
材料による区分
※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ステンレス製
強さによる区分
※10-90　・
仕上げ
※アルマイト　・
形状
※角形　・

⊙ブラインドボックス及びカーテンボックス
溝幅×深さ（mm）
・90×150　・120×80
・120×150　・150×80
⊙図示による
材種
⊙集成材（仕上げ：SOP）
・アルミニウム製　押出し型材（市販品）
標準仕様書表14.2.1による種別
・BC-1種　・BC-2種　・
色合い
・標準色（　　）　・特注色（　　）
・鋼製（仕上げ：　　）

⊙天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
⊙アルミニウム製 ・	⊙450×450 ・600×600 ・	⊙一般形	・屋内外用	⊙額縁タイプ	⊙額縁タイプ
			⊙屋内用	・目地タイプ	・目地タイプ
		・気密形			

(品質・性能、試験方法は別表による)

・床点検口

材種	寸法	形式		備考
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。
(品質・性能、試験方法は別表による)

・耐震スリット

方向	幅(mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・垂直	・25 ・	・完全（全貫通型） ・	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し	
・水平	・25 ・				

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・シーリング材(見え掛かり部のみ) ・	・シーリング材(見え掛かり部のみ) ・シーリング材（内外とも）
目地寸法（mm）	・スリット幅×深さ10 ・	・スリット幅×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

・止水板
形式
・差込式　・据置式　・壁張り式
施工箇所
・図示による　・

・エキスパンションジョイント金物
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

・くつふきマット

材種	受け枠	備考
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼（SUS304）製 ・	・ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

⊙流し台ユニット

材種	寸法（mm） W	D	H	備考
⊙流し台 ※図示による	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
⊙コンロ台 ※図示による	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
⊙つり戸棚 ※図示による	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
⊙水切り ※図示による	・1200 ・900 ・600	ー	ー	市販品 ステンレス製 ・1段式　・

品質・性能
外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1 による。
構成材は、JIS A 4420 の8 により試験を行ったとき、表1 の規定による。
形状
※図示による　・

⊙旗竿

材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
⊙アルミニウム合金製 ・	⊙テーパー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ⊙ロープ式	・埋込式 ⊙ベース式 ・バンド式	

⊙旗竿受金物
材種
⊙ステンレス製（SUS 304）
・

・車止めさく

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・
・				

・フェンス
フェンスの種類
・ビニル被覆エキスパンドフェンス
⊙樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ
⊙図示による　・

・プレキャストコンクリート (20.3.3、4)
コンクリートの設計基準強度
※水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m2を満足する調合強度
・図示による
配筋
※配筋を定めた計算書を監督職員に提出する
・図示による
取付け方法
※図示による　・

・間知石及びコンクリート間知ブロック積み (20.4.2、3)

	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	ー	ー	
・コンクリート間知ブロック	ー		・A ・B	

積み方
※谷積み　・布積み
目塗り
・図示による　・
伸縮調整目地
材種
・図示による　・
厚さ
・図示による　・

・鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
・鋼製書架	JIS S 1039 の規格による	・1種　・2種　・3種
・鋼製物品棚		・4種　・5種　・6種

・屋内掲示板
枠の材質
※アルミニウム製
・
表面の材質
※塩ビ発泡シート張り
・

⊙洗面カウンター
材種
・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）
⊙ 人工大理石
奥行き(mm)
・約450　⊙約600

・防煙垂れ壁
・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式 （巻取り型）	※不燃布 （不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※ 天井材張り ・

降下機構
煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

・屋外掲示板
照明器具
※有り　・無し
施錠
※有り　・無し
製造所
・

⊙収納家具
合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆　・
材質、形状、寸法
※図示による　・

21 排水工事

⊙屋外雨水排水
材料 (21.2.1、2)(表 21.2.1、2)

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・ 遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種）	・B形管 ・	・図示による ・	
⊙ 硬質ポリ塩化ビニル管	・RF-VP G		・図示による ・	
	・RS-VU G		・図示による ・	
	・VP		・図示による ・	
	⊙VU		⊙図示による ・	

基床の厚さ及び種類
⊙図示による　・
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料
※接着剤　・
側塊の形状及び寸法
⊙図示による　・
排水桝の種類
⊙図示による　・
砂地業に用いる材料
・シルト　⊙山砂　・川砂　・砕砂　⊙図示による
砂利地業に用いる材料
⊙再生クラッシャラン G
・切込砂利又は切込砕石
・現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度(N/mm2)
※18　⊙図示
スランプ(cm)
※15又は18　⊙図示
・現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号
※SD295　⊙図示
・排水桝が現場打ちの場合の足掛け金物
※標準仕様書21.2.2(6)(ｲ)
材質
・ステンレス製
・鋼製
・合成樹脂被覆加工されたもの
凍上抑制層に用いる材料
・
(砂を用いる場合の粒度試験)
・行う　⊙行わない

DRAWING　特記仕様書（８）　SCALE A1：NON　A3：NON
PROJECT　風間浦村消防庁舎等建設工事　DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男
DRAWING No. 特-08

・ 鋳鉄製ふた　(21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（ﾊﾟｯｷﾝ式） ・密閉形（ﾃｰﾊﾟ・ﾊﾟｯｷﾝ式） ・中ふた付き密閉形（ﾃｰﾊﾟ・ﾊﾟｯｷﾝ式） ・	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による。

⊙ グレーチング　(21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	ﾒｲﾝﾊﾞｰﾋﾟｯﾁ	亜鉛めっき（付着量）	上面形状
⊙鋼製	⊙受枠付き、ボルト固定 ・	⊙溝ふた（横断用） ⊙車道用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・ （　）	・凹凸形 ・
		・溝ふた（側溝用） ⊙桝ふた ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・普通目 ・細目	・ （　）	・平形 ・
	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用）	・歩行用	・	―	・凹凸形 ・
・ｽﾃﾝﾚｽ製		・溝ふた（側溝用） ・桝ふた ・U字溝用	・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・	―	・平形 ・

（品質・性能、試験方法は別表による）

⊙ 街きょ、縁石及び側溝　街きょ、縁石、側溝　(21.3.1、2)(表21.3.1)

種類	形状・寸法
・縁石	・図示による　・
・L形側溝	・図示による　・
・U形側溝	・図示による　・
・U形側溝ふた	・図示による　・
⊙図示による	・図示による　・

砂地業に用いる材料
・シルト　⊙山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料
⊙再生クラッシャラン G　・切込砂利又は切込砕石
砂利地業の厚さ（mm）
※100　・図示による
・現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度（N/?）
※18　・
スランプ（cm）
※15又は18　・
・現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号
※SD295
凍上抑制層に用いる材料
・
（砂を用いる場合の粒度試験）
・行う　⊙行わない

⊙ 埋戻し土　※B種　・　(21.2.1)

22 舗装工事

⊙ 路床　路床の材料　(22.2.2、3、5)(表22.2.1)

種別	材料	厚さ(mm)
・盛土	・A種　・B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示による ・
・凍上抑制層	⊙再生クラッシャラン G ・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂（標準仕様書表21.2.2による）	・図示による ・
・フィルター層	標準仕様書22.2.3.(3)による	・図示による ・

（凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ）
・行う
⊙行わない
⊙路床安定処理
安定処理の方法
⊙置き換え工法
・安定処理工法
路床安定化処理用添加材料
種類
・普通ポルトランドセメント
・高炉セメントB種 G
・フライアッシュセメントB種
・生石灰（・特号　・1号）
・消石灰（・特号　・1号）
添加量
・　kg/m3（CBR　・3以上　・　）
・ジオテキスタイル
単位面積質量
・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)
・0.5～1.0　・
引張強さ
・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数
・1.5×10⁻²cm/sec以上　・

試験
路床土の支持力比（CBR）試験
・行う　⊙行わない
路床締固め度の試験
・行う　⊙行わない
現場CBR試験
⊙行う　・行わない

⊙ 路盤　路盤の厚さ　(22.3.2、3)(表 22.3.1)
⊙図示による　・
路盤材料（標準仕様書表22.3.1による種別）
⊙クラッシャラン
・粒度調整砕石
・再生クラッシャラン G
・再生粒度調整砕石 G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G
・粒度調整鉄鋼スラグ G
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G

⊙ アスファルト舗装　アスファルト舗装の構成及び厚さ　(22.4.2～6)(表 22.4.4)
※図示による　・
材料
アスファルト
・再生アスファルト G
（標準仕様書表22.4.1による種類：　・60～80　・80～100）
⊙ストレートアスファルト
骨材
・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G
加熱アスファルト混合物等の種類
・密粒度アスファルト混合物(13)
・細粒度アスファルト混合物(13)
⊙密粒度アスファルト混合物(13F)
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・
試験
アスファルト混合物等の抽出試験
・行う
⊙行わない

⊙ コンクリート舗装　コンクリート舗装の構成及び厚さ　(22.5.2～4、6)(表22.5.1、3)

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車路及び駐車場	⊙図示による	⊙図示による　・
	歩行者用通路	・図示による	※70　・

材料
コンクリート
※普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による
・以下による
コンクリートの種類　（　）
設計基準強度（N/?）　（　）
所定のスランプ（cm）　（※8　・　）
粗骨材の最大寸法（mm）　（　）
早強ポルトランドセメント
・使用する　・使用しない
注入目地材料
※低弾性タイプ
・高弾性タイプ
目地
※標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による
・以下による
種類　・
間隔　・（　）m程度ごと
構造　・図示による
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

⊙ カラー舗装　(22.6.2～4)
・加熱系カラー舗装
構成・厚さ
⊙図示による　・
加熱系混合物の結合材
⊙アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物　顔料の添加量（　%）
添加材
着色骨材（　）
自然石　（　）
・常温系カラー舗装
工法
・ニート工法（配合その他：　）
・塗布工法　（配合その他：　）
着色部の下部
・アスファルト舗装
・コンクリート舗装
・
舗装の平たん性
※通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

・ 透水性アスファルト舗装　舗装の構成　(22.7.2、3、6)
・図示による　・
材料
骨材
・道路用砕石
・アスファルトコンクリート再生骨材 G
（標準仕様書表22.4.1による種類：　・60～80　・80～100）
舗装の平たん性
※著しい不陸がないもの
試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験
・行う
・行わない

・ ブロック系舗装
・コンクリート平板舗装 G　(22.8.2、3)

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
・普通平板(N) ・透水平板(P) ・保水性平板(M)	・300角 ・	※60 ・	※砂 ・ﾓﾙﾀﾙ	表面加工 ・研ぎ出し ・洗い出し ・たたき出し

クッション材
※砂　・空練りモルタル
普通平板は G(再生材I料を用いた舗装用ブロック)、透水平板は G(透水性コンクリート)とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。
・

・インターロッキングブロック舗装 G

種類	部位	形状寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/?)	備考
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	車路	・図示による ・	※80 ・	※5.0 ・	表面加工 ・
※普通ブロック(N) ・透水性ブロック(P) ・保水性ブロック(M)	歩行者用通路	・図示による ・	※60 ・	※3.0 ・	

クッション材
※砂　・空練りモルタル
歩行者用通路に使用する普通ブロックは G(再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは G(透水性コンクリート)とする。
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ間の段差は3mm以内とする。
・

・舗石舗装

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	張り方	基層	基層の厚さ(mm)
・花こう岩 ・	・割石 ・図示による ・	・	・	・ｺﾝｸﾘｰﾄ版	※70 ・
				・ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	※70 ・

クッション材
※砂　・空練りモルタル
仕上り面の平たん性
※歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする。
・

・ジオテキスタイル
単位面積質量
・60g/㎡以上　・
厚さ(mm)
・0.5～1.0　・
引張強さ
・98N/5cm（10kgf/5cm）以上　・
透水係数
・1.5×10⁻²cm/sec以上　・

・ 砂利敷き　種別　(22.9.2)
・A種（施工範囲：　・図示による　・通路　・　）
・B種（施工範囲：　・図示による　・建物周囲その他　・　）

⊙ 路面標示用塗料　路面標示用塗料はJIS K 5665による。

種類	施工	適用	色	幅（mm）	塗布厚さ(mm)
※3種I号	溶融	粉体状	⊙白 ・	⊙150 ・100	⊙1.0 ・
・1種 G	常温	液状			
・2種 G	加熱				

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料 G

23 植栽及び屋上緑化工事

・ 植栽地の確認等　土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　(23.1.3)
・行う　・行わない
電気伝導度（EC）の試験
・行う　・行わない

・ 植栽基盤の整備　(23.2.2、4)
樹木の植栽基盤の整備
・適用する　・適用しない

植栽	工法	有効土層の厚さ（mm）	整備範囲	土壌改良材
・樹木	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 （※100　・120　・150） 樹高7m以上～12m未満 （※80　・100） 樹高3m以上～7m未満 （※60　・80） 樹高3m未満 （※50　・60）	・葉張り部分 ・植栽部分 ・図示による ・	・適用する ・適用しない
※芝、地被類	※B種 ・	※20 ・	・植栽部分 ・図示による ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備
・設ける（※図示による　・　）
・設けない

・ 植込み用土　・現場発生土の良質土　(23.2.3)
・客土

・ 土壌改良材　種類及び指定量等　(23.2.3)
・パーク堆肥 G
施工箇所
※植栽範囲　・図示による
使用量
植栽基盤面積1㎡あたり（・50L　・　）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）G
施工箇所
※植栽範囲　・図示による
使用量
植栽基盤面積1㎡あたり（・10L　・　）
材料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植害試験の調査の結果、害が認められないものとする。
・

・ 樹木　樹種、寸法、株立数等　(23.3.2)
※図図による　・

・ 支柱　支柱材　(23.3.2、3)
※丸太（間伐材）G　・真竹　・
防腐処理方法
※加圧式防腐処理丸太材　・
形式
・図示による　・

・ 幹巻き用材料　材料　(23.3.2)
※幹巻き用テープ　・わら及びこも

・ 芝　種類　(23.4.2、3)
※コウライシバ　・ノシバ　・
芝張りの工法
平地
※目地張り　・べた張り
法面
※べた張り法面　・目地張り

・ 吹付けは種　(23.4.2)

種子の種類	発芽率	種子の量（g/㎡）	備考
※洋芝類（採取後2年以内）	※発芽率80%以上		
・	・		

・ 地被類　(23.4.2)

樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数
・	・	・	・

・ 新植、芝等の枯補償、移植樹木の枯損処置　新植樹木（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）の枯補償の期間　(23.3.4、6)　(23.4.7)(23.5.5)
※引渡しの日から1年　・無し　・
移植樹木の枯損処置を行う期間
※引渡しの日から1年　・無し　・

・ 屋上緑化 G　植栽基盤及び材料　(23.5.2～4)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ
・図示による　・
排水層
・軽量骨材（層の厚さ：　）
・板状成形品
植込み用土
※改良土
・人工軽量土
樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等
※図示による　・
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等
※図示による　・
（品質・性能、試験方法は別表による）
支柱
・設置する
・設置しない
形式
・図示による
・
かん水装置
・設置する
・設置しない
種類
・図示による
・
工法
「屋根ふき材及び屋外に面する帳壁の風圧に対する構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件」（平成12年5月31日　建設省告示第1458号）に基づく風圧力に対応した工法
・図示による
・

DRAWING	特記仕様書（９）	SCALE	A1：NON　A3：NON
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　則男		DRAWING No.	特-09

外部仕上表

屋根-1	平　場：塩ビシート防水t1.5、硬質ウレタンフォームt50、ルーフデッキプレートt1.2 立上り：塩ビシート防水t1.5、硬質ウレタンフォームt50、ガルバリウム鋼板t1.0 笠　木：アルミ笠木　※NBP-126D同等 SUS製ルーフドレンφ100　※FP030RF-0053	
屋根-2	平場・立上共：直押えコンクリートt80+アスファルト防水 下　地：断熱材押出法ポリスチレンフォームt50、デッキプレートt1.2 笠　木：アルミ笠木　※PX-030R同等 SUS製ルーフドレンφ100　※FP060FL-9096	
屋根-3	平場・立上共：直押えコンクリートt80+アスファルト防水 下　地：断熱材押出法ポリスチレンフォームt50、デッキプレートt1.2 笠　木：アルミ笠木　※PX-030R同等 SUS製ルーフドレンφ100　※FP060FL-9096	
庇	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4　ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940　木毛ｾﾒﾝﾄ板t20	
軒　天	FK t6.0+EP-G	
外　壁	押出成形セメント板t60横張（裏面研削仕様）　耐候性塗料塗り（DP）	
根　廻	コンクリート打放しの上補修	
建　具	スチール製建具、アルミ製建具、重量スライダー電動シャッター	
その他	外部階段（本体：鉄骨造溶融亜鉛メッキ、屋根：ガルバリウム鋼板t0.8折板葺き） 暖房用・給湯用オイルタンク基礎（屋外）　空調室外機基礎（屋根-3）　雨量計測用基礎（屋根-3） 風向風速機基礎（屋根-3）　手摺（屋根-2）　室外機用フェンス（屋根-3）　訓練用ステップ 引上訓練用金物基礎（屋根-2）　ロープ渡過訓練用金物基礎（屋根-3）　ベース式旗ポール基礎（屋根-3） 外壁館名文字（SUS箱文字+面シート　□600-12文字程度　1面）　主出入口館名文字 靴洗場（SUS製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞT-1）　消毒室（SUSｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞT-1）　本部分団防火兼乾燥室（SUSｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞT-1） 出動スペースコンクリート舗装 【消防設備】 ホースリフター20本用 【消防訓練設備】 登はん訓練梯子、引上げ訓練用金物、降下板、ロープ渡過訓練金物、丸環	

・木材寸法：一般造作見え掛かり材は挽きたて寸法とし、構造材下地、集成材は仕上がり寸法とする。	
・ステンレス材、ステンレス板等は特記なき限りSUS304とする。	
・クロス下地、塗装下地部はジョイント石膏ボード（テーパーエッジ）を使用すること。	
・床のビニルタイル、ビニルシート等は、完成引渡し時に樹脂ワックス仕上を行うこと。	
・屋根工事は10年間以上の保証とすること。	
・内装材・建具・家具は規制対象外（F☆☆☆☆）を使用すること。（仕上、下地、接着材共）	
・クロルピリホスを使用しないこと。	
・タイルカーペットは防炎加工品及び静電処理品とする。	
・床仕上げ材が異なる部分にはステンレス製床見切りを使用する。	
・化粧ケイカルシウム板の見掛小口は見切を使用する。	
・開口部廻りや金属廻りなどの結露の恐れのある部分は現場発泡ウレタン吹付とする。	
・ビニル床シートは特記なき限り、溶接工法とする。	
・耐火構造/遮音壁等が要求される場合は、他壁及び躯体等と取合う部分に各工法指定の充填処理をする。	
・内部の鉄部見え掛かり部分は、特記なき限り錆止め塗装の上、ＳＯＰとする。	
・外部に使用するシーリング材は高耐久性、低汚染性のものを使用する。	
・床及び壁の貫通部仕様（防火区画及び令114条区画）は令112条20項/21項による施工とする。	
・耐火構造/遮音壁等が要求される場合は、他壁及び躯体等と取合う部分に各工法指定の充填処理をする。	
・内部の鉄部見え掛かり部分は、特記なき限り錆止め塗装の上、SOPとする。	
・各所に設置する消火器は管轄消防署の指導に従い設置すること。	
・１階防火区画壁は、倉庫業法（則第3条の4第2項第2号）2500N/㎡に対応する仕様とする。	
・外壁裏面の突き付け部分はシーリングを打つこと。	
・塩ビ製廻縁は見付15mm型とする。	
・額縁等内部造作材はﾀﾓ集成材とする。	
・天井裏等の建築材料はF★★★★以上とする。	

特記・共通事項

防火材料認定番号

アルミスパンドレル	：NM-1170	同等品以上
ガルバリウム鋼板	：NM-8697	同等品以上
押出成形セメント板	：NM-9252	同等品以上
普通石膏ボード　t12.5	：NM-8619	同等品以上
普通石膏ボード　t9.5	：QN-9828	同等品以上
不燃積層石膏ボード　t9.5	：NM-8613	同等品以上
シージング石膏ボード　t12.5	：NM-9639	同等品以上
強化石膏ボード　t12.5	：NM-8615	同等品以上
普通硬質石膏ボード　t12.5	：NM-9645	同等品以上
化粧石膏ボード　t9.5	：QM-9824	同等品以上　※壁用
化粧石膏ボード　t12.5	：NM-0128	同等品以上　※壁用
化粧石膏ボード　t9.5	：QM-0524	同等品以上　※天井用
化粧石膏ボード　t12.5	：NM-1864	同等品以上　※天井用
ロックウール化粧吸音板　t9.0	：NM-8599	同等品以上
ケイ酸カルシウム板　t5.0以上	：NM-8578	同等品以上
化粧ケイ酸カルシウム板　t5.0以上	：NM-8579	同等品以上
グラスウールボード	：NM-8606	同等品以上
メラミン不燃化粧板	：NM-2183	同等品以上
不燃ビニルクロス	：NM-3992	同等品以上
塗装基材同等	：NM-8585	同等品以上
吹付けロックウール	：NM-8601	同等品以上
吹付硬質ウレタンフォーム	：NM-5332	同等品以上

GB-R-H-t9.5+GB-F-t12.5*両面+グラスウール24kg t100+LGS	
FP060NP-0448(2)（間仕切壁：1時間耐火）	
吹付けロックウール被覆鉄骨柱　FP060CN-9460（柱：1時間耐火）	
吹付けロックウール被覆鉄骨梁　FP060BM-9408（梁：1時間耐火）	
デッキプレート屋根　FP030RF-0053（屋根：30分耐火）	
デッキ合成スラブ　FP060FL-9096（床：1時間耐火）	
繊維混入セメント押出成形板張外壁　FP060NE-9036（外壁：1時間耐火）	

略号

C	：コンクリート下地	GB-R	：石膏ボード
M	：モルタル下地	GB-NC	：不燃積層石膏ボード
S	：鉄骨下地	GB-S	：シージング石膏ボード
LGS	：軽量鉄骨下地	GB-F	：強化石膏ボード
CB	：ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ下地	GB-R-H	：普通硬質石膏ボード
W	：木軸下地	GB-D	：化粧石膏ボード
C100	：C-100×50×20×2.3下地	DR	：ロックウール化粧吸音板
ALC	：軽量気泡ｺﾝｸﾘｰﾄﾊﾟﾈﾙ	FK	：けい酸カルシウム板
DP	：デッキプレート	FL	：透明硝子
SUS	：ステンレス	F	：型板硝子
GW	：グラスウール	PW	：網入り硝子
GWB	：グラスウールボード	FW	：網入り透明硝子
HL	：ヘアライン	T	：強化硝子
（金）	：金コテ	FT	：透明強化硝子
（木）	：木コテ	A	：空気層

塗装記号凡例

SOP	：合成樹脂調合ペイント塗り
CL	：クリアラッカー塗り
NAD	：アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
DP（A種）	：耐候性塗料塗り
EP-G	：つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
EP	：合成樹脂エマルションペイント塗り
EP-T	：合成樹脂エマルション模様塗料塗り
UC	：ウレタン樹脂ワニス塗り
OS	：オイルステイン塗り
WP	：木材保護塗料塗り

断熱仕様

土間下・スラブ	：押出ポリスチレンフォーム保温板(2種b)t30
屋根(ﾃﾞｯｷ上)	：硬質ウレタンフォームt50
屋根(RC下)	：吹付硬質ウレタンフォーム(A種1)t50
外壁	：吹付硬質ウレタンフォーム(A種1)t30
ﾋﾟｯﾄ内ｽﾗﾌﾞ,立上り	：押出ポリスチレンフォーム保温板(2種b)t30

内装仕上表

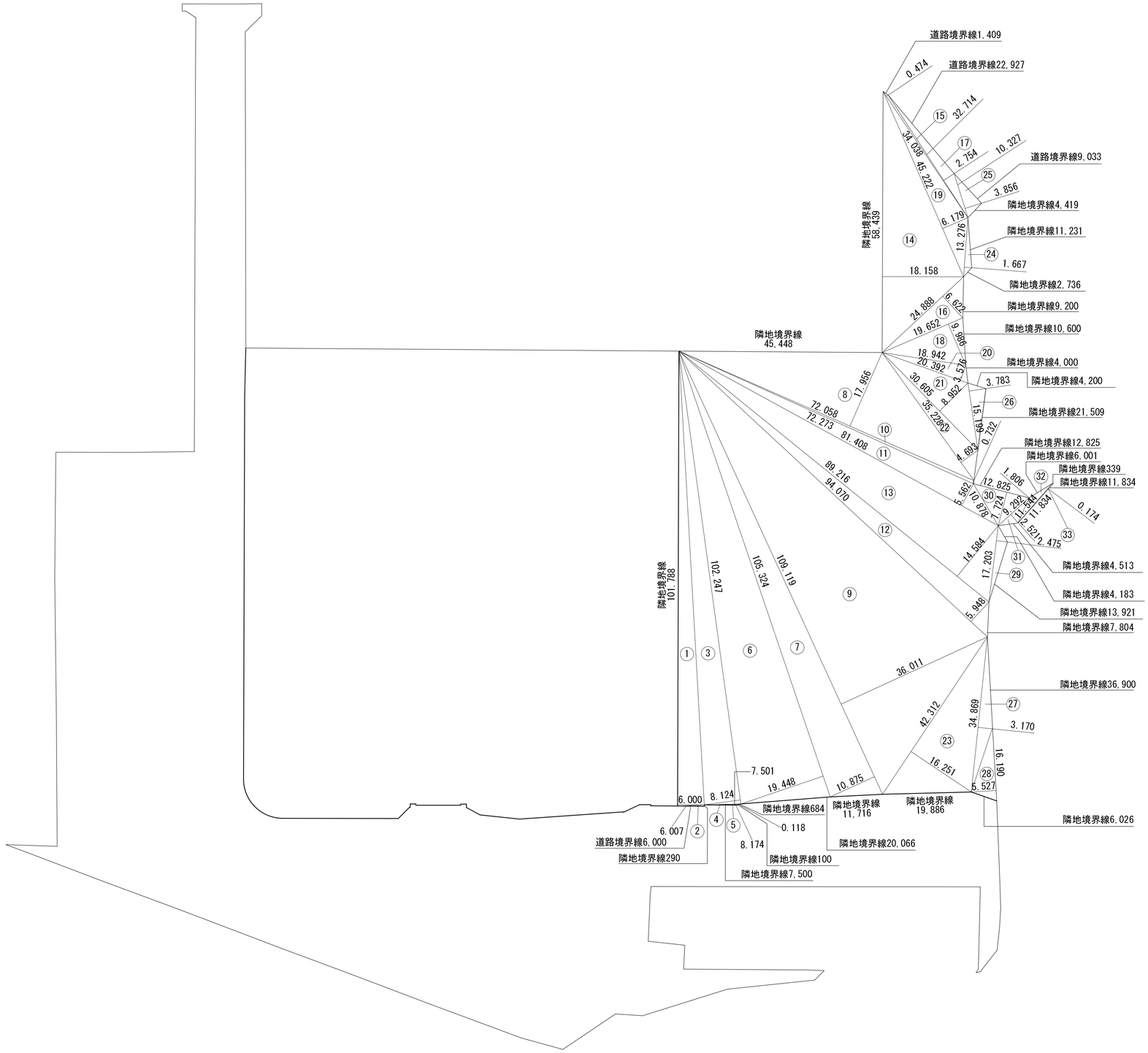
階	居室	室　名	床 床高	躯体より仕上まで	床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 塗装	巾木 H	壁 下地	壁 仕上	壁 塗装	天井 下地	天井 仕上	天井 塗装	天井 天井高	天井 廻縁	天井 カーテンボックス	備考（建築工事）	備考（設備工事）	室　名
1		東側ポーチ	-90 ～ -150		C(金)	磁器質タイルt=9.0　300×300	―		―	S	腰上：窯業系サイディングt16.0+DP 腰下：樹脂モルタル+ラス網+アスファルトフェルト+野地板	DP	LGS	FK t6.0	EP-G	2,700	塩ビ				東側ポーチ
		風除室	±0 ～ -90		C(金)	磁器質タイルt=9.0　300×300	SUS-HL t0.8		100	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ		ピクチャーレール中量用30kg		風除室
		西側ポーチ	±0		C(金)	磁器質タイルt=9.0　300×300	―		―	S	腰上：窯業系サイディングt16.0+DP 腰下：樹脂モルタル+ラス網+アスファルトフェルト+野地板	DP	LGS	FK t6.0	EP-G	2,700	塩ビ		郵便受		西側ポーチ
		通用口風除室	±0		C(金)	磁器質タイルt=9.0　300×300	SUS-HL t0.8		100	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ				通用口風除室
		車庫	±0 ～ -90		C(金)	コンクリート金鏝	SUS-HL t0.8		100	― LGS	外壁裏面研削（素地）、鉄部SOP塗 GB-R t12.5+EP-G	SOP EP-G	LGS	デッキプレート+吹付硬質ウレタンフォーム現し　鉄部SOP	SOP	4,870	―		ライニング、一槽式シンク	水栓、排水パン	車庫
		油倉庫	±0		C(金)	コンクリート金鏝	SUS-HL t0.8		100	LGS	GB-R t12.5（素地）		LGS	GB-NC t9.5		2,700	塩ビ				油倉庫
		本部分団資材庫	±0		C(金)	コンクリート金鏝	SUS-HL t0.8		100	LGS	GB-R t12.5（素地）		LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ		腰棚　吊戸棚		本部分団資材庫
		本部分団防火衣室 兼乾燥室	±0		C(金)	コンクリート金鏝の上厚塗膜エポキシ樹脂系塗床　※防滑工法	SUS-HL t0.8		100	LGS	GB-S t12.5+化粧FK t6.0	EP-G	LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ		ブドウ棚、ドライスーツ棚		本部分団防火衣室 兼乾燥室
		出動準備室	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	床材立上げ		100	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ		無線機置棚		出動準備室
		救急備品庫	±0		C(金)	コンクリート金鏝	SUS-HL t0.8		100	LGS	GB-R t12.5+EP-G	EP-G	LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ				救急備品庫
		救急車ガレージ	±0 ～ -90		C(金)	コンクリート金鏝	SUS-HL t0.8		100	LGS	GB-R t12.5+EP-G	EP-G	LGS	デッキプレート+吹付硬質ウレタンフォーム現し　鉄部SOP		4,870	塩ビ		ライニング、一槽式シンク	水栓	救急車ガレージ
		消毒室	-20		C(金)	コンクリート金鏝の上厚塗膜エポキシ樹脂系塗床　※防滑工法	SUS-HL t0.8		100	LGS	GB-R t12.5+化粧FK t6.0	EP-G	LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ		ライニング、一槽式シンク、ブドウ棚	水栓、汚物洗い、ボイラー	消毒室
		廊下	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ		ピクチャーレール中量用30kg		廊下
○		本部分団室	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-R t9.5+DR ｔ9.0		2,700	塩ビ	○ ブラインド	分団員用棚		本部分団室
		シャワー洗濯室	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	床材立上げ		100	LGS	GB-S t12.5+EP-G	EP-G	LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ		ライニング	洗濯パン、ボイラー	シャワー洗濯室
		脱衣所	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	床材立上げ		100	LGS	GB-S t12.5+EP-G	EP-G	LGS	GB-D t9.5		2,550	塩ビ		シャワーユニット		脱衣所
		男子トイレ	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	床材立上げ		100	LGS	GB-S t12.5+EP-G、一部化粧FK t6.0	EP-G	LGS	GB-D t9.5		2,550	塩ビ		ライニング、垂石（花崗岩本磨き t=25） 防湿鏡（上下SUS枠）	小便器、大便器、手摺、紙巻器 手洗器一体型カウンター	男子トイレ
		SK	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	床材立上げ		100	LGS	GB-S t12.5+EP-G、一部化粧FK t6.0	EP-G	LGS	GB-D t9.5		2,550	塩ビ		ライニング、用具掛け、フック	スロップシンク	SK
		多目的トイレ 兼女子トイレ	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	床材立上げ		100	LGS	GB-S t12.5+EP-G、一部化粧FK t6.0	EP-G	LGS	GB-D t9.5		2,550	塩ビ		ライニング	大便器、手摺、紙巻器、手洗器 手洗器一体型カウンター 防湿鏡（上下SUS枠）	多目的トイレ 兼女子トイレ
		物入	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-D t9.5		2,550	塩ビ				物入
		ロッカー室	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ				ロッカー室
○		食堂	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-R t9.5+DR ｔ9.0		2,700	塩ビ	○ ブラインド	システムキッチン		食堂
		倉庫	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5（素地）		LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ		木製棚	ボイラー	倉庫
○		事務室	±0	+100	C(金)	長尺塩ビシートt2.0、OAﾌﾛｱ- H=100下地	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-R t9.5+DR ｔ9.0		2,700	塩ビ	○ ブラインド	書庫棚、指令端末兼受付カウンター 可動棚		事務室
○		災害対策室	±0	+100	C(金)	長尺塩ビシートt2.0、OAﾌﾛｱ- H=100下地	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-R t9.5+DR ｔ9.0		2,700	塩ビ	○ ブラインド	腰棚、腰カウンター、移動間仕切		災害対策室

DRAWING	仕上表-1	SCALE A1:No Scale A3:No Scale
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No. A-01

内装仕上表

階	居室	室　名	床				巾木			壁			天井					備考（建築工事）	備考（設備工事）	室　名
			床高	躯体より仕上まで	下地	仕上	仕上	塗装	H	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装	天井高	廻縁	カーテンボックス		
2		廊下	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ	○ ブラインド	ピクチャーレール中量用30kg		廊下
	○	消防団会議室	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-R t9.5+DR　t9.0		2,700	塩ビ	○ ブラインド	腰棚		消防団会議室
		会議室用収納庫	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ				会議室用収納庫
		消防団書庫	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ	○ ブラインド			消防団書庫
		消防団倉庫	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ	○ ブラインド			消防団倉庫
	○	団長室分署長室	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-R t9.5+DR　t9.0		2,700	塩ビ	○ ブラインド	壁面収納棚、移動間仕切壁、キッチン ピクチャーレール中量用30kg		団長室分署長室
		物入	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ		固定棚、SUSパイプ		物入
	○	男子仮眠室	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-R t9.5+DR　t9.0		2,550	塩ビ	○ ブラインド	固定棚、SUSパイプ		男子仮眠室
	○	女子仮眠室	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-R t9.5+DR　t9.0		2,550	塩ビ	○ ブラインド	シャワーユニット、洗面化粧台		女子仮眠室
		クローゼット	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-D t9.5		2,550	塩ビ		固定棚、SUSパイプ		クローゼット
		仮眠室廊下	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-D t9.5		2,700	塩ビ				仮眠室廊下
		洗面室	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	床材立上げ		100	LGS	GB-S t12.5+EP、一部化粧FK t6.0		LGS	GB-D t9.5		2,550	塩ビ		ライニング、洗面棚、一槽シンク 防湿鏡（上下SUS枠）	水栓、ボイラー	洗面室
		男子トイレ	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	床材立上げ		100	LGS	GB-S t12.5+EP、一部化粧FK t6.0		LGS	GB-D t9.5		2,550	塩ビ		ライニング、汚垂ステップ 防湿鏡（上下SUS枠）	小便器、大便器、手洗器一体型カウンター 手摺、紙巻器	男子トイレ
		SK	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	床材立上げ		100	LGS	GB-S t12.5+EP、一部化粧FK t6.0		LGS	GB-D t9.5		2,550	塩ビ		ライニング、用具掛け、フック	スロップシンク	SK
		女子トイレ	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	床材立上げ		100	LGS	GB-S t12.5+EP、一部化粧FK t6.0		LGS	GB-D t9.5		2,550	塩ビ		ライニング、防湿鏡（上下SUS枠）	大便器、手洗器一体型カウンター、手摺 紙巻器	女子トイレ
共通		階段	±0		C(金)	長尺塩ビシートt2.0	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5+不燃ビニルクロス		LGS	GB-D t9.5		-	塩ビ				階段
		PS	-3		C(金)	素地	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5（素地）		-	-		2,700	塩ビ				PS
		EPS	-3		C(金)	素地	塩ビ		60	LGS	GB-R t12.5（素地）		-	-		2,700	塩ビ				EPS

DRAWING 仕上表-2　SCALE A1:No Scale A3:No Scale
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事　DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男
DRAWING No. A-02

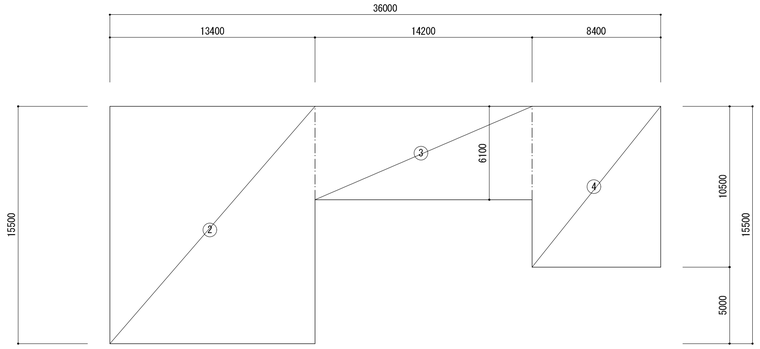


施設計画平面図

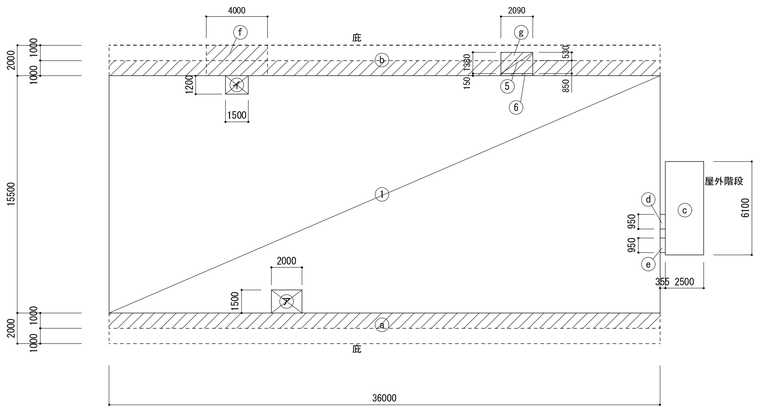
S=1:500

床面積求積表			
符号	底辺	高さ	面積
①	101.788	6.000	305.3640000
②	6.007	0.290	0.8710150
③	102.247	8.124	415.3273140
④	7.501	0.100	0.3750500
⑤	8.174	0.118	0.4822660
⑥	105.324	19.448	1024.1705760
⑦	109.119	10.875	593.3345625
⑧	72.058	17.956	646.9367240
⑨	109.119	36.011	1964.7421545
⑩	72.273	0.732	26.4519180
⑪	81.408	5.562	226.3956480
⑫	94.070	5.948	279.7641800
⑬	89.216	14.584	650.5630720
⑭	58.439	18.158	530.5676810
⑮	34.038	0.474	8.0670060
⑯	24.888	6.622	82.4041680
⑰	32.714	2.754	45.0471780
⑱	19.652	9.986	98.1224360
⑲	45.222	6.179	139.7133690
⑳	20.392	3.576	36.4608960
㉑	30.605	8.952	136.9879800
㉒	35.228	4.693	82.6625020
㉓	42.312	16.251	343.8061560
㉔	13.276	1.667	11.0655460
㉕	10.327	3.856	19.9104560
㉖	15.199	3.783	28.7489085
㉗	34.869	3.170	55.2673650
㉘	16.190	5.527	44.7410650
㉙	17.203	2.475	21.2887125
㉚	12.825	7.724	49.5301500
㉛	9.292	2.521	11.7125660
㉜	11.544	1.806	10.4242320
㉝	11.834	0.174	1.0295580
		合計	7892.3364110

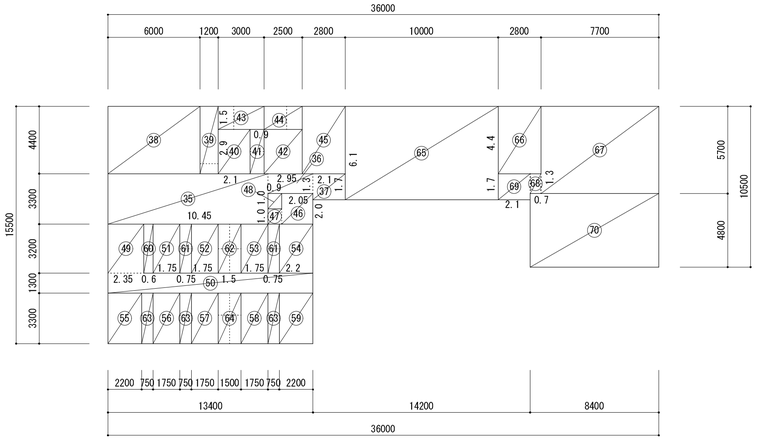
DRAWING 敷地求積図	SCALE A1：1/500 A3：1/1000	
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03	
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No. A-03



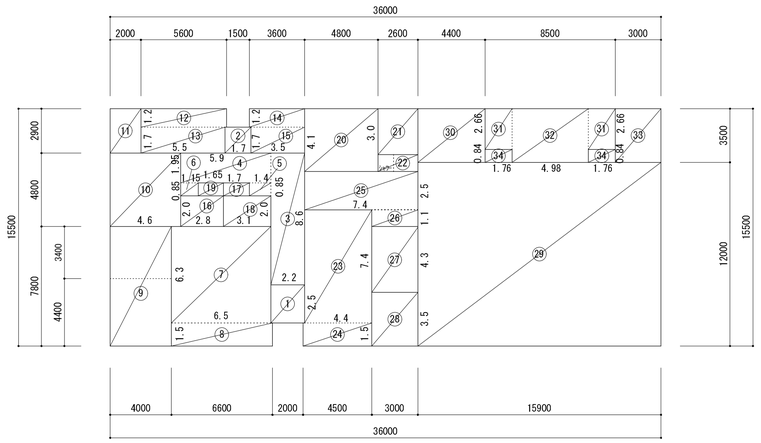
2階求積図　　S=1/200



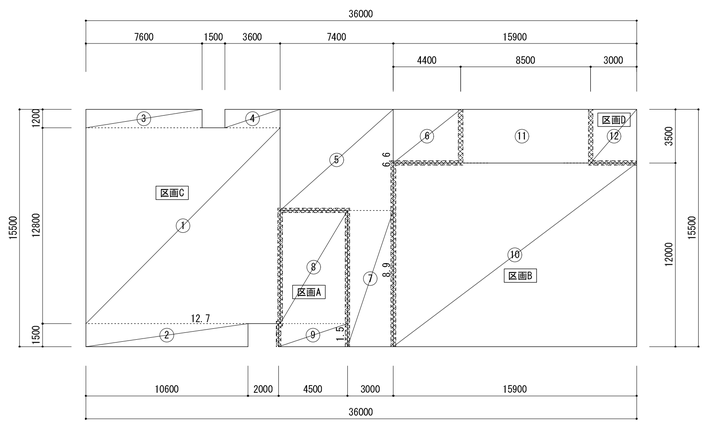
1階求積図　　S=1/200



室別2階求積図　　S=1/200



室別1階求積図　　S=1/200



防火区画図　　S=1/200

異種用途区画：LGS下地両面GB-R t=12.5+t=9.5
FP060NP-0448 (2)

各室面積表					㎡
符号	計算式	計	符号	計算式	計
①	2.20 × 2.50	5.50	㊴	1.20 × 4.40	5.28
②	1.70 × 1.70	2.89	㊵	2.10 × 2.90	6.09
③	2.20 × 8.60	18.92	㊶	0.90 × 2.90	2.61
④	5.90 × 1.95	11.505	㊷	2.50 × 2.90	7.25
⑤	1.40 × 0.85	1.19	㊸	3.00 × 1.50	4.50
⑥	1.15 × 0.85	0.9775	㊹	2.50 × 1.50	3.75
⑦	6.50 × 6.30	40.95	㊺	2.80 × 4.40	12.32
⑧	6.60 × 1.50	9.90	㊻	2.05 × 2.00	4.10
⑨	4.00 × 7.80	31.20	㊼	0.90 × 1.00	0.90
⑩	4.60 × 4.80	22.08	㊽	0.90 × 1.00	0.90
⑪	2.00 × 2.90	5.80	㊾	2.35 × 3.20	7.52
⑫	5.60 × 1.20	6.72	㊿	13.40 × 1.30	17.42
⑬	5.50 × 1.70	9.35	(51)	1.75 × 3.2	5.60
⑭	3.60 × 1.20	4.32	(52)	1.75 × 3.2	5.60
⑮	3.50 × 1.70	5.95	(53)	1.75 × 3.2	5.60
⑯	2.80 × 2.00	5.60	(54)	2.20 × 3.20	7.04
⑰	1.70 × 0.85	1.445	(55)	2.20 × 3.30	7.26
⑱	3.10 × 2.00	6.20	(56)	1.75 × 3.30	5.775
⑲	1.65 × 0.85	1.4025	(57)	1.75 × 3.30	5.775
⑳	4.80 × 4.10	19.68	(58)	1.75 × 3.30	5.775
㉑	2.60 × 3.00	7.80	(59)	2.20 × 3.30	7.26
㉒	2.60 × 1.10	2.86	(60)	0.60 × 3.20	1.92
㉓	4.40 × 7.40	32.56	(61)	0.75 × 3.20	2.40
㉔	4.50 × 1.50	6.75	(62)	1.50 × 3.20	4.80
㉕	7.40 × 2.50	18.50	(63)	0.75 × 3.30	2.475
㉖	3.00 × 1.10	3.30	(64)	1.50 × 3.30	4.95
㉗	3.00 × 4.30	12.90	(65)	10.00 × 6.10	61.00
㉘	3.00 × 3.50	10.50	(66)	2.80 × 4.40	12.32
㉙	15.90 × 12.00	190.80	(67)	7.70 × 5.70	43.89
㉚	4.40 × 3.50	15.40	(68)	0.70 × 1.30	0.91
㉛	1.76 × 2.66	4.6816	(69)	2.10 × 1.70	3.57
㉜	4.98 × 3.50	17.43	(70)	8.40 × 4.80	40.32
㉝	3.00 × 3.50	10.50	◯		
㉞	1.76 × 0.84	1.4784	◯		
㉟	10.45 × 3.30	34.485	◯		
㊱	2.95 × 1.30	3.835	◯		
㊲	2.10 × 1.70	3.57	◯		
㊳	6.00 × 4.40	26.40	◯		

1階			2階	
室名	計算式		室名	計算式
風除室	①	5.50	廊下	㉟ + ㊱ + ㊲	41.89
通用口風除室	②	2.89	昇降室 分署長室	㊳	26.40
廊下	③ + ④ + ⑤ + ⑥	32.5925	収納	㊴	5.28
事務室	⑦ + ⑧	50.85	女子仮眠室	㊵	6.09
災害対策室	⑨	31.20	ｸﾛｰｾﾞｯﾄ	㊶	2.61
食堂	⑩	22.08	洗面室	㊷	7.25
倉庫	⑪	5.80	脱衣室	㊸ + ㊹	8.25
ﾛｯｶｰ室	⑫ + ⑬	16.07	男子ﾄｲﾚ	㊺	12.32
男子ﾄｲﾚ	⑭ + ⑮	10.27	女子ﾄｲﾚ	㊻ + ㊼	5.00
多目的ﾄｲﾚ 男女子ﾄｲﾚ	⑯	5.60	SK室	㊽	0.90
物入	⑰	1.445	仮眠室廊下	㊾ + ㊿	24.94
階段	⑱	6.20	男子仮眠室.1	(51)	5.60
PS	⑲	1.4025	男子仮眠室.2	(52)	5.60
本部分団室	⑳	19.68	男子仮眠室.3	(53)	5.60
ｼｬﾜｰ洗濯室	㉑	7.80	男子仮眠室.4	(54)	7.04
脱衣室	㉒	2.86	男子仮眠室.5	(55)	7.26
救急車ｶﾞﾚｰｼﾞ	㉓ + ㉔	39.31	男子仮眠室.6	(56)	5.775
出動準備室	㉕ + ㉖	21.80	男子仮眠室.7	(57)	5.775
救急備品庫	㉗	12.90	男子仮眠室.8	(58)	5.775
消毒室	㉘	10.50	男子仮眠室.9	(59)	7.26
車庫	㉙	190.80	PS	(60)	1.92
本部分団防火衣室 資材倉庫	㉚	15.40	ｸﾛｰｾﾞｯﾄ	(61) ×2 + (62) + (63) ×3 + (64)	21.975
本部分団資材庫	㉛ ×2 + ㉜	26.7932		
油倉庫	㉝	10.50	消防団会議室	(65)	61.00
FF置場	㉞ ×2	2.9568	会議室用収納庫	(66)	12.32
			消防団書庫	(67) + (68) + (69)	48.37
			消防団倉庫	(70)	40.32
	合計	553.20		合計	382.52

求積表			㎡
符号	計算式	計	
①	36.00 × 15.50	558.00	
②	13.40 × 15.50	207.70	
③	14.20 × 6.10	86.62	
④	8.40 × 10.50	88.20	
⑤	2.09 × 1.38	2.8842	
⑥	2.09 × 0.15	0.3135	
㋐	2.00 × 1.50	3.00	
㋑	1.50 × 1.20	1.80	
ⓐ	36.00 × 1.00	36.00	
ⓑ	36.00 × 1.00	36.00	
ⓒ	2.50 × 6.10	15.25	
ⓓ	0.355 × 0.95	0.33725	
ⓔ	0.355 × 0.95	0.33725	
ⓕ	4.00 × 1.00	4.00	
ⓖ	2.09 × 0.53	1.1077	
1階床面積	① − (㋐ + ㋑) + ⑤ + ⑥	556.3977	→ 556.39
2階床面積	② + ③ + ④	382.52	
延べ床面積		938.91	
建築面積	① + ⓐ + ⓑ + ⓒ + ⓓ + ⓔ + ⓕ	649.9245	→ 649.92

面積表			㎡
符号	計算式	計	
①	12.70 × 12.80	162.56	
②	10.60 × 1.50	15.90	
③	7.60 × 1.20	9.12	
④	3.60 × 1.20	4.32	
⑤	7.40 × 6.60	48.84	
⑥	4.40 × 3.50	15.40	
⑦	3.00 × 8.90	26.70	
⑧	4.40 × 7.40	32.56	
⑨	4.50 × 1.50	6.75	
⑩	15.90 × 12.00	190.80	
⑪	8.50 × 3.50	29.75	
⑫	3.00 × 3.50	10.50	
区画A	⑧ + ⑨	39.31	
区画B	⑩ + ⑪	220.5500	→ 220.55
区画C	① + ② + ③ + ④ + ⑤ + ⑥ + ⑦	282.8400	→ 282.84
区画D	⑫	10.50	
	合計	553.20	

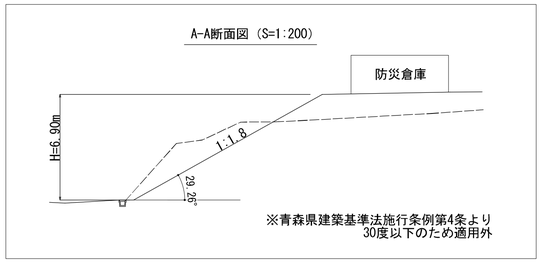
DRAWING	建物求積図、室別求積図、防火区画図	SCALE	A1：1/200　A3：1/400
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-04

◆案内図



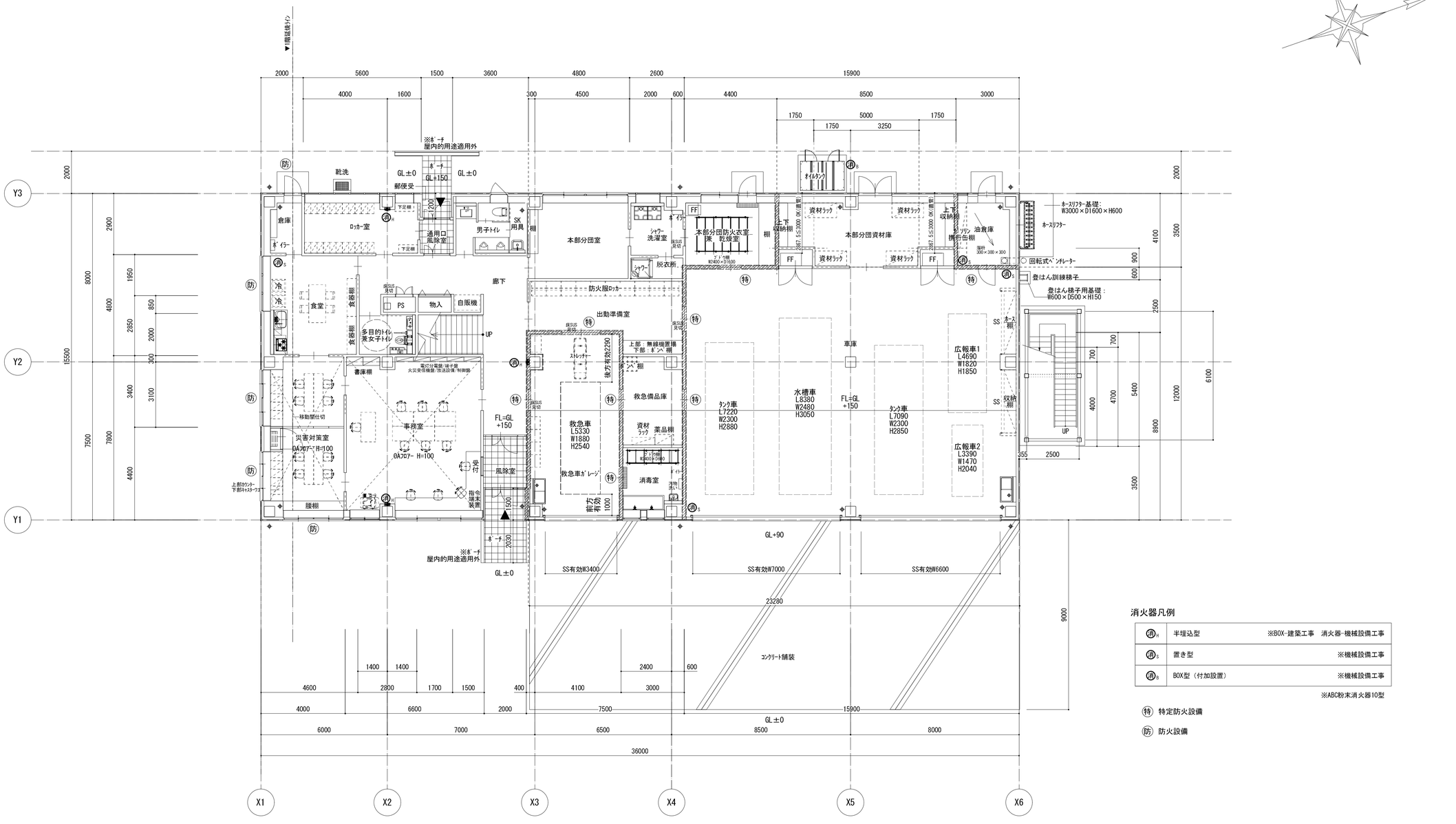
◆建築概要

地名地番	下北郡風間浦村大字易国間字古野 61-72, 61-73, 61-74, 61-75, 61-93の各一部, 61-77, 61-78, 61-79, 61-95, 61-111			
都市計画区分	都市計画区域外			
用途地域	なし			
防火指定	なし			
建蔽率				
容積率				
建物用途	消防庁舎			
構造・階数	消防庁舎：準耐火構造　2階　　防災倉庫：木造平屋建て			
敷地面積	7,892.33㎡			
番号	申請建物①-1	申請建物①-2	申請以外の建物	
棟名	消防庁舎	屋外階段	防災倉庫	
建築面積	649.92㎡		133.32㎡	
建築面積　計	783.24㎡			
建蔽率				
延床面積	938.91㎡		133.32㎡	
延床面積　計	1072.23㎡			
容積率				
最高高さ	12,102m	12,817m	4,750m	
最高軒高	9,374m	12,550m	4,050m	



配置図

DRAWING	敷地案内図・建築概要・配置図	SCALE	A1：1/500　A3：1/1000
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-05



消火器凡例

消H	半埋込型	※BOX-建築工事　消火器-機械設備工事
消S	置き型	※機械設備工事
消B	BOX型（付加設置）	※機械設備工事

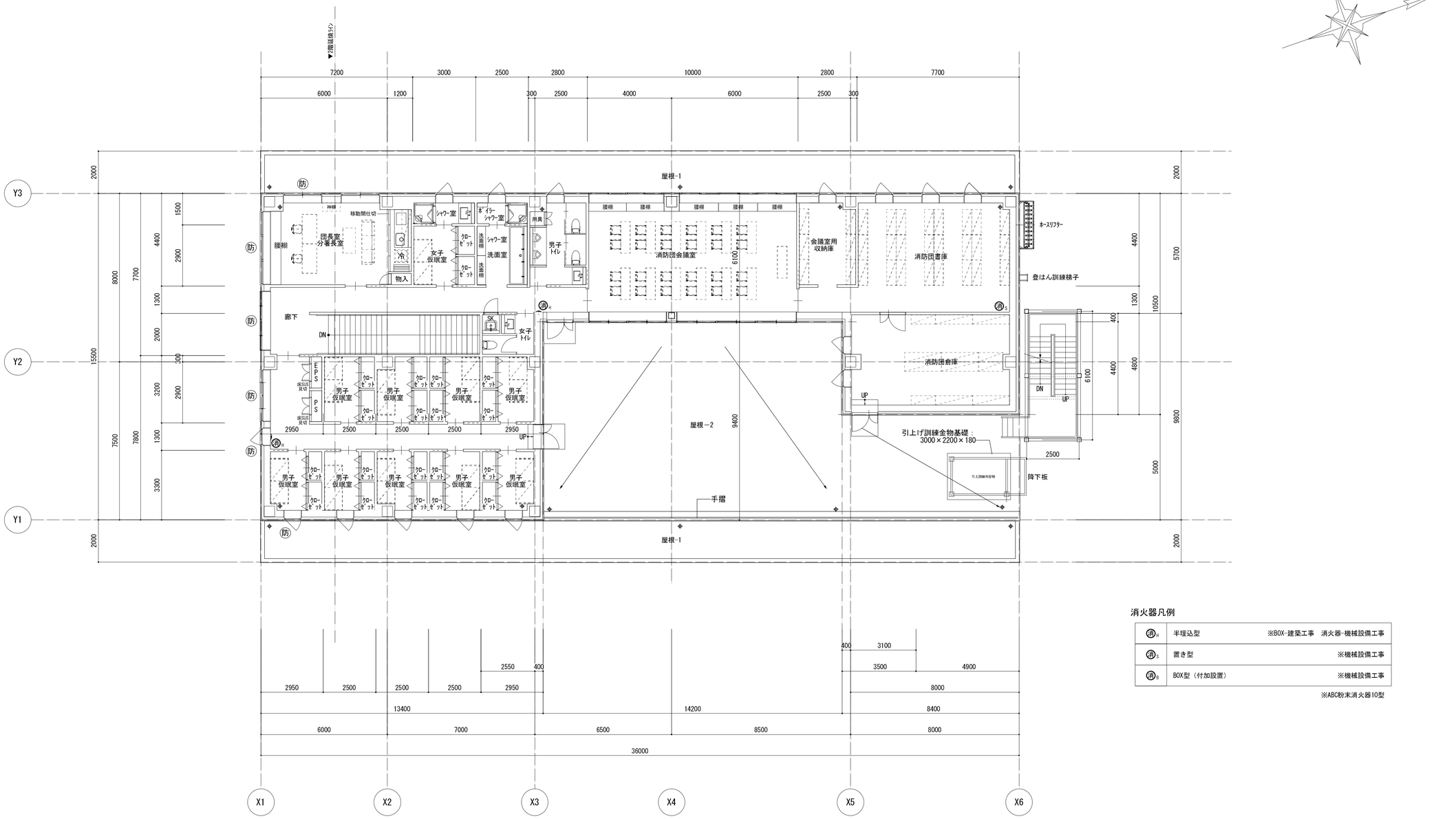
※ABC粉末消火器10型

特 特定防火設備

防 防火設備

1階平面図

DRAWING	1階平面図	SCALE A1：1/100　A3：1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. A-06



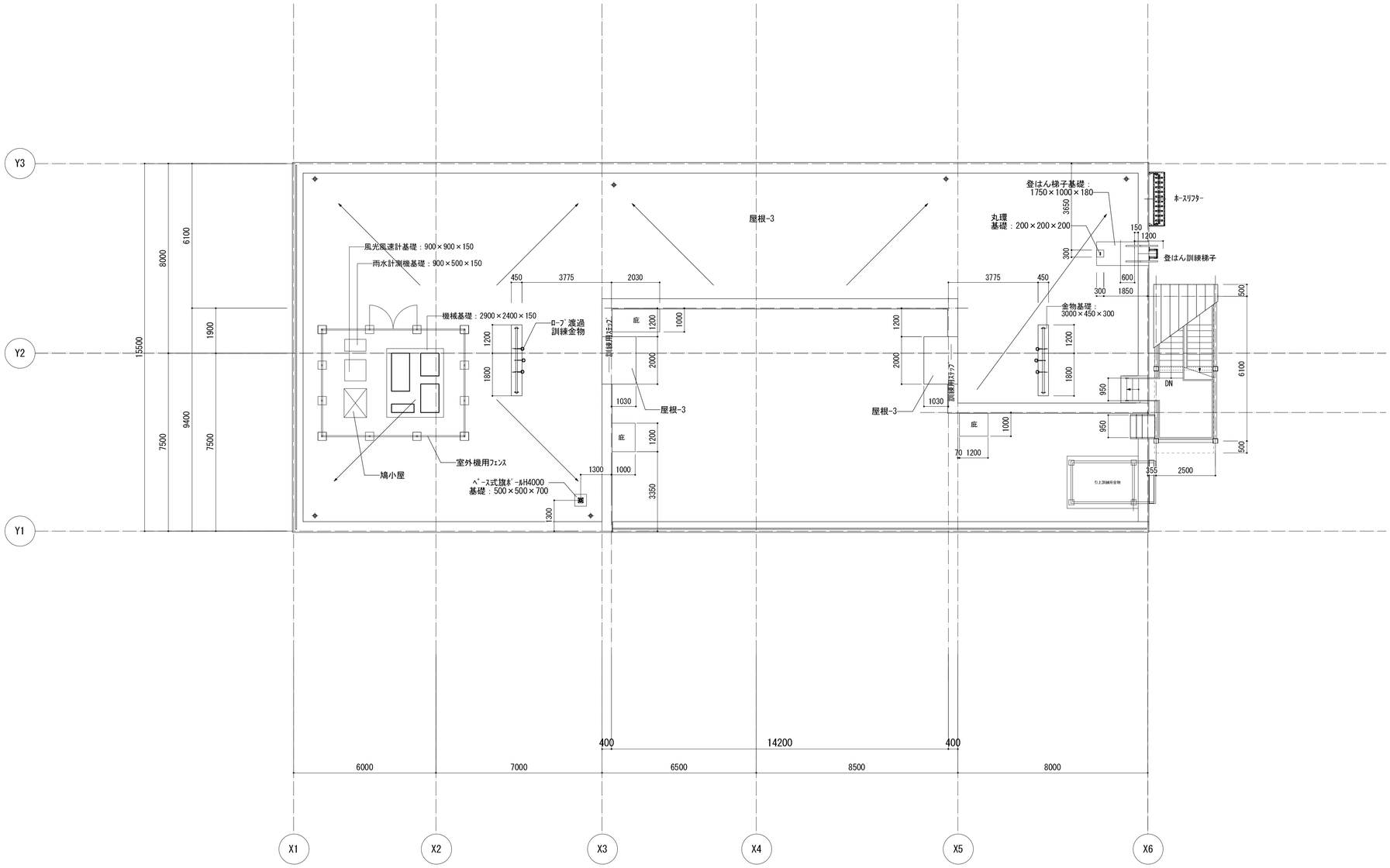
消火器凡例

消H	半埋込型	※BOX-建築工事　消火器-機械設備工事
消S	置き型	※機械設備工事
消B	BOX型（付加設置）	※機械設備工事

※ABC粉末消火器10型

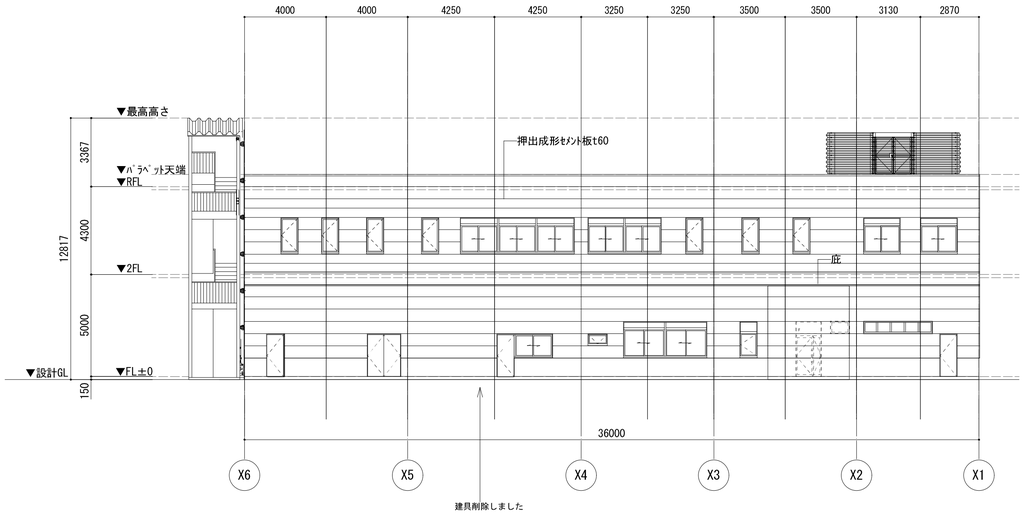
2階平面図

DRAWING	2階平面図	SCALE	A1：1/100　A3：1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	A-07

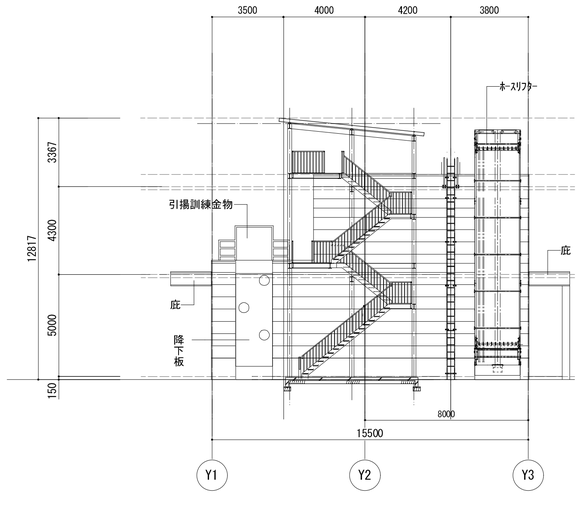


屋根伏図

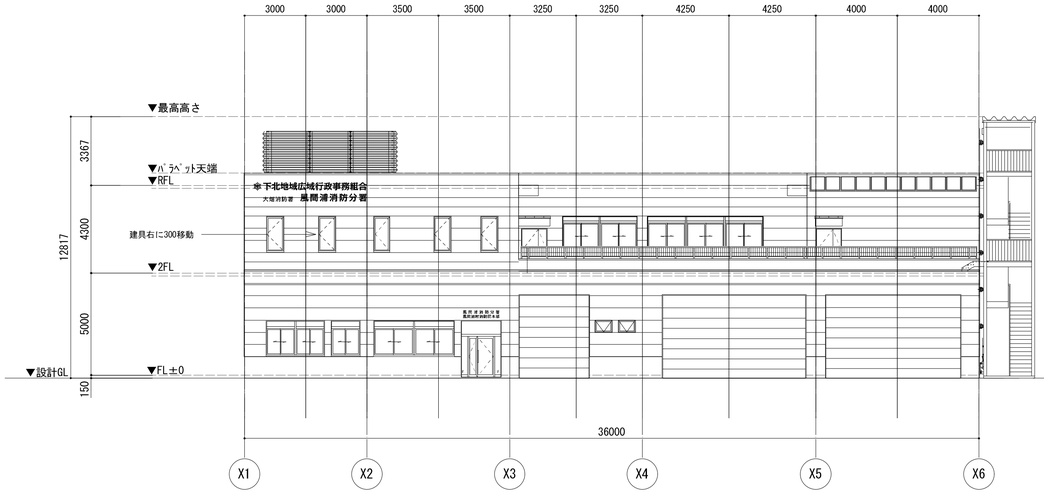
DRAWING	屋根伏図	SCALE	A1：1/100　A3：1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-08



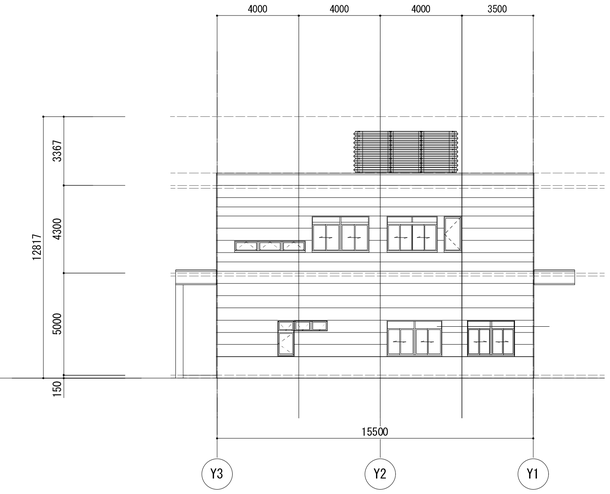
西立面図



北立面図

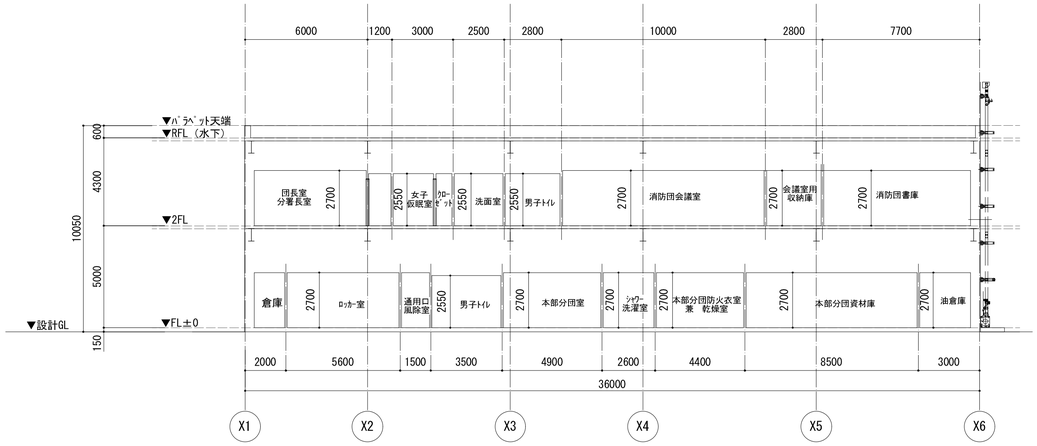


東立面図

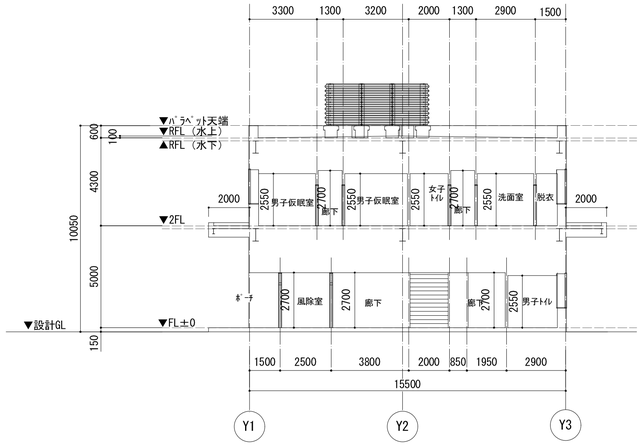


南立面図

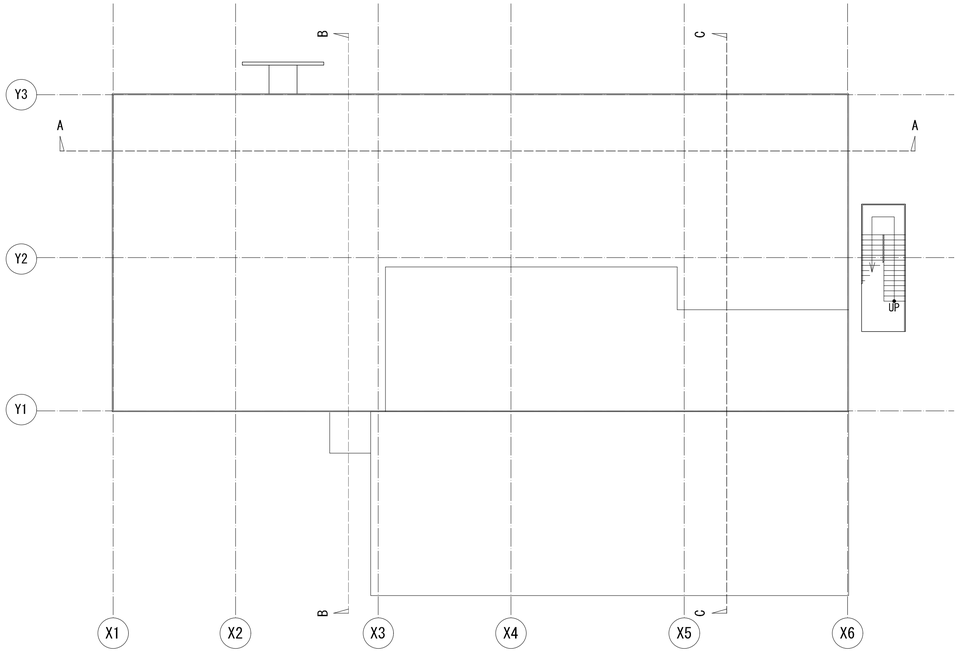
DRAWING 立面図		SCALE	A1：1/150 A3：1/300
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事		DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男			DRAWING No. A-09



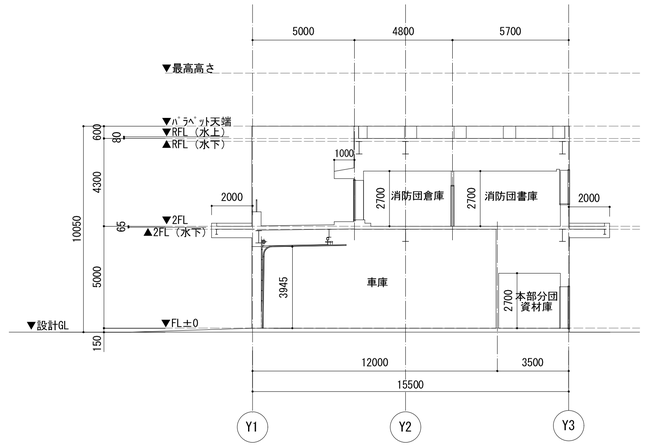
A～A　断面図



B～B　断面図

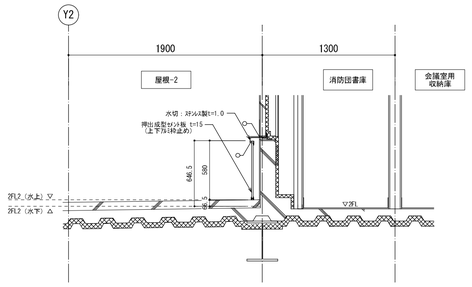


KEY PLAN



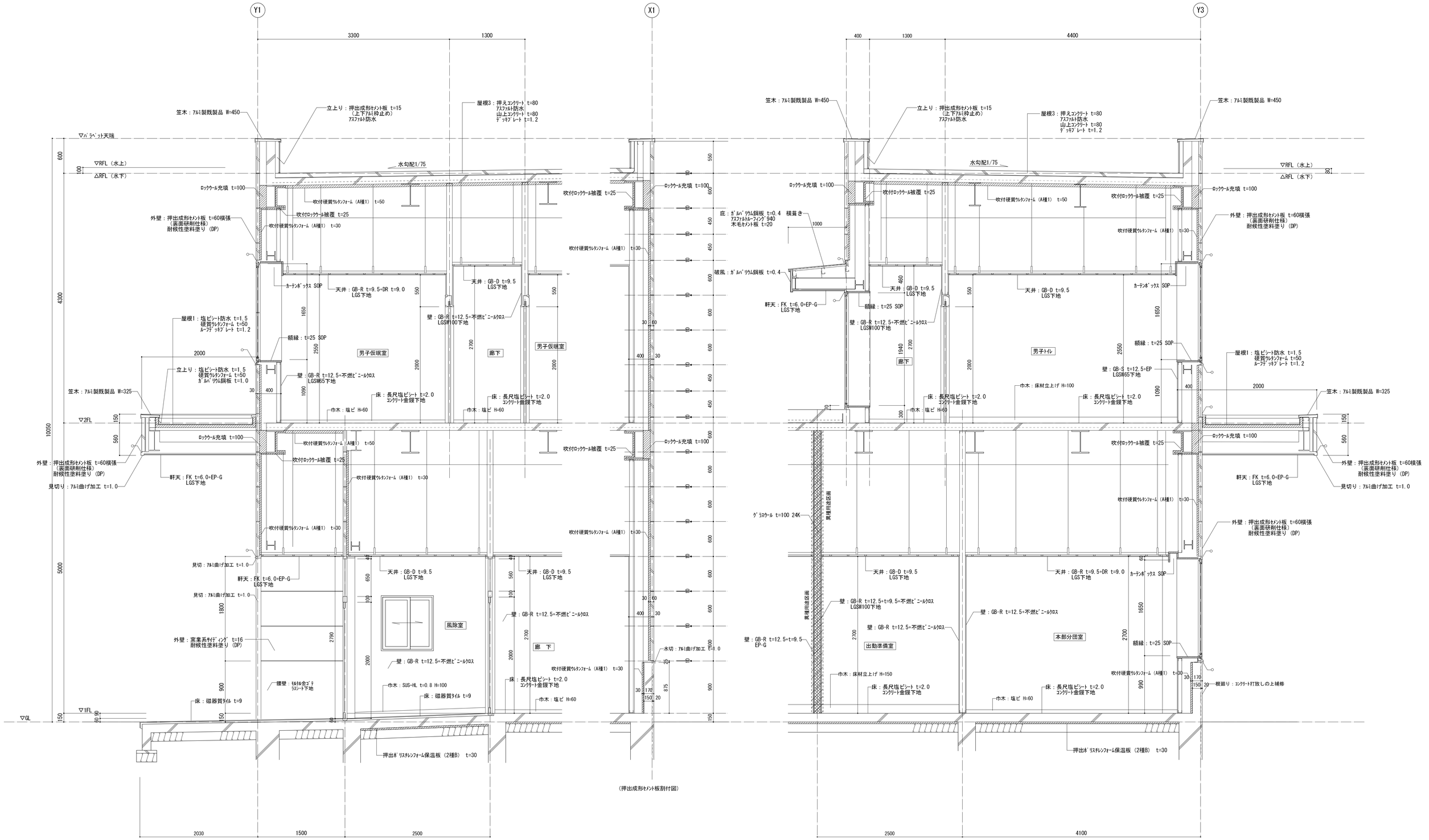
C～C　断面図

DRAWING	断面図	SCALE	A1：1/150　A3：1/300
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-10



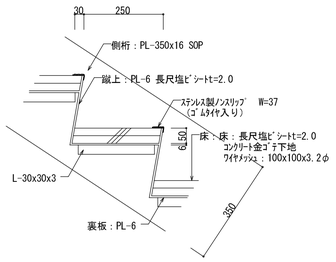
矩計図　S=1/30

DRAWING	矩計図.1	SCALE	A1：1/30　A3：1/60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	A-11

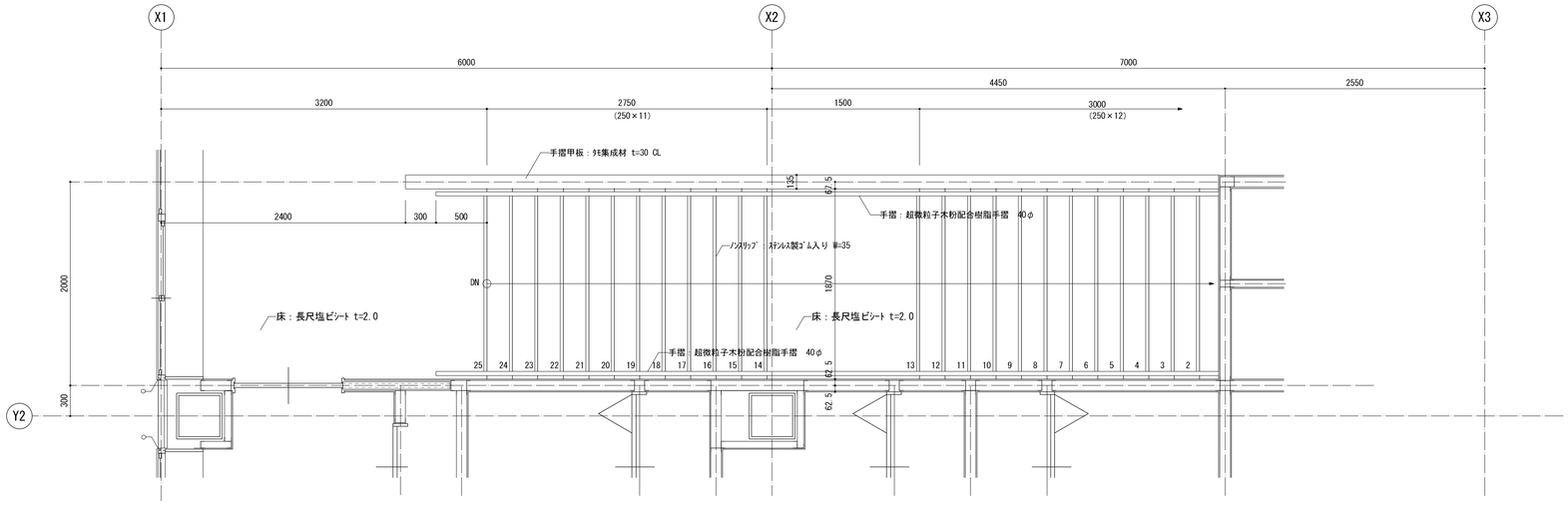


矩計図　S=1/30

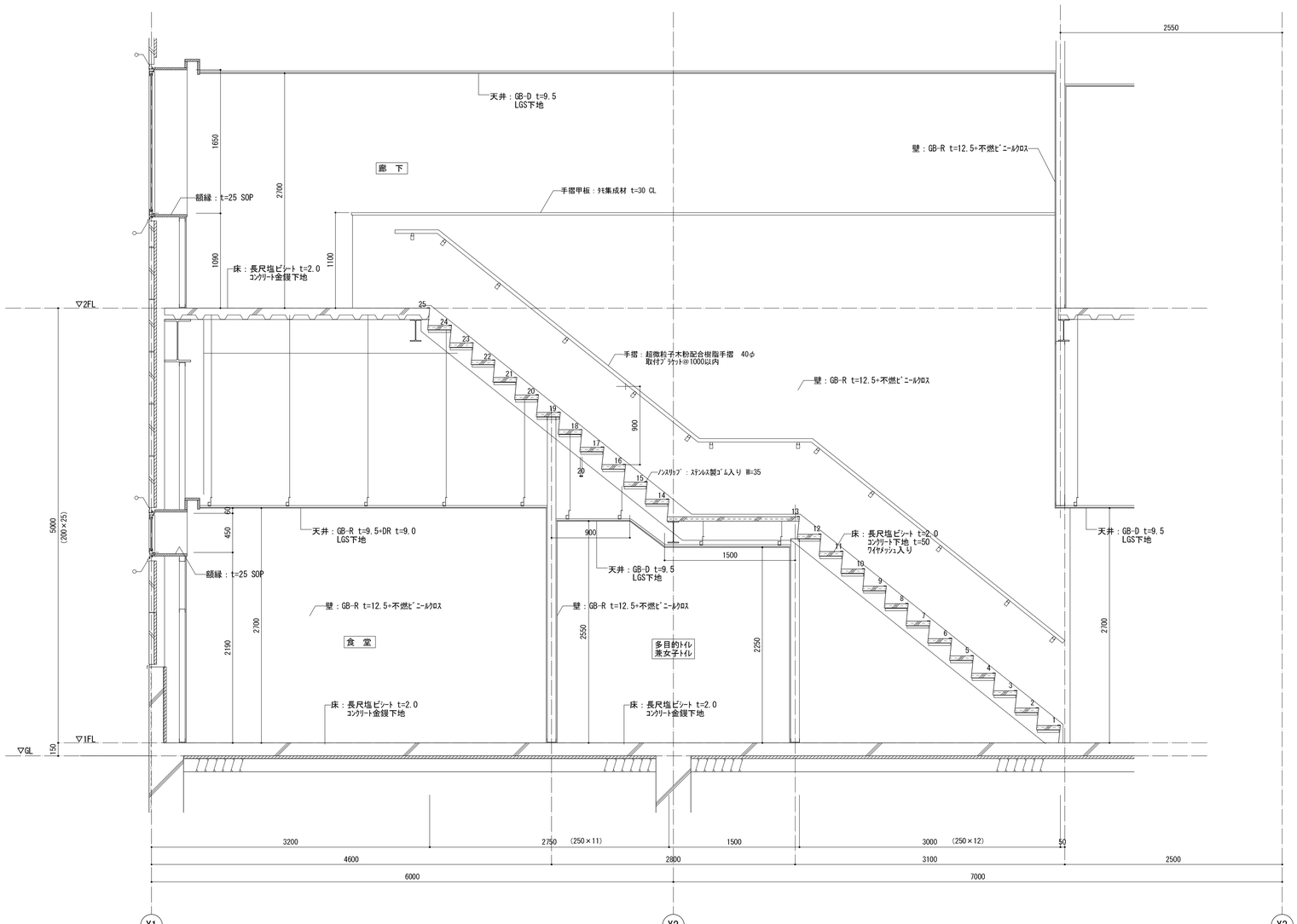
DRAWING	矩計図.2	SCALE	A1：1/30　A3：1/60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	A-12



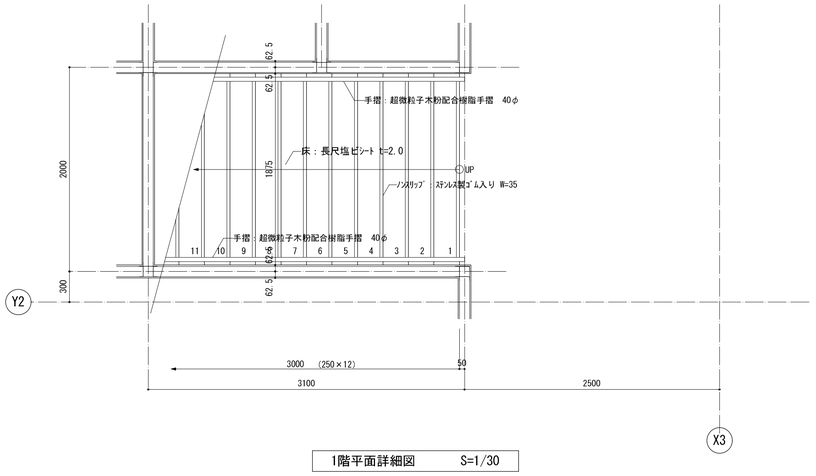
詳細図　S=1/10



2階平面詳細図　S=1/30

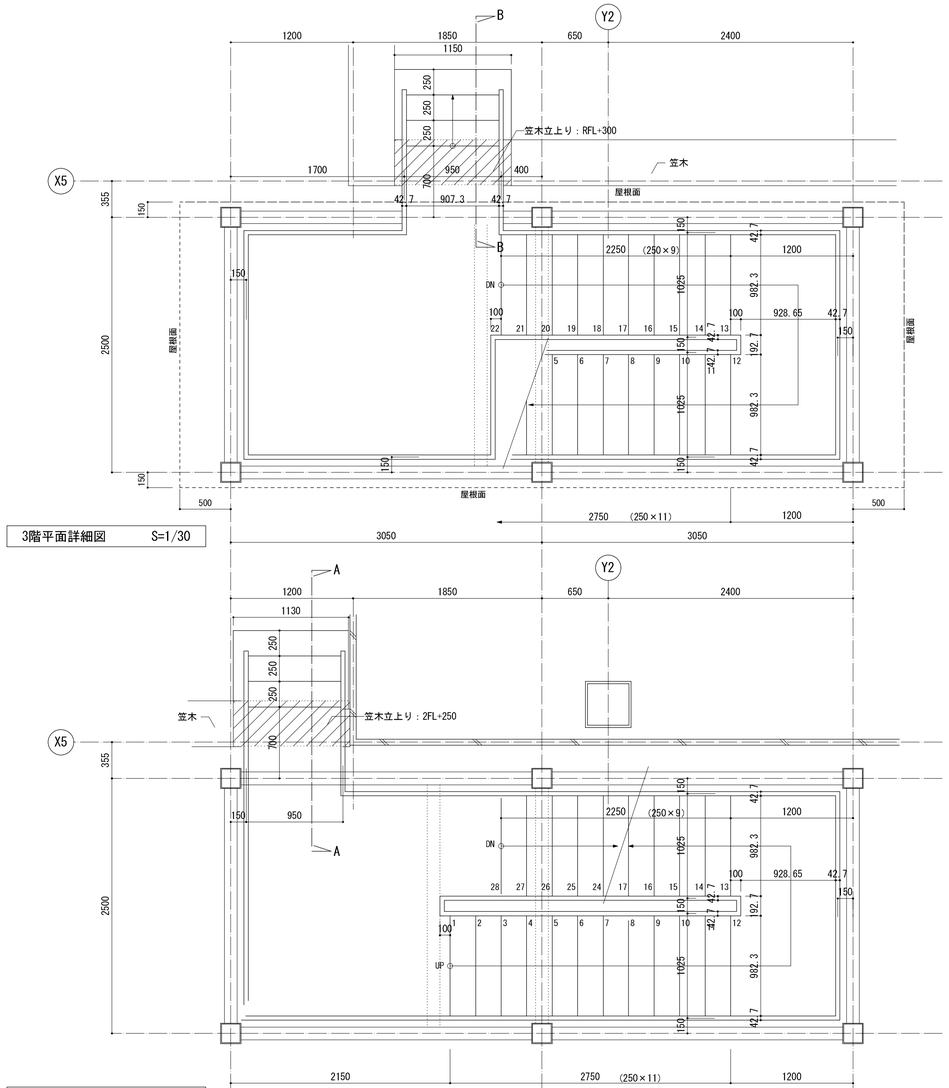


断面詳細図　S=1/30



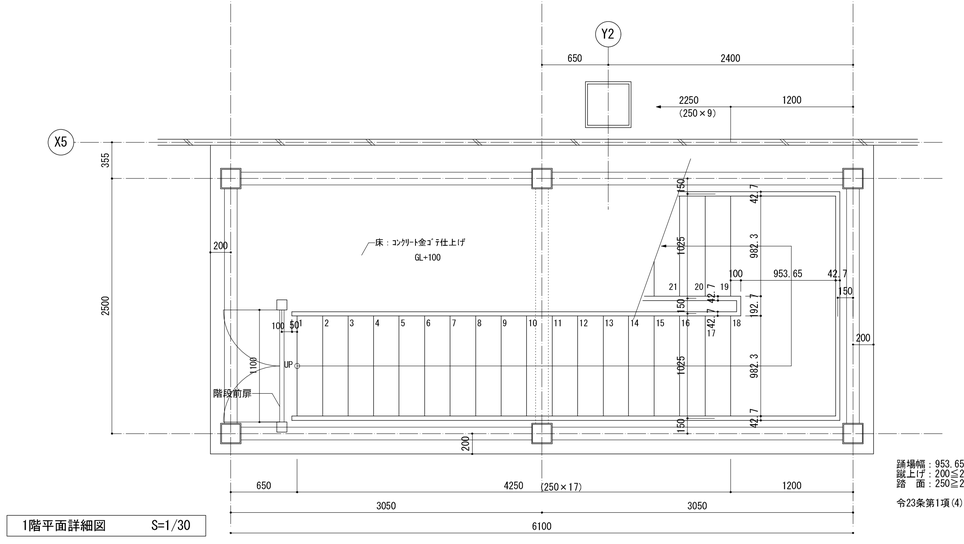
1階平面詳細図　S=1/30

DRAWING	階段詳細図	SCALE	A1：1/30 A3：1/60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-13



3階平面詳細図　S=1/30

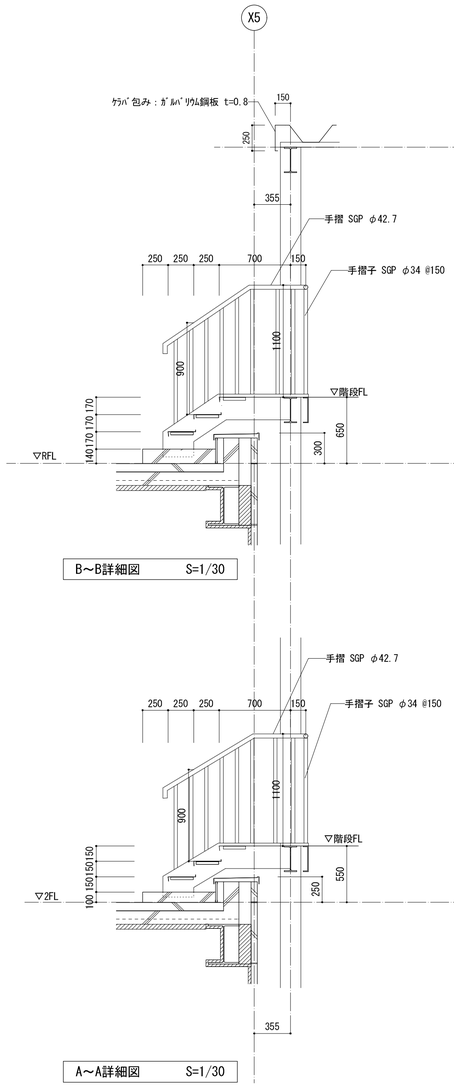
2階平面詳細図　S=1/30



1階平面詳細図　S=1/30

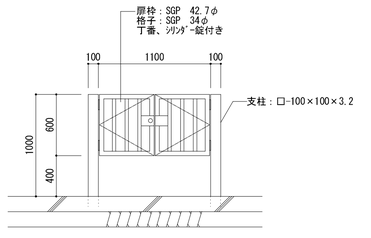
踊場幅：953.65≧750　OK
蹴上げ：200≦220　OK
踏　面：250≧210　OK

令23条第1項(4)に該当



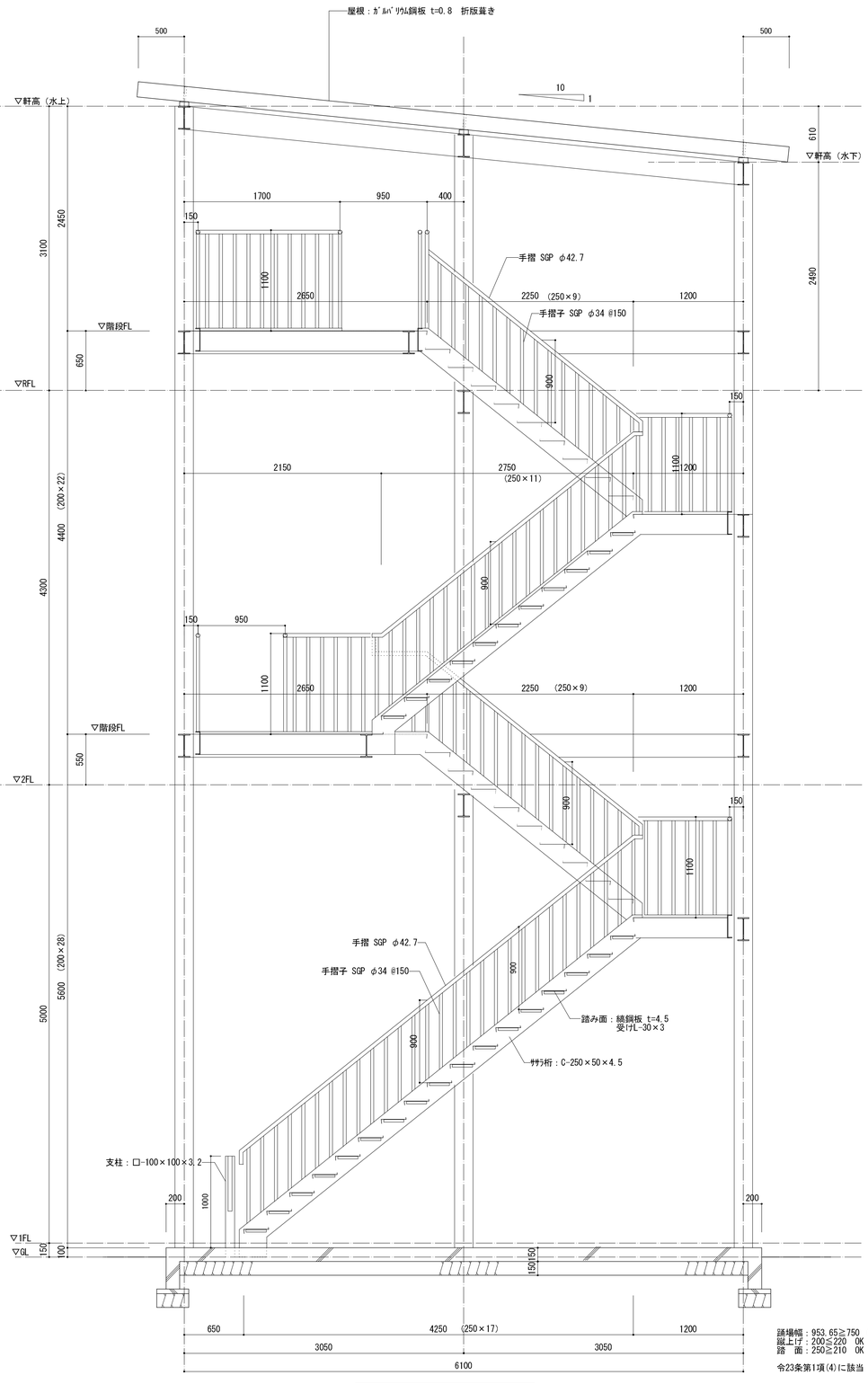
B～B詳細図　S=1/30

A～A詳細図　S=1/30



階段前扉　S=1/30

※　屋外階段の鉄骨、手摺は溶融亜鉛メッキ仕上げとする。



踊場幅：953.65≧750　OK
蹴上げ：200≦220　OK
踏　面：250≧210　OK

令23条第1項(4)に該当

断面詳細図　S=1/30

DRAWING	屋外階段詳細図	SCALE	A1：1/30　A3：1/60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-14

X1 X2 X3 X4 X5 X6

Y1 Y2 Y3

6000 7000 6500 8500 8000

2000 5600 1500 3600 4800 2600 4400 8500 3000

150 4000 1600 1165 2435 300 2000 600 1760 4980 1760 150

◁柱面 柱面▷

4000

外壁裏面：窯業系サイディング t=14

1500 2090 1500

1100 800 100 610 70 610 70 610 70 610 70 610 360 360 900 340 1800 800 1000 650 1985 70 1985 100 740 900 960 830 1800 70 800 900 2000 1760 1760

靴洗 コーナー見切：ｱﾙﾐ曲げ加工 t=1.0 ポーチ コーナー見切：ｱﾙﾐ曲げ加工 t=1.0

下足棚 甲板：ｶﾞｽﾄﾌｫｰﾑ t=19 甲板：ｶﾞｽﾄﾌｫｰﾑ t=19

倉庫 ロッカー室 通用口風除室 男子トイレ SK用具棚 本部分団室 シャワー洗濯室 ボイラー 本部分団防火衣室 兼 乾燥室 ブドウ棚（別途） インサート金物2個所 上下収納棚 資材ラック 本部分団資材庫 湿枡 300×300×300 油倉庫 ガソリン携行缶棚 ガレーチング：W210×L800

下足棚 甲板：ｶﾞｽﾄﾌｫｰﾑ t=19 甲板：ｶﾞｽﾄﾌｫｰﾑ t=19 脱衣所 シャワー

廊下 防火扉ロッカー

ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ：ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ樹脂製W210 インサート M16全ﾈｼﾞ L=2500 ▽ﾃﾞｯｷ ▽CH ﾌﾞﾄﾞｳ棚下地金物 S=1/30

ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ断面図 S=1/30 内部：防水ﾓﾙﾀﾙ t=20

（異種用途区画） ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t=100 24K

冷 冷 食堂 厨 食器棚 食器棚 床SUS見切 PS 物入 自販機 多目的ﾄｲﾚ 兼女子ﾄｲﾚ 階段詳細図参照 UP

床SUS見切 （異種用途区画） ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t=100 24K ｽﾄﾚｯﾁｬｰ 後方有効 2190 上部：無線機置場 下部：ﾎﾞｲﾗｰ棚 ﾎﾞｲﾗｰ棚 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t=100 24K

車庫 広報車1 L4690 W1820 H1850

水槽車 L8380 W2480 H3050 タンク車 L7220 W2300 H2880 タンク車 L7090 W2200 H2850 SS ホース棚 収納棚 屋外階段 階段詳細図参照

書庫棚 複合型防災盤/分電機

床SUS見切 救急備品庫 （異種用途区画） ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t=100 24K 救急車 L5330 W1880 H2540 救急車ｶﾞﾚｰｼﾞ ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t=100 24K 資材ﾗｯｸ 薬品棚 ﾌﾞﾄﾞｳ棚（別途） ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ：W210×L1000 インサート金物8個所 消毒室 ﾎﾞｲﾗｰ 汚物流し 勾配 勾配 広報車2 L3390 W1470 H2040

(B) 移動間仕切 事務室 OAﾌﾛｱｰ H=100 災害対策室 OAﾌﾛｱｰ H=100 (A) 上部ｶｳﾝﾀｰ 下部ｷｬﾋﾞﾈｯﾄｰﾜｺﾞﾝ 腰棚 指令端末装置 風除室 受付 甲板：SUS t=1.0 甲板：SUS t=1.0

ｺｰﾅｰ見切：ｱﾙﾐ曲げ加工 t=1.0 ｺｰﾅｰ見切：ｱﾙﾐ曲げ加工 t=1.0 ポーチ 立上り壁：W150×H150 コンクリート舗装

1090 1370 70 1370 100 1360 360 360 1915 70 1915 340 480 3400 220 785 360 785 960 400 7000 500 500 6600 900

280 110

4000 6600 2000 4500 6500 3000 15900 8000

6000 7000 8500 8000

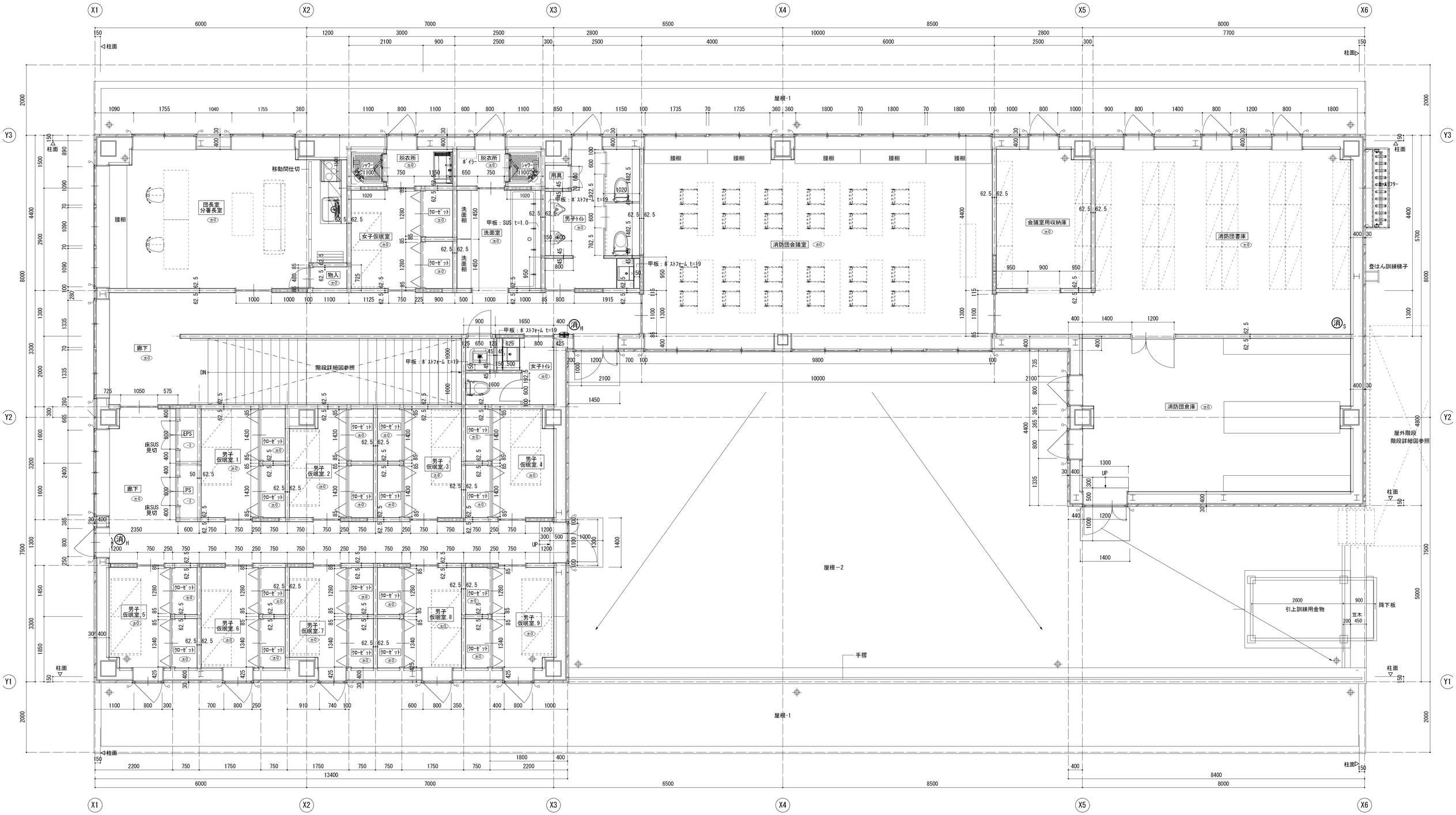
A 展開方向 B C D

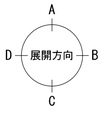
資材庫 GB-R t=12.5+t=9.5 LGSW100下地 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ t=100 24K 車庫 GB-R-H-t9.5+GB-F-t12.5 FP060NP-0448(2) 12.5+9.5 100 12.5+9.5

異種用途区画 断面図 S=1/30

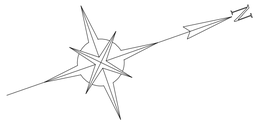
1階平面詳細図 S=1/50

DRAWING	1階平面詳細図	SCALE	A1：1/50 A3：1/100
PROJECT	風間浦村消防庁舎建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男			DRAWING No. A-15

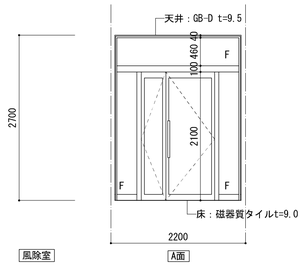




2階平面詳細図　S=1/50

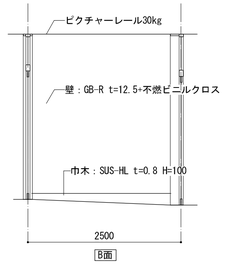


DRAWING	2階平面詳細図	SCALE	A1 : 1/50　A3 : 1/100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	A-16

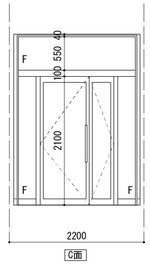


風除室

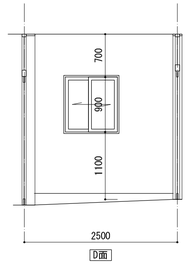
A面



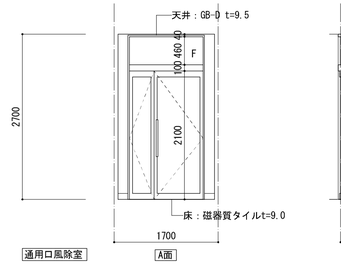
B面



C面

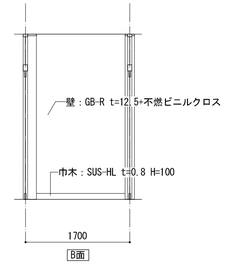


D面

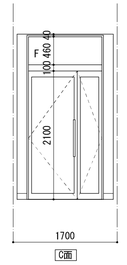


通用口風除室

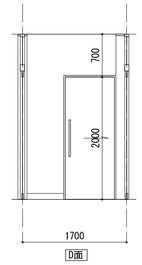
A面



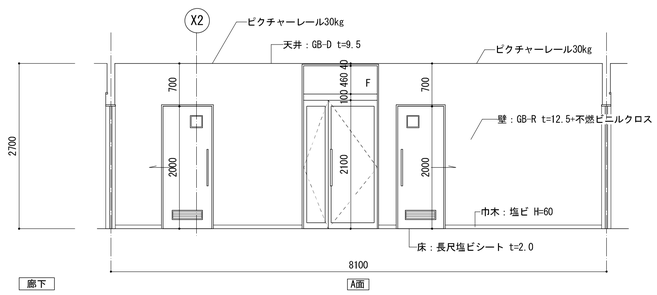
B面



C面

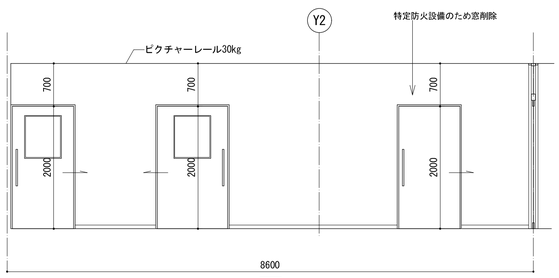


D面

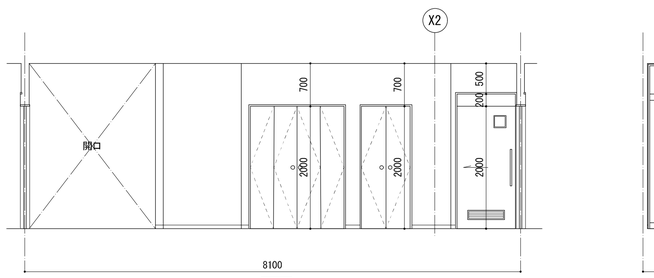


廊下

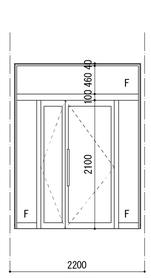
A面



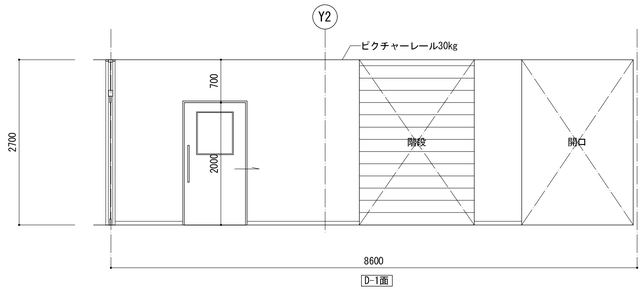
B面



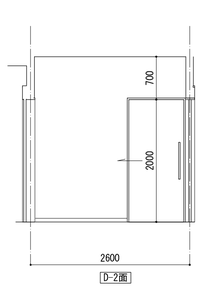
C-1面



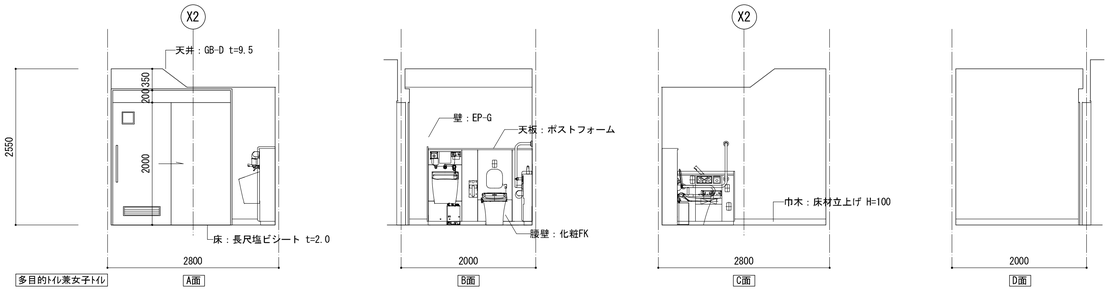
C-2面



D-1面



D-2面



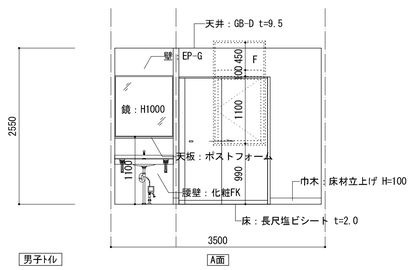
多目的トイレ兼女子トイレ

A面

B面

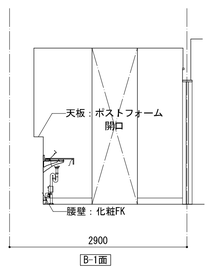
C面

D面

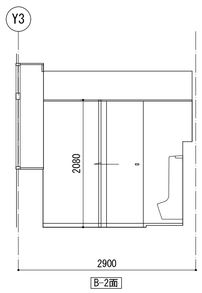


男子トイレ

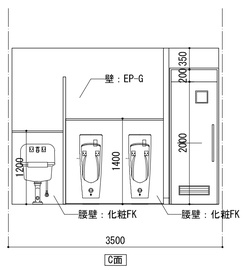
A面



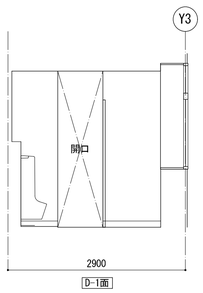
B-1面



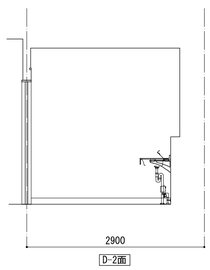
B-2面



C面



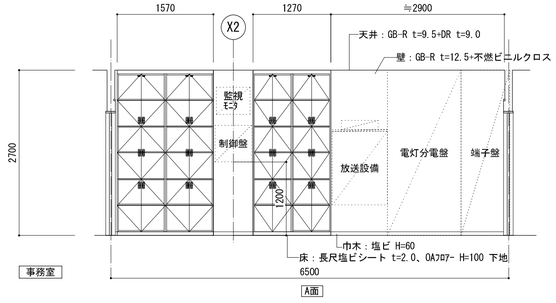
D-1面



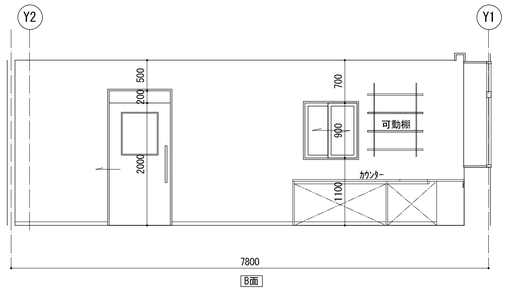
D-2面

DRAWING 1階展開図. 1	SCALE A1：1/50 A3：1/100	
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024. 03	
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No. A-17

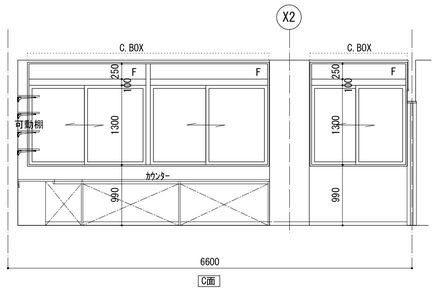
事務室



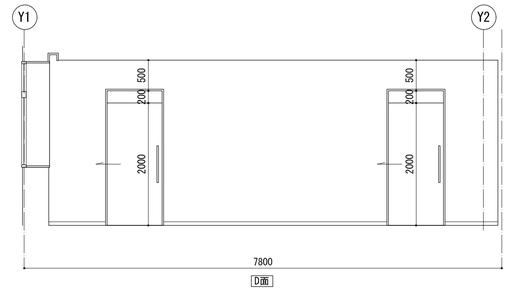
A面



B面

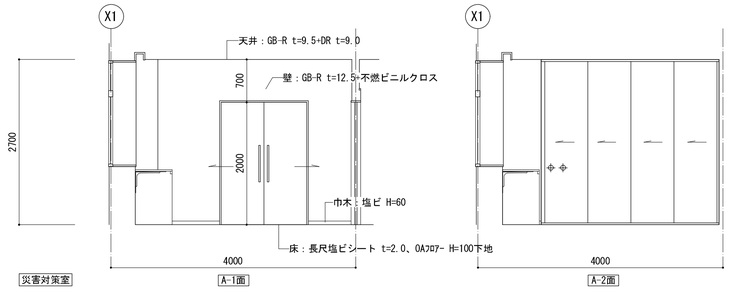


C面



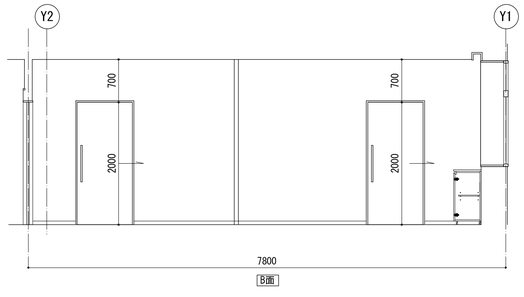
D面

災害対策室

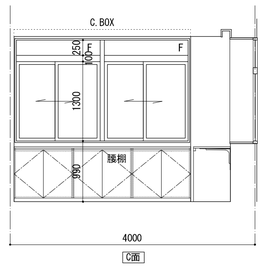


A-1面

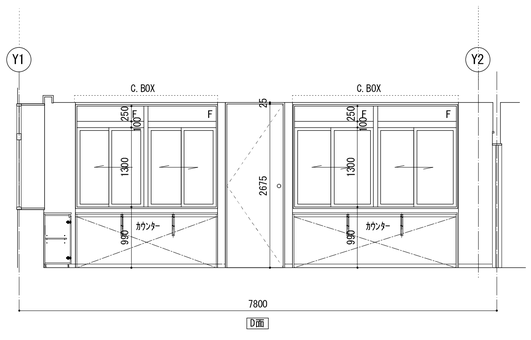
A-2面



B面

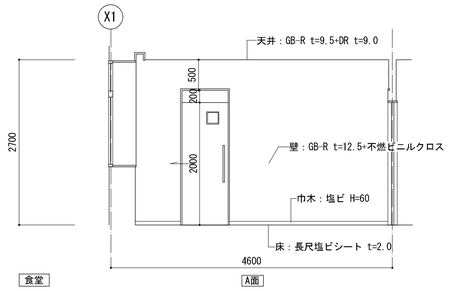


C面

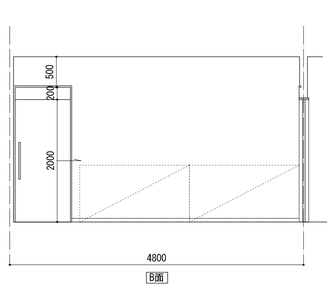


D面

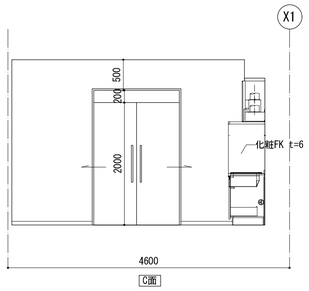
食堂



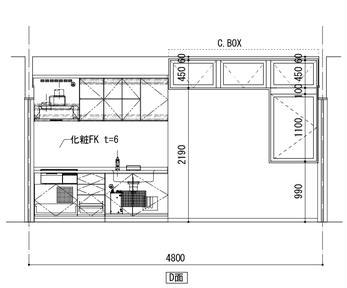
A面



B面

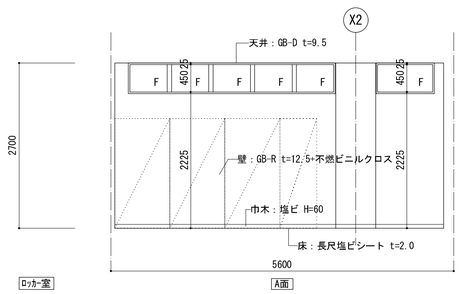


C面

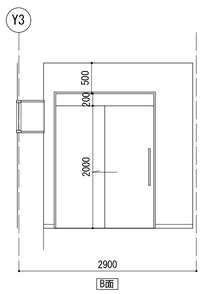


D面

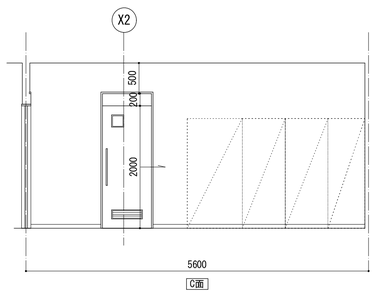
ロッカー室



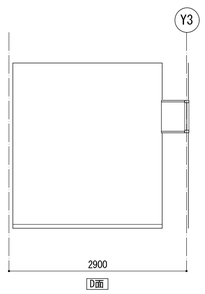
A面



B面

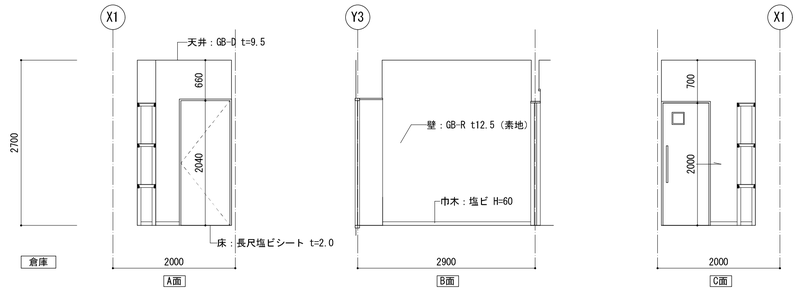


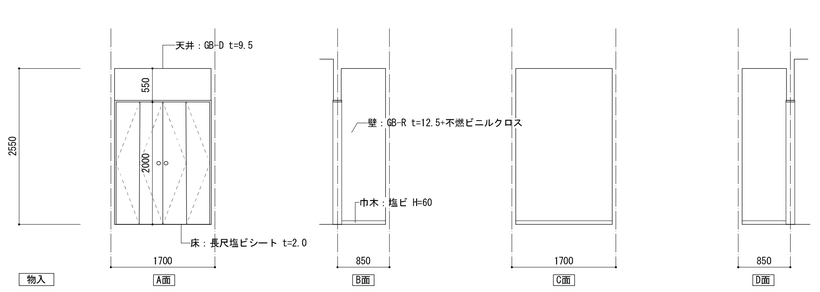
C面

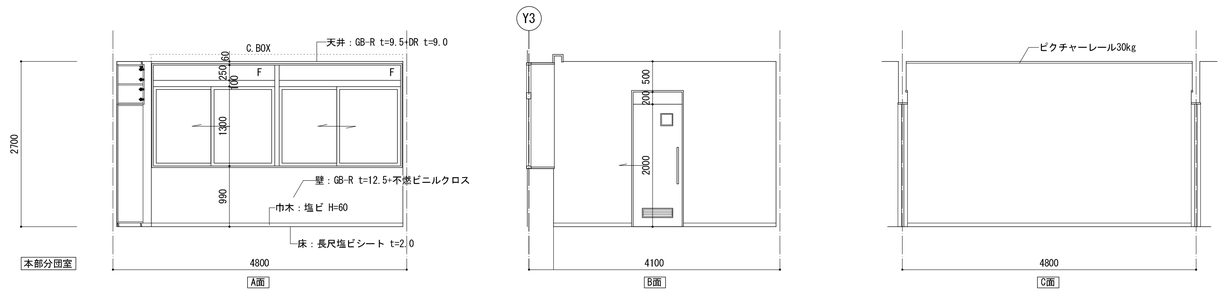


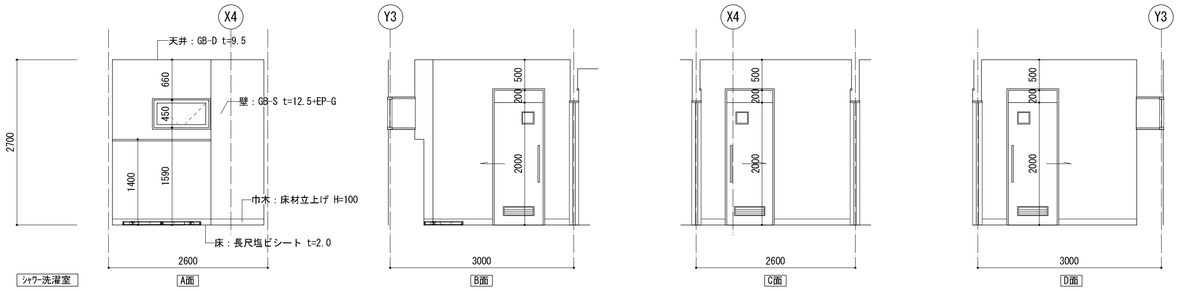
D面

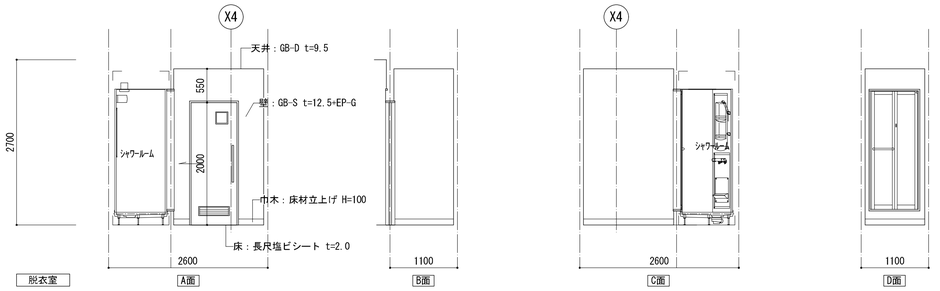
DRAWING	1階展開図. 2	SCALE	A1：1/50　A3：1/100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024. 03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-18

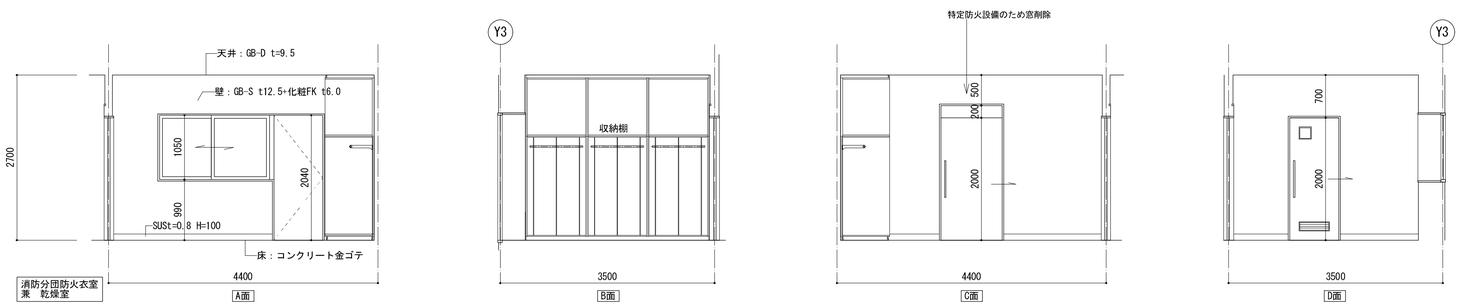




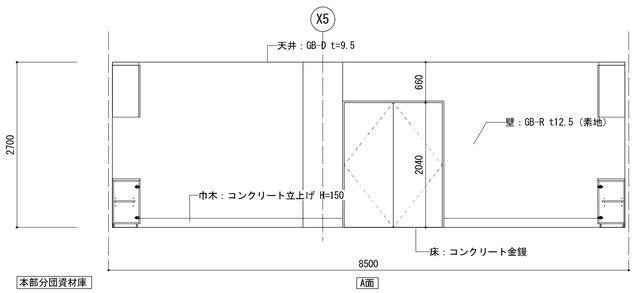




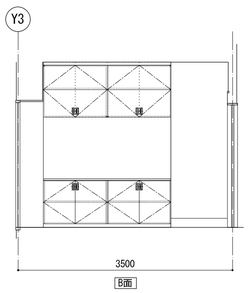




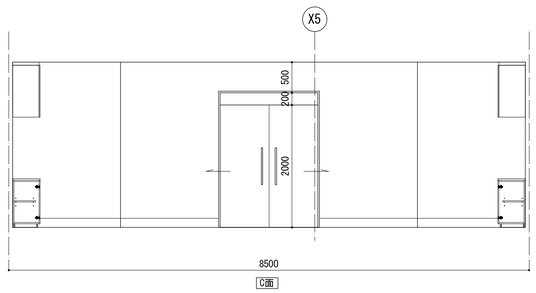
DRAWING	1階展開図. 3	SCALE	A1：1/50　A3：1/100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024. 03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	A-19



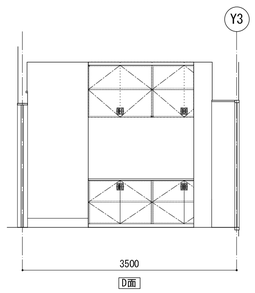
本部分団資材庫 A面



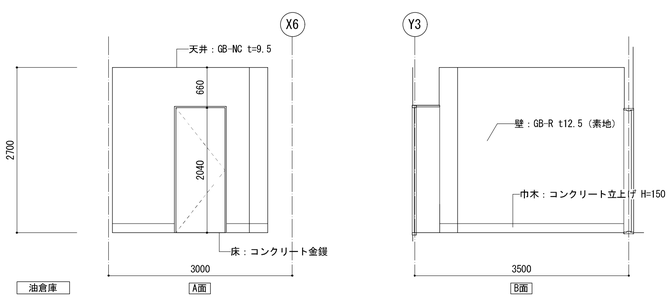
B面



C面

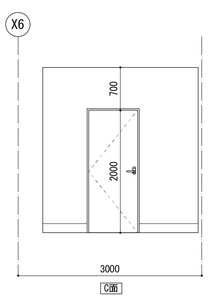


D面

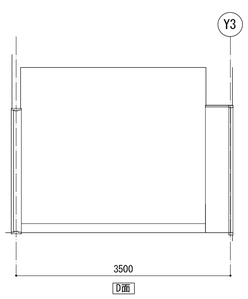


油倉庫 A面

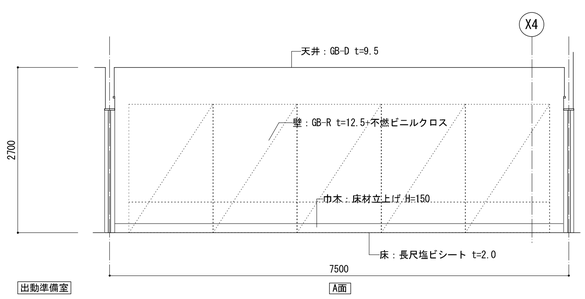
B面



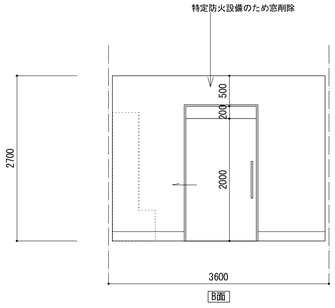
C面



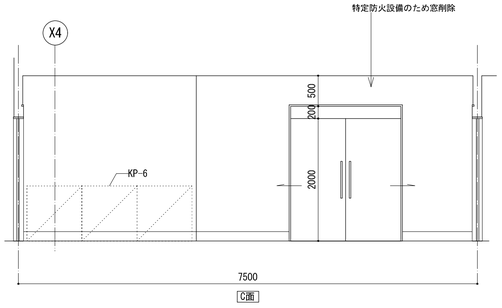
D面



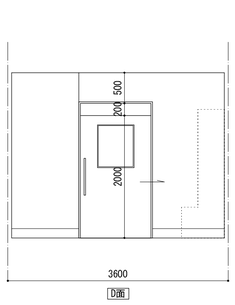
出勤準備室 A面



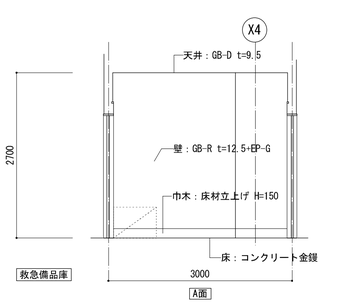
B面



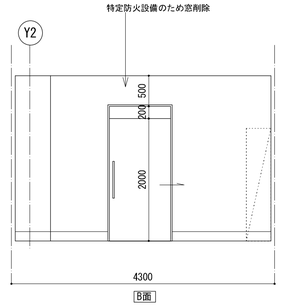
C面



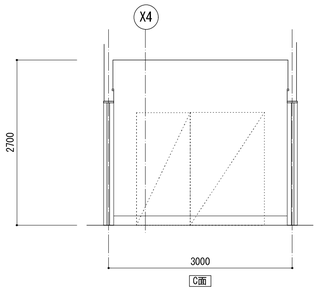
D面



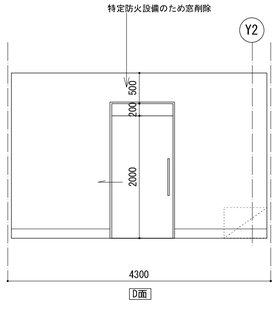
救急備品庫 A面



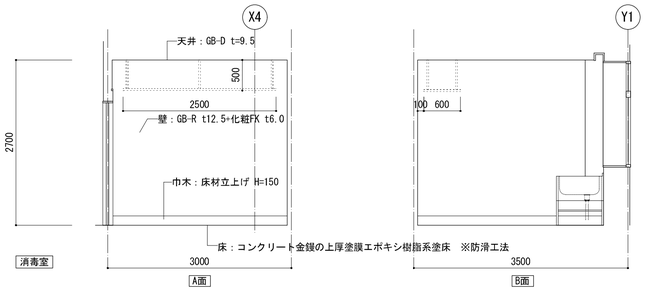
B面



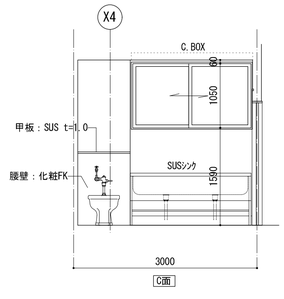
C面



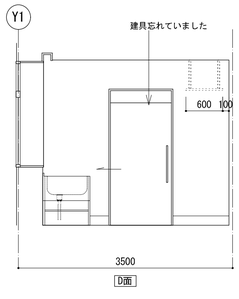
D面



消毒室 A面 B面

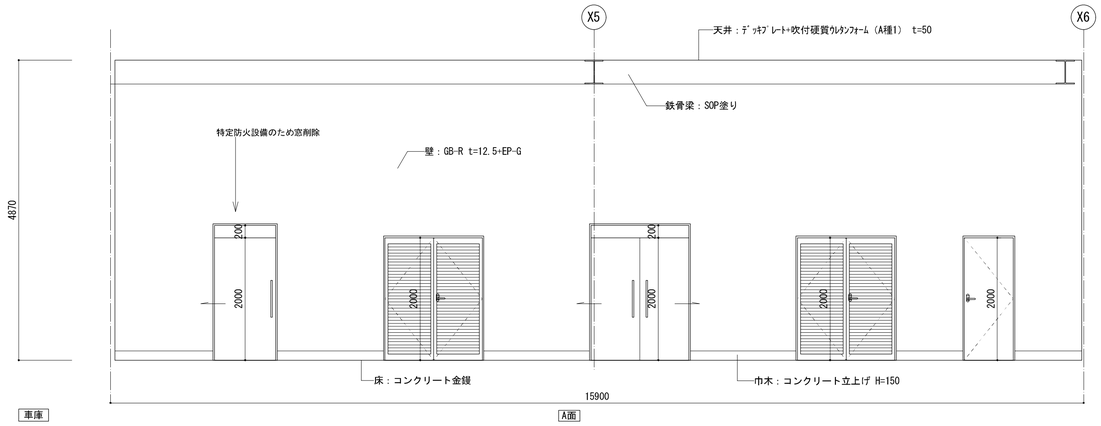


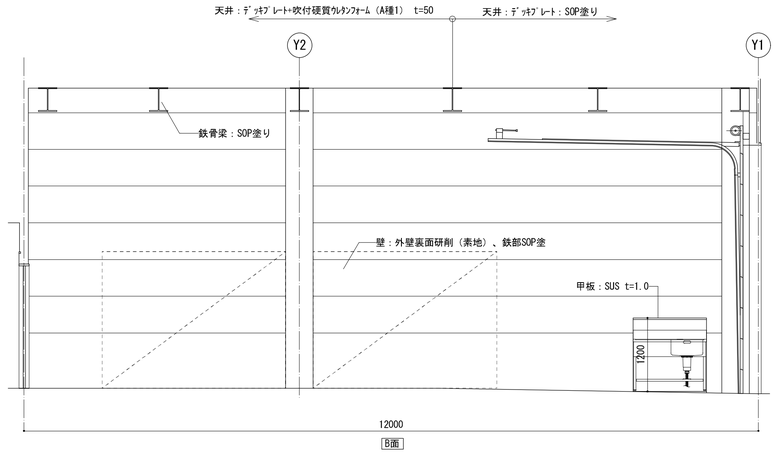
C面

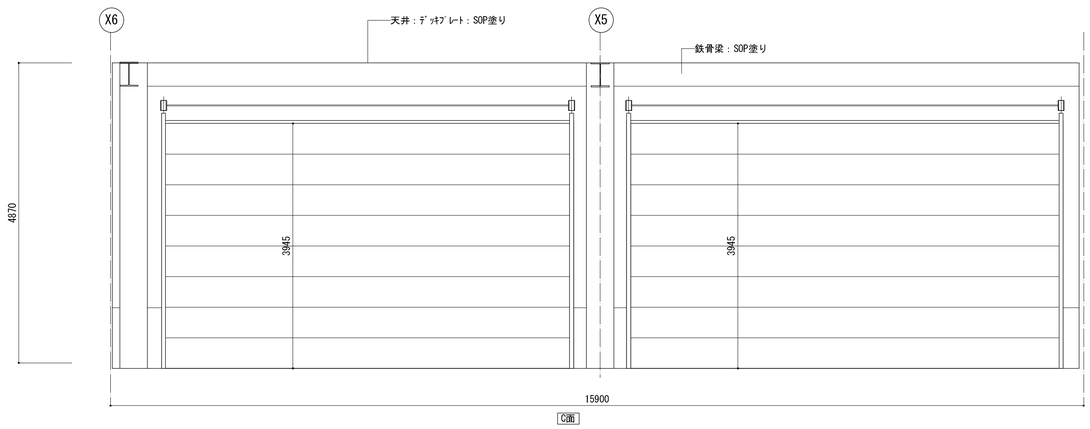


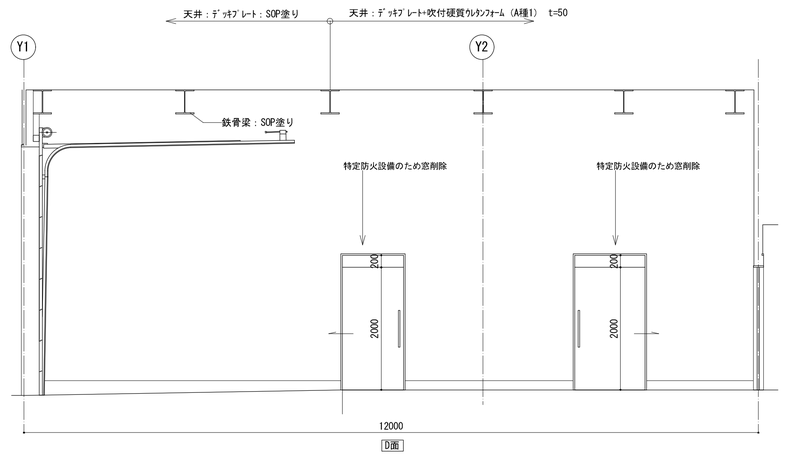
D面

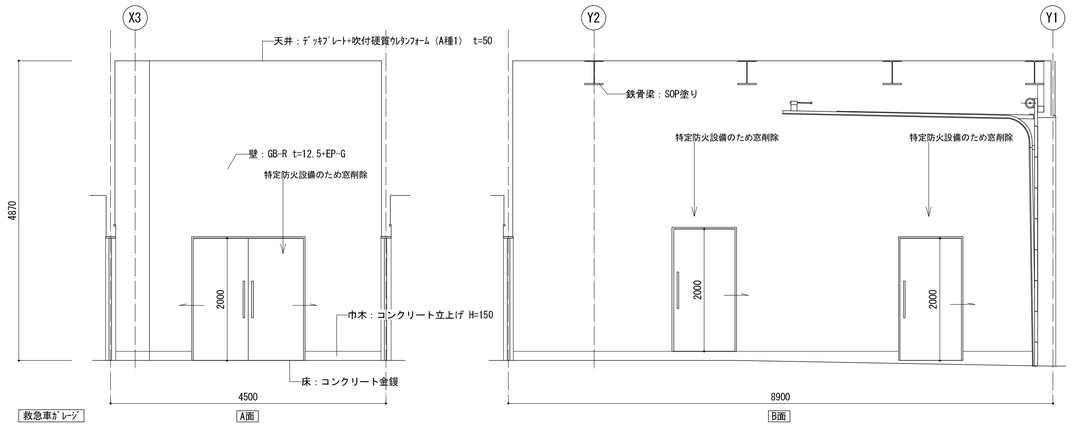
DRAWING 1階展開図. 4	SCALE A1：1/50 A3：1/100
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男	DRAWING No. A-20

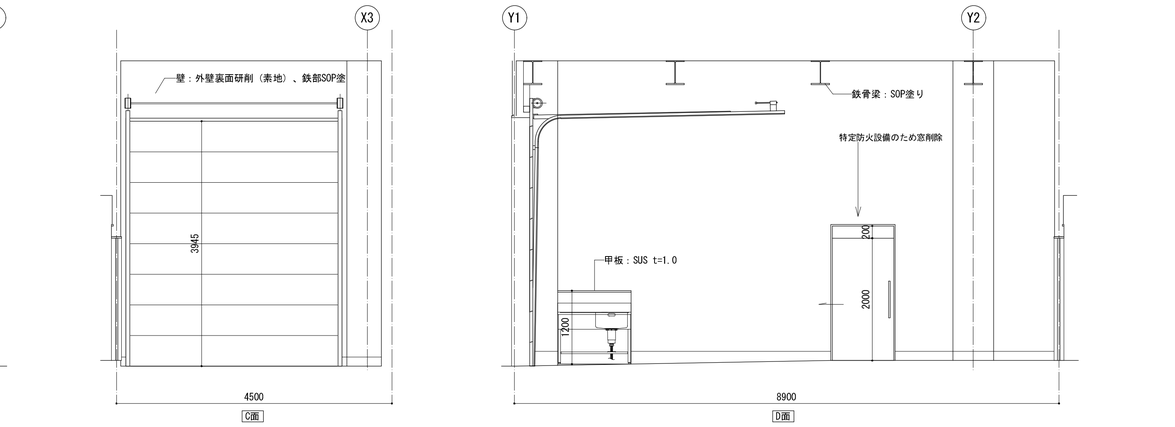




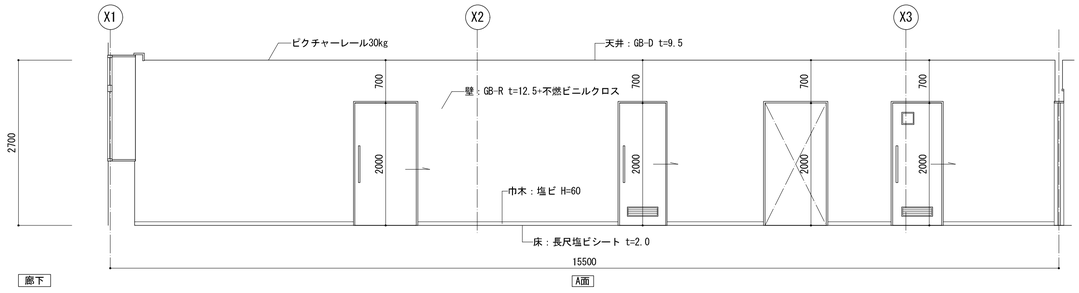


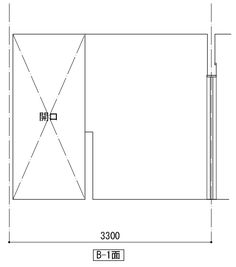


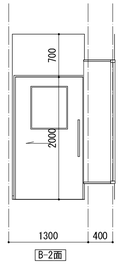


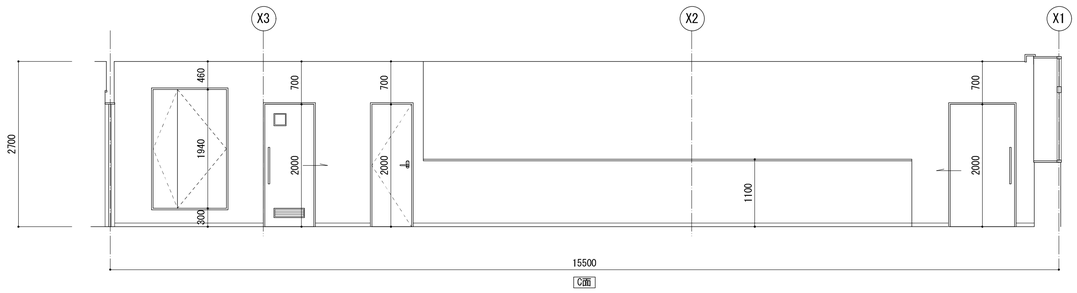


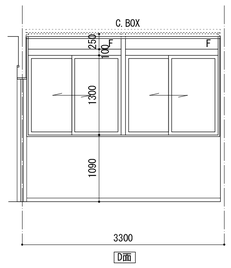
DRAWING	1階展開図.5	SCALE	A1：1/50 A3：1/100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男			DRAWING No. A-21

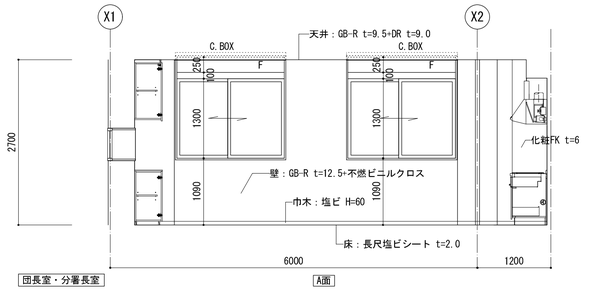


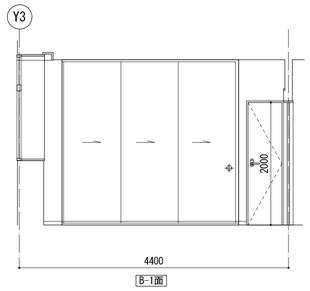


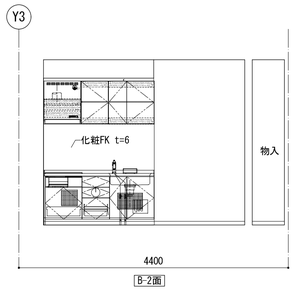


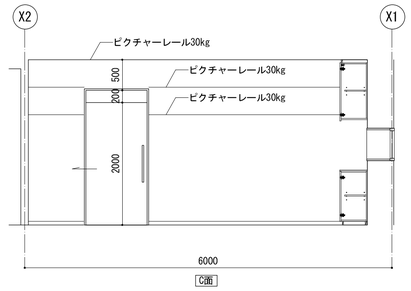


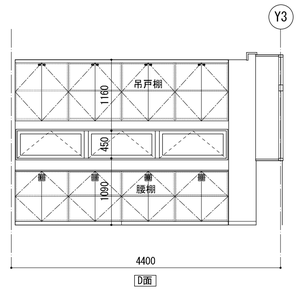


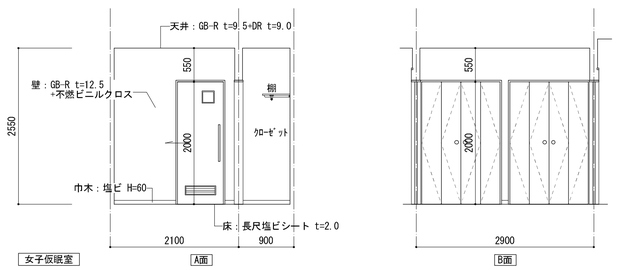


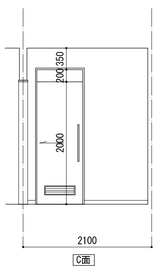


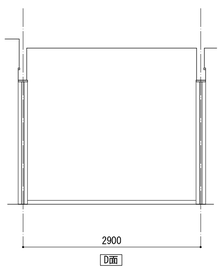


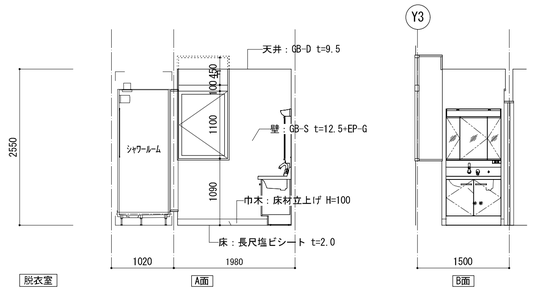


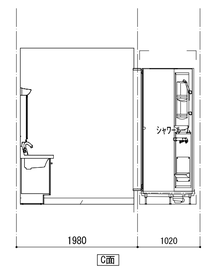


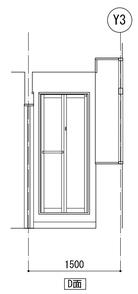




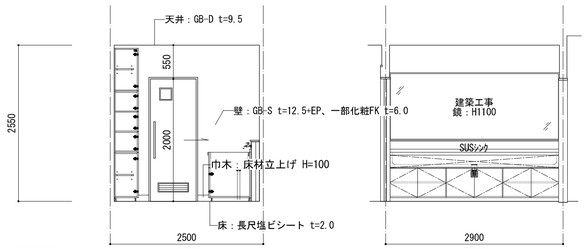




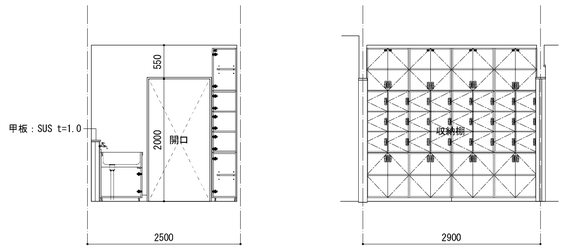


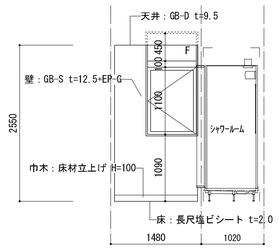


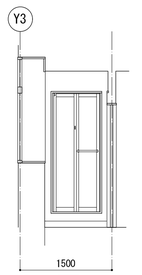
DRAWING	2階展開図. 1	SCALE	A1：1/50　A3：1/100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024. 03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	A-22

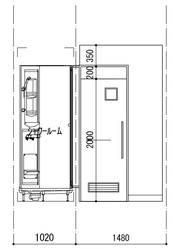


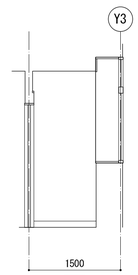
洗面室



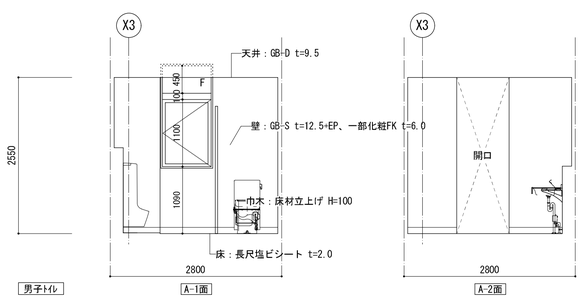




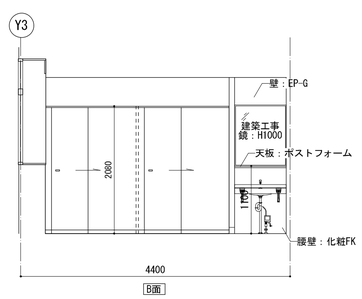


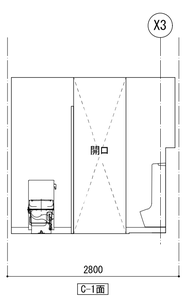


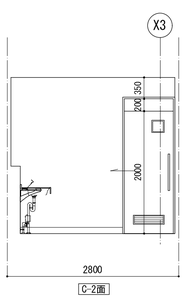
脱衣室

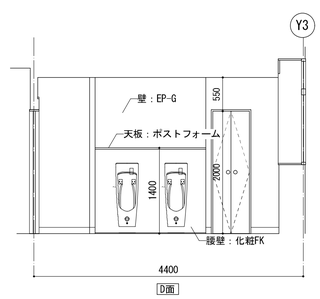


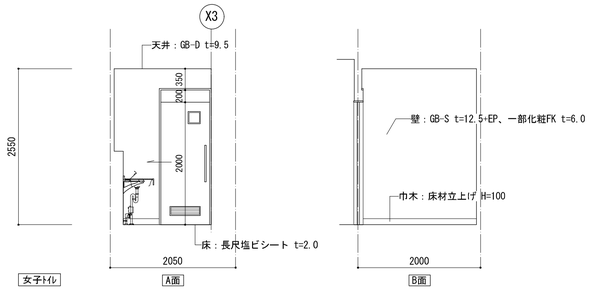
男子トイレ



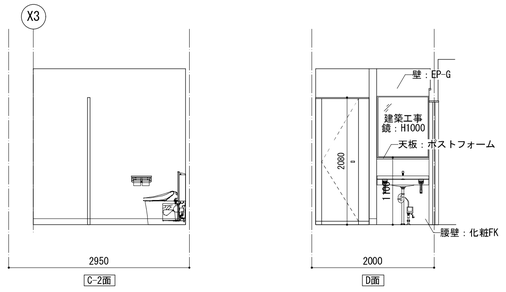


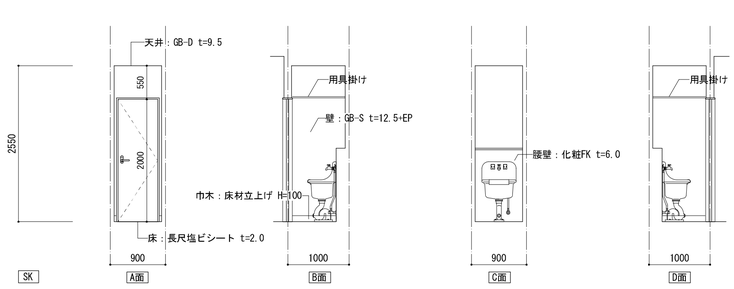




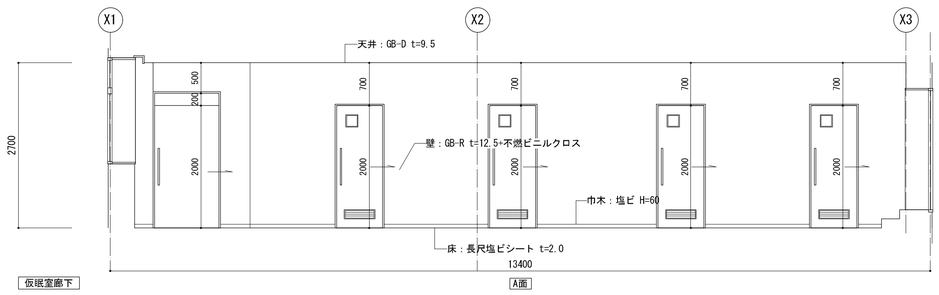


女子トイレ

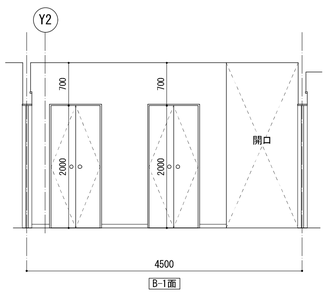


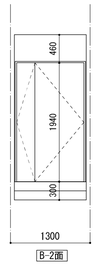


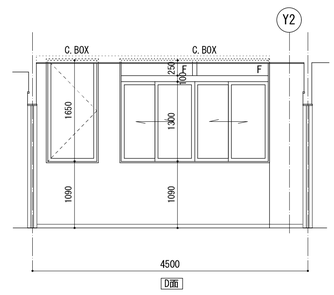
SK



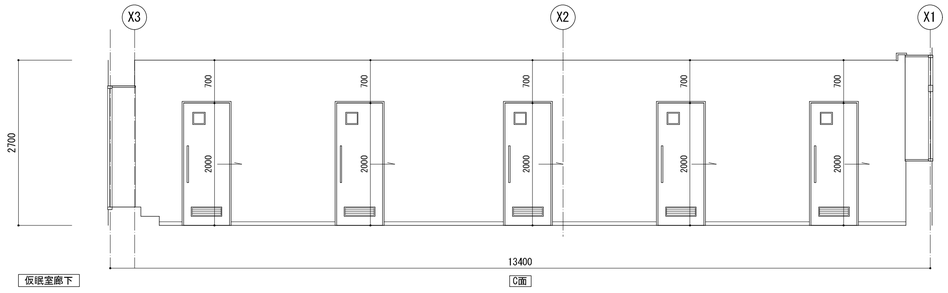
仮設室廊下



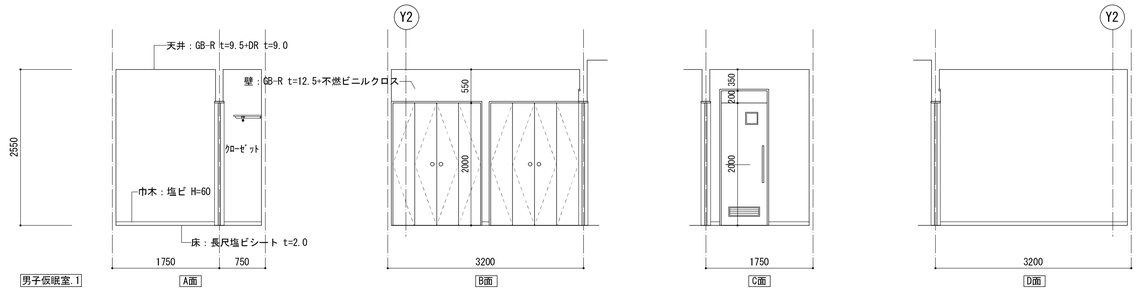




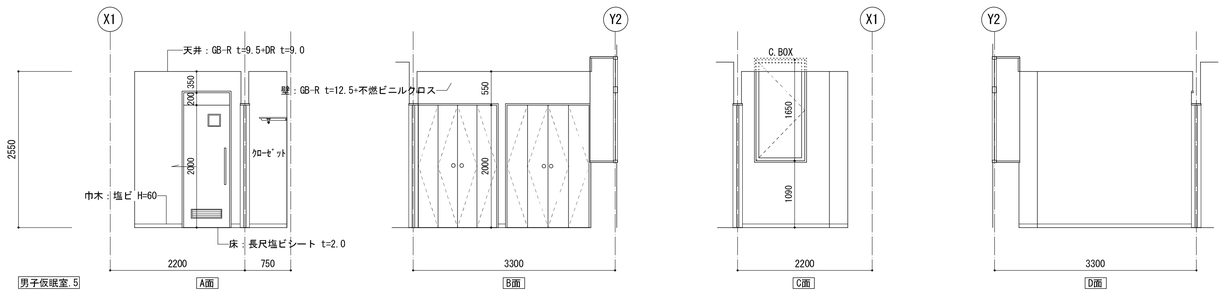
DRAWING	2階展開図. 2	SCALE	A1：1/50　A3：1/100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	A-23



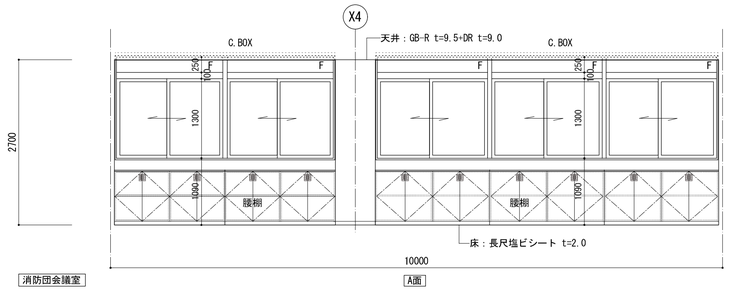
仮眠室廊下 C面



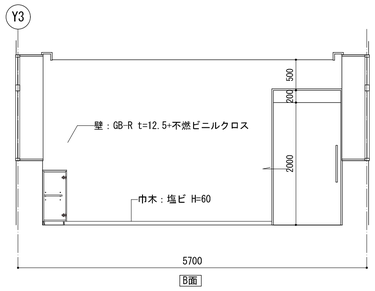
男子仮眠室 1 A面 B面 C面 D面



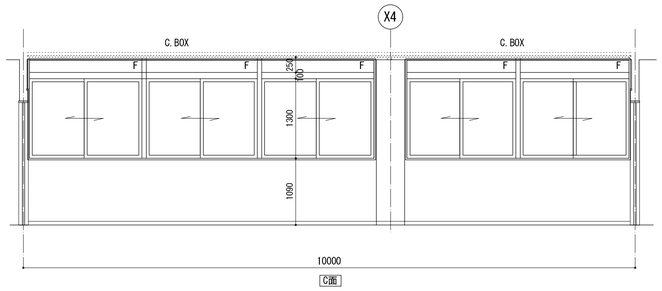
男子仮眠室 5 A面 B面 C面 D面



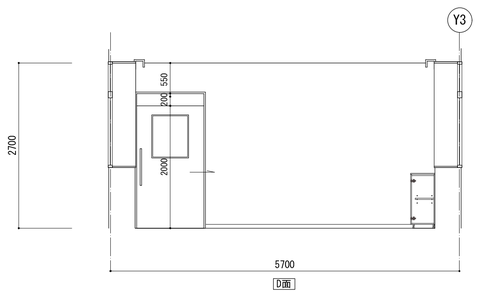
消防団会議室 A面



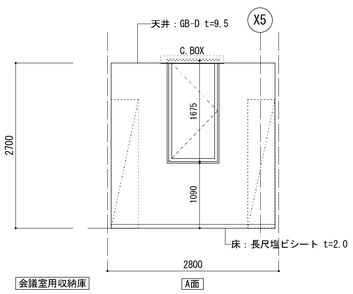
B面



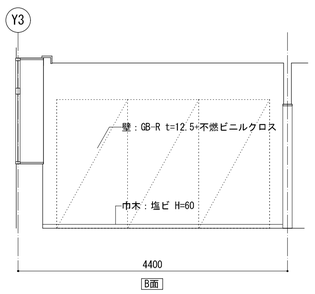
C面



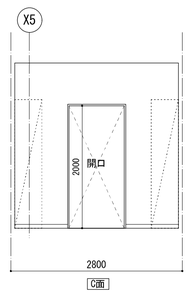
D面



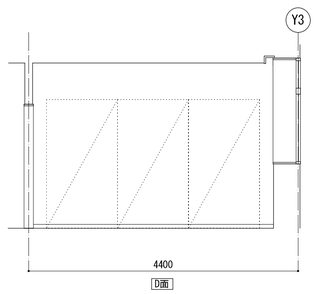
会議室用収納庫 A面



B面

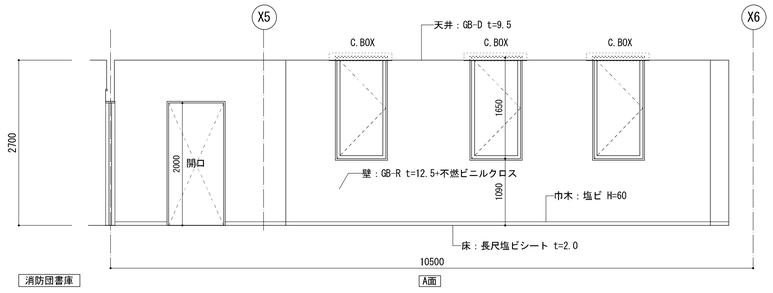


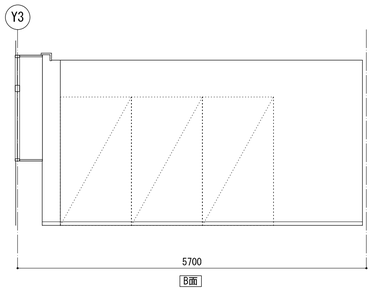
C面

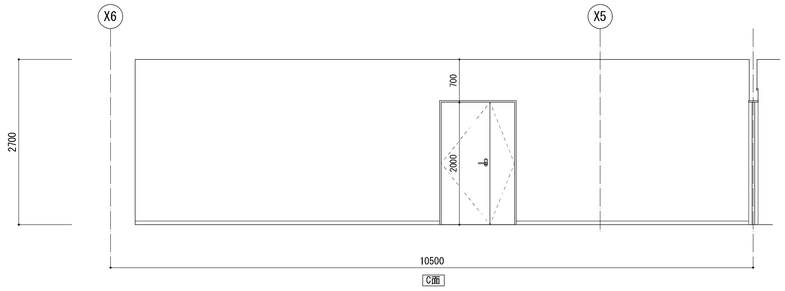


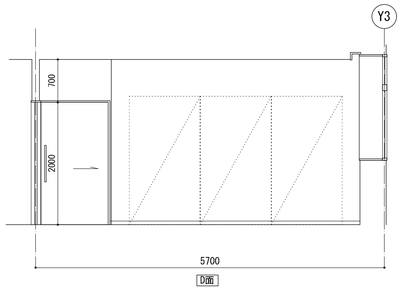
D面

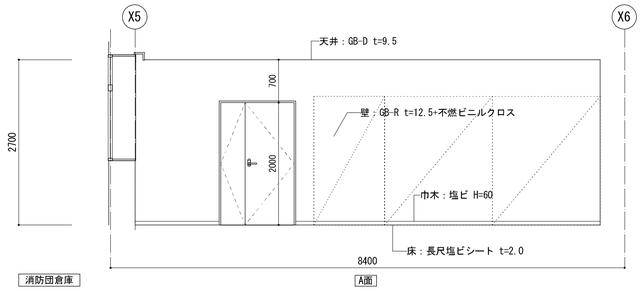
DRAWING	2階展開図. 3	SCALE	A1：1/50 A3：1/100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024. 03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男			DRAWING No. A-24

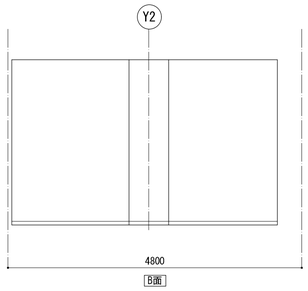


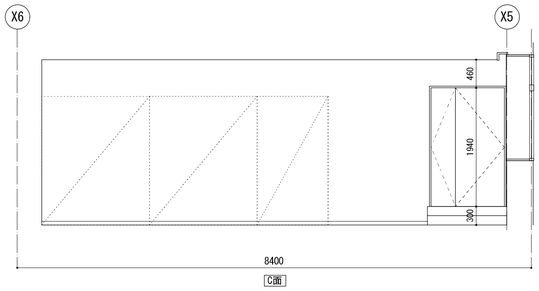


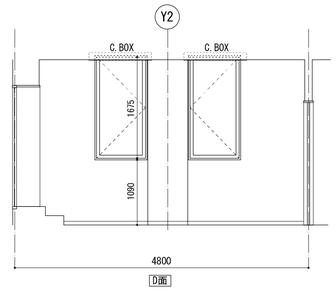




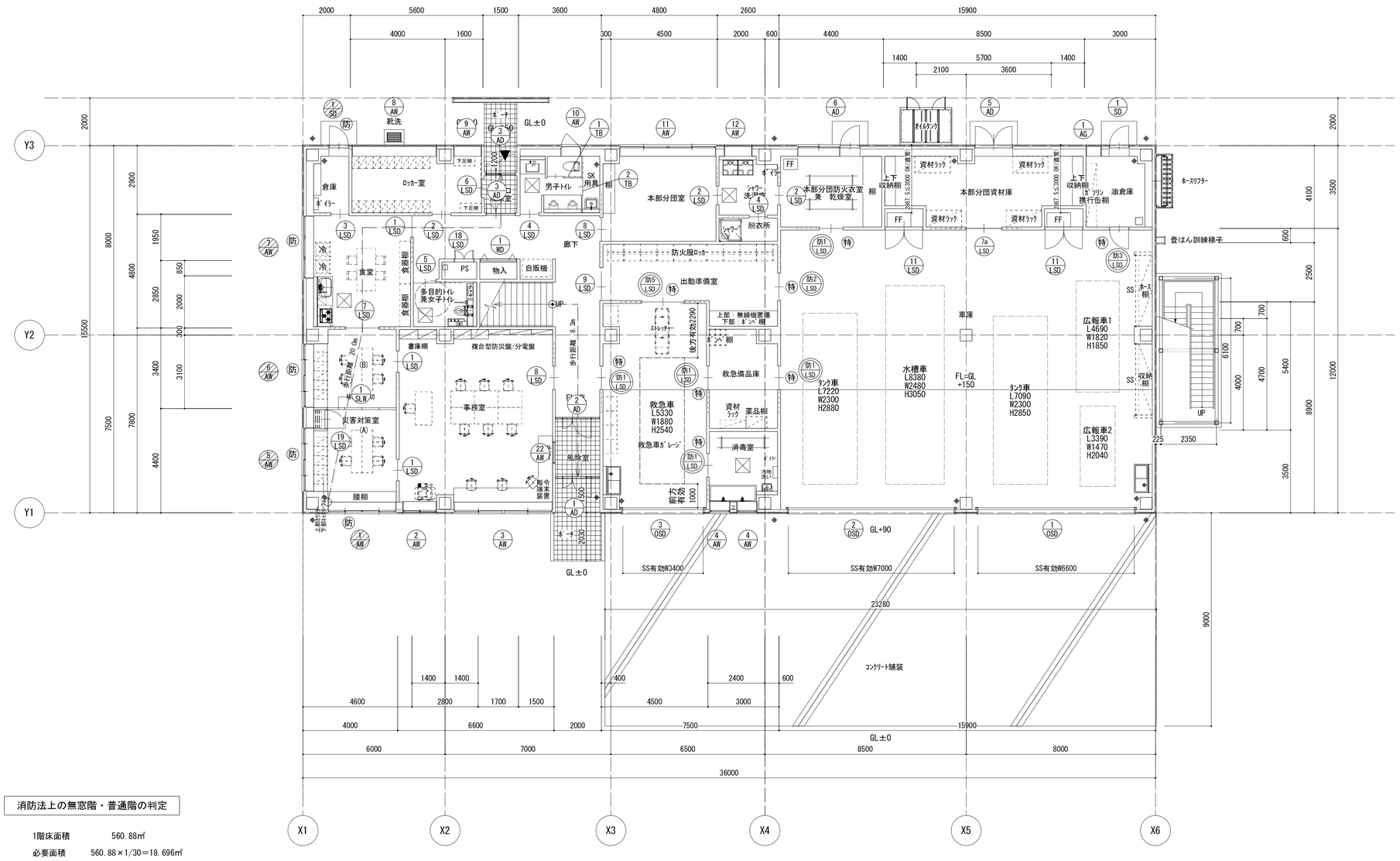








DRAWING	2階展開図. 4	SCALE	A1：1/50　A3：1/100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024. 03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	A-25



消防法上の無窓階・普通階の判定

1階床面積　560.88㎡

必要面積　560.88×1/30＝18.696㎡

	符号	FL+	位置	W	H		開口種別	ｶﾞﾗｽの種類
有効面積	AD−1	±0	東	1.20	2.10	＝ 2.52	親子開き	強化ｶﾞﾗｽ t=5
	AD−3	±0	西	1.20	2.10	＝ 2.52	親子開き	強化ｶﾞﾗｽ t=5
	AD−4	±0	西	0.80	2.04	＝ 1.632	片開き	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ
	AD−5	±0	西	1.60	2.04	＝ 3.264	両開き	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ
	AD−6	±0	西	0.80	2.04	＝ 1.632	片開き	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ
		+990	西	1.80/2	1.05	＝ 0.945	引違い	FL t=3+A6+ST t=4
	AW−1	+990	東	1.37/2	1.30×2	＝ 1.781	引違い	FL t=3+A6+ST t=4
	AW−2	+990	東	1.36/2	1.30	＝ 0.884	引違い	FL t=3+A6+ST t=4
	AW−3	+990	東	1.915/2	1.30×2	＝ 2.489	引違い	FL t=3+A6+ST t=4
	AW−5	+990	南	1.095/2	1.30×2	＝ 1.423	引違い	FL t=3+A6+ST t=4
	AW−6	+990	南	1.285/2	1.30×2	＝ 1.670	引違い	FL t=3+A6+ST t=4
	AW−7	+990	南	0.75	1.10	＝ 0.825	片開き	FL t=3+A6+ST t=4
	AW−10	+990	西	0.80	1.10	＝ 0.880	片開き	F t=4+A6+ST t=4
	AW−11	+990	西	1.985/2	1.30×2	＝ 2.580	引違い	FL t=3+A6+ST t=4

合計　＝ 25.045＞18.696　※ 有窓階である。

1階建具伏図

法令チェック表

本部分団室
床面積　4.8×4.1＝19.68㎡
排煙検討
必要面積　19.68/50＝0.394
有効面積（AW-11）　0.39×1.985/2×2＝0.774　∴OK
換気検討
必要面積　19.68/20＝0.984
有効面積（AW-11）　1.3×1.985/2×2＝2.580　∴OK
採光検討
必要面積　19.68/20＝0.984
有効面積（AW-11）　(1.3+0.25)×1.985×2＝6.153　∴OK

事務室
床面積　6.6×1.5+6.5×6.3＝50.85㎡
排煙検討
必要面積　50.85/50＝1.017
有効面積（AW-2）　0.39×1.36/2＝0.265
（AW-3）　0.39×1.915/2×2＝0.746　計1.011　∴NG
建告第1436号-四-へ- (5) による
換気検討
必要面積　50.85/20＝2.543
有効面積（AW-2）　1.3×1.36/2＝0.884
（AW-3）　1.3×1.915/2×2＝2.489　計3.373　∴OK
採光検討
必要面積　50.85/20＝2.543
有効面積（AW-2）　(1.3+0.25)×1.36＝2.108
（AW-3）　(1.3+0.25)×1.915×2＝5.936　計8.044　∴OK

災害対策室（A）
床面積　4.0×4.4＝17.60㎡
排煙検討
必要面積　17.60/50＝0.352
有効面積（AW-1）　0.39×1.37/2×2＝0.534
（AW-5）　0.39×1.095/2×2＝0.427　計0.961　∴OK
換気検討
必要面積　17.60/20＝0.88
有効面積（AW-1）　1.3×1.37/2×2＝1.781
（AW-5）　1.3×1.095/2×2＝1.423　計3.204　∴OK
採光検討
必要面積　17.60/20＝0.88
有効面積（AW-1）　(1.3+0.25)×1.37×2＝4.247
（AW-5）　(1.3+0.25)×1.095×2＝3.394　計7.641　∴OK

災害対策室（B）
床面積　4.0×3.4＝13.60㎡
排煙検討
必要面積　13.60/50＝0.272
有効面積（AW-6）　0.39×1.285/2×2＝0.501　∴OK

換気検討
必要面積　13.60/20＝0.68
有効面積（AW-6）　1.3×1.285/2×2＝1.670　∴OK

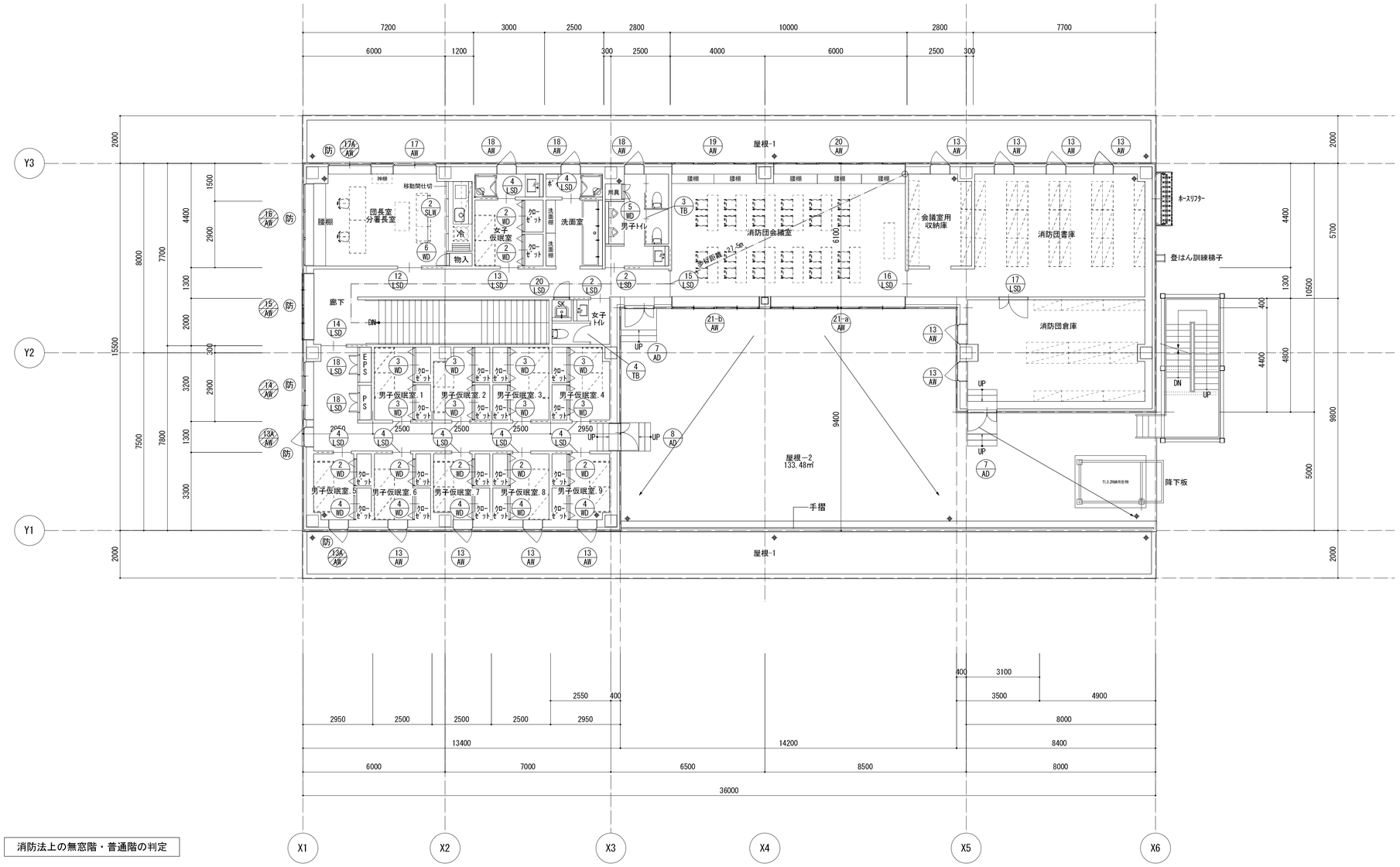
採光検討
必要面積　13.60/20＝0.68
有効面積（AW-6）　(1.3+0.25)×1.285×2＝3.983　∴OK

食堂
床面積　4.6×4.8＝22.08㎡
排煙検討
必要面積　22.08/50＝0.441
有効面積（AW-7）　0.45×0.75×3＝1.012
0.19×0.75＝0.142　計1.154　∴OK
換気検討
必要面積　22.08/20＝1.104
有効面積（AW-7）　0.45×0.75×3＝1.012
1.1×0.75＝0.825　計1.837　∴OK
採光検討
必要面積　22.08/20＝1.104
有効面積（AW-7）　0.45×0.75×3＝1.012
1.1×0.75＝0.825　計1.837　∴OK

※無窓居室の壁及び天井の下地材はLGS、
仕上材は不燃材料とする。

※採光補正係数について
D/H×10−1＝40/10.05×10−1＝3.8−3.0となるが
不利に考え係数を加えず1.0とした。

DRAWING	1階建具伏図	SCALE　A1：1/100　A3：1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.　A-26



消防法上の無窓階・普通階の判定

1階床面積　382.52㎡

必要面積　382.52×1/30＝12.751㎡

	符号	FL+	位置	W　H	開口種別	ｶﾞﾗｽの種類
有効面積	AD－7	+330	東	1.20×1.94×2 ＝ 4.656	親子開き	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ
	AD－8	+330	北	1.10×1.94 ＝ 2.134	親子開き	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ
	AW－13	+1090	東・南・西	0.80×1.65×12 ＝ 15.840	片開き	FL t=3+A6+ST t=4
	AW－14	+1090	東	2.40/2×1.30 ＝ 1.560	引違い	FL t=3+A6+ST t=4
	AW－15	+1090	東	1.335/2×1.30×2 ＝ 1.735	引違い	FL t=3+A6+ST t=4
	AW－17	+1090	南	1.755/2×1.30×2 ＝ 2.281	引違い	FL t=3+A6+ST t=4
	AW－18	+1090	南	0.80×1.10×3 ＝ 2.640	FiX	F t=4+A6+ST t=4
	AW－19	+1090	南	1.735/2×1.30×2＝ 2.255	引違い	FL t=3+A6+ST t=4
	AW－20	+1090	西	1.80/2×1.30×3 ＝ 3.510	引違い	FL t=3+A6+ST t=4
	AW－21a	+1090	西	1.83/2×1.30×3 ＝ 3.568	引違い	FL t=3+A6+ST t=4
	AW－21b	+1090	西	1.78/2×1.30×2 ＝ 2.314	引違い	FL t=3+A6+ST t=4

合計　＝ 42.493＞12.751　※ 有窓階である。

2階建具伏図

法令チェック表

団長室分署長室
床面積　6.0×4.4＝26.40㎡
排煙検討
必要面積　26.40/50＝0.528
有効面積（AW-17）　0.49×1.755/2×2＝0.859　∴OK
換気検討
必要面積　26.40/20＝1.320
有効面積（AW-17）　1.3×1.755/2×2＝2.281　∴OK
採光検討
必要面積　26.40/20＝1.320
有効面積（AW-17）　(1.3+0.25)×1.755×2＝5.440　∴OK

消防団会議室
床面積　10.0×6.1＝61.00㎡
排煙検討
必要面積　61.00/50＝1.220
有効面積（AW-19）　0.49×1.735/2×2＝0.850
（AW-20）　0.49×1.8/2×3＝1.323　計2.173　∴OK
換気検討
必要面積　61.00/20＝3.050
有効面積（AW-19）　1.3×1.735/2×2＝2.255
（AW-20）　1.3×1.8/2×3＝3.510　計5.765　∴OK
採光検討
必要面積　61.00/20＝3.050
有効面積（AW-19）　(1.3+0.25)×1.735×2＝5.378
（AW-20）　(1.3+0.25)×1.82×3＝8.463　計13.841　∴OK

女子仮眠室
床面積　2.1×2.9＝6.09㎡
排煙検討
必要面積　6.09/50＝0.122
有効面積（開口部無）　∴NG
建告第1436号-四-へ- (5) による
換気検討
必要面積　6.09/20＝0.304
有効面積（開口部無）　∴NG
機械換気による
採光検討
必要面積　6.09/20＝0.304
有効面積（開口部無）　∴NG
非常用照明による

男子仮眠室1～4
床面積　1～3：1.75×3.2＝5.60㎡
4：2.2×3.2＝7.04㎡
排煙検討
必要面積　5.60（7.04）/50＝0.112（0.141）
有効面積（開口部無）　∴NG
建告第1436号-四-へ- (5) による
換気検討
必要面積　5.60（7.04）/20＝0.280（0.352）
有効面積（開口部無）　∴NG
機械換気による
採光検討
必要面積　5.60（7.04）/20＝0.280（0.352）
有効面積（開口部無）　∴NG
非常用照明による

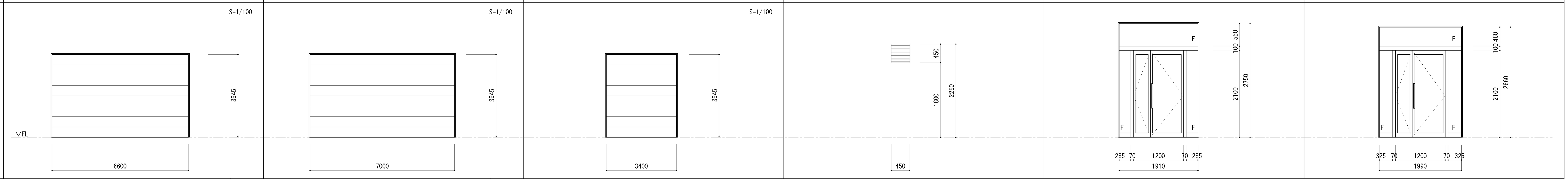
男子仮眠室5～9
床面積　5・9：2.2×3.3＝7.26㎡
6～8：1.75×3.3＝5.78㎡
排煙検討
必要面積　7.26（5.78）/50＝0.145（0.116）
有効面積（AW-13）　0.8×0.8＝0.64　∴OK
換気検討
必要面積　7.26（5.78）/20＝0.363（0.289）
有効面積（AW-13）　1.65×0.8＝1.320　∴OK
採光検討
必要面積　7.26（5.78）/20＝0.363（0.289）
有効面積（AW-13）　1.65×0.8＝1.320　∴OK

※無窓居室の壁及び天井の下地材はLGS、
仕上材は不燃材料とする。

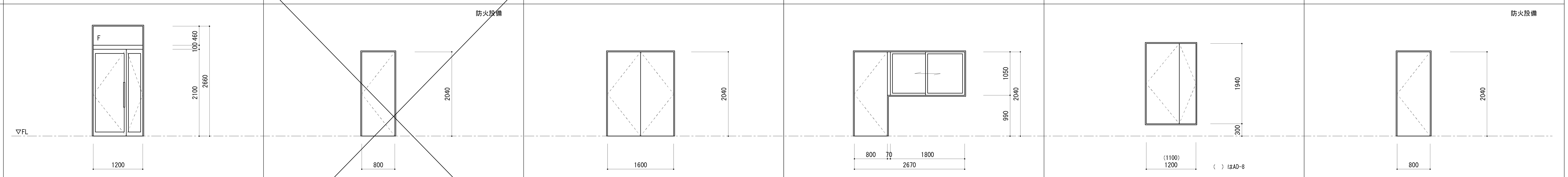
※採光補正係数について
D/H×10-1＝40/10.05×10-1＝38.8→3.0となるが
不利に考え係数を加えず1.0とした。

DRAWING	2階建具伏図	SCALE A1：1/100　A3：1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. A-27

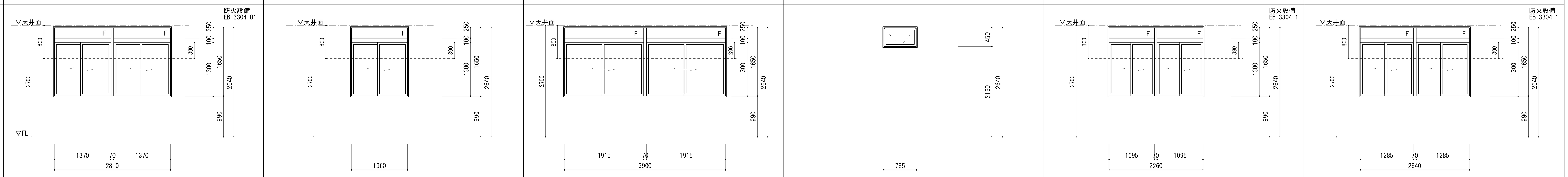
記号　名称	OSD-1　ｽﾁｰﾙ製重量ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ	OSD-2　ｽﾁｰﾙ製重量ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ	OSD-3　ｽﾁｰﾙ製重量ｵｰﾊﾞｰｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｱ	AG-1　ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ	AD-1　ｱﾙﾐ製FiX付き親子開きﾄﾞｱ	AD-2　ｱﾙﾐ製FiX付き親子開きﾄﾞｱ
姿図	see below					
位置　数量	1階：車庫　1	1階：車庫　1	1階：救急車ｶﾞﾚｰｼﾞ　1	1階：油倉庫　1	1階：風除室　1	1階：風除室　1
見込　仕上	ﾊﾟﾈﾙ：ｱﾙﾐ+ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽ	ﾊﾟﾈﾙ：ｱﾙﾐ+ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽ	ﾊﾟﾈﾙ：ｱﾙﾐ+ﾌｧｲﾊﾞｰｸﾞﾗｽ	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）
ガラス					強化ｶﾞﾗｽ t=5（ﾗﾝﾏ：透明ｶﾞﾗｽ t=3）	強化ｶﾞﾗｽ t=5（ﾗﾝﾏ：透明ｶﾞﾗｽ t=3）
金物	ﾜｲﾔﾄﾞﾗﾑ、ﾛｰﾗ、ﾚｰﾙ、ﾛｯｸ、他付属金物一式	ﾜｲﾔﾄﾞﾗﾑ、ﾛｰﾗ、ﾚｰﾙ、ﾛｯｸ、他付属金物一式	ﾜｲﾔﾄﾞﾗﾑ、ﾛｰﾗ、ﾚｰﾙ、ﾛｯｸ、他付属金物一式		丁番、引き棒、ﾌﾗﾝｽ落し、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠（ｻﾑﾀｰﾝ）、他付属金物一式	丁番、引き棒、ﾌﾗﾝｽ落し、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠（ｻﾑﾀｰﾝ）、他付属金物一式
備考						



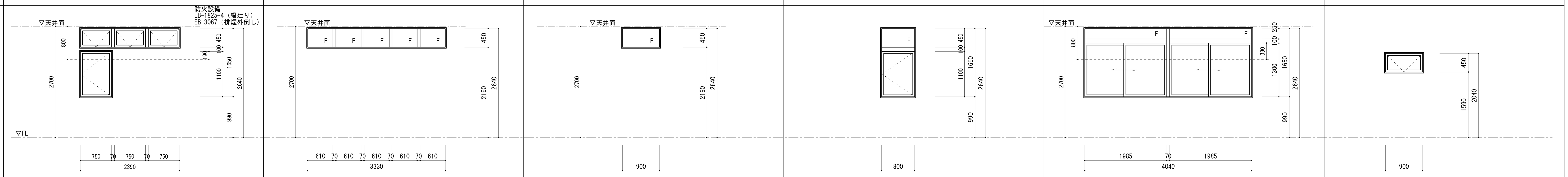
記号　名称	AD-3　ｱﾙﾐ製FiX付き親子開きﾄﾞｱ	AD-4　ｱﾙﾐ製片開きﾄﾞｱ	AD-5　ｱﾙﾐ製両開きﾄﾞｱ	AD-6　ｱﾙﾐ製引違い窓付き片開きﾄﾞｱ	AD-7、AD-8　ｱﾙﾐ製親子開きﾄﾞｱ	SD-1　鋼製片開き戸
姿図	see below					
位置　数量	1階：通用口風除室　2	1階：倉庫　1	1階：本部分団資材庫　1	1階：本部分団防火衣室兼乾燥室　1	2階：廊下・消防団倉庫　AD-7：2、AD-8：1	1階：倉庫・油倉庫　2
見込　仕上	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込100（ﾄﾞｱ見込40）　溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=1.0　SOP
ガラス	強化ｶﾞﾗｽ t=5（ﾗﾝﾏ：透明ｶﾞﾗｽ t=3）	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t=3	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t=3	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t=3、FL t=3+A6+ST t=4	ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t=3	
金物	丁番、引き棒、ﾌﾗﾝｽ落し、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠（ｻﾑﾀｰﾝ）、他付属金物一式	丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠（ｻﾑﾀｰﾝ）、他付属金物一式	丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠（ｻﾑﾀｰﾝ）、ﾌﾗﾝｽ落し、他付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠（ｻﾑﾀｰﾝ）、他付属金物一式	丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠（ｻﾑﾀｰﾝ）、ﾌﾗﾝｽ落し、他付属金物一式	丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠（ｻﾑﾀｰﾝ）、他付属金物一式
備考						



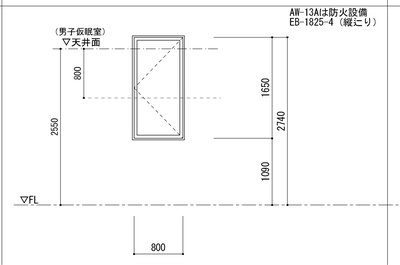
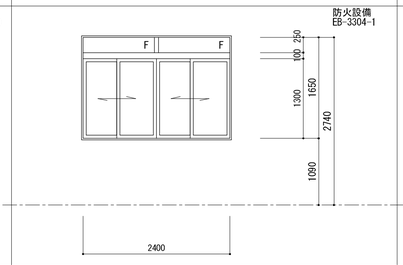
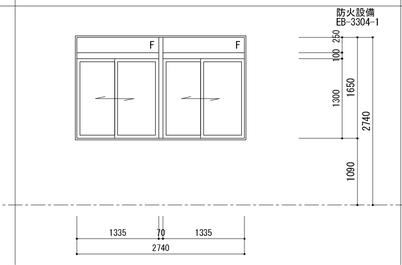
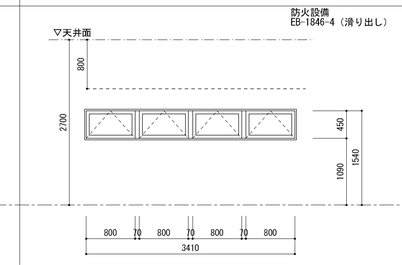
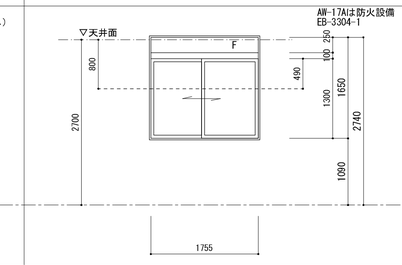
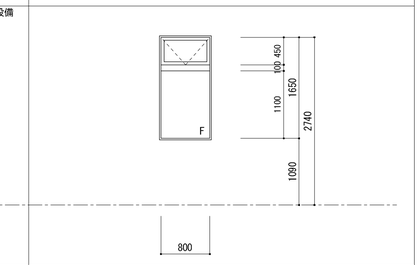
記号　名称	AW-1　ｱﾙﾐ製FiX付き引き違い2連窓	AW-2　ｱﾙﾐ製FiX付き引き違い窓	AW-3　ｱﾙﾐ製FiX付き引き違い2連窓	AW-4　ｱﾙﾐ製外倒し窓	AW-5　ｱﾙﾐ製FiX付き引き違い2連窓	AW-6　ｱﾙﾐ製FiX付き引き違い2連窓
姿図	see below					
位置　数量	1階：災害対策室　1	1階：事務室　1	1階：事務室　1	1階：消毒室　2	1階：災害対策室　1	1階：災害対策室　1
見込　仕上	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）
ガラス	PW t=6.8+A6+LoW-E5mm以上　※FiXはLoW-E3mm以上	FL t=3+A6+ST t=4	FL t=3+A6+ST t=4	FL t=3+A6+ST t=4	PW t=6.8+A6+LoW－E5mm以上　※FiXはLoW-E3mm以上	PW t=6.8+A6+LoW－E5mm以上　※FiXはLoW-E3mm以上
金物	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式
備考						

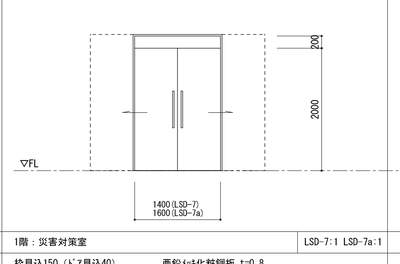
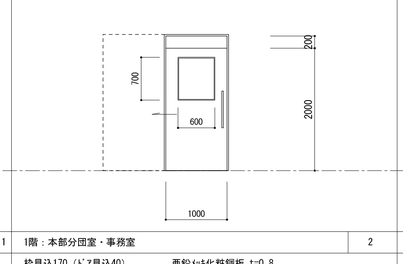
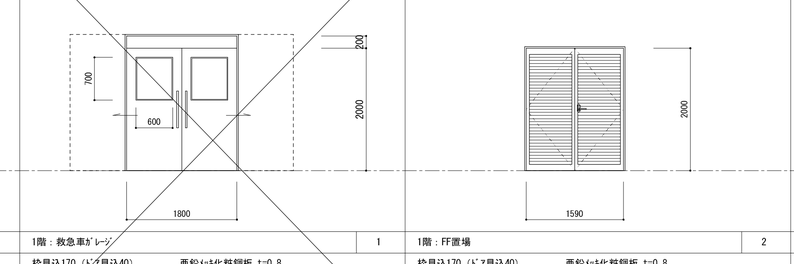
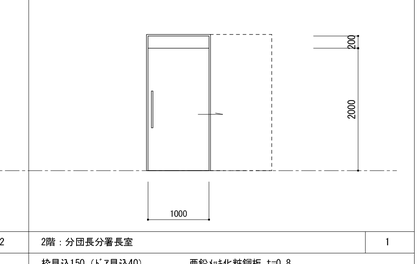


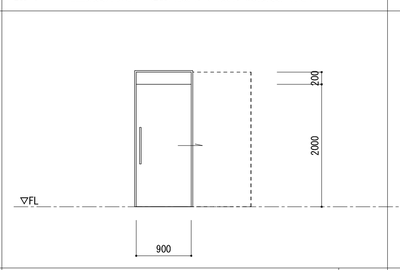
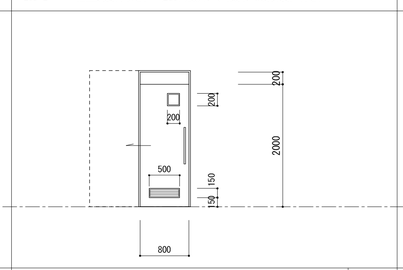
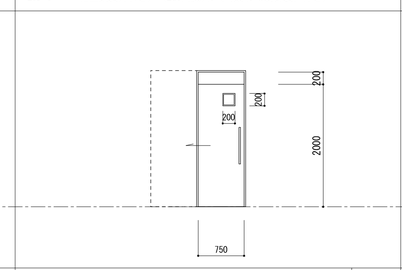
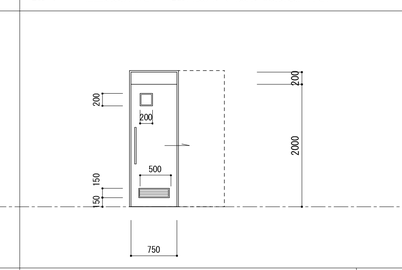
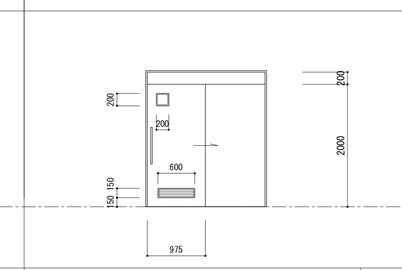
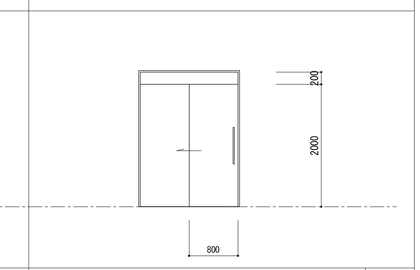
記号　名称	AW-7　ｱﾙﾐ製縦辷り、外倒し窓	AW-8　ｱﾙﾐ製FiX窓	AW-9　ｱﾙﾐ製FiX窓	AW-10　ｱﾙﾐ製FiX付き縦辷り窓	AW-11　ｱﾙﾐ製FiX付き引き違い2連窓	AW-12　ｱﾙﾐ製外倒し窓
姿図	see below					
位置　数量	1階：食堂　1	1階：ﾛｯｶｰ室　1	1階：ﾛｯｶｰ室　1	1階：男子ﾄｲﾚ　1	1階：本部分団室　1	1階：ｼｬﾜｰ洗濯室　1
見込　仕上	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）
ガラス	PW t=6.8+A6+LoW-E5mm以上　※FiXはLoW-E3mm以上	FL t=3+A6+ST t=4	FL t=3+A6+ST t=4	F t=4+A6+ST t=4	FL t=3+A6+ST t=4	F t=4+A6+ST t=4
金物	ｸﾚｾﾝﾄ、排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ、他付属金物一式	付属金物一式	付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式
備考						

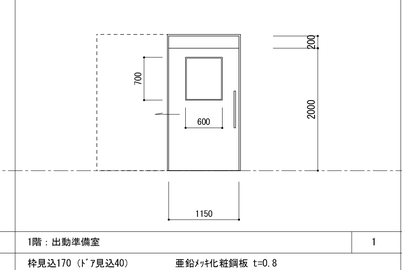


DRAWING	建具表.1	SCALE	A1：1/50　A3：1/100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	A-28

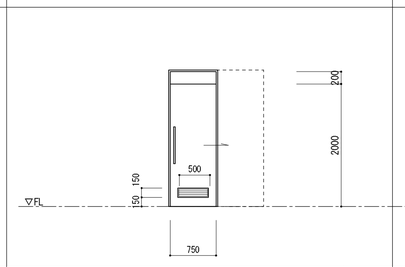
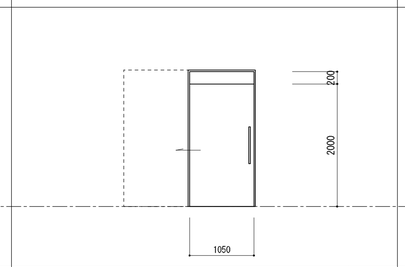
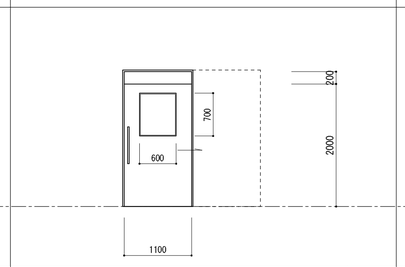
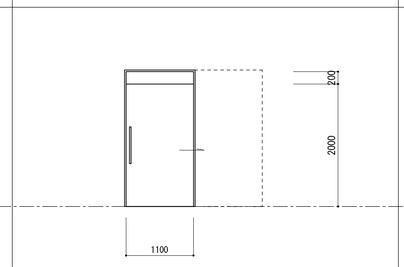
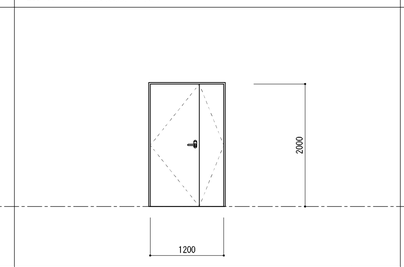
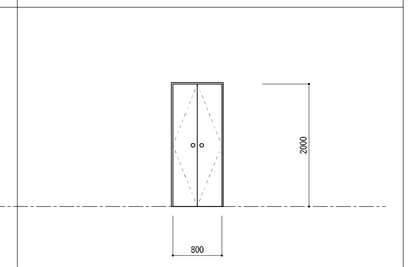
記号	名称	AW-13　AW-13A	AW-14	AW-15	AW-16	AW-17　AW-17A	AW-18
姿図							
位置　数量		2階：男子仮眠室・廊下・会議室用収納庫・消防団書庫・消防団倉庫　AW-13:10 AW-13A:2	2階：仮眠室廊下　1	2階：廊下　1	2階：団長室分署長室　1	2階：団長室分署長室　AW-17:1 AW-17A:1	2階：男子ﾄｲﾚ・脱衣室　3
見込　仕上		枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）
ガラス		FL t=3+A6+ST t=4　（AW-13AはPW t=6.8+A6+LoW-E3mm以上　日射取得型）	PW t=6.8+A6+LoW-E5mm以上　※FIXはLoW-E3mm以上　日射取得型	PW t=6.8+A6+LoW-E5mm以上　※FIXはLoW-E3mm以上　日射取得型	PW t=6.8+A6+LoW-E3mm以上　日射取得型	FL t=3+A6+ST t=4　（AW-17AはPW t=6.8+A6+LoW-E5mm以上　日射取得型）	F t=4+A6+ST t=4
金物		ｸﾚｾﾝﾄ、付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、付属金物一式
備考							

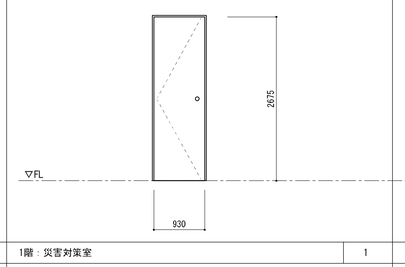
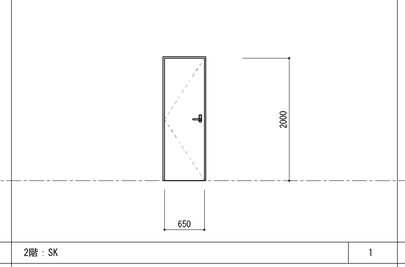
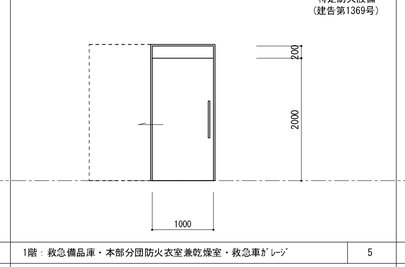
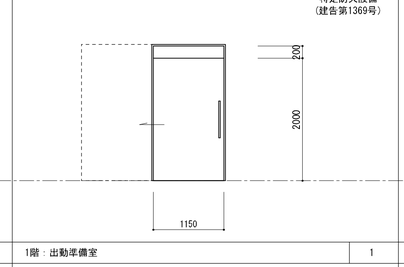
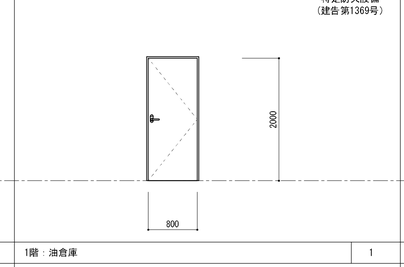
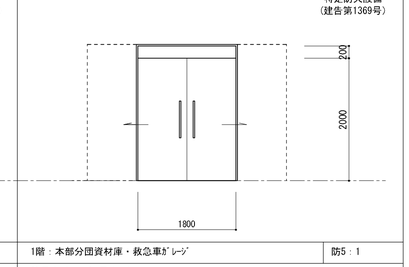
記号	名称	AW-19	AW-20	AW-21a, 21b	AW-22
姿図					
位置　数量		2階：消防団会議室　1	2階：消防団会議室　1	2階：消防団会議室　1	1階：事務室　1
見込　仕上		枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）
ガラス		FL t=3+A6+ST t=4	FL t=3+A6+ST t=4	FL t=3+A6+ST t=4	FL t=3
金物		ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式
備考					

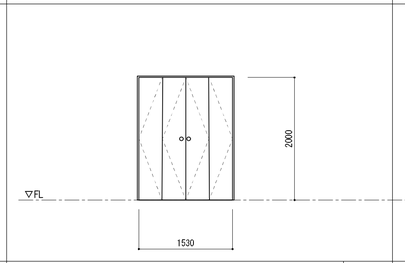
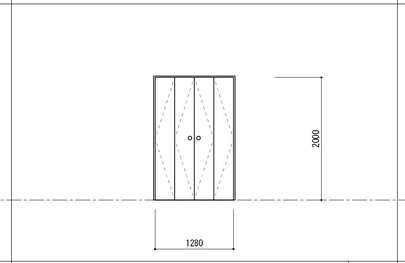
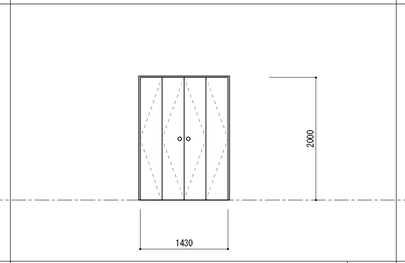
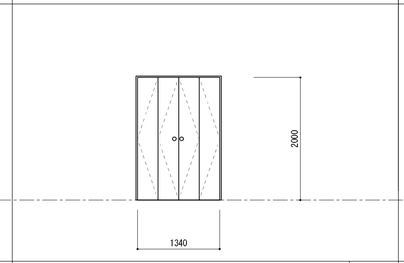
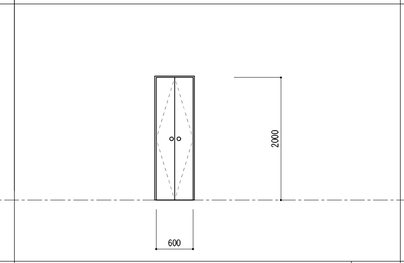
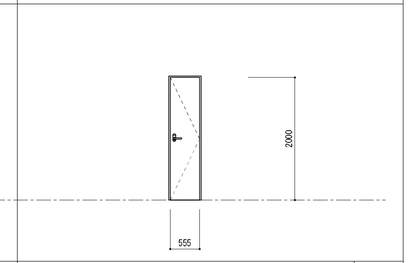
記号	名称	LSD-1　軽量鋼製片引き戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）	LSD-2　軽量鋼製片引き戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）	LSD-3　軽量鋼製片引き戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）	LSD-4　軽量鋼製片引き戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）	LSD-5　軽量鋼製片引き戸（外付けﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）	LSD-6　軽量鋼製片引き戸（外付けﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）
姿図							
位置　数量		1階：食堂・事務室　3	1階：ﾛｯｶｰ室・ｼｬﾜｰ洗濯室、2階：男子ﾄｲﾚ・女子ﾄｲﾚ　5	1階：倉庫　1	1階：男子ﾄｲﾚ・脱衣室、2階：男子仮眠室・脱衣室　13	1階：多目的ﾄｲﾚ兼女子ﾄｲﾚ　1	1階：ﾛｯｶｰ室　1
見込　仕上		枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8
ガラス			F t=4	F t=4	F t=4	F t=4	
金物		引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、換気ｶﾞﾗﾘ、他付属金物一式	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、換気ｶﾞﾗﾘ、他付属金物一式	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、換気ｶﾞﾗﾘ、他付属金物一式	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式
備考							

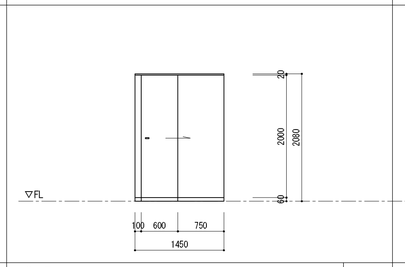
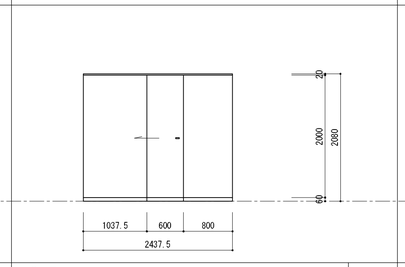
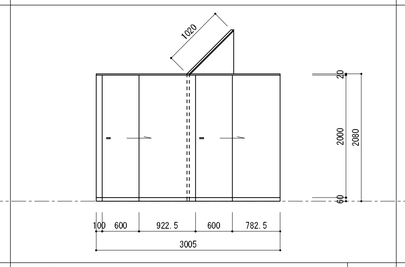
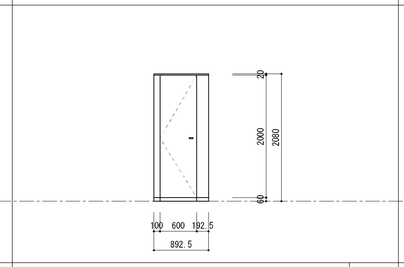
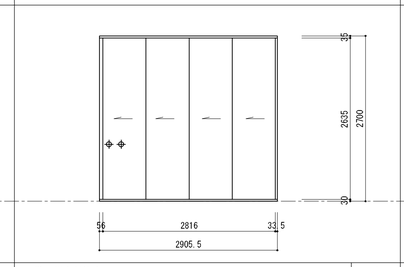
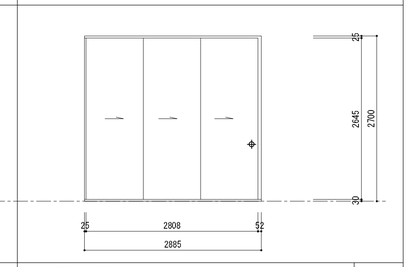
記号	名称	LSD-7,LSD-7a　軽量鋼製引き分け戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）	LSD-8　軽量鋼製片引き戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）	LSD-9　軽量鋼製片引き戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）	LSD-10　軽量鋼製引き分け戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）	LSD-11　軽量鋼製両開きｶﾞﾗﾘ戸	LSD-12　軽量鋼製片引き戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）
姿図							
位置　数量		1階：災害対策室　LSD-7:1 LSD-7a:1	1階：本部分団室・事務室　2	1階：出動準備室　1	1階：救急車ｶﾞﾚｰｼﾞ　1	1階：FF置場　2	2階：分団長分署長室　1
見込　仕上		枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込170（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込170（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込170（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込170（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8
ガラス			FL t=3	FL t=3	FL t=3		
金物		引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾌﾗｼｽ落し、他付属金物一式	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式
備考							

DRAWING　建具表.2　SCALE　A1：1/50　A3：1/100
PROJECT　風間浦村消防庁舎等建設工事　DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男
DRAWING No.　A-29

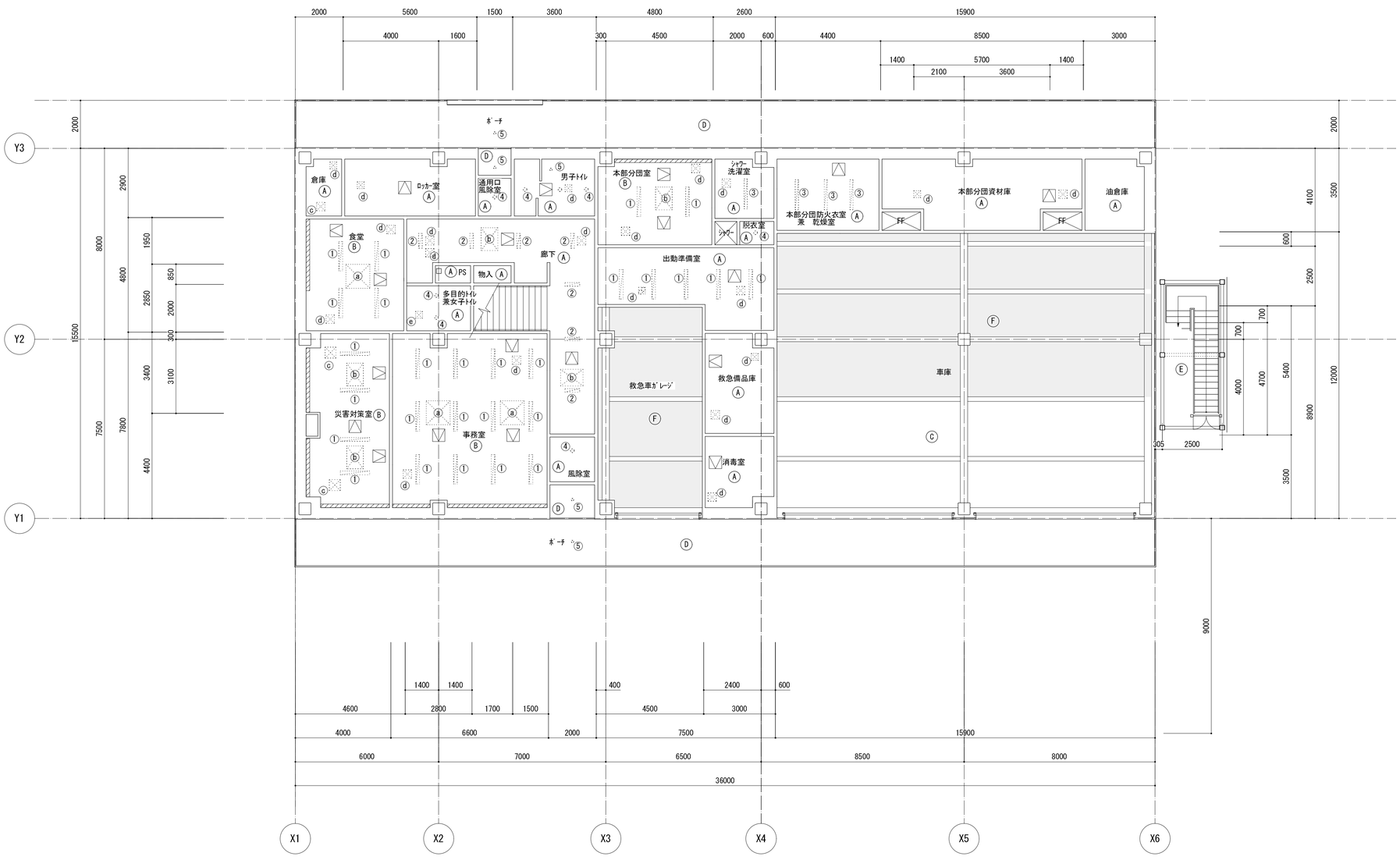
記号　名称	LSD-13　軽量鋼製片引き戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）	LSD-14　軽量鋼製片引き戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）	LSD-15　軽量鋼製片引き戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）	LSD-16　軽量鋼製片引き戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）	LSD-17　軽量鋼製親子開き戸	LSD-18　軽量鋼製両開き戸
姿図						
位置　数量	2階：女子仮眠室　1	2階：仮眠室廊下　1	2階：消防団会議室　1	2階：消防団会議室　1	1階：消防団倉庫　1	1階：PS、2階：PS・EPS　3
見込　仕上	枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8
ガラス			FL t=3			
金物	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾌﾗｯｼｽ落し、他付属金物一式	丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、ﾌﾗｯｼｽ落し、他付属金物一式
備考						

記号　名称	LSD-19　軽量鋼製片開き戸	LSD-20　軽量鋼製片開き戸	LSD-防1　鋼製片引き戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）	LSD-防2　鋼製片引き戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）	LSD-防3　鋼製片開き戸	LSD-防5　鋼製片引き戸（LGS内臓ﾀｲﾌﾟ、傾斜ﾚｰﾙ制御装置付き）
姿図			特定防火設備 （建告第1369号） 	特定防火設備 （建告第1369号） 	特定防火設備 （建告第1369号） 	特定防火設備 （建告第1369号） 
位置　数量	1階：災害対策室　1	2階：SK　1	1階：救急備品庫・本部分団防火衣室兼乾燥室・救急車ｶﾞﾚｰｼﾞ　5	1階：出勤準備室　1	1階：油倉庫　1	1階：本部分団資材庫・救急車ｶﾞﾚｰｼﾞ　防5：1
見込　仕上	枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込150（ﾄﾞｱ見込40）　亜鉛ﾒｯｷ化粧鋼板 t=0.8	枠見込170（ﾄﾞｱ見込40）　溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=1.0 SOP	枠見込170（ﾄﾞｱ見込40）　溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=1.0 SOP	枠見込170（ﾄﾞｱ見込40）　溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=1.0 SOP	枠見込170（ﾄﾞｱ見込40）　溶融亜鉛ﾒｯｷ鋼板 t=1.0 SOP
ガラス						
金物	丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、他付属金物一式	丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、他付属金物一式	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ錠、他付属金物一式	引手、ｽﾁｰﾙ3方枠 t=1.6、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式
備考			令112条19項二号 告示2564号	令112条19項二号 告示2564号	令112条19項二号 告示2564号	令112条19項二号 告示2564号

記号　名称	WD-1　木製親音開きﾌﾗｯｼｭ戸	WD-2　木製親音開きﾌﾗｯｼｭ戸	WD-3　木製親音開きﾌﾗｯｼｭ戸	WD-4　木製親音開きﾌﾗｯｼｭ戸	WD-5　木製両開きﾌﾗｯｼｭ戸	WD-6　木製片開きﾌﾗｯｼｭ戸
姿図						
位置　数量	1階：物入　1	2階：ｸﾛｰｾﾞｯﾄ　7	2階：ｸﾛｰｾﾞｯﾄ　8	2階：ｸﾛｰｾﾞｯﾄ　5	2階：用具室　1	2階：物入　1
見込　仕上	見込40　ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板ﾌﾗｯｼｭ	見込40　ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板ﾌﾗｯｼｭ	見込40　ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板ﾌﾗｯｼｭ	見込40　ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板ﾌﾗｯｼｭ	見込40　ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板ﾌﾗｯｼｭ	見込40　ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板ﾌﾗｯｼｭ
ガラス						
金物	丁番、取手、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	丁番、取手、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	丁番、取手、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	丁番、取手、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	丁番、取手、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式	丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、他付属金物一式
備考						

記号　名称	TB-1　トイレブース	TB-2　トイレブース	TB-3　トイレブース	TB-3　トイレブース	SLW-1　スライディングウォール	SLW-2　スライディングウォール
姿図						
位置　数量	1階：男子ﾄｲﾚ　1	1階：男子ﾄｲﾚ　1	2階：男子ﾄｲﾚ　1	2階：女子ﾄｲﾚ　1	1階：災害対策室　1	2階：団長室分署長室　1
見込　仕上	見込40　ﾒﾗﾐﾝ化粧合板	見込40　ﾒﾗﾐﾝ化粧合板	見込40　ﾒﾗﾐﾝ化粧合板	見込40　ﾒﾗﾐﾝ化粧合板	見込69　亜鉛めっき鋼板 t=0.5（焼付塗装）	見込69　亜鉛めっき鋼板 t=0.5（焼付塗装）
ガラス						
金物	ﾚｰﾙ、表示錠、巾木・頭ﾂﾅｷﾞ：ｽﾃﾝﾚｽ、他付属金物一式	ﾚｰﾙ、表示錠、巾木・頭ﾂﾅｷﾞ：ｽﾃﾝﾚｽ、他付属金物一式	ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨｰﾋﾝｼﾞ、表示錠、戸当付帽子掛、巾木・頭ﾂﾅｷﾞ：ｽﾃﾝﾚｽ、他付属金物一式	ｸﾞﾚﾋﾞﾃｨｰﾋﾝｼﾞ、表示錠、戸当付帽子掛、巾木・頭ﾂﾅｷﾞ：ｽﾃﾝﾚｽ、他付属金物一式	ｱﾙﾐﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、引手、付属金物一式	ｱﾙﾐﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ、引手、付属金物一式
備考						

DRAWING	建具表 3	SCALE	A1：1/50　A3：1/100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. A-30

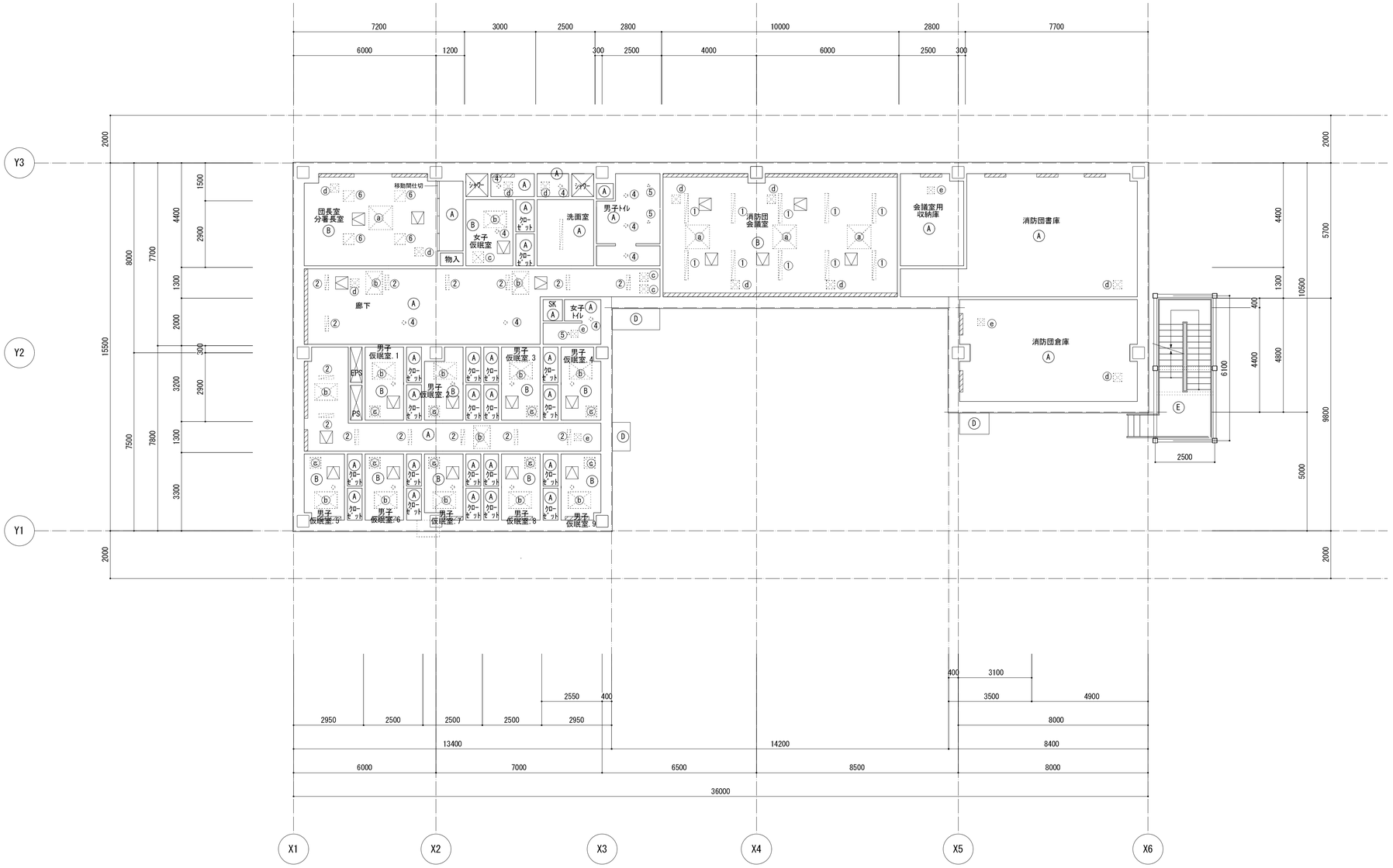


符号	仕上げ
Ⓐ	GB-D t=9.5
Ⓑ	GB-R t=9.5+DR t=9
Ⓒ	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ現し、鉄部：SOP
Ⓓ	FK t=6+EP-G
Ⓔ	溶融亜鉛メッキ仕上
Ⓕ	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ+吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ（A種1） t=50、鉄部：SOP
▷◁	天井点検口：450×450（600×600） ｱﾙﾐ製
▱▱	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ W150×H100

電気設備開口補強		機械設備開口補強	
開口サイズ	ケ所数	開口サイズ	ケ所数
① 150×1235	27	ⓐ 1000×1000	3
② 150×617	7	ⓑ 950×700	5
③ 130×1250	4	ⓒ 400×400	3
④ 150φ	8	ⓓ 300×300	20
⑤ 100φ	5	ⓔ 270×270	4
⑥ 450×450	4		

1階天井伏図

DRAWING	1階天井伏図	SCALE	A1：1/100 A3：1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男			DRAWING No. A-31



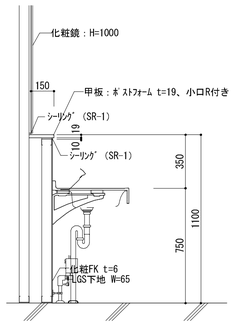
符号	仕上げ
Ⓐ	GB-D t=9.5
Ⓑ	GB-R t=9.5+DR t=9
Ⓒ	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ現し、鉄部：SOP
Ⓓ	FK t=6+EP-G
Ⓔ	溶融亜鉛メッキ仕上
Ⓕ	ﾃﾞｯｷﾌﾟﾚｰﾄ+吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ（A種1） t=50、鉄部：SOP
▨	天井点検口：450×450（600×600） ｱﾙﾐ製
▨	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ W150×H100

電気設備開口補強		機械設備開口補強	
開口サイズ	ケ所数	開口サイズ	ケ所数
① 150×1235	10	ⓐ 1000×1000	4
② 150×617	14	ⓑ 950×700	14
③ 130×1250	—	ⓒ 400×400	12
④ 150φ	9	ⓓ 300×300	12
⑤ 100φ	3	ⓔ 270×270	4
⑥ 450×450	4		

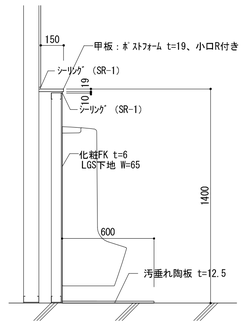
2階天井伏図

DRAWING 2階天井伏図	SCALE A1：1/100 A3：1/200	
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03	
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No. A-32

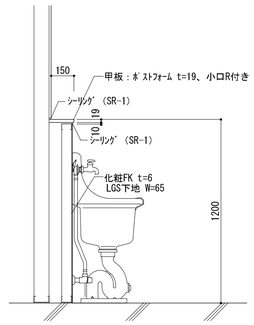
手洗い器パック　詳細図　S=1：20



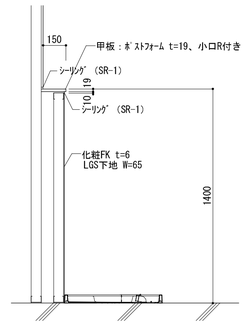
小便器パック　詳細図　S=1：20



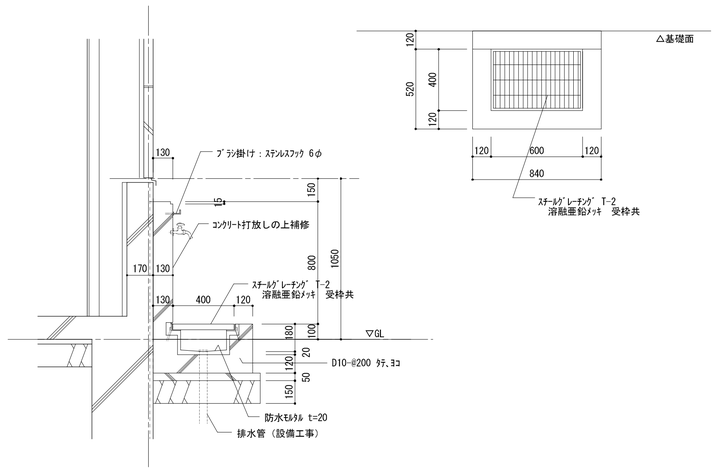
掃除流しパック　詳細図　S=1：20



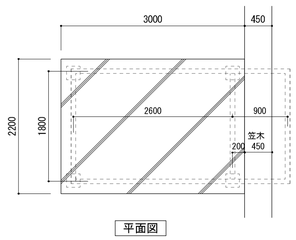
洗濯機パック　詳細図　S=1：20



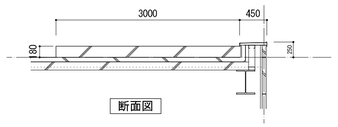
靴洗い場　詳細図　S=1/20



引上訓練用金物基礎　詳細図　S=1/50



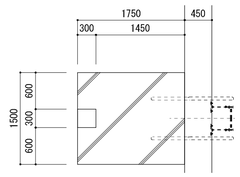
平面図



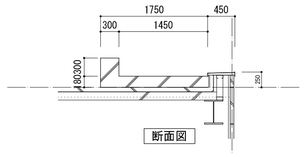
断面図

D10@200 ﾀﾃ､ﾖｺ

登はん訓練梯子/屋上丸環基礎　詳細図　S=1/50



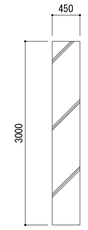
平面図



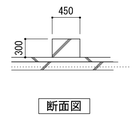
断面図

D10@200 ﾀﾃ､ﾖｺ

ﾛｰﾌﾟ渡過訓練金物基礎　詳細図　S=1/50



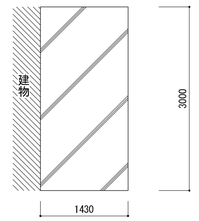
平面図



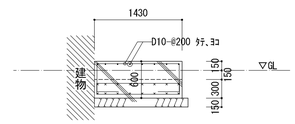
断面図

D10@200 ﾀﾃ､ﾖｺ

ﾎｰｽﾘﾌﾀｰ基礎　S=1/50

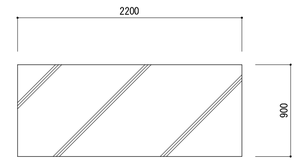


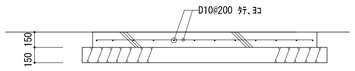
平面図



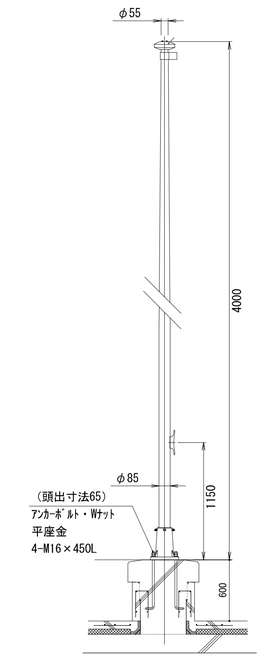
断面図

降下板基礎　S=1/30



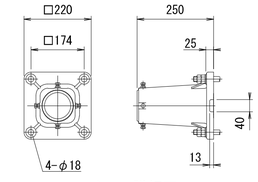


旗ﾎﾟｰﾙ　S=1/10,30



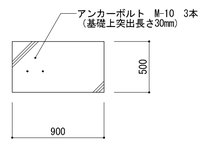
姿図
S＝1／30

※基礎は有孔折版取付基礎に準ずる

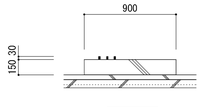


ベース詳細図
S＝1／10

雨雪量発信機基礎　S=1/30



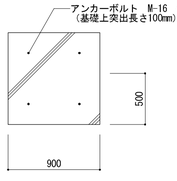
平面図



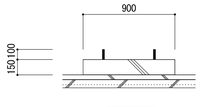
断面図

D10@200 ﾀﾃ､ﾖｺ

風向風速機基礎　S=1/30



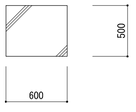
平面図



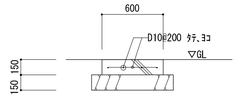
断面図

D10@200 ﾀﾃ､ﾖｺ

登はん訓練梯子地上基礎　S=1/30

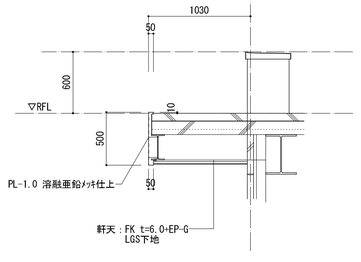


平面図



断面図

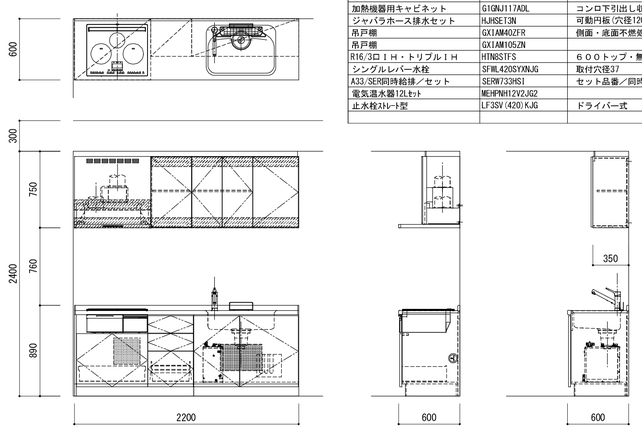
訓練用ｽﾃｯﾌﾟ　詳細図　S=1/30



DRAWING	雑詳細図.1
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事
SCALE	A1:1/20・30・50　A3:1/40・60・100
DATE	2024.03
DRAWING No.	A-33

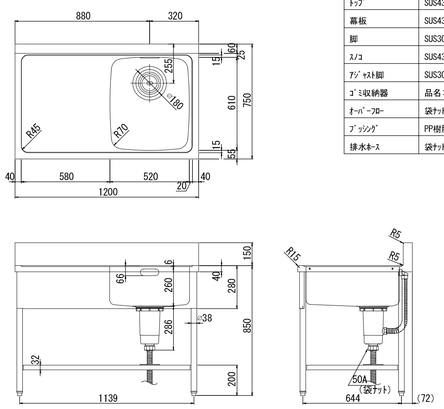
アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男

1階　食堂　ｷｯﾁﾝ　S=1/40



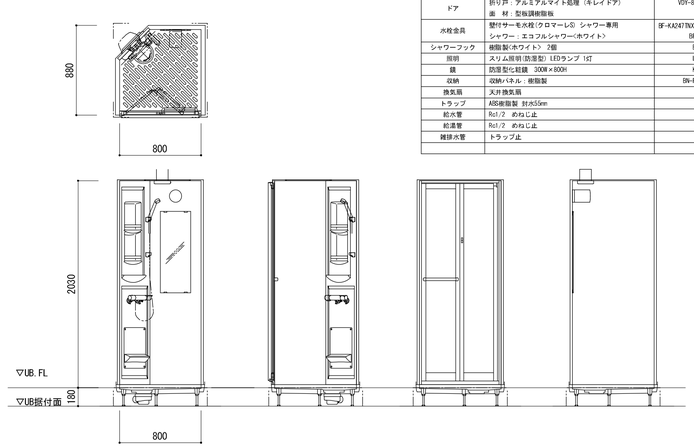
部材リスト		
部材名称	参考品番	備　考
ワークトップ	TIBKAG220AFWLXR	
シンク用フロアキャビネット	G1SDQ103ADR	開き扉
ラウンド68シンク	AFWL	水栓穴あり、ワイヤーポケット付
加熱機器用キャビネット	G1GNJ117ADL	コンロ下引出し収納
ジャバラホース排水セット	HJHSET3N	可動円板（穴径120対応）付内面平滑仕様
吊戸棚	GX1AM40ZFR	側面・底面不燃処理
吊戸棚	GX1AM105ZN	
R16/3口ＩＨ・トリプルＩＨ	HTN8STFS	６００トップ・無水両面焼・シルバー・連動
シングルレバー水栓	SFWL420SYXNJG	取付穴径37
A33/SER同時給排／セット	SERW733HS1	セット品番／同時給排・Ｈ７００・シルバー
電気温水器12Lｾｯﾄ	MEHPNH12V2JG2	
止水栓ｽﾄﾚｰﾄ型	LF3SV(420)KJG	ドライバー式

1階　救急車ｶﾞﾚｰｼﾞ/車庫　SUSｼﾝｸ　S=1/20



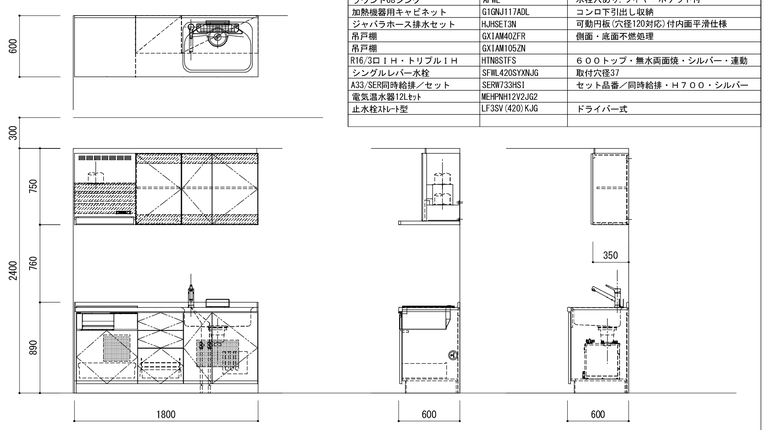
名称	仕様
ｼﾝｸ	SUS430
ﾄｯﾌﾟ	SUS430 No.4仕上
幕板	SUS430 No.4仕上
脚	SUS304 ⌀38
ｽﾉｺ	SUS430 No.4仕上 平板ｽﾘｯﾄ加工
ｱｼﾞｬｽﾄ脚	SUS304 調整幅+40m/m
ｺﾞﾐ収納器	品名：JD-K，本体・ｺﾞﾐｶｺﾞ：PP樹脂，菊割ｺﾞﾑ：SBR
ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ	袋ﾅｯﾄ・ｴﾙﾎﾞ：ABS樹脂，ﾎｰｽ：鋼線入りPVC⌀30
ﾌﾞｯｼﾝｸﾞ	PP樹脂 ﾅﾁｭﾗﾙ色
排水ﾎｰｽ	袋ﾅｯﾄ(50A)：ABS樹脂，ﾎｰｽ：鋼線入りPVC⌀30

各階ｼｬﾜｰﾕﾆｯﾄ　S=1/30



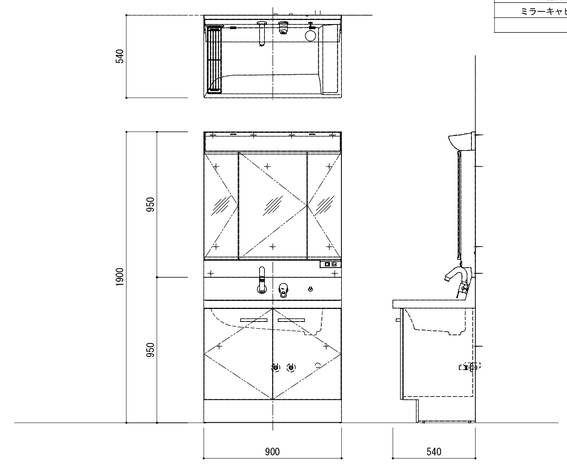
部位／項目	仕様（寸法単位：mm）	参考品番
床	FRP　凹凸模様仕上げ	U61
壁	Lパネル(ベーシッククラス)	LE301
天井	化粧鋼板複合パネル	UE103
ドア	折り戸：アルミアルマイト処理（キレイドア） 面　材：型板調樹脂板	VDY-8002000L(78)/W
水栓金具	壁付サーモ水栓(クロマーレS) シャワー専用 シャワー：エコフルシャワー〈ホワイト〉	BF-KA247TKX-F12PU、A-1859-3-PU BF-SD6BP-PU
シャワーフック	樹脂製〈ホワイト〉 2個	BF-30C-PU
照明	スリム照明(防湿型) LEDランプ 1灯	LDA-C1-2A
鏡	防湿型化粧鏡　300W×800H	KGM-3080S
収納	収納パネル：樹脂製	BN-FS20A(2)/N86
換気扇	天井換気扇	UF-24B
トラップ	ABS樹脂製 封水55mm	
給水管	Rc1/2　めねじ止	
給湯管	Rc1/2　めねじ止	
雑排水管	トラップ止	

2階　団長室分署長室　ｷｯﾁﾝ　S=1/40



部材リスト		
部材名称	参考品番	備　考
ワークトップ	TIBKAG220AFWLXR	
シンク用フロアキャビネット	G1SDQ103ADR	開き扉
ラウンド68シンク	AFWL	水栓穴あり、ワイヤーポケット付
加熱機器用キャビネット	G1GNJ117ADL	コンロ下引出し収納
ジャバラホース排水セット	HJHSET3N	可動円板（穴径120対応）付内面平滑仕様
吊戸棚	GX1AM40ZFR	側面・底面不燃処理
吊戸棚	GX1AM105ZN	
R16/3口ＩＨ・トリプルＩＨ	HTN8STFS	６００トップ・無水両面焼・シルバー・連動
シングルレバー水栓	SFWL420SYXNJG	取付穴径37
A33/SER同時給排／セット	SERW733HS1	セット品番／同時給排・Ｈ７００・シルバー
電気温水器12Lｾｯﾄ	MEHPNH12V2JG2	
止水栓ｽﾄﾚｰﾄ型	LF3SV(420)KJG	ドライバー式

2階　女子仮眠室　洗面化粧台　S=1/20



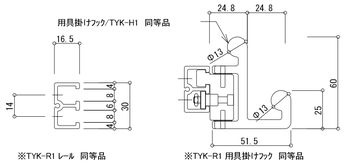
名称	参考品番
化粧台本体	AR3N-905SYN/VP1H
ミラーキャビネット	MAR2-903TXSU

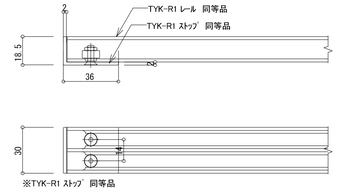
SK　用具掛け金物　詳細図　S=1/2

1階SK：ﾚｰﾙ2.9m　ﾌｯｸ　各10個

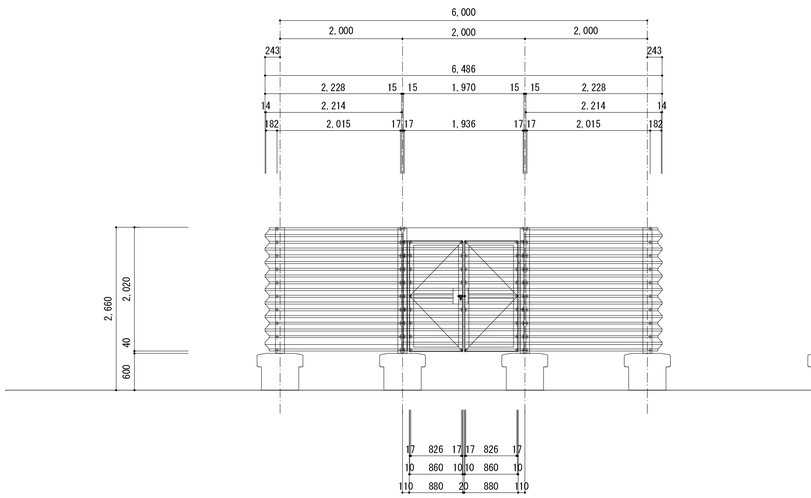
2階SK：ﾚｰﾙ1.0m×2　ﾌｯｸ　各10個

2階用具：ﾚｰﾙ0.7m×2　ﾌｯｸ　各10個

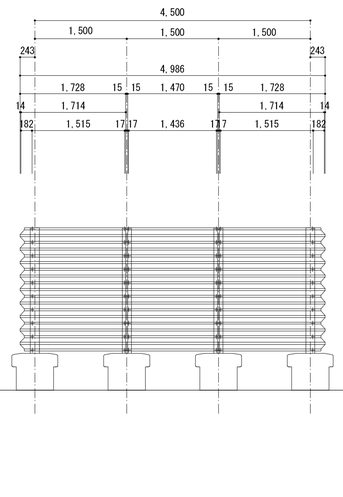




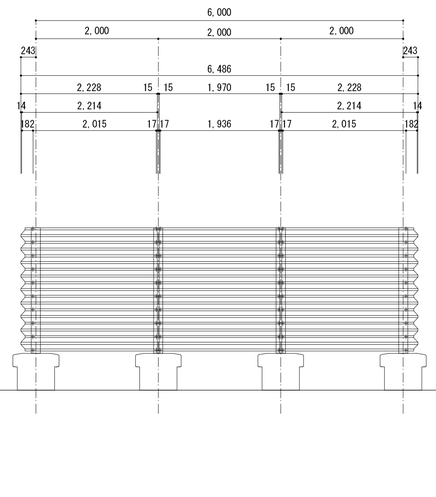
DRAWING	雑詳細図.2	SCALE	A1:1/2・20・30 A3:1/4・40・60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	A-34



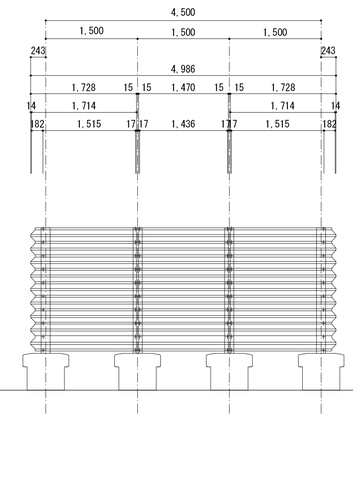
A面立面図　　S=1/50



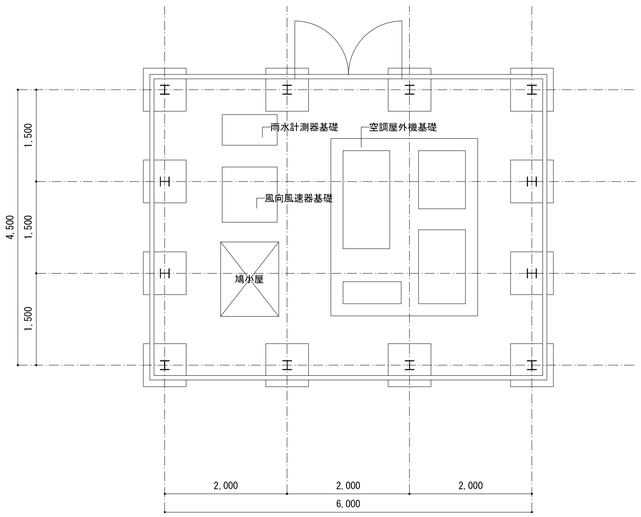
B面立面図　　S=1/50



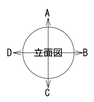
C面立面図　　S=1/50

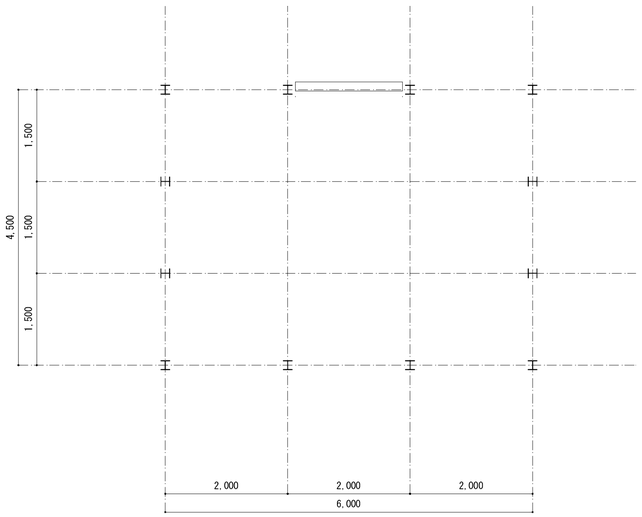


D面立面図　　S=1/50



屋上有孔折板平面図　　S=1/50

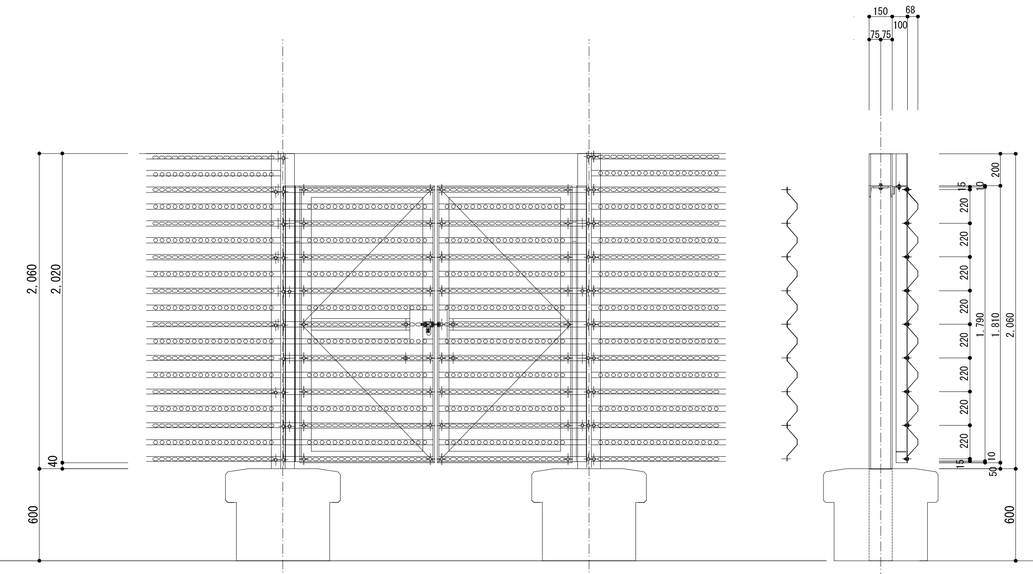




屋上有孔折板梁伏図　　S=1/50

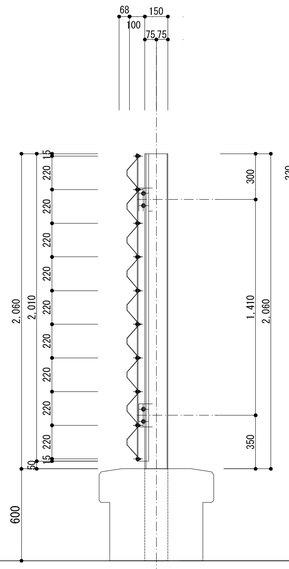
※　鉄骨柱・梁のｻｲｽﾞは構造図による。

DRAWING	屋上有孔折板平面図・屋根伏図・立面図	SCALE	A1：1/100　A3：1/100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-35

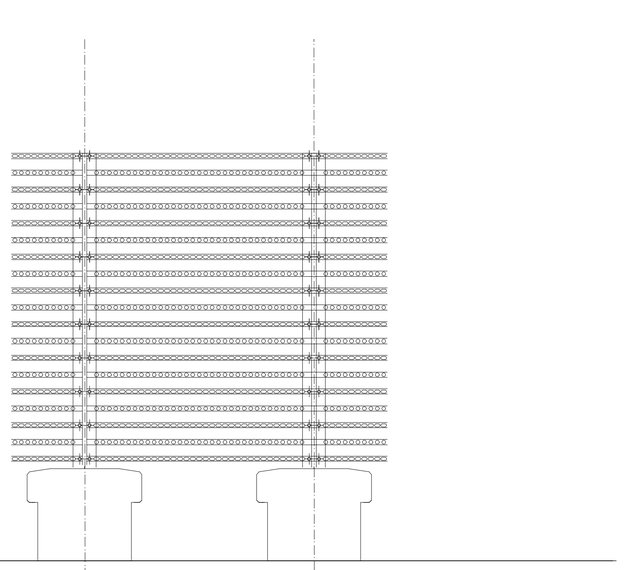


扉部分姿図　　S = 1/20

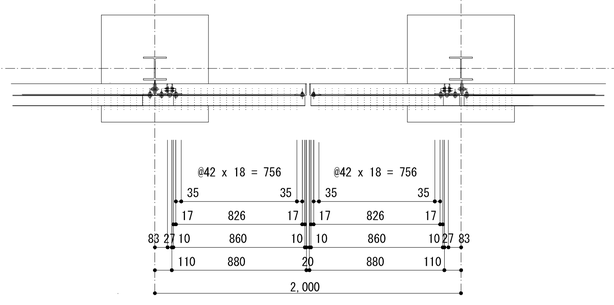
断 面 図　　S = 1/20



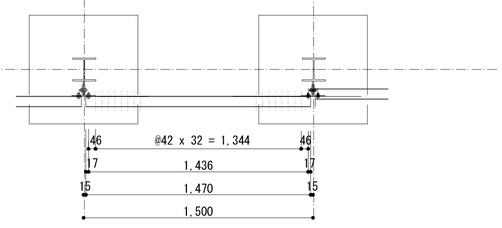
断 面 図　　S = 1/20



一般部姿図　　S = 1/20

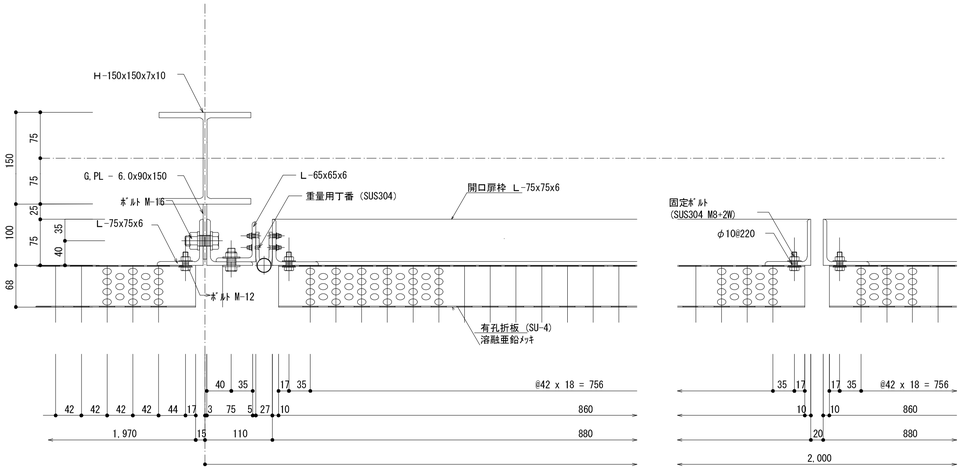


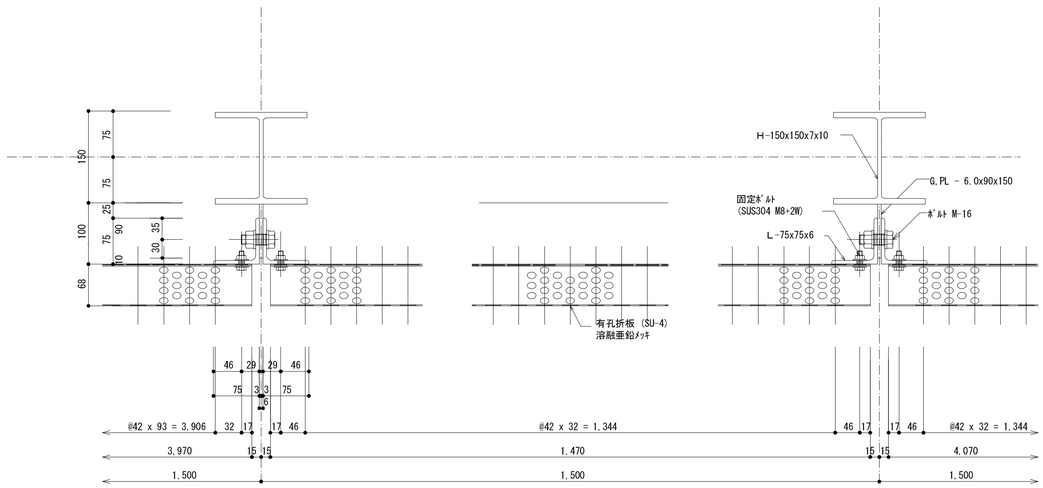
平面図　　S = 1/20

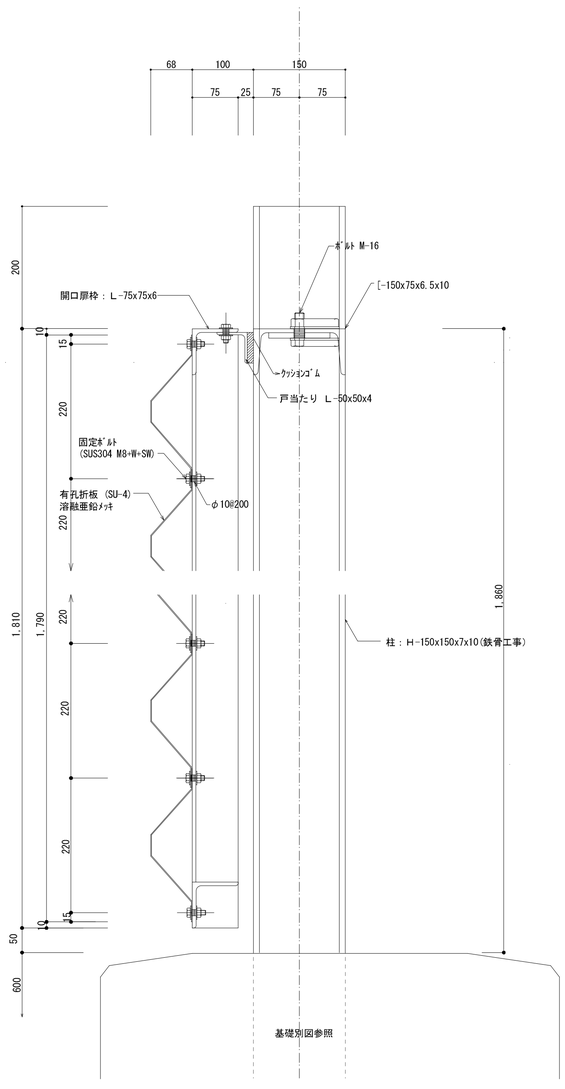


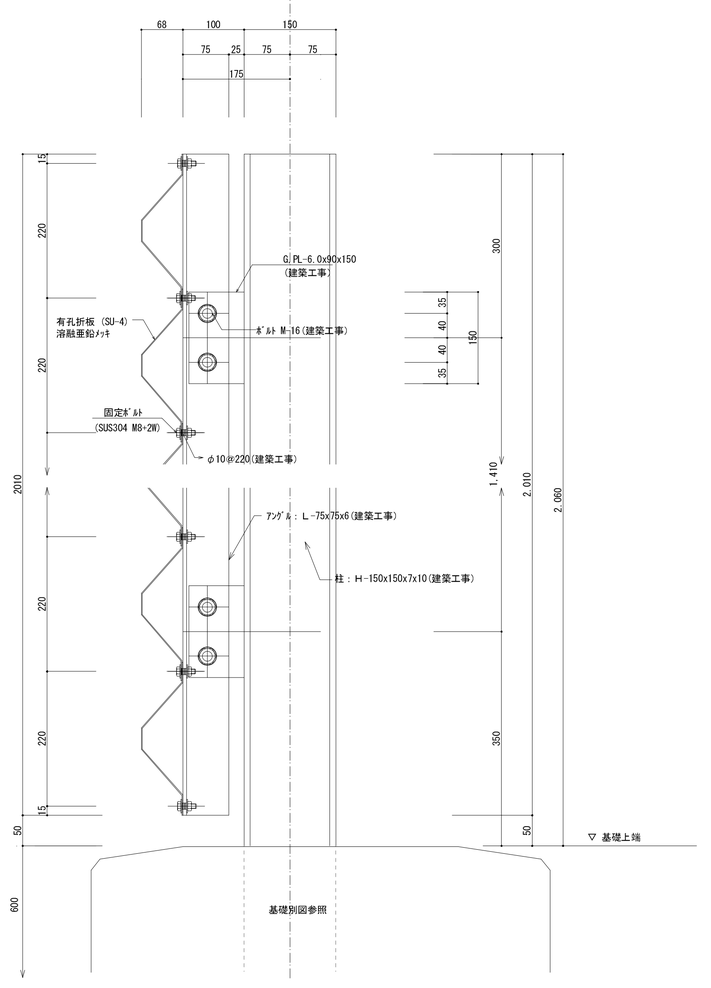
平面図　　S = 1/20

DRAWING	屋上有孔折板詳細図	SCALE	A1 : 1/20　A3 : 1/40
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-36





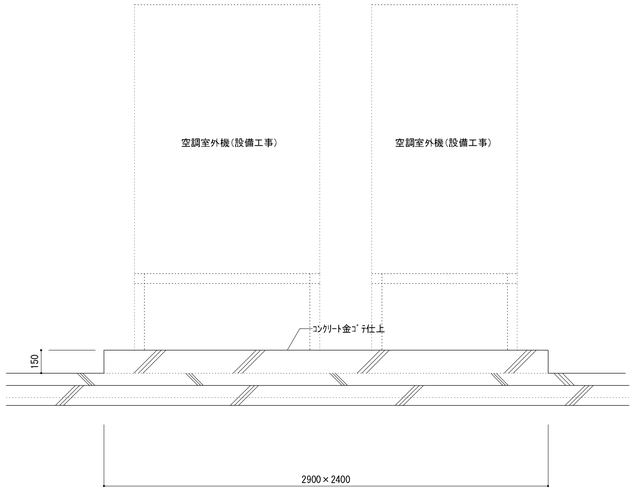




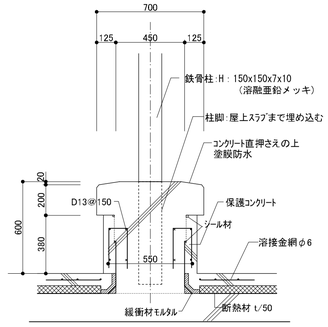
屋上有孔折板部分詳細図　　S = 1/5

DRAWING	屋上有孔折板部分詳細図	SCALE	A1：1/5　A3：1/10
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-37

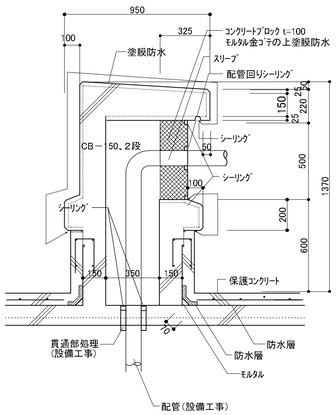
空調屋外機基礎　断面詳細図　S=1/20



有孔折板取付基礎　断面詳細図　S=1/20

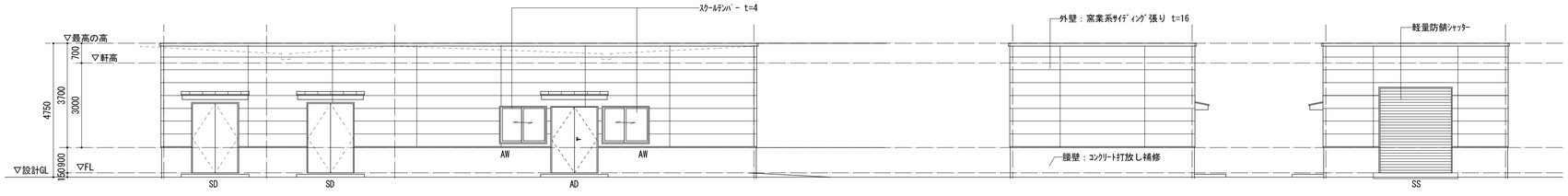


屋上ﾊﾄ小屋　断面詳細図　S=1/20



※配筋は構造図による

DRAWING 屋上空調機基礎詳細図	SCALE A1 1/20 A3 1/40
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男	DRAWING No. A-38

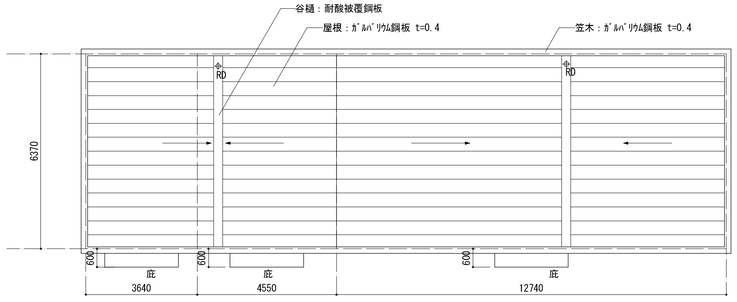


南　立面図

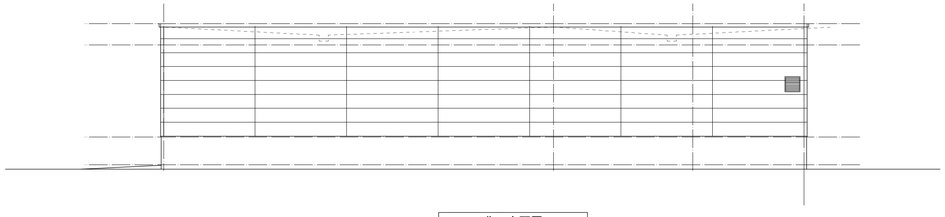
外壁：窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ張り t=16
腰壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修

西　立面図

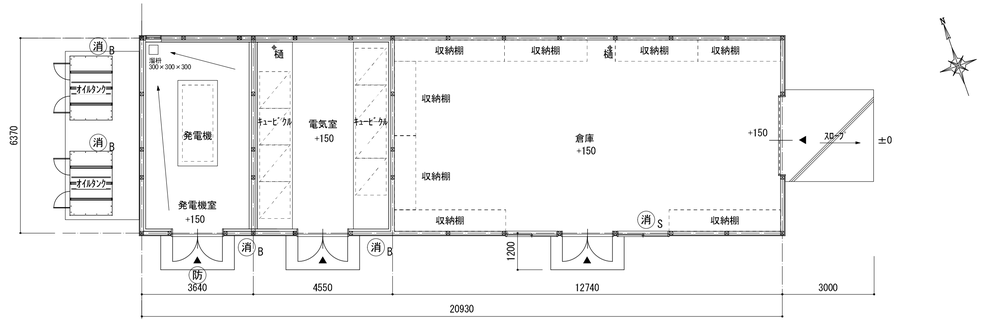
東　立面図



屋根伏図

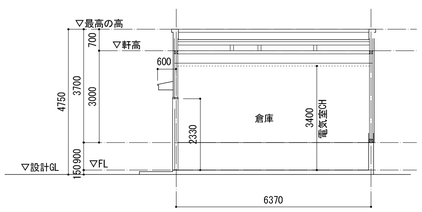


北　立面図

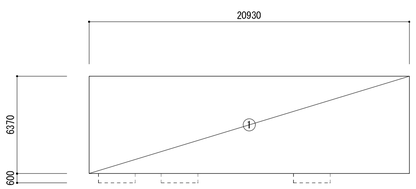


平面図

床面積　133.32㎡



断面図



求積図　　S=1/200

① 20.93×6.37＝133.3241

建築面積　①　＝133.3241 →133.32

床面積　①　＝133.3241 →133.32

■外部仕上表

屋　根	平場：ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.4 立平葺き 笠木：ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.4
庇	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板 t=0.4
軒　天	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板t=6.0 EP-G
外　壁	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ張り t=16
腰　壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修
建　具	ｱﾙﾐ製建具　　ｽﾁｰﾙ製建具　　軽量ｼｬｯﾀｰ
その他	ｽﾛｰﾌﾟ：ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装

■内部仕上表

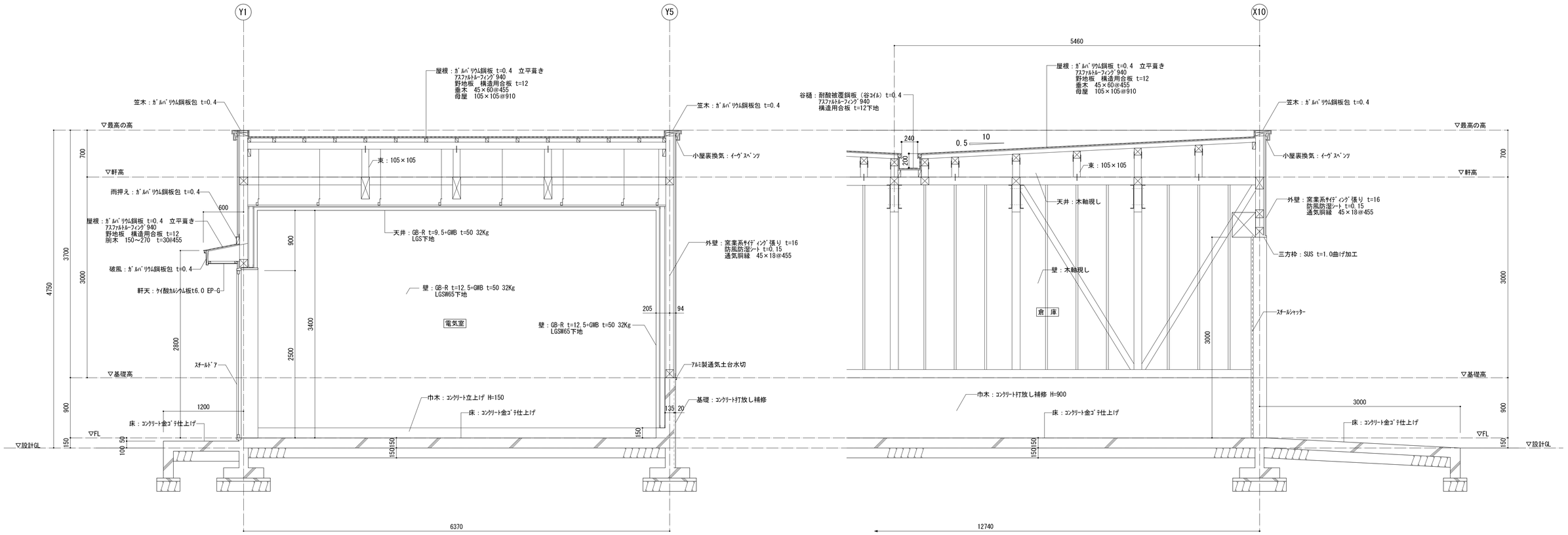
◆電気室/発電機室	
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ
巾　木	ｺﾝｸﾘｰﾄ立上げH150
壁	LGS65+GB-R t=12.5+GWB t=50 32Kg
天　井	LGS65+GB-NC t=9.5+GWB t=50 32Kg
その他	ｷｭｰﾋﾞｸﾙ基礎 発電機基礎
◆倉庫	
床	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ
巾　木	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修
壁	木軸組現し
天　井	木小屋組現し
その他	

消火器凡例

消H	半埋込型	※BOX-建築工事　消火器-機械設備工事
消S	置き型	※機械設備工事
消B	BOX型（付加設置）	※機械設備工事

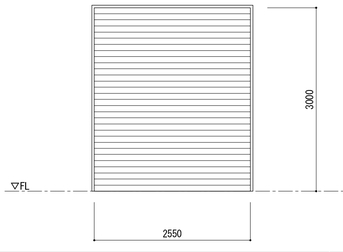
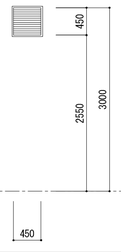
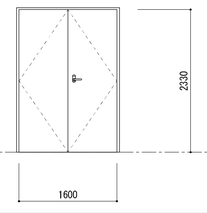
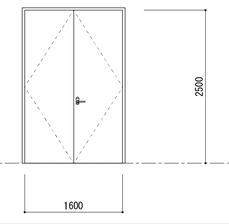
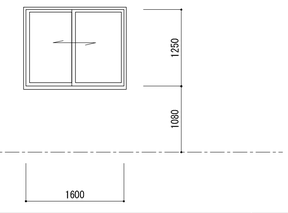
※ABC粉末消火器10型

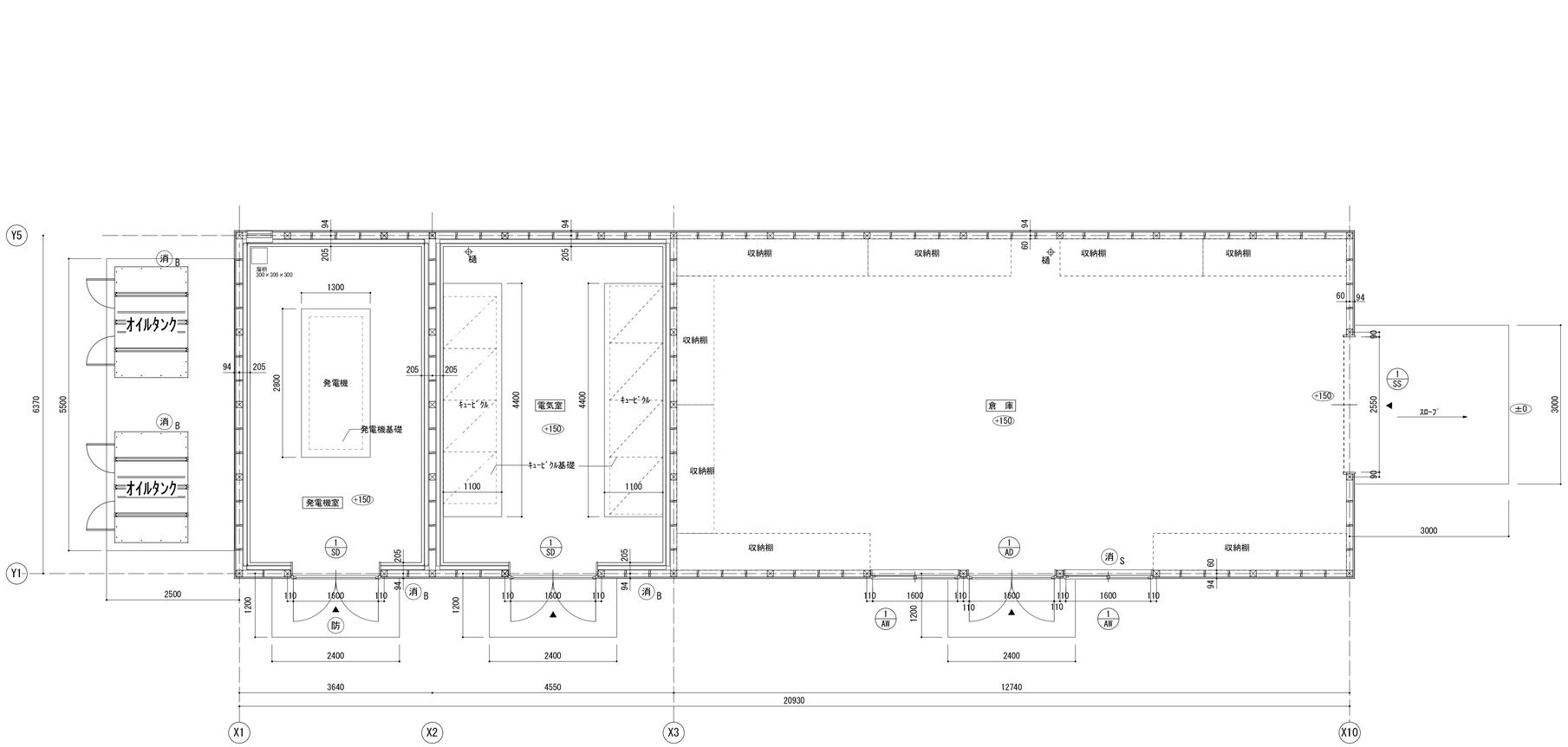
DRAWING	防災倉庫　平面図・屋根伏図・立面図・断面図・求積図	SCALE A1:1/100, 200 A3:1/200, 400
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. A-39



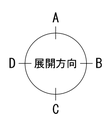
矩計図　　S=1/30

DRAWING	防災倉庫　矩計図	SCALE	A1：1/30　A3：1/60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	A-40

記号　名称	SS-1　軽量ｽﾁｰﾙ手動ｼｬｯﾀｰ		AG-1　ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ		AD-1　ｱﾙﾐ製両開きﾄﾞｱ		SD-1A, SD-1　ｽﾁｰﾙ製両開きﾄﾞｱ				AW-1　ｱﾙﾐ製引き違い窓	
姿図												
位置　数量	倉庫	1	1階：油倉庫	1	倉庫	1	電気室、発電機室	SD-1：1 SD-1A:1			倉庫	2
見込　仕上	ｽﾗｯﾄ：亜鉛ｱﾙﾐめっき鋼板 t=0.5		枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）		枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）		枠見込100　PL-1.0 SOP				枠見込70　ｶﾗｰｱﾙﾐ（ｱﾙﾏｲﾄ処理）	
ガラス					ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t=3						ｽｸｰﾙﾃﾝﾊﾟｰ調子 t=4	
金物	ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ（SUS）、座板（SUS）、ﾎﾞｯｸｽ、ﾛｯｸ、他付属金物一式				丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ﾌﾗｽｽ落し、他付属金物一式		丁番、ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ﾌﾗｽｽ落し、他付属金物一式				ｸﾚｾﾝﾄ、他付属金物一式	
備考							※SD-1Aは告示1360号1-2-イに該当する構造とする					



平面詳細図　S=1/50

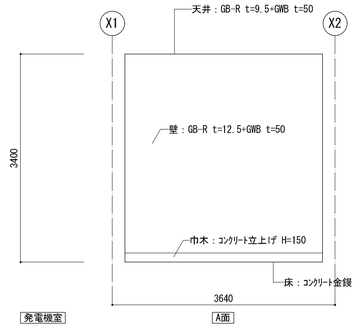


※ 注記

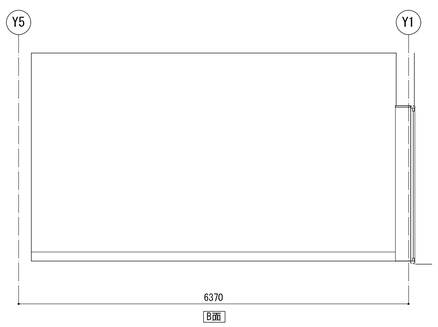
1. 基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ（普通）　設計基準強度：Fc=21N/mm2　S-18
　捨てｺﾝｸﾘｰﾄ（普通）　設計基準強度：Fc=18N/mm2　S-15
2. 鉄筋　SD295　D16以下（重ね接手）　規格品

機械基礎断面図　S=1/50

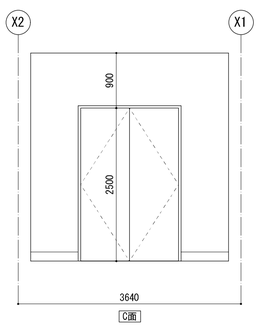
DRAWING　防災倉庫　平面詳細図・建具表		SCALE　A1：1/50　A3：1/100
PROJECT　風間浦村消防庁舎等建設工事		DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No. A-41



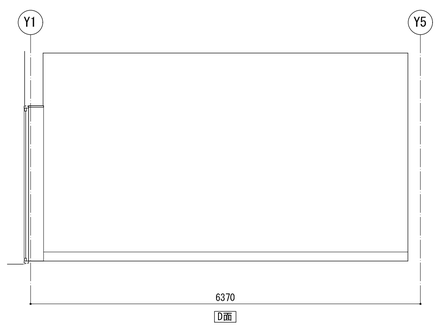
発電機室 A面



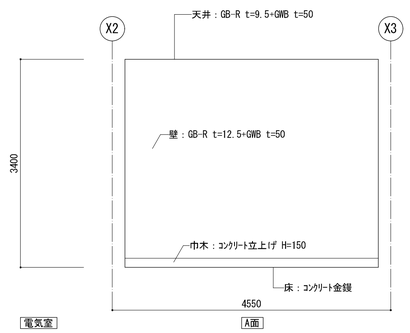
B面



C面



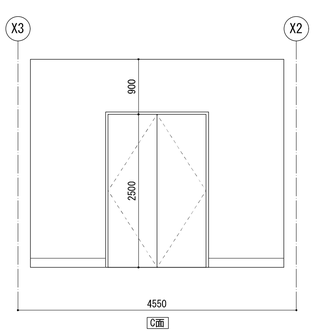
D面



電気室 A面



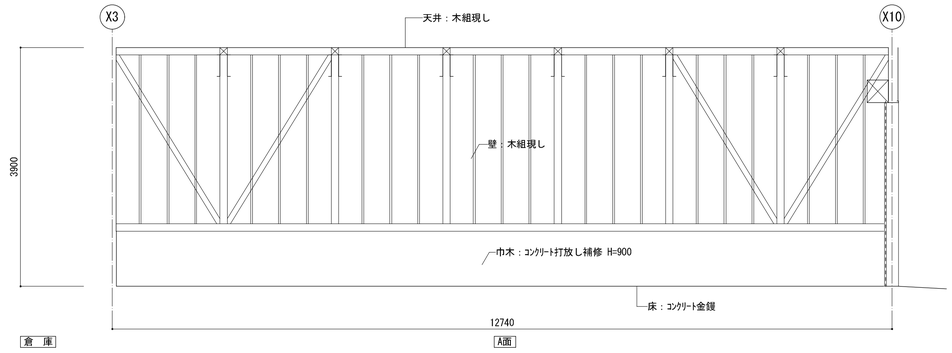
B面



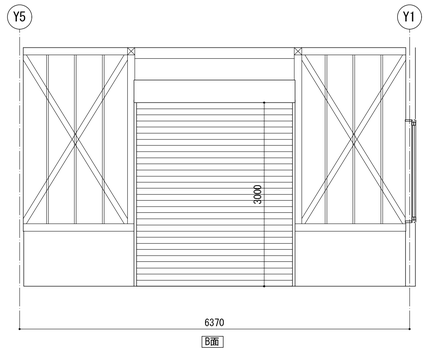
C面



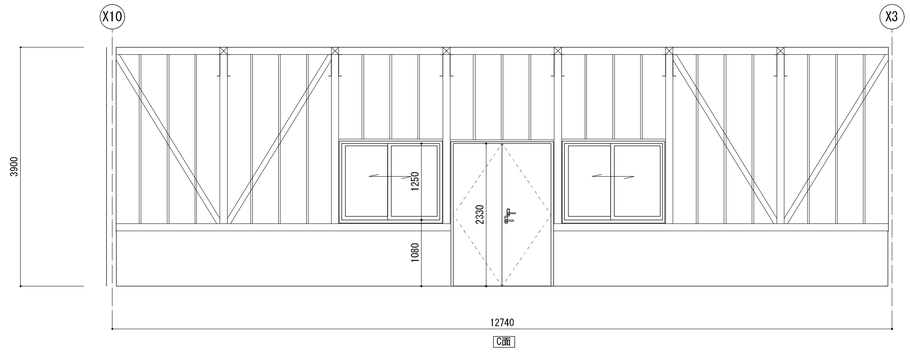
D面



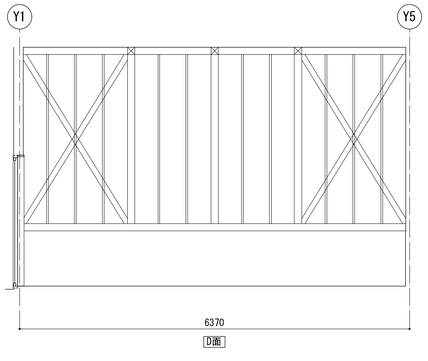
倉　庫 A面



B面

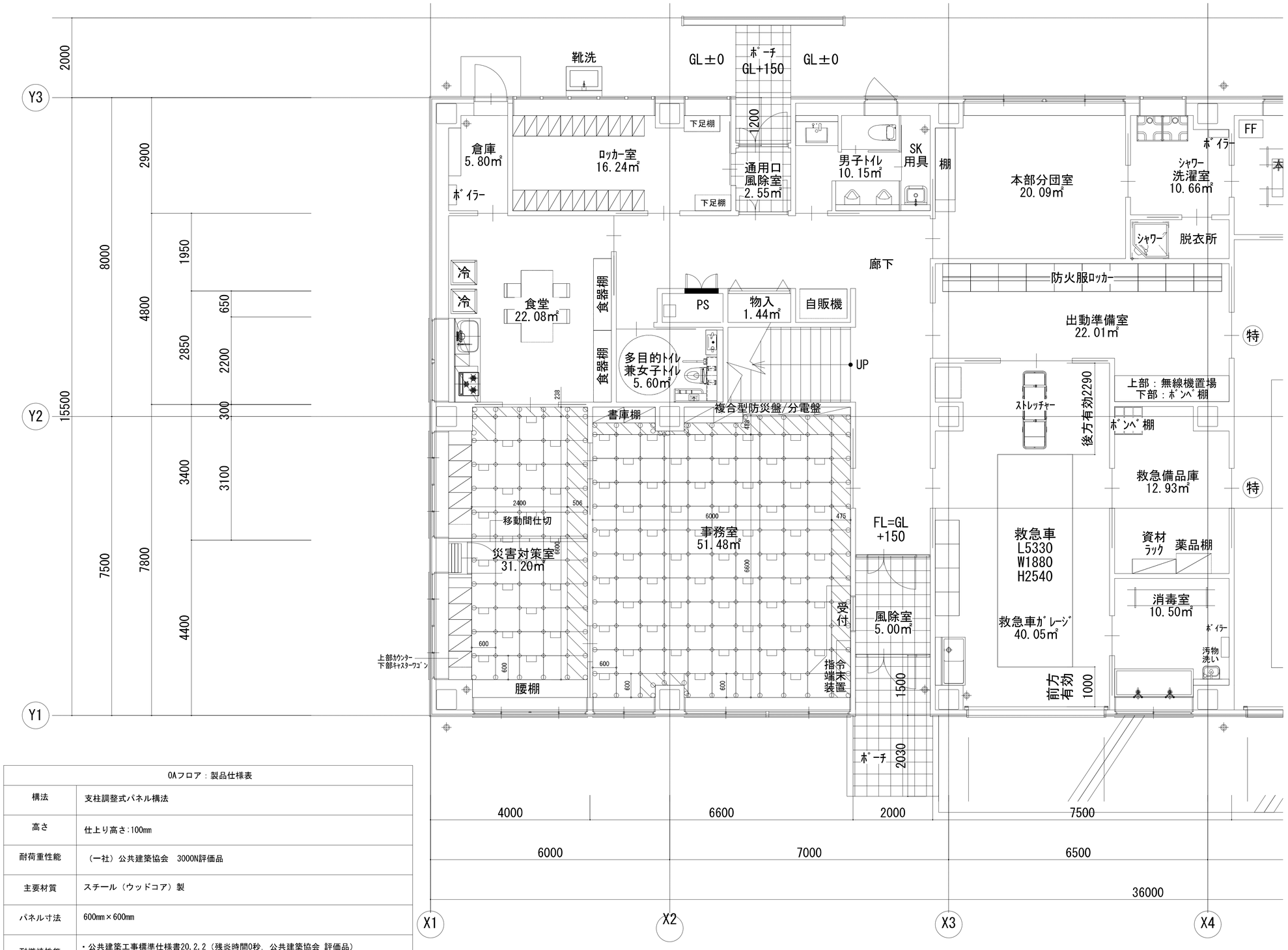


C面



D面

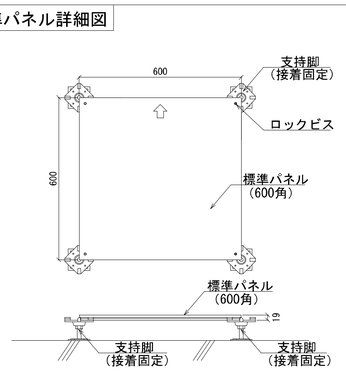
DRAWING	防災倉庫　展開図	SCALE	A1：1/50　A3：1/100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-42



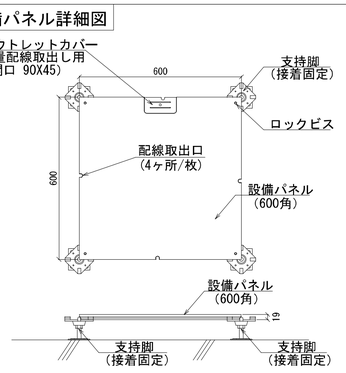
0Aフロア：製品仕様表	
構法	支柱調整式パネル構法
高さ	仕上り高さ:100㎜
耐荷重性能	（一社）公共建築協会　3000N評価品
主要材質	スチール（ウッドコア）製
パネル寸法	600㎜×600㎜
耐燃焼性能	・公共建築工事標準仕様書20.2.2（残炎時間0秒，公共建築協会 評価品） ・準不燃以上の性能を有すること
公的機関評価	（一社）公共建築協会　品質性能評価品
その他	参考品番 共同カイテック（株）クワッドフィックス６００同等品

1階0Aフロア割付図

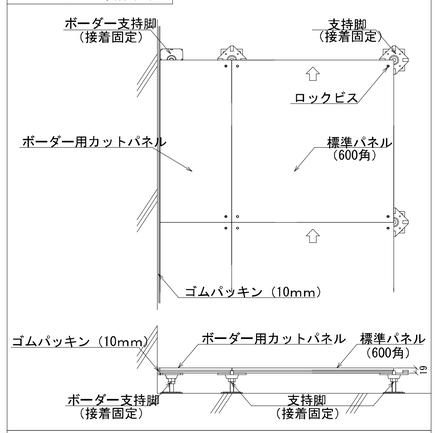
標準パネル詳細図



設備パネル詳細図



ボーダー部詳細図

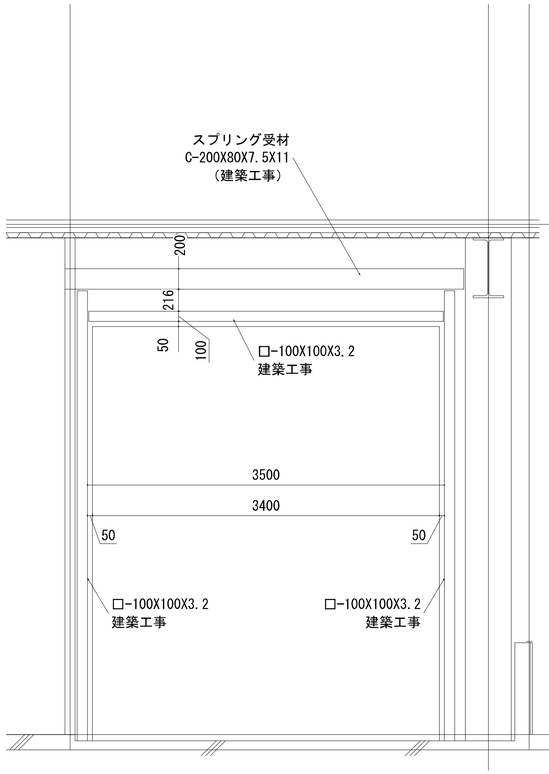


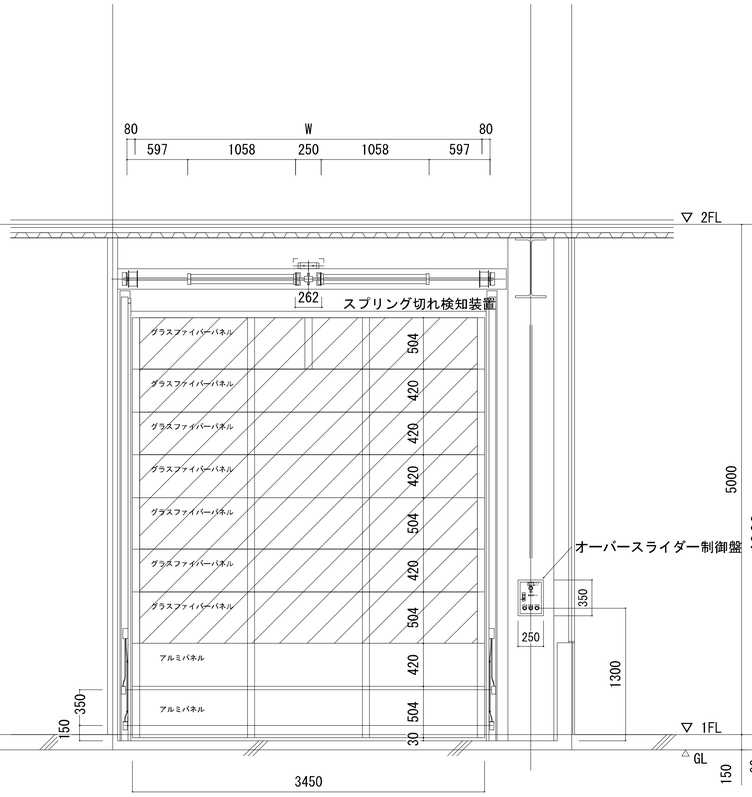
凡　例　0Aフロア仕上り高さ　H=100

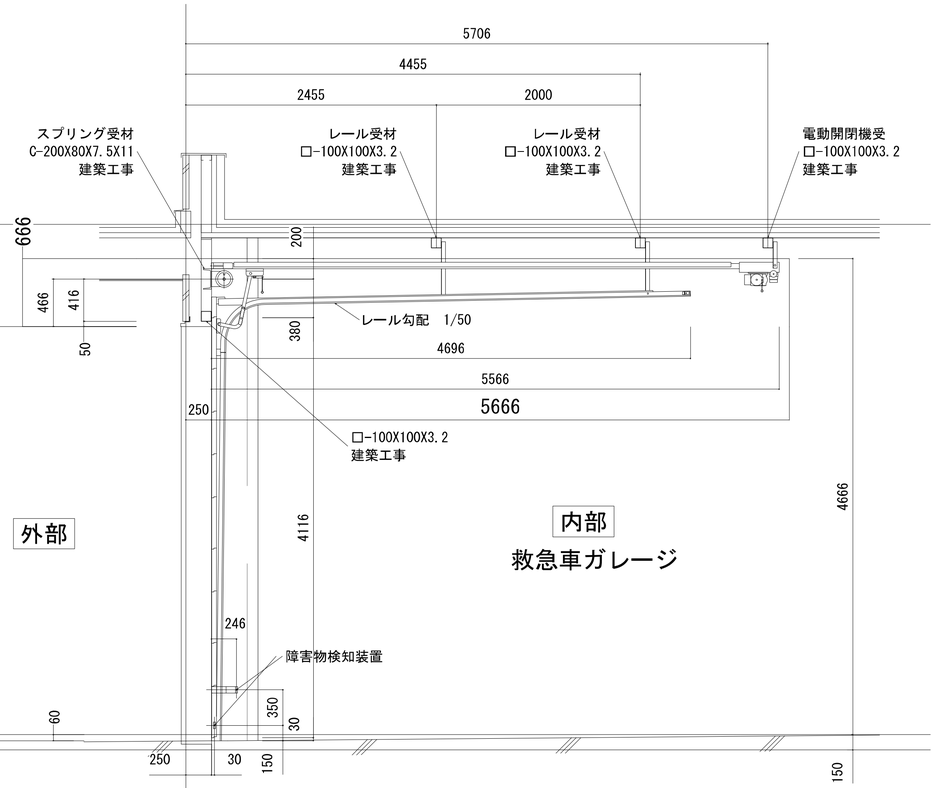
- 標準パネル
- 設備パネル（50%）※
- ボーダー部 範囲
- ◇ 支持脚
- ○ 平支持脚

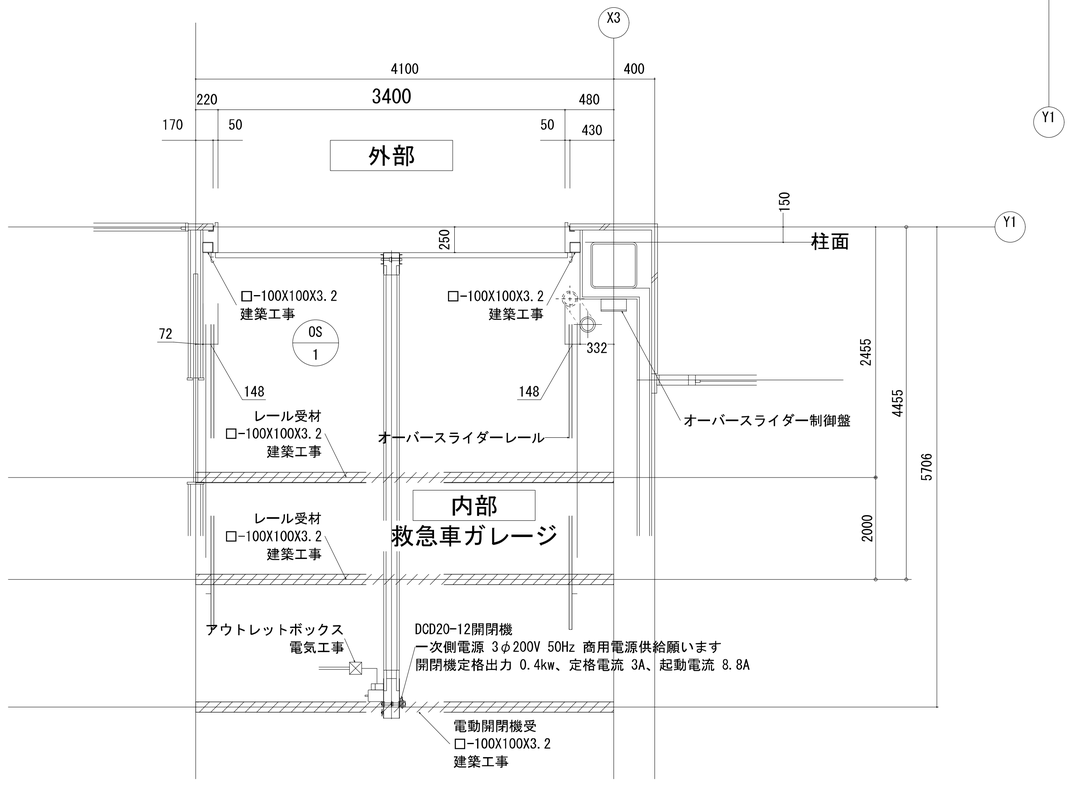
※ボーダー加工が生じないパネルに対しての割合です

DRAWING	0Aフロア割付図	SCALE	A1：1/50　A3：1/100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-43

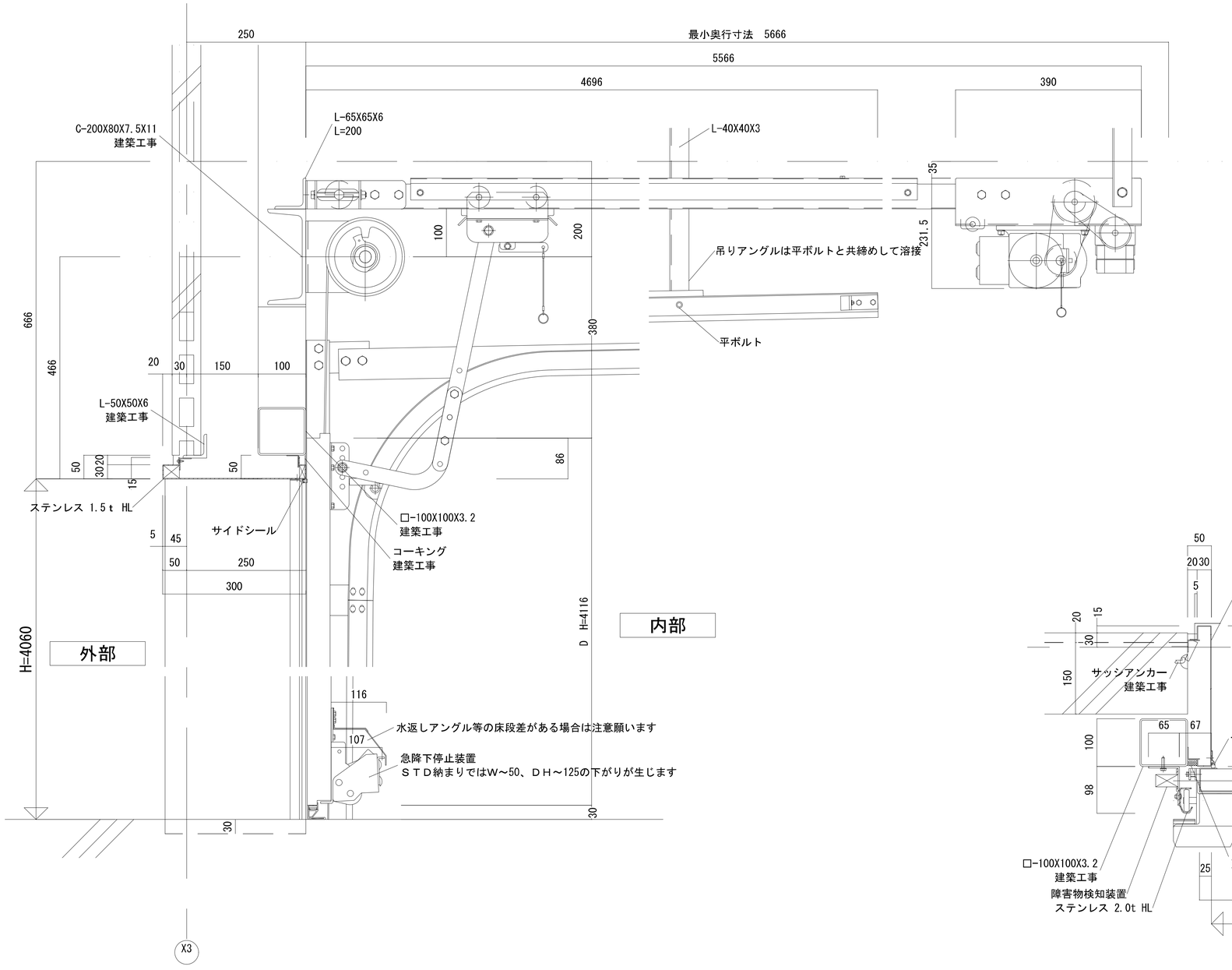


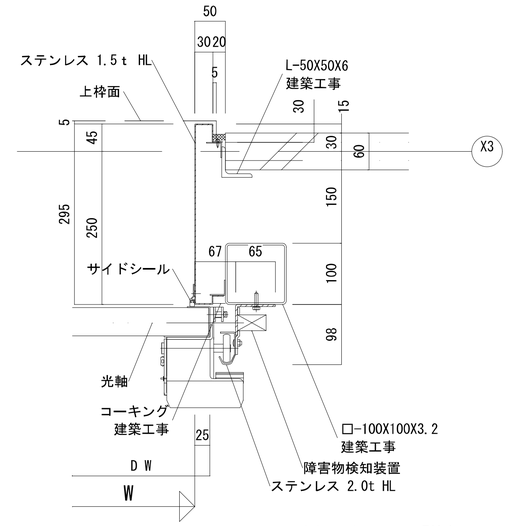






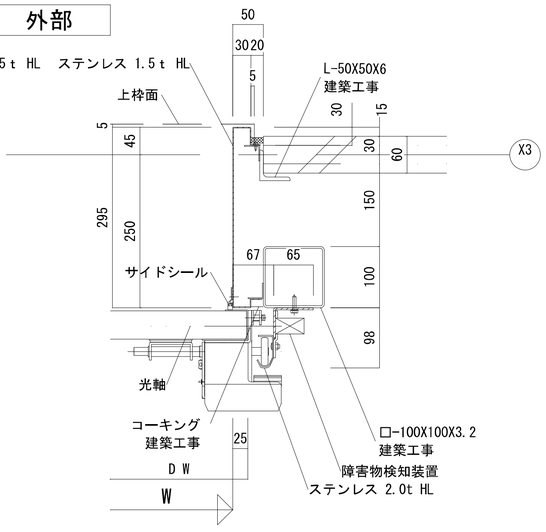
DRAWING	オーバースライダー詳細図-1	SCALE	A1：1/30 A3：1/60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男			DRAWING No. A-44





OS－1 平面詳細

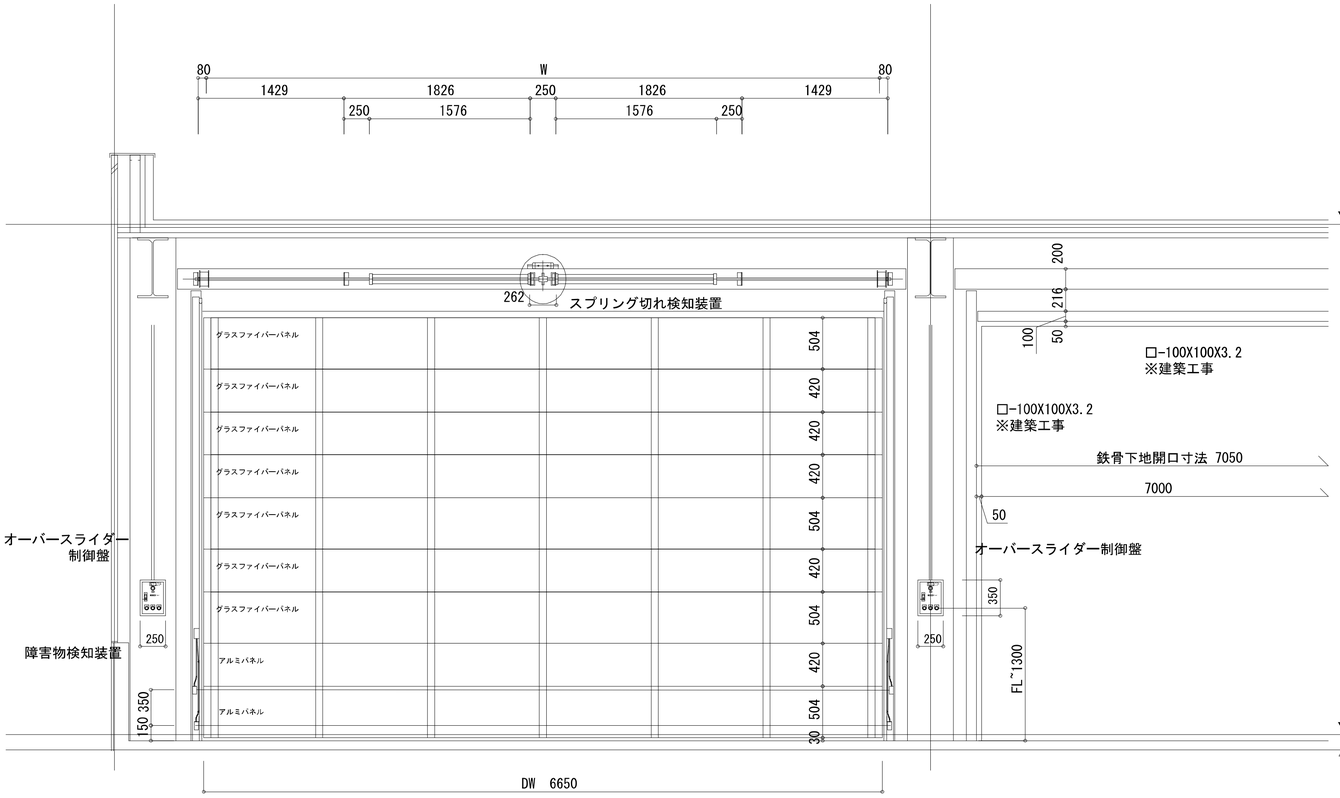
外部

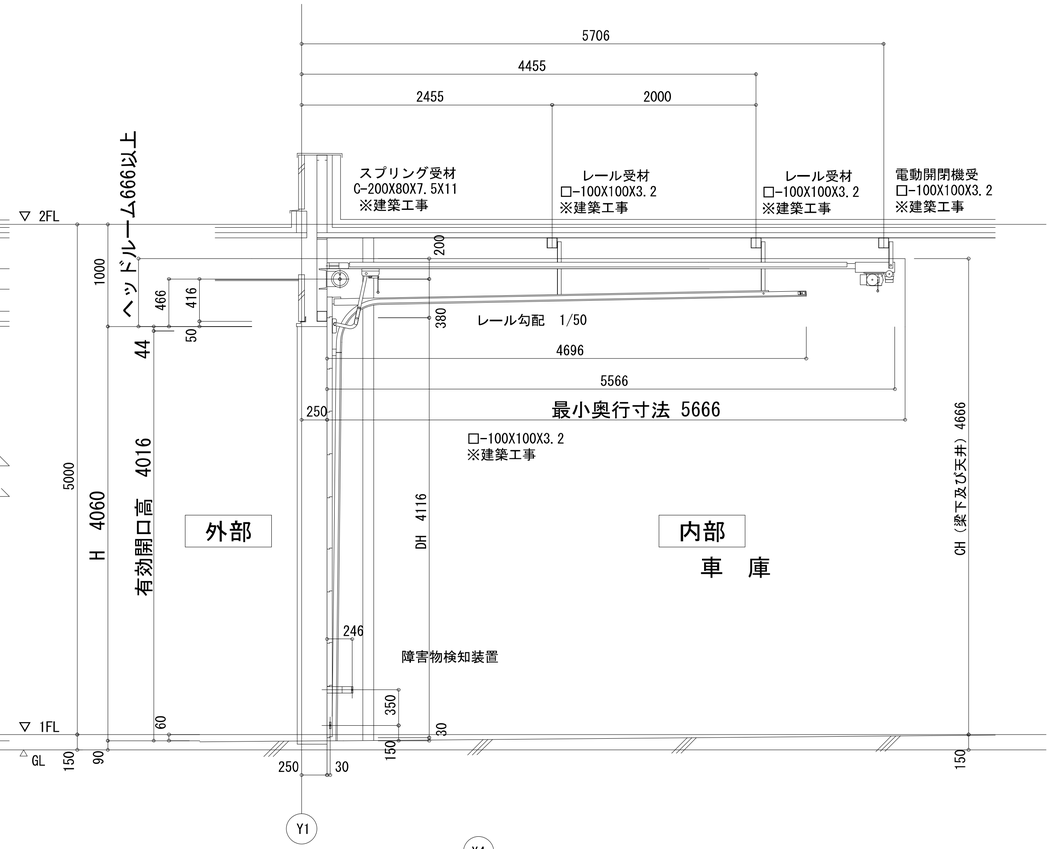


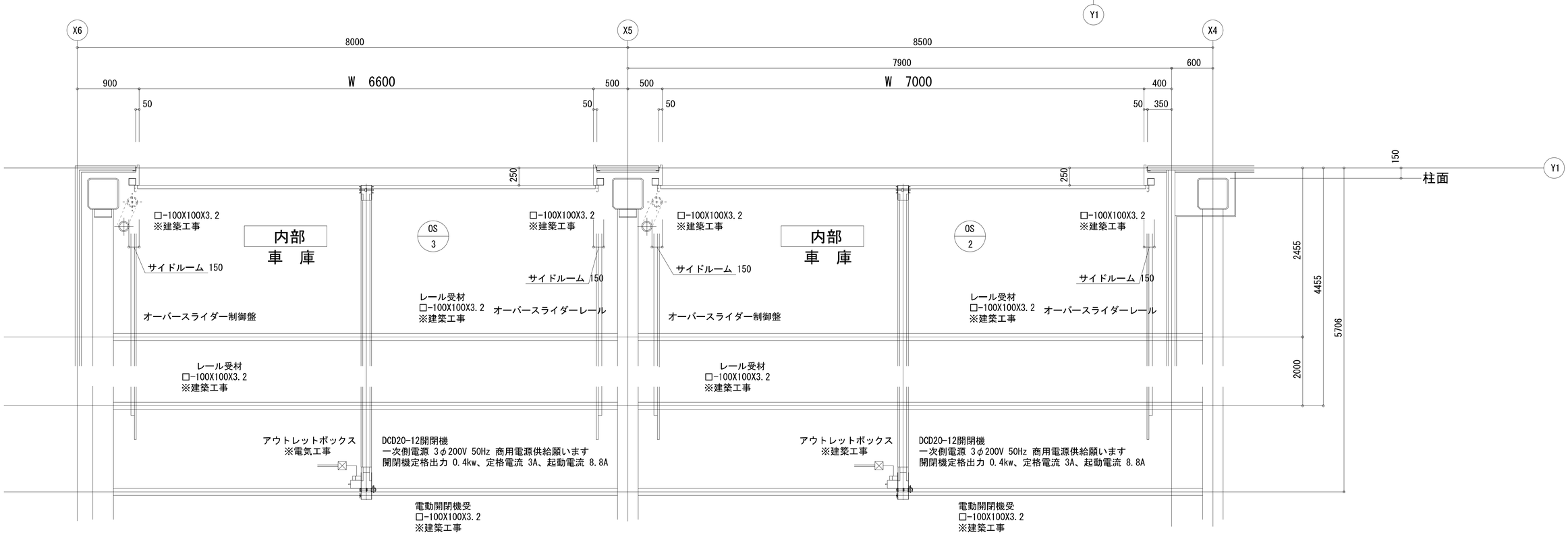
内部

OS－2,3 平面詳細

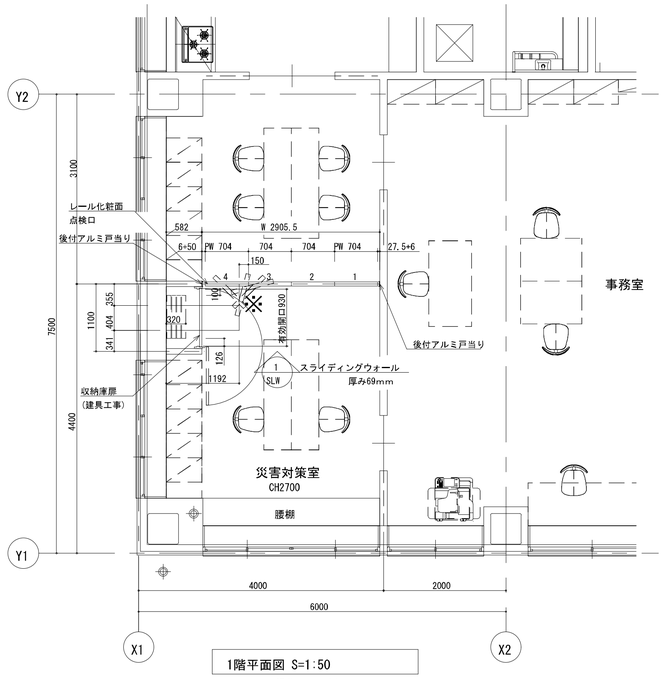
DRAWING	オーバースライダー詳細図-2	SCALE	A1：1/5　A3：1/10
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-45





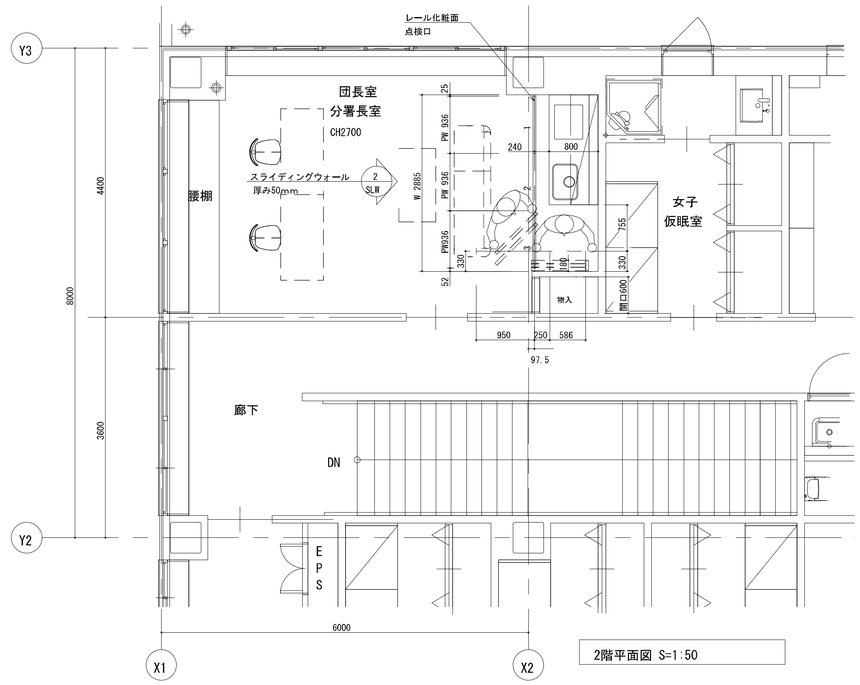


DRAWING	オーバースライダー詳細図-3	SCALE	A1：1/30 A3：1/60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男			DRAWING No. A-46

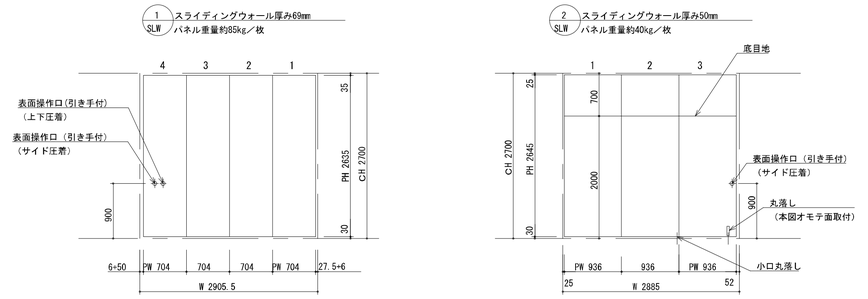


1階平面図 S=1:50

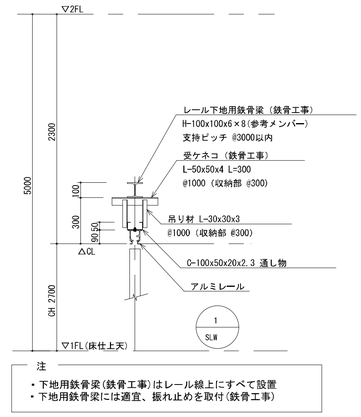
※操作口取付側



2階平面図 S=1:50



展開図 S=1:50



注

・下地用鉄骨梁(鉄骨工事)はレール線上にすべて設置
・下地用鉄骨梁には通貫、振れ止めを取付(鉄骨工事)

スライディングウォール 厚み69mm(LW-60D)

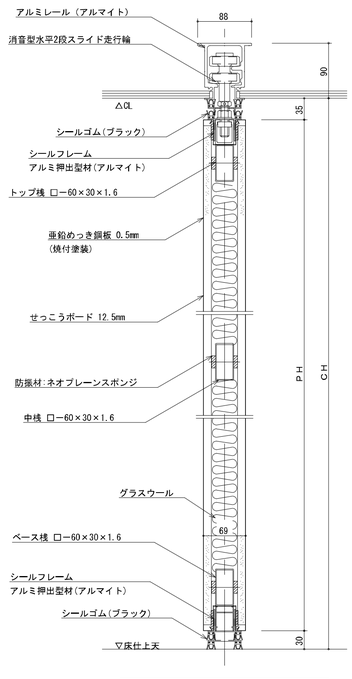
1 SLW

レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
		コーナー部 直角レール
ランナー仕様	走行輪	水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 14
パネル仕様	表面仕上	
	表面材	亜鉛めっき鋼板 0.5mm (焼付塗装)
		下張り:せっこうボード 12.5mm
	充填材	グラスウール
	骨組	アルミフレーム + 鉄骨造
	フレーム	アルミ押出形材 (アルマイト処理)
	召合せ	固定ゴム嵌合
	壁面シールド	機械駆動式
	上部シールド	機械駆動式
	下部シールド	機械駆動式
	パネル分離型構造(廃棄時分別可能)・・・環境対応型	

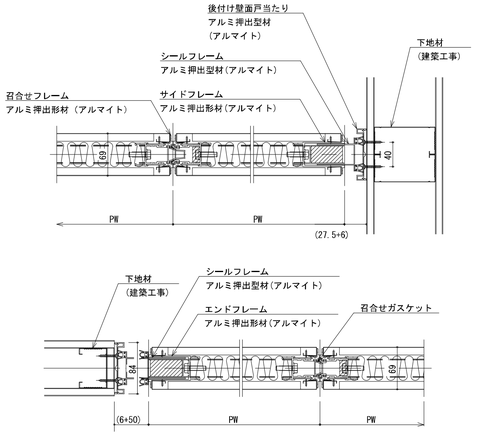
スライディングウオール 厚み50mm(LW-50VB)

2 SLW

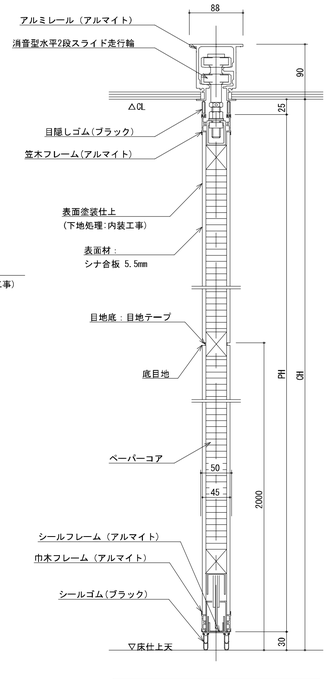
レール仕様	レール	アルミ押出型材ハンガーレール(アルマイト処理)
		コーナー部 直角レール
ランナー仕様	走行輪	消音型水平2段スライド走行輪(ベアリング内蔵)
	吊ボルト	M 14
パネル仕様	表面仕上	塗装仕上(下地処理 : 内装工事)
	表面材	シナ合板 5.5mm
	充填材	ペーパーコア
	骨組	木枠(LVL)
	フレーム	アルミ押出形材 (アルマイト処理)
	召合せ	固定ゴム嵌合
	下部シールド	接床装置(プッシュロッド式)
	固定方法	小口及び表面丸落としにて固定



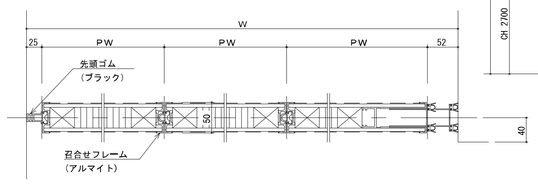
縦断面詳細図 S=1:5



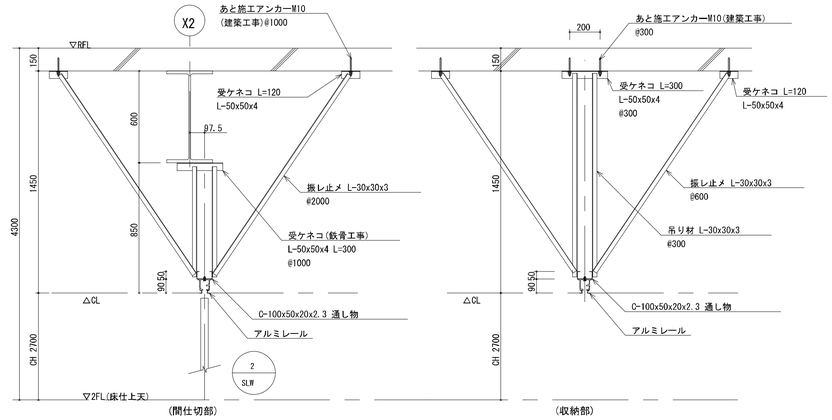
横断面詳細図 S=1:5



縦断面詳細図 S=1:5



横断面詳細図 S=1:5

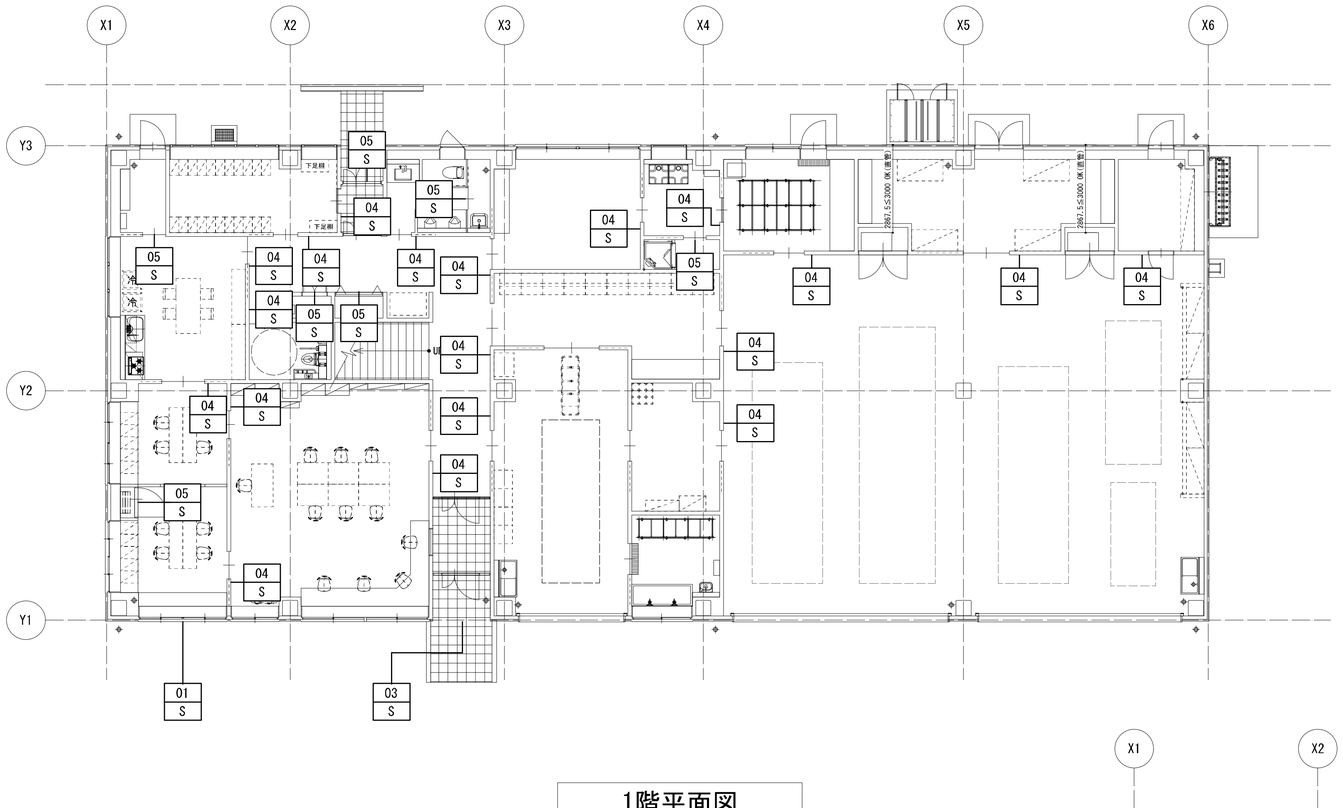


レール取付断面図 S=1:20

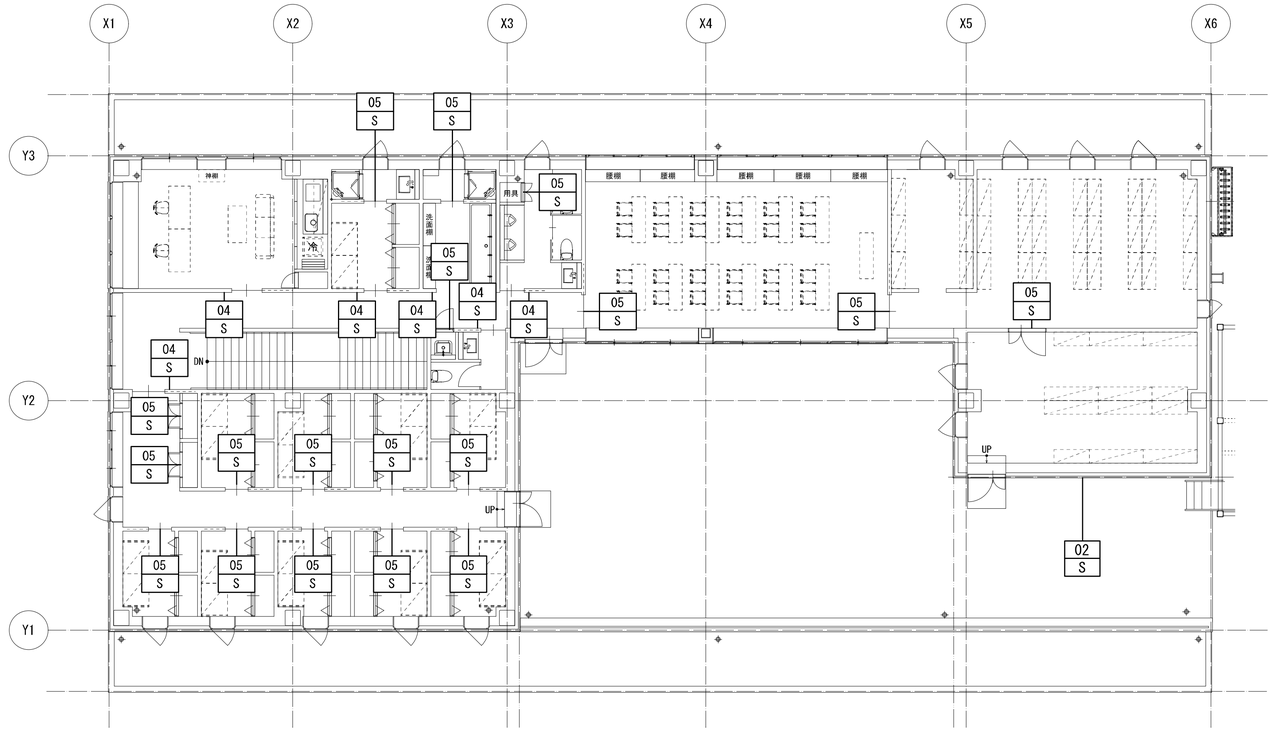
1 SLW <スライディングウォール 厚み69mm> (LW-60D)

2 SLW <スライディングウォール 厚み50mm> (LW-50VB)

DRAWING	移動間仕切詳細図	SCALE A1:1/5, 20, 50 A3:1/10, 40, 100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男	アール・エー・ビー開発株式会社	DRAWING No. A-47



1階平面図



2階平面図

DRAWING	サインキープラン	SCALE	A1：1/100　A3：1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-48

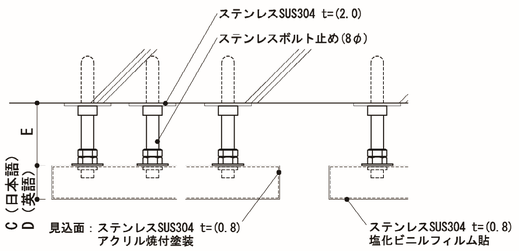
S-01　庁舎サイン（箱文字）、消防紋章（ﾀﾞｲﾔｽﾀｲﾄ）　S＝1/20

※施設名称は監督員と協議の上決定とする

φ300

下北地域広域行政事務組合
大畑消防署 風間浦消防分署

5,000



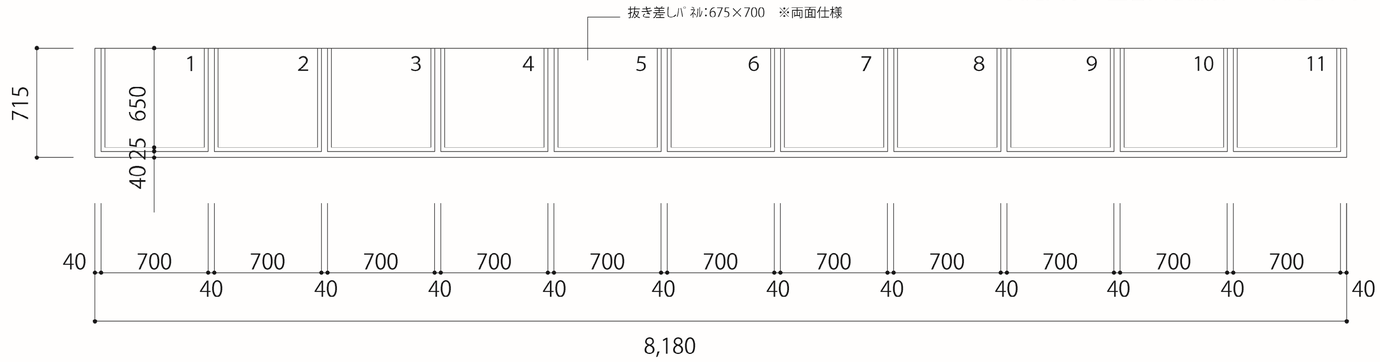
標準詳細図 No Scale

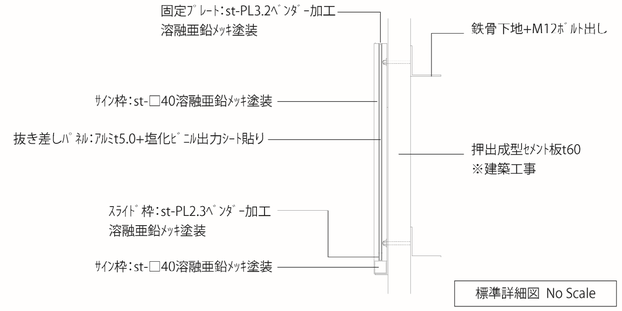
◆消防紋章
（H50-SUSﾋﾟﾝ立て加工）
正面：ﾀﾞｲﾔｽﾀｲﾄ加工
参考：廣部硬器同等品以上

◆庁舎名ｻｲﾝ
（H50-SUSﾋﾟﾝ立て加工）
正面：SUS304-t0.8 塩化ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ貼
見込：SUS304-t0.8 ｱｸﾘﾙ樹脂焼付塗装

S-02　抜き差しサイン（11文字）　S＝1/20

※表記文字は監督員と協議の上決定とする





標準詳細図 No Scale

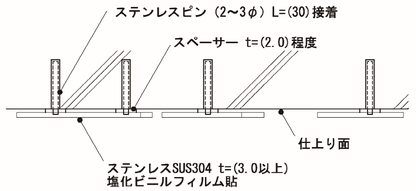
◆ｻｲﾝ枠
ｽﾁｰﾙ製溶融亜鉛ﾒｯｷ塗装
◆抜き差しﾊﾟﾈﾙ
ｱﾙﾐt5.0塩化ﾋﾞﾆﾙ出力ｼｰﾄ貼り
※11文字　両面仕様

S-03　庁舎サイン（切文字）　S＝1/10

※施設名称は監督員と協議の上決定とする

風間浦消防分署
風間浦村消防団本部

1,500



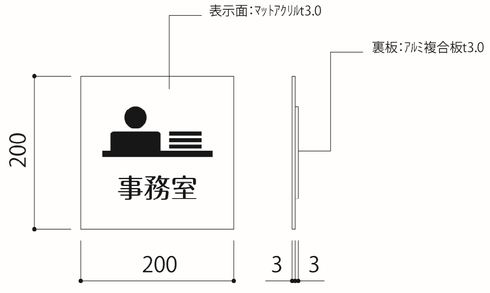
標準詳細図 No Scale

◆庁舎名ｻｲﾝ
（H20-SUSﾋﾟﾝ立て加工）
SUS304-t10 塩化ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ貼

S-04　室名札（平付型）　S＝1/4

◆1階
事務室×1
救急車ガレージ×1
救急薬品庫×2
消毒室×１
出動準備室×3
本部分団室×1
洗濯室×1
乾燥室×2
資材庫×1
油倉庫×1
男子トイレ×1
多目的トレイ×1
ロッカー室×2
食堂×2
災害対策室×2

◆2階
男子仮眠室×1
団長室/分署長室×1
女子仮眠室×1
洗面室×1
女子トイレ×1
男子トレイ×1



◆仕様
表示面：ﾏｯﾄｱｸﾘﾙt3.0
表　示：塩化ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ切文字
裏　板：ｱﾙﾐ複合板t3.0

S-05　室名ｻｲﾝ（切文字）　No Scale

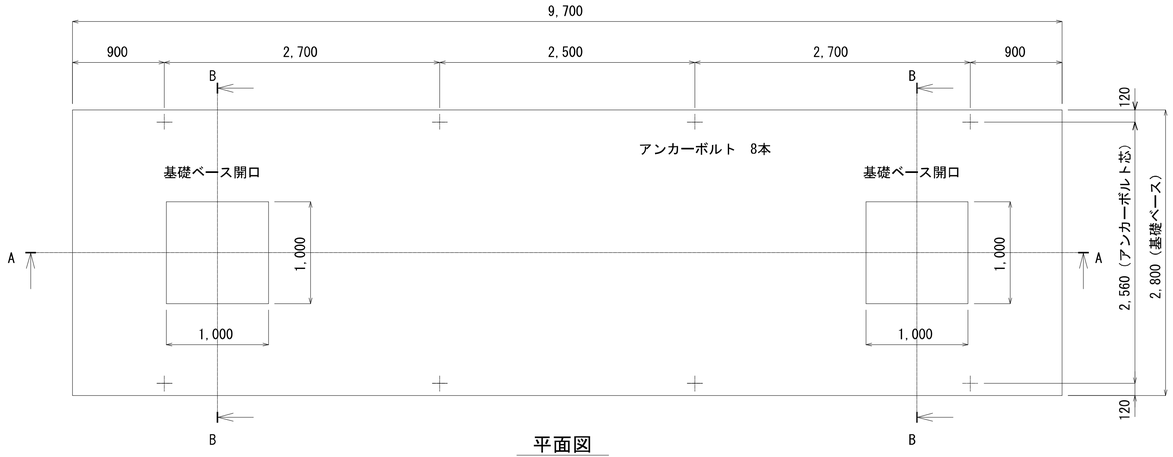
◆1階
シャワー室×1
SK用具庫×1
通用口×1
物入×１
PS×1
倉庫×1
建具収納庫×1

◆2階
EPS×1
PS×1
仮眠室１～9　各1枚
シャワー室×2
用具庫×1
SK×1
消防団会議室×1
消防団書庫×1
消防団倉庫×1

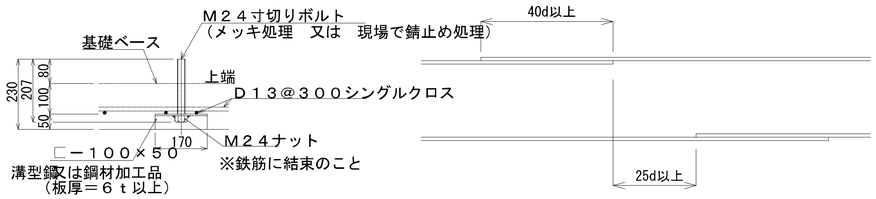
シャワー室

◆仕様
塩化ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ 切り文字
※文字幅30程度

DRAWING	サイン詳細図	SCALE A1：1/4, 1/8, 1/20 A3：1/8, 1/20, 1/40
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024. 03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. A-49



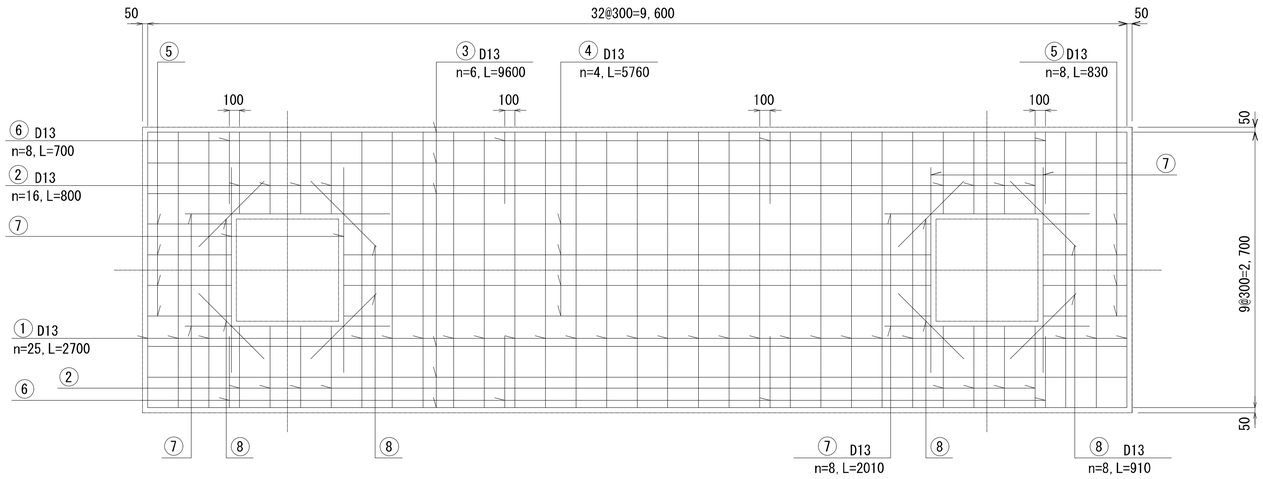
平面図



アンカーボルト詳細図　S=1/10

継手詳細

※継手長さは40d以上、隣合う継手の位置は25d以上とする。

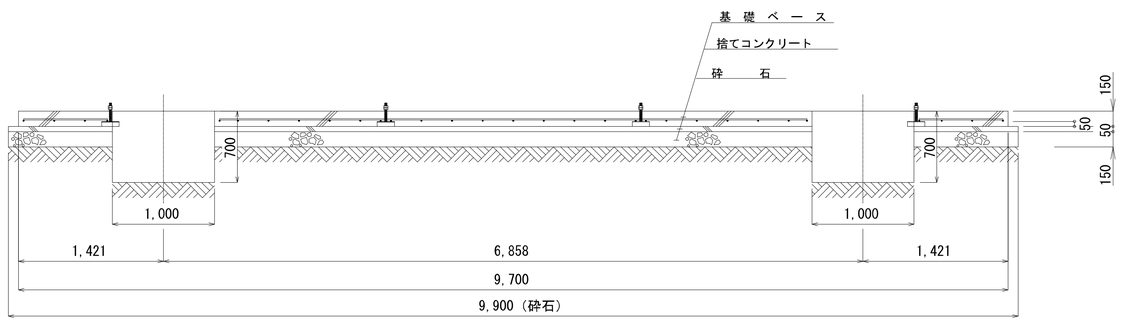


配筋図

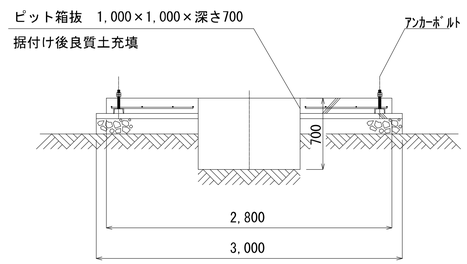
鉄　筋　重　量　表

記号	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	質量（kg）	重量（N）	摘要
1	D13	2700	25	0.995	2.687	67.175	658.32	―――
2	D13	800	16	0.995	0.796	12.736	124.81	―――
3	D13	9600	6	0.995	9.552	57.312	561.66	―――
4	D13	5760	4	0.995	5.731	22.924	224.66	―――
5	D13	830	8	0.995	0.826	6.608	64.76	―――
6	D13	700	8	0.995	0.697	5.576	54.64	―――
7	D13	2010	8	0.995	2.000	16.000	156.80	―――
8	D13	910	8	0.995	0.905	7.240	70.95	―――
合　計	D13				195.571	kg	（1916.60　N）	
総重量					195.571	kg	（1916.60　N）	

※　D13、SD295以上を使用
※　鉄筋重量表は継手を考慮しない場合の重量としている。



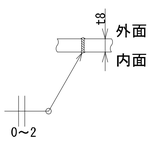
Ａ－Ａ断面図



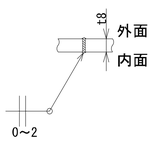
Ｂ－Ｂ断面図

DRAWING　防火水槽　基礎図	SCALE　A1：1/10.30　A3：1/20.60
PROJECT　風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男	DRAWING No. A-50

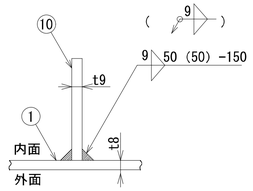
※塗装仕様の場合は全周溶接とする



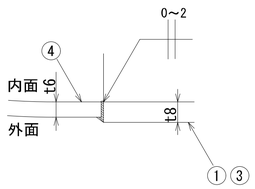
胴部溶接部



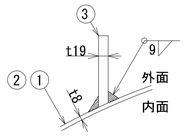
胴部材軸方向溶接継手部



補強リング溶接部

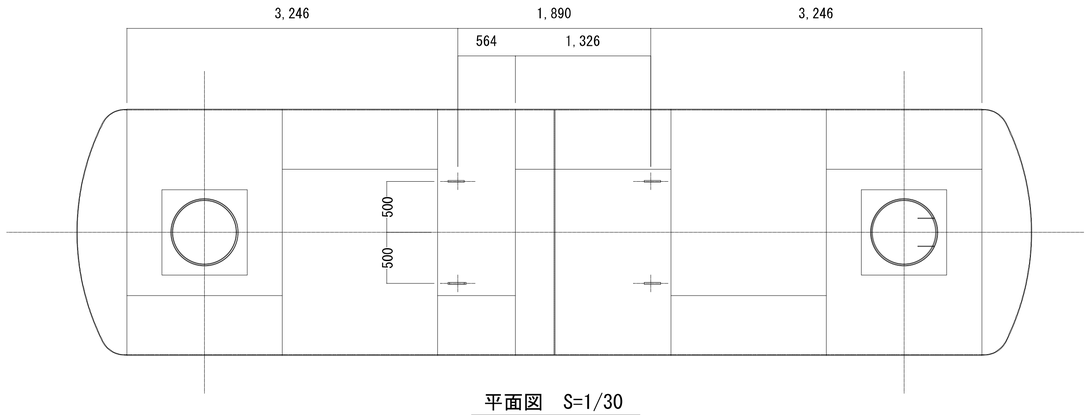


鏡部溶接部

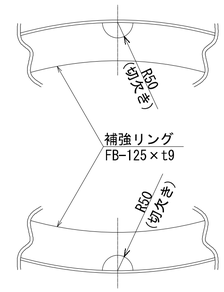


吊金具溶接部

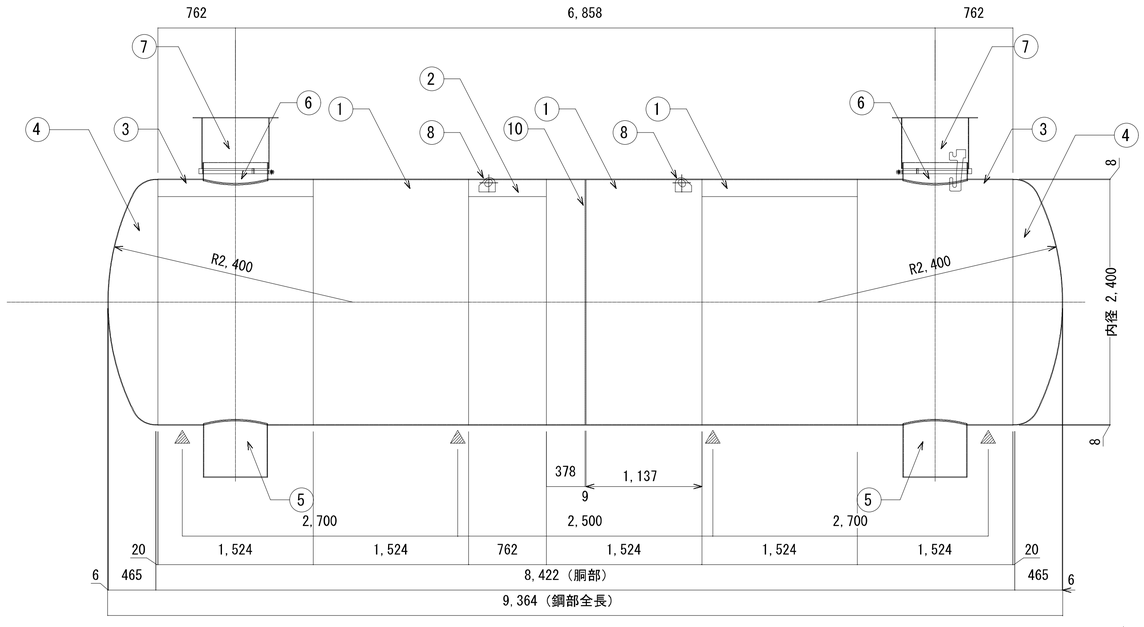
No.	名　　称	材　質	寸　　法	数量	備　　考
1	胴部材	SS400	PL-8×1,524×7,565	3	
2	胴部材	SS400	PL-8×762×7,565	1	
3	上下開口付胴部材	SS400	PL-8×1,524×7,565	2	
4	鏡板	SS400	PL-6×φ2,400×R2,400	2	
5	集水ピット	SS400	PL-6×φ632	2	
6	吸管投入口	SS400	PL-6×φ632	2	
7	投入口調整金具	SS400	PL-4.5×φ661	2	
8	吊りピース	SS400	PL-19	4	
9	調整金具固定バンド	SS400	FB-32×6	2組	M16寸切ﾎﾞﾙﾄ L120 （ 4N ）
10	補強リング	SS400	FB-125×9 外径2,400φ	1	



平面図　S=1/30

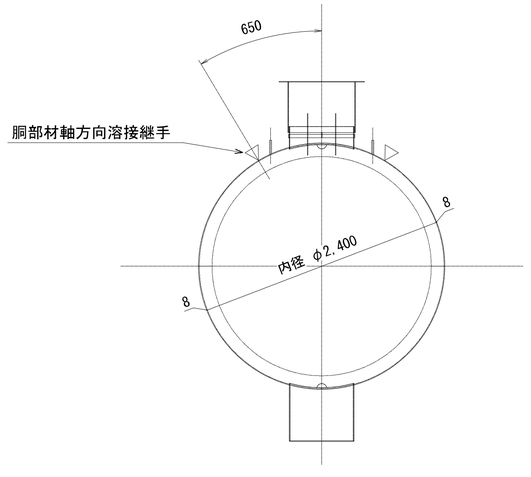


補強リング切欠き詳細図　S=1/10

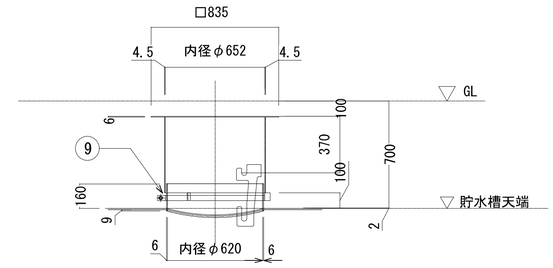


側面図　S=1/30

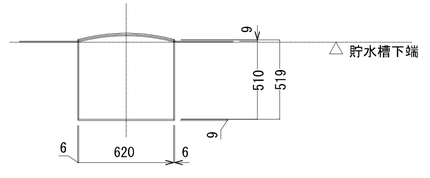
△・・・固定バンド取付位置



正面図　S=1/30



調整金具取付状態図 S=1/20



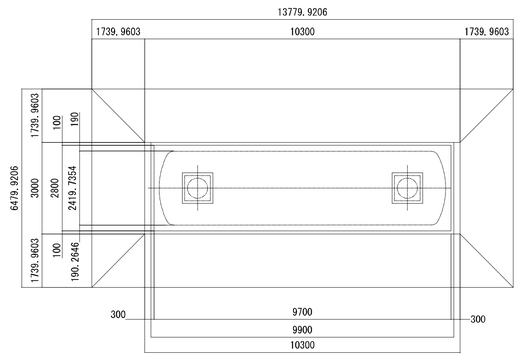
集水ピット詳細図 S=1/20

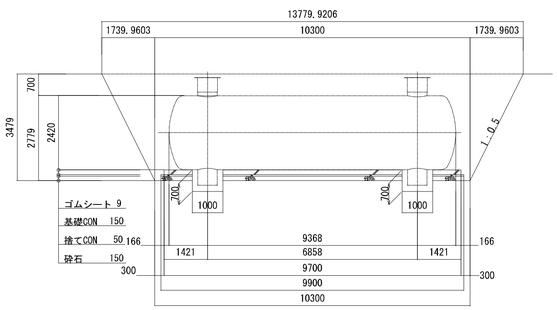
<特　記>
注記1. 胴板巾について、1524巾原板の場合は本図通りとし、3048巾原板の場合は1524巾2枚分を3048巾1枚に置換え可とする。又、胴板の軸方向溶接継手は隣り合う胴板と重ならないよう接合し、本図と左右勝手違いも可とする。

DRAWING	防火水槽　構造図	SCALE A1：1/20,30　A3：1/40,60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. A-51

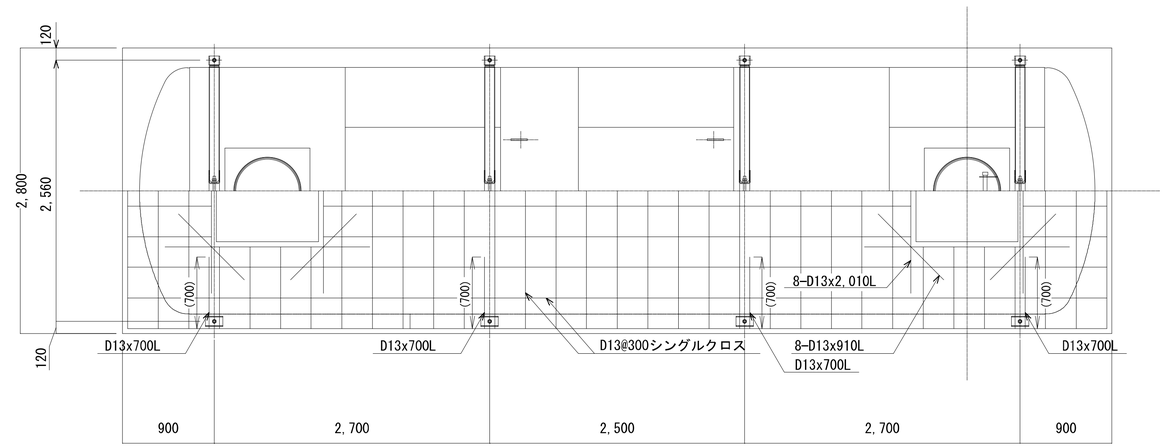
標準工法　根切図

条件　…　勾配　１：０．５，土被り0.7m，ウェットバージョン





S=1:100



平面図　S=1/30

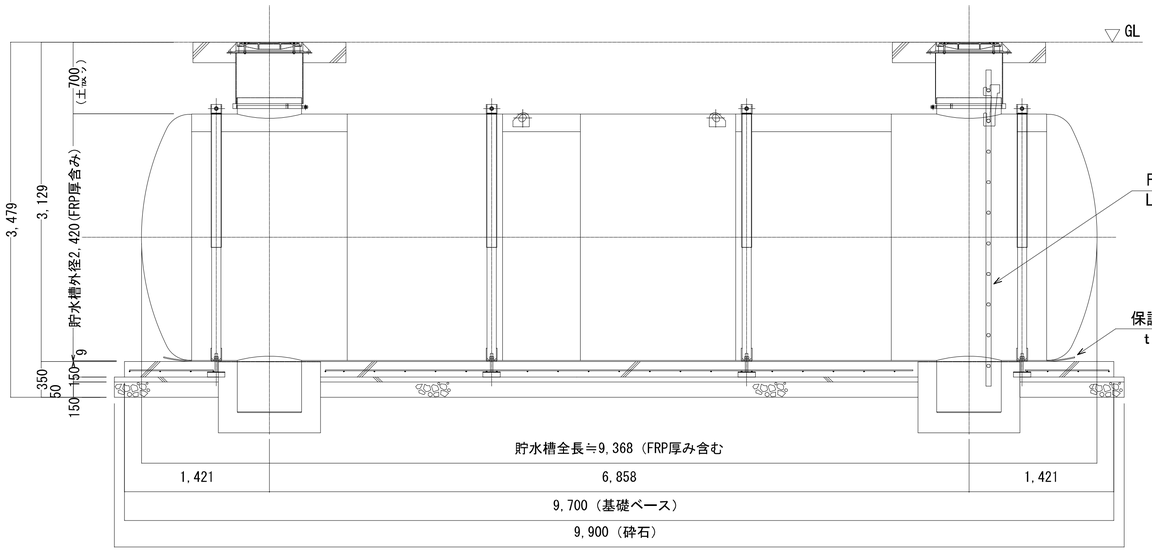
本紙使用条件（標準仕様）

土被り（m）	地下水位（m）
0.35	0.35　以上
0.4	0.30　以上
0.5	0.15　以上
0.6	0.05　以上
0.7	0　以上
0.8	0　以上
0.9	0　以上
1.0	0　以上
1.1	0　以上
1.2	0　以上
1.3	0　以上
1.4	0　以上
1.5	0　以上

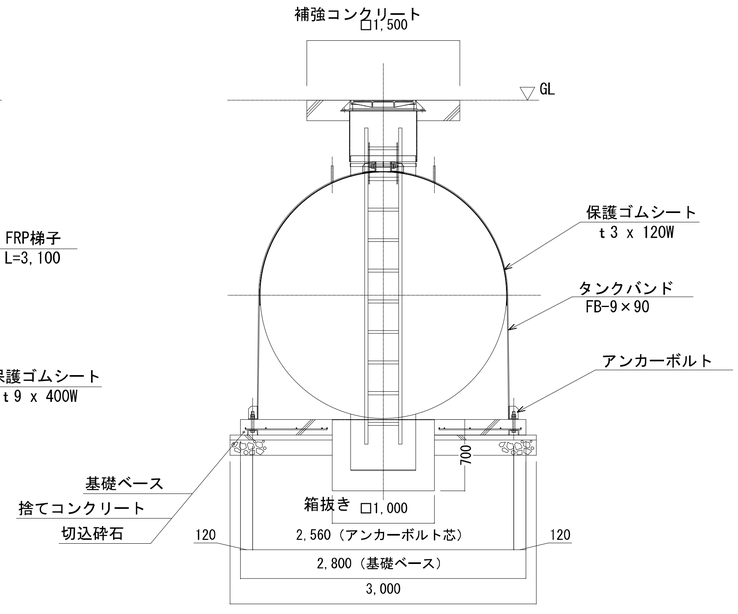
基礎不要（オプション）可能条件

土被り（m）	地下水位（m）
0.35	1.40　以上
0.4	1.40　以上
0.5	1.35　以上
0.6	1.30　以上
0.7	1.25　以上
0.8	1.20　以上
0.9	1.10　以上
1.0	0.45　以上
1.1	0.30　以上
1.2	0.20　以上
1.3	0.05　以上
1.4	0　以上
1.5	0　以上

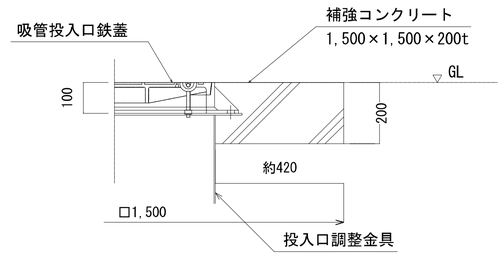
※上記の場合においては、図番：419A-D
を使用の事。

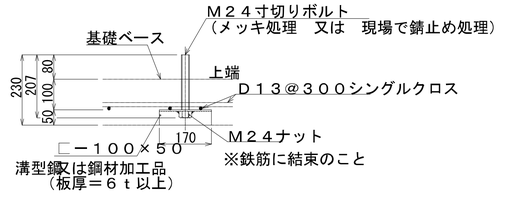


側面図　S=1/30



正面図　S=1/30

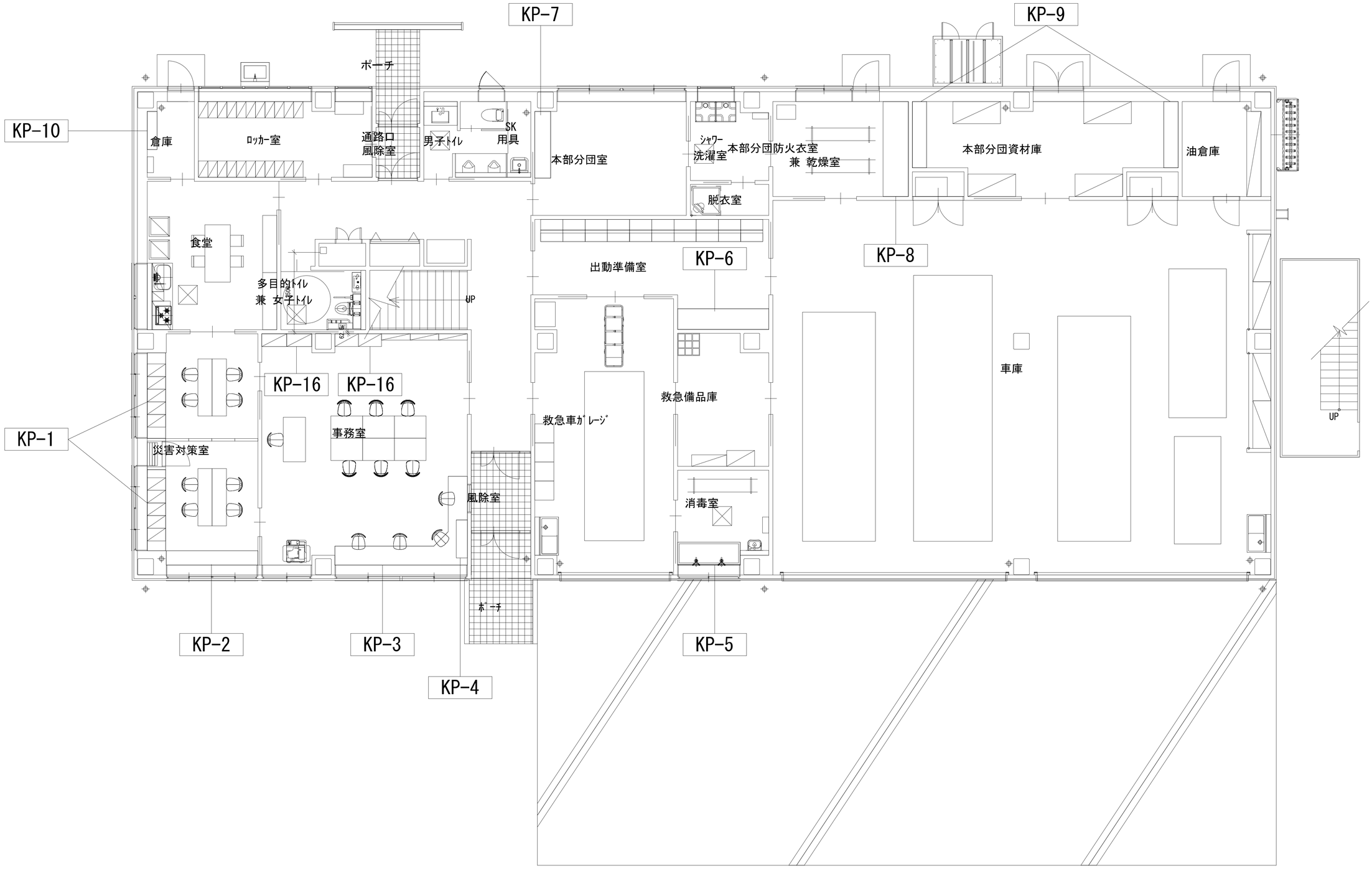




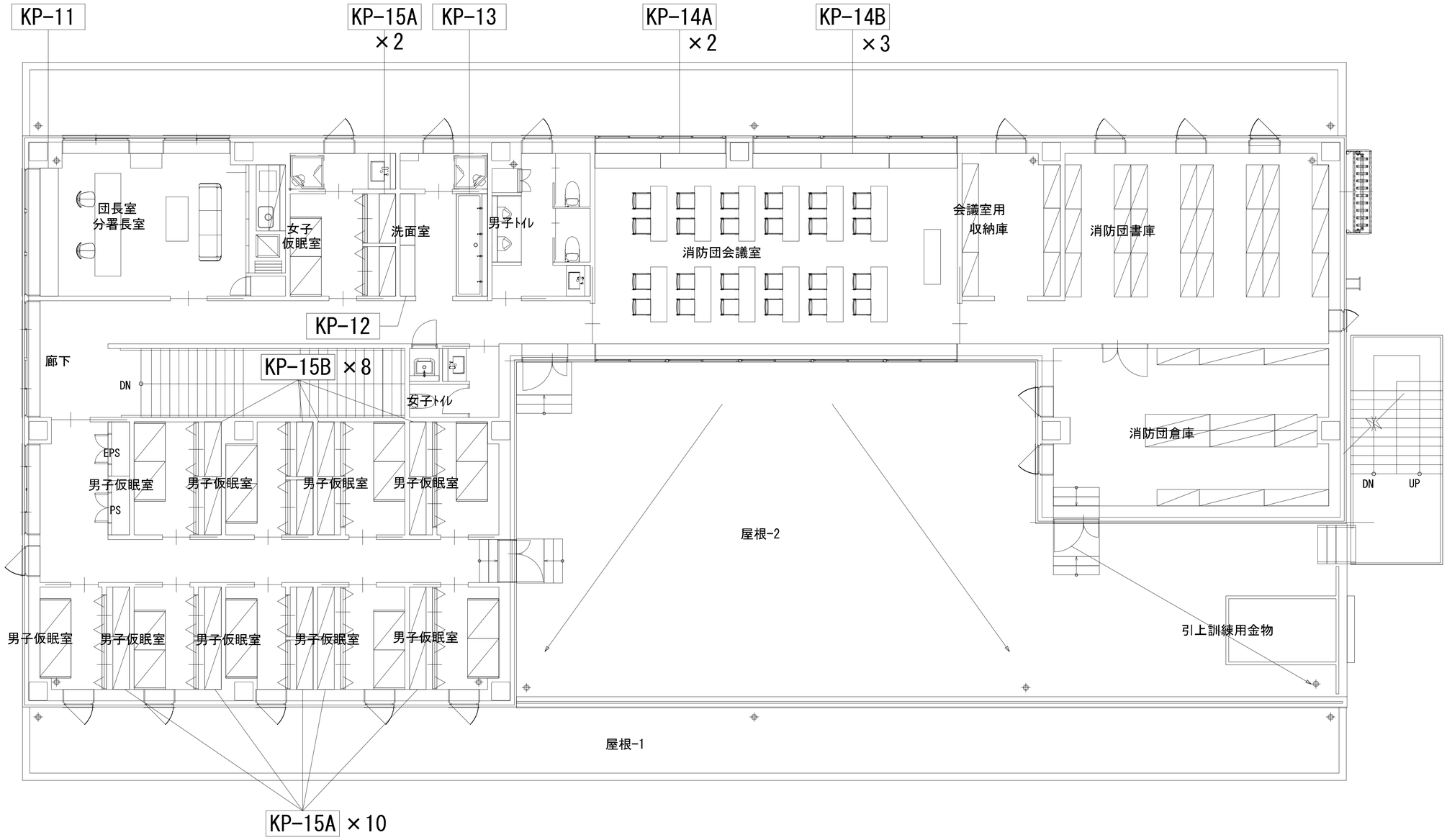
アンカーボルト詳細図　S=1/10

＜特　記＞
※基礎ﾍﾞｰｽ寸法は、浮力条件及び客先仕様により決定する。
（基礎ﾍﾞｰｽは 浮力＞地盤反力時のみ必要となる）
※埋設深さは、各行政機関等の打合せにより決定すること。
※マンホール種類、天端レベル、補強コンクリートは
打ち合わせにより決定すること

DRAWING　防火水槽　埋設図	SCALE　A1:1/10, 30, 100 A3:1/20, 60, 200	
PROJECT　風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03	
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. A-52



DRAWING 1階家具キープラン	SCALE A1：1/60 A3：1/120	
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03	
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No. A-53

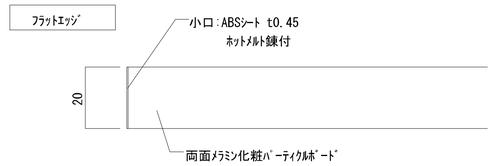


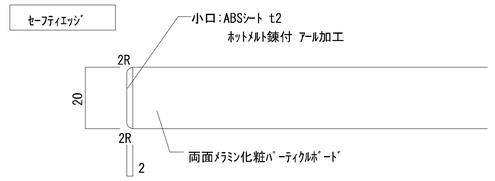
DRAWING	2階家具キープラン	SCALE	A1：1/60 A3：1/120
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-54

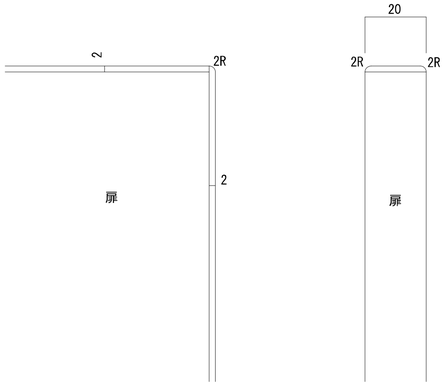
家具共通仕様　　「図面中に特記なき所は下記の仕様とする」

1 本体・棚板	両面ﾒﾗﾐﾝﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ 厚さ20mm,F☆☆☆☆を使用する。 ｶﾗｰ EGGER 15色以上から選定する。
2 小口処理	天板・扉・抽斗前板はｾｰﾌﾃｨｴｯｼﾞ(ABS製 厚さ2mm ﾎｯﾄﾒﾙﾄ錬付)加工とする。
3 表面処理	本体・棚板・建具等は使用時の擦り傷の発生を抑制する為に鉛筆硬度 9H 以上の表面材を使用する。 本体色については色見本帳を提出の上決定する。
4 裏板	両面ﾒﾗﾐﾝﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ F☆☆☆☆ 厚さ8mmを使用し片面ﾌﾗｯｼｭとする。
5 本体組立て	組立ては,制作工場での木製ﾀﾞﾎﾞ組接合またはR if PEANUT 2とする。
6 巾木・台輪	ﾎﾟﾘ化粧合板仕上げ F☆☆☆☆(塗装不要)とする。
7 建具	板戸・戸枠はくるいやﾎｿﾞ抜け防止の為.,かまち組み等は不可とし1枚物とする。 引違戸の鴨居側には耐震外れ止めｽﾗｲﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ,敷居側には上下調整戸車を使用する。
8 把手・蝶番	抗菌機能のある樹脂成形品(ABS製)引手を使用する。 蝶番はﾒﾝﾃﾅﾝｽが容易なｷｬｯﾁ付107° 開きｸﾘﾌﾟﾄｯﾌﾟﾋﾝｼﾞ(ｲﾝｻｰﾄ式)を使用する。
9 鴨居・敷居	ﾒﾝﾃﾅﾝｽ性が容易な樹脂成型ﾚｰﾙ(ABS製)面付けの鴨居と敷居とする。
10 棚板受け	安全で外れにくいﾈｼﾞ込み式で、錆びにくいｽﾃﾝﾚｽ製ﾀﾞﾎﾞΦ8-M6を使用する。 棚板は、外れ止めの為のﾀﾞﾎﾞ受けｼｬｸﾘ加工をする。
11 特記事項	制作にあたり、事前に製品の品質証明書及び材料と接着剤の安全ﾃﾞｰﾀｼｰﾄを提出し、素材・金物の承認を受ける。 室内空気清浄保持の為に、学校環境衛生基準に対して参考となる類似製品のVOC測定ﾃﾞｰﾀを提出する。
12 施工	家具取付は、安全のため壁や床に耐震固定を施す。 青森県内に本社と工場を有し、製作・施工を行え、十分な知識を持った者が行うこととする。

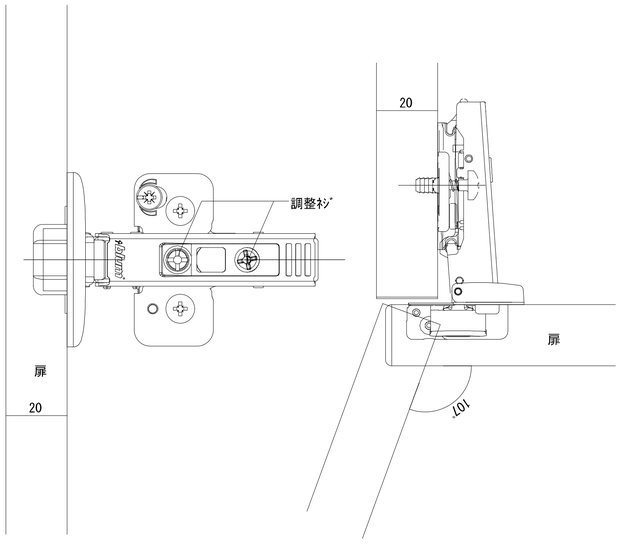
A 小口詳細

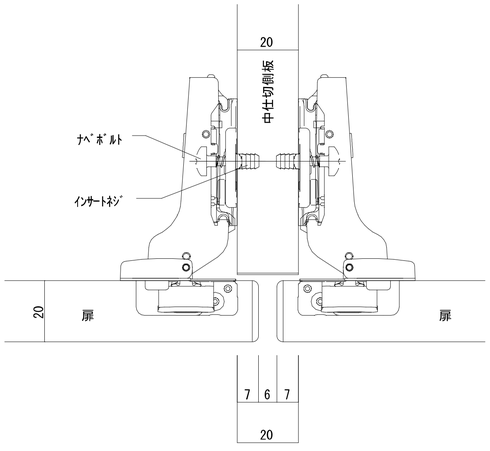




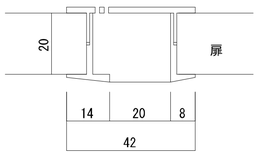


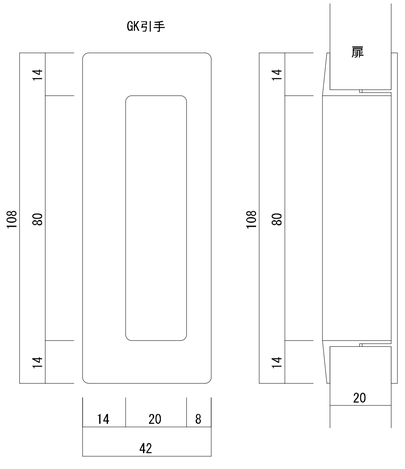
B 開き扉詳細



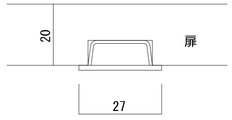


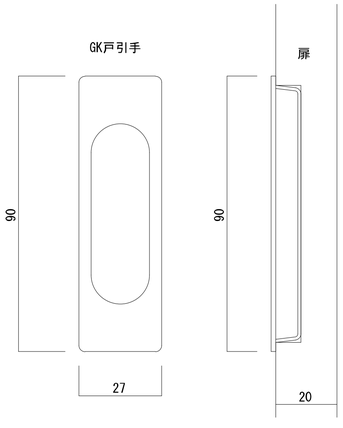
C 引手詳細(開き戸・抽斗)



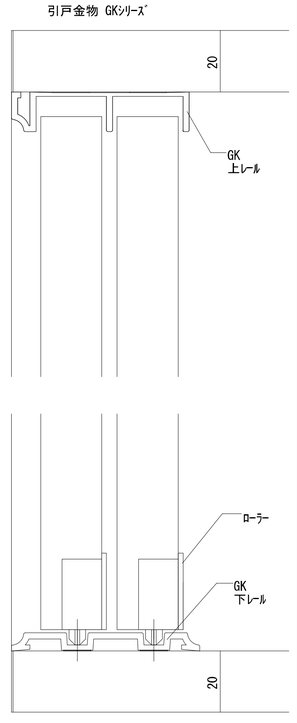


D 引手詳細(引き戸)



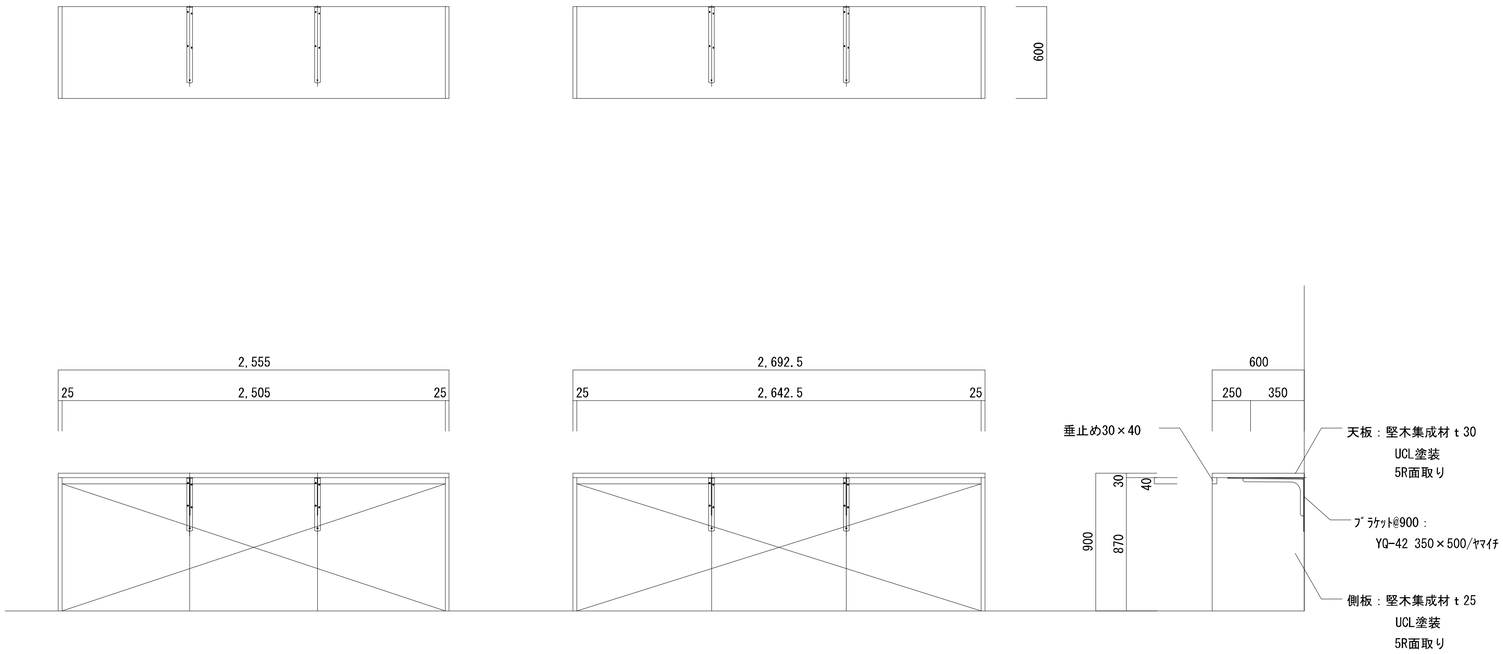


E 引戸詳細

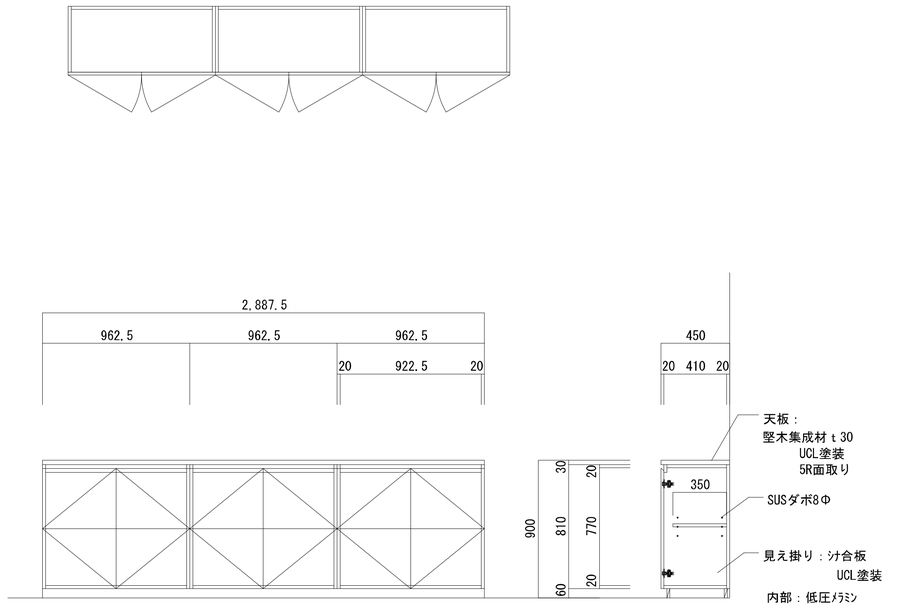


DRAWING	家具詳細図-1	SCALE	A1：1/1 A3：1/2
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No.	A-55

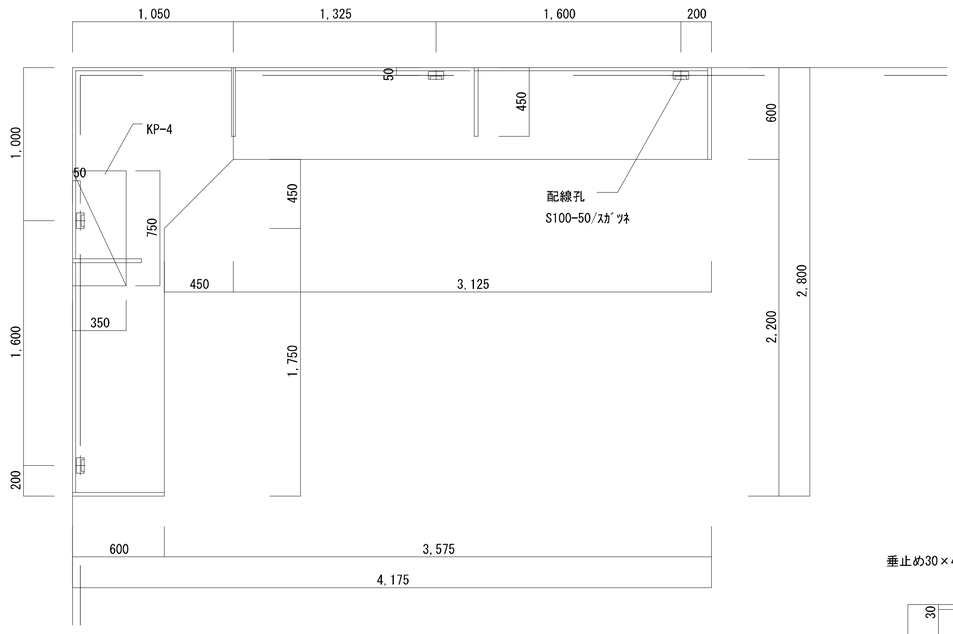
KP-1	ｶｳﾝﾀｰ	1F　災害対策室	1ヶ所

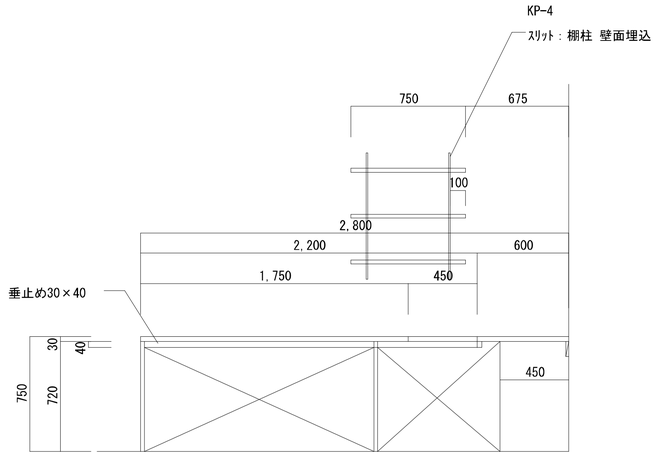


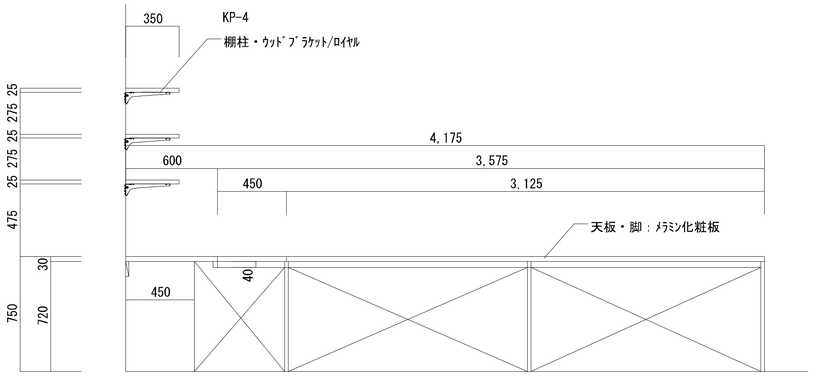
KP-2	腰棚	1F　災害対策室	1ヶ所



KP-3,4	ｶｳﾝﾀｰ・可動棚	1F　事務室	1ヶ所

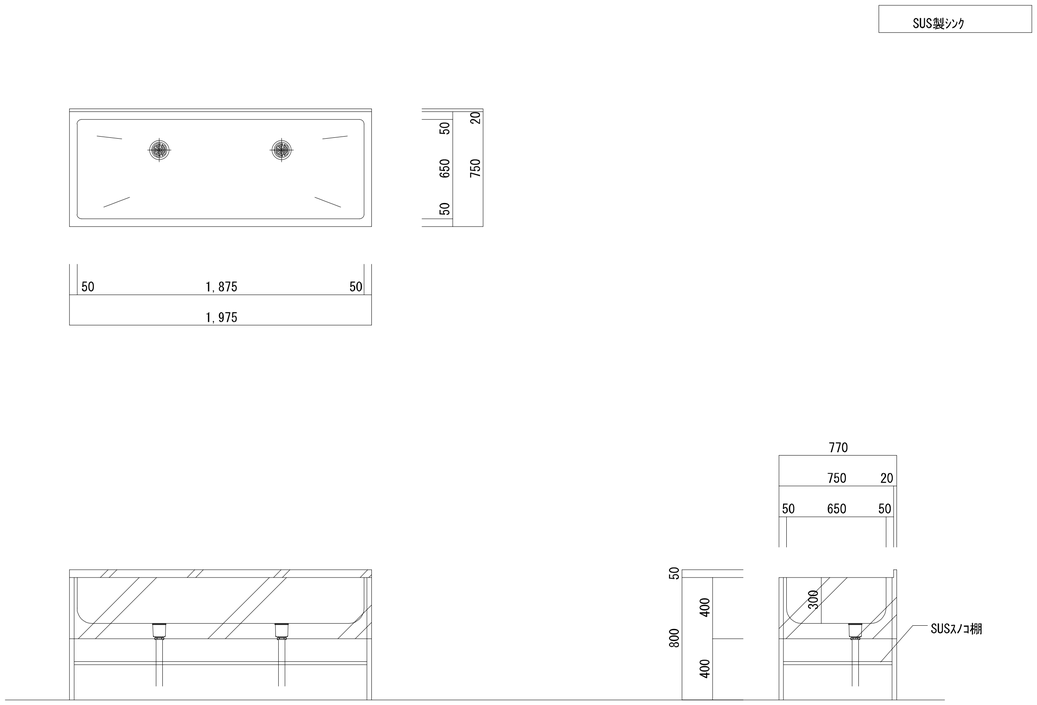




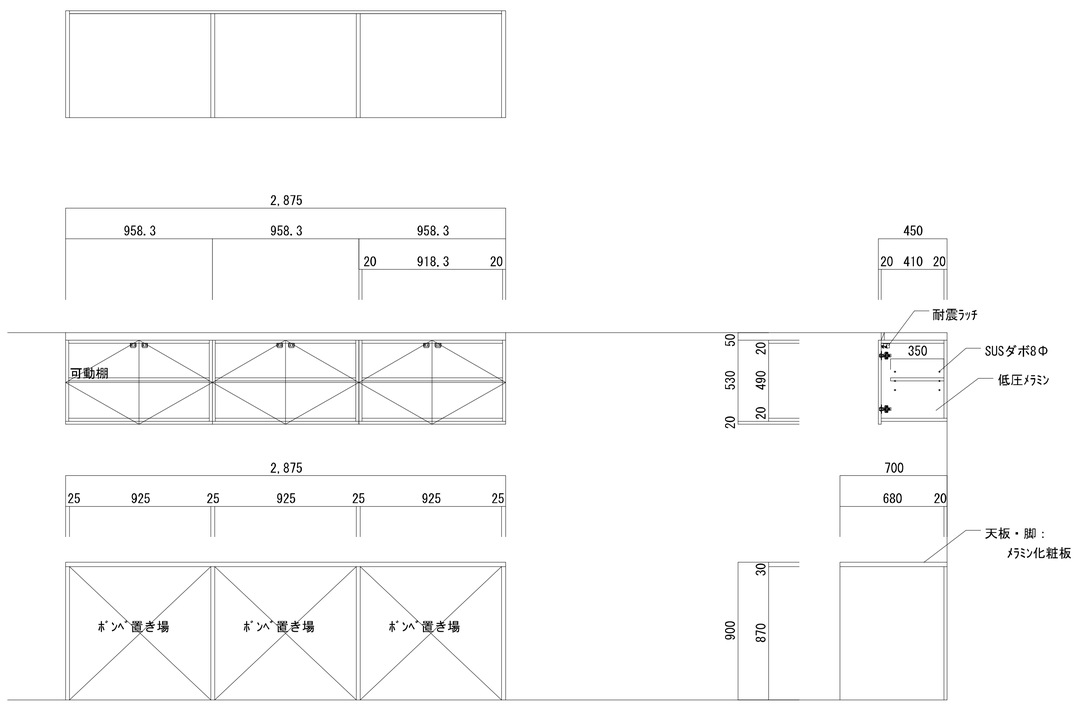


DRAWING	家具詳細図-2	SCALE	A1：1/20　A3：1/40
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	A-56

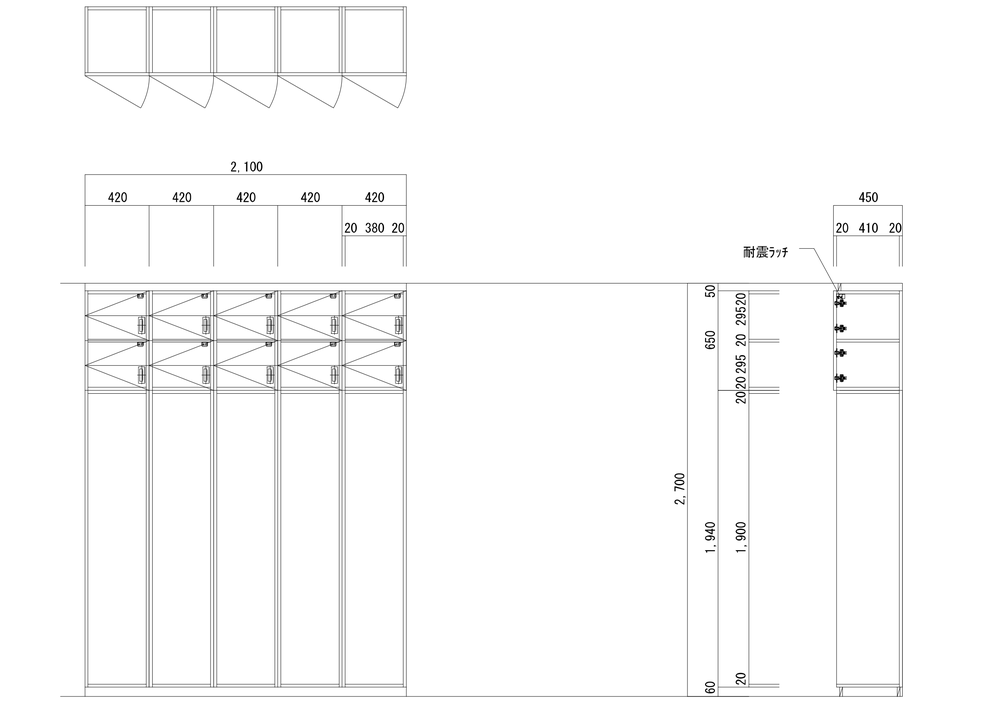
KP-5	SUSｼﾝｸ	1F　消毒室	1ヶ所



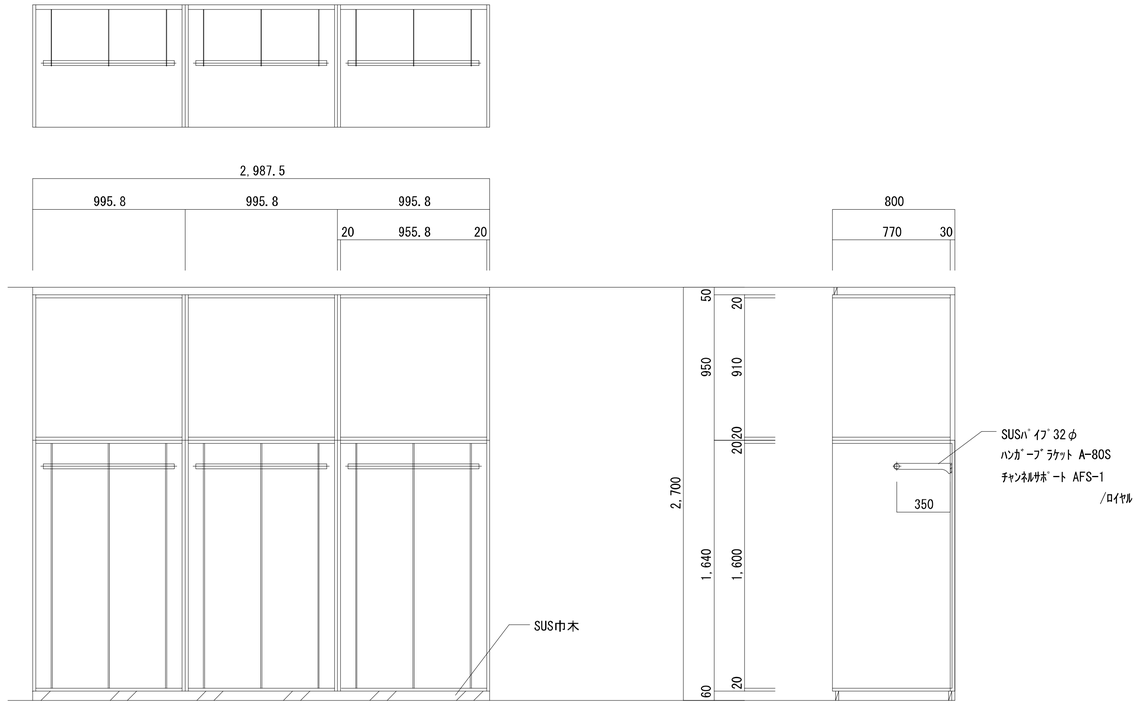
KP-6	腰棚・吊戸棚	1F　出動準備室	1ヶ所



KP-7	収納棚	1F　本部分団室	1ヶ所



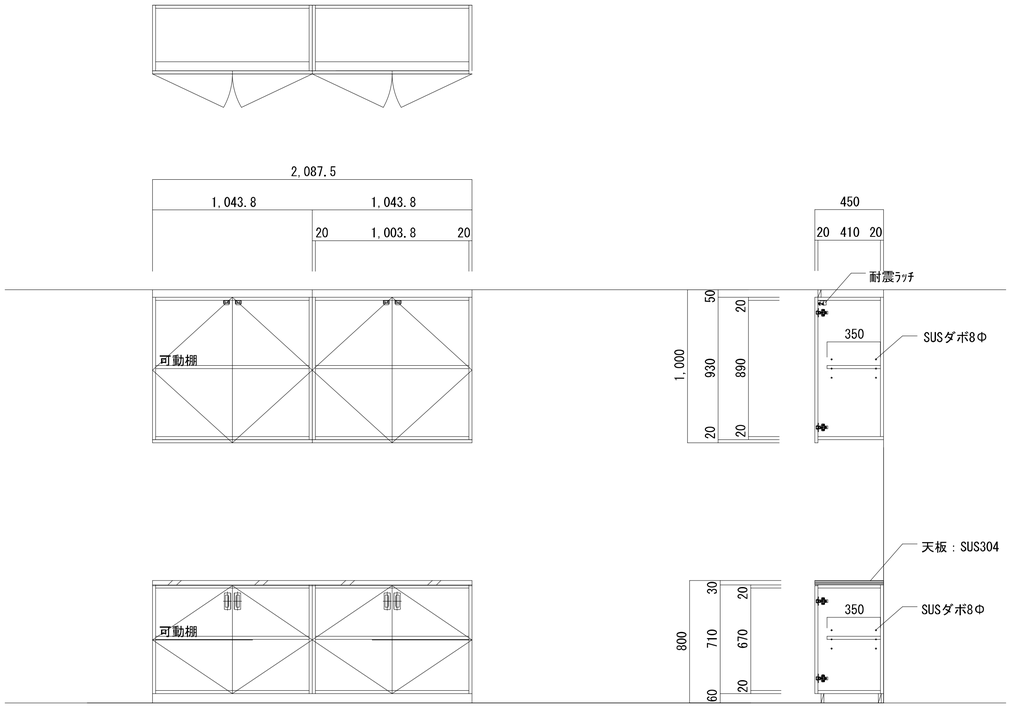
KP-8	収納棚	1F　本部分団防火衣室 兼 乾燥室	1ヶ所



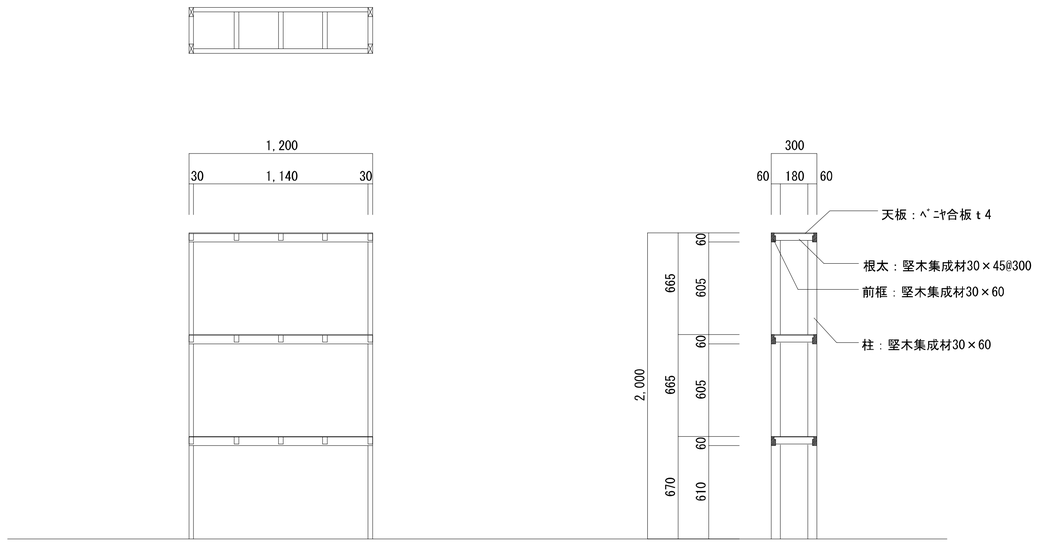
DRAWING	家具詳細図-3
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事
SCALE	A1：1/20　A3：1/40
DATE	2024.03
DRAWING No.	A-57

アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男

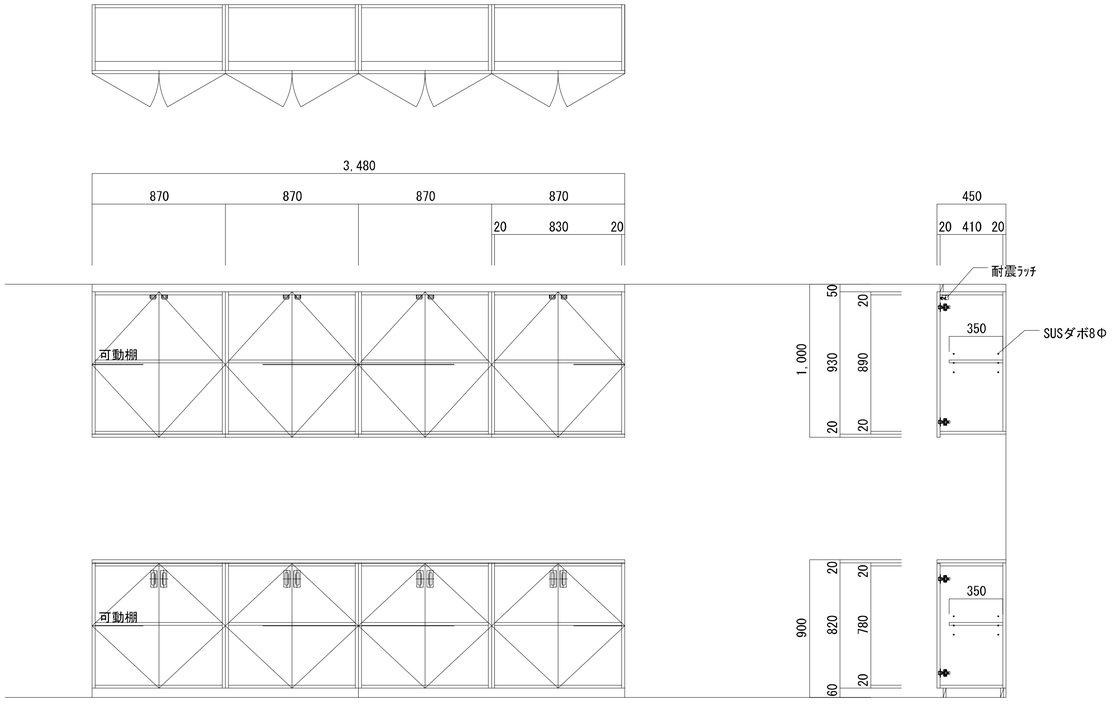
KP-9	腰棚・吊戸棚	1F　本部分団資材庫	2ヶ所



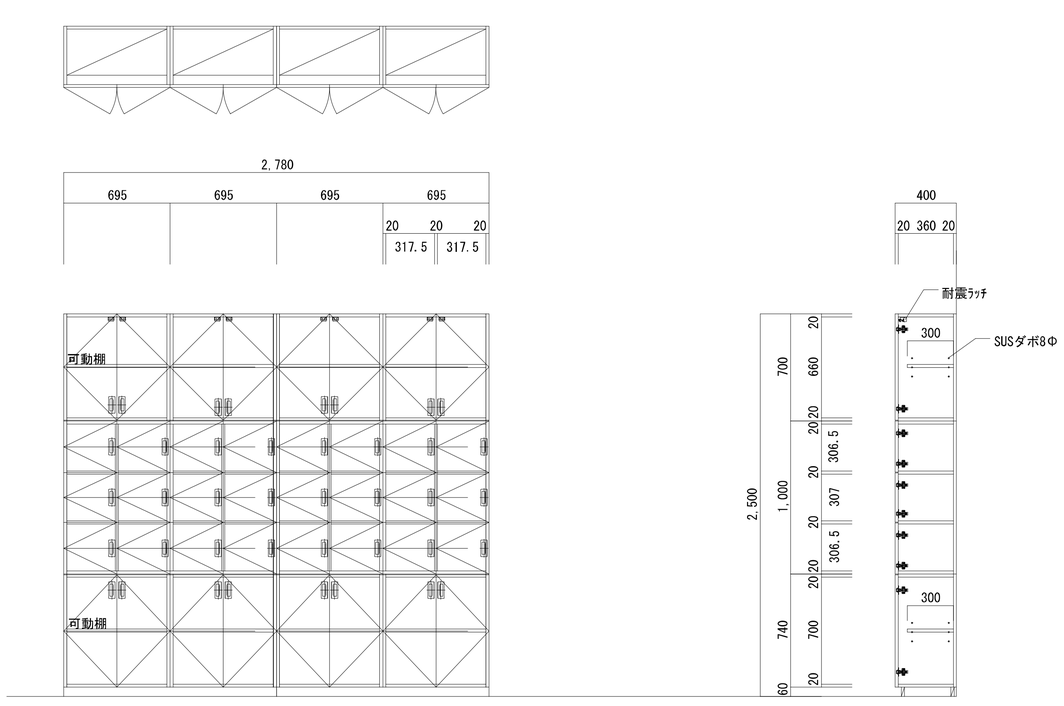
KP-10	本棚	1F　倉庫	1ヶ所



KP-11	腰棚・吊戸棚	2F　団長室分署長室	1ヶ所

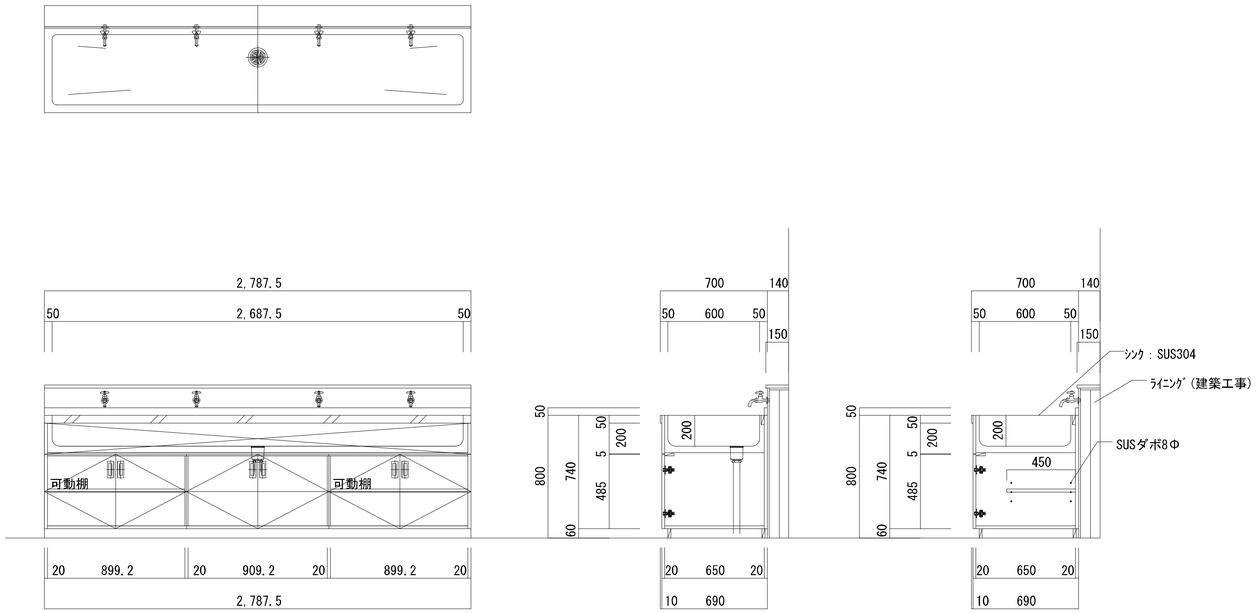


KP-12	収納棚	2F　洗面所	1ヶ所



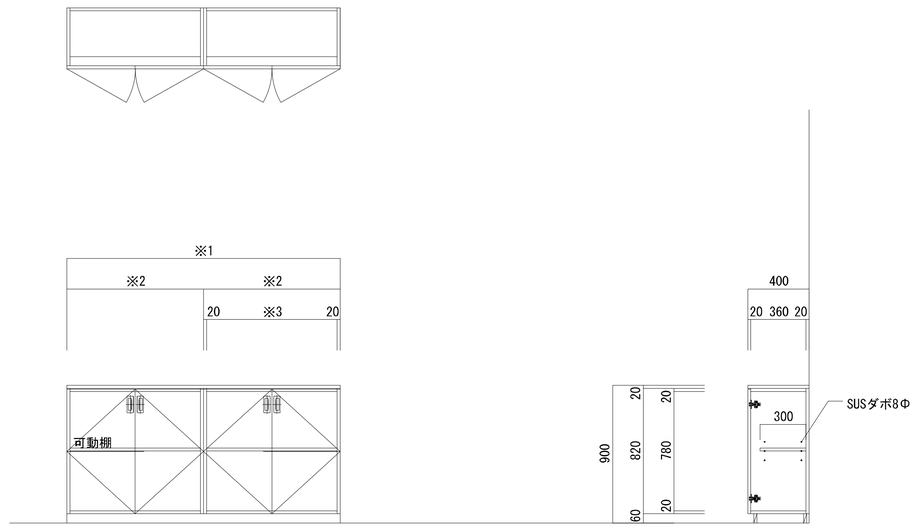
DRAWING	家具詳細図-4	SCALE	A1：1/20　A3：1/40
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-58

KP-13	SUSｼﾝｸ	2F　洗面所	1ヶ所



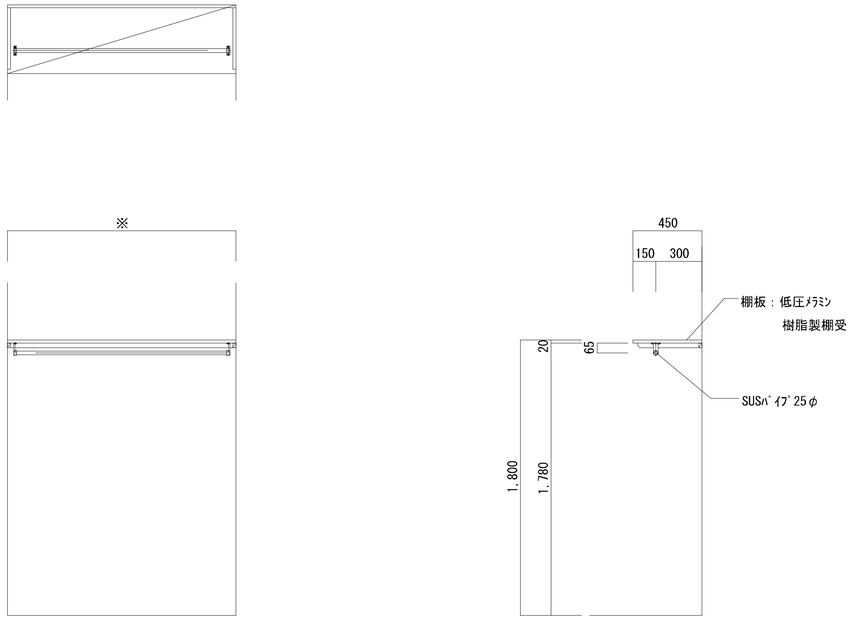
KP-14	腰棚	2F　消防団会議室	2ヶ所

記号	備考【※】	数量
KP-14A	※1→1,787.5 / ※2→893.8 / ※3→853.8	2ヶ所
KP-14B	※1→1,850 / ※2→925 / ※3→885	3ヶ所

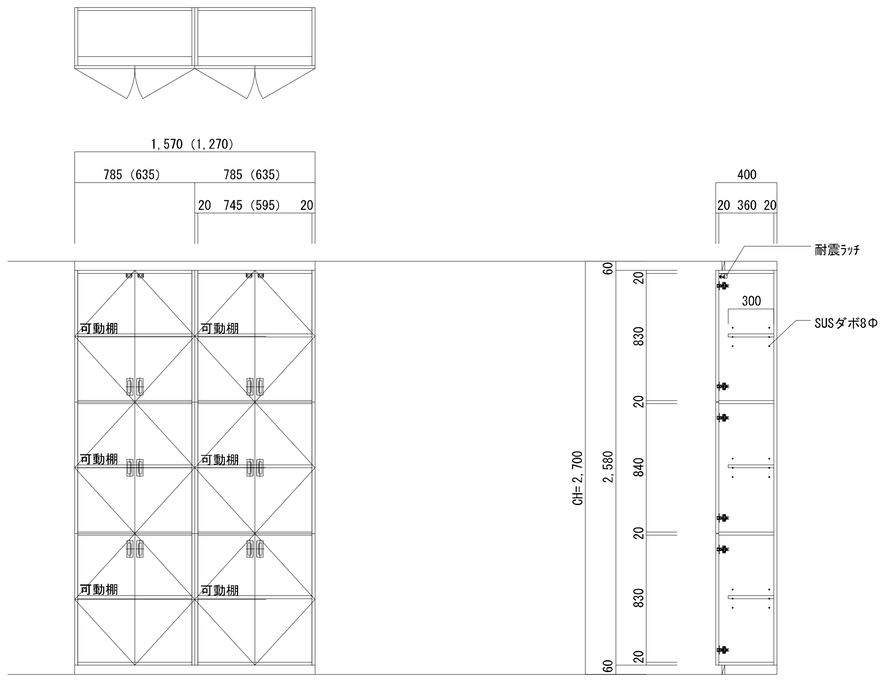


KP-15	ｸﾛｰｾﾞｯﾄ棚	2F　男女仮眠室	20ヶ所

記号	備考【※】	数量
KP-15A	1,348.75	12ヶ所
KP-15B	1,492.5	8ヶ所



KP-16	収納棚	1F　事務室	2ヶ所

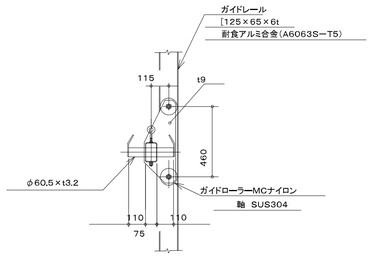


DRAWING	家具詳細図-5	SCALE	A1：1/20　A3：1/40
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	A-59

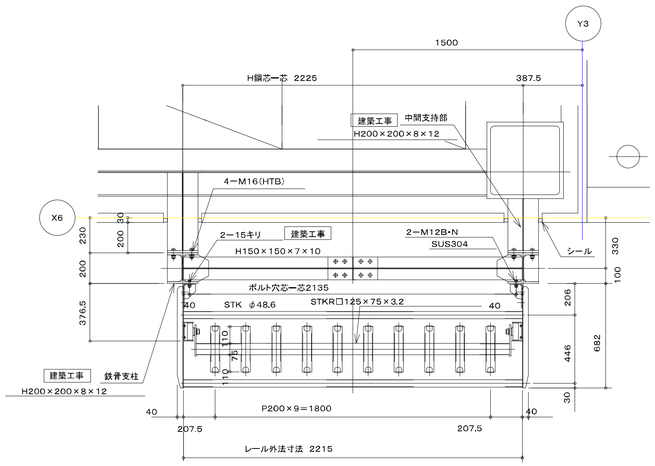
仕様概略

項目	仕様	各部材質及び防錆処理	
型式	FH120	ガイドレール	耐触アルミ合金 A6063S-T5
台数	1基	ガイドローラ	MCナイロン 軸SUS304
外法寸法	2215W×12045H	レールブラケット	SS材 溶融亜鉛メッキ
ホース収容本数	前後列各10本 計20本	ホースハンガー	SS材 溶融亜鉛メッキ
巻上能力	400kg(20kg×20本)	ウインチボックス	骨格SS材溶融亜鉛メッキ、外板SUS
昇降速度	7.1m/min 50HZ	同上内部機器	生地のまま
電動機	1.5KWサイクロ減速機ブレーキ付	吊りワイヤー	φ8 ステンレスワイヤー
電源	200V 3相 50HZ	ボルト類	オールアンカー共全てSUS304
操作回路電源	AC24V		

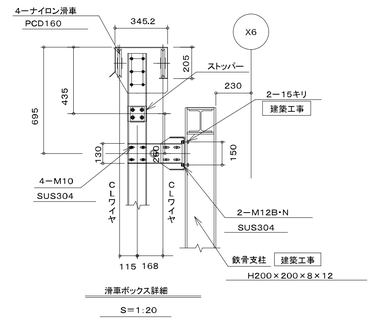
建築工事
1）鉄骨工事
2）基礎工事
3）中間支持部工事
電気工事
1）一次電源工事



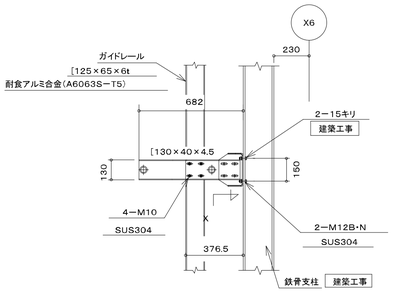
ホースハンガー詳細
S=1:20



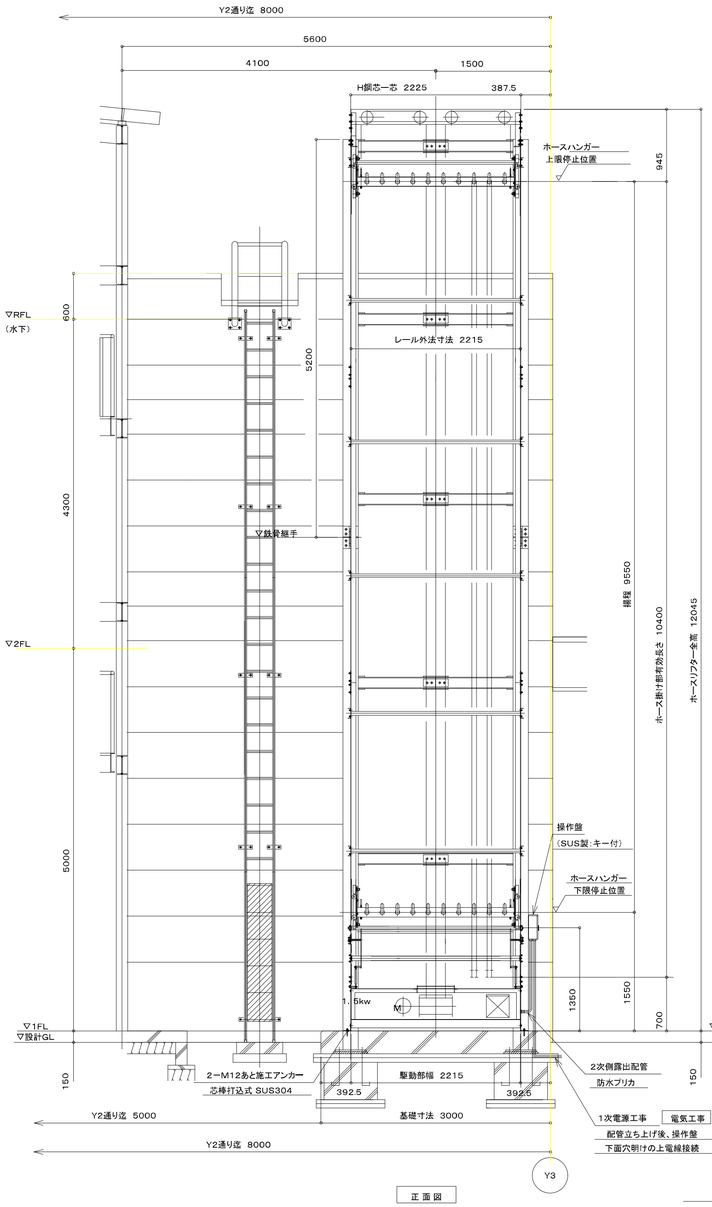
ハンガー及びレールブラケット平面図 S=1:20

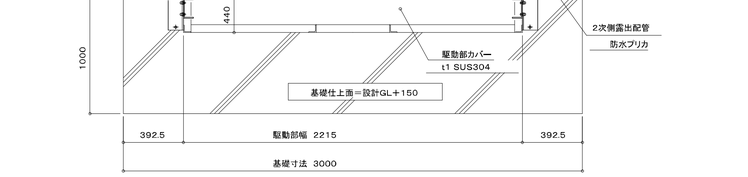


滑車ボックス詳細
S=1:20

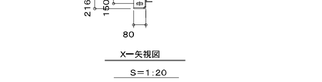


レールブラケット詳細
S=1:20

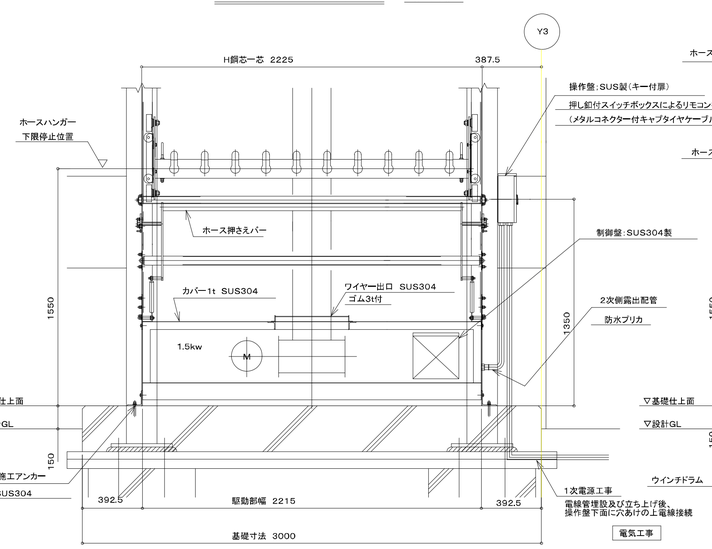




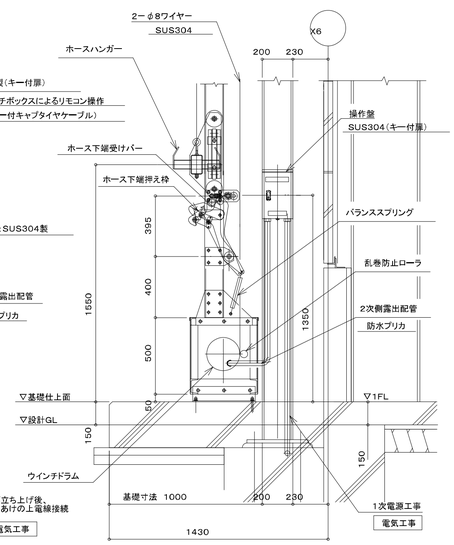
駆動部平面及び配管経路図 S=1:20



X一矢視図
S=1:20

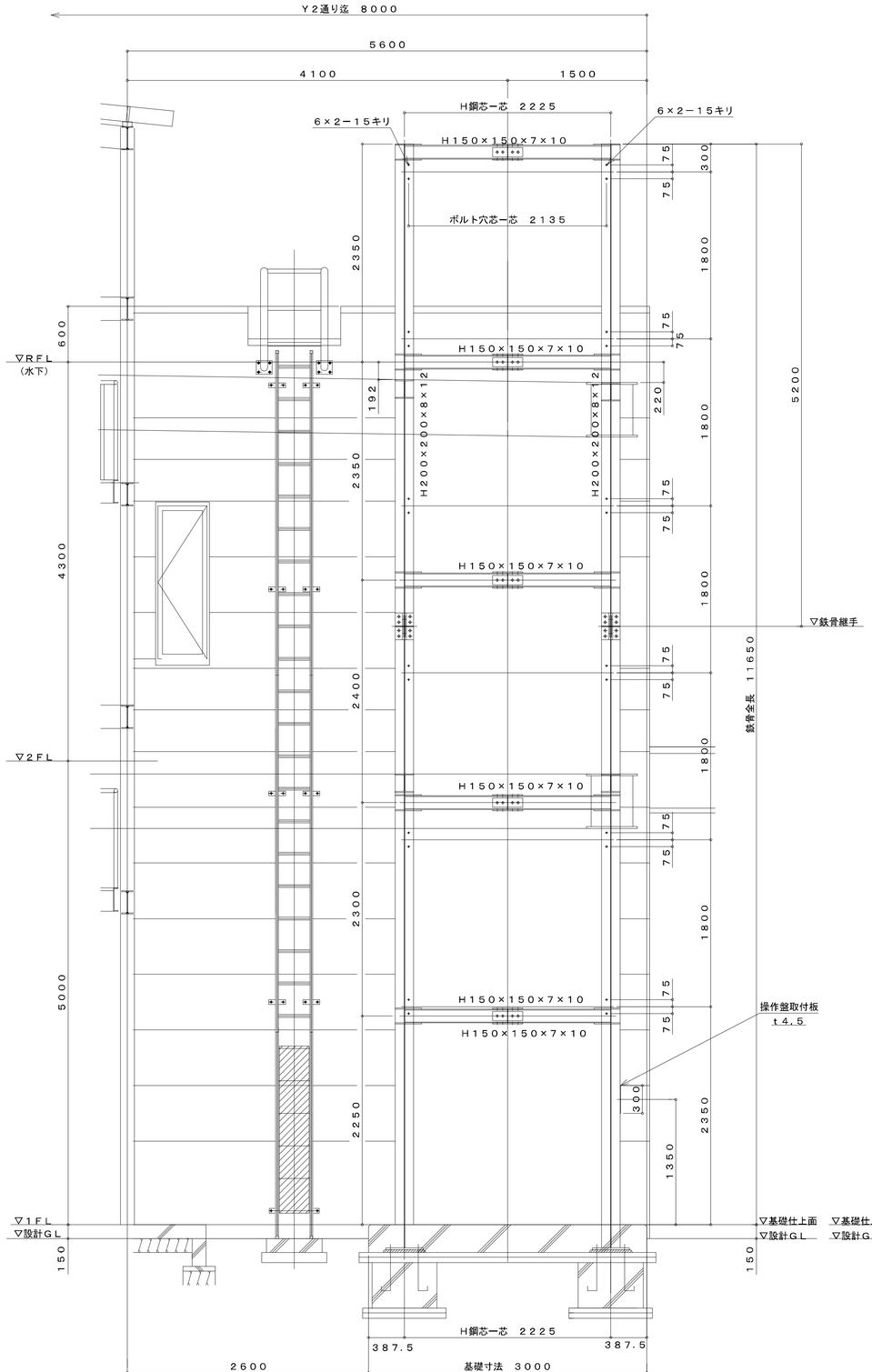


下部 正面詳細図 S=1:20

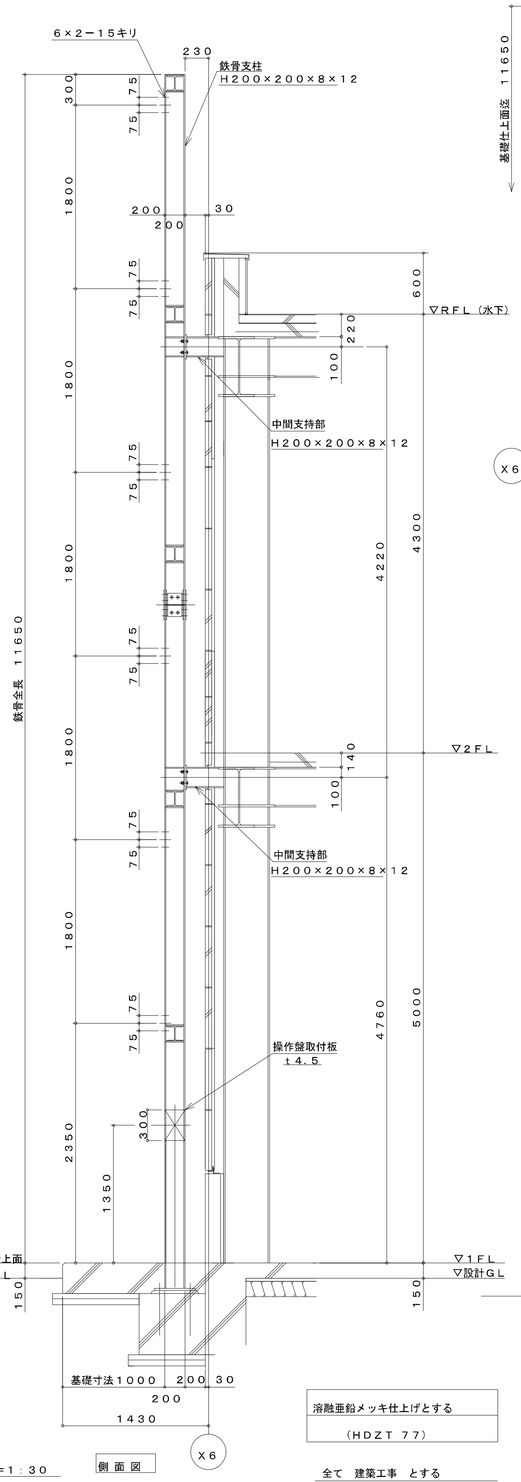


下部 側面詳細図 S=1:20

DRAWING	ホースリフターFH120型 組立及び詳細図	SCALE	A1：1/20、40 A3：1/40、80
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No.	A-60



正 面 図

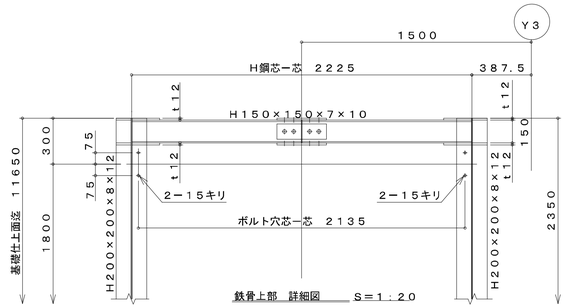


側 面 図

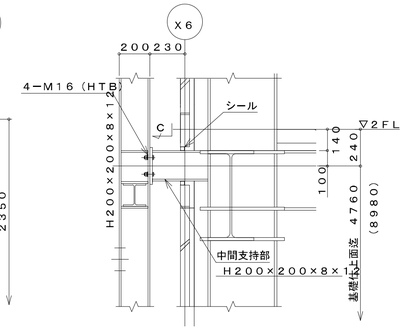
ホースリフターＦＨ１２０型用
鉄骨支柱穴あけ配置図　　Ｓ＝１：３０

溶融亜鉛メッキ仕上げとする
（ＨＤＺＴ　７７）

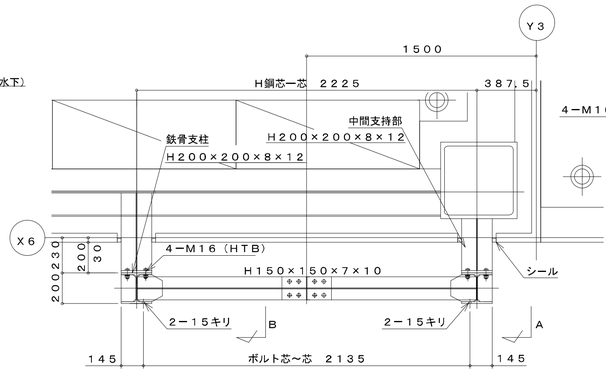
全て　建築工事　とする



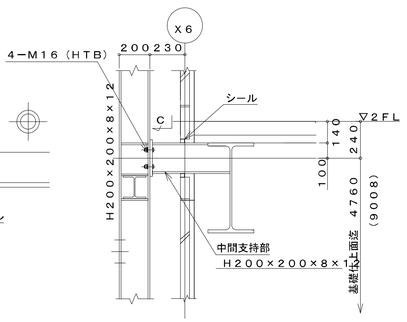
鉄骨上部　詳細図　　Ｓ＝１：２０



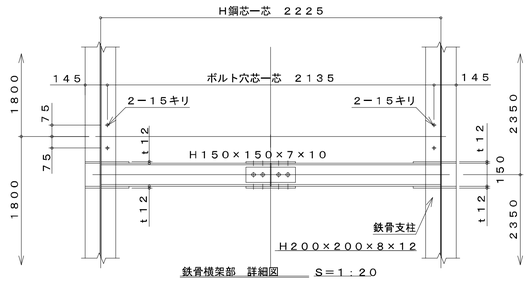
中間支持部詳細図（Ａー矢視）
Ｓ＝１：２０



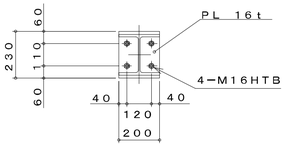
鉄骨中間支持部　詳細図　　Ｓ＝１：２０



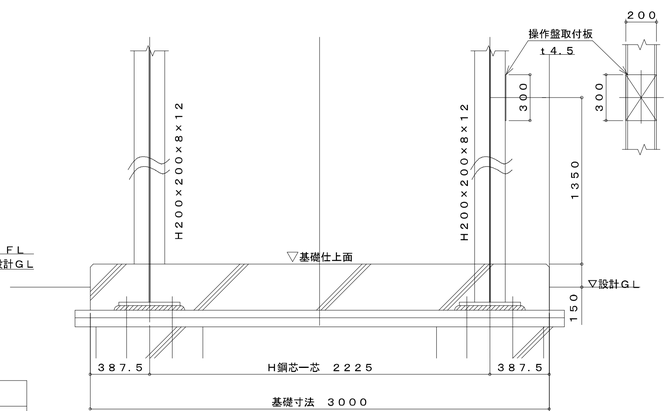
中間支持部詳細図（Ｂー矢視）
Ｓ＝１：２０



鉄骨横架部　詳細図　　Ｓ＝１：２０

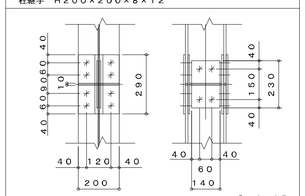


Ｃ矢視図
Ｓ＝１：１５



鉄骨下部　詳細図　　Ｓ＝１：２０

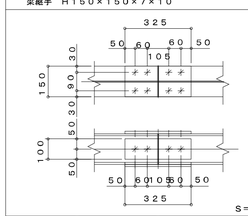
柱継手　Ｈ２００×２００×８×１２



Ｓ＝１：１５

フランジ	１６ーＭ２０	２ＰＬ-９ｘ２００ｘ２９０
		４ＰＬ-９ｘ　８０ｘ２９０
ウェブ	４ーＭ２０	２ＰＬ-６ｘ１４０ｘ２３０

梁継手　Ｈ１５０×１５０×７×１０

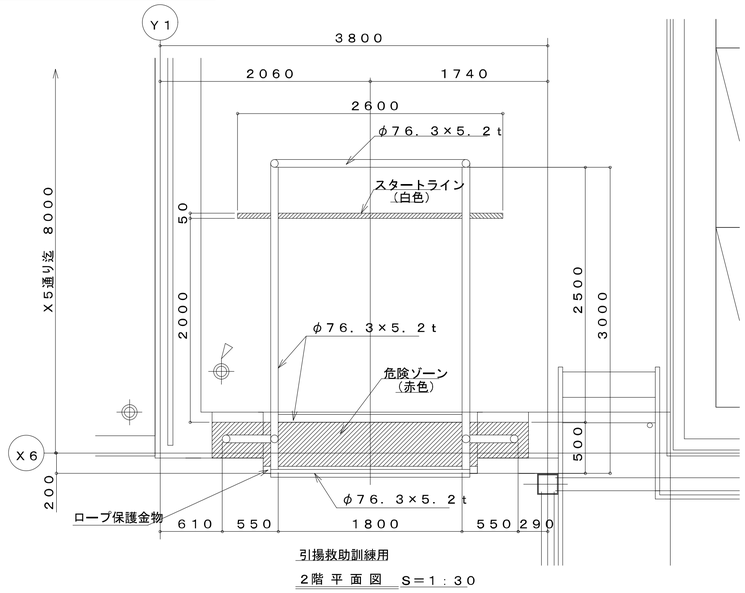


Ｓ＝１：１５

フランジ	１６ーＭ２０	２ＰＬ-１２ｘ１５０ｘ３２５
ウェブ	４ーＭ２０	２ＰＬ-９ｘ１００ｘ３２５

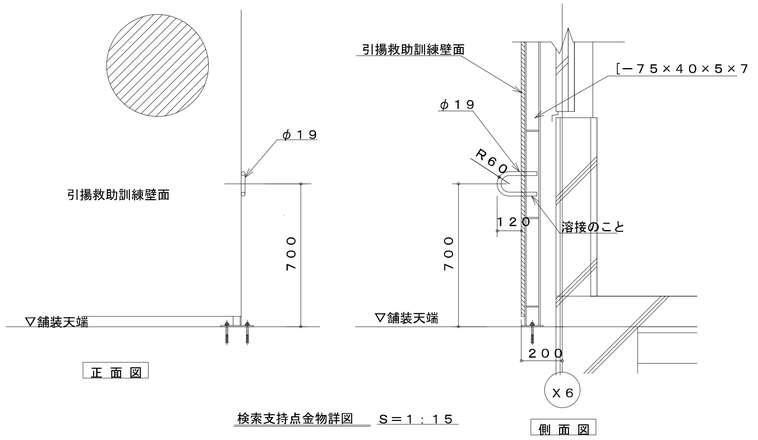
DRAWING	ホースリフターFH120型 鉄骨詳細図	SCALE A1：1/20.30 A3：1/40.60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. A-61

※鉄部は、溶融亜鉛メッキとする。

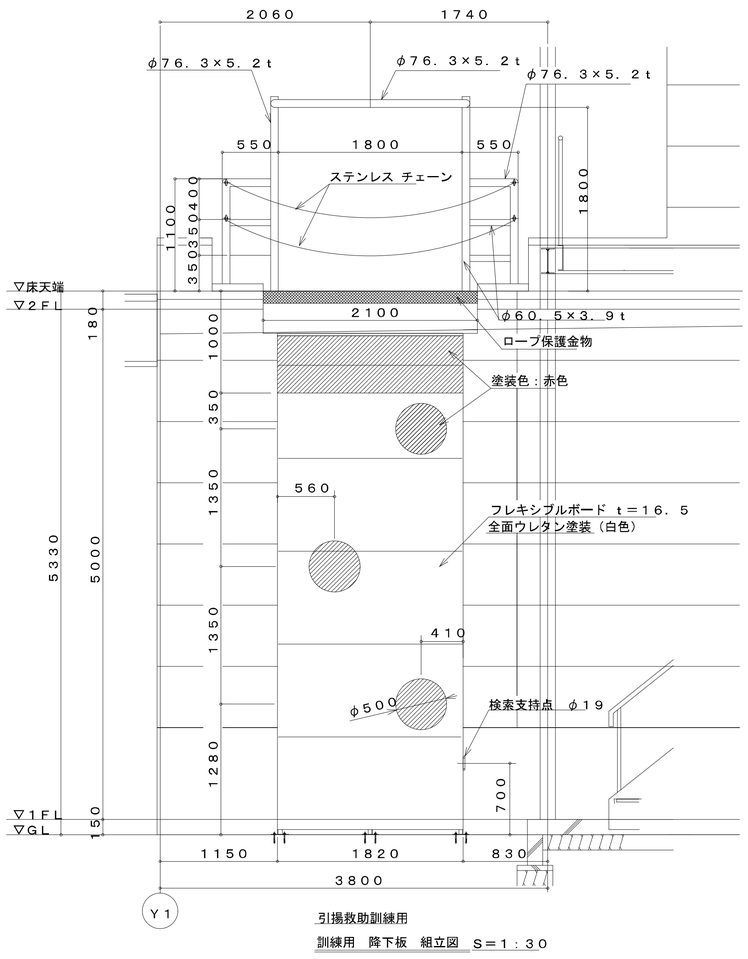


引揚救助訓練用

２階 平 面 図　Ｓ＝１：３０

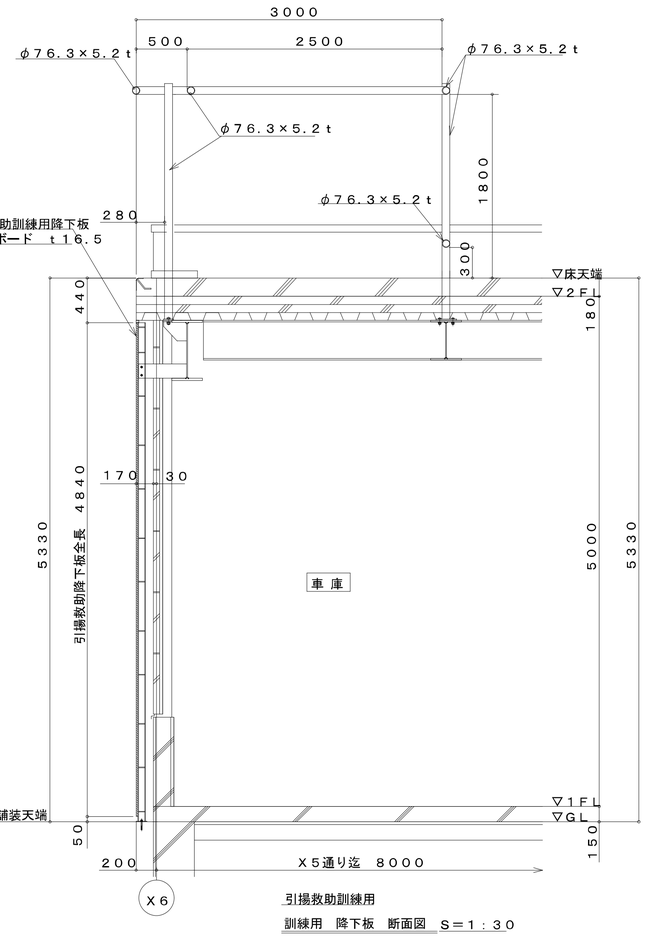


検索支持点金物詳図　Ｓ＝１：１５



引揚救助訓練用

訓練用　降下板　組立図　Ｓ＝１：３０

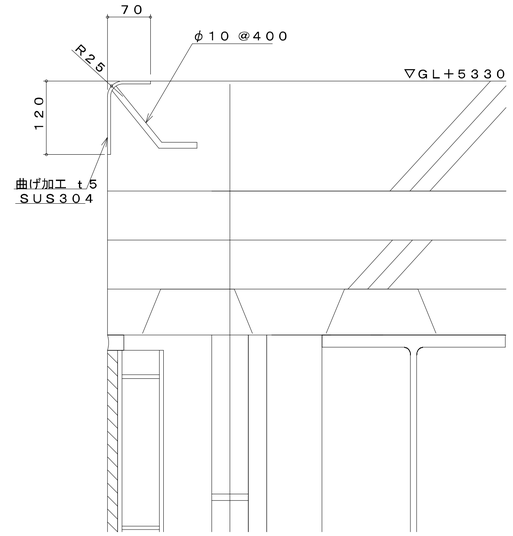


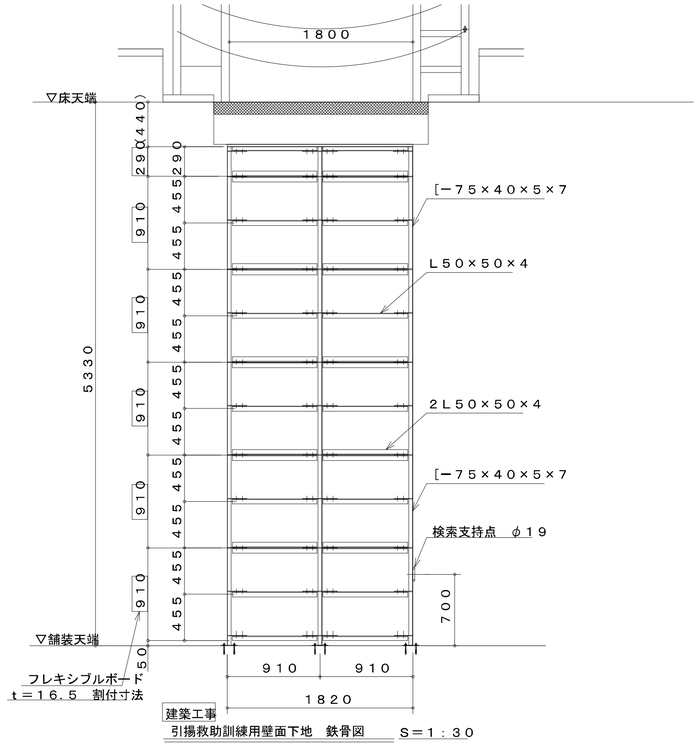
引揚救助訓練用

訓練用　降下板　断面図　Ｓ＝１：３０

※訓練ロープ保護金物 詳細図　Ｓ＝１：５

設置箇所　２階引揚救助訓練部 Ｌ＝２１００

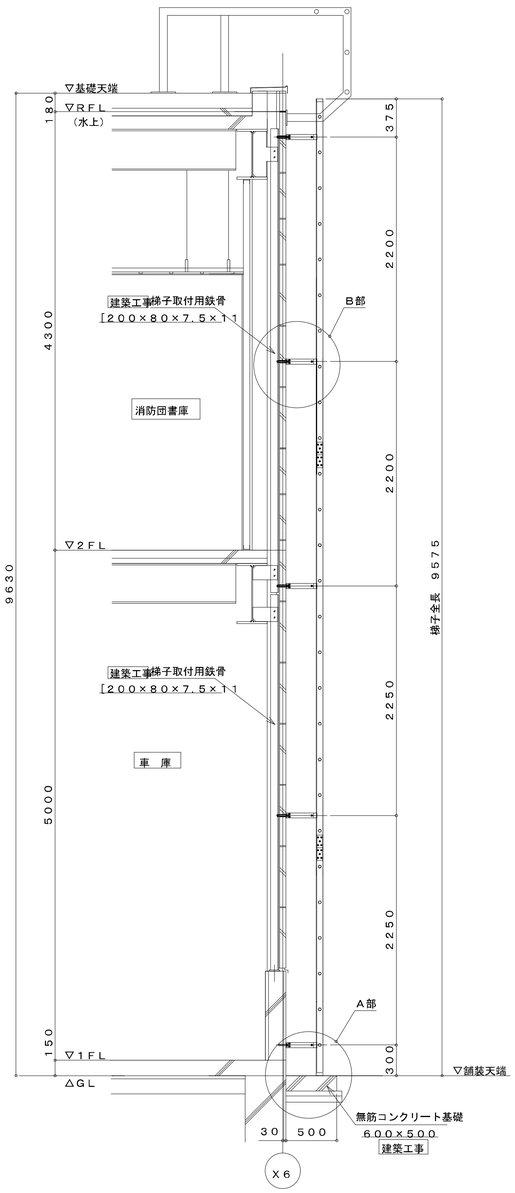




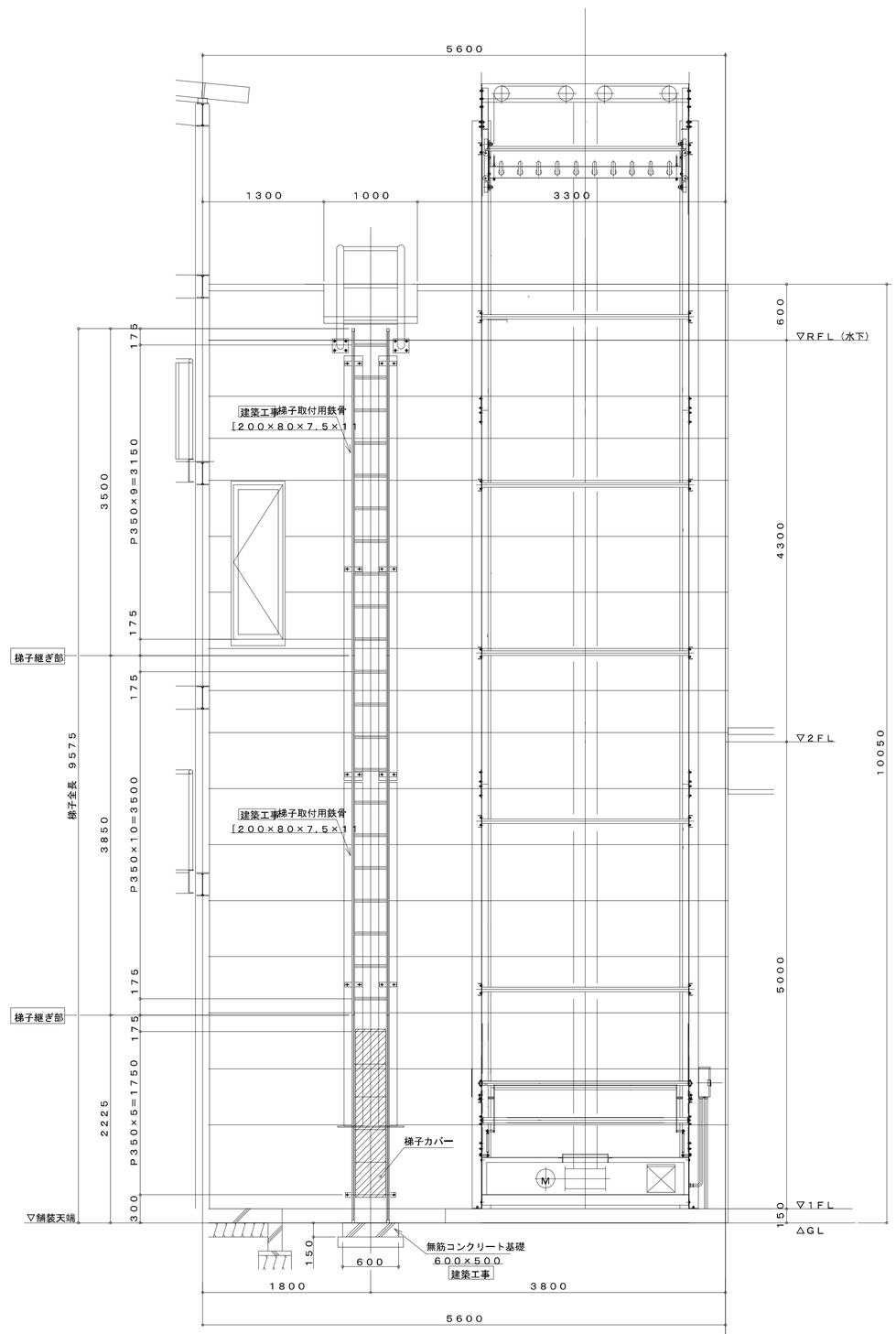
建築工事

引揚救助訓練用壁面下地　鉄骨図　Ｓ＝１：３０

DRAWING	引揚救助降下板 組立及び詳細図	SCALE	A1:1/5.15.30 A3:1/10.30.60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-62



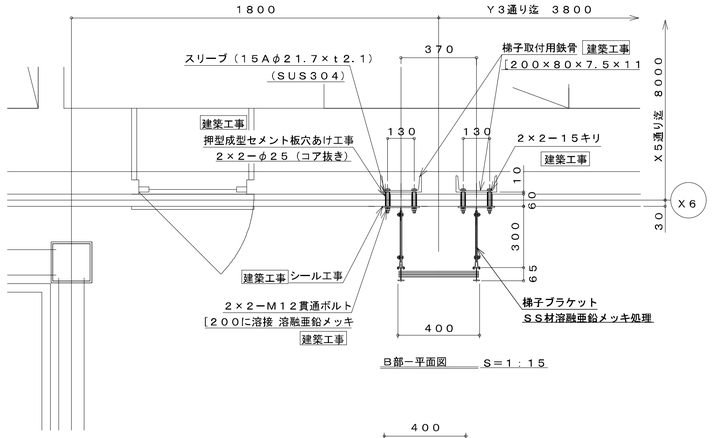
側 面 図



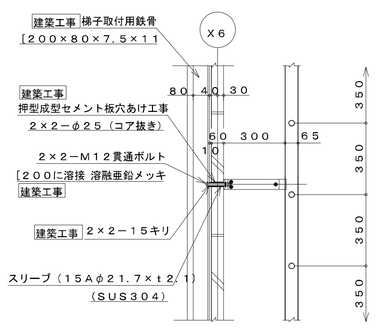
正 面 図

梯子登はん訓練用

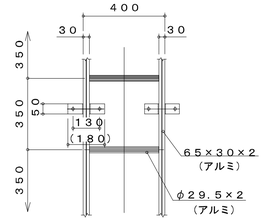
アルミ梯子 組立及び詳細図　　Ｓ＝１：５０



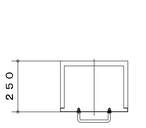
Ｂ部－平面図　　Ｓ＝１：１５

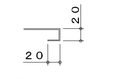


Ｂ部－詳細図　　Ｓ＝１：１５

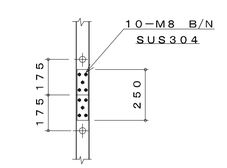


梯子詳細　　Ｓ＝１：１５

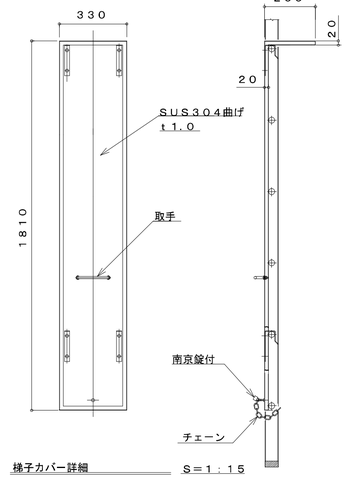




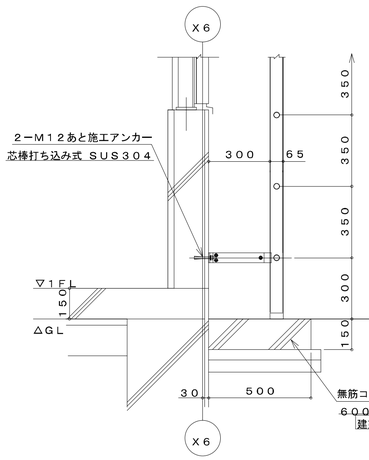
Ｘ－断面　Ｓ＝１：５
天板折り曲げ部周囲



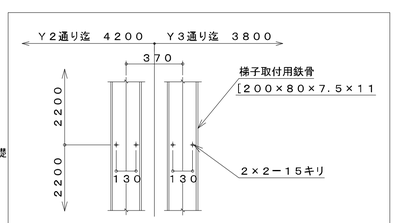
継ぎ部詳細　　Ｓ＝１：１５



梯子カバー詳細　　Ｓ＝１：１５



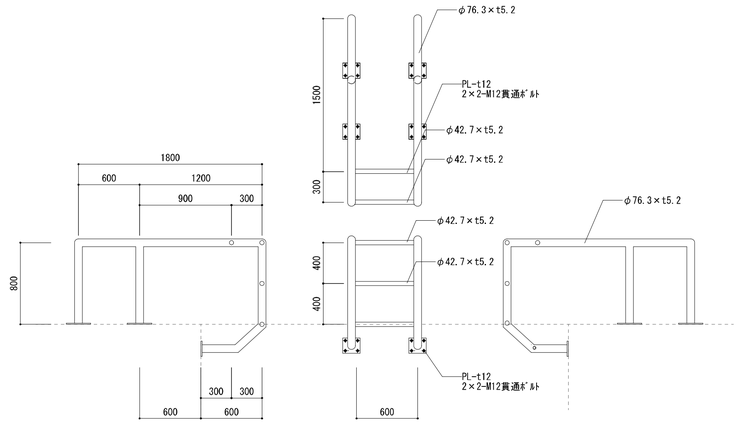
Ａ部－詳細図　　Ｓ＝１：１５



DRAWING	登はん訓練用アルミ梯子 組立及び詳細図	SCALE	A1:1/15, 20, 50 A3:1/30, 40, 100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024. 03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-63

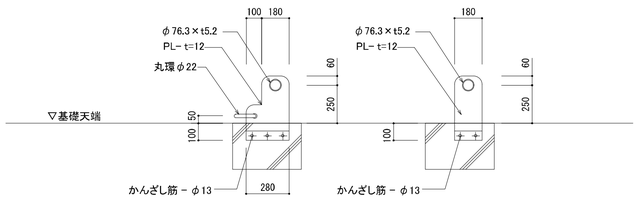
登はん訓練上部手摺　詳細図　S=1/30

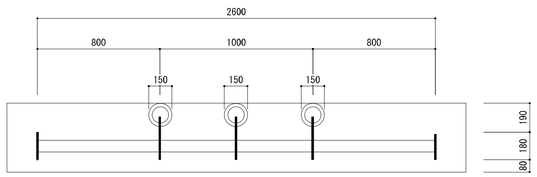
※溶融亜鉛メッキ仕上



ﾛｰﾌﾟ渡過訓練金物　詳細図　S=1/15

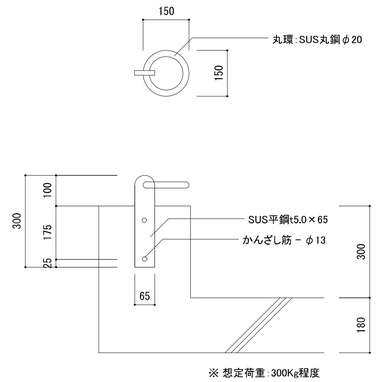
※溶融亜鉛メッキ仕上





平面図

丸環　詳細図　S=1/10



※ 想定荷重：300Kg程度

DRAWING 訓練設備雑詳細図	SCALE A1:1/10,20,30 A3:1/20,40,60
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男	DRAWING No. A-64

建物概要等

1. 構造概要

構造概要　消防庁舎

				備考
構造種別	地上	(1)階～(2)階(S)造 (　　　)造	地下 ( )階( )造 ( )階( )造	
架構形式	X方向	(ラーメン)構造		
	Y方向	(ラーメン)構造		
耐震構造方式	⊙耐震構造　・制振構造			
	・免震構造(免震層の位置　・基礎下免震　・中間階免震( )階			
基礎方式	⊙直接基礎(⊙独立　・連続　・べた　)　下部ﾗｯﾌﾟﾙｺﾝｸﾘｰﾄ			適用箇所は図示による( )
	・杭基礎(・場所打ちコンクリート杭　・既製コンクリート杭　・鋼管杭　・　)			
耐震安全性の分類	⊙Ⅰ類(1.5)　・Ⅱ類(1.25)　・Ⅲ類(1.0)			
耐風に関する性能の分類	・Ⅰ類(1.3)　・Ⅱ類(1.15)　⊙Ⅲ類(1.0)			

構造概要　屋外鉄骨階段

				備考
構造種別	地上	(1)階～(3)階(S)造 (　　　)造	地下 ( )階( )造 ( )階( )造	
架構形式	X方向	(ラーメン)構造		
	Y方向	(ラーメン)構造		
耐震構造方式	⊙耐震構造　・制振構造			
	・免震構造(免震層の位置　・基礎下免震　・中間階免震( )階			
基礎方式	⊙直接基礎(・独立　⊙連続　・べた　)　下部ﾗｯﾌﾟﾙｺﾝｸﾘｰﾄ			適用箇所は図示による( )
	・杭基礎(・場所打ちコンクリート杭　・既製コンクリート杭　・鋼管杭　・　)			
耐震安全性の分類	⊙Ⅰ類(1.5)　・Ⅱ類(1.25)　・Ⅲ類(1.0)			
耐風に関する性能の分類	・Ⅰ類(1.3)　・Ⅱ類(1.15)　⊙Ⅲ類(1.0)			

2. 構造設計条件等

計算方法　消防庁舎

	X方向	Y方向	備考
許容応力度計算（令第82条各号＋令第82条の4）【ルート１】	・	・	X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する
許容応力度等計算【ルート２】	・	・	
保有水平耐力計算【ルート３】	⊙	⊙	
限界耐力計算	・		
その他の計算法( )	・	・	
構造計算適合性判定機関（ 必要 ）			
特別な検証法(時刻歴応答解析による)	・		
大臣認定(認定番号)			
指定性能評価機関（ ）			
評価　・高層評価　・免震評価　・その他			
(評価番号)			

外力等　消防庁舎

				備考
地震力	設計用一次固有周期	(0.280)秒		
	地震地域係数(Z)	Z= ・1.0　⊙0.9　・0.8　・0.7		
	地盤の種別	第(2)種地盤　Tc=(0.6)秒		
	標準せん断力係数	X方向	Y方向	
	一次設計	C_0=(0.2)	C_0=(0.2)	
	二次設計	C_0=(1.0)	C_0=(1.0)	
風圧力(施行令第87条)	地表面粗度区分	基準風速(V_0)	速度圧(q)	
	・Ⅰ・Ⅱ⊙Ⅲ・Ⅳ	(34)m/s	1082	
風圧力(施行令第82条の4)	地表面粗度区分	基準風速(V_0)	平均速度圧($\bar{q}$)	
	・Ⅰ・Ⅱ⊙Ⅲ・Ⅳ	(34)m/s		
積雪荷重	区域	⊙多雪区域 ・多雪区域以外（特定緩勾配屋根 ・有 ・無）		
	設計垂直積雪量	(140)cm		
	単位荷重	(30)N/m/cm		
	垂直積雪量の低減	・低減する　⊙低減しない		

計算方法　屋外鉄骨階段

	X方向	Y方向	備考
許容応力度計算（令第82条各号＋令第82条の4）【ルート１】	・	・	X方向、Y方向の適用する計算法に○を記載する
許容応力度等計算【ルート２】	・	・	
保有水平耐力計算【ルート３】	⊙	⊙	
限界耐力計算	・		
その他の計算法( )	・	・	
構造計算適合性判定機関（ 必要 ）			
特別な検証法(時刻歴応答解析による)	・		
大臣認定(認定番号)			
指定性能評価機関（ ）			
評価　・高層評価　・免震評価　・その他			
(評価番号)			

外力等　屋外鉄骨階段

				備考
地震力	設計用一次固有周期	(0.377)秒		
	地震地域係数(Z)	Z= ・1.0　⊙0.9　・0.8　・0.7		
	地盤の種別	第(2)種地盤　Tc=(0.6)秒		
	標準せん断力係数	X方向	Y方向	
	一次設計	C_0=(0.25)	C_0=(0.25)	
	二次設計	C_0=(1.0)	C_0=(1.0)	
風圧力(施行令第87条)	地表面粗度区分	基準風速(V_0)	速度圧(q)	
	・Ⅰ・Ⅱ⊙Ⅲ・Ⅳ	(34)m/s	1181	
風圧力(施行令第82条の4)	地表面粗度区分	基準風速(V_0)	平均速度圧($\bar{q}$)	
	・Ⅰ・Ⅱ⊙Ⅲ・Ⅳ	(34)m/s		
積雪荷重	区域	⊙多雪区域 ・多雪区域以外（特定緩勾配屋根 ・有 ・無）		
	設計垂直積雪量	(140)cm		
	単位荷重	(30)N/m/cm		
	垂直積雪量の低減	・低減する　⊙低減しない		

3. 地盤調査資料

・当該敷地の既往調査報告書
⊙当該敷地の既往調査報告書及び今回工事に含まれる地盤調査結果
（今回工事に含まれる地盤調査については図示による。）

4. 液状化対策

・有り
（範囲、工法、仕様、計測、試験等については図示による。）
⊙無し
・

5. 軽微な変更への対応（あらかじめの検討）

施工の関係上やむを得ず発生する可能性の高い変更等(位置の変更)
施工誤差を考慮して構造耐力上支障がない検討が行われている部分

・くいの芯ずれを考慮した検討
　許容誤差( )
・小ばりの位置の変更を見込んだ大ばり等の検討
・大きさの変更を見込んだスラブ等の検討(屋根床版含む)
・はり貫通孔の大きさと位置の変更を見込んだ検討
・壁開口の位置の変更を見込んだ検討
・スラブの開口及び段差の変更を見込んだ検討
・間柱の位置の変更を見込んだ検討

構造関係共通事項（共通事項）

構-1 総則

1.1 適用範囲

（1）構造関係共通事項(配筋標準図)は鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。
（2）構造関係共通事項(鉄骨標準図)は鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄骨の加工、組立の一般的な標準図とする。
（3）建築構造図に特記無き事項は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版による。

1.2 用語の定義

（1）「構造図」とは、建築構造図のうち構造関係共通事項（共通事項）、構造関係共通事項（配筋標準図）及び構造関係共通事項（鉄骨標準図）以外の図面をいう。

1.3 優先順位

設計図書の図面のうち建築構造図に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。
1．構造図及び構造関係共通事項（共通事項）
2．構造関係共通事項（配筋標準図）、構造関係共通事項（鉄骨標準図）

1.4 記号等

（1）図面で使用する記号等は表1.1～表1.8、図1.1を標準とする。
（2）異形鉄筋の径(本文、図、表において「D、d」で示す)は、呼び名に用いた数値とする。
（3）長さ、厚さ等の単位は、特記なき限りmmとする。

表1.1　異形鉄筋の断面表示記号

区分＼径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
建築	●	×	∅	●	○	⊙	⊗	◎

表1.2　各階伏図における記号

記号	説明	記号	説明
(S※)	スラブの配筋種別		杭の位置
◇	スラブ厚さ		試験杭の位置
○	階段の配筋種別		打増しの範囲
(D※)	土間コンクリート		スラブ開口
	コンクリートブロック壁（CB壁）		ボーリング位置
	梁・スラブの上がり下がりの範囲	（± ）	FLからの上がり下がり
EW○○ EKW○○ ERW○○	耐力壁 片持ちスラブ階段を受け、かつ耐力壁 土圧を受け、かつ耐力壁		

表1.3　梁貫通孔記号

区分＼径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400
建築															

表1.4　スリーブ材質の凡例

管名	鋼管	溶融亜鉛めっき鋼版	硬質塩化ビニル管（薄肉管）	つば付き鋼管（黒管）
記号（建築用）	SP（白管）	GA	VU	RS

※建築用以外のスリーブ材質は各工事による。

表1.5　高力ボルト径の記号

区分＼径	M12	M16	M20	M22	M24
高力ボルト（F10T、S10T）					
溶融亜鉛めっき高力ボルト（F8T相当）	―				

表1.6　普通ボルト径の記号

区分＼径	M12	M16	M20	M22	M24
普通ボルト	○				

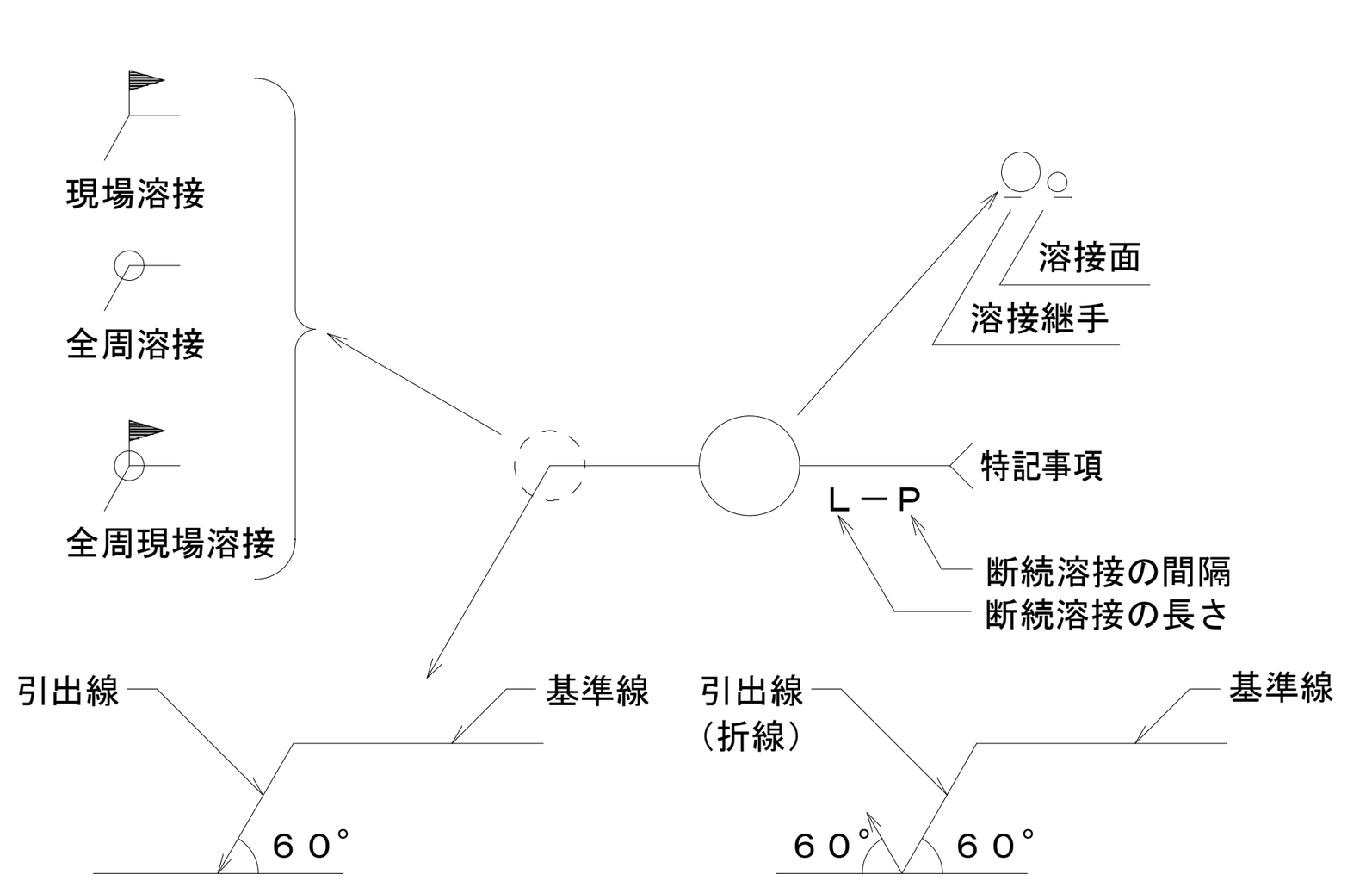
表1.7　溶接方法、溶接継手及び溶接面の分類別記号
設計図中で使用する記号は、JIS Z 3021-2016による。

溶接の種類	基本記号	備考
I 形開先溶接		ｱﾌﾟｾｯﾄ溶接、ﾌﾗｯｼｭ溶接、摩擦溶接などを含む。
V 形開先溶接、X 形開先溶接		ｱﾌﾟｾｯﾄ溶接、ﾌﾗｯｼｭ溶接、摩擦溶接などを含む。X形は基本記号V形を組み合わせたもの。
レ 形開先溶接、K 形開先溶接		ｱﾌﾟｾｯﾄ溶接、ﾌﾗｯｼｭ溶接、摩擦溶接などを含む。K形は基本記号レ形を組み合わせたもの。
V 形フレア溶接		
レ 形フレア溶接		
すみ肉溶接		
抵抗スポット溶接、溶融スポット溶接		
抵抗シーム溶接、溶融シーム溶接		

項目	特記事項

表1.8　溶接の補助記号

区分	補助記号
現場溶接	
全周溶接	○
全周現場溶接	
断続溶接の長さ及び間隔	L－P



※特記無き限り、完全溶込溶接の溶接方法・溶接面は適切な溶接方法等による。

図1.1　溶接記号の記載例

構-2 施工方法等計画書関連等

1. コンクリートの単位水量測定

(1)単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(ｲ)(c)による。
(3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1)測定した単位水量が、配合計画書の設計値(以下「設計値」という。)±15kg/m³の範囲にある場合は、その運搬車のレディーミクストコンクリート（以下「生コン」という。）を合格とし、そのまま打設する。
2)測定した単位水量が設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、その運搬車の生コンを合格とし打設してよいが、水量変動の原因を調査し、生コン生産者に改善を指示する。その後、設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
3)測定した単位水量が設計値±20kg/m³を超える場合は、その運搬車の生コンを不合格とし、打設せずに持ち帰らせるとともに、水量変動の原因を調査し、生コン生産者に改善を指示する。その後、単位水量が設計値±20Kg/m³以内になるまで全運搬車の測定を行い、更に設計値±15kg/m³以内に安定するまで、運搬車の３台毎に１回、単位水量の測定を行う。
4)3)により不合格となった生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4)単位水量管理についての記録を書面(配合計画書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により監督職員に提出する。
(5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は当該生コン生産者以外の機関とする。

構-3 使用構造材料

（1）コンクリート　※ コンクリート特殊混和材 15kg/m3配合 の事

適用箇所	種類	設計基準強度（F_c=N/mm²）	スランプ（cm）	備考
捨コンクリート	■普通 □	□16 ■18 □24	15	
ラップルコンクリート	■普通 □	□16 ■18 □24	15	
土間コンクリート	■普通 □	□18 □21 ■24	18	
基礎、基礎梁	■普通 □	□21 ■24 □27	18	
柱、梁、床、壁	■普通 □	□21 ■24 □27	18	
ﾃﾞｯｷｺﾝｸﾘｰﾄ	■普通 □	□18 ■21 □24	18	
２階腰壁･機械基礎	■普通 □	□18 ■21 □24	18	
屋根防水押えｺﾝｸﾘｰﾄ	■普通 □	□18 ■21 □24	18	溶接金網Φ6-150
温度補正は別途加算する				

（2）コンクリートブロック（CB）
□A種　□B種　□C種　厚 □100、□120、□150、□190

（3）鉄筋

	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	■SD295A	D16以下	リストによる	■重ね継手（D16以下） ■ガス圧接継手（D19以上） □特殊継手 （ ）
	■SD345	D19～D25	リストによる	
	□SD390	D29以上	リストによる	
高強度せん断補強筋	□KSS785（同等品）	S13	リストによる	
	□ｳﾙﾎﾞﾝ1275（同等品）	U13	リストによる	
溶接金網	□			

（4）鉄骨

	種類			使用箇所	現場溶接	備考
鋼材	■SS400	■SN400A	■SN400B	リストによる	□有 ■無	
	□STKR400	■SNR400B	□STK400	リストによる	□有 ■無	
	□SM490A	□SM490B	□		□有 □無	
	■SSC400	□	□	リストによる	□有 ■無	
	■BCR295	□STKN490B	□	リストによる	■有 ■無	
	□SN490A	■SN490B	■SN490C	リストによる	□有 ■無	
備考						

（5）ボルト
■高力ボルト　□F10T　■F8T　■S10T　認定品（□M12 ■M16 ■M20 ■M22 □M24）
■中ボルト　M12　φ＝
■アンカーボルト　構造図による
■頭付スタッド　構造図による

構造設計者　一級建築士　第241724号・構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

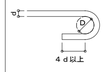
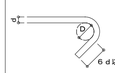
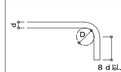
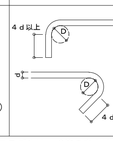
DRAWING	構造関係共通図（1）	SCALE	－
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	S－01

構造関係共通事項(配筋標準図)

1.1 鉄筋の加工

鉄筋の折曲げ内法直径は、表1.1を標準とする。

表1.1　鉄筋の折曲げ内法直径

折曲げ角度	折曲げ図（余長）	鉄筋の種類	折曲げ内法直径(D)		
			ＳＤ２９５，ＳＤ３４５		ＳＤ３９０
		呼び名	Ｄ１６以下	Ｄ１９～Ｄ３８	Ｄ１９～Ｄ３８
１８０°			３ｄ以上	４ｄ以上	５ｄ以上
１３５°					
９０°					
１３５°及び９０°（幅止め筋）					

1．片持ちスラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合は、余長は４ｄ以上とする。
2．９０°未満の折曲げの内法直径は構造図による。

2.1 異形鉄筋の末端部

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。
（１）柱及び梁（基礎梁を除く）の出隅部

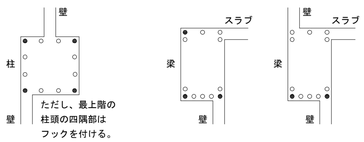


図2.1 末端部にフックを必要とする出隅部の鉄筋（ ● 印）

（２）煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）
（３）杭基礎のベース筋
（４）帯筋、あばら筋及び幅止め筋

3.1 継手及び定着

（ａ）鉄筋の重ね継手
（１）径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
（２）柱及び梁の主筋並びに耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず４０ｄ以上（軽量コンクリートの場合は５０ｄ以上）とし表３．１の重ね継手の長さのうち大きい値とする。
それ以外の鉄筋の重ね継手長さは、表3.1による。

表3.1　鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Ｆｃ（N/mm²）	Ｌ₁（フックなし）	Ｌ₁ₕ（フックあり）
SD295	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24，27	35d	25d
	30，33，36	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24，27	40d	30d
	30，33，36	35d	25d
SD390	21	50d	35d
	24，27	45d	35d
	30，33，36	40d	30d

（注）１．Ｌ₁，Ｌ₁ₕ：重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
２．フックありの場合のＬ₁ₕは、図3.1に示すようにフック部分 Q を含まない。
３．軽量コンクリートの場合は、表の値に５ｄを加えたものとする。

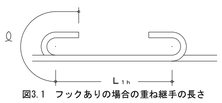
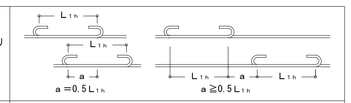
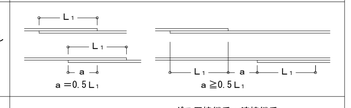
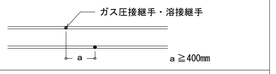
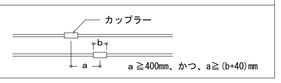


図3.1　フックありの場合の重ね継手の長さ

（３）隣り合う継手の位置は、表3.2による。
ただし、スラブ筋でＤ１６以下の場合及び壁筋の場合は除く。

表3.2　隣り合う継手の位置

重ね継手	フックありの場合	
	フックなしの場合	
ガス圧接継手 溶接継手	－	
機械式継手	－	

（ｂ）鉄筋の定着
（１）鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。

表3.3　鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Ｆｃ（N/mm²）	直線定着の長さ Ｌ₁	直線定着の長さ Ｌ₂	直線定着の長さ Ｌ₃ 小梁	直線定着の長さ Ｌ₃ スラブ	フックあり定着の長さ Ｌ₁ₕ	フックあり定着の長さ Ｌ₂ₕ	フックあり定着の長さ Ｌ₃ₕ 小梁	フックあり定着の長さ Ｌ₃ₕ スラブ
SD295	18	45d	40d	20d（片持小梁の場合２５d）	10d かつ 150mm 以上（片持スラブの場合２５d）	35d	30d	10d	－
	21	40d	35d			30d	25d		
	24，27	35d	30d			25d	20d		
	30，33，36	35d	30d			25d	20d		
SD345	18	50d	40d			35d	30d		
	21	45d	35d			30d	25d		
	24，27	40d	35d			30d	25d		
	30，33，36	35d	30d			25d	20d		
SD390	21	50d	40d			35d	30d		
	24，27	45d	40d			35d	30d		
	30，33，36	40d	35d			30d	25d		

（注）１．Ｌ₁，Ｌ₁ₕ：２．から４．まで以外の直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
２．Ｌ₂，Ｌ₂ₕ：割裂破壊のおそれのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
３．Ｌ₃　：小梁及びスラブの下端筋の直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。
４．Ｌ₃ₕ：小梁の下端筋のフックあり定着の長さ
５．フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分 Q を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。
６．軽量コンクリートの場合は、表の値に５ｄを加えたものとする。
７．打増し部分に、壁、梁、スラブ等がとりつく場合は、壁、梁、スラブ筋等の定着長さには、打増し厚さを含まない。

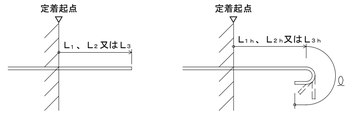


図3.2　直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ

（２）梁主筋の柱内折曲げ定着又は小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3により、次の（ｉ）、（ii）及び（iii）をすべて満足するものとする。
（ｉ）　全長は表3.3に示す直線定着の長さ以上
（ii）　余長は８ｄ以上とする。
（iii）　仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さＬａ及びＬｂは表3.4に示す長さとする。
ただし、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4倍以上とする。

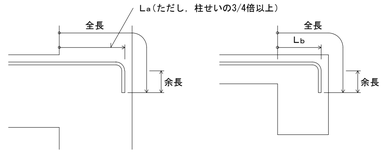


図3.3　折曲げ定着の方法

表3.4　鉄筋の投影定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 Ｆｃ（N/mm²）	Ｌa	Ｌb
SD295	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24，27	15d	15d
	30，33，36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24，27	20d	15d
	30，33，36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24，27	20d	20d
	30，33，36	20d	15d

（注）１．Ｌａ　：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ
（基礎梁、片持梁及び片持スラブを含む。）
２．Ｌｂ　：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ
（片持小梁及び片持スラブを除く。）
３．軽量コンクリートの場合は、表の値に５ｄを加えたものとする。

（３）溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。
なお、Ｌ₁は表3.1に、Ｌ₂及びＬ₃は表3.3による。

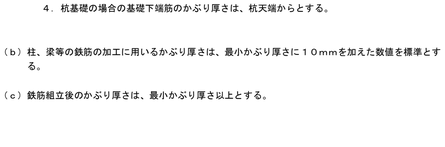


図3.4　溶接金網の継手及び定着

（４）スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による

図3.5　スパイラル筋の継手及び定着

4.1 最小かぶり厚さ

（ａ）鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。
ただし、柱及び梁の主筋にＤ２９以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1　鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ

構造部分の種別			最小かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上げあり	20
		仕上げなし	30
	柱，梁，耐力壁 屋内	仕上げあり	30
		仕上げなし	30
	柱，梁，耐力壁 屋外	仕上げあり	30
		仕上げなし	40
	擁壁，耐圧スラブ		40
土に接する部分	柱，梁，スラブ，壁		40
	基礎，擁壁，耐圧スラブ		60
煙突等高熱を受ける部分			60

（注）１．この表は、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートには適用しない。
また、塩害を受けるおそれのある部分等耐久性上不利な箇所には適用しない。
２．「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上塗材、塗装等）のものを除く。
３．スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
４．杭基礎の場合の基礎下端筋のかぶり厚さは、杭天端からとする。

（ｂ）柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに１０ｍｍを加えた数値を標準とする。

（ｃ）鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

（ｄ）鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。
（１）粗骨材の最大寸法の1.25倍
（２）２５ｍｍ
（３）隣り合う鉄筋の径の平均（呼び名の数値）の1.5倍

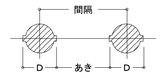


図4.1　鉄筋相互のあき及び間隔

（ｅ）鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。

（ｆ）貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。

5.1 基礎梁

（ａ）一般事項
（１）梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。
（２）梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(b)(4)による。

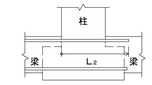
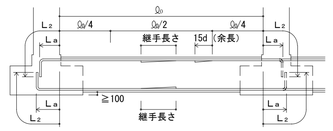


図5.1　梁筋の基礎梁内への定着

（ｂ）独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。

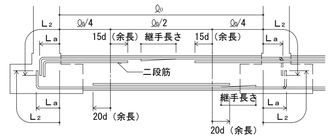


（注）１．図示のない事項は、7.1による。
２．＝＝＝ 印は、継手及び余長位置を示す。
３．破線は、柱内定着の場合を示す。
４．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

：継手の好ましい位置
：ガス圧接を例で示す

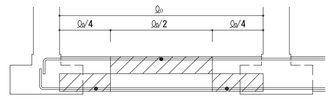
図5.2　主筋の継手、定着及び余長（その１）

（ｃ）独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。
ただし、耐圧スラブが付く場合は、（d）による。



採用

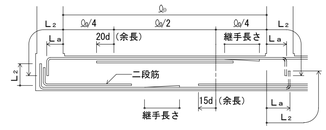
（注）１．図示のない事項は、7.1による。
２．＝＝＝ 印は、継手及び余長位置を示す。
３．破線は、柱内定着の場合を示す。
４．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）



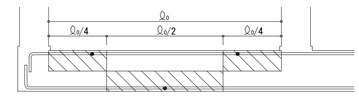
：継手の好ましい位置
：ガス圧接を例で示す

図5.3　主筋の継手、定着及び余長（その２）

（ｄ）連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。



（注）１．図示のない事項は、7.1による。
２．＝＝＝ 印は、継手及び余長位置を示す。
３．破線は、柱内定着の場合を示す。
４．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）



：継手の好ましい位置
：ガス圧接を例で示す

図5.4　主筋の継手、定着及び余長（その３）

5.2 基礎梁のあばら筋等

（ａ）一般事項
（１）あばら筋の径および間隔は、構造図による。
（２）あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(b)による。
ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることができる。

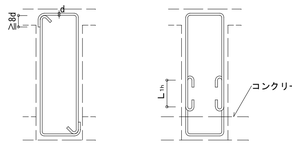


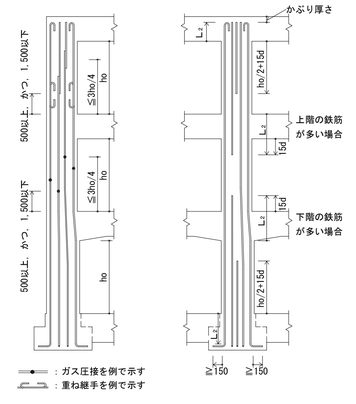
図5.5　あばら筋組立の形及びフックの位置

（ｂ）腹筋及び幅止め筋は、7.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は構造図による。

（ｃ）あばら筋の割付けは、7.2(c)による。

6.1 柱

（ａ）一般事項
（１）継手中心位置は、梁上端から500mm以上、1,500mm以下、かつ、3ho/4（hoは柱の内法高さ）以下とする。
（２）継手、定着及び余長は、図6.1による。
ただし、柱頭定着長さＬ₂が確保できない場合は、構造図による。



（注）１．柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
２．隣り合う継手の位置は、表3.2［隣り合う継手の位置］による。
３．継手及び定着は、すべての階に適用できる。

図6.1　柱主筋の継手、定着及び余長

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	構造関係共通図（２）	SCALE	－
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	S－02

（b）柱打増し部
（1）打増し部分に、壁、梁、スラブ等がとりつく場合の壁、梁、スラブ筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。
（2）土に接する柱周囲の打増しは図6.2による。

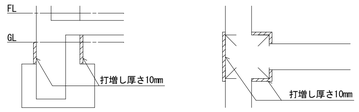


図6.2　柱打増し部

6.2　帯筋

（a）帯筋の種類及び間隔は、構造図による。

（b）帯筋組立の形は図6.3により、適用は構造図による。
（1）H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W－I 形とする。
（2）溶接する場合の溶接長さは、両面フレア溶接の場合は５ｄ以上、片面フレア溶接の場合は１０ｄ以上とする。
（3）ＳＰ形において、柱頭及び柱脚の端部は1.5巻以上の添巻き行う。

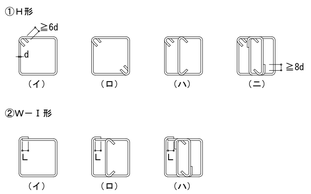
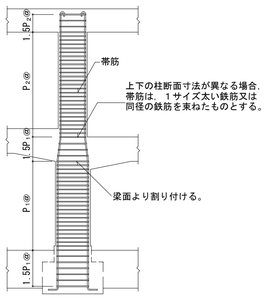


図6.3　帯筋組立の形

（c）フック及び継手の位置は交互とする。

（d）帯筋の割付けは図6.4とし、それ以外の場合は構造図による。



（注）1．柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P₁@または1.5P₂@とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。
2．図中のP₁@　、P₂@は、特記された帯筋の間隔を示す。

図6.4　帯筋の割付け

7.1　大梁

（a）一般事項
（1）梁の上がり下がりは FLを基準とした寸法値とする。
（2）地中梁下の砂利地業厚及び捨てコンクリート地業厚は構造図による。
（3）打増し部分に、スラブ、壁、梁筋等が取り付く場合のスラブ、壁、梁筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。

（b）大梁主筋の継手及び定着の一般事項
（1）継手中心位置は、次による。
上端筋：中央 ℓo/2以内
下端筋：柱面より梁せい（D）以上離し、ℓo/4を加えた範囲以内
（2）継手中央部の位置、定着長さ及び余長は図7.3及び図7.4による。
（3）梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合には、図7.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部では、折り曲げて定着する。



図7.1　梁主筋の梁内定着

（4）梁主筋を柱内に折り曲げて定着する場合は次による。
なお、定着の方法は3.1(b)(2)による。
上端筋：曲げ降ろす。
下端筋（一般）：原則、曲げ上げる。
下端筋（ハンチ付き）：原則、曲げ上げる。
（5）梁にハンチをつける場合、その傾斜は構造図による。
（6）段違い梁は、図7.2による。

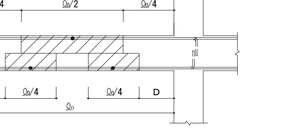


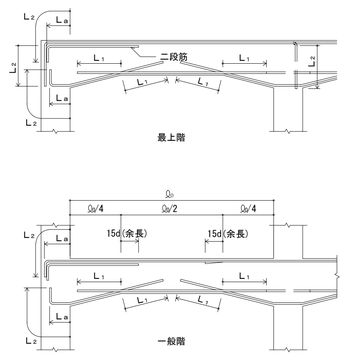
図7.2　段違い梁

（c）ハンチのない場合の重ね継手、定着及び余長は、図7.3による。

（注）1．梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。
2．＝＝＝＝ 印は、継手及び余長を示す。
3．破線は、柱内定着の場合を示す。
4．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

図7.3　大梁の重ね継手、定着及び余長

（d）ハンチのある場合の定着及び余長は、図7.4による。



（注）1．梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合（基礎梁を除く）には、フックを付ける。
2．＝＝＝＝ 印は、継手及び余長を示す。
3．梁内定着の端部下端筋が接近するときは、＝＝＝＝ のように引き通すことができる。
4．破線は、柱内定着を示す。
5．梁主筋ののみ込み長さ（柱せいの3/4倍以上）

図7.4　ハンチのある大梁の定着及び余長

7.2　あばら筋等

（a）あばら筋、腹筋及び幅止め筋の一般事項
（1）あばら筋の種類、径及び間隔は、構造図による。
（2）腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とし、定着長さは図7.6による。
ただし、腹筋を計算上考慮している場合の継手長さ、定着長さは構造図による。
（3）幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10-1,000※程度とする。

（b）あばら筋組立の形及びフックの位置
（1）形は、図7.5（イ）とする。
ただし、L形梁の場合は、（ロ）または（ハ）、T形梁の場合は（ロ）～（ニ）とすることができる。
（2）フックの位置
ⅰ．（イ）の場合は交互とする。
ⅱ．（ロ）の場合　L形ではスラブの付く側、T形では交互とする。
ⅲ．（ハ）の場合は床版の付く側を90°折曲げとする。

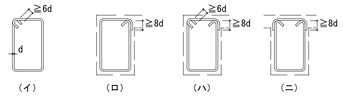
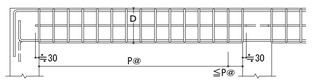


図7.5　あばら筋組立の形

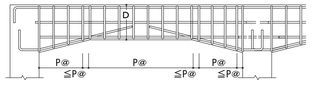
（c）あばら筋の割付け
（1）間隔が一様でハンチのない場合は、図7.6による。



（注）1．あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2．図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。

図7.6　あばら筋の割付け（その１）

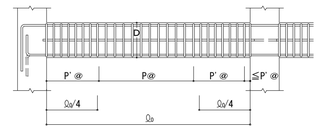
（2）間隔が一様でハンチのある場合は、図7.7による。



（注）1．あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2．図中のP@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。

図7.7　あばら筋の割付け（その２）

（3）梁の端部で間隔の異なる場合は、図7.8による。



（注）1．あばら筋は、柱面の位置から割り付ける。
2．図中のP@、P'@は、構造図のあばら筋の間隔を示す。

図7.8　あばら筋の割付け（その３）

（d）腹筋及び幅止め筋
（1）一般の梁は、図7.9による。

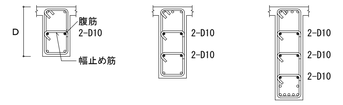
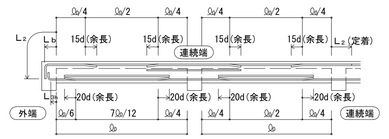


図7.9　腹筋および幅止め筋

7.3　小梁

（a）小梁主筋の継手、定着及び余長
（1）連続小梁の場合は、図7.10による。



（注）1．図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。
2．＝＝＝＝ 印は、余長位置を示す。

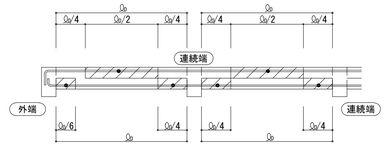
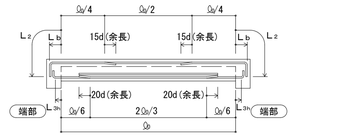


図7.10　小梁主筋の継手、定着及び余長（その１）

（2）単独小梁の場合は、図7.11による。



直交する梁へ斜めに定着する場合

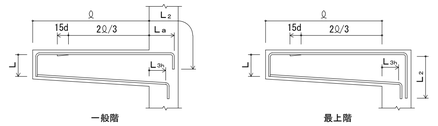
（注）1．図示のない事項は、5.1及び7.1に準ずる。
2．＝＝＝＝ 印は、余長位置を示す。

図7.11　小梁主筋の継手、定着及び余長（その２）

（b）あばら筋は、7.2による。

7.4　片持梁

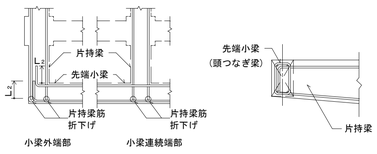
（a）片持梁主筋の定着及び余長
（1）先端に小梁のない場合は、図7.12による。



（注）1．図示のない事項は、7.1による。
2．＝＝＝＝ 印は、余長位置を示す。
3．先端の折曲げの長さLは、梁せいからかぶり厚さを除いた長さとする。

図7.12　片持梁主筋の定着及び余長

（2）先端に小梁がある場合は、図7.13による。



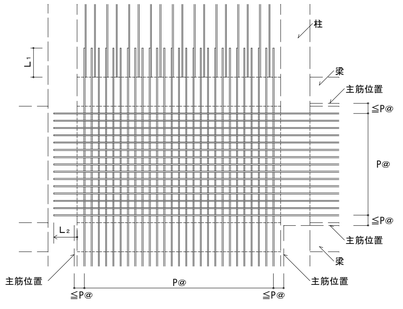
（注）1．図示のない場合は、（1）による。
2．先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
3．先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

図7.13　片持梁主筋の定着

（b）あばら筋は、7.2による。

8.1　壁

（a）一般事項
（1）壁配筋の重ね継手の長さはL_1、定着の長さはL_2とし、鉄筋の継手位置は、柱・梁部以外とする。ただし、耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは、フックありなしにかかわらず４０ｄ以上（軽量コンクリートの場合は５０ｄ以上）又は表3.1の重ね継手の長さのうちいずれか大きい値とする。
（2）幅止め筋は、縦横ともD10-1,000※程度とする。
（3）梁の打増し部分等に、壁が取り付く場合の壁筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。



（注）図中のP@は、特記された壁筋の間隔を示す。

図8.1　壁の配筋

（b）壁の配筋は表8.1により、種別は構造図による。

表8.1　壁の配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図　(mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	

（注）壁筋の配筋順序は、規定しない。

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	構造関係共通図（３）	SCALE	－
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. S－03

（ｃ）片持スラブ形階段を受ける壁の配筋は表8.2により、種別は構造図による。

表8.2　片持スラブ形階段を受ける壁の配筋

種別	縦筋及び横筋		断面図　(mm)	階段の配筋種別(表10.1)
KW1	縦筋	D13-200@ダブル	180	KA1
	横筋	D10-200@ダブル		KA3
KW2	縦筋	D13-150@ダブル	200	KA2
	横筋	D10-200@ダブル		KA4

（注）縦筋は、横筋の外側に配筋する。

（ｄ）土圧を受ける壁の配筋は、構造図による。

（ｅ）壁の交差部及び端部の配筋は、図8.2による。

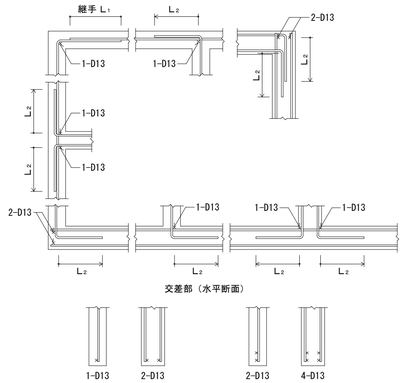


図8.2　壁の交差部及び端部の配筋

8.2　壁の補強

（ａ）壁開口部の補強

（１）耐力壁を除く壁開口部の補強筋は、Ａ形は表8.3、Ｂ形は表8.4とし、適用は構造図による。
なお、耐力壁の補強筋は、構造図による。

表8.3　壁開口部補強筋（Ａ形）

壁の種別	補強筋	
	縦横	斜め
W12，W15	1-D13	1-D13
W18，W20	2-D13	2-D13

表8.4　壁開口部補強筋（Ｂ形）

壁の種別	補強筋	
	縦横	斜め
W12，W15	2-D13	1-D13
W18，W20	4-D13	2-D13

（２）壁開口部補強の定着長さは、図8.3による。

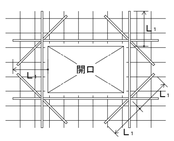


図8.3　壁開口部補強筋の定着長さ

（ｂ）コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、構造図による。

9.1　スラブ

（１）スラブ及び土間コンクリートの上がり下がりは、FLを基準とした寸法値とする。
（２）土間スラブ下の砂利地業厚及び捨てコンクリート地業厚は構造図による。
（３）土間コンクリート補強筋(D[※])の配筋及びコンクリート厚さは構造図による。
（４）スラブの配筋（Ｓ形配筋）は表9.1及び図9.1により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。
（５）梁の打増し部分等に、スラブが取り付く場合のスラブ筋等の定着長さは、打増し部分を含まない。

表9.1　Ｓ形配筋

配筋種別	短辺方向（主筋）全域	長辺方向（配力筋）全域
Ｓ1	D13-100@	D13-100@
Ｓ2	同　上	D13-150@
Ｓ3	同　上	D10,D13-150@
Ｓ4	D13-150@	D13-150@
Ｓ5	同　上	D10,D13-150@
Ｓ6	同　上	D10-150@
Ｓ7	D10,D13-150@	D10,D13-150@

配筋種別	短辺方向（主筋）全域	長辺方向（配力筋）全域
Ｓ8	D10,D13-150@	D10-150@
Ｓ9	同　上	D10-200@
S10	D10,D13-200@	D10,D13-200@
S11	同　上	D10-200@
S12	同　上	D10-250@
S13	D10-200@	D10-200@
S14	同　上	D10-250@

（注）上端筋，下端筋とも同一配筋とする。

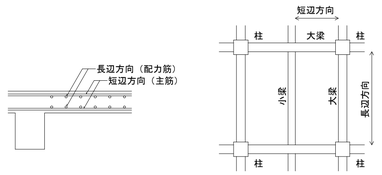


図9.1　スラブの配筋

（５）配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
（６）鉄筋の重ね継手長さは、Ｌ₁とする。
（７）定着長さ及び受け筋は、図9.2による。
ただし、引き通すことができない場合は、図9.3により梁内に定着する。

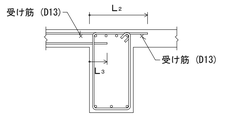


図9.2　スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その１）

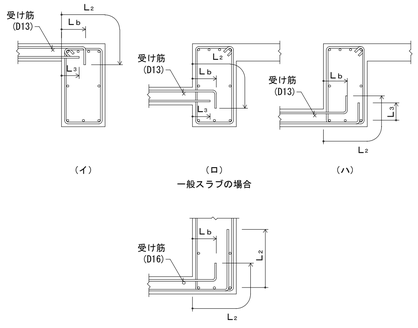


図9.3　スラブ筋の定着長さ及び受け筋（その２）

9.2　片持スラブ

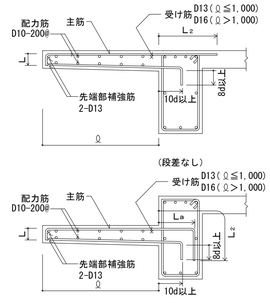
片持スラブは、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。
プレキャストコンクリート部材とする場合の躯体への接続方法は、構造図による。
ただし、構造図になければ、片持ちスラブは現場打ちコンクリート部材とする。
片持スラブの配筋は、次による。

（１）片持スラブの配筋（ＣＳ形配筋）は、表9.2並びに図9.4及び図9.5により、配筋種別及びスラブ厚さは、構造図による。

表9.2　ＣＳ形配筋

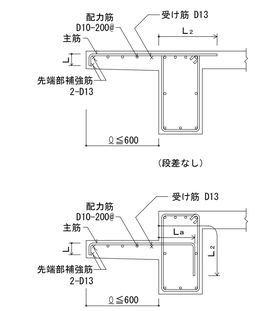
配筋種別		主筋
CS1	上	D13-100@
	下	D13-200@
CS2	上	D13-150@
	下	D13-300@
CS3	上	D10,D13-150@
	下	D10,D13-300@
CS4	上	D10,D13-200@
	下	D10-200@

配筋種別		主筋
CS5	上	D10-200@
	下	D10-400@
CS6	上	D10,D13-200@
	下	——
CS7	上	D10-200@
	下	——



（注）１．先端の折り曲げ長さＬは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図9.4　片持スラブの配筋（ＣＳ１からＣＳ５）



（注）１．先端の折り曲げ長さＬは、スラブ厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

図9.5　片持スラブの配筋（ＣＳ６及びＣＳ７）

（２）先端に壁が付く場合の配筋は、図9.6による。

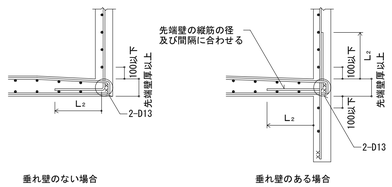


図9.6　先端に壁が付く場合の配筋

（３）出隅部
（ｉ）出隅部の補強筋は構造図により、配筋方法は、図9.7による。
（ii）出隅受け部分（図9.7の斜線部分）の補強筋は構造図による。

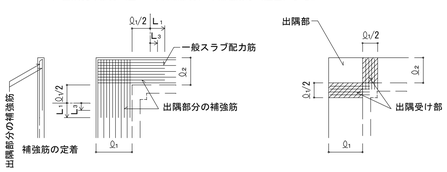


図9.7　片持ちスラブ出隅部の補強配筋

9.3　スラブ等の補強

（ａ）スラブ開口部の補強
スラブ開口部の補強方法は、構造図による。構造図になければ、（ｉ）(ii)による。
（ｉ）スラブ開口の最大径が700mm以下の場合は、図9.8により開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13（Q＝２Ｌ₁）シングルを上下筋の内側に配筋する。

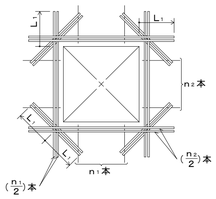


図9.8　スラブ開口部の補強配筋

（ii）スラブ開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

（ｂ）屋根スラブの補強
屋根スラブの出隅及び入隅部分には、図9.9により、補強筋を上端筋の下側に配置する。

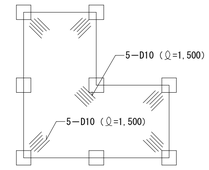
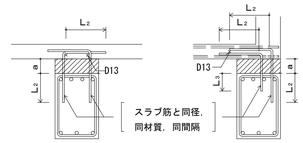


図9.9　出隅及び入隅部の補強配筋

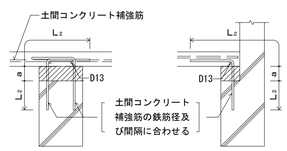
（ｃ）土間スラブの打継ぎ補強
基礎梁とスラブを一体打ちとしないで、打継ぎを設ける場合の補強は図9.10による。
ただし、土間スラブとは、土に接するスラブでＳ形の配筋によるものをいう。



（注）ａ≦300の場合

図9.10　打継ぎ補強配筋

（ｄ）土間コンクリートの補強
土間コンクリートの補強筋は、構造図による。なお、基礎梁との接合部は、図9.11による。



（注）ａ≦300の場合

図9.11　土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋

10.1　片持スラブ形階段

片持スラブ形階段の配筋は、表10.1及び図10.1により、寸法及び配筋種別は、構造図による。

表10.1　片持スラブ形階段の配筋

配筋種別	KA1	KA2
配筋図	D13 D13 D10-300@ D10-300@ t	2-D13 D13 D10-300@ D10-300@ t
配筋種別	KA3	KA4
配筋図	D10-300@ t t D13 D13	D10-300@ t t D13 2-D13

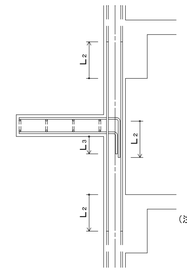


図10.1　片持スラブ形階段配筋の定着

10.2　二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段は、プレキャストコンクリート部材または現場打ちコンクリート部材とする。
プレキャストコンクリート部材とする場合の躯体への接続方法は構造図による。
二辺固定スラブ形階段の配筋は表10.2並びに図10.2及び図10.3により、寸法及び配筋種別は、構造図による。
ただし、構造図になければ、二辺固定スラブ形階段は現場打ちコンクリート部材とする。

表10.2　二辺固定スラブ形配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも（全域）
KB1	D13-200@
KB2	D13-150@
KB3	D13-100@
KB4	D13,D16-150@
KB5	D16-150@
KB6	D16-125@
KB7	D16-100@

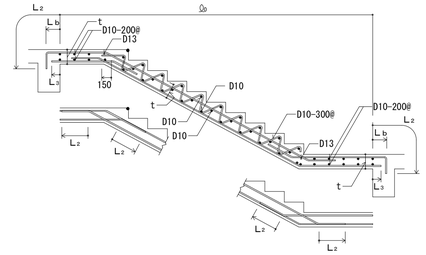
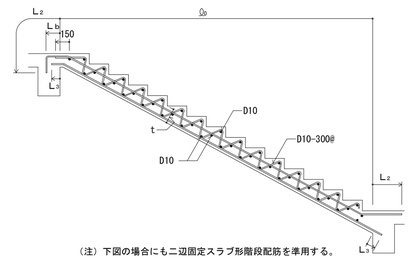


図10.2　二辺固定スラブ形階段配筋（その１）



（注）下図の場合にも二辺固定スラブ形階段配筋を準用する。

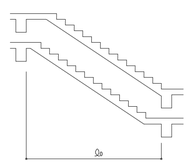


図10.3　二辺固定スラブ形階段配筋（その２）

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	構造関係共通図（４）	SCALE　–
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No. S－04

11.1　梁貫通孔

（ａ）梁貫通孔は、次による。

（１）　梁貫通孔補強筋の名称等は、図11.1による。

（２）　孔の径は、梁せいの1/3以下とする。

（３）　孔の上下方向の位置は梁せい中心付近とし、梁中央部においては、梁下端よりＤ/3（Ｄは梁せい）の範囲に孔を設けてはならない。ただし、耐圧スラブ付きの基礎梁の梁中央部においては、梁上端よりＤ/3の範囲に孔を設けてはならない。

（４）　孔は、柱面から原則として、1.5Ｄ以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。

（５）　孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の３倍以上とする。

（６）　縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。

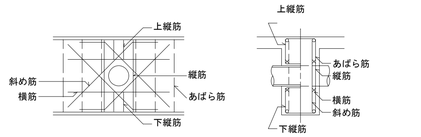
（７）　補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、図11.2による。

（８）　孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

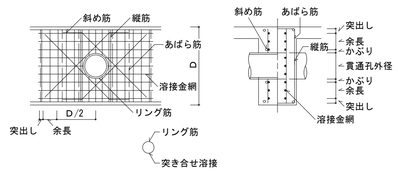
（９）　溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。

（10）　溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋 1-13φのリング筋を取り付ける。
なお、リング節は、溶接金網に４箇所以上溶接する。

（11）　溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



Ｈ形



ＭＨ形及びＭ形

図11.1　梁貫通孔補強筋の名称等

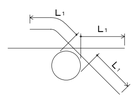


図11.2　補強筋の定着長さ

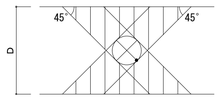


図11.3 他の開孔を設けない範囲

（ｂ）梁貫通孔の補強形式は表11.1～表11.3により、配筋種別は構造図による。

表11.1　Ｈ形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下縦筋	配筋図
H1	2-2-D13	なし	なし	なし	
H2		2-2-D13			
H3	4-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	2-2-D13	
H4	4-2-D16				
H5	4-2-D16	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H6	4-2-D19				
H7	4-2-D22				

（注）―― ―― は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.2　Ｍ形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配　筋　図
M1	2-2-D13	なし	
M2	4-2-D13		
M3	4-2-D13	2-6φ-100#	
M4	6-2-D13		

（注）―― ―― は、一般部分のあばら筋を示す。

表11.3　ＭＨ形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH1	2-2-D13	なし	なし	
MH2		2-2-D13		
MH3	2-2-D13	2-2-D13	2-6φ-100#	
MH4	4-2-D13			
MH5	4-2-D16			
MH6	4-2-D16	4-2-D13	2-6φ-100#	
MH7	4-2-D19			

（注）―― ―― は、一般部分のあばら筋を示す。

【　設計注意事項　】

・梁貫通孔補強は大臣認定品を使用する。

・大臣認定による既製品を使用する場合は、適用条件はすべて認定内容による。

11.2　コンクリートブロック帳壁との取合い

（ａ）控壁は、次による。

（１）控壁の配置は、構造図による。

（２）配筋は、図11.4による。

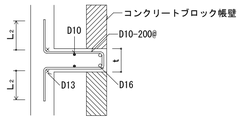


図11.4　控壁の配筋（水平、垂直とも）

（ｂ）帳壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強は、図11.5による。

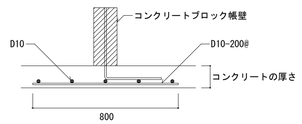


図11.5　壁付き土間コンクリートの補強配筋

11.3　パラペット

パラペットの先端補強筋は図11.6により、コンクリート厚さ及び配筋は構造図による。

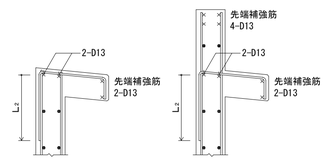


図11.6　パラペットの先端補強筋

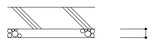
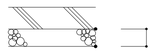
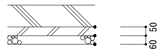
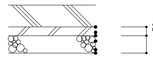
構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	構造関係共通図（５）	SCALE	－
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	S-05

１２．その他

１２．１　地業

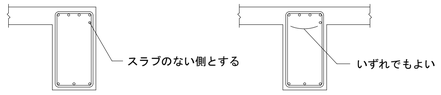
（１）土間コンクリート・土間スラブ下

	一般室 右記以外に適用する。	その他 風除室・ポーチ・外部通路・車路
土間コンクリート		
土間スラブ		
		凡例 捨コンクリート 砂利地業

１２．２　異形鉄筋の末端処理

（ａ）　梁

（１）梁の２段非対称配筋は下図による。

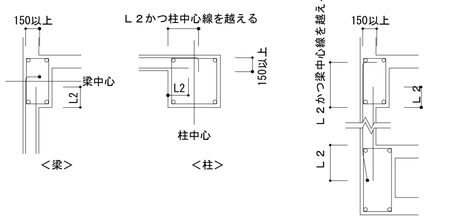


＜片側スラブ＞　　＜両側スラブ＞

１２．３　壁の配筋

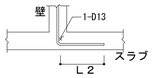
（ａ）　定着

（１）壁筋が、梁，柱主筋の外側に配筋される場合の定着は下図による。



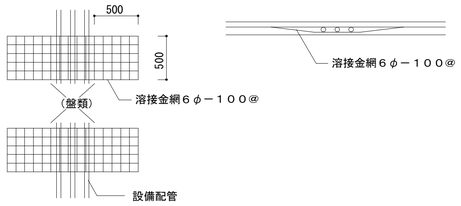
＜梁＞　　＜柱＞　　梁（土圧、水圧などを受ける壁の場合）

（２）壁筋をスラブに定着させる場合は下図による。

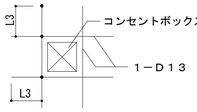


（ｂ）　壁開口部の補強

（１）開口補強（設備開口を含む）は特記による。
（２）シングル配筋の壁で盤類が埋設される場合は、下記補強を行う。



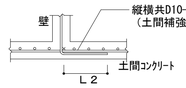
（３）コンセントボックスの補強は下記による。（但し、最大径が３００mm以下で鉄筋を縦やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。）



１２．４　スラブの配筋

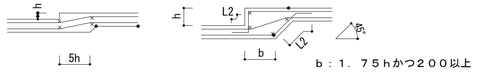
（ａ）　土間コンクリート

（１）土間コンクリート厚は130,補強筋はタテ・ヨコ共D10-200@シングルとする
（2）土間コンクリートの上にＲＣ壁が取り付き、その下に地中梁がない場合は、下図の補強を行う。

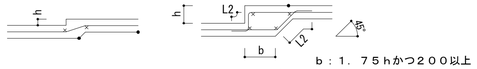


（ｂ）　段差のあるスラブの補強

（１）同一土間スラブに段差がある場合、下図の補強を行う。但し、ｈ＞２００の場合は、特記による。

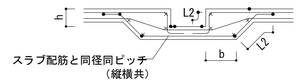


（２）同一土間コンクリートに段差がある場合、下図の補強を行う。但し、ｈ＞２００の場合は、特記による。



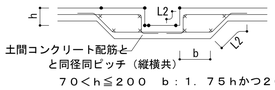
（ｃ）　トラフの補強

（１）スラブにトラフの段差がある場合、下図の補強を行う。但し、ｈ＞２００の場合は、特記による。



７０＜ｈ≦２００　ｂ：１．７５ｈかつ２００以上

（２）土間コンクリートにトラフの段差がある場合、下図の補強を行う。但し、ｈ＞２００の場合は、特記による。

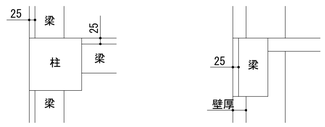


７０＜ｈ≦２００　ｂ：１．７５ｈかつ２００以上

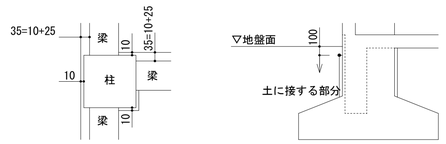
１２．５　その他の配筋

（ａ）　打増し

（１）打増し部分は、かぶり厚さに含まない。ただし、土に接する柱は除く。
（２）部材の軸方向の補強筋の定着長さはＬ２とする。
（３）打増し部が７０mm未満の場合、補強を行わない。
（４）柱と梁が同一面とする場合の打増しは下図による。
（躯体取合いによる打増しとし、仕上による打増しは含まない。）

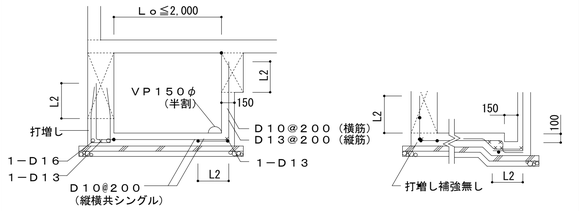


（５）土に接する部分の打増し



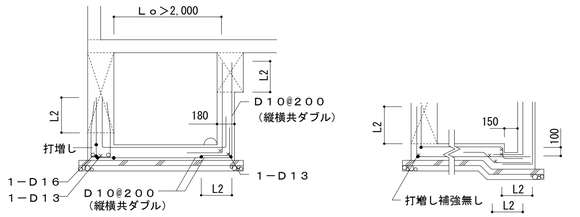
（ｂ）　ピット配筋図

（１）　便所ピット及び配管ピットの配筋は下図による。



Ｌｏ≦2,000　Ｌｏ：短辺方向の内法長さ

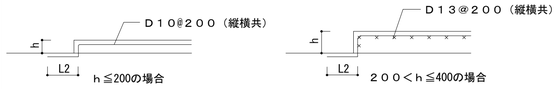
地中梁下端とピット底版上端が同じ場合



Ｌｏ＞2,000　Ｌｏ：短辺方向の内法長さ

地中梁下端とピット底版上端が同じ場合

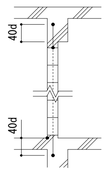
（ｃ）　設備機器基礎の配筋は下図による。但し、ｈ＞４００の場合は特記による。



（d）　コンクリートブロック（CB）帳壁

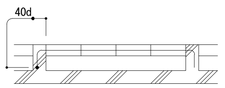
（１）特記なきＣＢは厚さ１２０mmとする。
（２）ＣＢの積み高さ又は積み幅は下表の値とし、その上又は下に同じ厚さのＲＣ壁若しくはその両端にＲＣリブ壁を設ける。
（３）ＣＢは垂れ壁・腰壁又は帳壁に定着する。特記がなければＡ型（垂れ壁・立ち上がり壁）とする。
（４）垂れ壁、立ち上がり壁の配筋は、タテ・ヨコＤ１０－２００@シングルとする。
（５）コンクリートブロックの腰壁・立ち上がり壁又は帳壁への配力筋の定着は下図による。

Ａ形



配力筋の定着は25dとする

Ｂ形



記号	ＣＢ厚	Ｈ又はＷの最大値
ＣＢ１０	１００	２，４００
ＣＢ１２	１２０	３，０００
ＣＢ１５	１５０	３，４００

（ｅ）　躯体に埋設される配管等について

（１）躯体埋設配管等に対する構造上の注意事項は、別に「コンクリート躯体に埋設される配管の取扱いについて」を定めているので、監督職員との協議のうえ対応すること。

１２．６　梁貫通孔補強リスト

（ａ）梁貫通孔補強（図示以外）

（１）貫通孔の補強筋は下記による。補強筋は構造関係共通図　図１１．１～図１１．３及び表１１．１～表１１．３による。スリーブ材質は表１３．１による。

階	梁記号	スリーブ内径	梁幅	梁せい	数量	補強種別・記号	備考

表13.1　スリーブ材質の凡例

管名	鋼管	溶融亜鉛めっき鋼板	硬質塩化ビニル管（薄肉管）	つば付き鋼管（黒管）
記号（建築用）	SP（白管）	GA	VU	RS

１２．７　壁開口補強リスト

（ａ）　壁開口補強（図示以外）

（１）設備工事に伴う、壁の開口補強は下記による。補強筋は特記による。特記がなければ、構造関係共通図　表８．３，表８．４及び図８．３による。

階	壁記号	壁厚	数量	開口寸法	備考

１２．８　床開口補強リスト

（ａ）スラブ開口補強（図示以外）

（１）設備工事に伴う、スラブの開口補強は下記による。補強筋は特記による。特記がなければ、構造関係共通図　図９．８による。

階	スラブ記号	スラブ厚	数量	開口寸法	備考

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	構造関係共通図（６）	SCALE	－
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男			DRAWING No. S－06

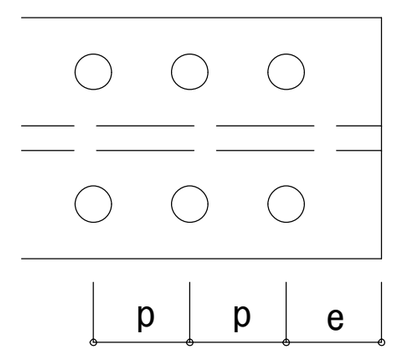
構造関係共通事項(鉄骨標準図)

1-1 縁端距離及びボルト間隔

（ａ）縁端距離及びボルト間隔
縁端距離及びボルト間隔は、表1.1による。ただし、引張材の接合部分において、せん断力を受けるボルトが応力方向に３本以上並ばない場合の縁端距離は、構造図による。構造図になければ、ボルト軸径の2.5倍以上とする。
また、アンカーボルトの縁端距離は構造図による。

表1.1　縁端距離及びボルト間隔　　（単位mm）

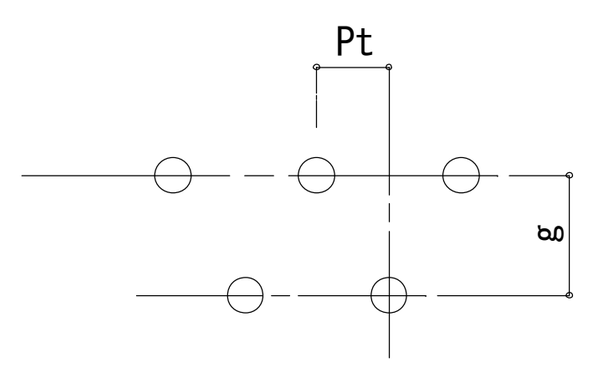
ねじの呼び	縁端距離 e	ボルト間隔 p
M12 M16 M20 M22	40	60
M24	45	70



（ｂ）千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔
千鳥打ちのゲージ及びボルト間隔は、表1.2による。

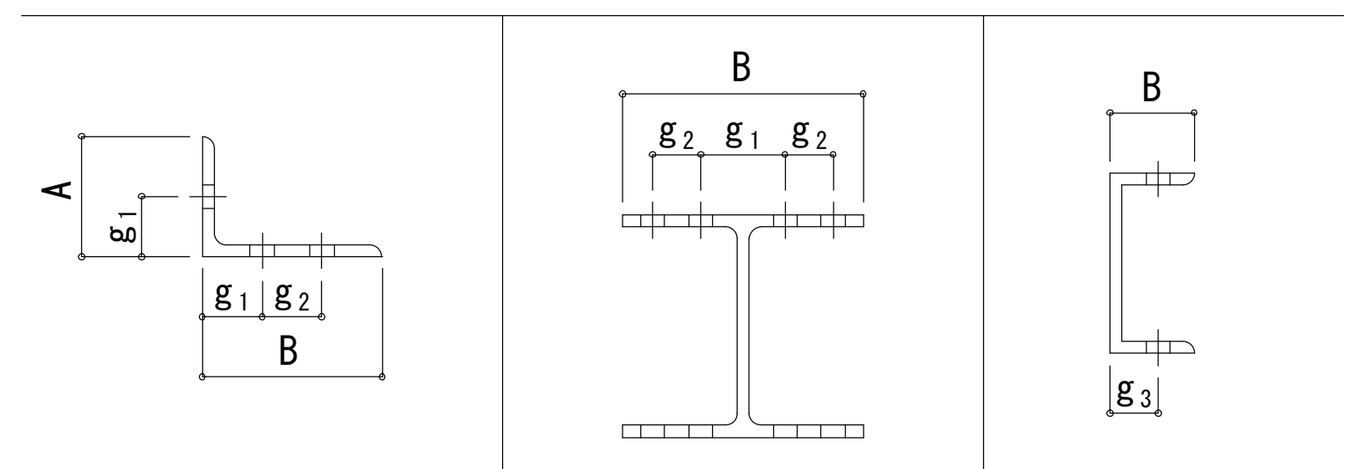
表1.2　千鳥のゲージ及びボルト間隔　（単位mm）

ゲージ g	千鳥打ちのボルト間隔 Pt ねじの呼び M12,M16,M20,M22	M24
35	50	65
40	45	60
45	40	55
50	35	50
55	25	45
60	_	40



（ｃ）形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径
形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径は、表1.3による。

表1.3　形鋼のゲージ及びボルトの最大軸径　（単位mm）



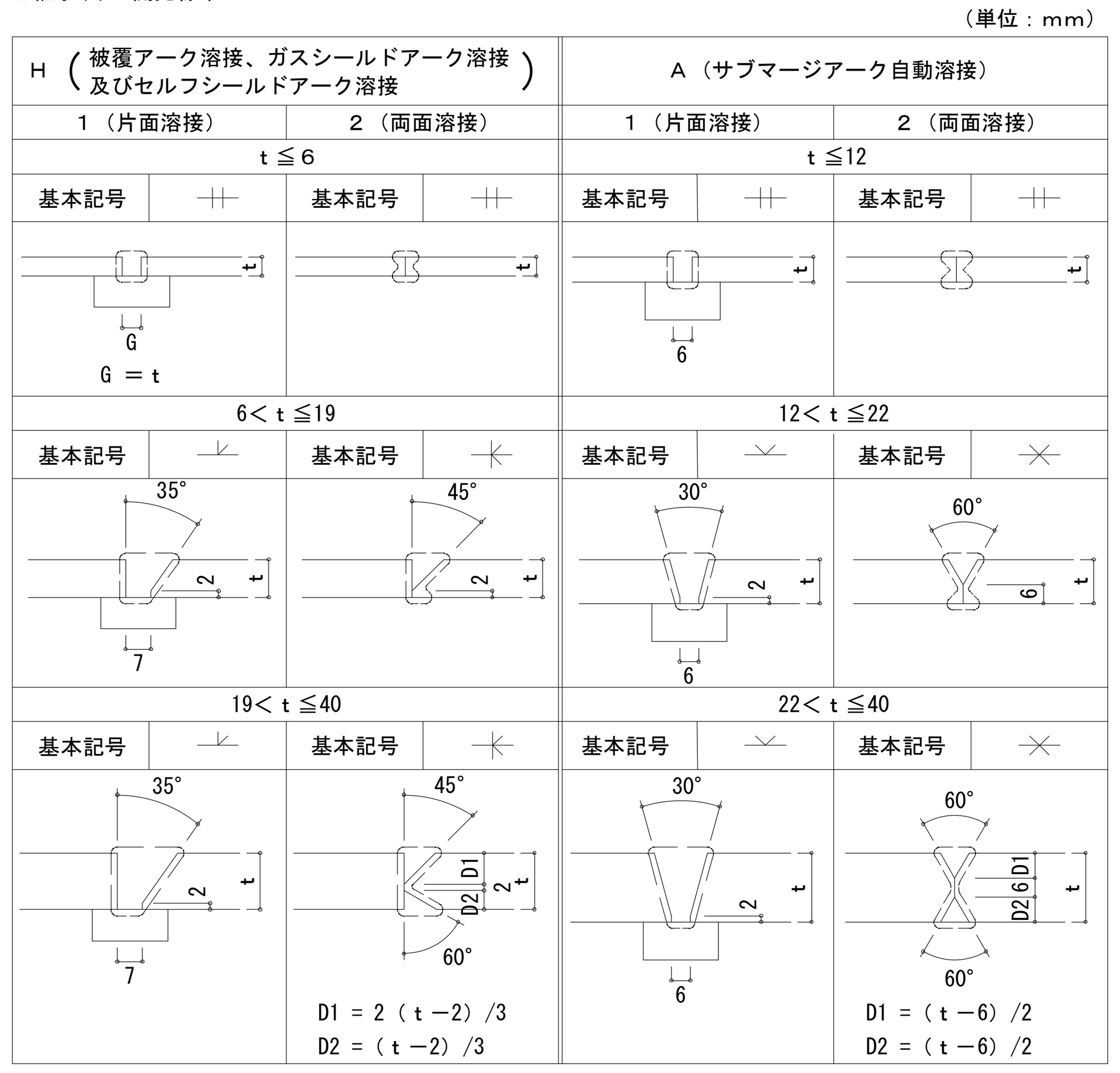
A又はB	g1	g2	最大軸径	B	g1	g2	最大軸径	B	g3	最大軸径
45	25		12	100	56		16	50	30	12
50	28		16	125	75		16	65	35	20
60	35		16	150	90		22	70	40	20
65	35		20	175	105		22	75	40	22
70	40		20	200	120		24	80	45	22
75	40		22	250	150		24	90	50	24
80	45		22	300	150	40※1	24	100	55	24
90	50		24	350	140	70	24			
100	55		24	400	140	90	24			
125	50	35	24							
130	50	40	24							
150	55	55	24							
175	60	70	24							
200	60	90	24							

※１　千鳥打ちとした場合

1-2 溶接継手の種類別開先標準

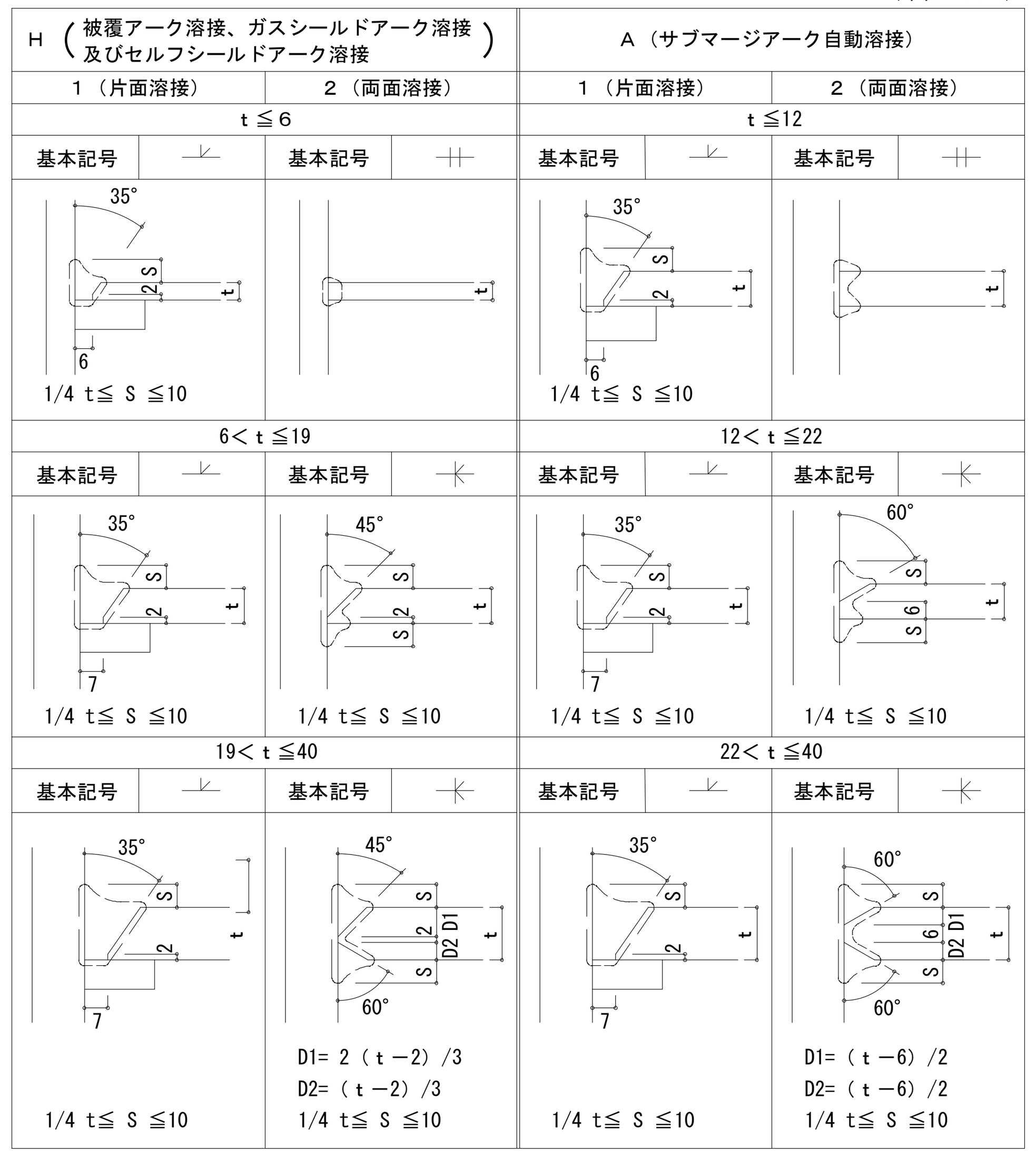
突合わせ継手(B)の開先標準

（単位：mm）



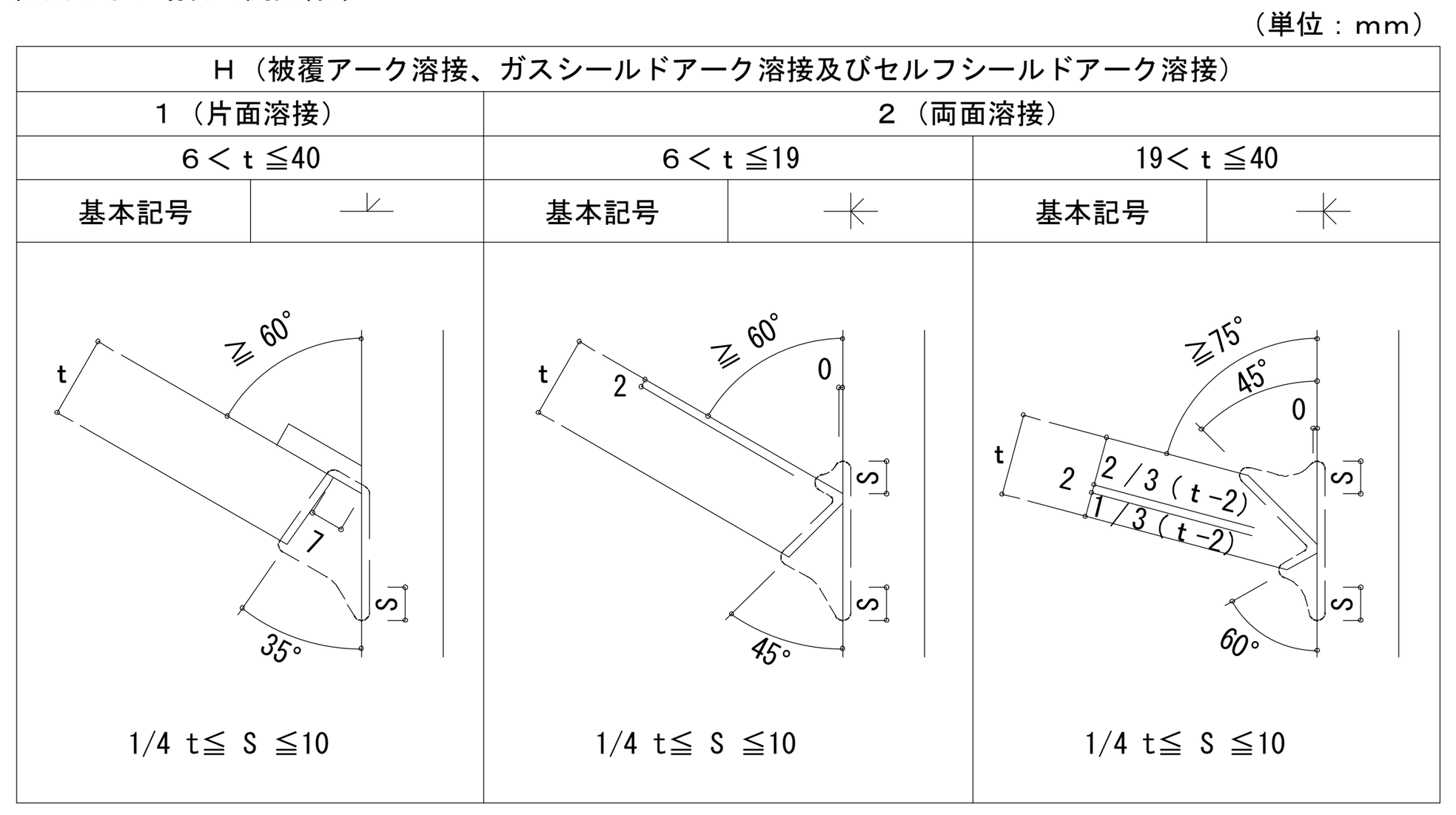
Ｔ型継手(T)の開先標準

（単位：mm）



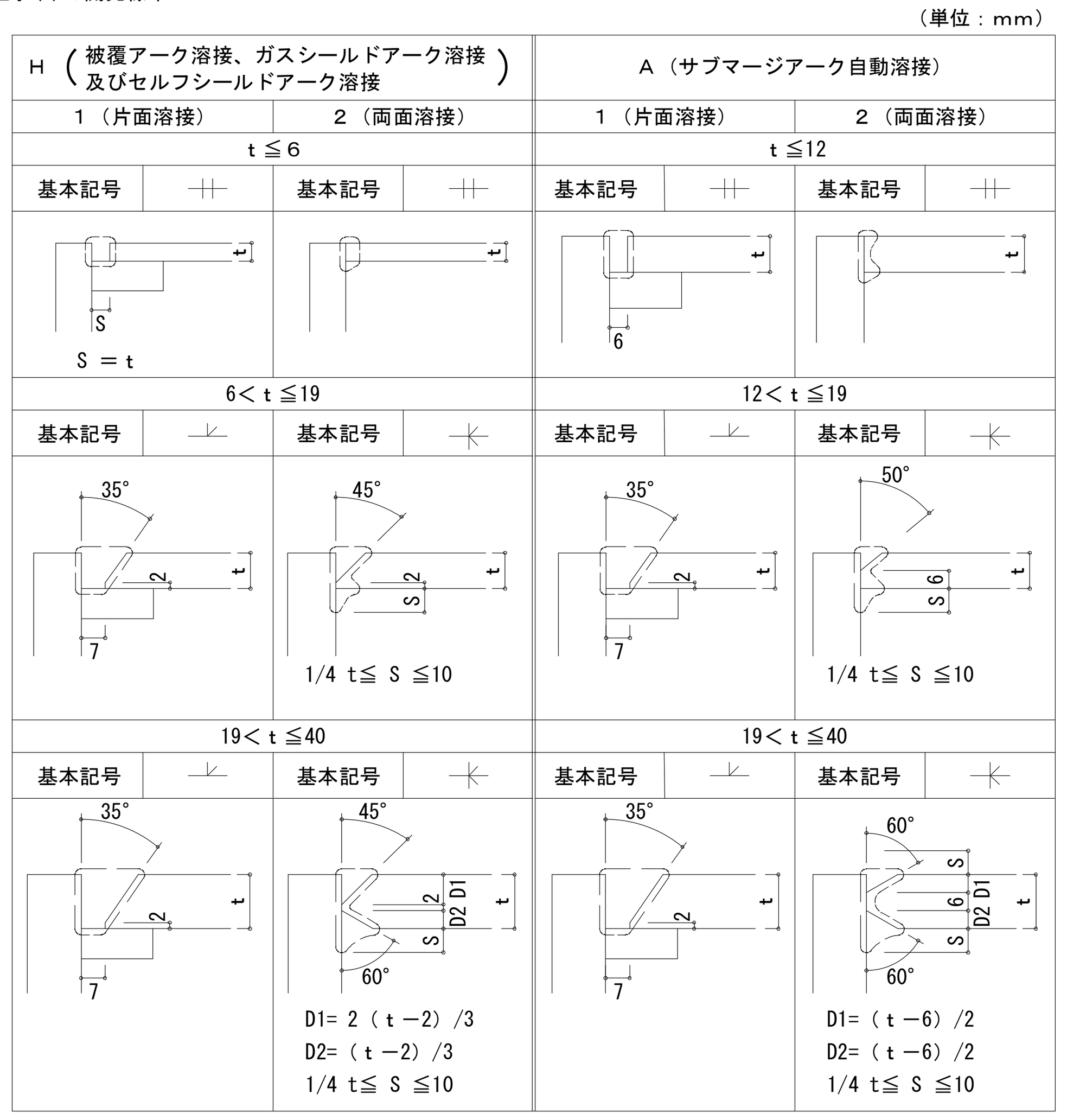
部材が直交しない場合の開先標準

（単位：mm）



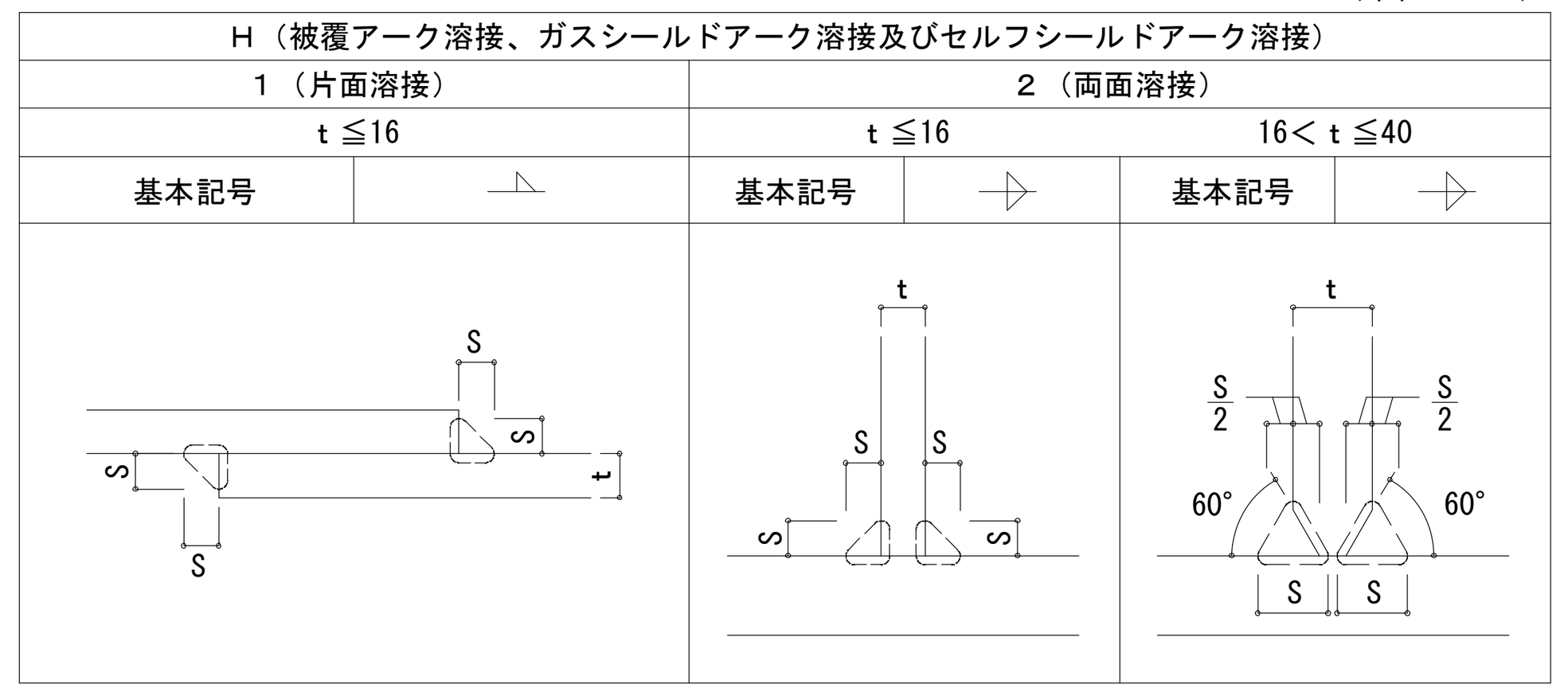
かど継手(L)の開先標準

（単位：mm）



隅肉溶接(F)の開先標準

（単位：mm）



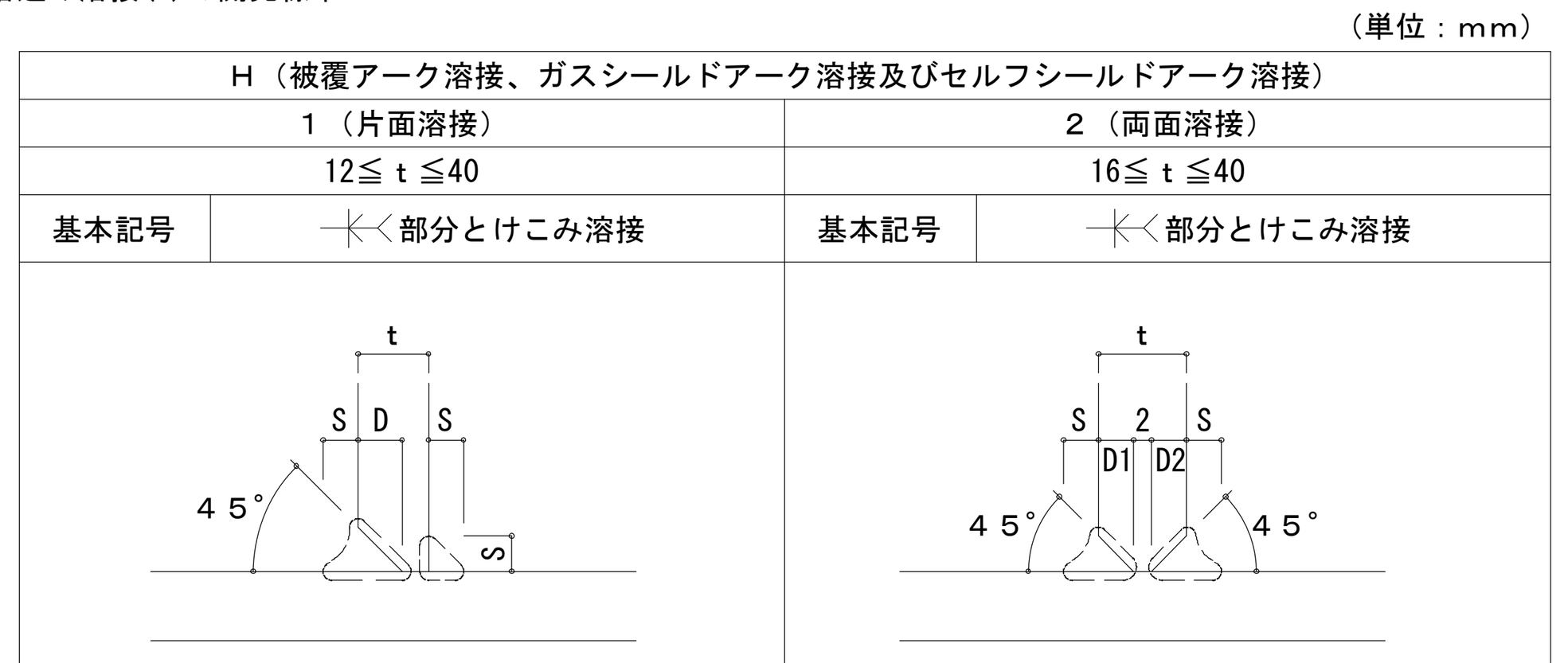
隅肉溶接のサイズ

（単位：mm）

t	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	19	22	25	28	32	36	40
s	3	4	5	5	6	7	8	8	9	10	10	11	12	11	13	15	17	19	21	24

部分溶込み溶接(P)の開先標準

（単位：mm）



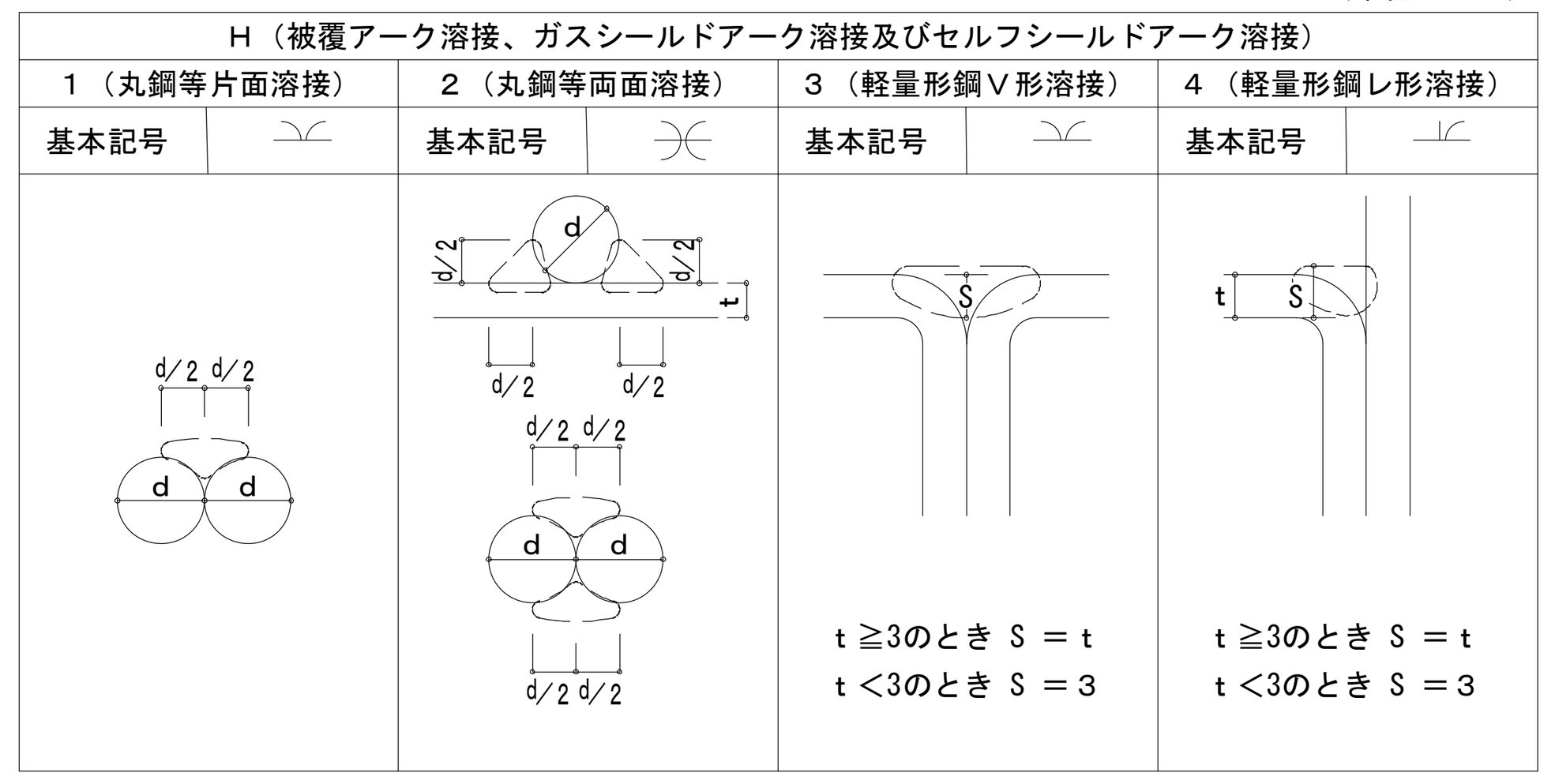
t	12	16	19	22	25	28	32	36	40
D	10	11	12	13	13	14	15	15	16

1/4 t≦ S ≦10

D1= （ t −2）/2
D2= （ t −2）/2
1/4 t≦ S ≦10

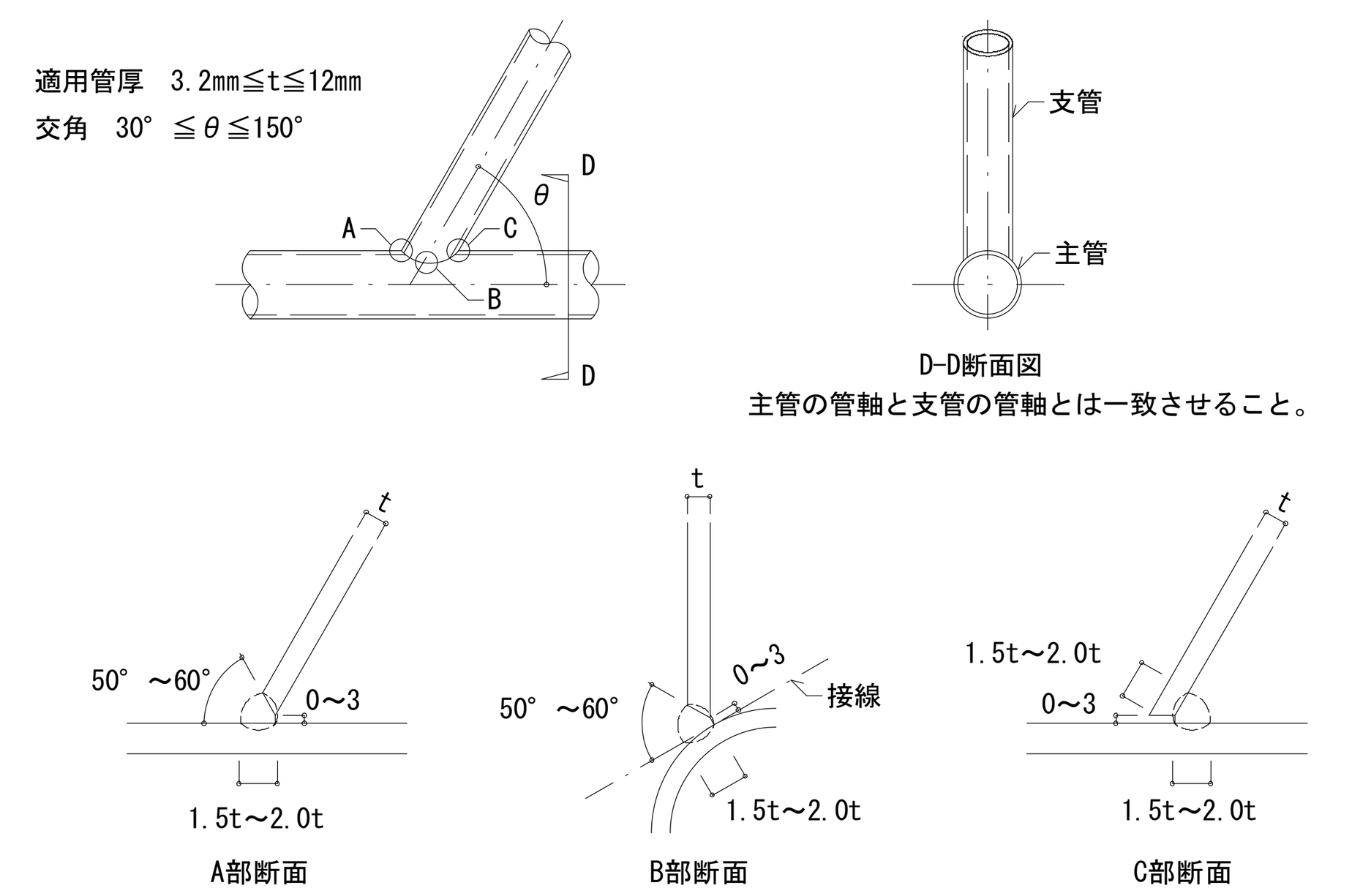
フレア溶接(FL)の開先標準

（単位：mm）



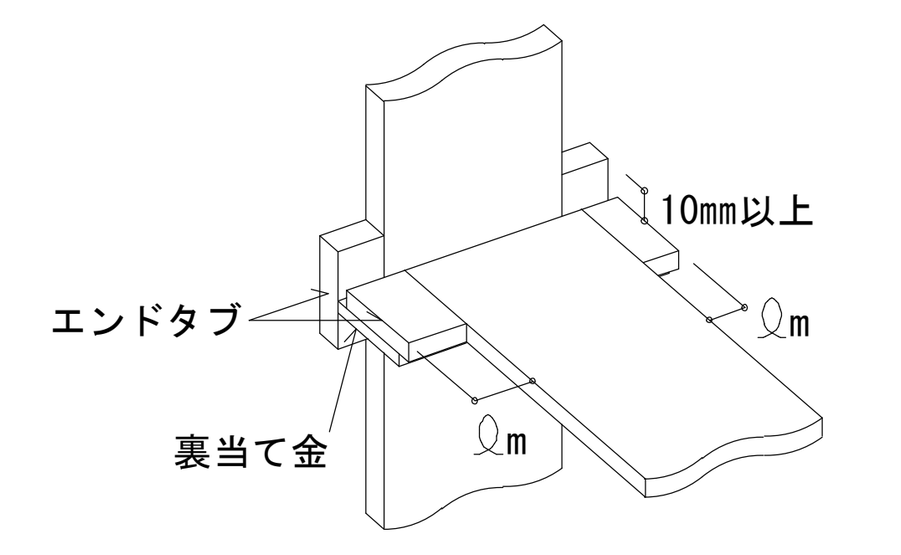
1-3 鋼管分岐継手詳細

自動機械により開先加工を行う場合はこの限りではない。　（単位：mm）



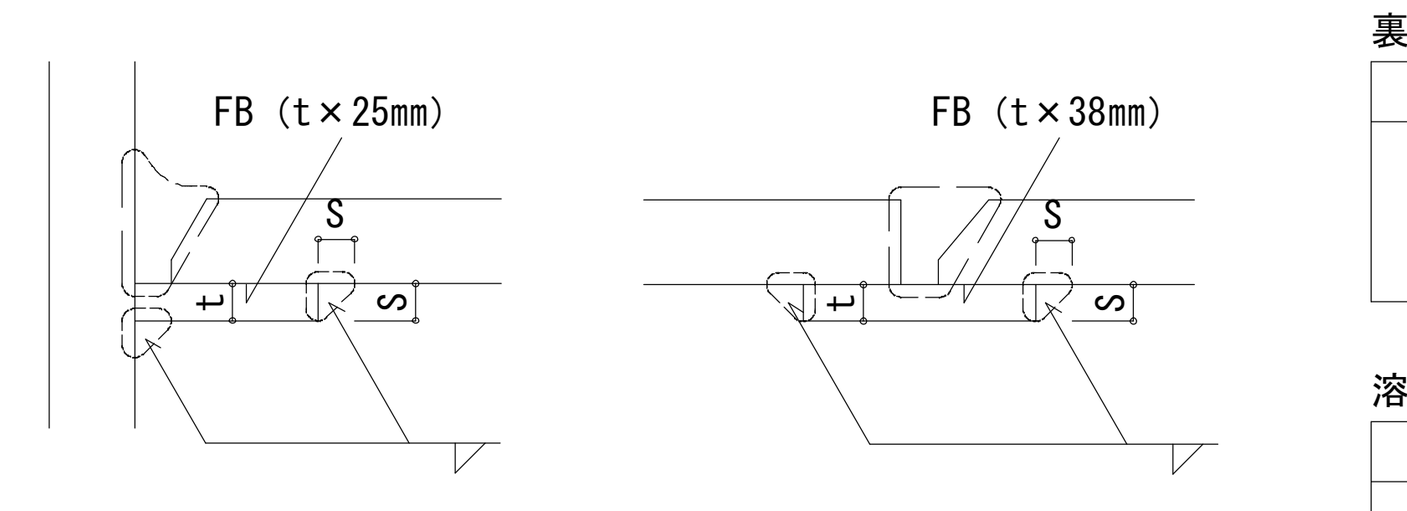
1-4 鉄骨溶接施工

（ａ）エンドタブ・裏当て金の鋼材の種別及び引張強さによる区分は、母材と同等とする。
（ｂ）エンドタブ
エンドタブの形状は母材と同厚・同開先のものとする。



溶接方法	ℓm
手溶接	35以上
半自動溶接	38以上
自動溶接	70以上

（ｃ）裏当て金
（１）裏当て金の組み立て溶接は、接合部に影響を与えないように、エンドタブの位置又は梁フランジ幅の1/4の位置に行い、梁フランジ両端から10mm以内の位置には行ってはならない。
（２）完全溶込み溶接の片面溶接に用いる裏当て金は原則としてフランジの内側に設置する。



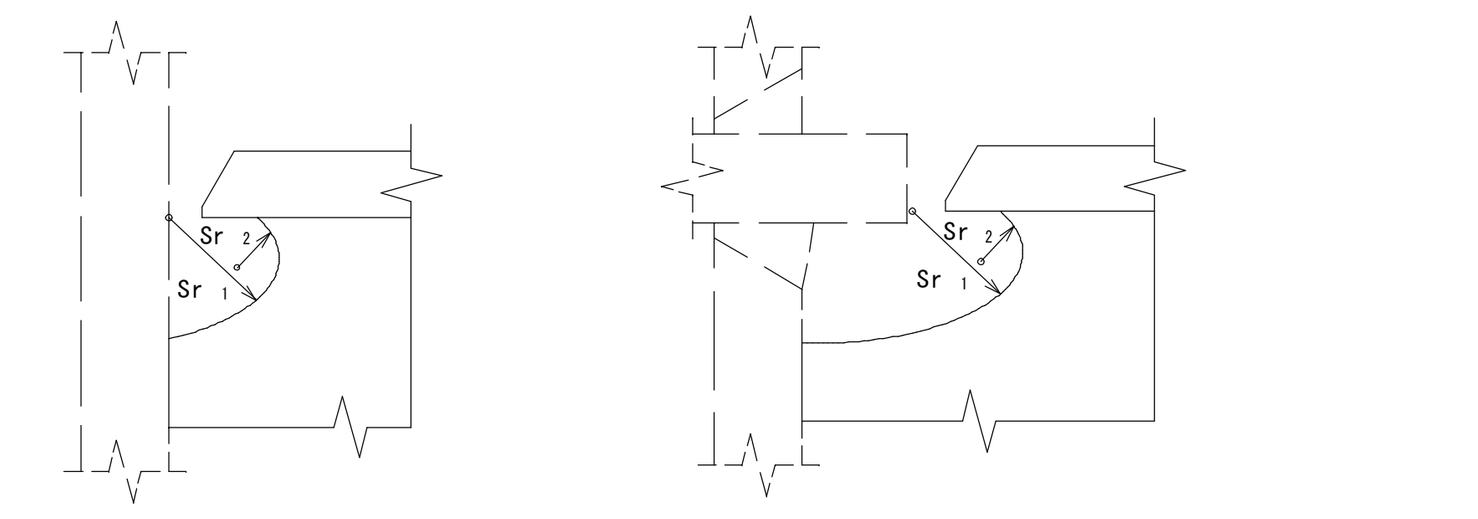
裏当て金の厚さ　（単位：mm）

溶接方法	t
手溶接	6以上
半自動溶接	9以上
自動溶接	12以上

溶接のサイズ　（単位：mm）

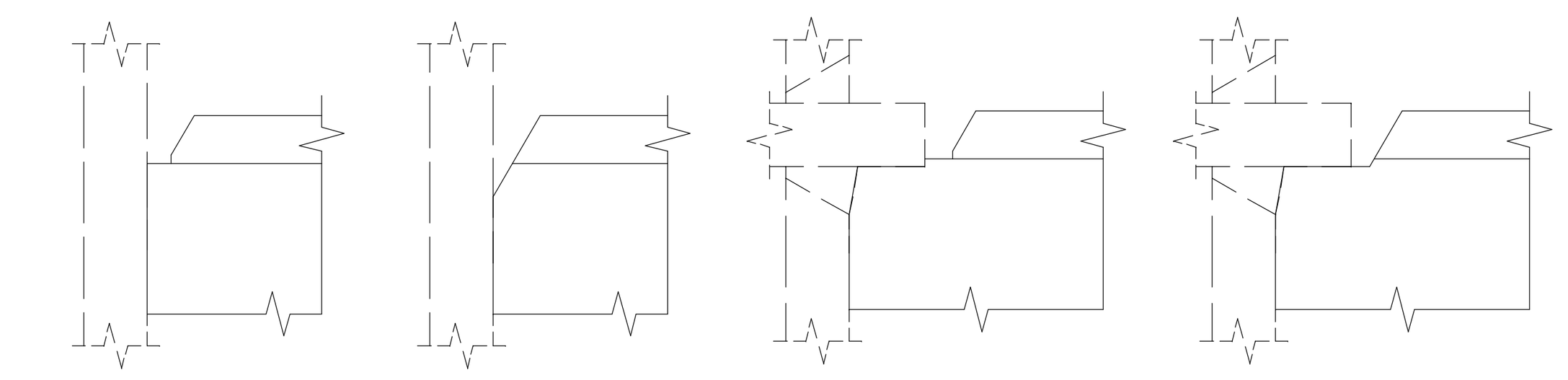
裏当て金の厚さ	S
t≦9	5
t>9	9

（ｄ）スカラップ
スカラップの要否および加工は、構造図による。構造図に特記が無い場合は、次による。
（１）スカラップを設ける場合
改良型スカラップ
（ｉ）スカラップ半径Sr_1は35mmとする。Sr_2は10mmとする。
（ii）スカラップ円弧の曲線は、フランジに滑らかに接するように加工し、複合円は滑らかに仕上げる。



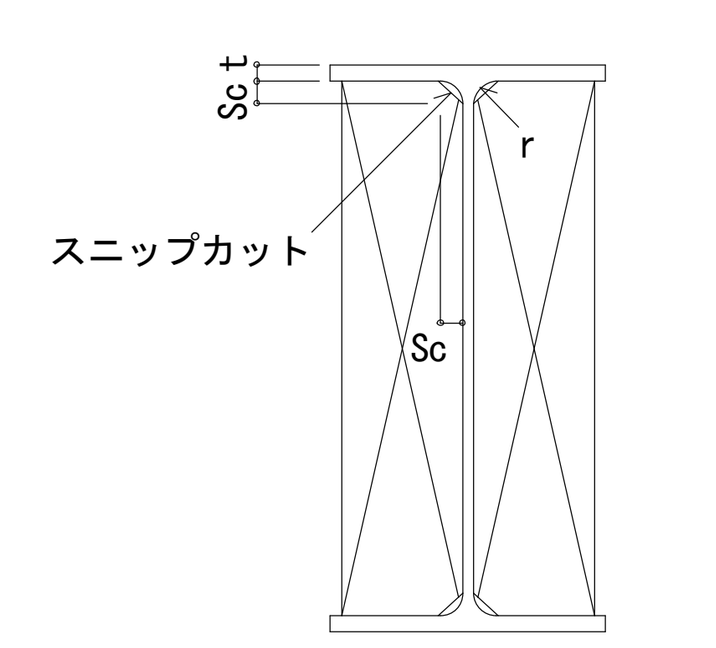
柱貫通形式の場合　　梁貫通形式の場合

（２）スカラップを設けない場合



柱貫通形式の場合　　梁貫通形式の場合

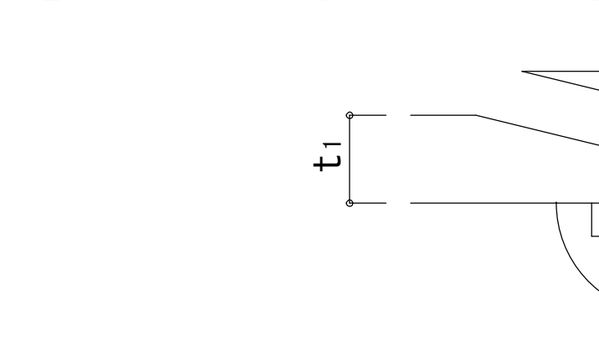
（ｅ）スニップカット
（１）スニップカット部は溶接により埋めるものとする。



（２）スニップカットの寸法は、下表による。ただし、既製形鋼のスニップカットについては、Sc=r＋2により求めるものとする。

t	6	9	12	16以上
Sc	10	12	14	15

（ｆ）溶接部分の段差
完全溶込み溶接を行う部分の板厚の差による段違いが10mmを超える場合



構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	構造関係共通図（７）	SCALE	－
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男	DRAWING No.	S－07

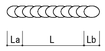
（g）鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件

鋼材の種類	規格	溶接材料	入熱 (KJ/cm)	パス間温度 (℃)
400N級鋼	JIS Z 3211	引張強さ570MPa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW11, 15	40以下	350以下
		YGW18, 19	30以下	450以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	40以下	350以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	30以下	450以下
	JIS Z 3214	引張強さ570MPa以上のものを除く		
	JIS Z 3315	G49A0U-CCJ G49A0U-NCC, NCCT 等	40以下	350以下
490N級鋼	JIS Z 3211	引張強さ570MPa以上のものを除く	40以下	350以下
	JIS Z 3312	YGW11, 15	30以下	250以下
		YGW18, 19	40以下	350以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30以下	250以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
	JIS Z 3214	引張強さ570MPa以上のものを除く		
	JIS Z 3315	G49A0U-CCJ G49A0U-NCC, NCCT 等	40以下	350以下
520N級鋼	JIS Z 3312	YGW18, 19	30以下	250以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		
400N級STKR、BCR及びBCP	JIS Z 3312	YGW11, 15	30以下	250以下
		YGW18, 19	40以下	350以下
	JIS Z 3313	T490Tx-yCA-U T490Tx-yMA-U	30以下	250以下
		T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U	40以下	350以下
490N級STKR、及びBCP	JIS Z 3312	YGW18, 19	30以下	250以下
	JIS Z 3313	T550Tx-yCA-U T550Tx-yMA-U		

1-5 フレア溶接を行う場合の溶接長さ

鉄筋又は軽量形鋼にフレア溶接を行う場合の溶接長さ（L）は、ビードの始点（La）及びクレーター（Lb）を除いた部分の長さとする。

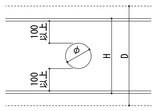
L：片面フレア溶接の場合　10d
　両面フレア溶接の場合　5d
La及びLbは1d（軽量形鋼については1S）以上
　d：異形鉄筋の呼び名に用いた数値
　S：溶接のサイズ



1-6 梁貫通孔補強

（a）鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の鉄骨梁ウェブ部材に貫通孔を設ける場合は、次による。
（1）貫通孔の内径寸法は、鉄骨せいの1/2以下かつ鉄筋コンクリート梁せいの1/3以下とする。
（2）貫通孔間隔は、両側の貫通孔径の平均値の、鉄骨造で2倍以上、鉄骨鉄筋コンクリート造で3倍以上確保する。

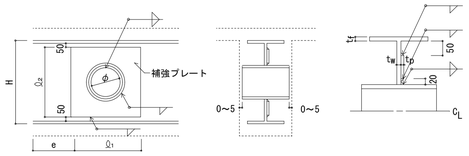
貫通孔の位置の限度（単位：mm）



H：鉄骨せい
D：はりせい
φ：貫通孔の内径寸法
（φ≦H/2かつφ≦D/3）

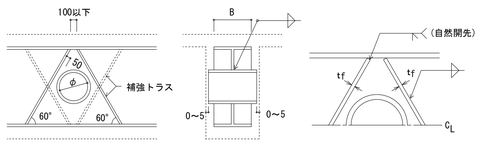
（b）貫通孔の補強方法は、構造図による。
（1）補強プレート法及び補強トラス法の溶接等は、以下による。

補強プレート法
（1）補強プレート厚が16mm以上となる場合は、必要な厚さの1/2以上の補強プレートをウェブ両面から溶接する。
（2）補強プレートは丸型としても良い。上下フランジとのあき50mmについては施工性を考慮して小さくすることもできる。

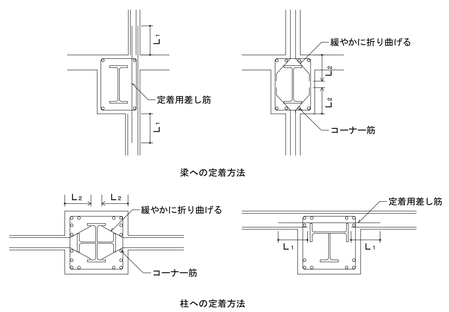


φ1は3φまたはφ2のうち小さい方とする。（e≧Hとする）
e：材端と補強プレートの間隔

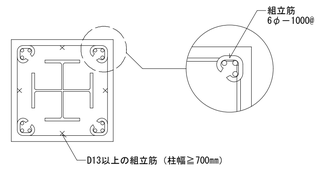
補強トラス法
（1）スリーブの取付けは、全周隅肉溶接とする。



1-7 壁筋の周辺部材への定着

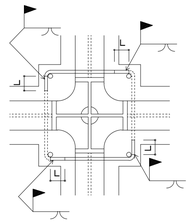


1-8 柱組立筋



1-9 仕口部内の帯筋の加工及び組立

片面溶接の溶接長さ（L）は、鉄筋の呼び名の数値の10倍以上とする。ただし、溶接によらない場合は135°曲げフックとする。



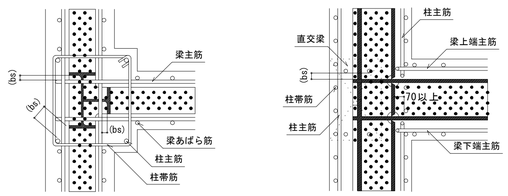
1-10 鉄筋貫通孔の径及び位置

鉄筋の貫通孔径の最大値は、下表による。

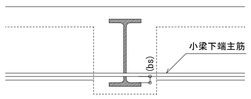
（単位：mm）

鉄筋の呼び名	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
鉄筋貫通孔の径	21	24	28	31	35	38	43	46

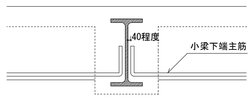
鉄骨フランジには、鉄筋貫通孔を設けないものとする。



小梁下端主筋が貫通する場合



小梁下端主筋が貫通しない場合（単位：mm）



(bs)：主筋と平行する鉄骨とのあき

1-11 広幅平鋼の取り扱いについて

（1）BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スプライスプレートは、PL表記であっても FB又はPLとする。
（2）BH材のフランジ及びフランジに使用する外側スプライスプレートの適用幅及び厚さは下表による。

幅＼厚さ	6	9	12	16	19	22	25	28	32	36	40
100	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
125	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
150	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
175	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
200	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
250	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
300		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
350		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
400		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
450					○	○	○	○	○	○	○
500					○	○	○	○	○	○	○

1-12 普通ボルト接合

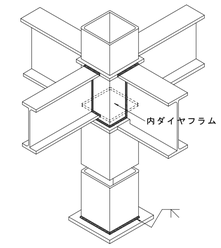
（1）もや、胴縁類の取付け用ボルトを普通ボルト接合とする場合は、二重ナットとする。
（2）フィラープレートの鋼材種別はＳＳ４００とする。

1-13 高力ボルト接合

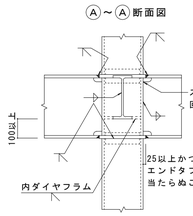
（1）スプライスプレートの鋼材種別はＳＮ－Ｂとし、引張強さによる区分は、母材と同等とする。
（2）フィラープレートの鋼材種別はＳＳ４００とする。

1-14 溶接記号

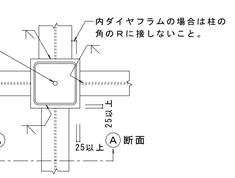
●ＢＯＸ型（通しダイヤフラムの場合）

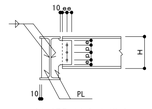


Ⓐ～Ⓐ断面図

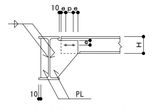


平面詳細





Hが 175 以上の場合



Hが 150 以下の場合

2 鉄骨工事（施工方法等計画書）

（1）鉄骨工事は指示のない限り下記による
◉　日本建築学会「JASS6 2015年版」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□　一社）日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
□　鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

（2）工事監理者の承認を必要とするもの
◉制作工場　◉製作要領書　◉工作図　◉施工計画書
◉大臣認定工場は Mグレード 以上とする。
◉材料規格証明書または試験成績書
◉鋼材　◉高力ボルト　□特殊ボルト　□頭付スタッド
◉社内検査表

（3）工事監理者が行う検査項目
（◉ 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること
◉現寸検査　◉組立・開先検査　◉製品検査
◉建方検査

（4）接合部の溶接は下記によること
□　平成12年建設省告示第1464号第二号　イ、ロ
□　鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱
◉　日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工場製作編」
◉　日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

（5）接合部の検査
◉　溶接部の試験は、公共建築協会「公共建築工事標準仕様書」により、
平均出検品質限界（ＡＯＱＬ）及び検査水準は、下記を標準とする。
ＡＯＱＬ　一般建築物・・・4.0 %□　検査水準　共通仕様書　第6◉
Ⅰ・Ⅱ類建築物・・・2.5 %◉　超高層庁舎　第1□
◉　高力ボルトの検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）
軸力導入試験　□ 要　◉ 否　高力ボルトすべり係数試験　□ 要　◉ 否
◉ 一次締め後にマーキングを行い、二次締後そのずれを見て、共回り等の異常が無いことを確認する。
◉ トルシア形高力ボルトは二次締め後、マーキングのずれとピンテールの破断を確認する。

（6）防錆塗装
◉　防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
錆止めペイントは、JIS K5674、２回塗りを標準とする。
◉　現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し２回塗りとする。

3 設備関係

◉　特記以外の梁貫通孔は原則として設けない。設ける場合は設計者の承認を得ること。
◉　設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
◉　床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を5cm以上とする。

4 その他

◉　諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
◉　各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い、工事監理者に報告すること。
◉　必要に応じて記録写真を撮り保管すること。
◉　「令第39条の規定（屋根ふき材等）」に関する取り付けにあっては、構造耐力上安全なものとすること。

5 令第129条の２の３　法適合確認

令第129条の２の３の事項

・建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

◉　建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとすること。
◉　屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
□　煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支柱を設けたものを除き、90cm以下とすること。
□　煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
◉　建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
◉ 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
◉ 建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
◉ 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓接手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
◉ 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
◉　法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。
◉　給湯設備＊は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が 15 kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する

＊「給湯設備」：建築物に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	構造関係共通図（８）	SCALE	－
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. S－08

ハイベースNEO工法設計施工標準　（ハイベースNEO工法は、S造及びＣＦＴ造に適用）

2023/12

【同等品】

大臣認定　MSTL-0566，0404，0180（Gタイプ用ベースプレート）
　　MBLT-0042～0046（アンカー用ボルトセット）
BCJ評定　BCJ評定-ST0058（Gタイプ）
　　BCJ評定-ST0059（エコタイプ、高強度柱適用タイプ）

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書 ＪＡＳＳ ６ 鉄骨工事、建築工事標準仕様書同解説 ＪＡＳＳ ５ 鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

設　　計

１．材質

（１）ベースプレート・アンカーボルト・ナット・座金・定着板

エコタイプ（ＥＢ型式、ＥＭ型式、ＥＨ型式），高強度柱適用タイプ（KB型式）

	ベースプレート エコタイプ	ベースプレート 高強度柱適用タイプ	アンカーボルト※2	エコナット※2	ナット※2	座　金※2	定着板
規　格	JIS G3136 又は TMCP鋼※4	TMCP鋼※4	HAB（大臣認定取得材）	大臣認定取得材	JIS B1181（六角ナット）	JIS G3106	JIS G3101（一般構造用圧延鋼材）
ねじの種類	—	—	メートル並目	メートル並目	メートル並目	—	—
備　考	板厚40mm以下の場合 SN490B 板厚40mm超の場合 TMCP325B，C	TMCP385B，C	降伏比 ７０%以下	–	強度区分5	SM490A	SS400

エコタイプ、高強度柱適用タイプのベースプレート上ナットはエコナットを使用する。

Ｇタイプ（ＧＢ型式、ＧＭ型式、ＧＨ型式）

	ベースプレート※1	アンカーボルト※2	ナット※2	座　金※2	定着板
規　格	HCW490B,b HCW490st（大臣認定取得材）	HAB（大臣認定取得材）	JIS B1181（六角ナット）	JIS G3106	JIS G3101（一般構造用圧延鋼材）
ねじの種類	—	メートル並目※3	メートル並目※3	—	—
備　考	SN490B同等	降伏比 ７０%以下	強度区分5（二重ナット時） 強度区分8（一重ナット時）	SM490A	SS400

※１　国土交通大臣認定（ＭＳＴＬ-0566、０４０４、０１８０）　※２　国土交通大臣認定（ＭＢＬＴ-００４２～００４６）
※３　Ｍ７２は細目ねじ　　※４　建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定を取得した材料を使用

（２）ベースプレート下面のモルタル

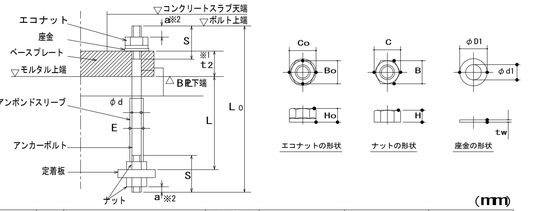
後詰めモルタル	ハイベース工法無収縮モルタルＮＸ－２０００、又はクイック３およびこれと同等以上の無収縮性モルタル※　※ メーカーが供給するものに限る
中心塗部分モルタル	○無収縮モルタルパッド用又は普通モルタル（ＮＸ-２０００及びクイック３は使用不可。） ○強度はこれに接するコンクリートの強度以上

（３）基礎・基礎ばり

コンクリート	○日本建築学会「ＪＡＳＳ ５ 鉄筋コンクリート工事」に適合する普通コンクリート ○設計基準強度は、Ｆｃ＝１８～３６Ｎ／ ㎟
鉄　筋	ＪＩＳ Ｇ ３１１２「鉄筋コンクリート用棒鋼」に定められる、熱間圧延異形棒鋼
柱　形	へりあき量は、ベースプレート外形寸法の０．１倍以上確保しなければならない。

２．アンカーボルトのセット寸法

エコタイプ、高強度柱適用タイプ用アンカーボルト部品



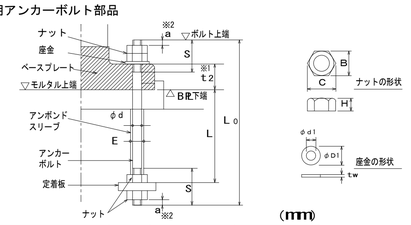
（mm）

ねじの呼び	アンカーボルト 軸径	ねじ ピッチ	ねじ 長さ	余長※2	定着長さ	全長	アンボンドスリーブ 外径	エコナット 高さ	エコナット 二面幅	エコナット 対角距離	ナット 高さ	ナット 二面幅	ナット 対角距離	座金 厚さ	座金 内径	座金 外径
	φd	P	S	a	L	LO	E	HO	BO	CO	H	B	C	tw	φd1	φD1
エコタイプ※3 M24	24	3	95 105	10	400 480	550 645	29	22	46	53	19	36	42	6	25	56
エコタイプ※3 M30	30	3.5	110 130	13	400 600	580 800	35	27	50	58	24	46	53	6	31	60
エコタイプ※3 M36	36	4	130	16	480 720	690 925	41	33	55	64	29	55	64	6	37	66
エコタイプ※3 M42	42	4.5	155	18	840	1080	48	38	65	75	34	65	75	9	43	78
高強度柱適用タイプ M42	42	4.5	165	18	840	1110	48	38	65	75	34	65	75	9	43	78

※１　t₂ はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースＮＥＯ型式によって変わります。
※２　ａ寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。
　　施工時は、ねじ山が最低３山ナットの外に出るように余長を確保してください。
※３　表中のエコタイプ上段はEB、EM型式のアンカーボルトｎ4本タイプ、
　　エコタイプ下段はEB、EM型式のアンカーボルトｎ8本、12本タイプ及びEHタイプの場合の寸法です。

⚠ 注意
・エコタイプ、高強度柱適用タイプのアンカーボルトはシングルナットとしておりますので、ゆるみ止め処置としてコンクリートスラブで被覆してください。
・コンクリートによる被覆を行わない場合は、二重ナット等のゆるみ止め処置が必要です。その場合、せん断耐力が変わる可能性がありますのでメーカーにご相談ください。
・アンカーボルト上部には必ずエコナットを使用してください。通常のナットでは所定の性能が発揮できません。

Ｇタイプ用アンカーボルト部品



（mm）

ねじの呼び	アンカーボルト 軸径	ねじ ピッチ	ねじ 長さ	余長※2	定着長さ	全長	アンボンドスリーブ 外径	ナット 高さ	ナット 二面幅	ナット 対角距離	座金 厚さ	座金 内径	座金 外径
	φd	P	S	a	L	LO	E	H	B	C	tw	φd1	φD1
M24	24	3	105	10	480	645	29	19	36	42	6	25	44
M30	30	3.5	130	13	600	800	35	24	46	53	6	31	56
M36	36	4	130 150	16	720	925 955	41	29	55	64	6	37	66
M42	42	4.5	155 165	18	840	1080 1115	48	34	65	75	9	43	78
M48	48	5	175 190	22	960	1235 1270	54	38	75	87	9	50	92
M56	56	5.5	185 210	24	1120	1420 1470	62	45	85	98	9	58	105
M64	64	6	200 230	28	1280	1610 1660	70	51	95	110	12	66	115
M72	72	6	250	30	1440	1850	79	58	105	121	12	74	125

※１
t_2 はベースプレート台座厚さを示し、ハイベースＮＥＯ型式によって変わります。

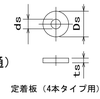
※２
ａ寸法は設置誤差を考慮した設計時の最小寸法です。
施工時は、ねじ山が最低３山ナットの外に出るように余長を確保してください。

※３
上段はGB型式及びGM型式の場合、下段はGH型式の場合の寸法です。

⚠ 注意
・Gタイプのアンカーボルトは二重ナットを標準としていますが、一重ナットでも適用可能です。
・一重ナットとする場合は、コンクリートに埋め込む等のゆるみ止め処置が必要です。（一重ナットとする場合は、メーカーにご相談ください。）

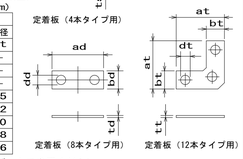
ベースプレートのアンカーボルト孔径　（mm）

ねじの呼び	M24	M30	M36	M42	M48	M56	M64	M72
エコタイプ 高強度柱適用タイプ	38	44	50	57	–	–	–	–
Gタイプ孔径	–	38	45	53	61	70	79	87



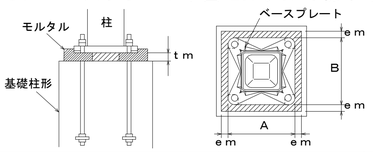
定着板（エコタイプ、高強度柱適用タイプ、Gタイプ共通）　（mm）

ねじの呼び	4本タイプ用 厚さ ts	外径 Ds	内径 ds	8本タイプ用 厚さ td	長さ ad	幅 bd	内径 dd	12本タイプ用 厚さ tt	長さ at	幅 bt	内径 dt
M24	16	70	27	–	–	–	–	–	–	–	–
M30	16	90	33	9	180	65	33	–	–	–	–
M36	19	100	39	9	215	75	39	–	–	–	–
M42	22	120	45	9	240	85	45	9	225	85	45
M48	25	140	52	9	270	95	52	9	260	95	52
M56	28	160	60	9	305	110	60	9	295	110	60
M64	32	180	68	12	330	130	68	12	340	130	68
M72	–	–	–	16	380	145	76	16	375	145	76



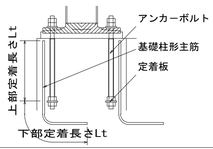
ベースプレートの形状・寸法は、ハイベースＮＥＯ工法設計ハンドブックを参照ください。

３．ベースプレート下面モルタルの標準寸法



各部名称	寸法	備考
中心塗り部分モルタルの厚さ（ｔm）	標準寸法　ｔm=50mm	許容範囲　３０≦ｔm≦７０mm
ベースプレート周辺のモルタル幅（ｅm）	ｅm≧３０mm	許容範囲 em≧２５mm

４．基礎柱形主筋の定着長さ（最小値）



基礎柱形主筋の定着長さ（Lt）は、定着板上面を境にして上下とも確保する必要があります。

工場加工

１．溶　接　材　料

被覆アーク溶接	JIS Z 3211（旧JIS Z 3212）に従い選定する（低水素系）
ガスシールドアーク溶接	JIS Z 3312 又は JIS Z 3313に従い選定する

※ベースプレートと柱のF値が異なる場合は、JASS6や各材質毎に定められた指針に従い溶接材料を選定する。

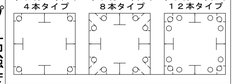
２．ベースプレートの鉄骨柱への取付け（柱端部に開先を設ける）

※　柱とベースプレートの溶接は完全溶込み溶接
　　開先はＭＣ－ＴＬ－１Ｂ、ＧＣ－ＴＬ－１Ｂによる　　※開先形状は参考

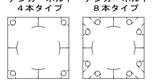
エコタイプ・高強度柱適用タイプ

ベースプレート形状

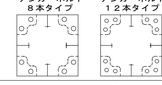
角形鋼管柱用（EB型式）



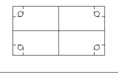
円形鋼管柱用（EM型式）



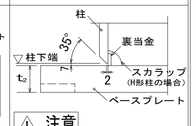
高強度角形鋼管柱用（KB型式）



H形柱用（EH型式）



開先形状

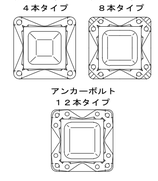


⚠ 注意
柱はベースプレートのフラット面に取り付けてください。
アンカーボルト孔周辺に凹加工している面はベースプレート裏面であり、無収縮モルタルと接する面となります。

Gタイプ

ベースプレート形状

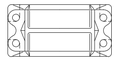
角形鋼管柱用（GB型式）



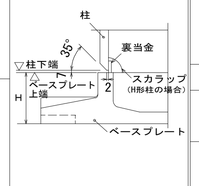
円形鋼管柱用（GM型式）



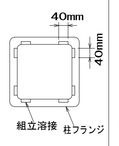
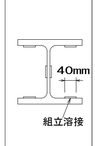
H形柱用（GH型式）



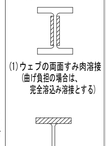
開先形状



３．組立溶接

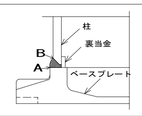
角形鋼管	円形鋼管	H形
		
40mm 40mm 組立溶接 柱フランジ	40mm 組立溶接	40mm 組立溶接

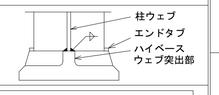
４．本溶接の手順

角形鋼管	円形鋼管	H形
		
2 4 3 1 対辺ごとに溶接を行う。 （自動ロボット溶接の場合はこれによらない）	1パスごとに全周溶接を行う。	(1) ウェブの両面すみ肉溶接（曲げ負担の場合は、完全溶込み溶接とする） (2) 開先部の溶接

５．溶接施工一般

予　熱	鋼材の種類、板厚により必要に応じて適切な予熱を行う。
余　盛	溶接余盛はベースプレート側A点から柱側B点へ向かってなめらかになるように施工する。 余盛高さは、柱接合突出部形状に対応し突き合わせ継手またはＴ継手余盛り高さに準拠する（Ｇタイプ）。
H形柱の溶接	エンドタブの取付とＨ形柱ウェブのすみ肉溶接





⚠注意　柱の溶接時にベースプレートとの組合せによってはベースプレートが溶接熱歪によって曲がることがあります。

６．検　　査

方　法	溶接部の検査を行う場合は、超音波探傷検査による。 探傷は柱フランジ側から行う。
不良溶接部の補正	（１）　有害な欠陥のある溶接部は削除して再溶接する。 （２）　溶接部に割れの入った場合には、割れの入った両端から５０mm以上、はつり取り再溶接する。

現　場　施　工

（#）：メーカーの担当範囲

１．捨てコンクリート打設

柱脚部の捨てコンクリートの厚さは９０mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

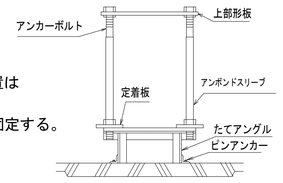
２．墨出し

３．アンカーボルト搬入（#）

４．アンカーボルト据付（#）

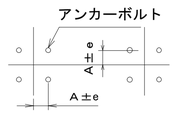
アンカーボルト設置

アンカーボルトの設置は自立できる形式とし、捨てコンクリートに固定する。



アンカーボルト設置例
（架台の形状は異なる場合あり）

アンカーボルト設置精度の目標値

平面	レベル
	基準高さよりの誤差eh －３mm≦eh≦10mm

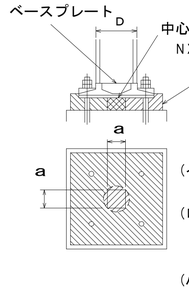
e ≦３mm
（形板芯にて検査）

５．鉄筋配筋・型枠の立込み

６．基礎コンクリート打設

基礎柱形上面の目荒らし・水洗いを行ってください。

７．中心塗り部分モルタル施工



（イ）□ ２５０以下、φ２６７．４以下、Ｈ２５０以下の場合
　　１００mm ≦ ａ ≦２００mm　かつ柱寸法 Ｄ以下

（ロ）□ ３００以上□７００以下、φ３００以上φ７１１．２以下、および Ｈ２５０以上の場合
　　１５０mm ≦ ａ ≦３００mm　かつ柱寸法 Ｄ以下

（ハ）□ ７５０～□１２００、φ７５０～φ１０１６の場合
　　３００mm ≦ ａ ≦５００mm

中心塗部分モルタル及び後詰めモルタルの養生
基礎、基礎ばりコンクリートの強度以上となるよう養生期間を確保すること。

EB，GB，EM，GM，EH，KB型式	GH型式
８．鉄骨建方 アンカーボルト締付 アンカーボルトは隙間がないよう確実に締め付けを行う。	８．鉄骨建方
	９．モルタル注入枠設置（#） 後詰めモルタル充填（#）
９～１０．モルタル注入枠設置（#） 後詰めモルタル充填（#） アンカーボルト締付確認（#） ベースプレートと座金とナットが密着していることを確認。	１０．アンカーボルト締付（#） 予備締め マーキング ナット回転法による本締め （30° 回転、許容差 $^{+10°}_{-0}$）

１１．モルタル注入枠取り外し

施工完了後、ハイベースＮＥＯ工法のチェックシートに工事記録を記載する。

⚠ 注意
1．アンカーボルトの設置、無収縮モルタルの充填、これらの施工は、メーカーが定めた認定業者が行うこと。（日本建築センターの評定で義務付けられています。）
2．アンカーボルト及びナットは加熱、溶接、加工は絶対に行わないでください。
3．設置後のアンカーボルトのねじ部は打ちきずやコンクリートが付着しないようにねじ部の保護養生をしてください。
4．建て入れ直し用のワイヤをアンカーボルトにとらないでください。
5．本資料以外の施工方法で行った場合、ハイベースNEOの性能が発揮できなくなります。

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	認定露出柱脚工法設計施工標準（１）	SCALE　–
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03

アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男

DRAWING No.　S-09

ハイベースNEO工法　各種寸法及び基礎柱形設計例（Fc24の場合）
〈角形鋼管柱用 □150～□550〉

【同等品】

（ハイベースNEO工法Gタイプは、S造及びCFT造に適用）
（ハイベースNEO工法エコタイプは、S造及びCFT造に適用）

大臣認定　MSTL-0404, 0180（Gタイプ用ベースプレート）
　　MBLT-0042～0046（アンカーボルト）

BCJ評定　BCJ評定-ST0058（Gタイプ）
　　BCJ評定-ST0059（エコタイプ）

本工法の設計・施工は、鋼構造設計規準、鉄骨工事技術指針、建築工事標準仕様書ＪＡＳＳ６鉄骨工事、建築工事標準仕様書同解説ＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事、およびハイベースNEO工法設計ハンドブックに準拠する。

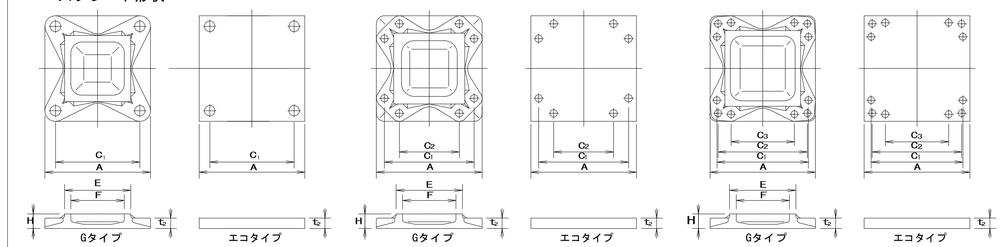
2022/10

型式表示例

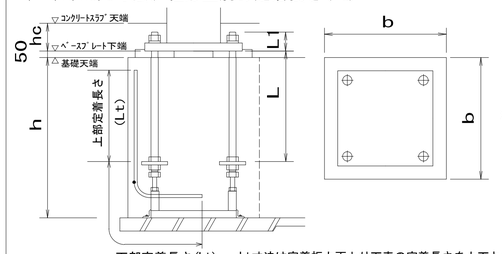
エコタイプ：EB350－8－36
Gタイプ　：GB500－8－42

- 36：アンカーボルト径
- 8：アンカーボルト本数
- 350：柱外形寸法
- EB：角形鋼管柱用

ベースプレート形状



L, L1, h, hc, b寸法、柱形主筋の定着長さ（Lt）



エコタイプはシングルナット仕様（コンクリートスラブに埋込）
Gタイプはダブルナット仕様（露出が標準）
注）表中のh寸法は杭がない場合です。
　杭がある場合は表中のh寸法に+100mm以上確保して下さい。
　Gタイプでコンクリートスラブに埋め込む場合、スラブ厚（hc寸法）は"L1寸法+最低40mm以上のかぶり"となる寸法を確保してください。

下部定着長さ(Lt)　Lt寸法は定着板上面より下表の定着長さを上下とも確保してください。

・ハイベースNEO工法
（角形鋼管柱用□150～□550）

採用		適用柱		ハイベースNEO型式			アンカーボルト	回転バネ定数 X10³ kN・m/rad	寸法 (mm)							質量 (kg)			L (mm)	L1 (mm)	基礎天端～当て筋天端	ベースプレート下端～コンクリート天端	基礎柱形の設計例(Fc24) ＜ 側・隅柱用 ＞						鉄筋の定着長さ	基礎柱形の設計例(Fc24) ＜ 中柱用（4方向から基礎梁が取り付く場合のみを示す。）＞						鉄筋の定着長さ
																							Ⅰゾーン			Ⅱゾーン				Ⅰゾーン			Ⅱゾーン			
柱符号	数量	柱サイズ	板厚範囲	エコタイプ		Gタイプ			A	C1	C2	C3	E	F	H	t2	ベースプレート	部品	セット質量			h (mm)	hc (mm)	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	Lt (mm)	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	柱形 b (mm)	主筋量	帯筋	Lt (mm)
		□150	4.5～12	EB150−4−24			4−M24	14.0	290	210	−	−	−	−	−	25	17	14	31	400	80	550以上	120	500	8−D16	D13@150	500	16−D16	D13@150	200	500	8−D16	D13@150	500	16−D16	D13@150	200
		□175	4.5～12	EB175−4−24			4−M24	17.9	310	230	−	−	−	−	−	25	19	14	33	400	80	600以上	120	520	8−D16	D13@150	520	16−D16	D13@150	190	520	8−D16	D13@150	520	16−D16	D13@150	190
KC1	6			−24			4−M24	21.9	340	260						25	23	14	37	400	80	600以上	120	550	8−D16	D13@150	550	16−D16	D13@150	190	550	8−D16	D13@150	550	16−D16	D13@150	190
		□200	6～12	EB200−4	−30		4−M30	35.4	360	270	−	−	−	−	−	32	33	23	56	400	102	600以上	150	570	8−D19	D13@150	570	16−D19	D13@150	290	570	8−D19	D13@150	570	16−D19	D13@150	290
					−36		4−M36	41.4	360	270						40	41	36	77	480	117	700以上	160	580	12−D19	D13@150	580	20−D19	D13@100	330	580	12−D19	D13@150	580	20−D19	D13@100	330
				−24			4−M24	32.2	390	310						25	30	15	45	400	80	600以上	120	600	8−D19	D13@150	600	12−D19	D13@150	190	600	8−D19	D13@150	600	12−D19	D13@150	190
		□250	6～16	EB250−4	−30		4−M30	51.3	410	320	−	−	−	−	−	32	43	23	66	400	102	600以上	150	610	8−D19	D13@150	610	16−D19	D13@150	280	610	8−D19	D13@150	610	16−D19	D13@150	280
					−36		4−M36	59.7	410	320						40	53	36	89	480	117	700以上	160	610	12−D19	D13@150	610	20−D19	D13@100	330	610	12−D19	D13@150	610	20−D19	D13@100	330
				EB250−8−30			8−M30	51.1	450	360	190					40	64	51	115	600	110	800以上	150	640	12−D22	D13@150	640	20−D22	D13@100	430	640	12−D22	D13@150	640	20−D22	D13@100	430
C2	1			EB300−4	−30		4−M30	70.1	460	370	−					32	54	24	78	400	102	600以上	150	660	8−D19	D13@150	660	16−D19	D13@150	270	660	8−D19	D13@150	660	16−D19	D13@150	270
					−36		4−M36	82.9	460	370						40	67	37	104	480	117	700以上	160	660	12−D19	D13@100	660	20−D19	D13@100	330	660	12−D19	D13@100	660	20−D19	D13@100	330
		□300	6～22	EB300−8	−30		8−M30	69.4	500	410	240	−	−	−	−	36	71	51	122	600	106	800以上	150	700	16−D22	D13@150	700	20−D22	D13@100	410	700	16−D22	D13@150	700	20−D22	D13@100	410
					−36		8−M36	84.0	510	420	220					44	90	82	172	720	121	900以上	170	720	16−D25	D13@150	720	24−D25	D13@100	570	720	16−D25	D13@150	720	24−D25	D13@100	570
				EB350−4−30			4−M30	93.1	510	420	−					32	66	24	90	400	102	600以上	150	710	8−D19	D13@100	710	16−D19	D13@100	240	710	8−D19	D13@100	710	16−D19	D13@100	240
			9～22	EB350−8	−30		8−M30	89.5	550	460	290	−	−	−	−	36	86	52	138	600	106	800以上	150	750	16−D22	D13@150	750	20−D22	D13@150	460	750	16−D22	D13@150	750	20−D22	D13@150	460
					−36		8−M36	105	560	470	270					40	99	83	182	720	117	900以上	160	770	16−D25	D13@150	770	24−D25	D13@100	540	770	16−D25	D13@150	770	24−D25	D13@100	540
					−42		8−M42	133	590	480	260					48	132	131	263	840	138	1100以上	180	790	20−D25	D13@150	790	32−D25	D13@100	710	790	20−D25	D13@150	790	32−D25	D13@100	710
		□350				GB350−4 −42	4−M42	128	550	440	−				75	50	107	72	179	840	145	1100以上	−	750	12−D25	D13@150	750	16−D25	D13@150	480	750	12−D25	D13@150	750	16−D25	D13@150	480
						−48	4−M48	156	590	460					90	61	142	113	255	960	168	1200以上	−	790	12−D25	D13@150	790	20−D25	D13@150	580	790	12−D25	D13@150	790	20−D25	D13@150	580
			9～25			GB350−8 −30	8−M30	150	540	450	280	−	356	280	55	28	77	52	129	600	95	800以上	−	740	16−D22	D13@150	740	20−D22	D13@150	470	740	16−D22	D13@150	740	20−D22	D13@150	470
						−36	8−M36	188	560	470	270				65	36	95	83	178	720	116	900以上	−	770	16−D25	D13@150	770	24−D25	D13@100	560	770	16−D25	D13@150	770	24−D25	D13@100	560
						−42	8−M42	216	590	480	260				70	45	118	131	249	840	140	1100以上	−	790	20−D25	D13@100	800	32−D25	D16@100	610	790	20−D25	D13@100	800	32−D25	D16@100	610
		□400		EB400−8	−30		8−M30	111	600	510	340					36	102	52	154	600	106	800以上	150	800	16−D22	D13@150	800	20−D22	D13@150	450	800	12−D22	D13@150	800	20−D22	D13@150	450
			9～25		−36		8−M36	127	610	520	320	−	−	−	−	40	117	83	200	720	117	900以上	160	820	16−D25	D13@100	820	24−D25	D13@100	530	820	12−D25	D13@100	820	24−D25	D13@100	530
					−42		8−M42	175	640	530	310					48	155	131	286	840	138	1100以上	180	840	20−D25	D13@100	840	32−D25	D13@100	680	840	20−D25	D13@100	840	32−D25	D13@100	680
						GB400−4 −42	4−M42	163	600	490	−				75	49	129	73	202	840	144	1100以上	−	810	12−D25	D13@100	810	16−D25	D13@100	400	810	12−D25	D13@100	810	16−D25	D13@100	400
						−48	4−M48	194	640	510					85	59	165	114	279	960	166	1200以上	−	840	12−D25	D13@100	840	20−D25	D13@100	500	840	12−D25	D13@100	840	20−D25	D13@100	500
			9～32			GB400−8 −36	8−M36	234	610	520	320	−	408	320	60	34	110	83	193	720	114	900以上	−	820	16−D25	D13@100	820	24−D25	D13@100	540	820	16−D25	D13@100	820	24−D25	D13@100	540
						−42	8−M42	282	640	530	310				70	42	136	131	267	840	137	1100以上	−	840	20−D25	D13@100	850	32−D25	D16@100	600	840	20−D25	D13@100	850	32−D25	D16@100	600
						−48	8−M48	321	680	550	300				80	52	176	211	387	960	159	1300以上	−	880	20−D29	D13@100	890	28−D29	D16@100	790	880	20−D29	D13@100	890	28−D29	D16@100	790
C1	18		9～25	EB450−8	−36		8−M36	169	660	570	370	−	−	−	−	44	150	84	234	720	121	900以上	170	870	16−D25	D13@100	870	24−D25	D13@100	520	870	16−D25	D13@100	870	24−D25	D13@100	520
					−42		8−M42	199	690	580	360					48	180	132	312	840	138	1100以上	180	890	24−D25	D13@100	890	32−D25	D13@100	670	890	20−D25	D13@100	890	32−D25	D13@100	670
		□450				GB450−4 −42	4−M42	199	650	540	−				75	48	153	73	226	840	143	1100以上	−	860	12−D25	D13@100	860	16−D25	D13@100	390	860	12−D25	D13@100	860	16−D25	D13@100	390
						−48	4−M48	236	690	560					85	58	192	116	308	960	165	1200以上	−	890	12−D25	D13@100	890	20−D25	D13@100	480	890	12−D25	D13@100	890	20−D25	D13@100	480
			9～36			GB450−8 −36	8−M36	296	660	570	370	−	458	360	60	32	130	84	214	720	112	900以上	−	870	16−D25	D13@100	870	24−D25	D13@100	520	870	16−D25	D13@100	870	24−D25	D13@100	520
						−42	8−M42	348	690	580	360				65	40	158	132	290	840	135	1100以上	−	890	24−D25	D13@100	890	32−D25	D13@100	680	890	20−D25	D13@100	890	32−D25	D13@100	680
						−48	8−M48	413	730	600	350				75	49	196	213	409	960	156	1300以上	−	930	20−D29	D13@100	940	28−D29	D16@100	770	930	20−D29	D13@100	940	28−D29	D16@100	770
		□500	9～28	EB500−8	−36		8−M36	210	710	620	420	−	−	−	−	44	173	89	262	720	121	900以上	170	950	16−D25	D13@100	950	24−D25	D13@100	510	950	12−D25	D13@100	950	24−D25	D13@100	510
					−42		8−M42	238	740	630	410					48	207	133	340	840	138	1100以上	180	950	24−D25	D13@100	950	32−D25	D13@100	660	950	20−D25	D13@100	950	32−D25	D13@100	660
				EB500−12−42			12−M42	396	740	630	600	350				60	258	197	455	840	150	1100以上	190	950	28−D25	4−D16@100	1050	44−D25	4−D16@100	600	950	20−D25	4−D16@100	1050	44−D25	4−D16@100	600
						GB500−4 −42	4−M42	244	700	590	−				80	47	183	74	257	840	142	1100以上	−	910	12−D25	D13@100	910	16−D25	D13@100	390	910	12−D25	D13@100	910	16−D25	D13@100	390
						−48	4−M48	290	740	610					90	57	226	127	353	960	164	1200以上	−	950	12−D25	D13@100	950	20−D25	D13@100	470	950	12−D25	D13@100	950	20−D25	D13@100	470
			9～40			GB500−8 −36	8−M36	354	710	620	420	−	508	400	65	30	154	89	243	720	110	900以上	−	950	16−D25	D13@100	950	24−D25	D13@100	510	950	16−D25	D13@100	950	24−D25	D13@100	510
						−42	8−M42	421	740	630	410				70	37	181	133	314	840	132	1100以上	−	950	20−D25	D13@100	950	32−D25	D13@100	660	950	20−D25	D13@100	950	32−D25	D13@100	660
						−48	8−M48	489	780	650	400				80	46	225	215	440	960	153	1300以上	−	1000	20−D29	D13@100	1000	28−D29	D16@100	740	1000	20−D29	D13@100	1000	28−D29	D16@100	740
						−64	8−M64	659	850	690	390				105	68	346	464	810	1280	210	1600以上	−	1100	32−D29	D16@100	1150	48−D29	D16@75	1100	1100	28−D29	D16@100	1150	48−D29	D16@75	1100
						GB500−12 −48	12−M48	695	780	650	610	320			90	57	265	304	569	960	164	1300以上	−	1000	24−D29	4−D16@100	1100	40−D29	4−D16@100	760	1000	16−D29	4−D16@100	1100	40−D29	4−D16@100	760
						−56	12−M56	771	810	670	630	300			105	72	342	455	797	1120	195	1450以上	−	1050	32−D29	4−D16@100	1500	56−D29	4−D16@100	980	1050	24−D29	4−D16@100	1500	56−D29	4−D16@100	980
		□550	9～28	EB550−8−42			8−M42	317	800	690	470	−	−	−	−	48	242	133	375	840	138	1100以上	180	1000	24−D25	D13@100	1000	32−D25	D13@100	650	1000	20−D25	D13@100	1000	32−D25	D13@100	650
				EB550−12−42			12−M42	475	790	680	650	400				60	294	198	492	840	150	1100以上	190	1000	28−D25	4−D16@100	1050	44−D25	4−D16@100	600	1000	20−D25	4−D16@100	1050	44−D25	4−D16@100	600
						GB550−4 −48	4−M48	339	790	660	−				90	56	257	129	386	960	163	1200以上	−	1000	12−D25	D16@150	1000	20−D25	D16@150	460	1000	12−D25	D16@150	1000	20−D25	D16@150	460
						−56	4−M56	408	820	680					100	69	308	187	495	1120	192	1350以上	−	1050	16−D25	D16@150	1050	28−D25	D16@150	580	1050	16−D25	D16@150	1050	28−D25	D16@150	580
			9～40			GB550−8 −36	8−M36	419	760	670	470	−	558	450	65	29	180	90	270	720	109	900以上	−	1000	16−D25	D13@100	1000	24−D25	D13@100	500	1000	16−D25	D13@100	1000	24−D25	D13@100	500
						−42	8−M42	498	790	680	460				70	36	207	133	340	840	131	1100以上	−	1000	24−D25	D13@100	1000	32−D25	D13@100	650	1000	20−D25	D13@100	1000	32−D25	D13@100	650
						−48	8−M48	580	830	700	450				75	45	250	217	467	960	152	1300以上	−	1050	20−D29	D16@150	1050	28−D29	D16@150	820	1050	20−D29	D16@150	1050	28−D29	D16@150	820
						−64	8−M64	806	900	740	440				95	65	367	467	834	1280	207	1600以上	−	1150	32−D29	D16@100	1150	48−D29	D16@75	1100	1150	28−D29	D16@100	1150	48−D29	D16@75	1100
						GB550−12 −48	12−M48	817	830	700	660	370			85	55	288	306	594	960	162	1300以上	−	1050	24−D29	4−D16@100	1100	40−D29	4−D16@100	760	1050	20−D29	4−D16@100	1100	40−D29	4−D16@100	760
						−56	12−M56	923	860	720	680	350			100	69	366	458	824	1120	192	1450以上	−	1100	32−D29	4−D16@100	1500	56−D29	4−D16@100	980	1100	24−D29	4−D16@100	1500	56−D29	4−D16@100	980

鉄筋はD13, D16はSD295, D19, D22, D25はSD345, D29はSD390をご採用ください。　表中に無いサイズについても対応可能です。メーカーに問い合わせ下さい。

注 1）Ⅰ, Ⅱ ゾーン分けについてはハイベースNEO工法設計ハンドブックの各型式の耐力線図を参照下さい。
注 2）上記表内の〈中柱用〉とは、4方向から基礎梁が取り付いた状態を示します。この条件を満たさない状態については、〈側・隅柱用〉を御採用下さい。
注 3）表中の鉄筋量は基礎立上がりのない場合（基礎梁天端と基礎柱形天端が一致する場合）の設計例です。立上がりがある場合、独立基礎の場合は、ハイベースNEO工法設計ハンドブックに従い、日本建築学会等の規準・指針に準拠した設計を行って下さい。
注 4）〈中柱用〉の鉄筋量は、基礎梁内のあばら筋を□450以下はD10@250、□500以上はD13@250として算定しています。
　あばら筋断面積がこれよりも小さくなる場合は〈側・隅柱用〉の鉄筋量として下さい。
注 5）部品の質量はアンカーボルト部品と形板を合わせた質量です。

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	認定露出柱脚工法設計施工標準（２）	SCALE −
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. S-10

スーパーEデッキ EZ50, EZ75 デッキ合成スラブ 設計･施工標準仕様書 【同等品】

e-works+ 開口緩和

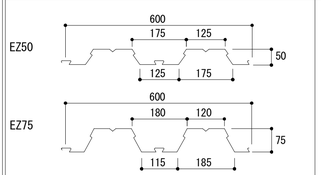
タイプ A

合成スラブの設計・施工は（一社）日本鋼構造協会編「デッキプレート床構造設計・施工規準」（一社）日本建築学会編「各種合成構造設計指針・同解説」（一社）日本建築学会編「建築工事標準仕様書・同解説のうちＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事及びＪＡＳＳ６鉄骨工事」合成スラブ工業会編「大臣認定・無被覆耐火構法　合成スラブの設計・施工マニュアル」メーカーデッキプレートカタログ及び設計・施工便覧による。

1. 設　計

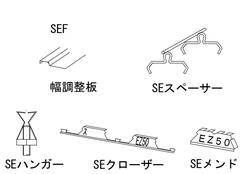
☑	デッキプレート	品名	☑EZ50　□ EZ75			
		板厚および表面処理	板厚（mm）	表面処理	仕様	種類の記号 *1
		（注）*1 JIS G3352 *2 JIS K5621(2008) 4種の防錆性を有した塗料	☑1.2	□ なし		SDP1T
				□ 塗装	*2	
				☑ めっき	☑Z12　□ Z27　□ [　]	SDP2G
			□ 1.6	□ なし		SDP2
				□ 塗装	*2	
				□ めっき	□ Z12　□ Z27　□ [　]	SDP2G
☑	コンクリート	種類	☑普通　□ 軽量１種　□ 軽量２種			
		設計基準強度（N/mm²）	□ 18　☑21　□ 24			
		デッキ山上厚さ（mm）	□ 70　☑ 80　□ 85　□ 90			
			□ 95　□ 100　□ [　]			
☑	溶接金網または異形鉄筋	溶接金網（JIS G3551）	□ φ6-150　□ φ6-100　□ [　]			
		異形鉄筋（JIS G3112,3117）	☑D10-200　□ [　]			
☑	スーパーEデッキ用システム部品	□ SEスペーサー　□ SEハンガー				
☑	デッキプレート端部仕様	☑エンドクローズ□　小口フサギ				
☑	梁との接合形式	種 類	注　記			
		□ 頭付きスタッド	径、長さ、ピッチは構造図による。梁とデッキとの接合はアークスポット溶接等による。（焼抜き栓溶接は不要）			
		☑ 焼抜き栓溶接	☑SPW ： 標準溶接径 18mm以上 ※溶接位置等は特記による。			
		□ びょう打ち	接合位置は特記による。構造認定を受けた発射打込みびょうを使用すること。			
□	e-works+開口緩和（EZ50） BCJ評定-ST0076-07 ※詳細は６．e-works+開口緩和（EZ50）参照					

デッキプレート形状・寸法



＊溝部換算スラブ厚さは、EZ50 24mm、EZ75 36mmです。

システム部品



2. 耐　火　設　計

☑ □ 耐火構造仕様（詳細は下記の通り）　□ 耐火要求なし

耐火区分	認定番号	認定条件 使用条件 支持条件	許容λ *3 (m)	許容荷重 *4 (kN/m²)	断面仕様 品名	コンクリート厚さ (mm)	ひび割れ拡大防止筋 *5	はり構造 S造	はり構造 *6 RC造 SRC造
□ 床２時間	FP120FL-9108	連続支持	2.7 以下	＜式１＞	EZ50	普通95以上	φ6-100 または D10-200	○	–
						軽量85以上		○	–
			3.4 以下	＜式２＞	EZ75	普通90以上		○	–
						軽量85以上		○	–
			3.6 以下 *7	5.4		普通95以上	D10-200	○	–
						軽量90以上		○	–
	FP120FL-9114	単純支持 *8	2.7 以下	＜式１＞	EZ50	普通95以上	φ6-100 または D10-200	○	○
						軽量85以上		○	–
			3.4 以下	＜式２＞	EZ75	普通90以上		○	○
						軽量85以上		○	–
☑ 床１時間	FP060FL-9096	連続支持	3.0 以下	＜式１＞	EZ50	普通80以上	φ6-150 または D10-200	○	–
						軽量80以上		○	–
			3.4 以下	＜式２＞	EZ75	普通80以上		○	–
						軽量80以上		○	–
			3.6 以下 *7	4.4		普通90以上	φ6-100 または D10-200	○	–
	FP060FL-9102	単純支持 *8	2.7 以下	＜式１＞	EZ50	普通80以上	φ6-150 または D10-200	○	○
						軽量80以上		○	–
			3.4 以下	＜式２＞	EZ75	普通80以上		○	○
						軽量80以上		○	–

＜式１＞　$W = 5.4 \times (2.7/L)^2$

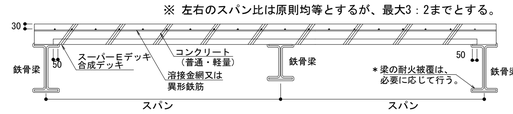
＜式２＞　$W = 5.4 \times (3.4/L)^2$

（注）式中の「W」は許容荷重(kN/m²)，「L」は支持長さ（m）を表す。また，Wが9.8を超える場合は9.8とする。

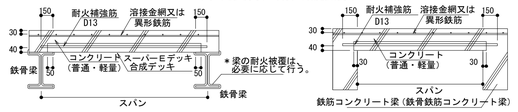
※注意
*3 許容スパンは，鉄骨梁で支持する場合はその芯間距離とし，RC梁で支持する場合は梁の内法寸法とすること。本表の許容スパンは耐火認定の条件であるので，別途施工時の許容スパンを確認すること。
*4 許容荷重は，全荷重（固定荷重+積載荷重）からスラブ自重を差し引いた数値である。
*5 鉄筋比は，０．２%以上としなければならないので，同時打ちでスラブ増打ちをする場合は注意すること。
*6 デッキプレートの梁へのかみ込み代を３０mm以上とすること。端部補強（Ｄ１３以上，Ｌ＝１m）を梁への定着長さ１５０mmで配すること。ただし，耐火補強筋（*6 参照）を用いる場合は端部補強筋は不要。
*7 スパンが３．４mを超える場合は，梁との接合を頭付きスタッド（径１６mm以上，ピッチ３００mm以下）を使用すること。
*8 耐火補強筋（Ｄ１３）をデッキプレートの各溝中央にかぶり４０mmで配すること。
*9 この耐火条件に適合しない場合は，FP060FL-9128あるいはFP120FL-9129（吹付けロックウール被覆耐火構造）を適用すること。

＜FP120FL-9108又はFP060FL-9096（連続支持）＞

※ 左右のスパン比は原則均等とするが，最大3：2までとする。



＜FP120FL-9114又はFP060FL-9102（単純支持）耐火補強筋タイプ＞



3. 施　工

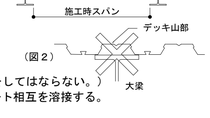
① 割付け計画
工法・工程・割付け計画をたてる。（図１）

② 搬入・保管・揚重・仮置・墨出し
（ａ）揚重は２点吊りとし、デッキプレートをワイヤで傷つけないようにする。
（ｂ）梁上を清掃し、所定の位置に墨出しをする。

③ 敷込み・仮止め
（ａ）デッキ相互をカン合させながら敷込む(接合部で幅調整をしてはならない。) コンクリートが漏れるおそれがある場合は、デッキプレート相互を溶接する。
（ｂ）幅方向の調整は、幅調整板（フラッシング）を用いる。
（ｃ）デッキプレートと大梁との接合ができるように、デッキプレート山部が梁上にこないように納める。（図２）

④ デッキプレートと梁との接合
（ａ）敷込み完了後風等で飛ばないように、デッキと梁とをアークスポット溶接等で接合する。
（ｂ）頭付きスタッドの施工は ＪＡＳＳ６ による。
（ｃ）焼抜き栓溶接の施工位置は特記による。特に指定がない場合には、図３の要領で行う。
（ｄ）施工者は焼抜き栓溶接講習会を受講した方が望ましい。
（ｅ）発射打込みびょうの施工は発射打込みびょうメーカーの施工要領による。施工位置は特記による。
※構造認定を受けた発射打込みびょうメーカー：日本ヒルティ（株），日本パワーファスニング（株）（図３）

（図１）コンクリート打設時支持スパンのとり方
※Ｓ造の場合、耐火認定上のスパンは梁芯間距離とする。
※許容スパンは日鉄デッキプレートカタログ等を参照



（図２）

☑ デッキプレート幅方向	☑ デッキプレート長手方向溶接ピッチ（P）
☑特記無き限り下記とする。 □ 特記は括弧内に記す。	溶接ピッチ（P）：特記無き限り600mm以下とする。
（大梁）接合部2箇所 中間1箇所 接合部2箇所 [　] 箇所 [　] 箇所 （小梁） 各谷1箇所	☑（特記[300]mm、下式による。） P ＝ MIN （ 600 , P1 ） P1 ＝ q ／ Qm x 1000 q：１箇所当りの短期せん断耐力 Qm：１m当りの設計水平せん断力

（ｆ）焼抜き栓溶接（SPW）の溶接条件及び溶接機器仕様

項目		溶接方法
溶接作業者資格		JIS Z 3801基本級以上又はJIS Z 3841基本級以上
溶接棒及び溶接材料		低水素系溶接棒 φ4mm
溶接機		交流アーク溶接機AW250A以上又はエンジン溶接機230A以上
標準溶接条件	デッキ板厚（mm）	1.2～1.6
	梁フランジ板厚（mm）	6 以上
	溶接　電流（A）	190～230
	溶接　電圧（V）	——
	アークタイム（sec）	8～12
溶接径（mm）		18 以上

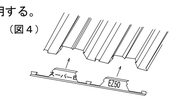
（ｇ）焼抜き栓溶接１箇所当り短期せん断耐力（単位：N）

デッキ板厚	1.2mm	1.6mm
SPW	7,350	11,025

（ｈ）発射打込みびょう１箇所当り短期せん断耐力（単位：N）

デッキ板厚	1.2mm	1.6mm
打込みびょう	4,000	5,300

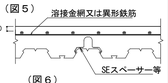
⑤ 小口ふさぎ・コンクリート止め
小口ふさぎはデッキプレートの溝をふさがない独立したものを使用する。（図４） 又は、エンドクローズ製品を用いる。



（図４）

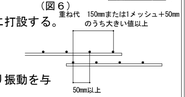
⑥ 開口部補強
開口部まわりは必ず鉄筋等で補強する。（5.開口部補強を参照。）

⑦ 溶接金網又は異形鉄筋
（ａ）規定のサイズを床全面に配筋する。（図５）
（ｂ）かぶり厚さを確保するスペーサーを１m以内に設置する。
（ｃ）溶接金網の継手は（１メッシュ＋５０mm）以上重ねる。
（ｄ）異形鉄筋の継手はＪＡＳＳ５による。



（図５）

（図６）



⑧ コンクリート打設
（ａ）コンクリート打設前にデッキプレート面を充分清掃する。
（ｂ）単位水量の少ない、スランプの小さいコンクリートを入念に打設する。

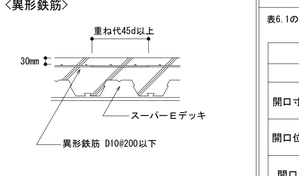
⑨ 養　生
（ａ）コンクリートの初期乾燥収縮を防ぐ為、湿潤養生する。
（ｂ）コンクリートの強度がでるまでは、床面に重量物を置いたり振動を与えたりしない。

4-1. 溶接金網又は異形鉄筋の納り（共通）

＜溶接金網＞

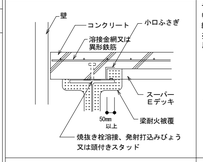


＜異形鉄筋＞

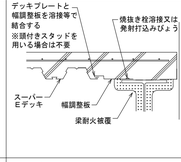


4-2. 標準納まり：S造（鉄骨造）の場合

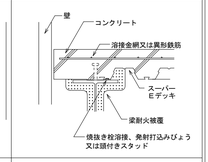
(1)建物外周部デッキ長手方向



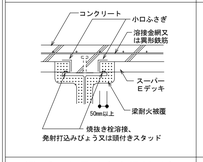
(2)建物外周部デッキ幅方向



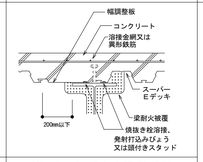
(3)建物外周部デッキ幅方向



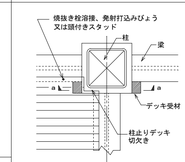
(4)建物内部デッキ長手方向



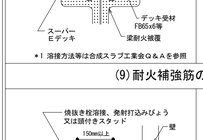
(5)デッキ幅方向デッキ振り分け



(6)柱廻り



(7)デッキ長手方向梁継手部

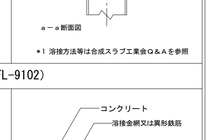


＊1 溶接方法等は合成スラブ工業会Q＆Aを参照

(8)デッキ幅方向梁継手部

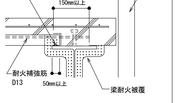


＊1 溶接方法等は合成スラブ工業会Q＆Aを参照



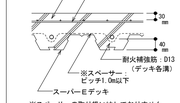
＊1 溶接方法等は合成スラブ工業会Q＆Aを参照

(9)耐火補強筋の納まり（FP120FL-9114, FP060FL-9102）



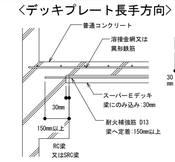


※配筋はＪＡＳＳ５鉄筋コンクリート工事による

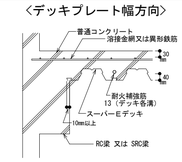


4-3. 標準納まり：ＲＣ造またはＳＲＣ造の場合

＜デッキプレート長手方向＞



＜デッキプレート幅方向＞



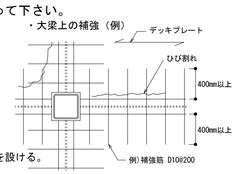
5. ひび割れ拡大防止のための留意点（参考）

以下のひび割れ拡大防止の対策は、必要に応じて行なって下さい。

（Ａ）設計上の留意点
１．小梁の剛性を大きくする。
２．ひびわれ拡大防止のため補強筋を設ける。（右図）
３．スパンとスラブ厚さの比を小さくし、配筋量を大きくする。

（Ｂ）施工上の留意点
１．デッキプレートは各溝で梁に接合する。
２．溶接金網は、所定の位置に配する。
３．水セメント比の小さいコンクリートを用いる。
４．コンクリート打設後初期には湿潤養生を行い、充分な養生期間を設ける。
５．早期に載荷したり、振動を与えない。

・大梁上の補強（例）



6. e-works+開口緩和（EZ50）

積載荷重・支持スパンが耐火認定範囲を超える場合は、別途お問い合わせください。

表6.1の適用範囲を満足する場合、耐力補強筋を省略できる。

表6.1 適用範囲

項目		記号	適用範囲
品名		—	EZ50
開口寸法	デッキ幅方向	mx	300mm以下※
	デッキ長手方向	my	
開口位置	デッキ幅方向	ex	450mm以上
	デッキ長手方向	ey	250mm以上
開口率	デッキ幅方向	rx	25%以下
	デッキ長手方向	ry	12%以下

※開口率の制限により、許容開口寸法の最大が300mmを下回る場合がある。詳細は下記及び下表を参照すること。
※開口寸法に応じ、面内せん断耐力を低減する必要がある。詳細は別途お問い合わせください。

開口率の考え方
梁芯間にある開口投影長さの和（Σmx, my）を梁芯間スパン（lx, ly）で除した値を開口率（rx, ry）とする。開口率の制限は梁芯間スパンに応じて表6.2の通りである。

$$rx = \frac{\Sigma mx}{lx} \leqq 0.25 \qquad ry = \frac{my}{ly} \leqq 0.12$$

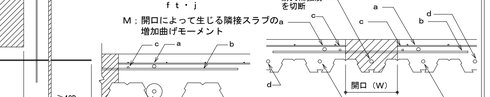


表6.2 開口率に基づく梁芯間スパンにおける開口投影長さの和の上限（mm）

	梁芯間スパンlx, ly（m）										
	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5
Σmx	375	400	425	450	475	500	525	550	575	600	625
my	180	192	204	216	228	240	252	264	276	288	300

※上記の表は開口投影長さの和であり、開口1つあたりの開口寸法は300mm以下とする。

7. 開　口　部　補　強　（例）

合成スラブの開口部補強 ★原則としてコンクリート硬化後にデッキプレートを切断し、孔あけ（箱抜き）とする。
★先に孔をあける場合は、支保工を用いるか小梁でコンクリート打設時に必ずデッキを補強する。
★合成スラブ開口周辺の上端には開口補強（D10以上）を施す。
★本仕様の範囲外の場合はイ）小梁を設ける ロ）鉄筋コンクリートスラブとして補強する等の処置を施す。

ａ）溝配筋方法

・定着長さ：開口端より40D以上 かつ以り 30mm以上
・記号 ａ：耐力補強筋（上下端共） ｂ：開口補強（配力筋）、D13以上 ｃ：開口補強、D10以上 ｄ：耐火補強筋、D13以上

・耐力補強筋の所要断面積：

$$at = \frac{M}{ft \cdot j}$$

M：開口によって生じる隣接スラブのa増加曲げモーメント

ｂ）耐火補強筋を切断する場合

・耐火補強筋　ｄ：

n	1	2	3
ad	D16	D19	D22 or 2-D16

n：切断された耐火補強筋の本数
ad：所要鉄筋サイズ

・所要配筋量は、ａｔ又は ａｄ の大きい方。

ｃ）開口の大きさが幅(w)600mm、奥行き(L)900mm程度を越える場合は、小梁を設けて補強する。尚、この場合連続支持条件などの適則的耐火指定による条件に留意する（W はデッキ幅方向をL はデッキ長手方向を示すものとする。）
ｄ）連続して３谷（デッキ溝）以上に渡って開口が生じ、耐力補強筋が配筋できないような場合は適用外とする。

複数開口時の取り扱い
イ）一つの大きな開口とみなして、左表を満足することを確認する。
ロ）デッキ幅方向において、開口同士の内法距離sxが下式を満たす場合、個々の単独開口とみなすことができる。（長手方向は開口同士の距離に依らない。）
ハ）梁芯と開口の最小距離exおよびeyが左表を満足することを確認する。

開口率の考え方
梁芯間にある開口投影長さの和(Σmx, my)を梁芯間スパン(lx, ly)で除した値を開口率(rx, ry)とする。開口率の制限は梁芯間スパンに応じて表6.2の通りである。

$$rx = \frac{\Sigma mx}{lx} \leqq 0.25 \qquad ry = \frac{my}{ly} \leqq 0.12$$

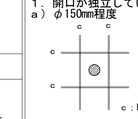
表6.2 開口率に基づく梁芯間スパンにおける開口投影長さの和の上限(mm)

	梁芯間スパンlx, ly（m）										
	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5
Σmx	375	400	425	450	475	500	525	550	575	600	625
my	180	192	204	216	228	240	252	264	276	288	300

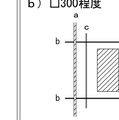
※上記の表は開口投影長さの和であり、開口1つあたりの開口寸法は300mm以下とする。

（Ａ）箱抜きの場合

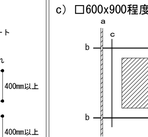
１．開口が独立している場合
ａ）φ150mm程度



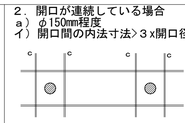
ｂ）□300程度



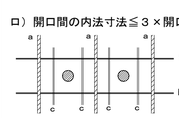
ｃ）□600x900程度



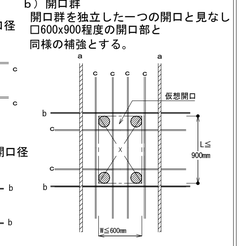
２．開口が連続している場合
ａ）φ150mm程度
イ）開口間の内法寸法＞３×開口径



ロ）開口間の内法寸法≦３×開口径

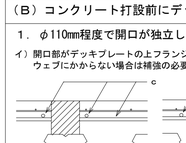


ｂ）開口群
開口群を独立した一つの開口と見なし□600x900程度の開口部と同様の補強とする。



（Ｂ）コンクリート打設前にデッキプレートを切断し、孔あけする場合

１．φ110mm程度で開口が独立している場合
イ）開口部がデッキプレートの上フランジ以下にあり、ウェブにかからない場合は補強の必要はない。



注：合成スラブの補強として、開口補強（c：D10）は行う。（イ、ロ共通）

ロ）開口部がデッキプレートのウェブにかかる場合はプレートあるいは山形鋼による補強を行う。

改訂：2023年5月

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	デッキ合成スラブ設計・施工標準仕様書	SCALE	–
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	S-11

ルーフデッキ

屋根30分耐火構造設計・施工標準仕様書 【同等品】

ルーフデッキを屋根に用いた場合の設計・施工は（一社）日本鋼構造協会編「デッキプレート床構造設計・施工規準」、メーカーデッキプレートカタログ及び設計・施工便覧による。

設計

設計仕様に該当する□内にレ印にて記入して下さい。

ルーフデッキ	品名	□ UA-R	☑ EZ50	□ EZ75	□ HYPER
	板厚	□ 1.0 □ 1.2	☑ 1.2 □ 1.6	□ 1.2 □ 1.6	□ 1.0 □ 1.2 □ 1.6
	表面処理	☑ Z12 □ Z27 □ K18 □ その他［ ］			

耐火仕様	品名	UA-R		EZ50		EZ75		HYPER	
□ 耐火要求あり	デッキ支持条件	単純支持	連続支持	単純支持	連続支持	単純支持	連続支持	単純支持	連続支持
□ 耐火要求なし	支持スパン	3.8m	3.8m	3.2m	3.2m	3.2m	5.0m	5.0m	5.0m
	認定番号	FP030RF－0161		FP030RF－0053		FP030RF －0036	FP030RF －0103	FP030RF－0123	

梁との接合形式	□ 種類	□ 発射打込みびょう	□ ドリリングタッピンねじ	□ 焼抜き栓溶接(SPW)
	適用母材板厚	6mm以上32mm以下	2.3mm以上6mm未満	6mm以上
	寸法	φ4.5×23.5mm以上	φ6×19mm以上	溶接径 18mm以上
	注記	接合位置は特記による。構造認定を受けた発射打込みびょうを使用すること。	接合位置は特記による。JIS B1055,JIS B1059およびJIS B1124の機械的性質を満足するものまたは国土交通大臣の材料認定を取得したものを使用すること。	溶接位置等は特記による。

システム部品 □

□ クローザー(EZ75,EZ50,HYPER)

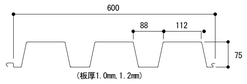
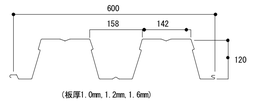
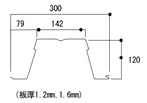
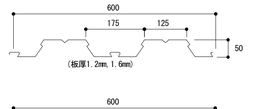
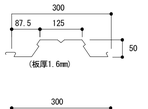
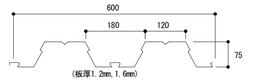
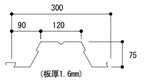




□ SEメンド(EZ75,EZ50)

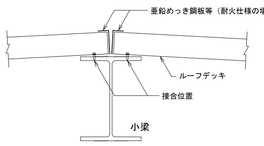


ルーフデッキ形状・寸法

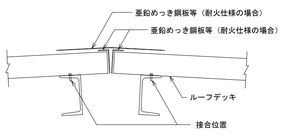
	標準品	1山品
UA-R		
HYPER		
EZ50		
EZ75		

標準納まり図

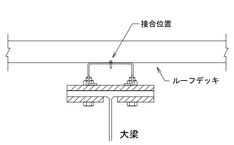
デッキ棟部

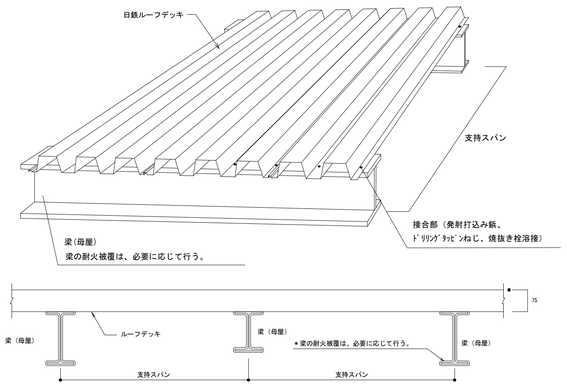


デッキ棟部（母屋が離れている場合）

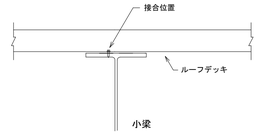


デッキスパン方向梁継手部

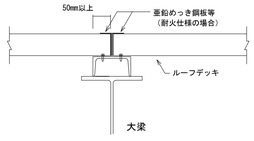




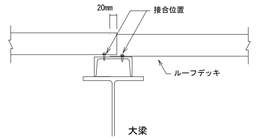
デッキスパン方向（デッキを連続にした場合）



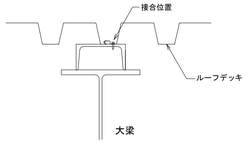
デッキスパン方向（デッキ突合せの場合）



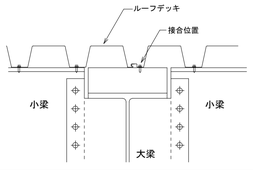
デッキスパン方向（ラップジョイントの場合）



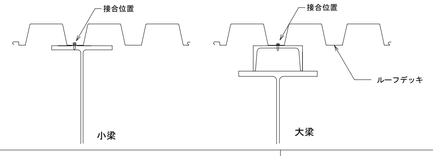
デッキ幅方向（デッキ嵌合部）



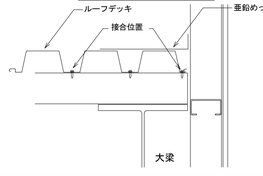
デッキ幅方向（デッキ緊定部）



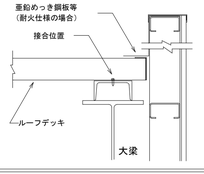
デッキ幅方向（デッキを連続にした場合）



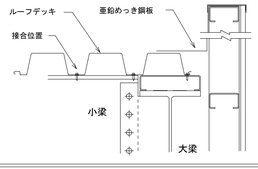
建物外周部デッキ幅方向



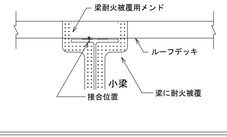
建物外周部デッキスパン方向



建物外周部デッキ幅方向

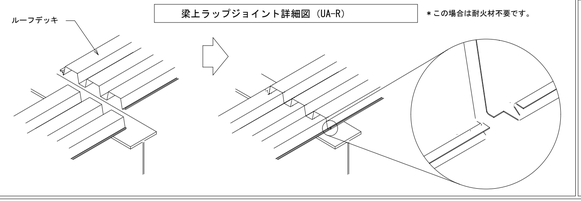


デッキスパン方向（梁に耐火被覆が必要な場合）



梁上ラップジョイント詳細図（UA-R）

＊この場合は耐火材不要です。



施工

① 割付け計画

工法・工程・割付け計画をたてる。

② 搬入・保管・揚重・仮置・墨出し

（a）揚重は２点吊りとし、ルーフデッキをワイヤで傷つけないようにする。

（b）ルーフデッキは梁上に安全な状態で仮置きし、風等で飛ばされないように養生する。

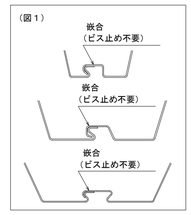
（c）梁上を清掃し、所定の位置に墨出しをする。

③ 敷込み・仮止め

（a）ルーフデッキ相互を嵌合により接合させながら敷込む。（図１）
ただし、必要に応じてスパン毎に１～２箇所溶接またはビス止めを行う。

（b）ルーフデッキ長手方向の梁へのかかり代は５０mm以上とする。

（図１）



④ ルーフデッキと梁との接合

（a）発射打込みびょうの施工は発射打込みびょうメーカーの施工要領による。施工位置は接合部の検討を別途行い決定する。

（イ）規格

JIS A 5529（発射打込みびょう）、または国土交通省の材料認定を取得したものとする。

構造認定を受けた発射打込みびょう

［建築材料認定番号 MPIN-0001］ （※問合せ先：日本ヒルティ株式会社）

［建築材料認定番号 MPIN-9002］ （※問合せ先：日本パワーファスニング株式会社）

（b）ドリリングタッピンねじの施工位置は接合部の検討を別途行い決定する。ただし、図２は耐火認定上の最低仕様である。
（図３、ルーフデッキスパン方向の接合は耐火構造認定の条件ではありません。）
梁（母屋）が厚い場合は、ルーフデッキと梁（母屋）に下穴を開けた後に、ねじを取り付ける。

（イ）規格

JIS B 1055（タッピンねじ-機械的性質）JIS B 1059（タッピンねじのねじ山をもつドリルねじ-機械的性質及び性能）
JIS B 1124（タッピンねじのねじ山をもつドリルねじ）
の機械的性質を満足するもの、または国土交通大臣の材料認定を取得したものとする。

（c）焼抜き栓溶接の施工位置は接合部の検討を別途行い決定する。

（d）施工者は焼抜き栓溶接講習会を受講した方が望ましい。

・溶接条件及び溶接機器仕様

項目＼溶接方法		焼抜き栓溶接（SPW）
溶接作業者資格		JIS Z 3801基本級以上又は JIS Z 3841基本級以上
溶接棒及び溶接材料		低水素系溶接棒 φ4mm
溶接機		交流アーク溶接機ARF250A以上 又はエンジン溶接機Z30A以上
標準溶接条件	ルーフデッキ板厚（mm）	1.0～1.6
	梁フランジ板厚（mm）	6 以上
	溶接 電流（A）	190～230
	溶接 電圧（V）	――
	アークタイム（sec）	8～12
溶接径（mm）		18 以上

（e）発射打込みびょう１本当り引抜耐力（φ4.5mm）

デッキ板厚	長期	短期
1.0mm	1,666N	2,500N
1.2mm	2,066N	3,100N
1.6mm	2,333N	3,500N

（f）ﾄﾞﾘﾘﾝｸﾞﾀｯﾋﾟﾝねじ１箇所当り引抜耐力 （φ6mm以上）

デッキ板厚	長期	短期
1.0mm	1,046N	1,570N
1.2mm	1,046N	1,570N
1.6mm	1,046N	1,570N

（g）焼抜き栓溶接１箇所当り引抜耐力（φ18mm以上）

デッキ板厚	長期	短期
1.0mm	1,186N	1,780N
1.2mm	1,426N	2,140N
1.6mm	1,900N	2,850N

	☑ ルーフデッキ幅方向 （図２）	☑ ルーフデッキスパン方向 （図３）
UA-R	特記は括弧内に記す。 □（大梁） 各谷1箇所 [ ]箇所 [ ]箇所 [ ]箇所 [ ]箇所 [ ]箇所 [ ]箇所 （小梁）各谷1箇所	（ピッチ） □ [ ]mm □ 600mm ※梁（母屋）に接する場合は適宜接合してください。 焼抜き栓溶接、発射打込みびょう又はﾄﾞﾘﾘﾝｸﾞﾀｯﾋﾟﾝねじ （スパン方向の接合は耐火構造認定の条件ではありません）
HYPER EZ50 EZ75	□（大梁）接合部2箇所 中間1箇所 接合部2箇所 [ ]箇所 [ ]箇所 [ ]箇所 [ ]箇所 （小梁）各谷1箇所	（ピッチ） □ [ ]mm □ 600mm ※梁（母屋）に接する場合は適宜接合してください。 焼抜き栓溶接、発射打込みびょう又はﾄﾞﾘﾘﾝｸﾞﾀｯﾋﾟﾝねじ （スパン方向の接合は耐火構造認定の条件ではありません）

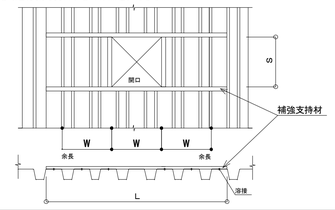
⑤ 開口部補強

（a） 排気口、天窓等で開口の大きさが幅方向360mmまたは長さ方向＿＿＿mmを超える場合は梁で支持する等の補強を行なう。

（b） 開口が幅方向360mm以下かつ長さ方向＿＿＿mm以下の場合は、
開口幅の３倍以上の長さの山型鋼や厚手のフラットバーを用い、
開口幅以上の余長を両端にとり補強する。
薄肉溶接なので、施工には留意する。

W：360mm以下
S：＿＿mm以下

L≧3W



⑥ 検査

注意事項

【共通】

□ 1．スパンは、梁（母屋）の中心間距離とする。

□ 2．ルーフデッキと梁（母屋）との接合は、焼抜き栓溶接、発射打込みびょう、またはドリリングタッピンねじとする。

□ 3．ルーフデッキ相互の接合は嵌合とし、必要に応じて溶接またはビス止めを行なう。

□ 4．ルーフデッキから直接吊り金具等を使用して天井等を吊ることは原則不可とする。

【屋根30分耐火構造仕様とする場合】

□ 5．梁の耐火被覆については梁の耐火設計による（本耐火仕様はルーフデッキのみが対象である）。

□ 6．梁（母屋）に耐火性能が要求される場合は、それらに応じ耐火被覆をする。

□ 7．ルーフデッキ突合せ部等で生じる隙間や、やむを得ずルーフデッキを切欠く場合、鋼板または耐火材等により遮炎性を確保する。

改訂：２０２０年７月

構造設計者 一級建築士 第241724号 ・ 構造設計一級建築士 第467号 小野 芳美

DRAWING	ルーフデッキ設計・施工標準仕様書	SCALE －
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No. S－12

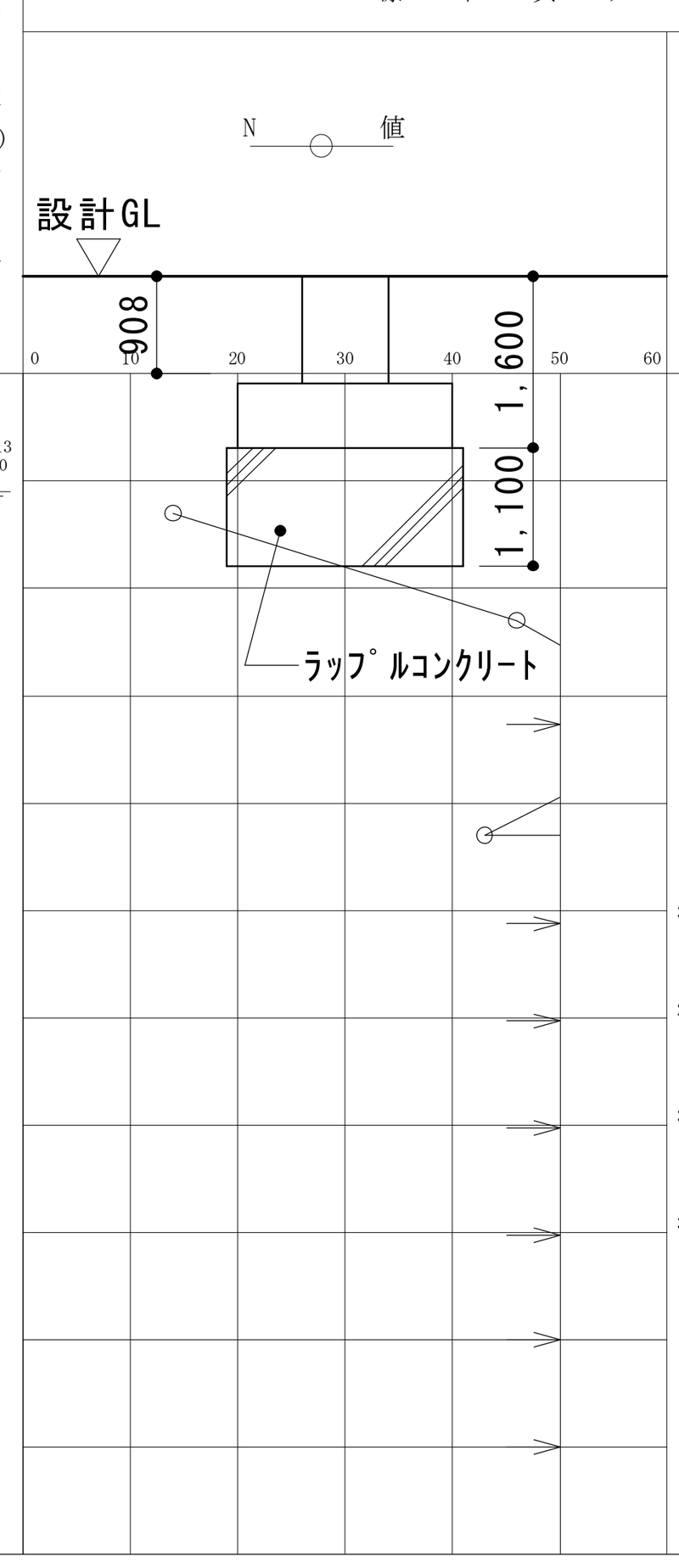
ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　風公共委第1号役場庁舎整備事業調査設計業務委託
事業名 または 工事名　役場庁舎整備事業
調査目的及び調査対象　建築　構造物基礎

ボーリングNo
シートNo

ボーリング名	R4-No.1	調査位置	青森県下北郡風間浦村大字易国間地内	北緯	41°29’31.41”
発注機関	風間浦村	調査期間	2023年 1月 13日 ～ 2023年 1月 14日	東経	140°59’ 9.59”
調査業者名	株式会社みちのく計画 電話（017-765-1311）	主任技師	菊池郁夫 地質調査技士 登録番号：	現場代理人	千葉正堯 地質調査技士 登録番号：第23981号
コア鑑定者	千葉正堯 地質調査技士 登録番号：第23981号	ボーリング責任者	沢谷幸博 地質調査技士 登録番号：第13927号		
孔口標高	T.P 25.86m	角度	180° 上 / 90° / 下 0°	方向	北 0° / 270° 西 / 90° 東 / 180° 南
総掘進長	10.00m	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°	使用機種	
試錐機	東邦製 D-1	エンジン	ヤンマー製 NFD-12	ポンプ	カノ製 V-6型

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名	色調	記事	孔内水位(m)／測定月日
24.31	1.55	火山灰質粘性土	褐灰	火山灰質粘性土からなり粘性強い。・0.00～0.20mは有機質で草根混入する。	01/13 1.10
22.46	3.40	玉石混じり砂礫	暗灰	玉石混じり砂礫からなる。所々玉石を挟む。礫は硬質でφ10～20mmの角礫、砂は粗砂主体。・1.70～2.00m、2.80～3.00mには玉石を挟む。	
15.86	10.00	凝灰岩	暗灰	風化した粗粒凝灰岩からなる。特に4.60mまでは強風化で粘土化・礫状を呈する。・4.60～5.00mはL=10～27cmの棒状コアで採取。・5.15～6.00mはL=18～33cmの棒状コアで採取。・6.06～7.00mはL=35～56cmの棒状コアで採取。・7.05～8.00mはL=6cmの片状、L=15～35cmの棒状コアで採取。・8.05～9.00mはL=6cmの片状、L=17～28cmの棒状コアで採取。・9.00～10.00mはL=12～31cmの棒状コアで採取。深度5m以深はハンマー数打で割れる程度の固結度。	



N値	深度 (m)	0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量
14	1.15～1.45	3	5	6	14／300	
46	2.15～2.45	11	16	19	46／300	
63	3.15～3.39	13	25	12／40	50／240	240
43	4.15～4.45	9	13	21	43／300	
300	5.10～5.15	50／50			50／50	50
250	6.00～6.06	50／60			50／60	60
300	7.00～7.05	50／50			50／50	50
300	8.00～8.05	50／50			50／50	50
	9.00～9.00	50／0			50／0	
	10.00～10.00	50／0			50／0	

削孔月日：1／13、1／14

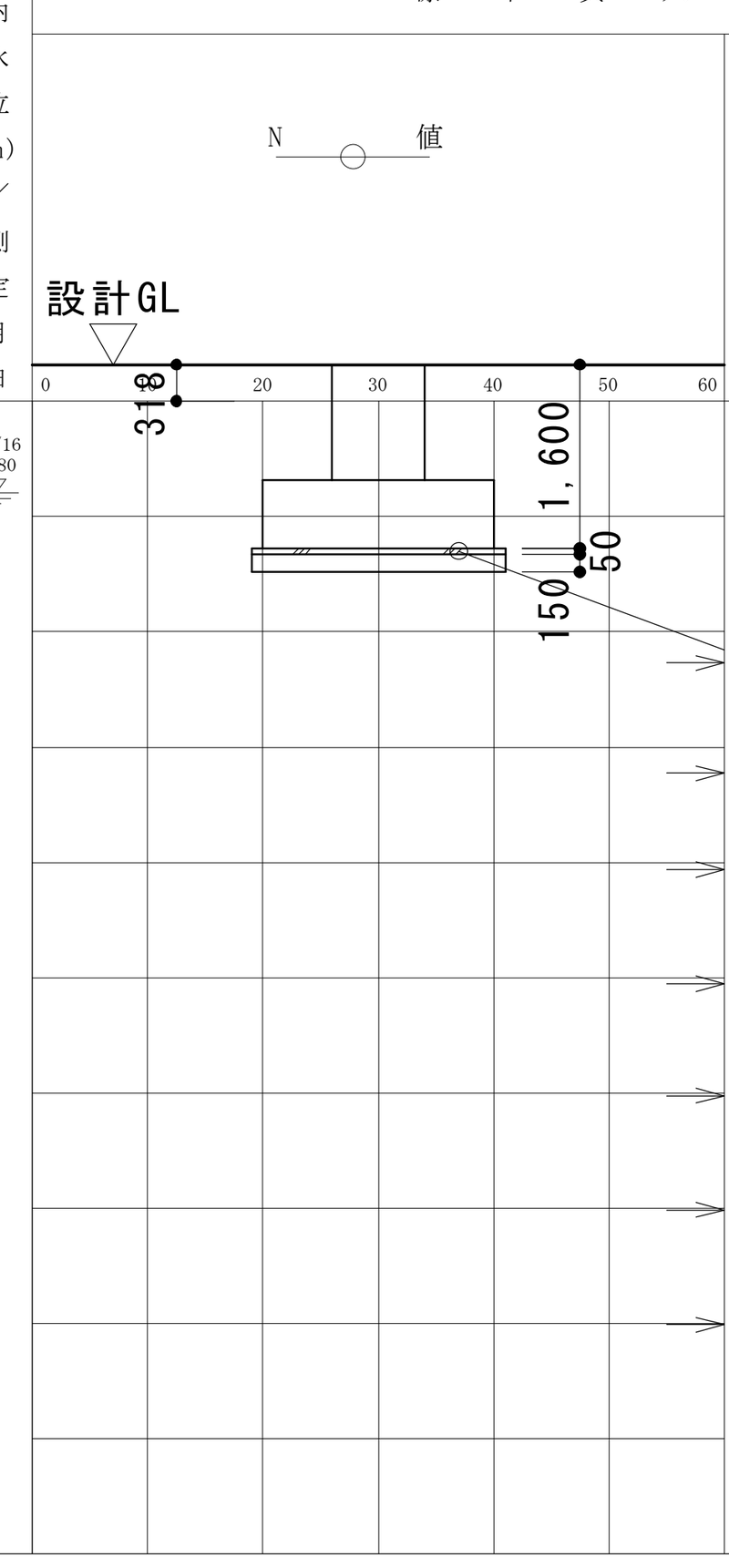
ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　風公共委第1号役場庁舎整備事業調査設計業務委託
事業名 または 工事名　役場庁舎整備事業
調査目的及び調査対象　建築　構造物基礎

ボーリングNo
シートNo

ボーリング名	R4-No.2	調査位置	青森県下北郡風間浦村大字易国間地内	北緯	41°29’30.41”
発注機関	風間浦村	調査期間	2023年 1月 16日 ～ 2023年 1月 17日	東経	140°59’ 8.51”
調査業者名	株式会社みちのく計画 電話（017-765-1311）	主任技師	菊池郁夫 地質調査技士 登録番号：	現場代理人	千葉正堯 地質調査技士 登録番号：第23981号
コア鑑定者	千葉正堯 地質調査技士 登録番号：第23981号	ボーリング責任者	高橋裕司 地質調査技士 登録番号：第23448号		
孔口標高	T.P 26.45m	角度	180° 上 / 90° / 下 0°	方向	北 0° / 270° 西 / 90° 東 / 180° 南
総掘進長	8.00m	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°	使用機種	
試錐機	東邦製 D-1	エンジン	ヤンマー製 NFD12	ポンプ	カノ製 V-6型

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名	色調	記事	孔内水位(m)／測定月日
25.55	0.90	火山灰質粘性土	褐灰	火山灰質粘性土からなり粘性強い。・0.00～0.20mは有機質で草根混入する。	01/16 0.80
23.45	3.00	火山灰質砂	茶褐	φ20～30mm位の亜角礫を点在とする。砂八湯砂主体。・0.75～1.00m、2.35～2.60mには玉石を挟む。	
18.45	8.00	凝灰岩	暗灰	風化した粗粒凝灰岩からなる。・3.30～4.00mはL=2～8cmの片状、L=15～24cmの棒状コアで採取。・4.12～5.00mはL=20～64cmの棒状コアで採取。上部は風化で軟質。亀裂角度は45～40度。・5.11～6.00mはL=8cm の片状、L=19～31cmの棒状コアで採取。・6.05～7.00mはL=10～18cmの棒状コアで採取。・7.03～8.00mはL=15～25cmの棒状コアで採取。ハンマー数打で割れる程度の固結度。	



N値	深度 (m)	0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量
37	1.15～1.45	11	12	14	37／300	
63	2.15～2.39	18	23	9／40	50／240	240
100	3.15～3.30	25	25／50		50／150	150
125	4.00～4.12	28	22／20		50／120	120
136	5.00～5.11	30	20／10		50／110	110
300	6.00～6.05	50／50			50／50	50
500	7.00～7.03	50／30			50／30	30
750	8.00～8.02	50／20			50／20	20

削孔月日：1／16、1／17

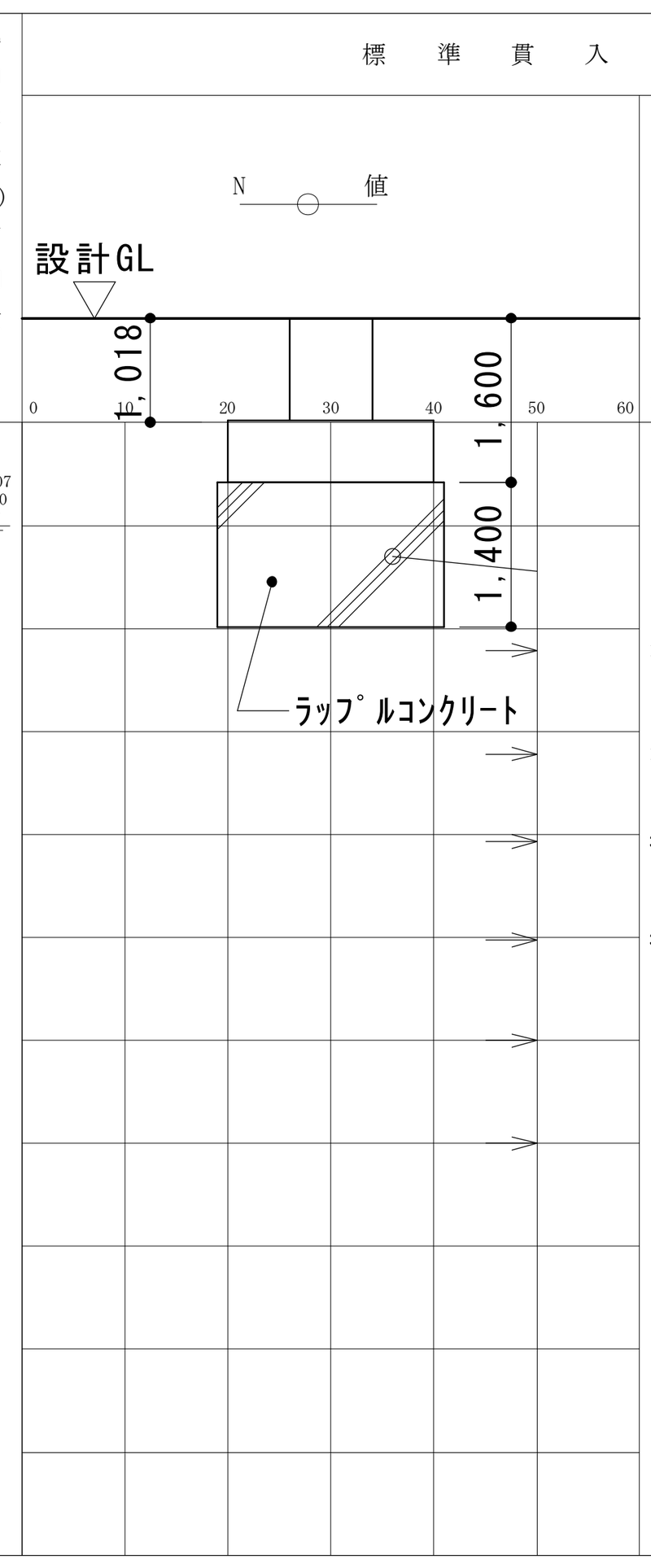
ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　風公共委第3号役場庁舎整備事業調査業務委託
事業名 または 工事名　役場庁舎整備事業
調査目的及び調査対象　建築　構造物基礎

ボーリングNo
シートNo

ボーリング名	R5-No.1	調査位置	青森県下北郡風間浦村大字易国間地内	北緯	41°29’31.39”
発注機関	風間浦村	調査期間	2023年 10月 7日 ～ 2023年 10月 9日	東経	140°59’ 8.99”
調査業者名	株式会社みちのく計画 電話（017-765-1311）	主任技師	千葉 正堯 地質調査技士 登録番号：第23981号	現場代理人	千葉正堯 地質調査技士 登録番号：第23981号
コア鑑定者	千葉正堯 地質調査技士 登録番号：第23981号	ボーリング責任者	沢谷幸博 地質調査技士 登録番号：第13927号		
孔口標高	T.P 25.75m	角度	180° 上 / 90° / 下 0°	方向	北 0° / 270° 西 / 90° 東 / 180° 南
総掘進長	7.00m	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°	使用機種	
試錐機	東邦製 D-1	エンジン	ヤンマー製 NFD-12	ポンプ	カノ製 V-6型

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
24.05	1.70	礫混じり火山灰質粘性土	褐灰		rc5	含水は低い。φ10～20mm位の礫を点在する火山灰質粘性土主体。・0.00～0.15mには草根を混入する。	10/07 1.00
22.75	3.00	玉石混じり砂礫	暗灰	rd5		φ30～50mmの亜角礫を主体とし、火山灰質砂からなる。・2.80～3.00mにはφ10cm以上の玉石を挟む。	
18.75	7.00	凝灰岩	暗灰			風化した凝灰岩からなる。・3.28～4.00mは強風化し、L=10cm未満の片状コアで指で押すと崩れる。・4.09～5.00mはL=12～53cmの棒状コアで採取。・5.05～6.00mはL=7cm、L=19～72cmの棒状コアで採取。・L=6.00～7.00mはL=11～40cmの棒状コアで採取。最上部を除き、コアはハンマーで数打で割れる程度の固結度である。	



N値	深度 (m)	0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量
36	1.15～1.45	12	11	13	36／300	
125	2.15～2.27	40	10／20		50／120	120
115	3.15～3.28	24	26／300		50／130	130
375	4.05～4.09	50／40			50／40	40
300	5.00～5.05	50／50			50／50	50
	6.00～6.00	50／0			50／0	
	7.00～7.00	50／0			50／0	

削孔月日：10／7、10／9

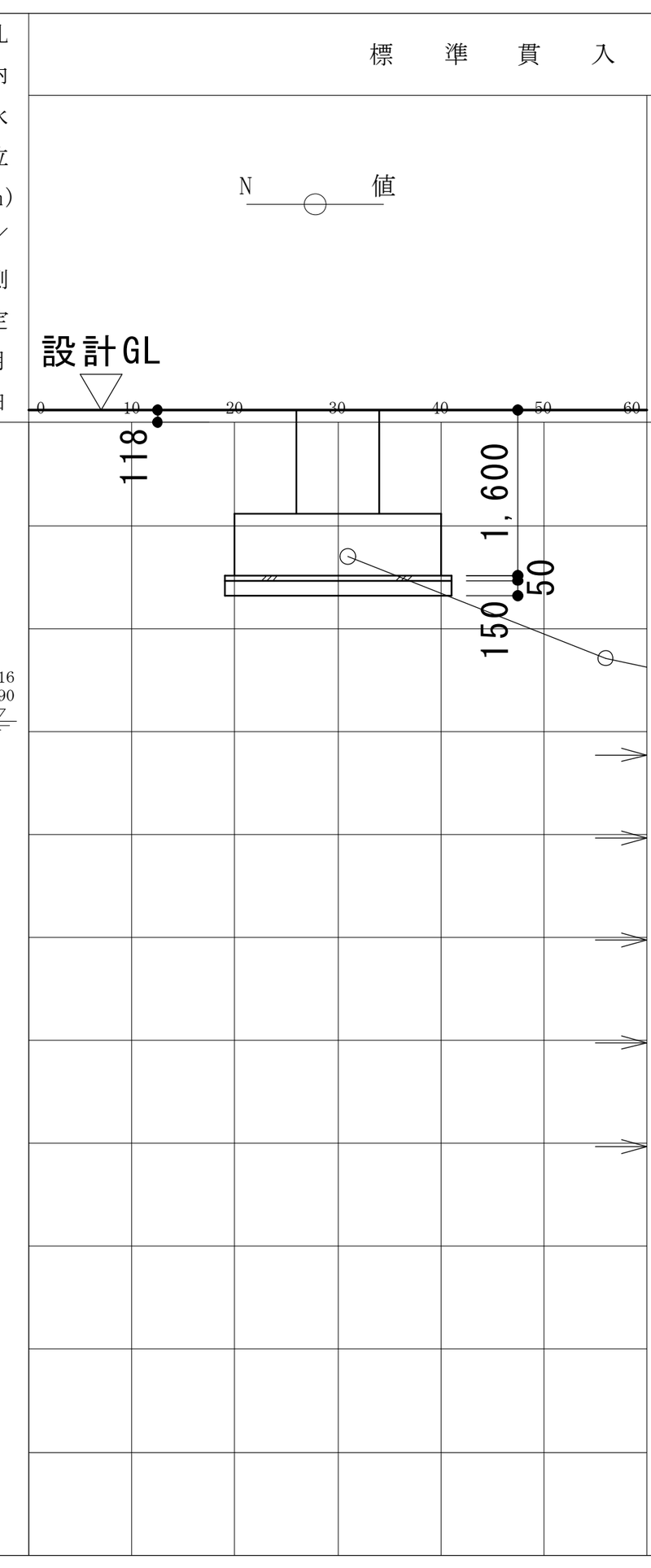
ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名　風公共委第3号役場庁舎整備事業調査業務委託
事業名 または 工事名　役場庁舎整備事業
調査目的及び調査対象　建築　構造物基礎

ボーリングNo
シートNo

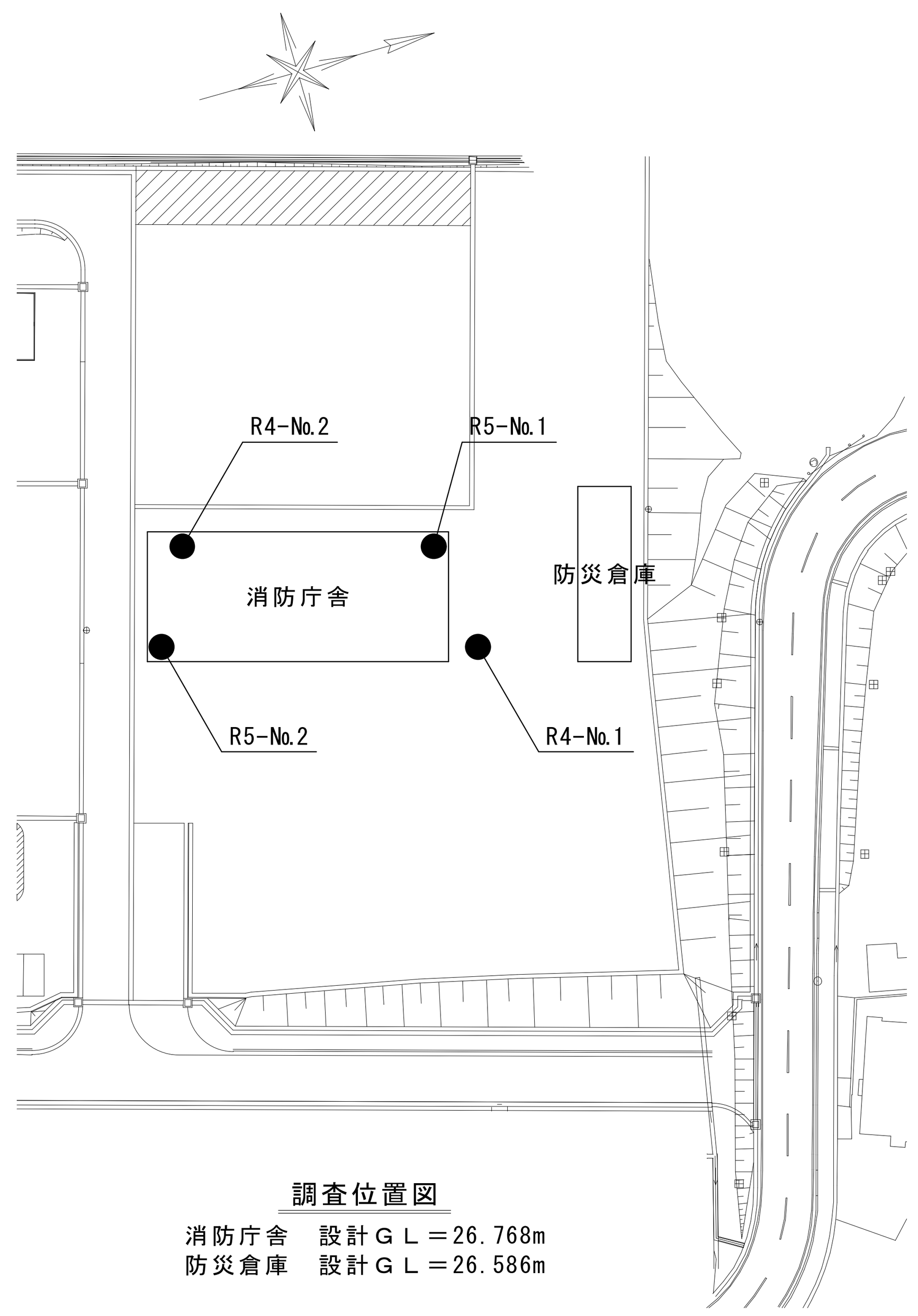
ボーリング名	R5-No.2	調査位置	青森県下北郡風間浦村大字易国間地内	北緯	41°29’30.21”
発注機関	風間浦村	調査期間	2023年 9月 16日 ～ 2023年 9月 19日	東経	140°59’ 9.14”
調査業者名	株式会社みちのく計画 電話（017-765-1311）	主任技師	千葉 正堯 地質調査技士 登録番号：第23981号	現場代理人	千葉正堯 地質調査技士 登録番号：第23981号
コア鑑定者	千葉正堯 地質調査技士 登録番号：第23981号	ボーリング責任者	髙橋 裕司 地質調査技士 登録番号：第23448号		
孔口標高	T.P 26.65m	角度	180° 上 / 90° / 下 0°	方向	北 0° / 270° 西 / 90° 東 / 180° 南
総掘進長	7.06m	地盤勾配	水平 0° / 鉛直 90°	使用機種	
試錐機	東邦製 D-1	エンジン	ヤンマー製 NFD-12	ポンプ	カノ製 V-6型

標高 (m)	深度 (m)	現場土質名	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日
25.20	1.45	火山灰質粘性土	褐灰		rc5	0.00～0.050には草根を混入する。粘性強い。・黒色の炭化物点在。	
24.65	2.00	火山灰質砂	茶	rd5		細粒浮きを混入する。	
23.55	3.10	玉石混じり砂礫	暗灰			凝灰岩由来のφ30～50mm位の亜角礫を主体とする。	9/16 2.90
19.59	7.06	凝灰岩	暗灰			風化した凝灰岩からなる。・3.30～4.00mはL=2～8cmの片状コア、L=10～11cmの棒状コアで採取。L=2～6cm区間は強風化である。・4.07～5.00mL=5cmの片状コア、L=10～25cmは棒状コアで採取。・5.05～6.00mは4～9cmの片状コア、L=10～21cmの棒状コアで採取。・6.04～7.00mはL=8cmの片状コア、L＝12～40cmの棒状コアで採取。全体にコアはハンマー数打で割れる程度の固結度。	



N値	深度 (m)	0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量
31	1.15～1.45	9	11	11	31／300	
56	2.15～2.42	12	12	26／70	50／270	270
100	3.15～3.30	23	27／50		50／150	150
214	4.00～4.07	50／70			50／70	70
300	5.00～5.05	50／50			50／50	50
375	6.00～6.04	50／40			50／40	40
250	7.00～7.06	50／60			50／60	60

削孔月日：9／16、9／18、9／19

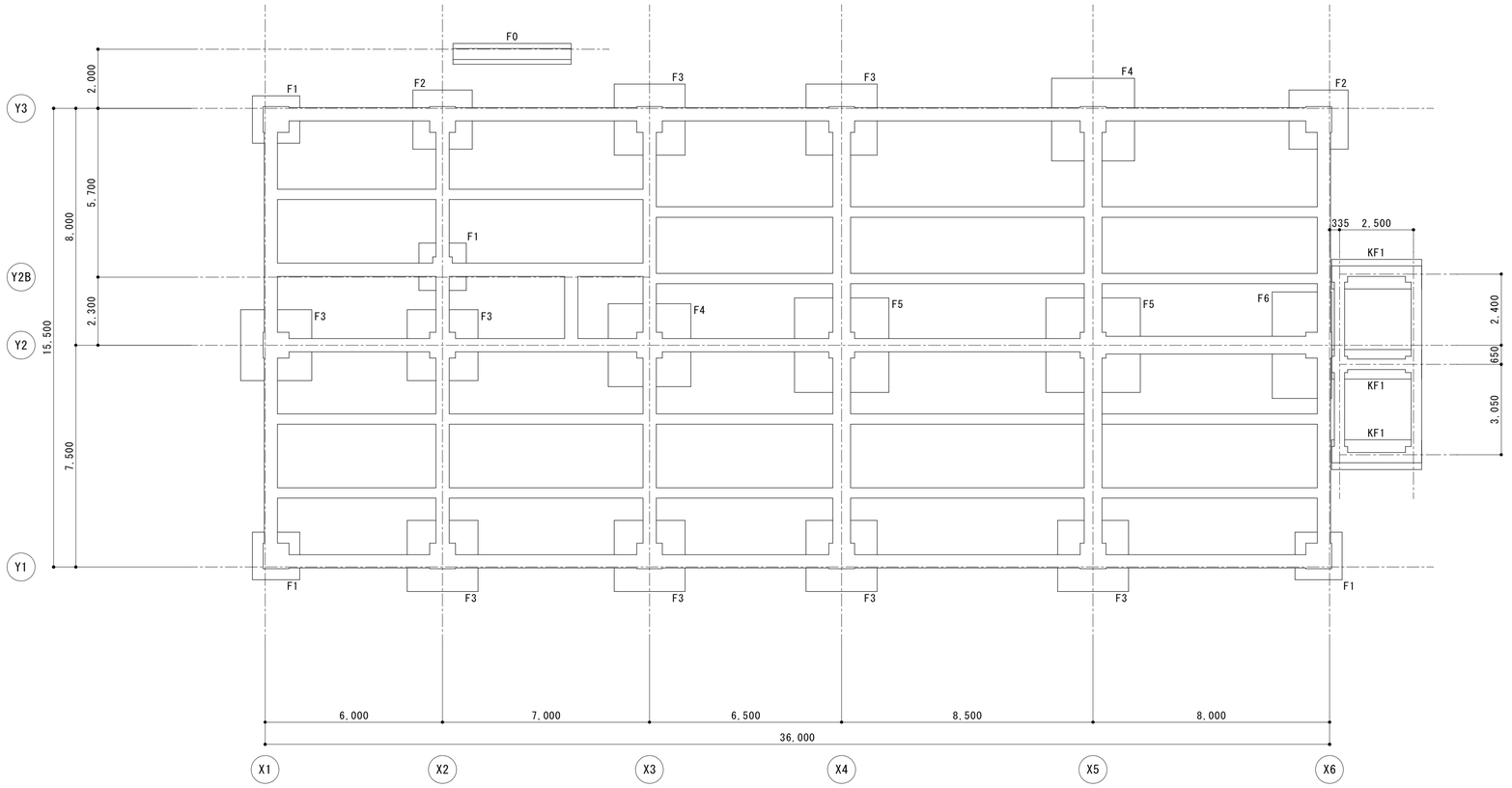


調査位置図

消防庁舎　設計ＧＬ＝26.768m
防災倉庫　設計ＧＬ＝26.586m

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	地質調査図	SCALE	－
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	S-13



基礎伏図　S=1:100

特記なき限り下記とする

1. 設計地耐力　Fe＝300kN/㎡(長期)
2. 基礎芯＝柱芯とする（F6は偏心基礎とする）
3. 基礎下端は、GL-1,600とする（F0はGL-600とする）
4. 支持層（N値30以上の玉石混じり砂礫層又は火山灰質砂層）がX0通りからX6通りに傾斜している。
   基礎下端が支持層に達しない場合は基礎下端にラップルコンクリートを打設する事
5. 施工にあたって、地盤の転圧は十分に行うこと

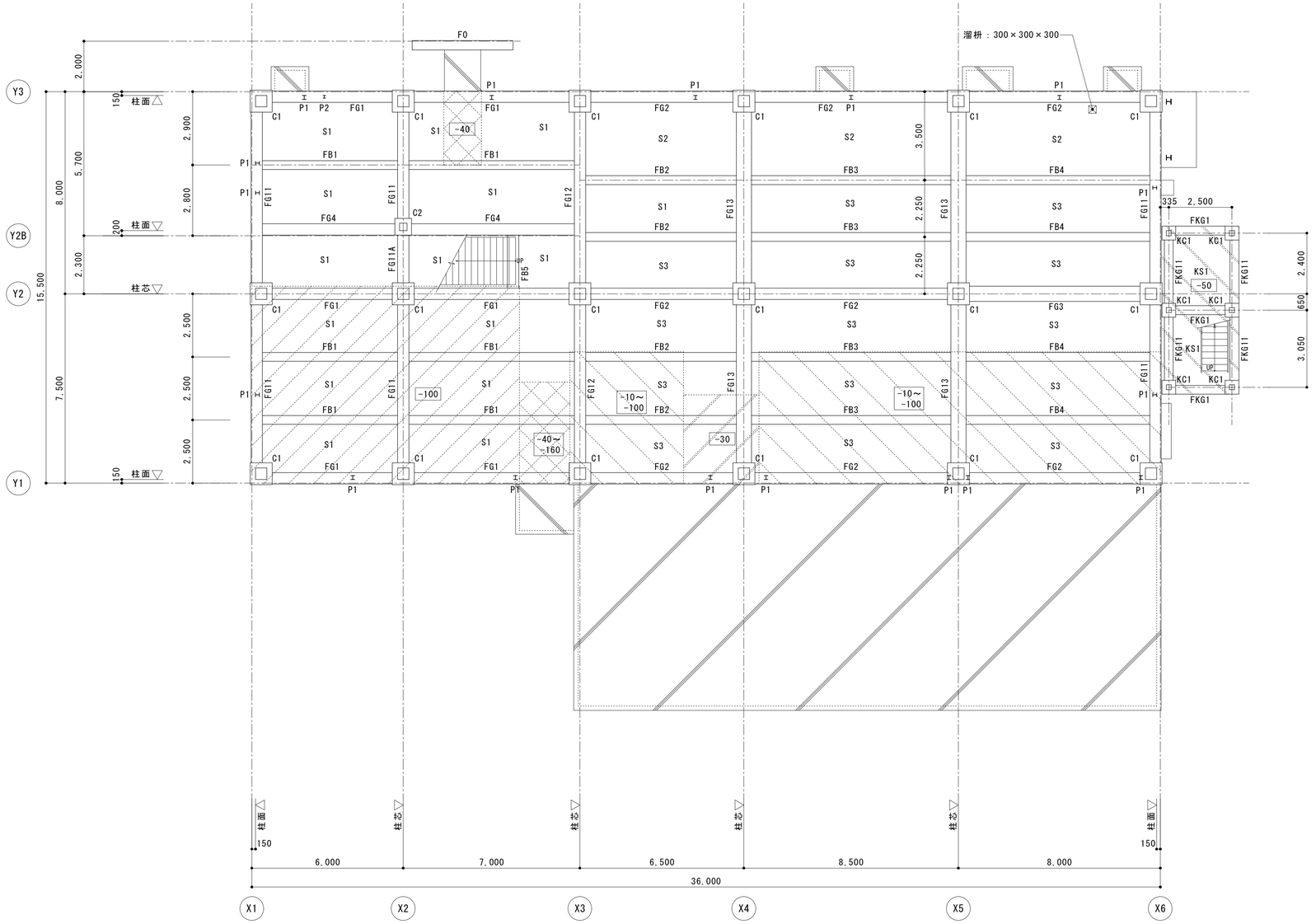
基礎リスト

符　　号	ﾌｰﾁﾝｸﾞ大きさ Ｂ×Ｄ	ﾌｰﾁﾝｸﾞ下端	ﾗｯﾌﾟﾙｺﾝｸﾘｰﾄ下端
Ｆ１	1,600×1,600	GL-1,600	※ GL-1,600～3,000
Ｆ２	2,000×2,000	GL-1,600	※ GL-1,600～3,000
Ｆ３	2,400×2,400	GL-1,600	※ GL-1,600～3,000
Ｆ４	2,800×2,800	GL-1,600	※ GL-1,600～3,000
Ｆ５	3,200×3,200	GL-1,600	※ GL-1,600～3,000
Ｆ６	2,000×3,600	GL-1,600	※ GL-1,600～3,000
ＫＦ１	布基礎 B=1,000	GL-1,600	※ GL-2,700～3,000

ラップルコンクリート深さは現場にて慎重に決定し、支持地盤（N値30以上の玉石混じり砂礫層又は火山灰質砂層）まで確実に打設する事。
※ 印寸法は工事監理者の承認を得て変えて良い。

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	基礎伏図	SCALE	A1 1:100　A3 1:200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男			DRAWING No. S-14



1階梁伏図　S=1:100

特記なき限り下記とする

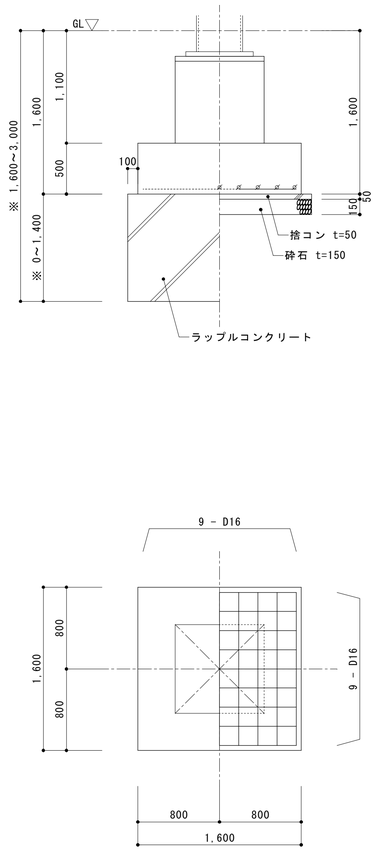
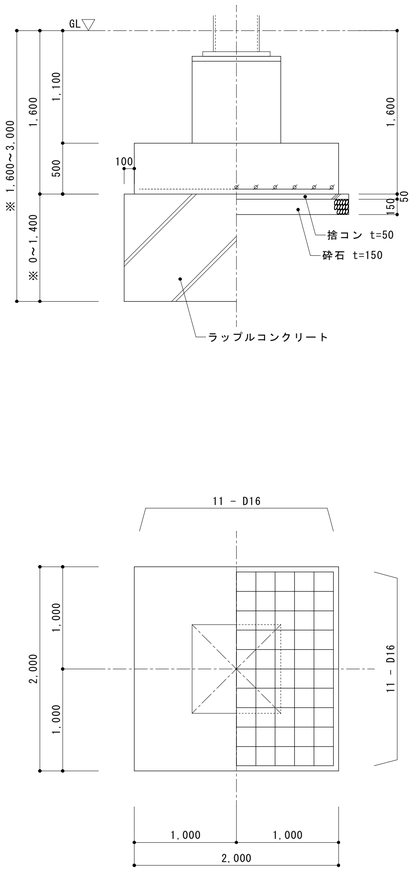
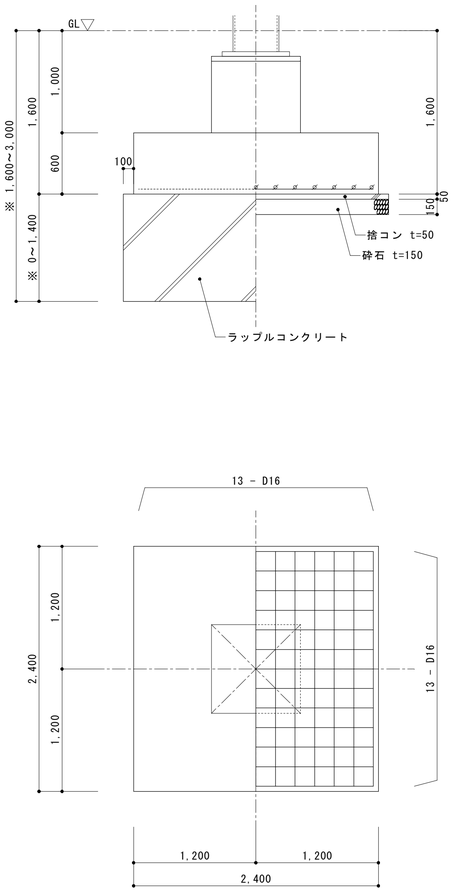
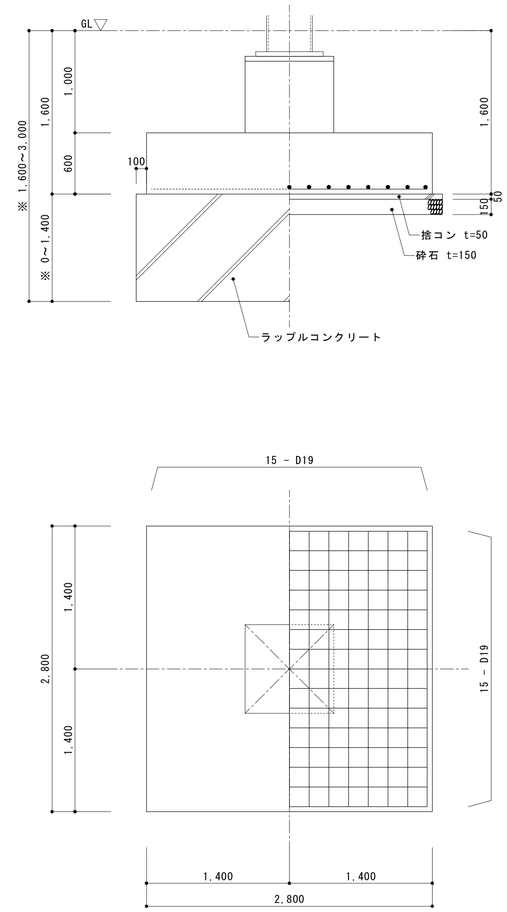
1. 地中梁天端レベルは、1FL-450(GL-300)とする
2. 地中小梁天端レベルは、1FL-250(GL-100)とする
3. スラブ天端レベル無印は、1FL-10とする
4. ▭ 印は、1FLからのスラブ天端レベルを示す
5. ▨ 印は、土間コンクリートt=180を示す
6. ▨ 印は、土間コンクリートt=150を示す
7. 施工にあたって、地盤の転圧は十分に行うこと

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	1階梁伏図	SCALE	A1 1:100　A3 1:200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	S-15

基礎リスト（１）　S=1:30

・※ 基礎の向きは、基礎伏図(S-14)による
・※ 印寸法は工事監理者の承認を得て変えて良い

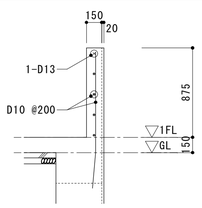
符　号	Ｆ１	Ｆ２	Ｆ３	Ｆ４
断　面 (Fc=24N/mm²)				

スラブリスト

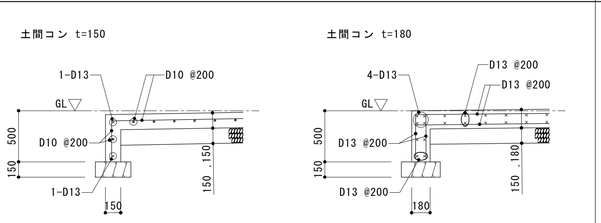
スラブ配筋リスト　（モチアミ）					
符　号	スラブ厚	位　置	短辺方向(主筋) 全　域	長辺方向(配力筋) 全　域	備　考
Ｓ１	t = 150	上端筋	D10・D13 @200	D10・D13 @200	Fc=24N/mm²
		下端筋	D10・D13 @200	D10・D13 @200	捨ｺﾝt=50,砕石t=60
Ｓ２	t = 150	上端筋	D13 @200	D10・D13 @200	Fc=24N/mm²
		下端筋	D13 @200	D10・D13 @200	捨ｺﾝt=50,砕石t=60
Ｓ３	t = 180	上端筋	D13 @200	D13 @200	Fc=24N/mm²
		下端筋	D13 @200	D13 @200	捨ｺﾝt=50,砕石t=60

雑配筋図　S=1:30

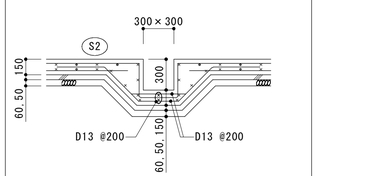
立上り壁配筋詳細図



土間コン配筋詳細図



溜枡配筋詳細図

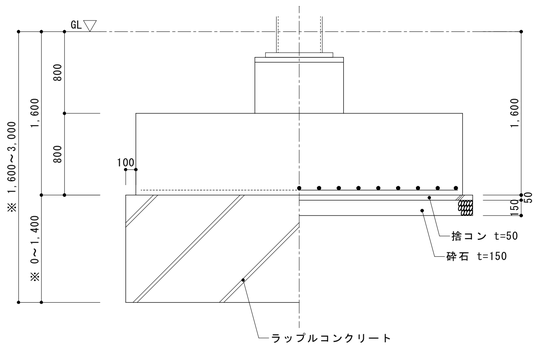
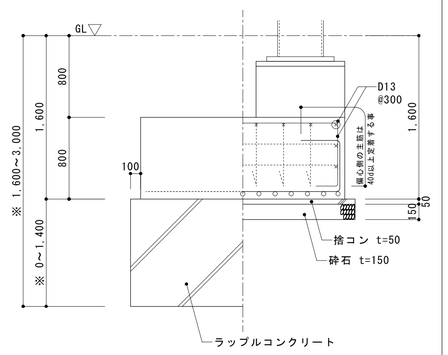
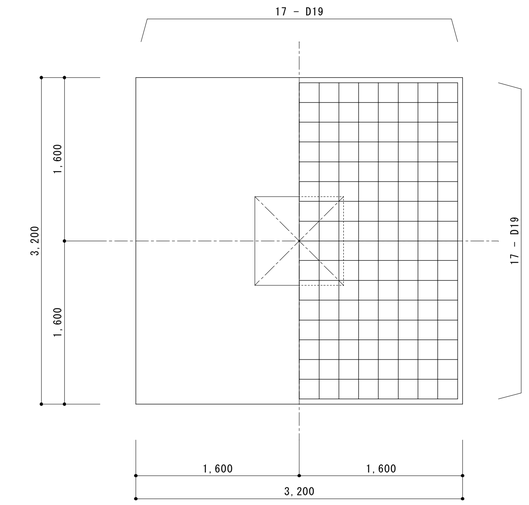
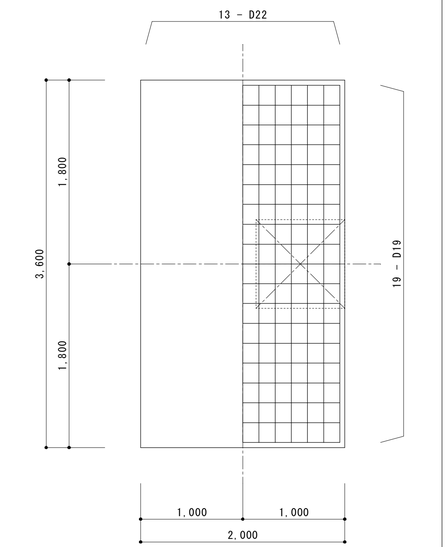


構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

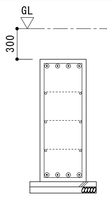
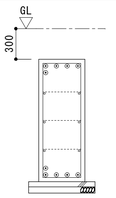
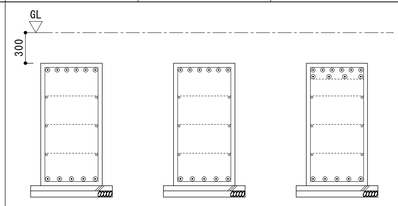
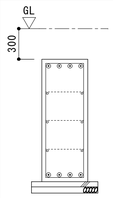
DRAWING	基礎リスト（１）、スラブリスト、雑配筋図	SCALE　A1 1:30　A3 1:60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No. S-16

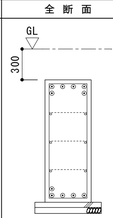
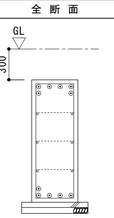
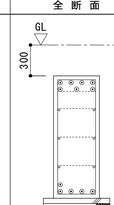
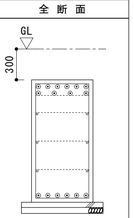
基礎リスト（２） S=1:30

・※ 基礎の向きは、基礎伏図(S-14)による
・※ 印寸法は工事監理者の承認を得て変えて良い

符号	Ｆ５	Ｆ６
断面 (Fc=24N/mm²)		
断面 (Fc=24N/mm²)		

地中梁リスト S=1:30

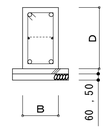
符号	ＦＧ１	ＦＧ２	ＦＧ３			ＦＧ４
位置	全断面	全断面	X5通り側端部	中央	X6通り側端部	全断面
断面 (Fc=24N/mm²)			 カットオフ筋は柱面から2,500mmとする			
Ｂ × Ｄ	450 × 1,200	450 × 1,200	600 × 1,200			450 × 1,200
上端筋	4 - D25	5 - D25	6 - D25	6 - D25	10 - D25	4 - D25
下端筋	4 - D25	5 - D25	5 - D25	5 - D25	5 - D25	4 - D25
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	□ - D13 @200	□ - D13 @200	□ - D13 @100			□ - D13 @200
腹筋	6 - D10	6 - D10	6 - D10			6 - D10

符号	ＦＧ１１	ＦＧ１１Ａ	ＦＧ１２	ＦＧ１３
位置	全断面	全断面	全断面	全断面
断面 (Fc=24N/mm²)				
Ｂ × Ｄ	450 × 1,200	450 × 1,200	450 × 1,200	600 × 1,200
上端筋	6 - D25	6 - D25	7 - D25	10 - D25
下端筋	5 - D25	5 - D25	5 - D25	6 - D25
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	□ - D13 @200	□ - D13 @100	□ - D13 @150	□ - D13 @150
腹筋	6 - D10	6 - D10	6 - D10	6 - D10

共通事項

特記なき限り下記による

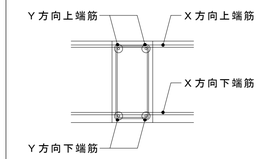
1. Ｂ×Ｄ



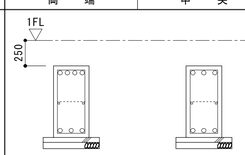
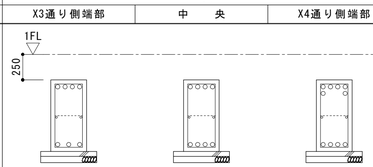
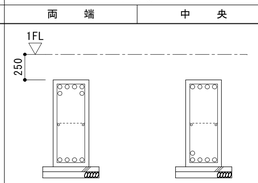
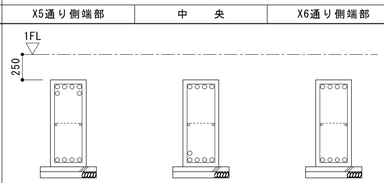
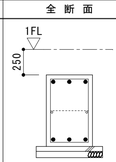
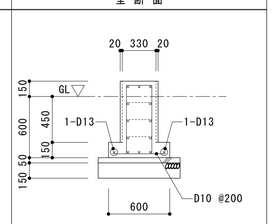
2. 巾止め筋は、D10 @1,000とする

鉄筋記号
◎ Ｄ２５

地中梁主筋関係図



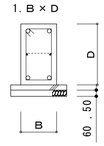
地中小梁リスト S=1:30

符号	ＦＢ１		ＦＢ２			ＦＢ３		ＦＢ４			ＦＢ５		ＦＯ
位置	両端	中央	X3通り側端部	中央	X4通り側端部	両端	中央	X5通り側端部	中央	X6通り側端部	全断面		全断面
断面 (Fc=24N/mm²)													
Ｂ × Ｄ	350 × 700		350 × 700			350 × 850		350 × 850			450 × 700		図示
上端筋	4 - D22	3 - D22	4 - D22	4 - D22	6 - D22	6 - D22	4 - D22	6 - D22	4 - D22	4 - D22	3 - D19		3 - D13
下端筋	3 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	5 - D22	4 - D22	5 - D22	4 - D22	3 - D19		3 - D13
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	□ - D10 @200		□ - D10 @200			□ - D10 @200		□ - D10 @200			□ - D13 @200		□ - D10 @200
腹筋	2 - D10		2 - D10			2 - D10		2 - D10			2 - D10		D10 @200

共通事項

特記なき限り下記による

1. Ｂ×Ｄ



2. 巾止め筋は、D10 @1,000とする

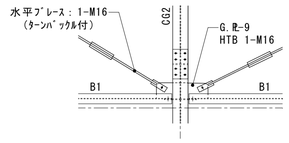
鉄筋記号
× Ｄ１３
● Ｄ１９
○ Ｄ２２

構造設計者 一級建築士 第241724号 ・ 構造設計一級建築士 第467号 小野 芳美

DRAWING	基礎リスト（２）、地中梁リスト、地中小梁リスト	SCALE A1 1:30 A3 1:60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03

アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男

DRAWING No. S-17



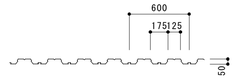
水平ブレース詳細図　S=1:30

※ 水平ブレース位置は、B1下端程度とする

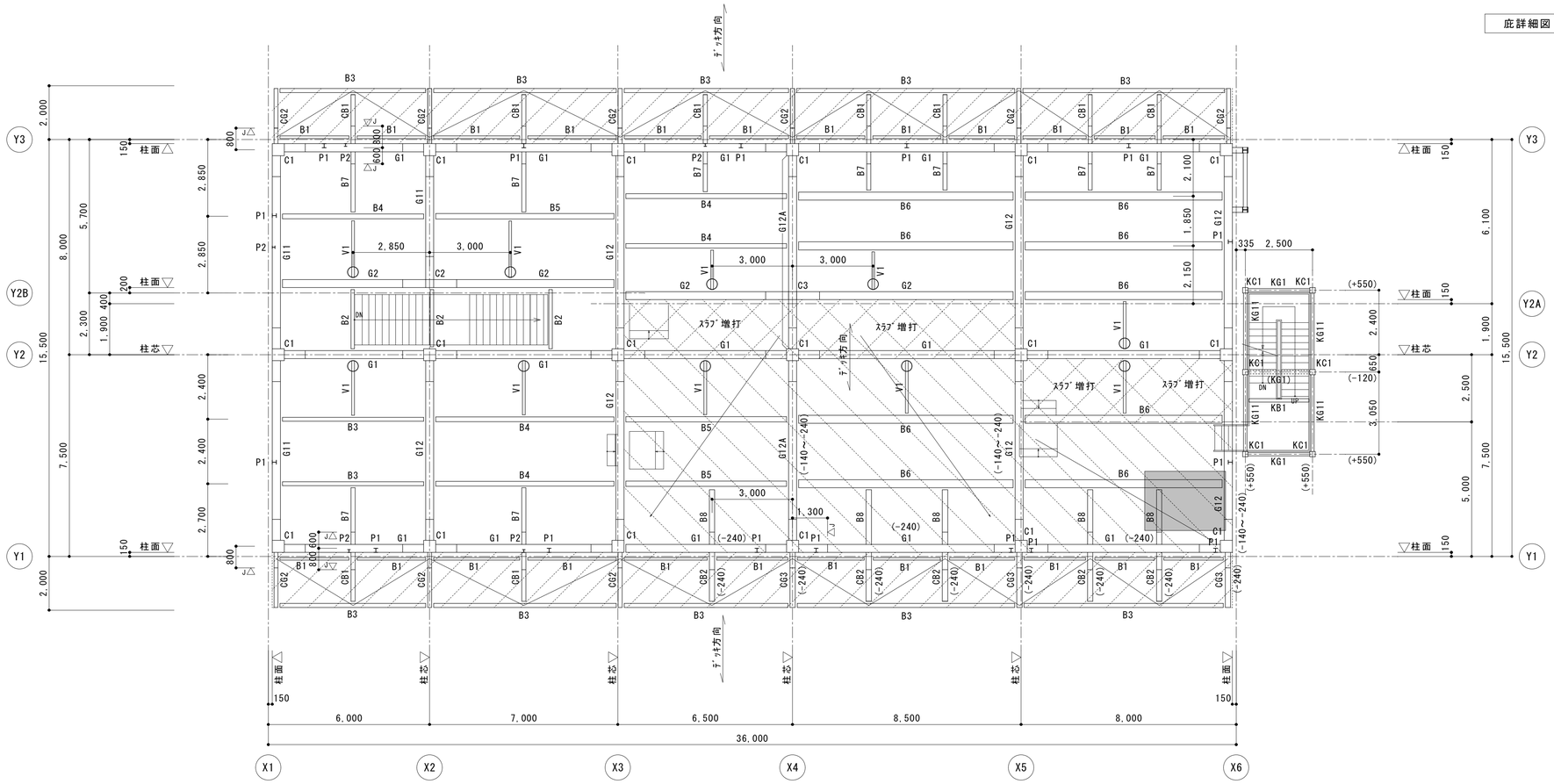


デッキ詳細図　S=1:30

ルーフデッキ　EZ50　t=1.2mm



庇詳細図　S=1:30

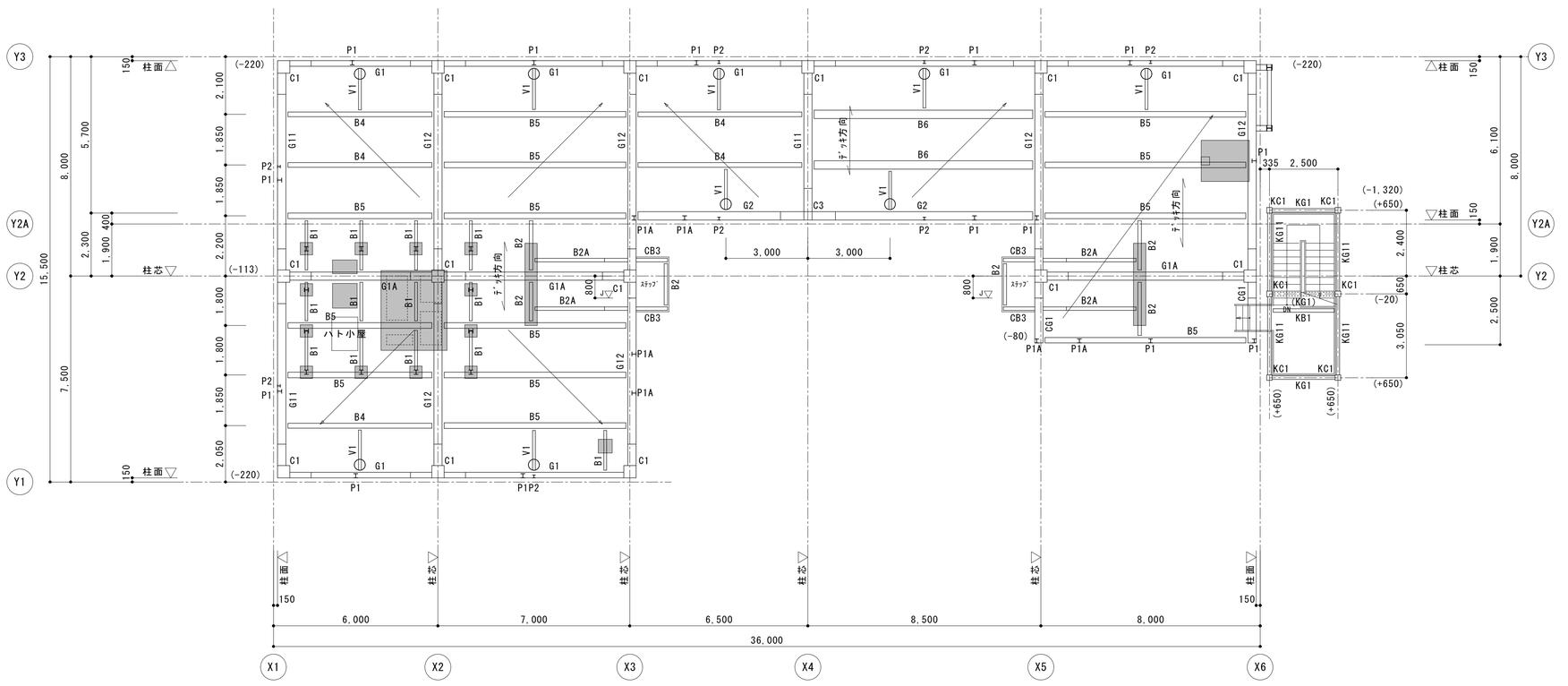


２階梁伏図　S=1:100

特記なき限り下記とする
1. 一般梁天端　2FL-140
2. (　　) 内は2FLからの梁天端を示す
3. 大梁継手位置：柱芯より 1,000
4. ▽Jは、柱芯(梁芯)からのジョイント位置を示す
5. 庇の水平ブレース：1-M16
6. V1○印は、4-M20とする(S-24図参照)
7. 屋根のデッキプレートはY2通り水上から、Y1通り水下まで斜めにする
（屋根を受ける小梁は水勾配なりにレベルを下げる）

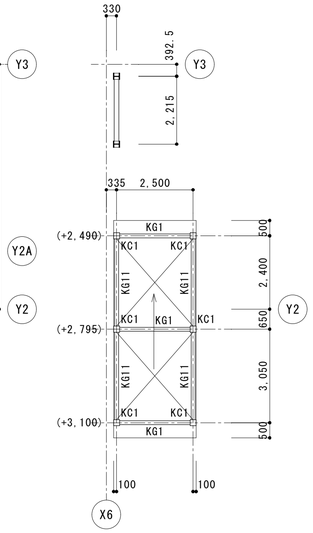
構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	２階梁伏図	SCALE	A1 1:100、1:30 A3 1:200、1:60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男			DRAWING No. S-18

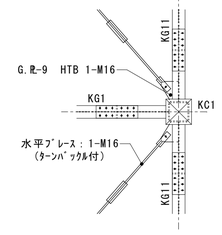


R階梁伏図　S=1:100

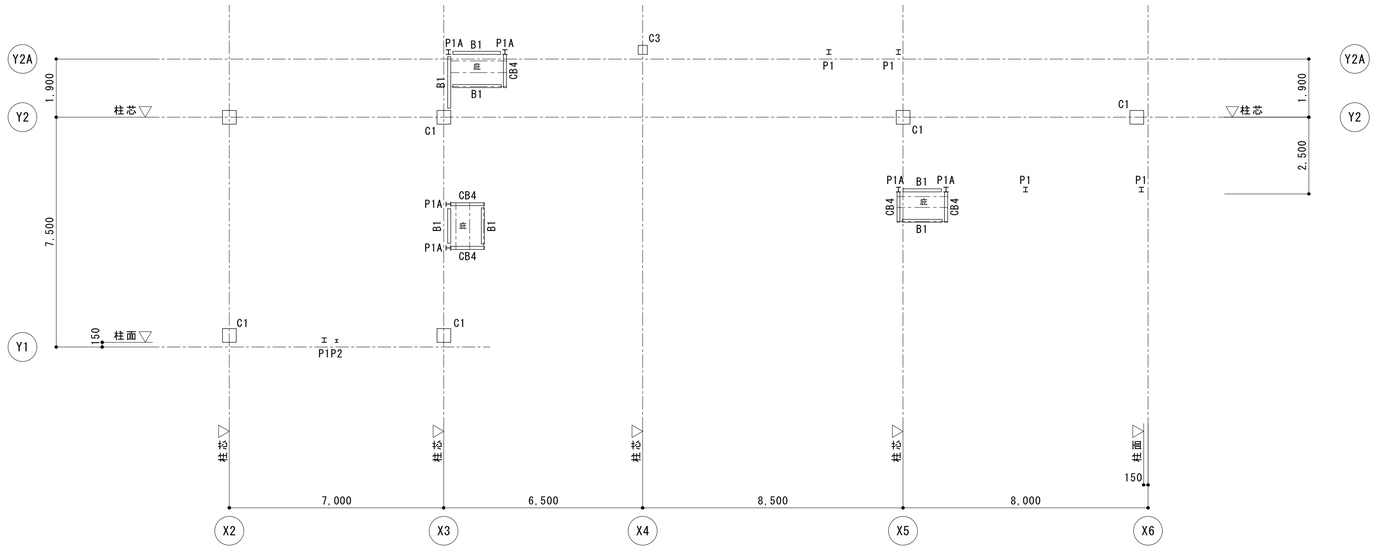
特記なき限り下記とする
1. 一般梁天端　RFL-220（水下）とし、水勾配なりに斜めにする
2. （　　）内はRFL水下からの梁天端を示す
3. 大梁継手位置：柱芯より 1,000
4. ▽Jは、柱芯(梁芯)からのジョイント位置を示す
5. V1○印は、4-M20とする(S-24図参照)



外部階段屋根伏図　S=1:100



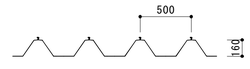
水平ブレース詳細図　S=1:30



R階庇梁伏図　S=1:100

特記なき限り下記とする
1. 庇母屋：C-100×50×20×2.3

丸馳折板Ⅱ型　t=1.0mm

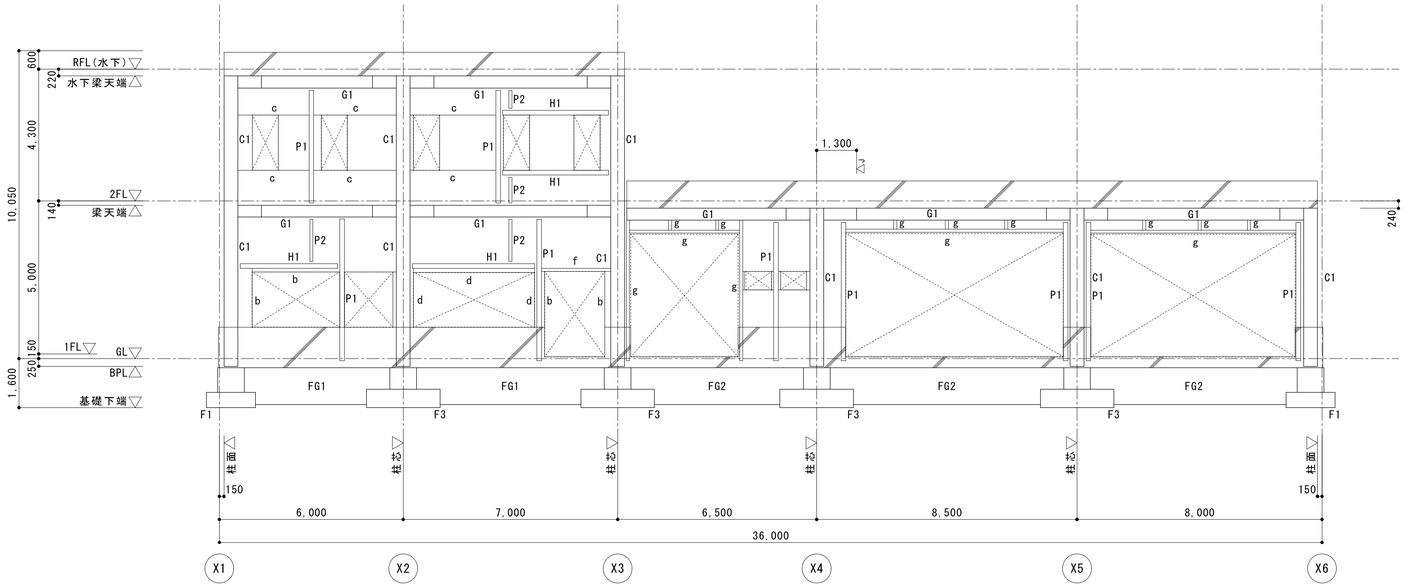


折板詳細図　S=1:30

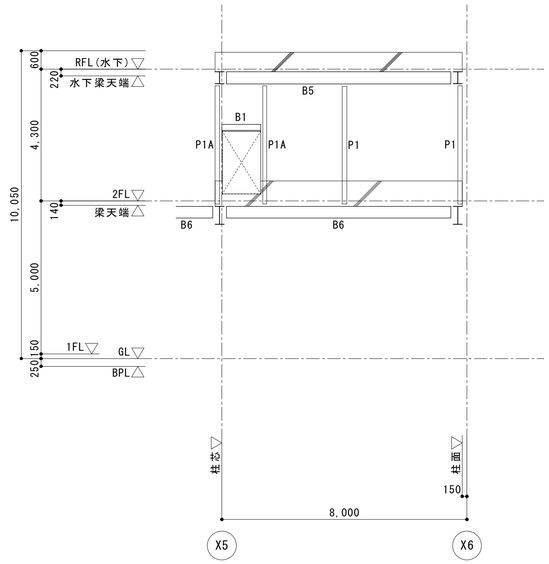
※ 折板から天井は吊らない事

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

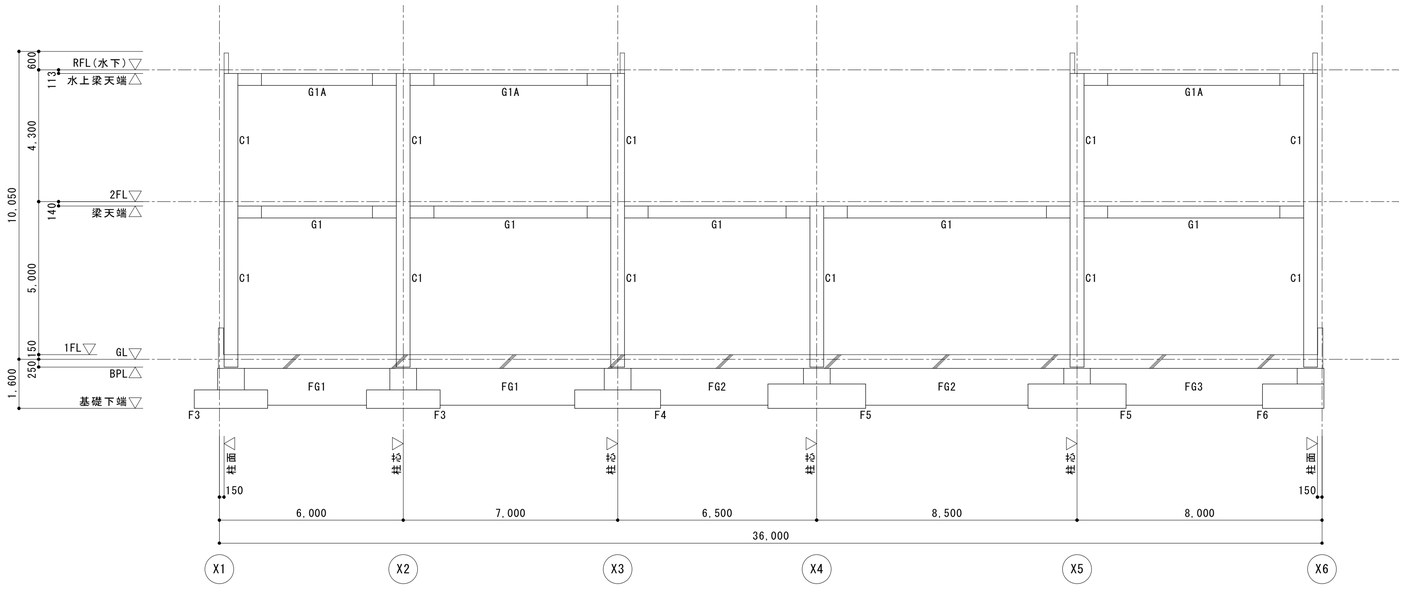
DRAWING	R階梁伏図	SCALE	A1 1:100、1:30 A3 1:200、1:60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	S-19



Y1通り軸組図　S=1:100



Y2通り-2,500軸組図　S=1:100



Y2通り軸組図　S=1:100

※ 開口補強材は軸組図に特記なき限りa:L-65×65×6とする

開口補強材リスト

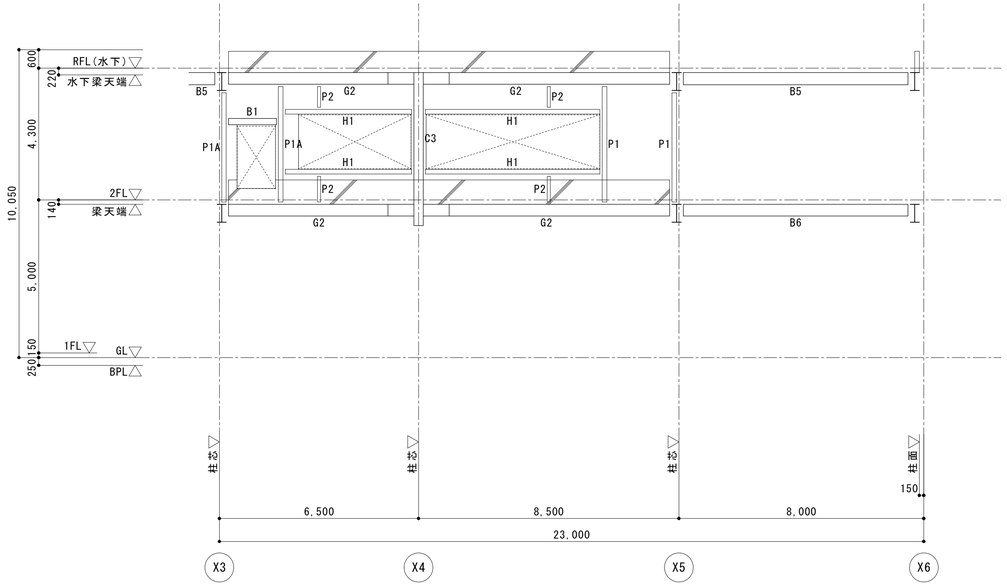
開口補強材は外壁工事とする
ﾎﾞﾙﾄはｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾜｯｼｬｰ付(SW付)とする

符　号	部　　材	仕口（溶接でも可とする）
a	L-65×65×6	G.ℝ-6 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
b	L-75×75×6	G.ℝ-6 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
c	L-75×75×9	G.ℝ-6 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
d	L-90×90×7	G.ℝ-6 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
e	L-90×90×10	G.ℝ-6 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
f	□-100×100×2.3	2.ℝ-4.5 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
g	□-100×100×6	2.ℝ-4.5 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12

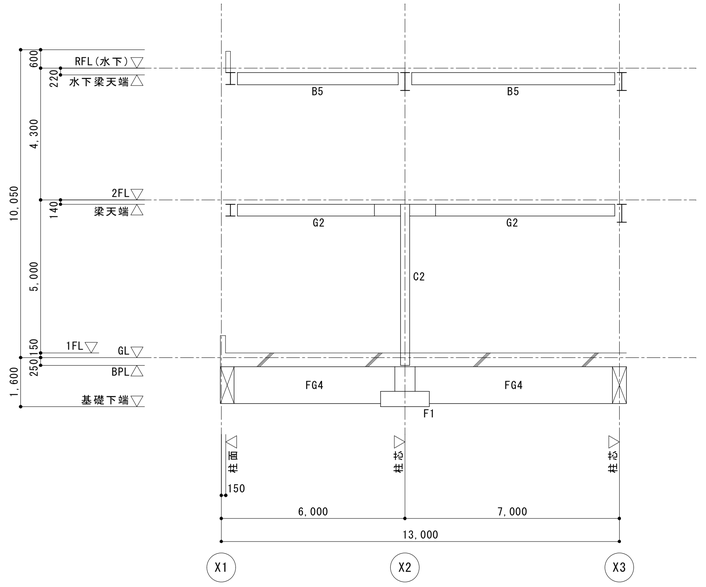
特記なき限り下記とする
1. 大梁継手位置：柱芯より 1,000
2. ▽Jは、柱芯からのジョイント位置を示す

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

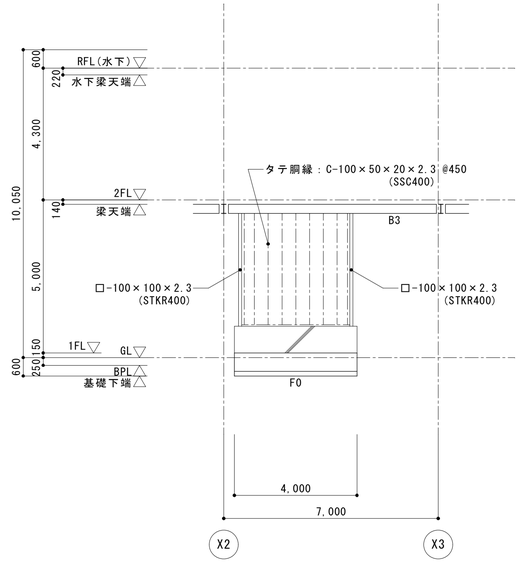
DRAWING	軸組図（1）	SCALE	A1 1:100　A3 1:200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男			DRAWING No. S-20



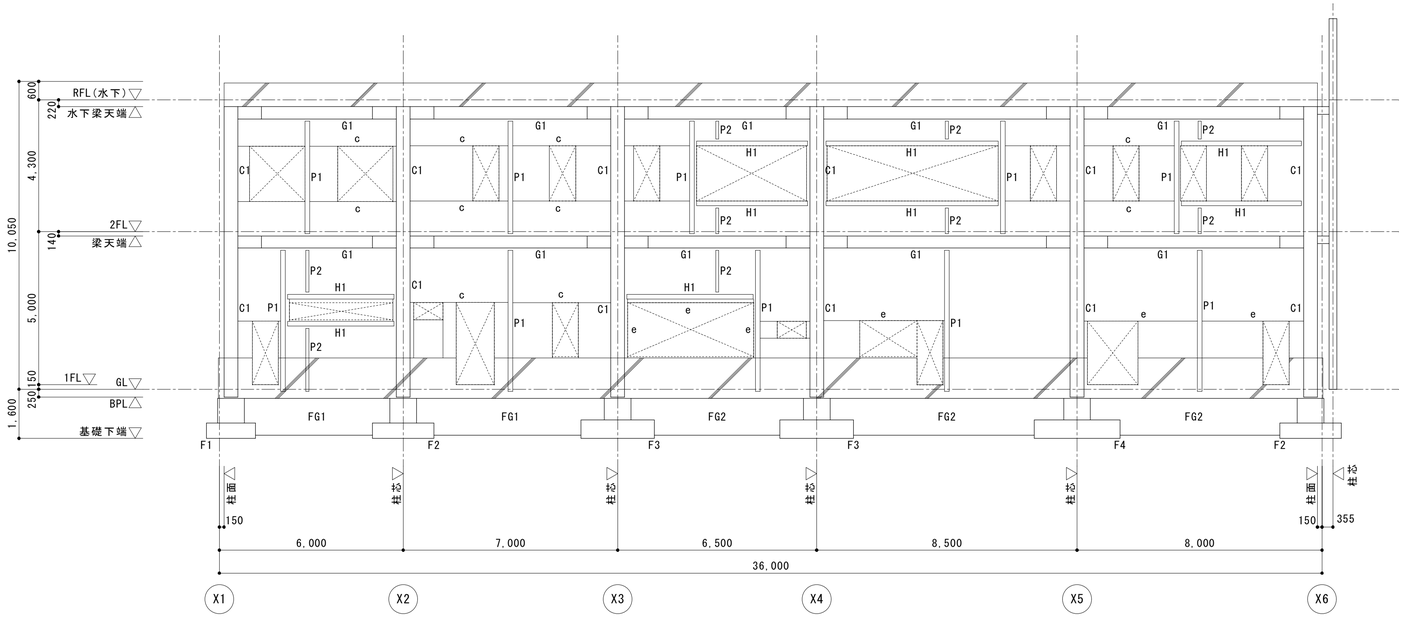
Y2A通り軸組図　S=1:100



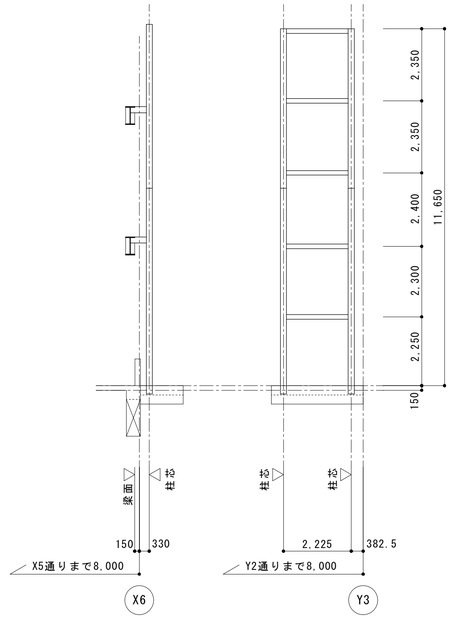
Y2B通り軸組図　S=1:100



Y3+2,000通り軸組図　S=1:100



Y3通り軸組図　S=1:100



ホースリフター軸組図　S=1:100

詳細はホースリフターの図面による

※ 開口補強材は軸組図に特記なき限りa:L-65×65×6とする

開口補強材リスト

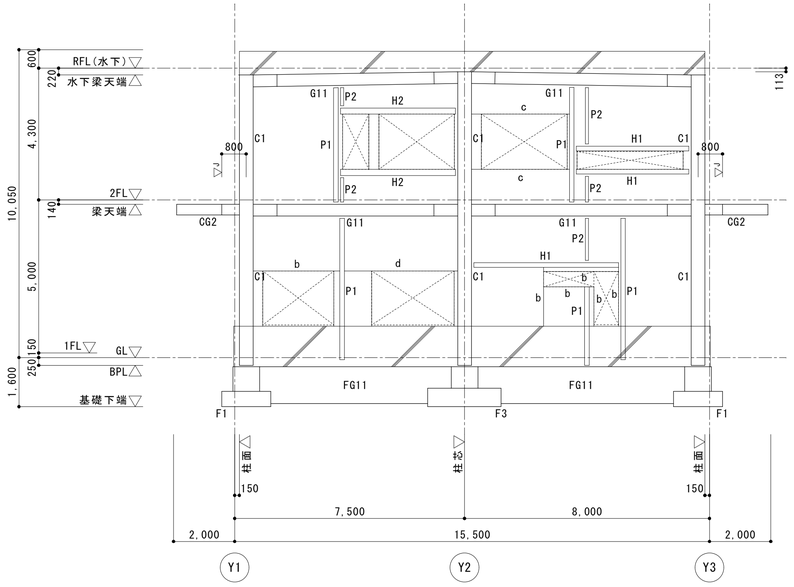
開口補強材は外壁工事とする
中ﾎﾞﾙﾄはｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾜｯｼｬｰ付(SW付)とする

符　号	部　材	仕口（溶接でも可とする）
a	L-65×65×6	G.PL-6 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
b	L-75×75×6	G.PL-6 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
c	L-75×75×9	G.PL-6 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
d	L-90×90×7	G.PL-6 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
e	L-90×90×10	G.PL-6 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
f	□-100×100×2.3	2.PL-4.5 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12

特記なき限り下記とする
1.大梁継手位置：柱芯より 1,000
2.▽Jは、柱芯からのジョイント位置を示す

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	軸組図（２）	SCALE	A1 1:100　A3 1:200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	S-21

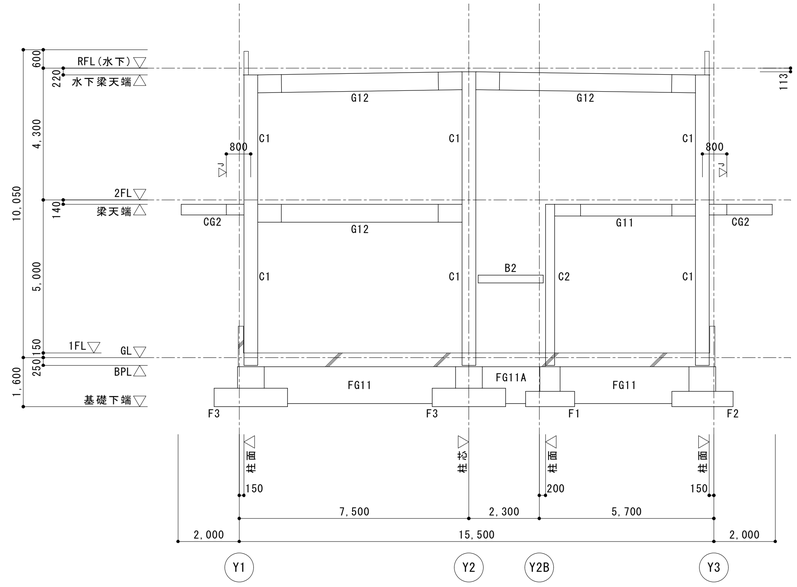


X1通り軸組図　S=1:100

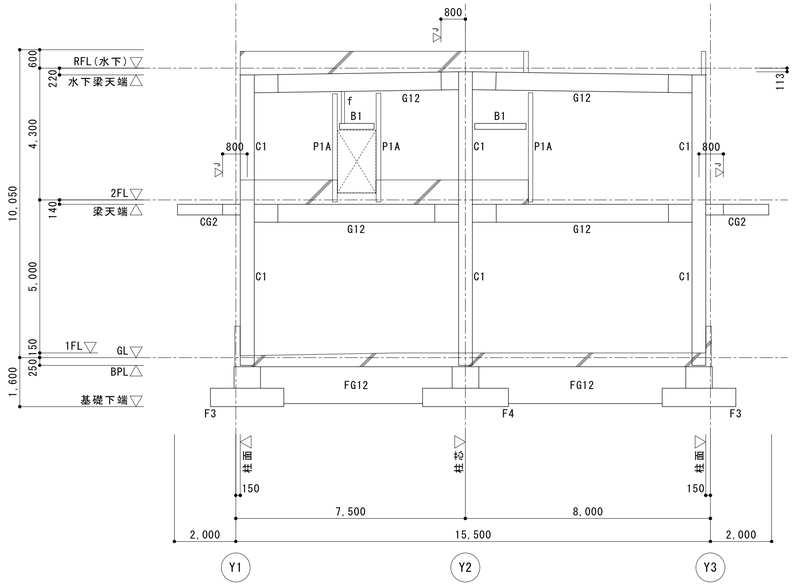
※ 開口補強材は軸組図に特記なき限りa:L-65×65×6とする

開口補強材リスト　開口補強材は外壁工事とする
中ﾎﾞﾙﾄはｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾜｯｼｬｰ付(SW付)とする

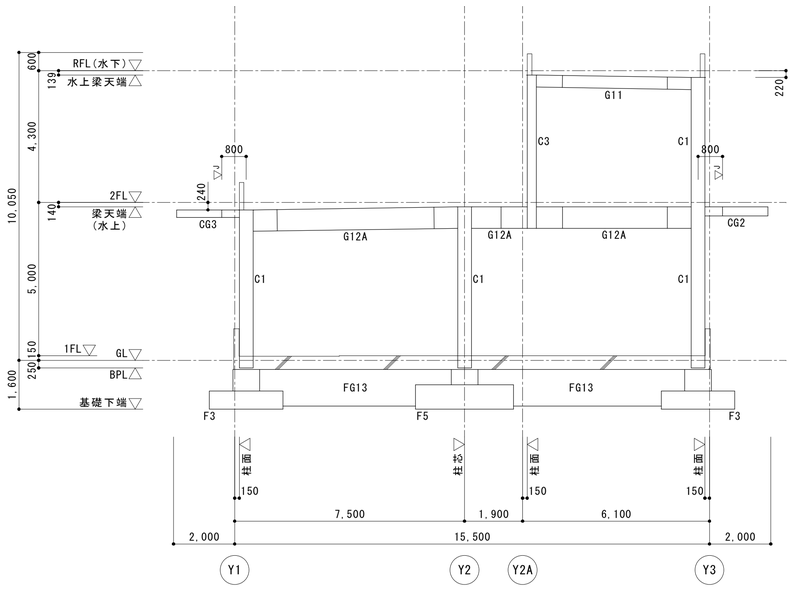
符　号	部　　材	仕口（溶接でも可とする）
a	L-65×65×6	G.ﾛｰ6 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
b	L-75×75×6	G.ﾛｰ6 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
c	L-75×75×9	G.ﾛｰ6 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
d	L-90×90×7	G.ﾛｰ6 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
e	L-90×90×10	G.ﾛｰ6 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12
f	□-100×100×2.3	2.ﾛｰ4.5 中ﾎﾞﾙﾄ 2-M12



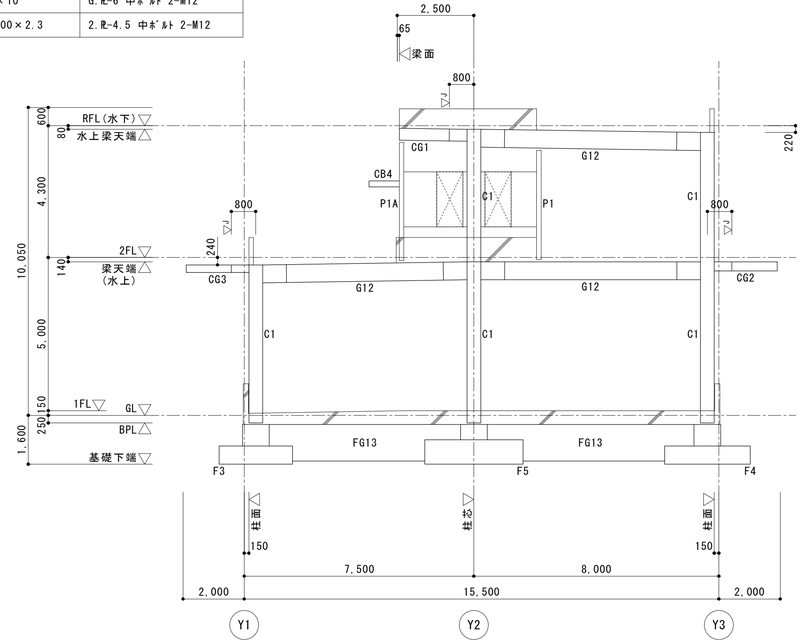
X2通り軸組図　S=1:100



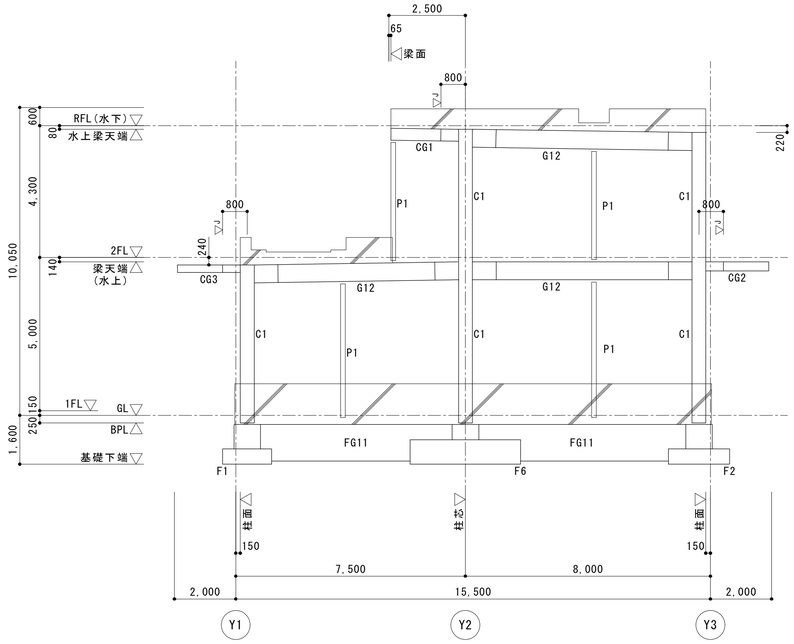
X3通り軸組図　S=1:100



X4通り軸組図　S=1:100



X5通り軸組図　S=1:100



X6通り軸組図　S=1:100

特記なき限り下記とする
1. 大梁継手位置：柱芯より 1,000
2. ▽Jは、柱芯からのジョイント位置を示す

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	軸組図（３）	SCALE	A1 1:100　A3 1:200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	S-22

柱リスト

鉄骨材料:BCR295

符　号	Ｃ１	有効細長比 X/Y	Lk(cm)	iy(cm)	λ	Ｃ２	有効細長比 X/Y	Lk(cm)	iy(cm)	λ
２　階	□－450×450×16	X方向	866.0	17.56	49.4	－	X方向	－	－	－
		Y方向	596.5	17.56	34.0		Y方向	－	－	－
１　階	□－450×450×19	X方向	636.7	17.40	36.6	□－300×300×16	X方向	566.1	11.43	49.6
		Y方向	540.6	17.40	31.0		Y方向	555.3	11.43	48.6
柱　脚	ﾊｲﾍﾟｰﾝNEO：EB450-8-36 柱　型：870×870					ﾊｲﾍﾟｰﾝNEO：EB300-4-30 柱　型：660×660				

符　号	Ｃ３	有効細長比 X/Y	Lk(cm)	iy(cm)	λ
２　階	□－300×300×16	X方向	560.6	11.43	49.1
		Y方向	476.4	11.43	41.7
１　階	－	X方向	－	－	－
		Y方向	－	－	－
柱　脚	－				

大梁リスト

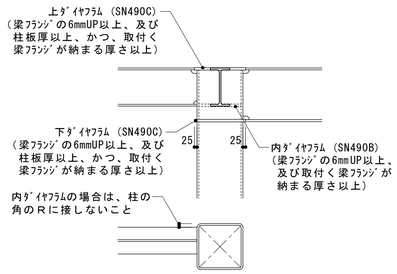
鉄骨材料:SN400B

符　号	Ｇ１	Ｇ１Ａ	Ｇ２
Ｒ　階	Ｈ－400×200×8×13	Ｈ－390×300×10×16	Ｈ－390×300×10×16
２　階	Ｈ－390×300×10×16	－	Ｈ－390×300×10×16

符　号	Ｇ１１	Ｇ１２	Ｇ１２Ａ
Ｒ　階	Ｈ－390×300×10×16	Ｈ－588×300×12×20	－
２　階	Ｈ－390×300×10×16	Ｈ－588×300×12×20	Ｈ－700×300×13×24

ダイヤフラム厚

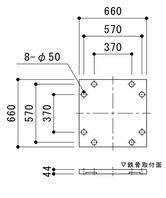
※ スカーラップは、改良スカーラップとする



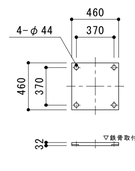
柱脚リスト（１）　S=1:30

Ｃ１	ＥＢ４５０－８－３６	Ｃ２	ＥＢ３００－４－３０

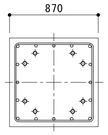
ベースプレート詳細図



ベースプレート詳細図

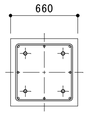


柱脚詳細例

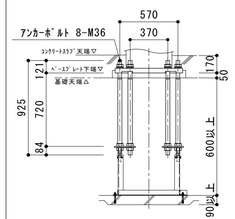


Ⅰゾーン

柱脚詳細例

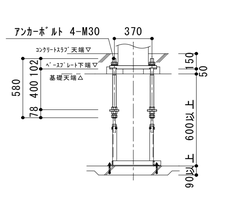


Ⅰゾーン



Ⅰゾーン

柱サイズ	□450(板厚:22mm)
アンカーボルト	8 － M36
柱形	□ 870
主筋(材質)	16-D25(SD345)
帯筋（材質）	□ D13@100(SD295)
鉄筋の定着長さ	520



Ⅰゾーン

柱サイズ	□300(板厚:16mm)
アンカーボルト	4 － M30
柱形	□ 660
主筋(材質)	8-D19(SD345)
帯筋（材質）	□ D13@150(SD295)
鉄筋の定着長さ	270

鉄骨部材リスト（１）

特記外
H.T.B S10T
G.R. SN400B　　中ボルトはスプリングワッシャー付(SW付)とする

符　号	断　面	使用材料	継　手（ピン接合）	備　考
Ｂ１	Ｈ－200×100×5.5×8	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
Ｂ２	Ｈ－250×125×6×9	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
Ｂ２Ａ	Ｈ－250×125×6×9	SN400B		剛接合は梁剛接ジョイントリスト参照 ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
Ｂ３	Ｈ－300×150×6.5×9	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
Ｂ４	Ｈ－350×175×7×11	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
Ｂ５	Ｈ－400×200×8×13	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
Ｂ６	Ｈ－390×300×10×16	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
Ｂ７	Ｈ－300×150×6.5×9	SN400B		剛接合は梁剛接ジョイントリスト参照 ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
Ｂ８	BH－250×200×9×12	SN400B		剛接合は梁剛接ジョイントリスト参照 ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
Ｖ１	Ｈ－200×100×5.5×8	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
ＣＧ１	Ｈ－390×300×10×16	SN400B		剛接合は梁剛接ジョイントリスト参照
ＣＧ２	Ｈ－300×150×6.5×9	SN400B		剛接合は梁剛接ジョイントリスト参照
ＣＧ３	BH－250×200×9×12	SN400B		剛接合は梁剛接ジョイントリスト参照
ＣＢ１	Ｈ－300×150×6.5×9	SN400B		剛接合は梁剛接ジョイントリスト参照
ＣＢ２	BH－250×200×9×12	SN400B		剛接合は梁剛接ジョイントリスト参照
ＣＢ３	Ｈ－250×125×6×9	SN400B		剛接合は梁剛接ジョイントリスト参照
ＣＢ４	Ｈ－200×100×5.5×8	SN400B		剛接合は梁剛接ジョイントリスト参照
Ｐ１	Ｈ－150×150×7×10	SN400A		柱脚は柱脚リスト参照 ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
Ｐ１Ａ	Ｈ－150×150×7×10	SN400B		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
Ｐ２	Ｈ－100×100×6×8	SN400A		柱脚は柱脚リスト参照 ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
Ｈ１	Ｈ－150×150×7×10(ヨコ遣い)	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
庇母屋	Ｃ－100×50×20×2.3	SSC400	R－6（SS400）　中ﾎﾞﾙﾄ 2－M12	
内部鉄骨階段	ササラ桁：R-16×300	SS400	G.R- 12　HTB 2-M20	
	踏　　板：R-6	SS400		
	踊り場根太：L-75×75×6 @300	SS400	G.R- 6　HTB 2-M16	

ターンバックルブレース継手規準図

ターンバックルブレース　　(JIS規格品とする・・・JIS A 5540 … 2008 / 5541 … 2008)

羽子板ボルト



ねじの呼び（d）			M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d1	最　大		10.83	12.66	14.66	16.33	18.33	20.33	22.00
	最　小		10.59	12.41	14.41	16.07	18.07	20.07	21.69
調整ねじの長さ		S	100	115	125	140	150	165	175
取付けボルト穴径 許容差 ＋0、－0.5 mm		R	17.0	17.0	17.0	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき（最小）	(2)	e1	40	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき（最小）	(1) e2	28	28	28	34	34	38	38
	板　厚	t	6	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき（最小）	(1) e2	25.0	25.0	25.0	32.5	32.5	37.5	37.5
	板　厚	t	6	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴芯のあき（最小）		e3	52	52	59	66	66	73	70
溶接長さ（最小）		W	40	50	55	60	75	85	85
(2) 取付ボルト	種　類		JIS B 1186　２種高力ボルト（F10T）（3）						
	ねじの呼び		M16	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本　数		1	1	1	1	1	1	2

[注]（1）e1、e2が確保されていれば形状は自由でよい。
（2）羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断（支圧）接合とする。
（3）溶融亜鉛めっき製品では、JIS B 1186 に規定する　１種 F8TA に準じるものを使用する。

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	鉄骨部材リスト（１）	SCALE A1 1:30 A3 1:60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. S－23

梁剛接ジョイントリスト　S=1:30

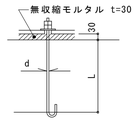
特記なき限り
1．スプライスプレート：SN400B とする
2．ボルト(HTB)：S10T とする

断　面		H－390 × 300 × 10 × 16		H－588 × 300 × 12 × 20		H－700 × 300 × 13 × 24		H－400 × 200 × 8 × 13	
継　手		RG1A、RG2、RG11 2G1、2G2、2G11 CG1		RG12、2G12		2G12A		RG1	
FLG. HTB	外	1PL-12×300×440	HTB 8-M20	1PL-12×300×440	HTB 8-M22	1PL-19×300×530	HTB 10-M22	1PL- 9×200×410	HTB 6-M20
	内	2PL-12×110×440		2PL-16×110×440		2PL-19×110×530		2PL- 9× 80×410	
WEB. HTB		2PL- 9×260×170	HTB 4-M20	2PL- 9×440×170	HTB 7-M22	2PL- 9×560×170	HTB 9-M22	2PL- 9×260×170	HTB 4-M20

断　面		H－300 × 150 × 6.5 × 9		BH－250 × 200 × 9 × 12		H－250 × 125 × 6 × 9	
継　手		CG2、CB1、B7		CG3、CB2、B8		B2A	
FLG. HTB	外	1PL- 9×150×290	HTB 4-M16	1PL- 9×200×410	HTB 6-M20	1PL-12×125×410	HTB 6-M16
	内	2PL- 9× 60×290		2PL- 9× 80×410		—	
WEB. HTB		2PL- 6×200×170	HTB 3-M16	2PL- 9×170×290	HTB 4-M20	2PL- 6×170×290	HTB 4-M16

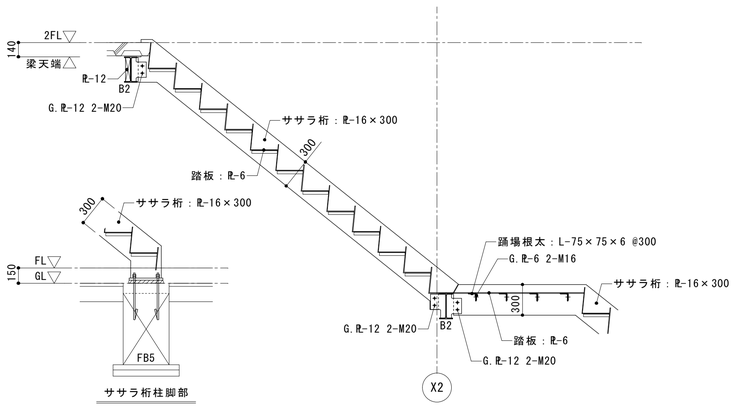
柱脚リスト（２）　S=1:30

P1	H－150 × 150 × 7 × 10	P2	H－100 × 100 × 6 × 8	鉄骨階段	R－16 × 300
B.R- 16 × 180 × 180 (SN400B)		B.R－12 × 130 × 150 (SN400B)		B.R－19 × 100 × 330 (SN400B)	
A.BOLT 2 － M16 (SS400)		A.BOLT 2 － M16 (SS400)		A.BOLT 2 － M16 (SS400)	
L = 400		L = 400		L = 400	



アンカーボルト　二重ナット
フック付き

鉄骨階段詳細図　S=1:30



ササラ桁柱脚部

鉄骨部材ピン接合継手リスト　S=1/30

特記なき限り
1．ガセットプレート：SN400B とする
2．ボルト(HTB)：S10T とする

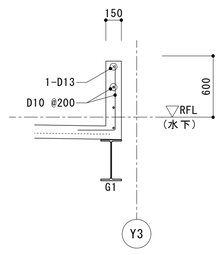
部　材	H－200 × 100 × 5.5 × 8	H－250 × 125 × 6 × 9	H－300 × 150 × 6.5 × 9	H－350 × 175 × 7 × 11	H－400 × 200 × 8 × 13	H－390 × 300 × 10 × 16
継　手	B1	B2	B3	B4	B5	B6
ピン接合継手	G.R－ 6 2－M16	G.R－ 9 3－M16	G.R－ 9 3－M20	G.R－ 9 3－M20	G.R－ 9 4－M20	G.R－12 4－M20
備　考						

部　材	H－200 × 100 × 5.5 × 8		H－150 × 150 × 7 × 10	H－100 × 100 × 6 × 8		H－150 × 150 × 7 × 10
継　手	V1 大梁付端 小梁付端		P1	P2		H1 ヨコ遣い
ピン接合継手	大梁付端：G.R－6 4－M20		G.R－ 9 2－M20	G.R－ 6 2－M16		G.R－ 9 2－M20
備　考	小梁付端：G.R－6 2－M20					

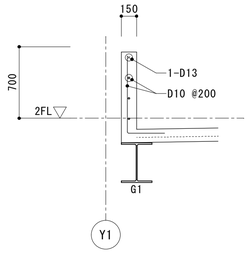
部　材	H－390 × 300 × 10 × 16	H－250 × 125 × 6 × 9	H－300 × 150 × 6.5 × 9	BH－250 × 200 × 9 × 12		H－150 × 150 × 7 × 10
継　手	RG2 2G1、2G2	B2A	B7	B8		P1A
ピン接合継手	G.R－12 4－M20	G.R－ 9 3－M16	G.R－ 9 3－M20	G.R－ 9 3－M16		G.R－ 9 2－M20
備　考						

雑配筋図　S=1:30

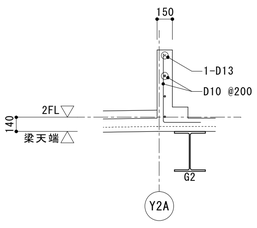
R階パラペット配筋詳細図



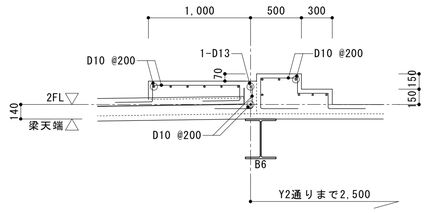
２階パラペット配筋詳細図



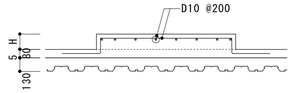
２階立上り壁配筋詳細図



２階ＲＣ階段配筋詳細図

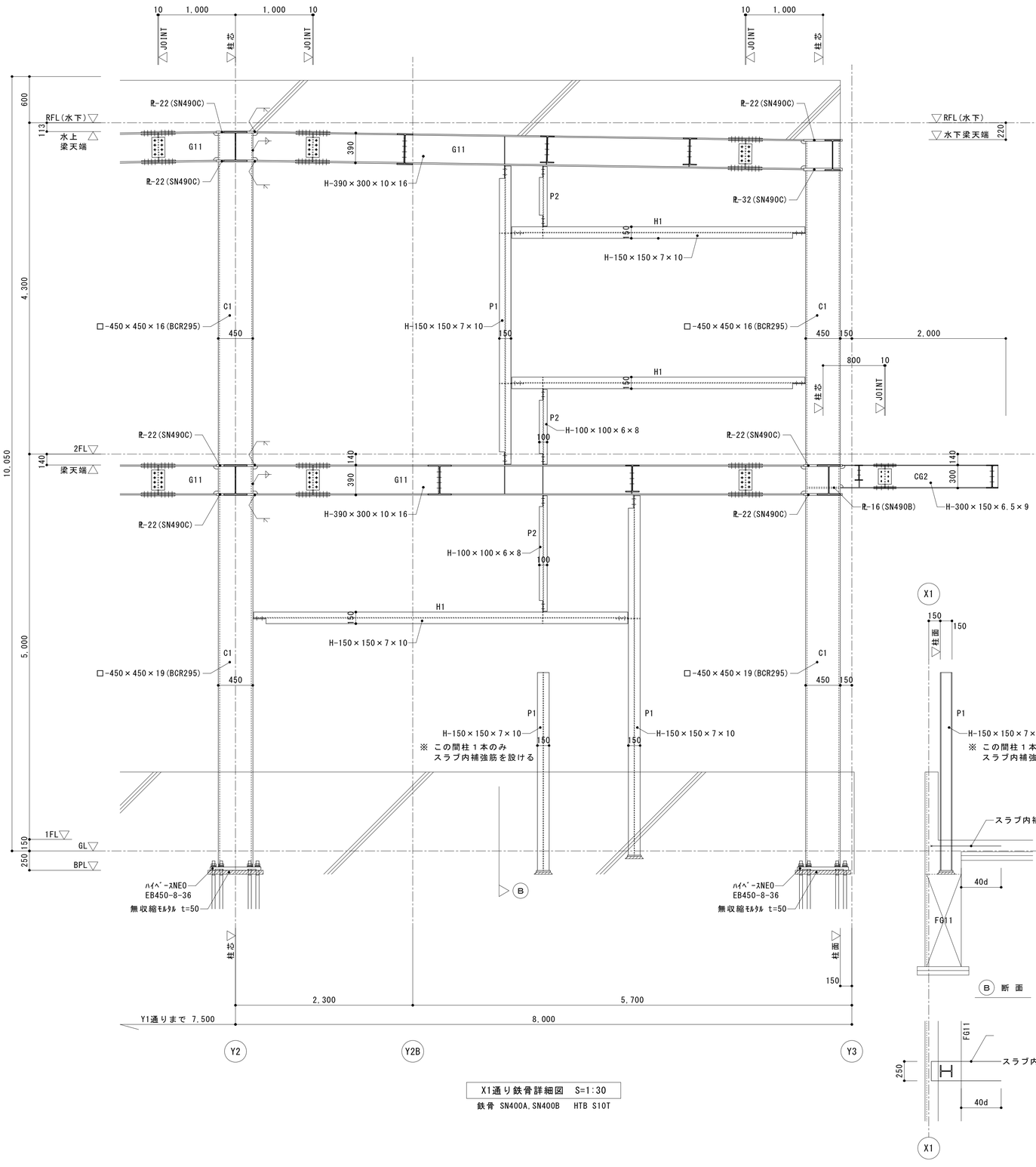


屋外機基礎配筋詳細図



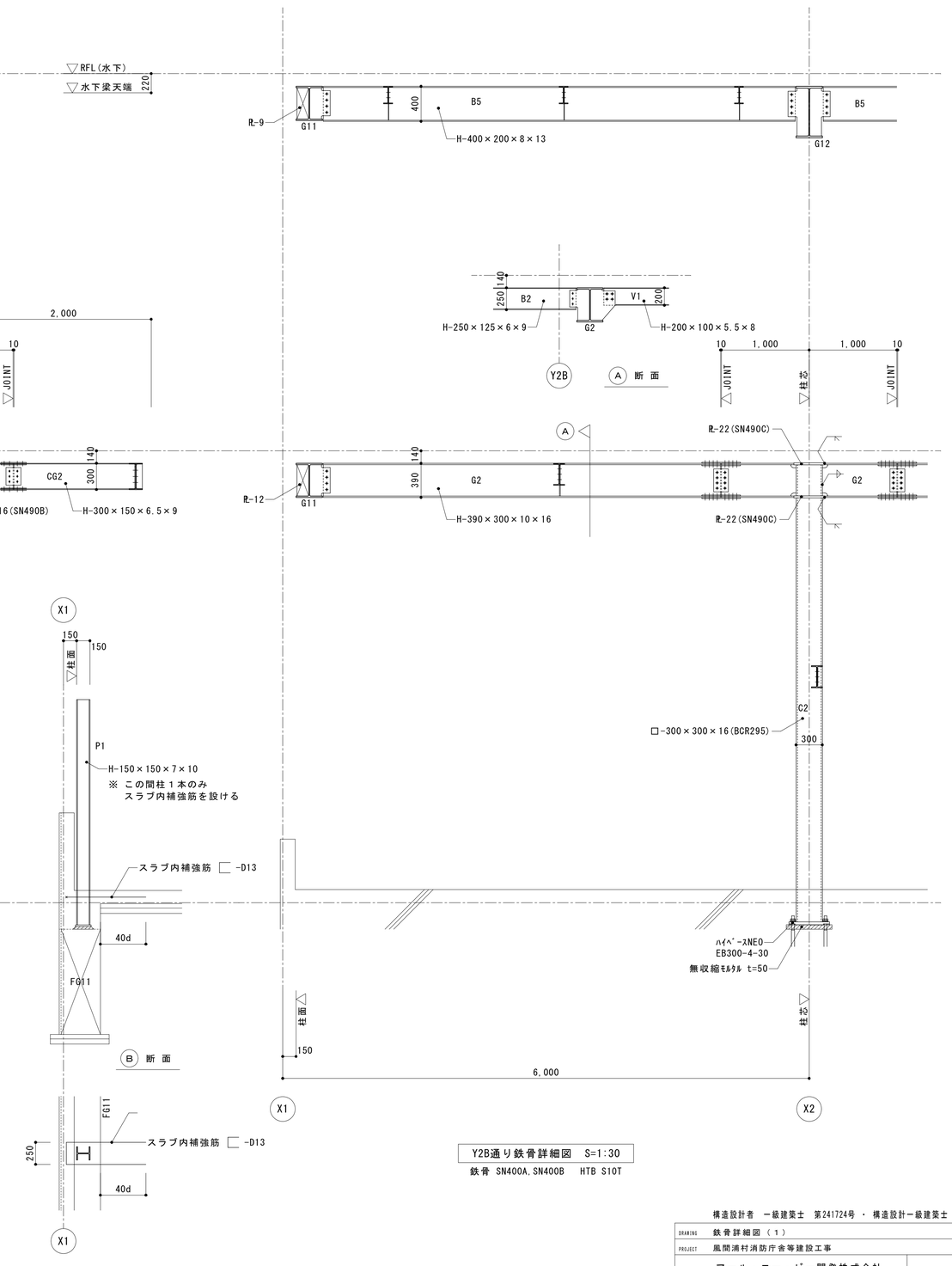
構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	鉄骨部材リスト（２）	SCALE	A1 1:30 A3 1:60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	S－24



X1通り鉄骨詳細図　S=1:30

鉄骨 SN400A,SN400B　HTB S10T

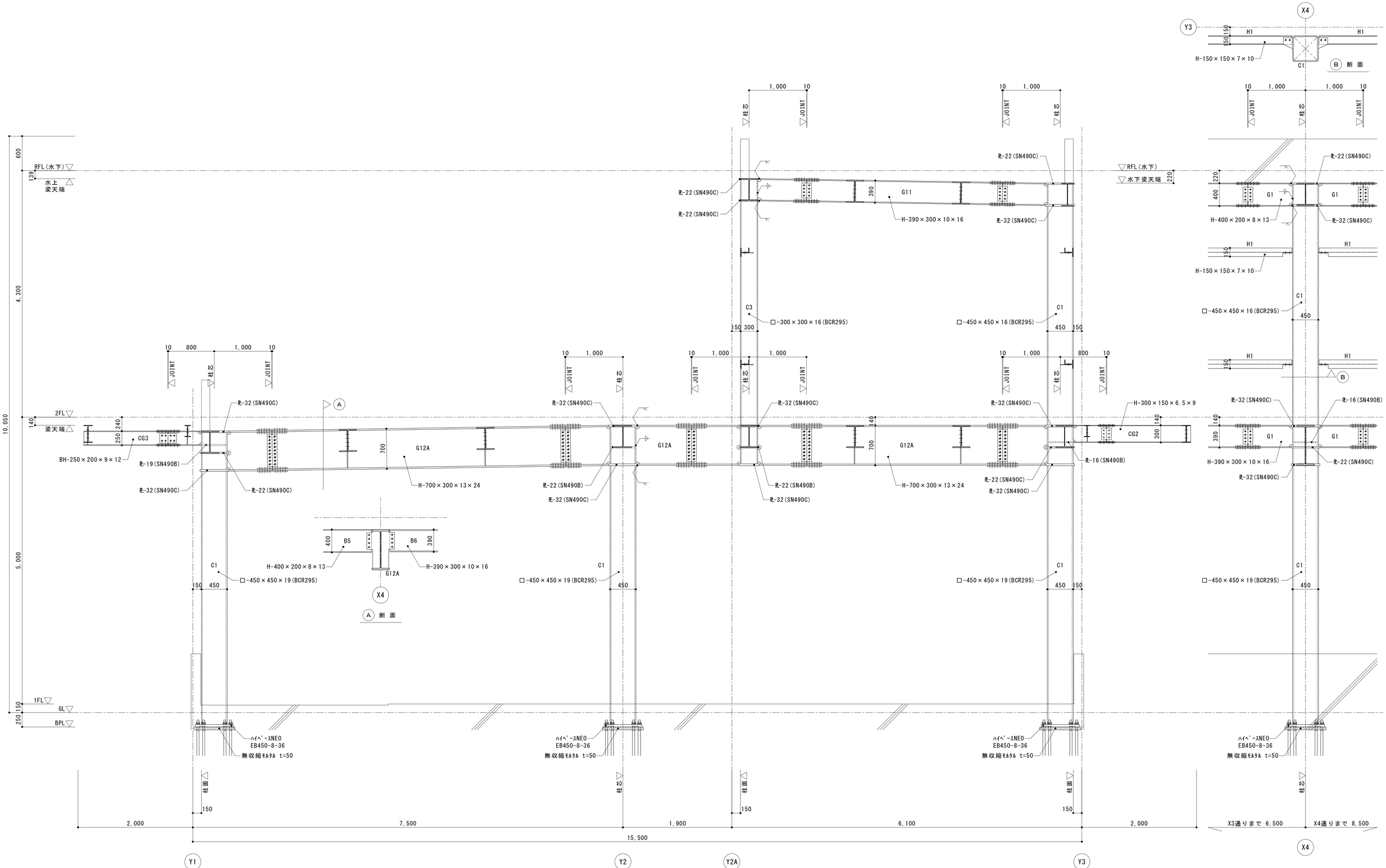


Y2B通り鉄骨詳細図　S=1:30

鉄骨 SN400A,SN400B　HTB S10T

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	鉄骨詳細図（１）	SCALE	A1 1:30 A3 1:60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	S-25



X4通り鉄骨詳細図 S=1:30

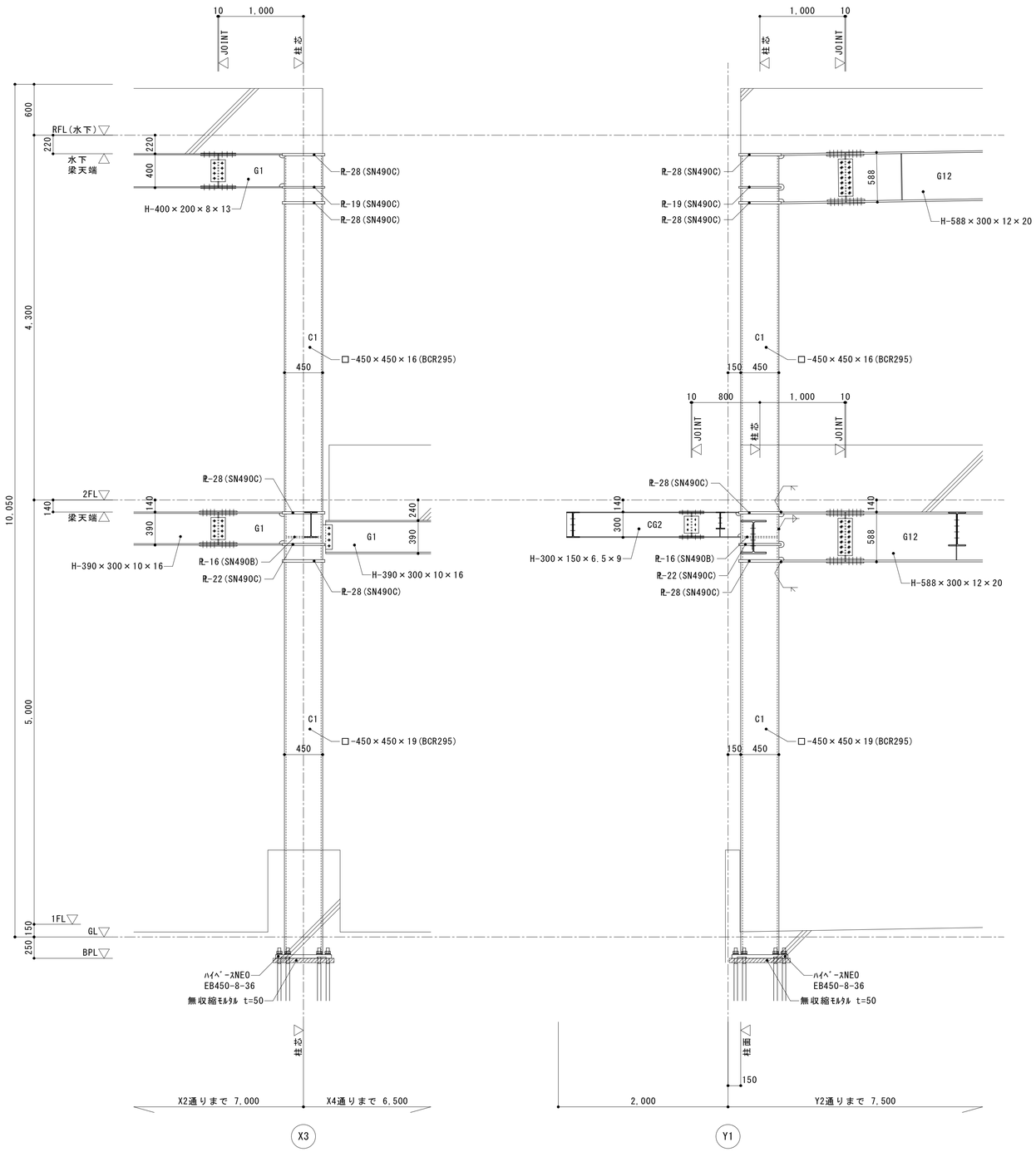
鉄骨 SN400A,SN400B HTB S10T

Y3通り鉄骨詳細図 S=1:30

鉄骨 SN400A,SN400B HTB S10T

構造設計者 一級建築士 第241724号 ・ 構造設計一級建築士 第467号 小野 芳美

DRAWING	鉄骨詳細図（２）	SCALE	A1 1:30 A3 1:60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No.	S-26

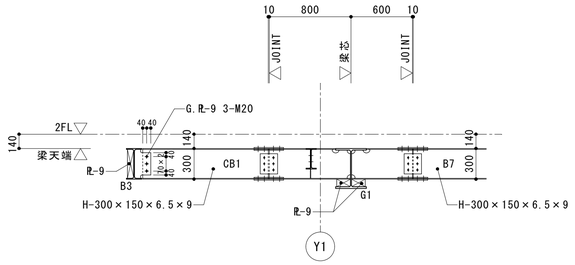


Y1通り鉄骨詳細図　S=1:30

鉄骨 SN400A,SN400B　HTB S10T

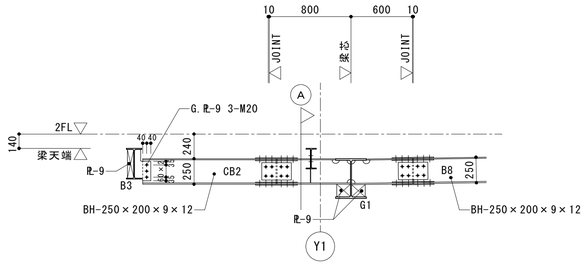
X3通り鉄骨詳細図　S=1:30

鉄骨 SN400A,SN400B　HTB S10T



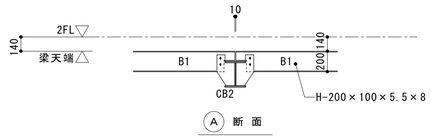
G1・CB1・B7取合い図　S=1:30

鉄骨 SN400A,SN400B　HTB S10T



G1・CB2・B8取合い図　S=1:30

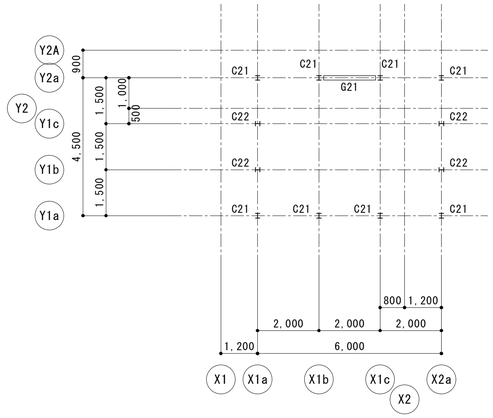
鉄骨 SN400A,SN400B　HTB S10T



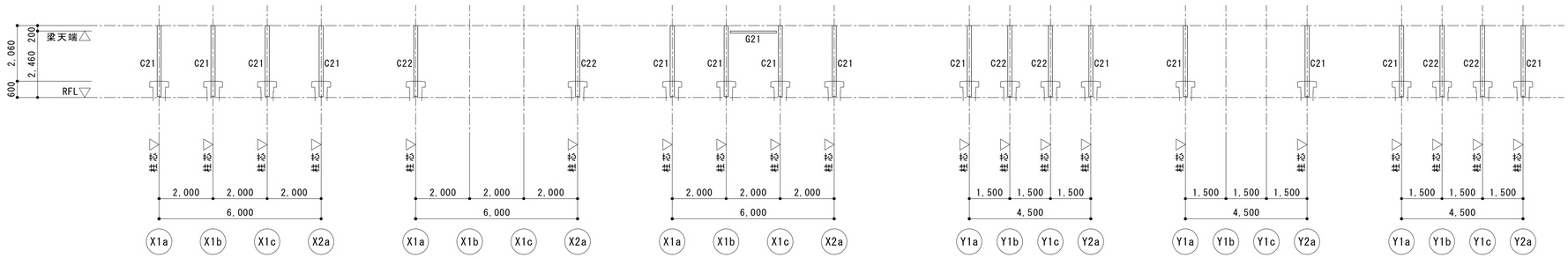
A 断面

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	鉄骨詳細図（３）	SCALE A1 1:30 A3 1:60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. S-27



R階+2,460梁伏図　S=1:100



Y1a通り軸組図　S=1:100

Y1b,Y1c通り軸組図　S=1:100

Y2a通り軸組図　S=1:100

X1a通り軸組図　S=1:100

X1b,X1c通り軸組図　S=1:100

X2a通り軸組図　S=1:100

鉄骨部材リスト

特記なき限り
H.T.B　F8T
G.R　SS400

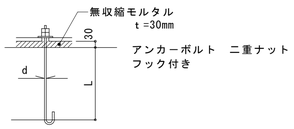
全て、溶融亜鉛メッキ仕上げとする

符　号	断　面	使用材料	継　手（ピン接合）	備　考
C21	H－150 × 150 × 7 × 10	SS400		柱脚は柱脚リスト参照
C22	H－150 × 150 × 7 × 10	SS400		柱脚は柱脚リスト参照
G21	[－150 × 75 × 6.5 × 10	SS400		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照

柱脚リスト　S=1:30

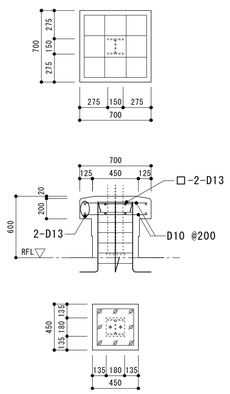
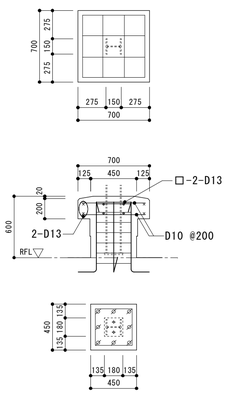
アンカーボルト 二重ナット フック付き

C21	H－150 × 150 × 7 × 10	C22	H－150 × 150 × 7 × 10
B.PL－16 × 180 × 180（SS400）		B.PL－16 × 180 × 180（SS400）	
A.BOLT　2－M16（SS400）		A.BOLT　2－M16（SS400）	
L = 400		L = 400	



アンカーボルト　二重ナット
フック付き

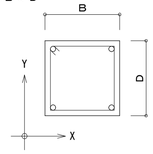
柱型リスト　S=1:30

符　号	C21	C22
断　面 (Fc=21N/mm²)		
B × D	450 × 450	450 × 450
主　筋	8－D16	8－D16
フープ	□－D10　@100	□－D10　@100
備　考	四隅の主筋頂部にフックを設ける事	四隅の主筋頂部にフックを設ける事

特　記　事　項

特記なき限り下記による

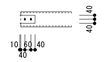
1. B × D



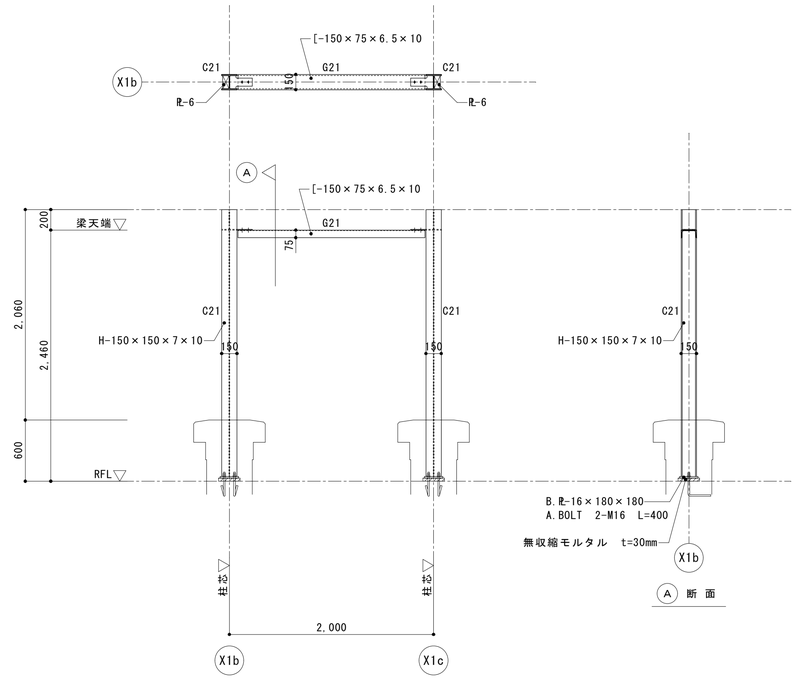
鉄筋記号

- ・　D10
- ×　D13
- ø　D16

鉄骨部材ピン接合継手リスト　S=1:30

部　材	[－150 × 75 × 6.5 × 10
継　手	G21 
ピン接合継手	G.PL－6　2－M16
備　考	

特記なき限り
1．ガセットプレート：SS400とする
2．ボルト(HTB)：F8Tとする
3．溶融亜鉛メッキ仕上げとする

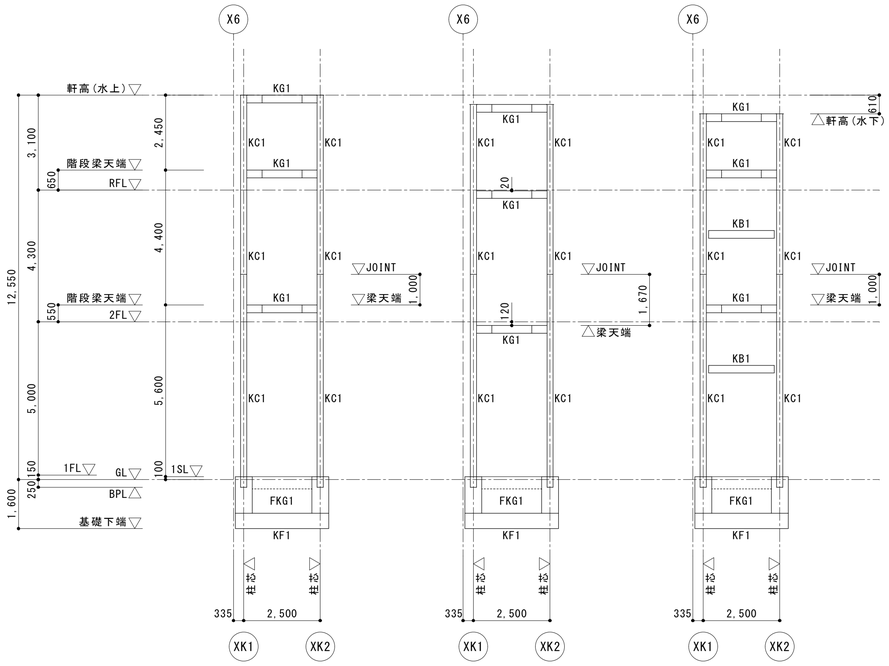


Y2a通り鉄骨詳細図　S=1:30

鉄骨　SS400　HTB F8T
溶融亜鉛メッキ仕上げ

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

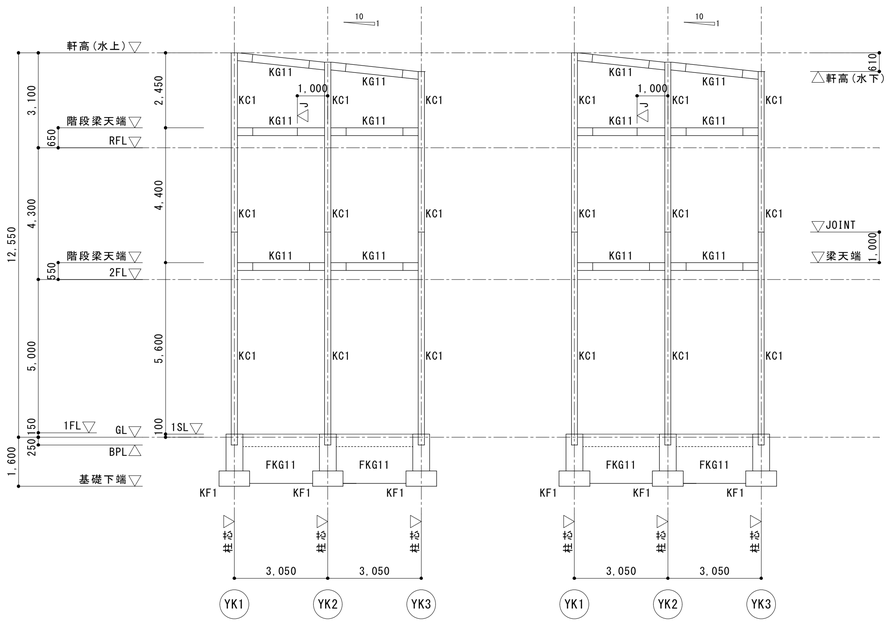
DRAWING	屋上空調機器置場構造図	SCALE A1 1:100, 1:30 A3 1:200, 1:60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No. S－28



YK1通り軸組図　S=1:100

YK2通り軸組図　S=1:100

YK3通り軸組図　S=1:100



XK1通り軸組図　S=1:100

XK2通り軸組図　S=1:100

特記なき限り下記とする
1. 大梁継手位置：柱芯より 600
2. ▽Jは、柱芯からのジョイント位置を示す

柱リスト

鉄骨材料:BCR295
全て、溶融亜鉛メッキ仕上げとする

符　号	ＫＣ１	有効細長比			
		X/Y	Lk(cm)	iy(cm)	λ
３　階	□－200×200×9	X方向	308.3	7.71	40.0
		Y方向	274.4	7.71	35.7
２　階	□－200×200×9	X方向	624.6	7.71	81.1
		Y方向	557.7	7.71	72.4
１　階	□－200×200×12	X方向	636.0	7.55	84.3
		Y方向	603.6	7.55	80.0
柱　脚	ﾊｲﾍﾞｰｽNEO：EB200-4-24 柱　型：550×550				

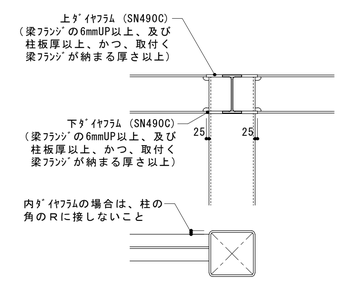
大梁リスト

鉄骨材料:SN400B
全て、溶融亜鉛メッキ仕上げとする

符　号	ＫＧ１	ＫＧ１１
Ｒ　階	Ｈ－250×125×6×9	Ｈ－250×125×6×9
３　階	Ｈ－250×125×6×9	Ｈ－250×125×6×9
２　階	Ｈ－250×125×6×9	Ｈ－250×125×6×9

ダイヤフラム厚

※ スカーラップは、改良スカーラップとする



鉄骨部材リスト

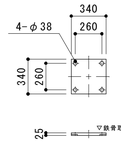
特記なき限り
H.T.B　F8T
G.ﾎﾞﾙ　SN400B　　全て、溶融亜鉛メッキ仕上げとする

符　号	断　面	使用材料	継　手（ピン接合）	備　考
ＫＢ１	Ｈ－250 × 125 × 6 × 9	SN400A		ピン接合は鉄骨部材ピン接合継手リスト参照
鉄骨階段	ササラ桁：[-250×50×4.5	SS400	G.ﾎﾞﾙ- 6　HTB 2-M20	
	踏　　面：縞鋼板　t=4.5	SS400		
	踊り場根太：L-65×65×6@300	SS400	G.ﾎﾞﾙ- 6　HTB 2-M16	

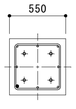
柱脚リスト（１）　S=1:30

ＫＣ１	ＥＢ２００－４－２４

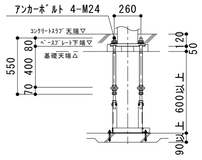
ベースプレート詳細図



柱脚詳細例



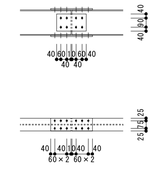
Ⅰゾーン



Ⅰゾーン

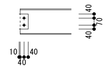
柱サイズ	□200(板厚:12mm)
アンカーボルト	4 - M24
柱形	□ 550
主筋(材質)	8-D16(SD295)
帯筋（材質）	□ D13@150(SD295)
鉄筋の定着長さ	190

梁剛接ジョイントリスト　S=1:30

断　面	Ｈ－ 250 × 125 × 6 × 9	
	ＫＧ１、ＫＧ１１	
継　手		
ＦＬＧ，ＨＴＢ　外	1PL-12×125×410	HTB　6-M16
ＦＬＧ，ＨＴＢ　内	－	
ＷＥＢ，ＨＴＢ	2PL- 6×170×290	HTB　4-M16

特記なき限り
１．スプライスプレート：SN400B とする
２．ボルト(HTB)：F8T とする
３．溶融亜鉛メッキ仕上げとする

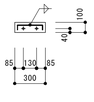
鉄骨部材ピン接合継手リスト　S=1:30

部　材	Ｈ－ 250 × 125 × 6 × 9
	ＫＢ１
継　手	
ピン接合継手	G.ﾎﾞﾙ－　6　2 - M20
備　考	

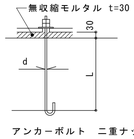
特記なき限り
１．ガセットプレート：SN400B とする
２．ボルト(HTB)：F8T とする
３．溶融亜鉛メッキ仕上げとする

柱脚リスト（２）　S=1:30

屋外階段	[- 250 × 50 × 4.5



B.ﾎﾞﾙ - 16 × 100 × 300 (SN400B)
A.BOLT　2 - M16 (SS400)
L = 400

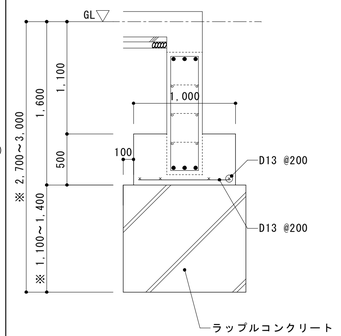


アンカーボルト　二重ナット
フック付き

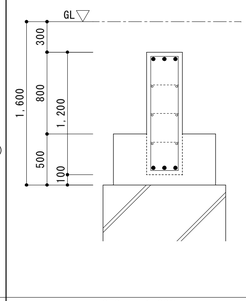
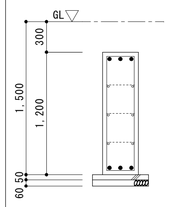
構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	屋外階段構造図（１）	SCALE	A1 1:100, 1:30 A3 1:200, 1:60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. S－29

布基礎リスト　S=1:30

符　号	ＫＦ１
断　面 (Fc=24N/mm²)	

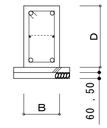
地中梁リスト　S=1:30

符　号	ＦＫＧ１	ＦＫＧ１１
位　置	全 断 面	全 断 面
断　面 (Fc=24N/mm²)		
Ｂ × Ｄ	350 × 1,200	350 × 1,200
上 端 筋	3 - D19	3 - D19
下 端 筋	3 - D19	3 - D19
ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ	□ - D13 @200	□ - D13 @200
腹　筋	6 - D10	6 - D10

共 通 事 項

特記なき限り下記による

1. Ｂ×Ｄ



2. 巾止め筋は、D10 @1,000とする

鉄筋記号

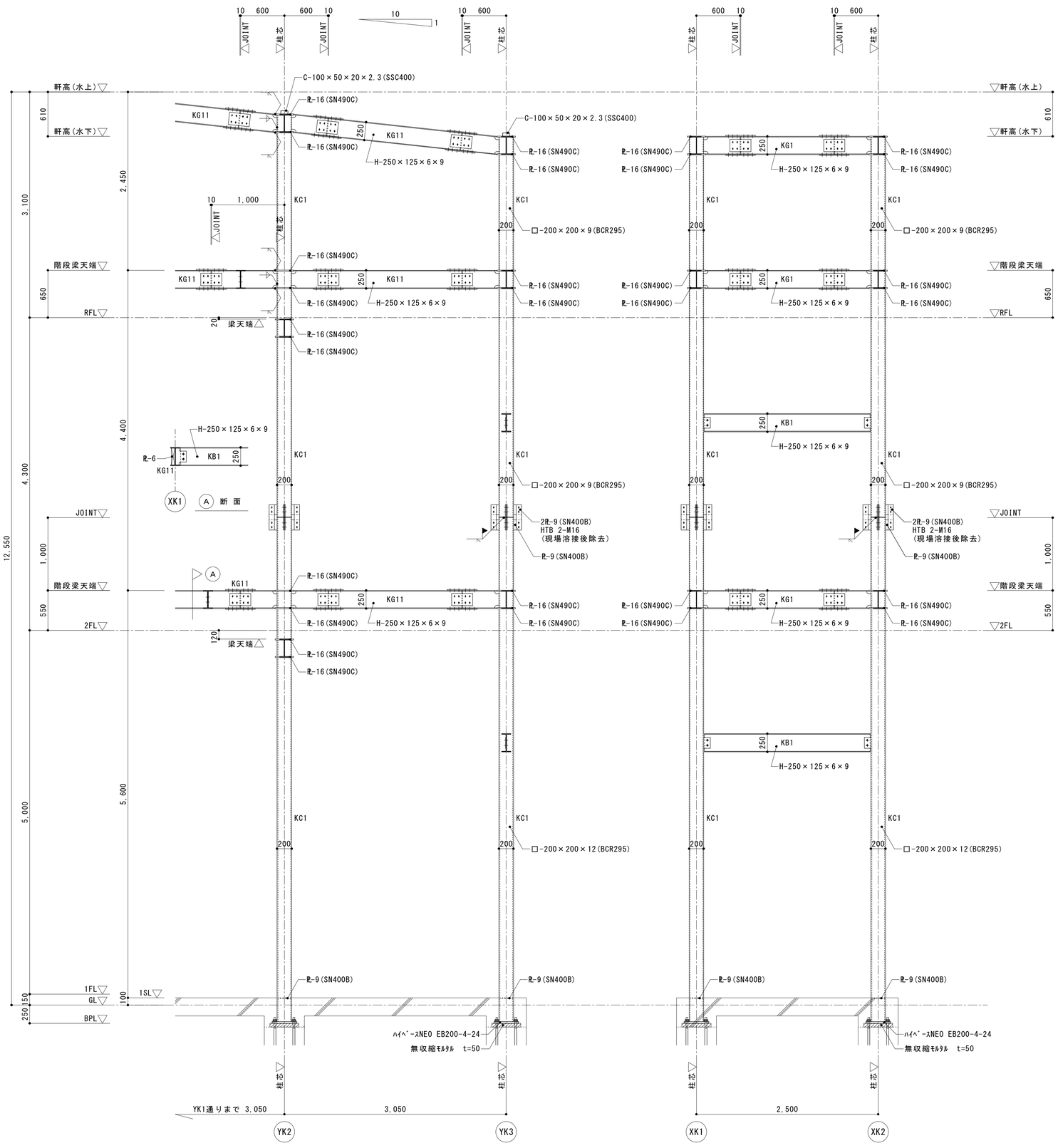
- Ｄ１９

スラブリスト

スラブ配筋リスト　（モチアミ）					
符　号	スラブ厚	位　置	短辺方向（主筋）	長辺方向（配力筋）	備　考
			全　域	全　域	
ＫＳ１	t = 250	上端筋	D13 @200	D13 @200	Fc=24N/mm²
		下端筋	D13 @200	D13 @200	捨ｺﾝt=50, 砕石t=60

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	屋外階段構造図（２）	SCALE　A1 1:30　A3 1:60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No. S-30

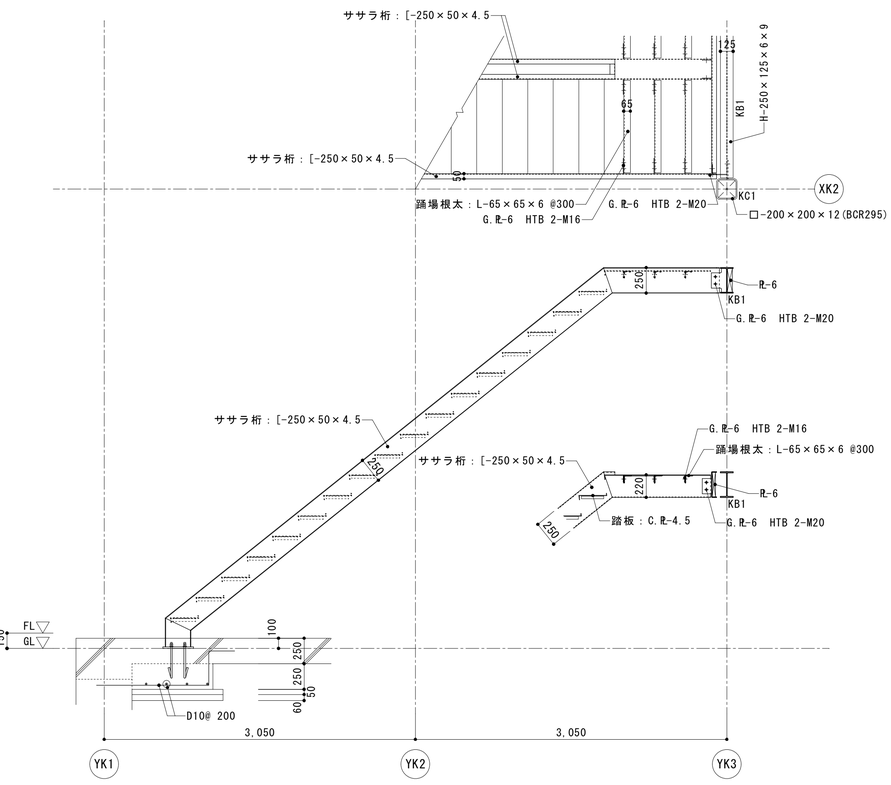


XK1通り鉄骨詳細図 S=1:30

鉄骨 SN400A,SN400B HTB F8T
※ 溶融亜鉛メッキ仕上げとする

YK3通り鉄骨詳細図 S=1:30

鉄骨 SN400A,SN400B HTB F8T
※ 溶融亜鉛メッキ仕上げとする



屋外階段詳細図 S=1:30

鉄骨 SS400,SN400A,SN400B HTB F8T
※ 溶融亜鉛メッキ仕上げとする

構造設計者 一級建築士 第241724号 ・ 構造設計一級建築士 第467号 小野 芳美

DRAWING	屋外階段構造図（３）	SCALE	A1 1:30 A3 1:60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No.	S-31

ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 風公共委第1号役場庁舎整備事業調査設計業務委託

事業名 または 工事名 役場庁舎整備事業

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリングNo

シートNo

ボーリング名	R4-No.1	調査位置	青森県下北郡風間浦村大字易国間地内			北緯	41° 29' 31.41"
発注機関	風間浦村	調査期間	2023年 1月 13日 ～ 2023年 1月 14日			東経	140° 59' 9.59"
調査業者名	株式会社みちのく計画 電話（017-765-1311）	主任技師	菊池郁夫 地質調査技士登録番号：	現場代理人	千葉正堯 地質調査技士登録番号：第23981号 / コア鑑定者 千葉正堯 地質調査技士登録番号：第23981号	ボーリング責任者	沢谷幸博 地質調査技士登録番号：第13927号
孔口標高	T.P 25.86m	角度	180° 上 90° 下 0° / 方向 北0° 270°西 90°東 180°南 / 地盤勾配 水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機	東邦製 D-1	
総掘進長	10.00m				エンジン	ヤンマー製 NFD-12	ポンプ カノ製 V-6型

標高(m)	深度(m)	現場土質名	色調	相対稠度	記事	孔内水位(m)/測定月日
24.31	1.55	火山灰質粘性土	褐灰		火山灰質粘性土からなり粘性強い。・0.00～0.20mは有機質で草根混入する。	01/13 1.10
22.46	3.40	玉石混じり砂礫	暗灰		玉石混じり砂礫からなる。所々玉石を挟む。礫は硬質でφ10～20mmの角礫、砂は粗砂主体。・1.70～2.00m、2.80～3.00mには玉石を挟む。	
15.86	10.00	凝灰岩	暗灰		風化した粗粒凝灰岩からなる。特に4.60mまでは強風化で粘土化・礫状を呈する。・4.60～5.00mはL=10～27cmの棒状コアで採取。・5.15～6.00mはL=18～33cmの棒状コアで採取。・6.06～7.00mはL=35～56cmの棒状コアで採取。・7.05～8.00mはL=6cmの片状、L=15～35cmの棒状コアで採取。・8.05～9.00mはL=6cmの片状、L=17～28cmの棒状コアで採取。・9.00～10.00mはL=12～31cmの棒状コアで採取。深度5m以深はハンマー数打で割れる程度の固結度。	

深度(m)	0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	N値
1.15～1.45	3	5	6	14/300		14
2.15～2.45	11	16	19	46/300		46
3.15～3.39	13	25	12/40	50/240	240	63
4.15～4.45	9	13	21	43/300		43
5.10～5.15	50/50			50/50	50	300
6.00～6.06	50/60			50/60	60	250
7.00～7.05	50/50			50/50	50	300
8.00～8.05	50/50			50/50	50	300
9.00～9.00	50/0			50/0		
10.00～10.00	50/0			50/0		

設計GL 726 600

削孔月日 1/13 1/14

ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 風公共委第3号役場庁舎整備事業調査業務委託

事業名 または 工事名 役場庁舎整備事業

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリングNo

シートNo

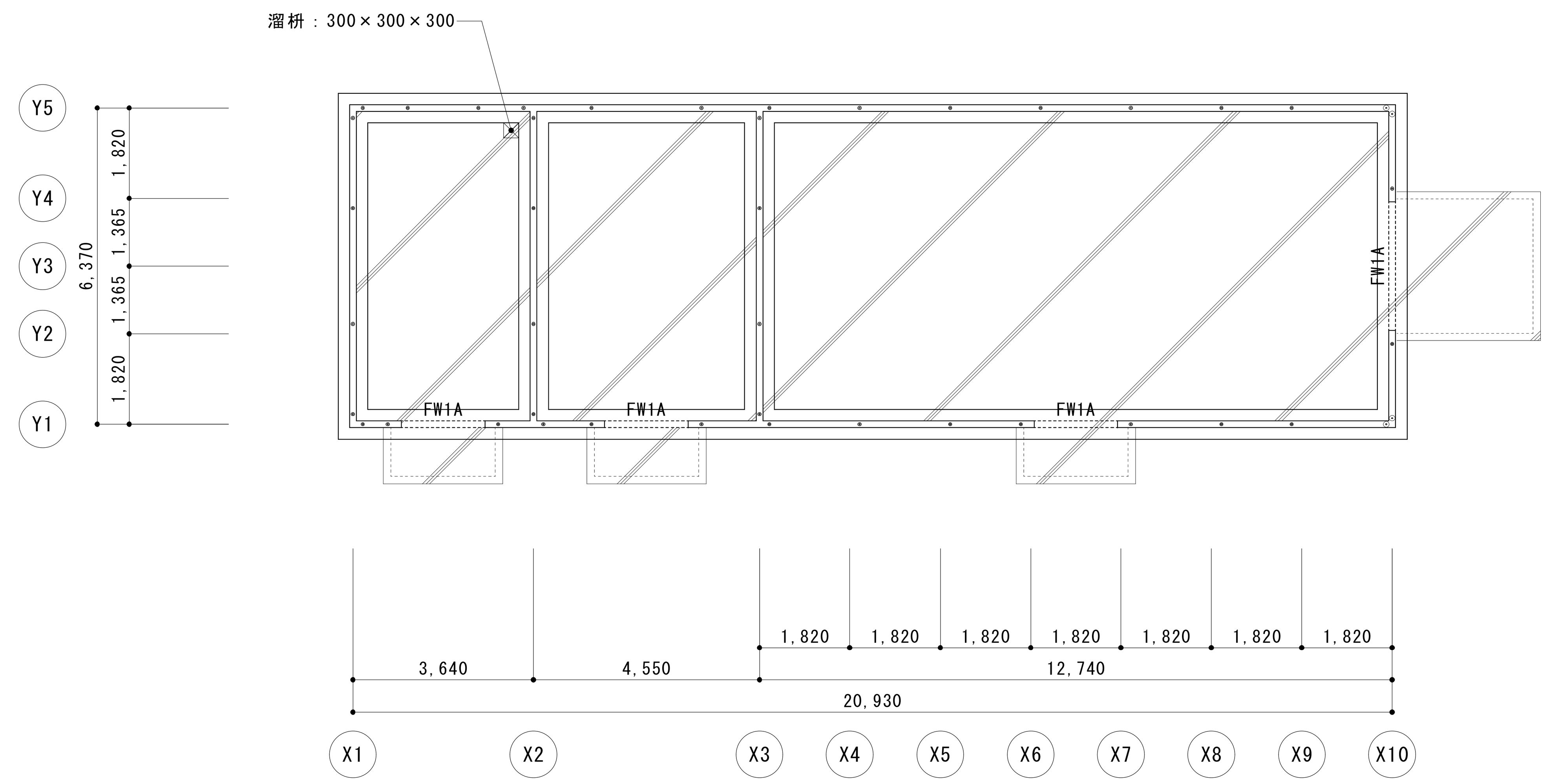
ボーリング名	R5-No.1	調査位置	青森県下北郡風間浦村大字易国間地内			北緯	41° 29' 31.39"
発注機関	風間浦村	調査期間	2023年 10月 7日 ～ 2023年 10月 9日			東経	140° 59' 8.99"
調査業者名	株式会社みちのく計画 電話（017-765-1311）	主任技師	千葉正堯 地質調査技士登録番号：第23981号	現場代理人	千葉正堯 地質調査技士登録番号：第23981号 / コア鑑定者 千葉正堯 地質調査技士登録番号：第23981号	ボーリング責任者	沢谷幸博 地質調査技士登録番号：第13927号
孔口標高	T.P 25.75m	角度	180° 上 90° 下 0° / 方向 北0° 270°西 90°東 180°南 / 地盤勾配 水平0° 鉛直90°	使用機種	試錐機	東邦製 D-1	
総掘進長	7.00m				エンジン	ヤンマー製 NFD-12	ポンプ カノ製 V-6型

標高(m)	深度(m)	現場土質名	色調	相対密度/稠度	記事	孔内水位(m)/測定月日
24.05	1.70	礫混じり火山灰質粘性土	褐灰	rc5	含水は低い。φ10～20mm位の礫を点在する火山灰質粘性土主体。・0.00～0.15mには草根を混入する。	10/07 1.00
22.75	3.00	玉石混じり砂礫	暗灰	rd5	φ30～50mmの亜角礫を主体とし、火山灰質砂からなる。・2.80～3.00mにはφ10cm以上の玉石を挟む。	
18.75	7.00	凝灰岩	暗灰		風化した凝灰岩からなる。・3.28～4.00mは強風化し、L=10cm未満の片状コアで指で押すと崩れる。・4.09～5.00mはL=12～53cmの棒状コアで採取。・5.05～6.00mはL=7cm、L=19～72cmの棒状コアで採取。・L=6.00～7.00mはL=11～40cmの棒状コアで採取。最上部を除き、コアはハンマーで数打で割れる程度の固結度である。	

深度(m)	0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	N値
1.15～1.45	12	11	13	36/300		36
2.15～2.27	40	10/20		50/120	120	125
3.15～3.28	24	26/300		50/130	130	115
4.05～4.09	50/40			50/40	40	375
5.00～5.05	50/50			50/50	50	300
6.00～6.00	50/0			50/0		
7.00～7.00	50/0			50/0		

設計GL 836 600

削孔月日 10/7 10/9



基礎伏図 S=1:100

・設計用地耐力：Fe=70kN/㎡（長期）
・施工にあたって、地盤の転圧は十分に行うこと

特記外事項

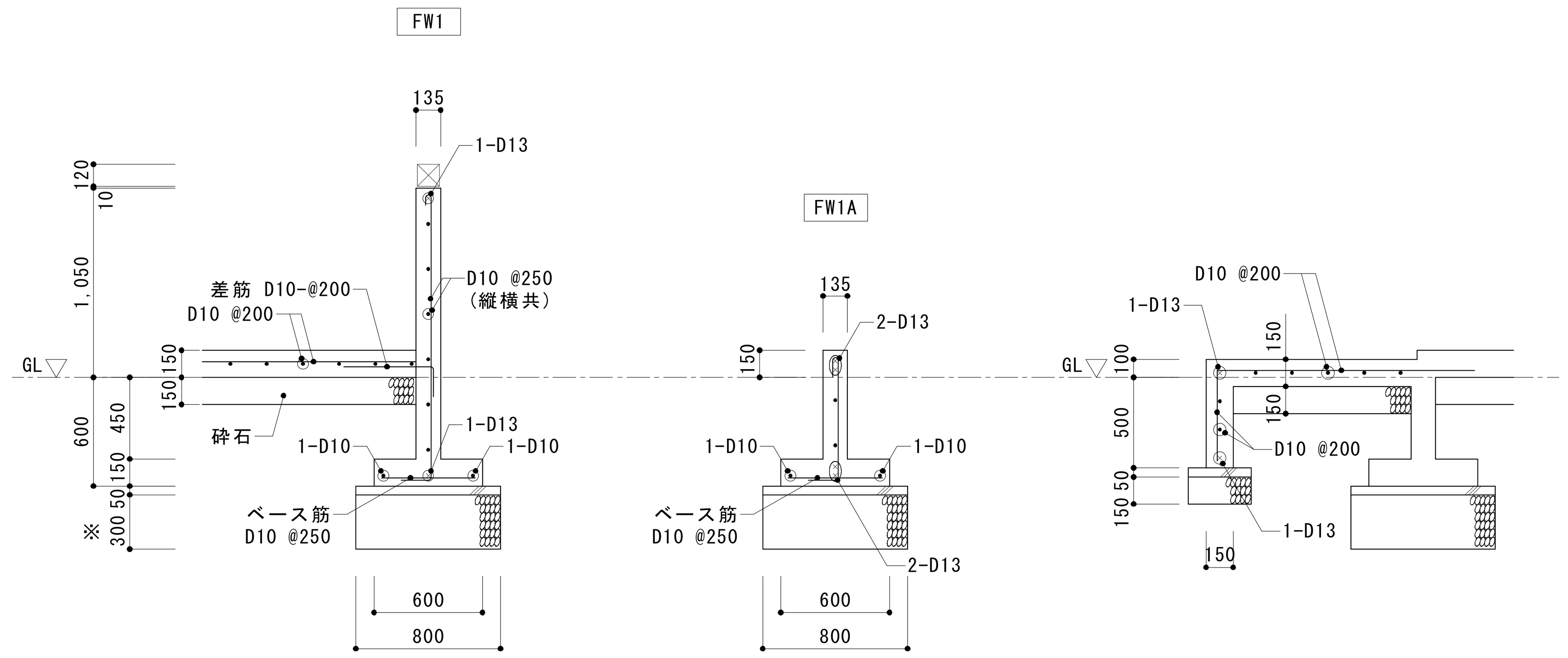
1. ：FW1 フーチング付布基礎 W=135
2. ：土間コンクリート t＝１５０
3. ◎ ：ホールダウン金物 M16
4. ・ ：アンカーボルト M12

設計図書に記されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「木造建築工事標準仕様書」及び同監修「鉄筋コンクリート構造配筋要領」による

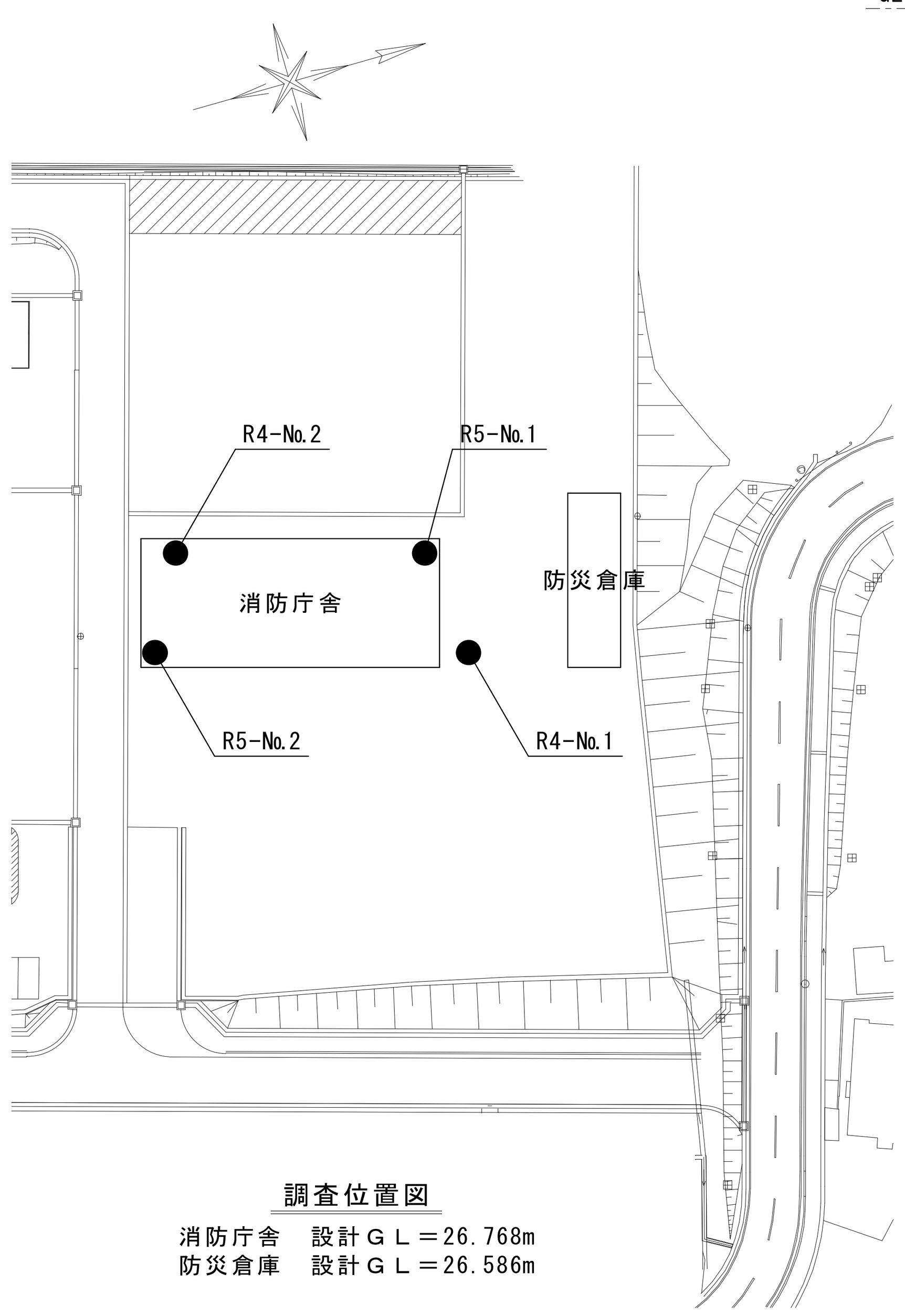
Ⅰ 使用材料	
基礎コンクリート	ＦＣ＝２１Ｎ／ｍｍ^2 （ＳＬ＝１５）
土間コンクリート	ＦＣ＝２１Ｎ／ｍｍ^2 （ＳＬ＝１５）
捨てコンクリート	ＦＣ＝１８Ｎ／ｍｍ^2 （ＳＬ＝１５）
鉄筋	ＳＤ２９５Ａ(重ね継手40d、コーナー40d)
砕石(基礎・土間下)	再生砕石（ＲＣ－４０～０） ソイルコンパクター又はランマーにて十分締め固める
アンカーボルト	Ｍ１２ Ｌ＝４００ 品質:亜鉛メッキ処理 JIS B 1180 埋込み長さ:250mm

アンカーボルトの設置位置
・筋違いを設けた耐力壁の部分は、その両端の柱の下部にそれぞれ近隣下位置に柱から20ｃｍ程度の位置に設けること
・土台切れの箇所、土台継手及び土台仕口箇所の上木端部に設けること
・上記以外部分においては、間隔2.73m以内に設けること
・配置取付けは、墨出しをし精度良くｺﾝｸﾘｰﾄ打設前に、予め固定しておくこと

基礎リスト S=1:30

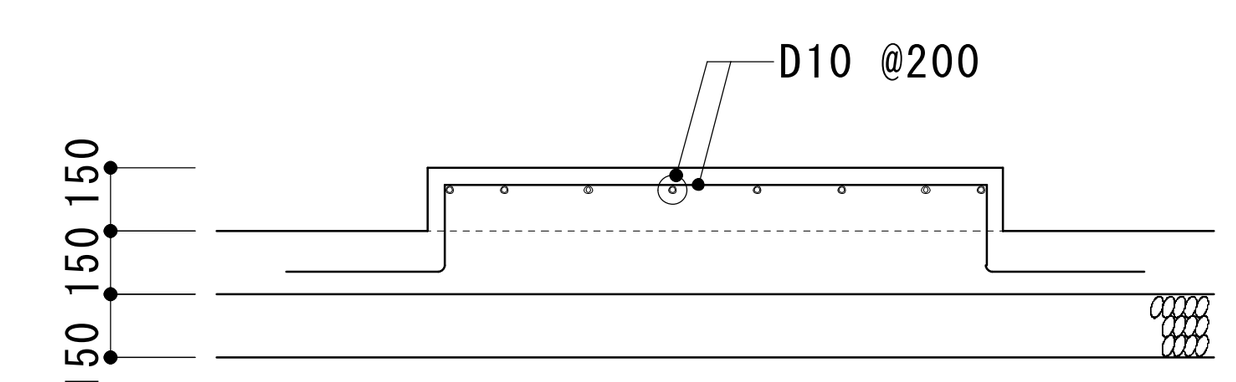


※ 現状地盤の上に盛土をする計画である。
盛土の上に建物基礎がくると沈下のおそれがあるので、基礎下の砕石は現状地盤より下まで砕石を敷いて、十分に転圧を行うこと

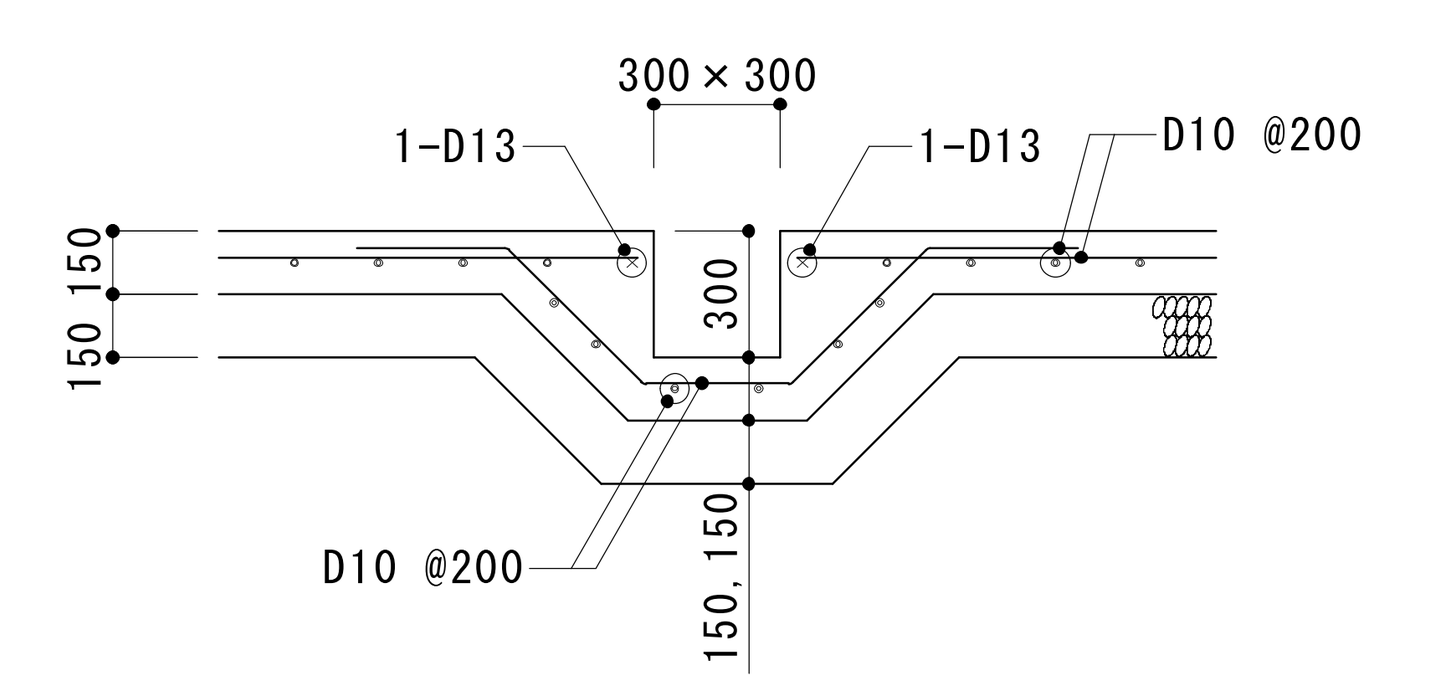


調査位置図
消防庁舎 設計ＧＬ＝26.768m
防災倉庫 設計ＧＬ＝26.586m

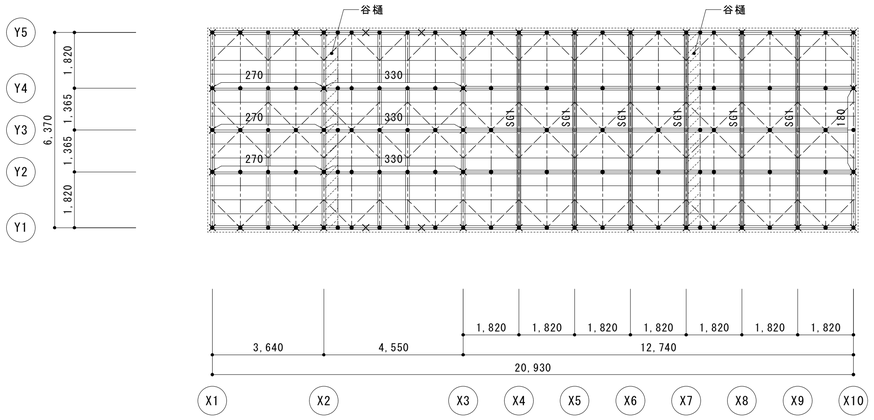
屋外機基礎配筋詳細図 S=1:30



溜枡配筋詳細図 S=1:30

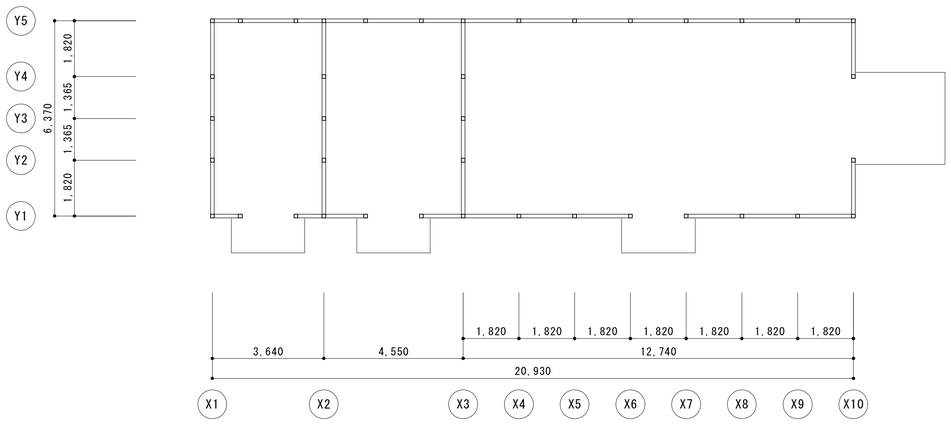


構造設計者 一級建築士 第241724号 ・ 構造設計一級建築士 第467号 小野 芳美			
DRAWING	防災倉庫 地質調査図、基礎伏図、基礎リスト	SCALE	A1 1:100、1:30 A3 1:200、1:60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No.	S-101



屋根伏図　S=1:100

凡　例		材種・等級は、部材リスト参照の事
×	1階柱	C1：120×120
SG1	鉄骨梁	2[-350×50×50×4.5(SSC400)
	梁、枕	120×120
	梁、枕	120×（伏図記載値）
●	小屋束	105×105　@910
― ― ―	母屋	105×105　@910
――――	垂木	45×60　@455
― ― ―	火打金物	HB Zマーク品



土台伏図　S=1:100

凡　例		材種・等級は、部材リスト参照の事
□	柱(C1)	120×120
※ 符号無き柱は、全て C1:120×120 とする		
═══	土台	120×120

柱の有効細長比の検討

柱(C1)120角

断面積　A＝　12.0×12.0＝144.00cm^2

断面二次半径　I＝　12.0×12.0^3／12＝1728.00cm^4

i＝　√1728.00／144.00＝3.464cm

座屈長さ　Lk＝　288.0cm

有効細長比　λ＝　288.0／3.464＝83.14＜150　∴OK

部材リスト				
名称	寸法	材種	等級	備考
土台	１２０×１２０	ヒバ	特１等	JAS規格品 甲種２級 青森県産材を使用
柱：C1	１２０×１２０	ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材	小断面	E95-F315
軒梁 小屋梁	１２０×１２０	ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材	小断面	E105-F300
間柱	１２０×３０　@４５５	ｽﾌﾟﾙｰｽ	特１等	無等級
マグサ	１２０×４５	ｽﾌﾟﾙｰｽ	特１等	無等級
窓台	１２０×４５	ｽﾌﾟﾙｰｽ	特１等	無等級

部材リスト				
名称	寸法	材種	等級	備考
小屋束	１０５×１０５　@９１０	ｽﾌﾟﾙｰｽ	特１等	無等級
母屋	１０５×１０５　@９１０	ｽﾌﾟﾙｰｽ集成材	小断面	E105-F300
垂木	４５×６０　@４５５	ｽﾌﾟﾙｰｽ	特１等	無等級
筋かい	９０×４５	ｽﾌﾟﾙｰｽ	特１等	無等級
小屋筋違	１０５×１８　@１，８２０	杉	特１等	無等級
胴縁	４５×１８　@４５５	杉	特１等	無等級
野縁	４５×４５　@４５５	杉	特１等	無等級
吊り木	４５×４５　@９１０	杉	特１等	無等級
吊り木受	９０×４５　@９１０	杉	特１等	無等級
屋根野地板 構造用合板	t=12mm張		特類２級	

特記事項

１．材料の検査は使用予定材を使用部材別に揃え監督員の検査を受け、合格品を使用する。

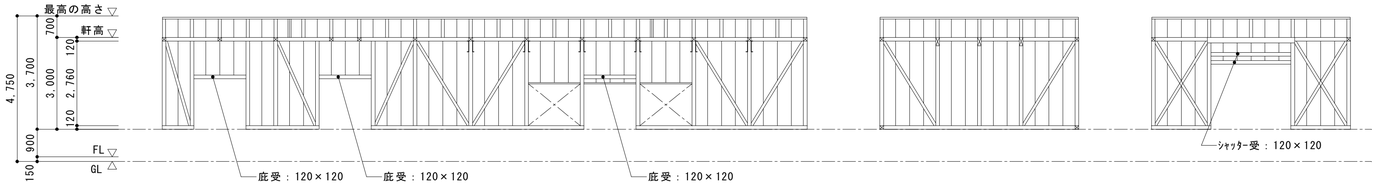
２．材料加工は、監督員の検査後、合格した材料のみ使用すること。

３．材料の加工方法は、その部位毎に協議し監督員の承諾を得ること。

４．材料の仕口、継手は通常慣行方法によるが、必要に応じ金物を併用して堅固に取付ける。

５．その他疑意がある時は、事前に協議し監督員の承諾を得ること。

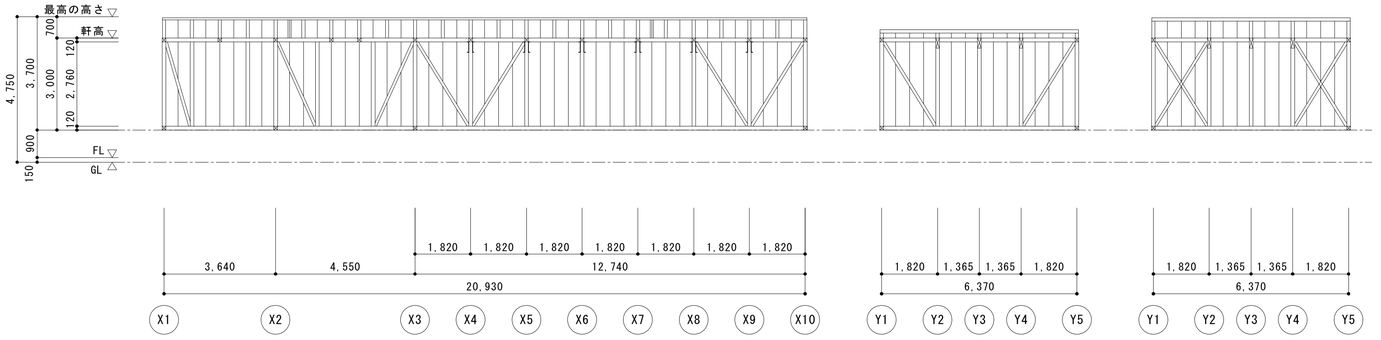
６．継手　腰掛蟻継ぎ、若しくは大入れ蟻掛け＋羽子板ボルトまたは短冊金物とする。



Y1通り軸組図　S=1:100

X1通り軸組図　S=1:100

X10通り軸組図　S=1:100



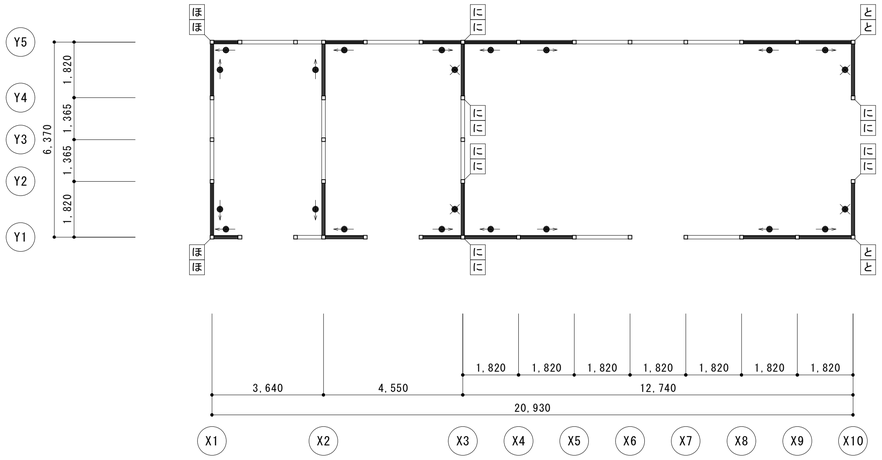
Y5通り軸組図　S=1:100

X2通り軸組図　S=1:100

X3通り軸組図　S=1:100

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	土台伏図、屋根伏図、部材リスト、軸組図	SCALE　A1 1:100　A3 1:200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No. S-102



1階耐力壁配置図　S=1:100

※ 耐力壁の端部の仕口金物は、告示第1460号第二号のただし書きにより決めた
※ 特記無き柱に付く金物は全て(は)とする

記号	Nの値	必要耐力 (kN)	金物等（これらと同等以上の接合方法を含む）
(い)	0	0.0	短ほぞ差し、かすがい打
(ろ)	0.65	3.4	長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物くぎCN65×5本
(は)	1.0	5.1	T字形かど金物くぎCN65×5本 山形プレート金物くぎCN90×8本
(に)	1.4	7.5	羽子板ボルトφ12mm、短冊金物
(ほ)	1.6	8.5	羽子板ボルトφ12mmに長さ50mm径4.5mmのスクリュー釘
(へ)	1.8	10.0	10kN用引き寄せ金物
(と)	2.8	15.0	15kN用引き寄せ金物
(ち)	3.7	20.0	20kN用引き寄せ金物
(り)	4.7	25.0	25kN用引き寄せ金物
(ぬ)	5.6	30.0	15kN用引き寄せ金物×2枚

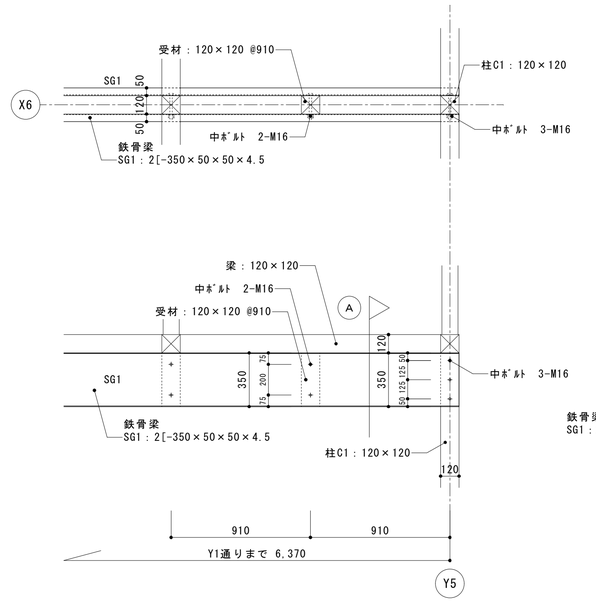
凡　例	
	耐力壁
柱頭 柱脚	筋かい　90×45(片筋かい)　壁倍率 2.0
	筋かい　90×45(ﾀｽｷ掛け)　壁倍率 4.0
記号	耐力壁の端部の仕口金物　□→柱頭 □→柱脚

※ 金物は表記のもの，又は同等認定金物以上を使用すること。
※ 金物は特記無き場合、柱頭・柱脚共同様のものを使用する。

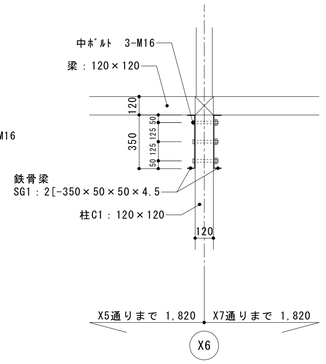
筋かい接合部の仕様

・筋かいの端部には、筋かいﾌﾟﾚｰﾄ BP-2 を使用する
・鉄骨梁の接合部によって、筋かい接合金物が取り付かない場合は、筋かいﾌﾟﾚｰﾄ BP-2 を切断して鉄骨梁に隅肉溶接する

鉄骨梁(SG1)部分詳細図　S=1:20　　特記外　鉄骨梁　SSC400



X6通り部分詳細図



Y5通り部分詳細図

A 断 面

構造設計者　一級建築士　第241724号 ・ 構造設計一級建築士　第467号　小野 芳美

DRAWING	1階耐力壁配置図、鉄骨詳細図	SCALE	A1 1:100、1:20 A3 1:200、1:40
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No. S-103

施設計画平面図

S=1:500

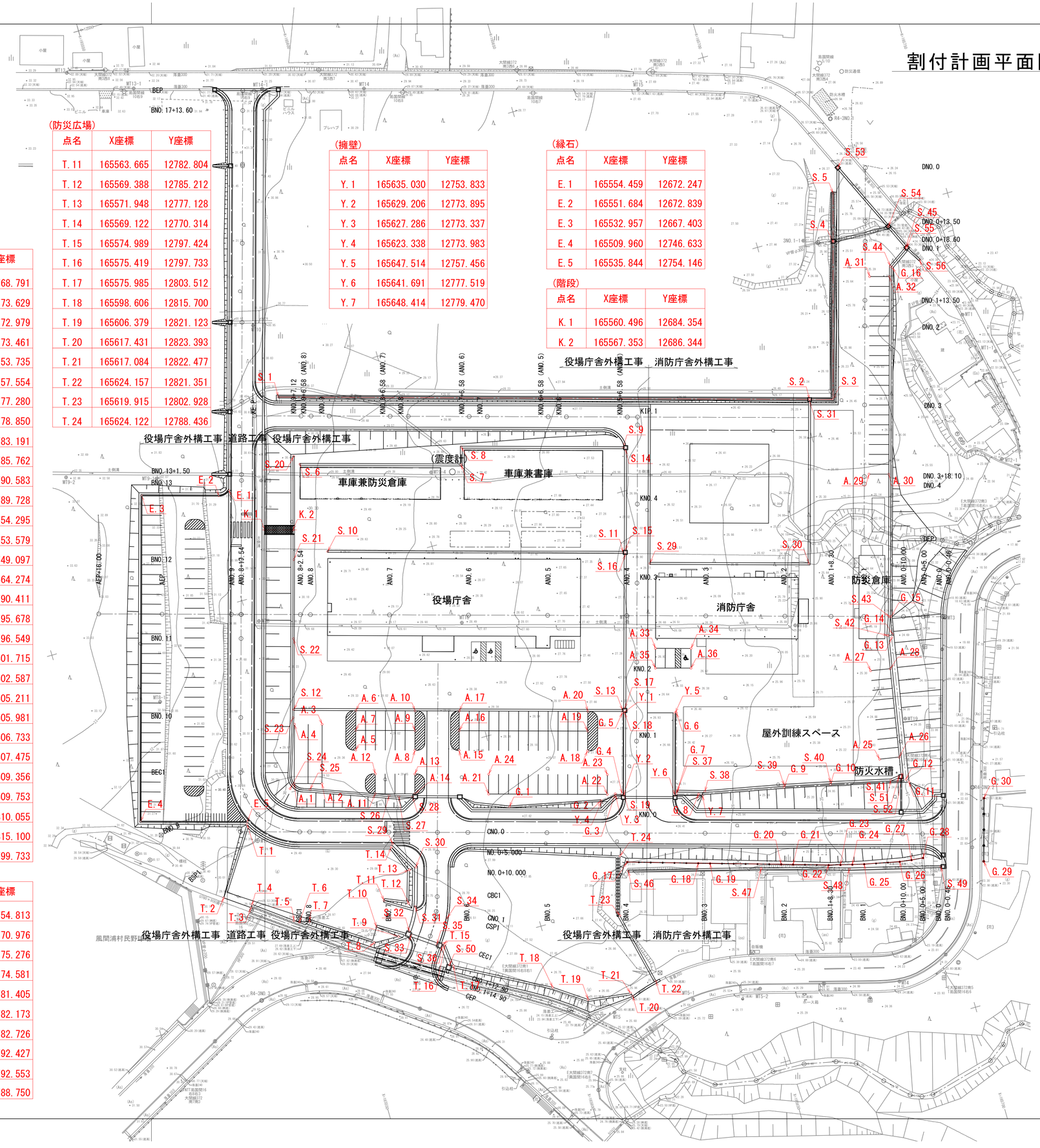
消防外構工事

工　種	種　別	細　別	単位	数　量
敷地造成工	掘削工	掘削（土砂）	m3	3,210
	残土処理工	整地	m3	4,000
		土砂等運搬	m3	4,005
法面工	植生工	高麗芝	m2	872
擁壁工	ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ擁壁工	H=0.75m～H=2.5m	m	27.9
構造物撤去工	構造物取壊工	鉄筋構造物	m3	0.8
		無筋構造物	m3	0.9
	舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ　t=5cm	m	35.6
	舗装版破砕	ｱｽﾌｧﾙﾄ　t=5cm	m2	14.3
運搬処理工	殻運搬	鉄筋構造物	m3	0.8
		無筋構造物	m3	0.9
	発生品殻運搬	鉄類	t	0.1
排水設備工	作業土工	床掘(土砂)	m3	221
		埋戻	m3	81
側溝工	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	250型	m	9.1
	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄBF	400型	m	96.3
	自由勾配側溝	縦断用300×300	m	93.6
		縦断用300×400	m	84.9
		縦断用300×500	m	6.0
		縦断用300×600	m	4.0
		縦断用300×700	m	18.0
		縦断用300×800	m	34.0
		縦断用300×900	m	14.0
		縦断用300×1000	m	22.0
		横断用300×300	m	24.5
		横断用300×600	m	1.8
		横断用300×700	m	3.6
		横断用300×800	m	4.0
		横断用300×900	m	4.0
	側溝蓋	300用(Co)L=0.5m	枚	278
		300用(Gr)L=1.0m	枚	17
集水桝工	集水桝		基	6
	集水桝蓋	T-25　800×800	枚	6
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装工	置換(外構)	RC-40　t=40cm	m2	5,552
	路盤(外構)	C-20　t=15cm	m2	5,552
	表層(外構)	⑤（13F）t=5cm	m2	5,547
（ベンガラ）	表層(外構)	⑤（13F）t=5cm	m2	148.1
区画線工	ﾍﾟｲﾝﾄ式区画線	実線　W=150	m	356
		破線　W=150	m	40
柵工	転落防止柵	H=1.10m	m	172.0
	防風柵	H=4.0m	m	36.0

DRAWING 施設計画平面図	SCALE A1:1/500.4 A3:1/1000
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男	DRAWING No. A-70

割付計画平面図

S=1:500



(外周柵)

点名	X座標	Y座標
G.1	165600.645	12768.791
G.2	165623.329	12773.629
G.3	165627.307	12772.979
G.4	165628.968	12773.461
G.5	165634.694	12753.735
G.6	165647.851	12757.554
G.7	165642.125	12777.280
G.8	165647.533	12778.850
G.9	165668.840	12783.191
G.10	165680.279	12785.762
G.11	165699.538	12790.583
G.12	165699.035	12789.728
G.13	165705.398	12754.295
G.14	165705.936	12753.579
G.15	165706.785	12749.097
G.16	165731.405	12664.274
G.17	165625.417	12790.411
G.18	165642.629	12795.678
G.19	165645.500	12796.549
G.20	165662.743	12801.715
G.21	165665.613	12802.587
G.22	165674.222	12805.211
G.23	165677.122	12805.981
G.24	165680.026	12806.733
G.25	165682.933	12807.475
G.26	165691.734	12809.356
G.27	165694.708	12809.753
G.28	165697.693	12810.055
G.29	165712.197	12815.100
G.30	165716.654	12799.733

(防災広場)

点名	X座標	Y座標
T.11	165563.665	12782.804
T.12	165569.388	12785.212
T.13	165571.948	12777.128
T.14	165569.122	12770.314
T.15	165574.989	12797.424
T.16	165575.419	12797.733
T.17	165575.985	12803.512
T.18	165598.606	12815.700
T.19	165606.379	12821.123
T.20	165617.431	12823.393
T.21	165617.084	12822.477
T.22	165624.157	12821.351
T.23	165619.915	12802.928
T.24	165624.122	12788.436

(擁壁)

点名	X座標	Y座標
Y.1	165635.030	12753.833
Y.2	165629.206	12773.895
Y.3	165627.286	12773.337
Y.4	165623.338	12773.983
Y.5	165647.514	12757.456
Y.6	165641.691	12777.519
Y.7	165648.414	12779.470

(縁石)

点名	X座標	Y座標
E.1	165554.459	12672.247
E.2	165551.684	12672.839
E.3	165532.957	12667.403
E.4	165509.960	12746.633
E.5	165535.844	12754.146

(階段)

点名	X座標	Y座標
K.1	165560.496	12684.354
K.2	165567.353	12686.344

(防災広場)

点名	X座標	Y座標
T.1	165535.631	12754.813
T.2	165524.861	12770.976
T.3	165530.758	12775.276
T.4	165531.280	12774.581
T.5	165540.361	12781.405
T.6	165541.555	12782.173
T.7	165544.039	12782.726
T.8	165558.292	12792.427
T.9	165564.650	12792.553
T.10	165559.971	12788.750

(区画線)

点名	X座標	Y座標
A.1	165549.971	12748.094
A.2	165556.694	12750.046
A.3	165560.875	12735.640
A.4	165554.153	12733.689
A.5	165567.226	12744.252
A.6	165570.014	12734.648
A.7	165568.620	12739.450
A.8	165581.632	12748.433
A.9	165583.025	12743.632
A.10	165584.419	12738.830
A.11	165568.962	12756.210
A.12	165570.355	12751.408
A.13	165579.959	12754.196
A.14	165578.565	12758.997
A.15	165592.375	12751.552
A.16	165593.769	12746.750
A.17	165595.162	12741.948
A.18	165623.587	12760.611
A.19	165624.980	12755.810
A.20	165626.374	12751.008
A.21	165596.511	12764.206
A.22	165625.322	12772.569
A.23	165626.716	12767.767
A.24	165597.905	12759.405
A.25	165693.997	12782.989
A.26	165698.918	12783.873
A.27	165697.974	12760.843
A.28	165702.895	12761.727
A.29	165711.298	12712.921
A.30	165716.100	12714.315
A.31	165725.236	12664.903
A.32	165730.037	12666.297
A.33	165647.227	12740.405
A.34	165655.874	12742.900
A.35	165645.841	12745.209
A.36	165654.488	12747.704

(排水路)

点名	X座標	Y座標
S.51	165697.430	12788.593
S.52	165698.385	12788.257
S.53	165725.083	12636.210
S.54	165733.271	12654.018
S.55	125736.238	12660.469
S.56	165738.560	12664.409

(排水路)

点名	X座標	Y座標
S.1	165573.067	12652.986
S.2	165702.059	12690.614
S.3	165707.770	12692.280
S.4	165718.804	12653.810
S.5	165722.151	12642.141
S.6	165573.647	12670.832
S.7	165612.782	12682.191
S.8	165614.036	12677.869
S.9	165653.446	12689.309
S.10	165574.271	12693.973
S.11	165646.045	12714.806
S.12	165555.065	12730.049
S.13	165634.895	12753.221
S.14	165653.807	12690.038
S.15	165646.727	12714.431
S.16	165646.420	12715.488
S.17	165635.577	12752.846
S.18	165635.270	12753.902
S.19	165629.447	12773.964
S.20	165572.648	12668.468
S.21	165565.478	12693.608
S.22	165559.903	12712.817
S.23	165554.282	12732.025
S.24	165548.617	12749.051
S.25	165553.391	12750.654
S.26	165572.190	12757.675
S.27	165574.497	12758.535
S.28	165577.841	12759.558
S.29	165569.704	12769.587
S.30	165573.738	12776.920
S.31	165570.818	12786.496
S.32	165567.612	12792.130
S.33	165567.772	12793.107
S.34	165577.780	12791.463
S.35	165573.443	12797.176
S.36	165574.581	12797.992
S.37	165642.563	12776.666
S.38	165649.242	12778.688
S.39	165668.950	12782.703
S.40	165680.392	12785.275
S.41	165695.314	12788.839
S.42	165704.631	12753.474
S.43	165706.304	12748.960
S.44	165730.999	12663.881
S.45	165735.738	12660.699
S.46	165625.089	12792.696
S.47	165657.559	12801.350
S.48	165679.000	12807.587
S.49	165701.418	12813.387
S.50	165575.074	12803.031

DRAWING	割付計画平面図	SCALE	A1:1/500.4 A3:1/250
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-71

造成計画平面図

S=1:500

役場庁舎外構工事 道路工事 役場庁舎外構工事

役場庁舎外構工事 消防庁舎外構工事

役場庁舎外構工事 道路工事 役場庁舎外構工事

役場庁舎外構工事 消防庁舎外構工事

車庫兼防災倉庫

車庫兼書庫

(震度計)

役場庁舎

消防庁舎

防災倉庫

屋外訓練スペース

防火水槽

風間浦村民野球場

風間浦村立風間浦小学校・中学校グランド

DRAWING	造成計画平面図
SCALE	A1:1/500.4 A3:1/250
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事
DATE	2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男
DRAWING No.	A-72

排水計画平面図（2）

S=1:500

第26号集水桝

㊱自由勾配側溝・横断用（300×300）L=18.5m
蓋版・横断用（300用）L=1.0m N=9枚

第25号集水桝

㊲自由勾配側溝・横断用（300×300）L=6.0m
蓋版・横断用（300用）L=1.0m N=3枚

㊳自由勾配側溝・縦断用（300×300）L=4.0m
蓋版（300用）L=0.5m N=4枚

㉝自由勾配側溝・横断用（300型）L=13.4m
蓋版・横断用（300用）L=1.0m N=5枚

第22号集水桝

第21号集水桝工
㉜BF-400 L=11.6m

第22号集水桝工

第20号集水桝工
㉛BF-400 L=45.0m

㉚BF-400 L=39.7m

㉕自由勾配側溝・縦断用（300型）L=81.3m
蓋版（300用・L=0.5m）N=62枚

㉖自由勾配側溝・縦断用（300型）L=134.9m
蓋版（300用・L=0.5m）N=135枚

㉗自由勾配側溝・縦断用（300型）L=56.3m
蓋版（300用・L=0.5m）N=57枚

第23号集水桝工
㉞高密度ポリエチレン管（φ250）
（シングル管） L=9.1m

車庫兼防災倉庫

車庫兼書庫

（震度計）

役場庁舎

消防庁舎

防災倉庫

屋外訓練スペース

防火水槽

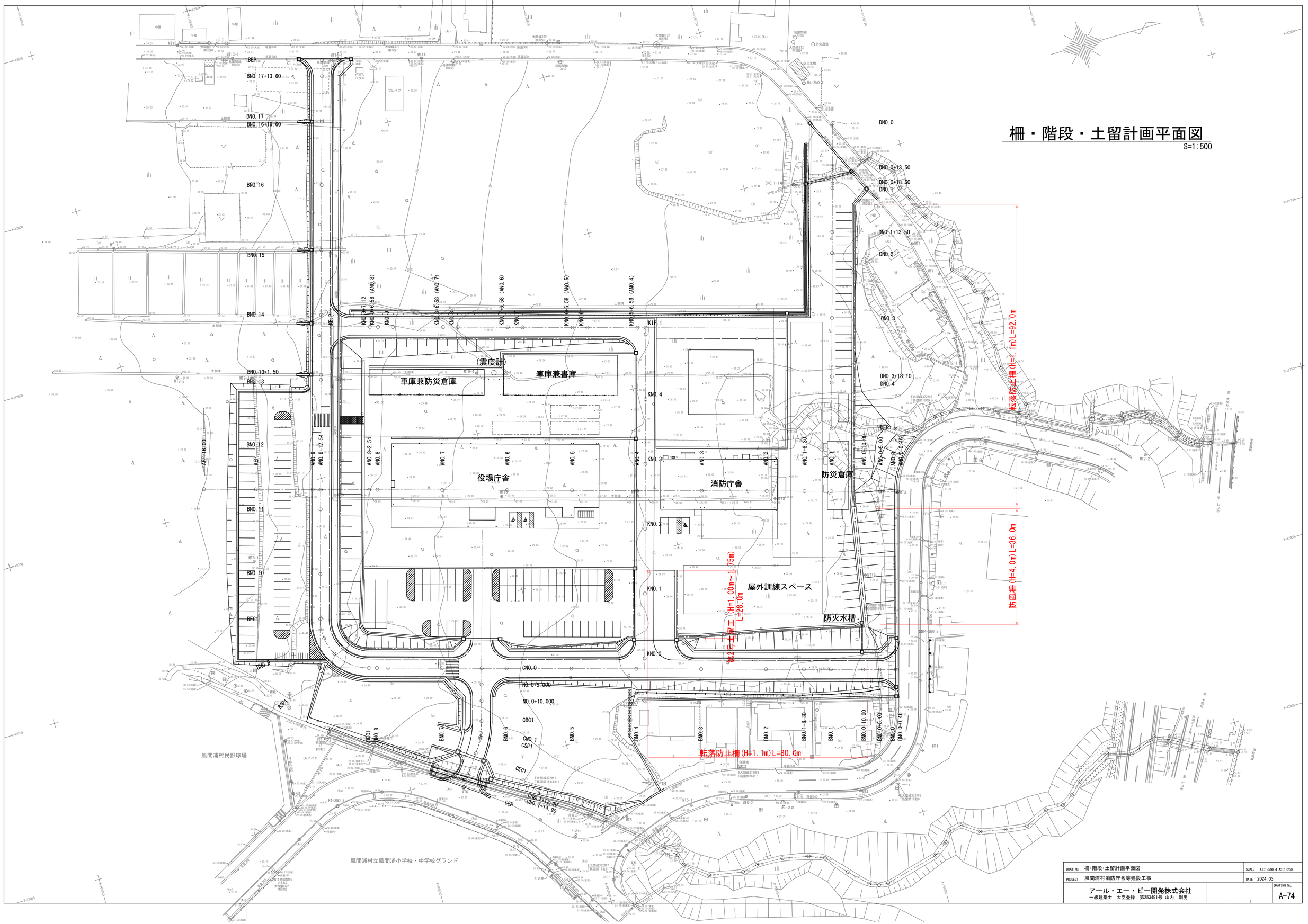
風間浦村民野球場

風間浦村立風間浦小学校・中学校グランド

DRAWING	排水計画平面図	SCALE	A1:1/500,A3:1/250
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No.	A-73

柵・階段・土留計画平面図

S=1:500


車庫兼防災倉庫
車庫兼書庫
役場庁舎
消防庁舎
防災倉庫
屋外訓練スペース
防火水槽
風間浦村民野球場
風間浦村立風間浦小学校・中学校グランド
BNO.17+13.60
BNO.17
BNO.16+19.60
BNO.16
BNO.15
BNO.14
BNO.13+1.50
BNO.13
BNO.12
BNO.11
BNO.10
BNO.9
BNO.8
BNO.7
BNO.6
BNO.5
BNO.4
BNO.3
BNO.2
BNO.1
BNO.0
DNO.0
DNO.0+13.50
DNO.0+18.60
DNO.1
DNO.1+13.50
DNO.2
DNO.3
DNO.3+18.10
DNO.4
KNO.0+7.12
KNO.8+0.58 (ANO.8)
KNO.7
KNO.6+6.58 (ANO.7)
KNO.6
KNO.6+6.58 (ANO.6)
KNO.5
KNO.6+6.58 (ANO.5)
KNO.4
KNO.6+6.58 (ANO.4)
KNO.3
KNO.2
KNO.1
KNO.0
KIP.1
CNO.0
NO.0+5.000
NO.0+10.000
CNO.1+12.90
CNO.1+14.90
ANO.9
ANO.8+17.54
ANO.8+2.54
ANO.8
ANO.7
ANO.6
ANO.5
ANO.4
ANO.3
ANO.2
ANO.1
ANO.1+8.30
ANO.0+10.00
ANO.0+5.00
ANO.0+0.46
3NO.1-1
4NO.2
R4-3NO.1
R4-3NO.2
BEP
AEP+16.00
AEP
BEC1
CBC1
CSP1
CEC1
BSP1
(震度計)
転落防止柵(H=1.1m)L=92.0m
防風柵(H=4.0m)L=36.0m
転落防止柵(H=1.1m)L=80.0m
擁壁土留工 (H=1.00m～1.75m) L=28.0m
MT1
MT1-1
MT2
MT2-1
MT2-2
MT3
MT4
MT5
MT5-1
MT5-2
MT6
MT7
MT8
MT9
MT9-1
MT9-2
MT9-3
MT9-4
MT10
MT11
MT12
MT13
MT13-1
MT14
MT15
MT16
MT17
MT18
MT19
EW大間線372南1
EW大間線372南2
EW大間線372南3
EW大間線372南4
EW大間線372南5
EW大間線372南6
EW大間線372南7
NS大間線372南1
NS大間線372南2
NS大間線372南3
NS大間線372南4
NS大間線372南5
NS大間線372南6
NS大間線372南7
大間線372南1
大間線372南2
大間線372南3
大間線372南4
大間線372南5
大間線372南6
大間線372南7
大間線372南8
大間線372南9
大間線372南10
大間線372南11
大間線372南12
大間線372南13
大間線372南14
大間線372南15
大間線372南16
大間線372南17
大間線372南18
大間線372南19
大間線372南20
大間線372南21
大間線372南22
大間線372南23
大間線372南24
大間線372南25
大間線372南26
大間線372南27
大間線372南28
大間線372南29
大間線372南30
大間線372南31
大間線372南32
大間線372南33
大間線372南34
大間線372南35
大間線372南36
大間線372南37
大間線372南38
大間線372南39
大間線372南40

舗装面積算定図

S=1:500

①舗装面積A=105.3m2
路盤面積A=106.2m2

⑳復旧面積A=17.3m2

②舗装面積A=570.5m2
路盤面積A=572.6m2

③舗装面積A=744.1m2
路盤面積A=744.4m2

④舗装面積A=1,620.0m2
路盤面積A=1,622.0m2

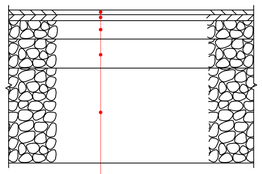
⑤舗装面積A=2,358.5m2

⑥舗装面積A=148.1m2
(ベンガラ)

⑭敷砂利面積A=768.7m2

舗装復旧構成

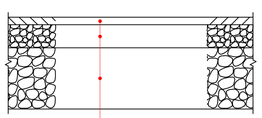
S=1:20



表層工：⑤密粒度ｱｽｺﾝ（13F） t=3cm
表層工：②密粒度ｱｽｺﾝ（13） t=4cm
上層路盤工：粒調砕石（M-40） t=12cm
下層路盤工：再生砕石（RC-40） t=19cm
置換工：再生砕石（RC-40） t=62cm

外構舗装構成

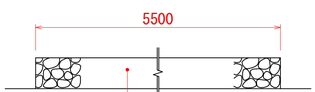
S=1:20



表層工：⑤密粒度ｱｽｺﾝ（13F） t=5cm
路盤工：切込砕石（C-20） t=15cm
置換工：再生砕石（RC-40） t=40cm
①～⑪

仮設敷砂利構成

S=1:20



路盤工：再生砕石（RC-40） t=20cm
⑭⑮

防災広場舗装構成

S=1:20



路盤工：再生砕石（RC-40） t=20cm
⑫⑬

車庫兼防災倉庫
車庫兼書庫
(震度計)
役場庁舎
消防庁舎
防火水槽
風間浦村民野球場
風間浦村立風間浦小学校・中学校グランド

DRAWING	舗装面積算定図	SCALE	A1:1/500,A4:1/250
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No. A-75

区画線計画平面図

S=1:500

役場庁舎
消防庁舎
防災倉庫
車庫兼防災倉庫
車庫兼書庫
屋外訓練スペース
防火水槽
風間浦村民野球場
風間浦村立風間浦小学校・中学校グランド

DRAWING	区画線計画平面図
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事
SCALE	A1:1/500.4 A3:1/250
DATE	2024.03
DRAWING No.	A-76

アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男

植栽計画平面図

S=1:500

②張芝工　A=872.3m2
（消防外構工事）

DRAWING	植栽計画平面図	SCALE	A1:1/500,A3:1/250
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. A-77

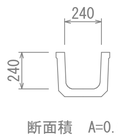
旧体撤去算定図

S=1:500

⑮舗装版撤去(t=5cm)A=10.9m2
⑯アスファルト切断(t=5cm)L=20.4m
⑦落蓋型側溝（300型）蓋有　L=17.2m
⑧BF-450　L=15.1m
㉔舗装版撤去(t=5cm)A=14.3m2
㉕アスファルト切断(t=5cm)L=35.6m
㉓落蓋型側溝（300型）蓋有　L=3.1m
㉖枡（1.00m×1.00m・t=15cm）
㉗ﾚﾍﾞﾗｰ蓋（700×700）
⑨石積ブロック　L=19.7m
⑩石積ブロック　L=18.0m
⑪水路底版コンクリート(t=15cm)
⑰舗装版撤去(t=5cm)A=8.6m2
⑱アスファルト切断(t=5cm)L=8.8m
⑫ガードレール（GrC2-3E）L=22.0m
⑲舗装版撤去(t=5cm)A=0.6m2
⑳アスファルト切断(t=5cm)L=4.1m
①落蓋型側溝（300型）蓋有　L=1.1m
②落蓋型側溝（300型）蓋無し　L=34.9m
③舗装版撤去(t=5cm)A=12.7m2
④アスファルト切断(t=5cm)L=22.3m
⑤落蓋型側溝（300型）蓋有　L=16.2m
⑥BF-BOX（300型）　L=3.2m
③U型側溝（240型）　L=19.3m
④落蓋型側溝（360型）蓋無し　L=20.0m
⑤落蓋型側溝（300型）蓋無し　L=8.8m
風間浦村民野球場
風間浦村立風間浦小学校・中学校グランド

③U型側溝（240型）断面図

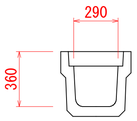
S=1:20



断面積　A=0.04m2

①⑤⑦㉒落蓋型側溝（300型）断面図

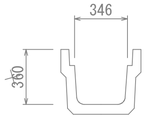
S=1:20



断面積(蓋有)　A=0.10m2
断面積(蓋無)　A=0.07m2

④落蓋型側溝（360型）断面図

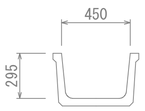
S=1:20



断面積(蓋無)　A=0.07m2

⑧BF-450断面図

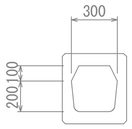
S=1:20



断面積　A=0.05m2

⑥BF-BOX（300型）断面図

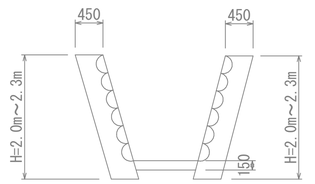
S=1:20



断面積　A=0.11m2

⑨⑩⑪石積ブロック断面図

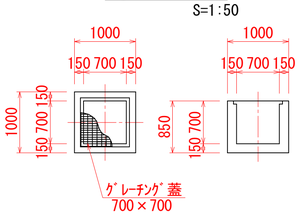
S=1:50



ﾌﾞﾛｯｸ平均断面積　A=0.97m2

㉖桝断面図

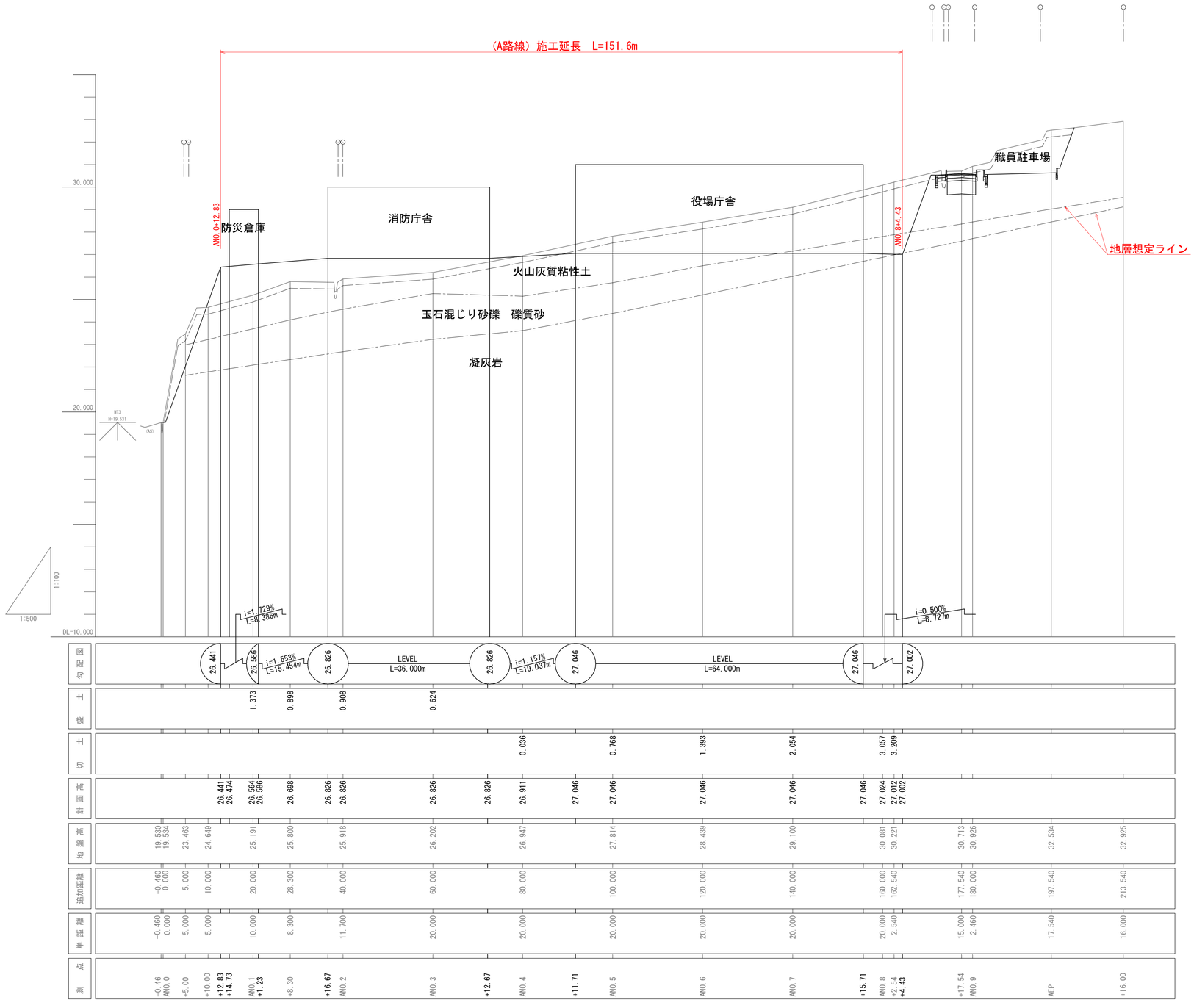
S=1:50



DRAWING	旧体撤去算定図	SCALE	A1:1/500,A3:1/250
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-78

A 路 線 縦 断 図

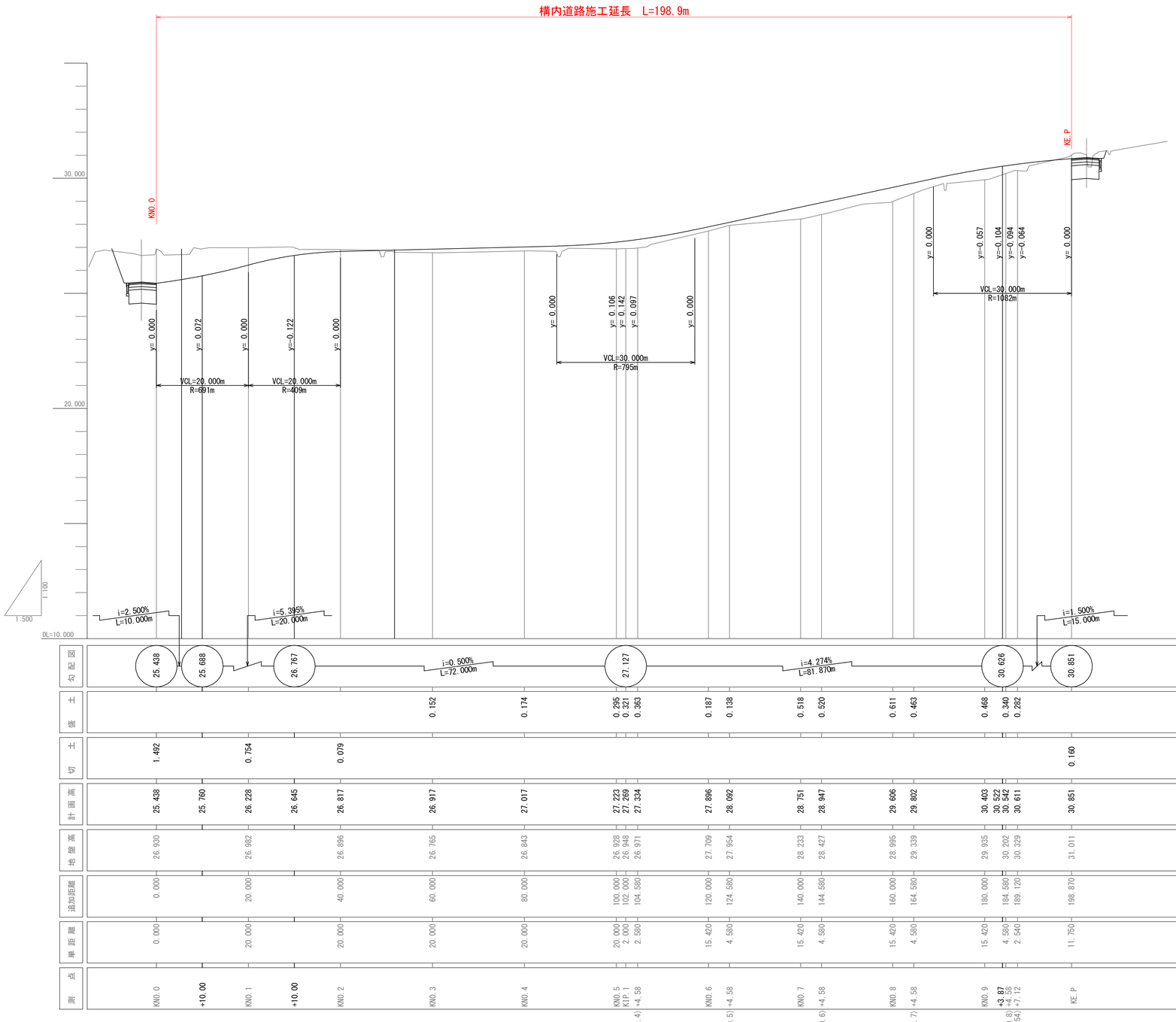
V=1:100
H=1:500



DRAWING	A路線縦断図	SCALE	A1:1/100 A3:1/200 A1:1/500 A3:1/1000
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-79

K 路 線 縦 断 図

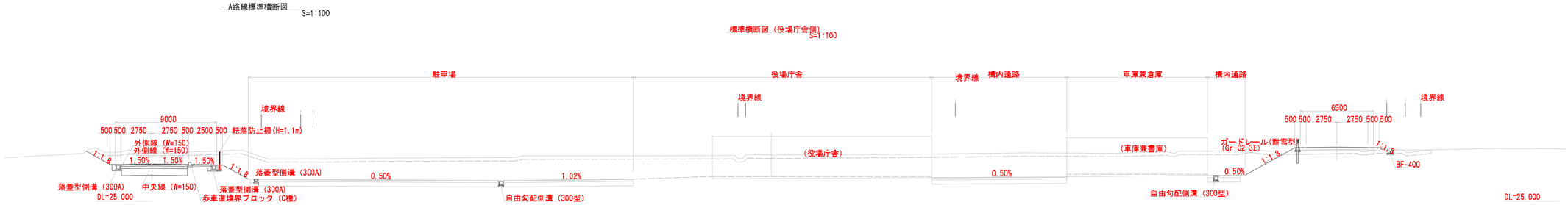
V=1:100
H=1:500

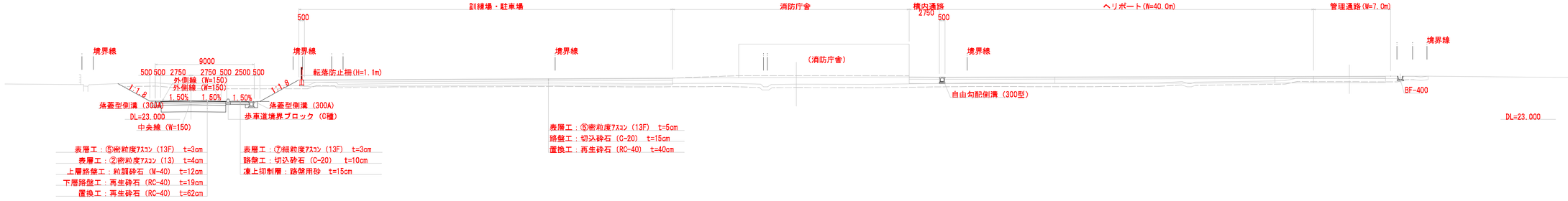


| | | |

A路線標準横断図

S=1:100





標準横断図 (消防庁舎側)
S=1:100

表層工：⑤密粒度ｱｽｺﾝ (13F) t=3cm
表層工：②密粒度ｱｽｺﾝ (13) t=4cm
上層路盤工：粒調砕石 (M-40) t=12cm
下層路盤工：再生砕石 (RC-40) t=19cm
置換工：再生砕石 (RC-40) t=62cm

表層工：⑦細粒度ｱｽｺﾝ (13F) t=3cm
路盤工：切込砕石 (C-20) t=10cm
凍上抑制層：路盤用砂 t=15cm

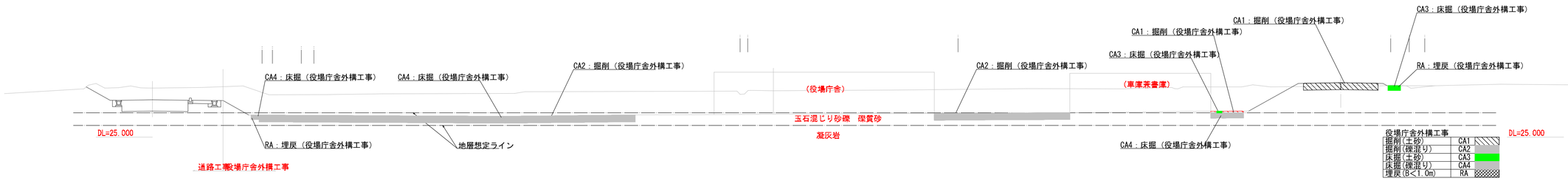
表層工：⑤密粒度ｱｽｺﾝ (13F) t=5cm
路盤工：切込砕石 (C-20) t=15cm
置換工：再生砕石 (RC-40) t=40cm

DRAWING	A路線標準横断図	SCALE	A1：1/200 A3：1/400
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男			DRAWING No. A-81

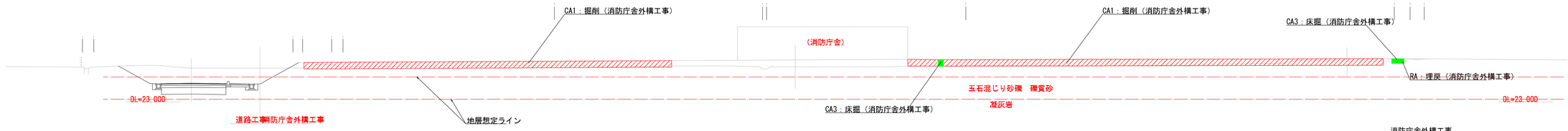
外構土工算定図

S=1:100

役場庁舎断面図

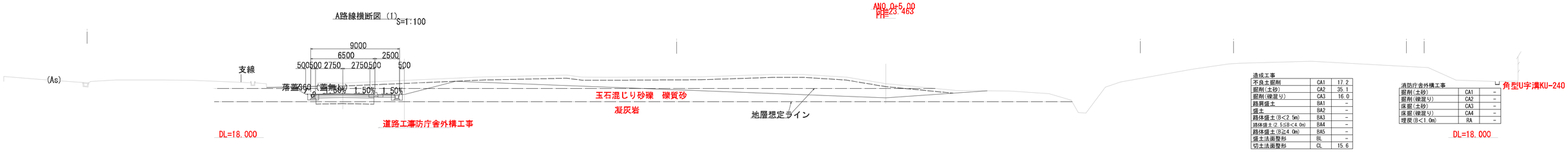


役場庁舎断面図



DRAWING	外構土工算定図	SCALE	A1：1/200　A3：1/400
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-82

A路線横断図（1）　S=1:100





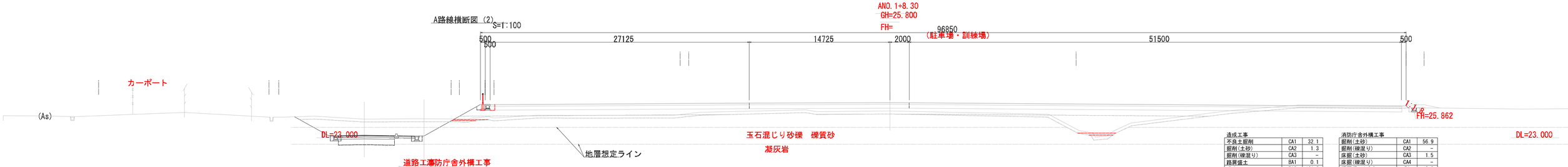


DRAWING	A路線横断図（1）
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事
SCALE	A1：1/200　A3：1/400
DATE	2024.03
DRAWING No.	A-83

アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男

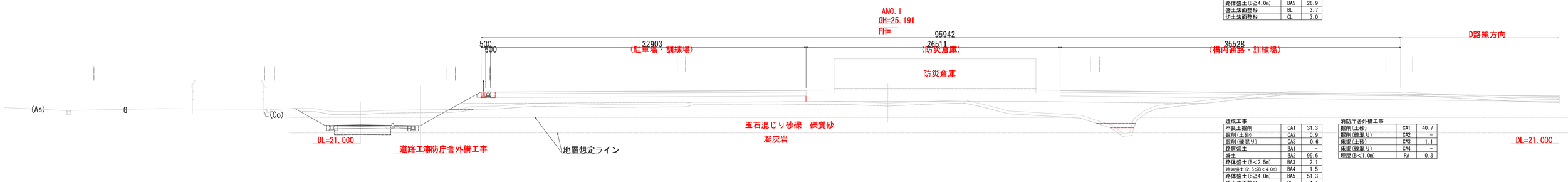
A路線横断図（2）

S=1:100



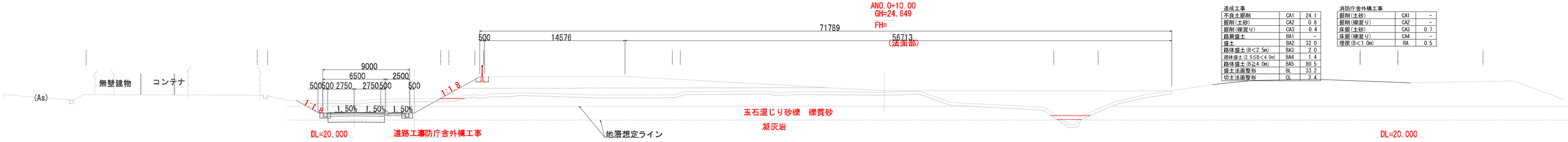
造成工事		
不良土掘削	CA1	32.1
掘削（土砂）	CA2	1.3
掘削（礫混り）	CA3	－
路肩盛土	BA1	0.1
盛土	BA2	101.3
路体盛土（B＜2.5m）	BA3	1.2
路体盛土（2.5≦B＜4.0m）	BA4	1.0
路体盛土（B≧4.0m）	BA5	26.9
盛土法面整形	BL	3.7
切土法面整形	CL	3.0

消防庁舎外構工事		
掘削（土砂）	CA1	56.9
掘削（礫混り）	CA2	－
床掘（土砂）	CA3	1.5
床掘（礫混り）	CA4	－
埋戻（B＜1.0m）	RA	0.6



造成工事		
不良土掘削	CA1	31.3
掘削（土砂）	CA2	0.9
掘削（礫混り）	CA3	0.6
路肩盛土	BA1	－
盛土	BA2	99.6
路体盛土（B＜2.5m）	BA3	2.1
路体盛土（2.5≦B＜4.0m）	BA4	1.5
路体盛土（B≧4.0m）	BA5	51.3
盛土法面整形	BL	4.4
切土法面整形	CL	2.8

消防庁舎外構工事		
掘削（土砂）	CA1	40.7
掘削（礫混り）	CA2	－
床掘（土砂）	CA3	1.1
床掘（礫混り）	CA4	－
埋戻（B＜1.0m）	RA	0.3



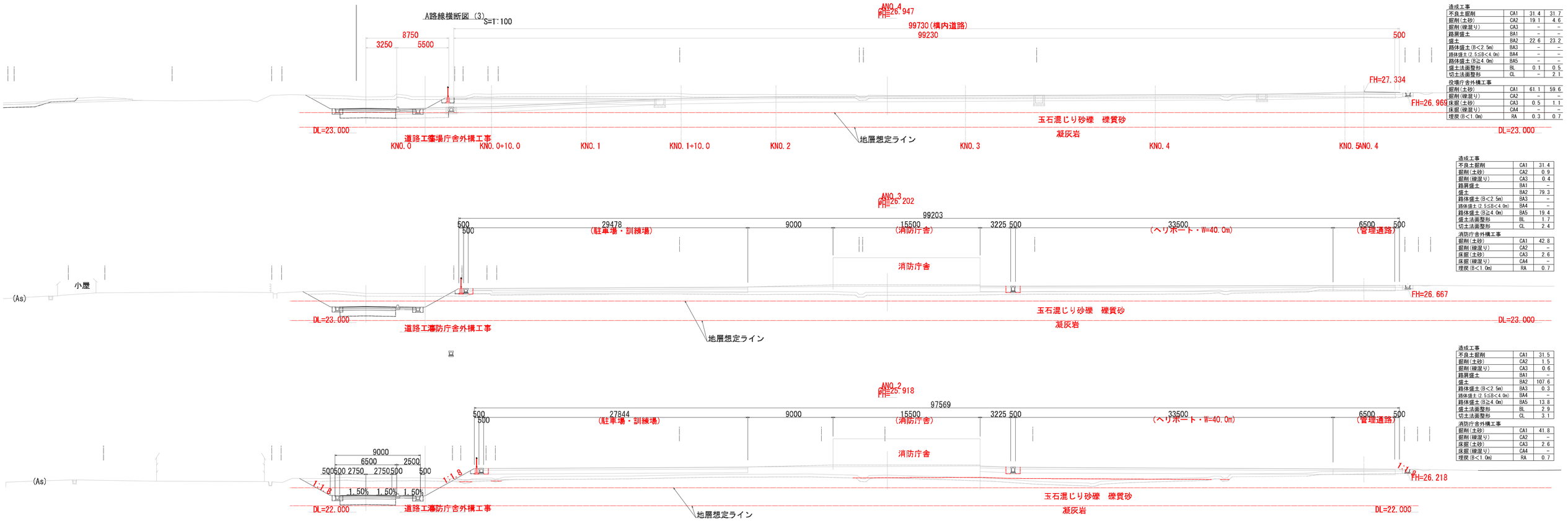
造成工事		
不良土掘削	CA1	24.1
掘削（土砂）	CA2	0.8
掘削（礫混り）	CA3	0.4
路肩盛土	BA1	－
盛土	BA2	32.0
路体盛土（B＜2.5m）	BA3	2.0
路体盛土（2.5≦B＜4.0m）	BA4	1.4
路体盛土（B≧4.0m）	BA5	80.5
盛土法面整形	BL	33.2
切土法面整形	CL	2.4

消防庁舎外構工事		
掘削（土砂）	CA1	－
掘削（礫混り）	CA2	－
床掘（土砂）	CA3	0.7
床掘（礫混り）	CA4	－
埋戻（B＜1.0m）	RA	0.5

DRAWING	A路線横断図（2）	SCALE	A1：1/200　A3：1/400
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-84

A路線横断図 (3)

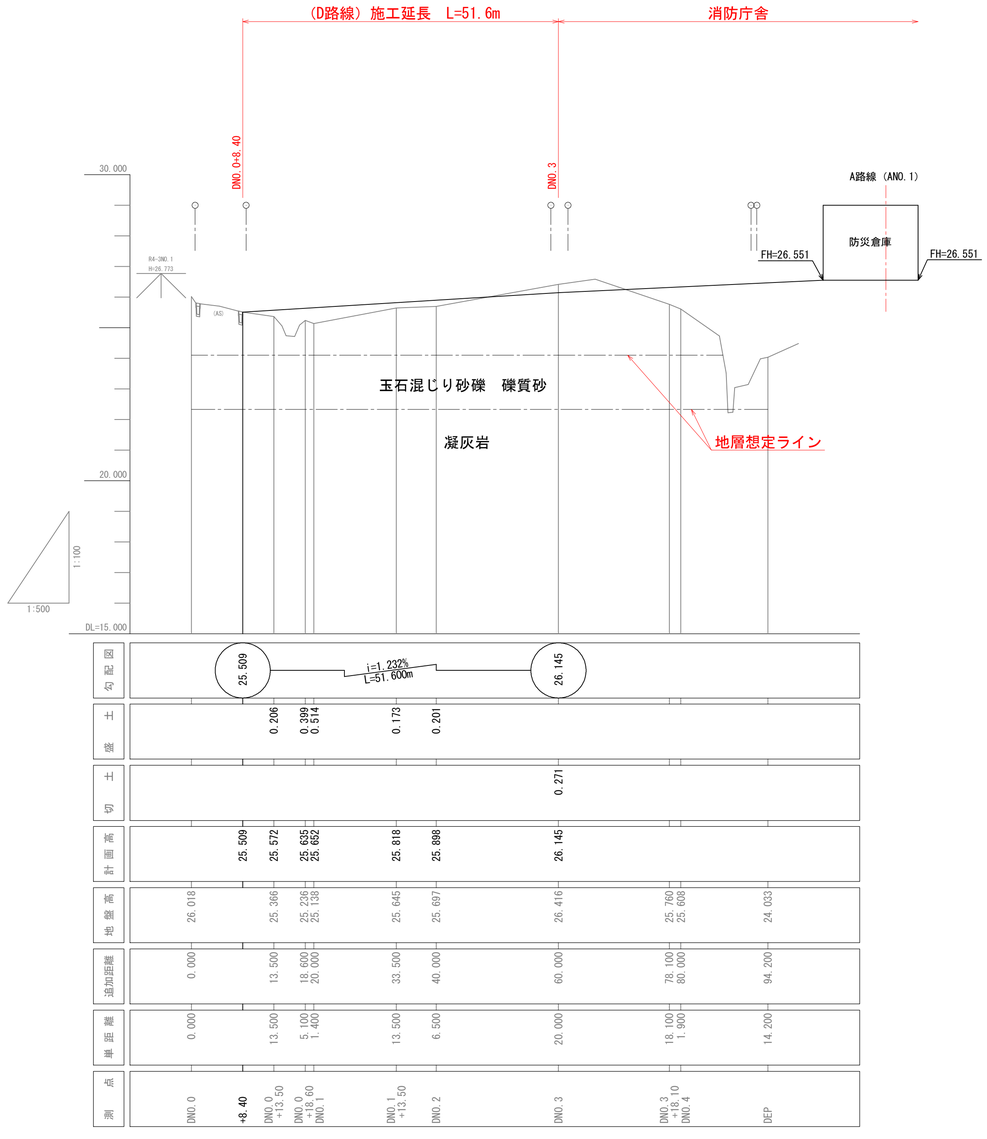
S=1:100



DRAWING	A路線横断図 (3)	SCALE	A1：1/200　A3：1/400
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	A-85

D路線縦断図

V=1:100
H=1:500



DRAWING	D路線縦断図	SCALE	A1:1/100 A3:1/200 A1:1/500 A3:1/1000
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-86

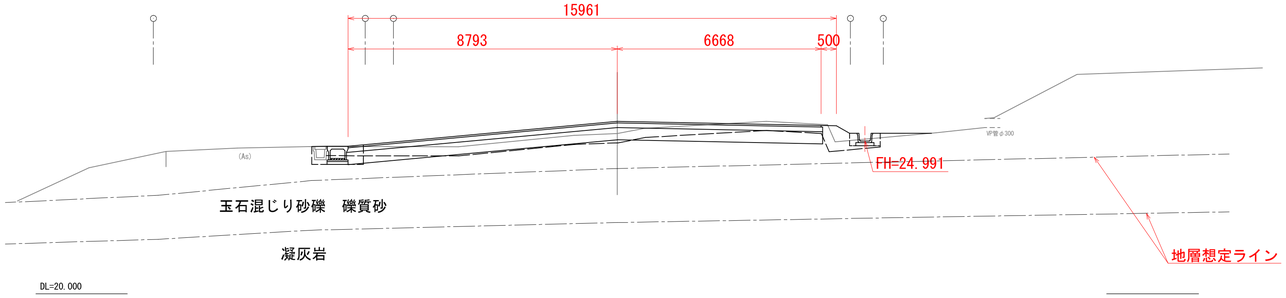
D路線横断図（1）

S=1:100

DNO.0+18.60

GH-25.238

FH-25.635



造成工事

不良土掘削	CA1	5.5
掘削（土砂）	CA2	－
掘削（礫混り）	CA3	－
路肩盛土	BA1	－
路床盛土（B≧4.0m）	BA2	9.1
路体盛土（B＜2.5m）	BA3	－
路体盛土（2.5≦B＜4.0m）	BA4	－
路体盛土（B≧4.0m）	BA5	－
盛土法面整形	BL	0.5
切土法面整形	CL	－

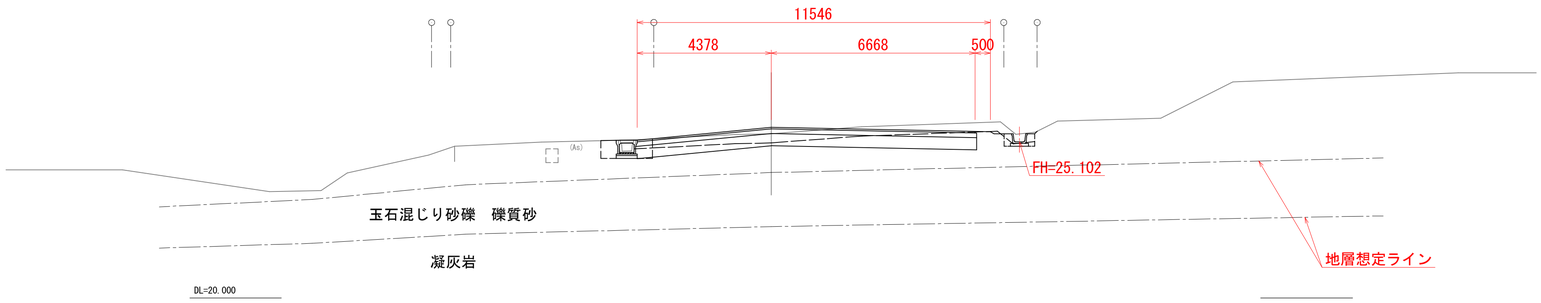
消防庁舎外構工事

掘削（土砂）	CA1	9.0
掘削（礫混り）	CA2	－
床掘（土砂）	CA3	1.4
掘削（礫混り）	CA4	－
埋戻（B＜1.0m）	RA	0.5

DNO.0+13.50

GH-25.366

FH-25.572



造成工事

不良土掘削	CA1	3.9
掘削（土砂）	CA2	－
掘削（礫混り）	CA3	－
路肩盛土	BA1	－
路床盛土（B≧4.0m）	BA2	3.5
路体盛土（B＜2.5m）	BA3	－
路体盛土（2.5≦B＜4.0m）	BA4	－
路体盛土（B≧4.0m）	BA5	－
盛土法面整形	BL	0.1
切土法面整形	CL	0.1

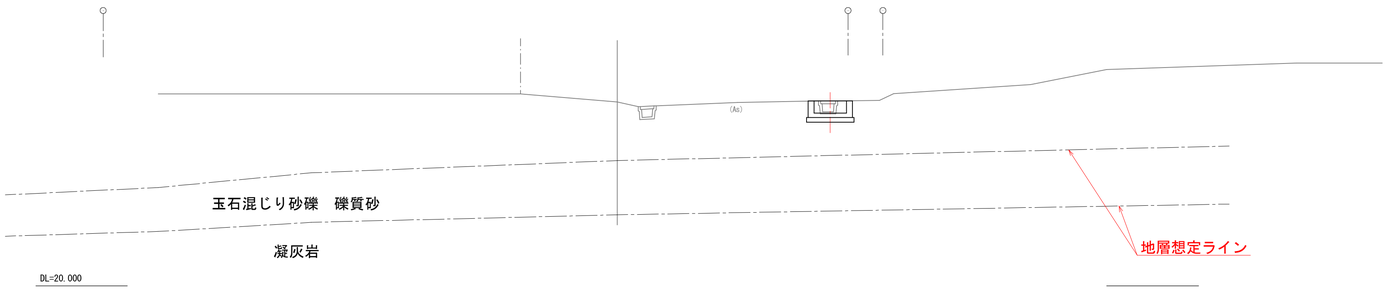
消防庁舎外構工事

掘削（土砂）	CA1	6.4
掘削（礫混り）	CA2	－
床掘（土砂）	CA3	1.4
掘削（礫混り）	CA4	－
埋戻（B＜1.0m）	RA	0.5

DNO.0

GH-26.018

FH=



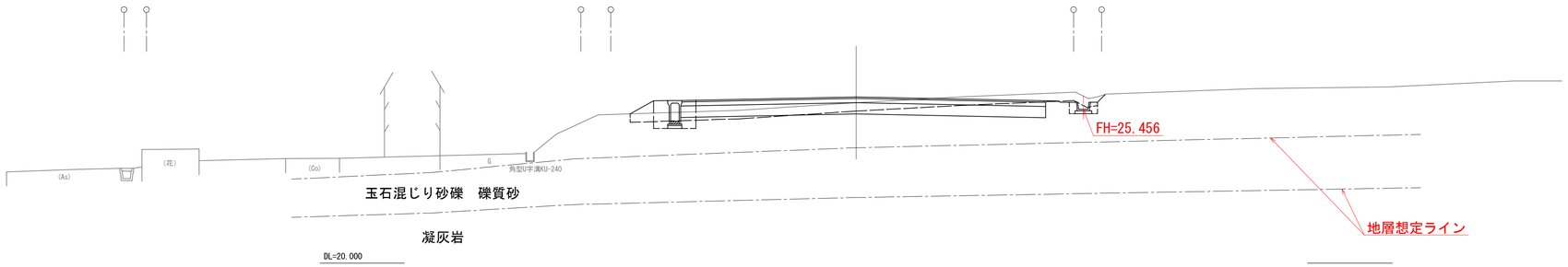
DRAWING	D路線横断図（1）	SCALE	A1:1/100 A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	A-87

D路線横断図（2）

S=1:100

DNO.2

GH=25.697
FH=25.898



造成工事

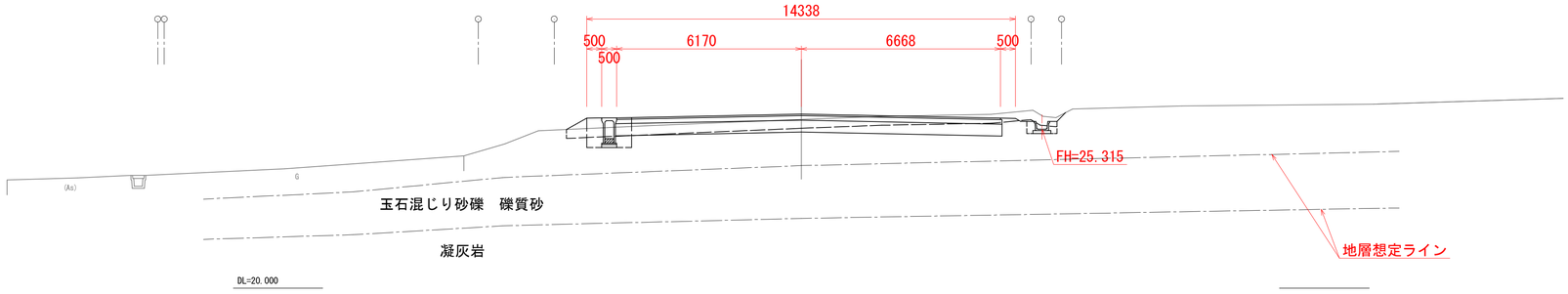
不良土掘削	CA1	5.0
掘削（土砂）	CA2	－
掘削（礫混り）	CA3	－
路肩盛土	BA1	－
路床盛土（B≧4.0m）	BA2	6.9
路体盛土（B＜2.5m）	BA3	－
路体盛土（2.5≦B＜4.0m）	BA4	－
路体盛土（B≧4.0m）	BA5	－
盛土法面整形	BL	1.0
切土法面整形	CL	0.4

消防庁舎外構工事

掘削（土砂）	CA1	7.4
掘削（礫混り）	CA2	－
床掘（土砂）	CA3	1.9
掘削（礫混り）	CA4	－
埋戻（B＜1.0m）	RA	0.9

DNO.1+13.50

GH=25.645
FH=25.818



造成工事

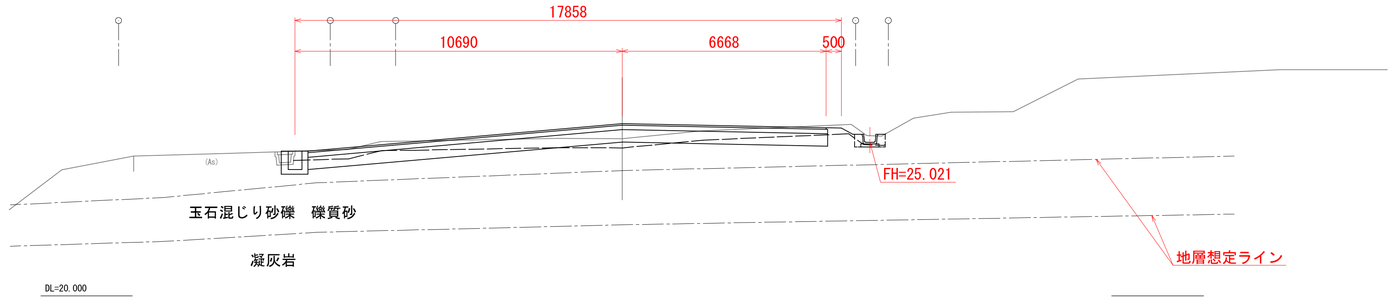
不良土掘削	CA1	5.0
掘削（土砂）	CA2	－
掘削（礫混り）	CA3	－
路肩盛土	BA1	－
路床盛土（B≧4.0m）	BA2	6.5
路体盛土（B＜2.5m）	BA3	－
路体盛土（2.5≦B＜4.0m）	BA4	－
路体盛土（B≧4.0m）	BA5	－
盛土法面整形	BL	1.0
切土法面整形	CL	0.4

消防庁舎外構工事

掘削（土砂）	CA1	7.4
掘削（礫混り）	CA2	－
床掘（土砂）	CA3	1.9
掘削（礫混り）	CA4	－
埋戻（B＜1.0m）	RA	0.9

DNO.1

GH=25.138
FH=25.652



造成工事

不良土掘削	CA1	5.8
掘削（土砂）	CA2	－
掘削（礫混り）	CA3	－
路肩盛土	BA1	－
路床盛土（B≧4.0m）	BA2	8.3
路体盛土（B＜2.5m）	BA3	－
路体盛土（2.5≦B＜4.0m）	BA4	－
路体盛土（B≧4.0m）	BA5	－
盛土法面整形	BL	0.4
切土法面整形	CL	0.1

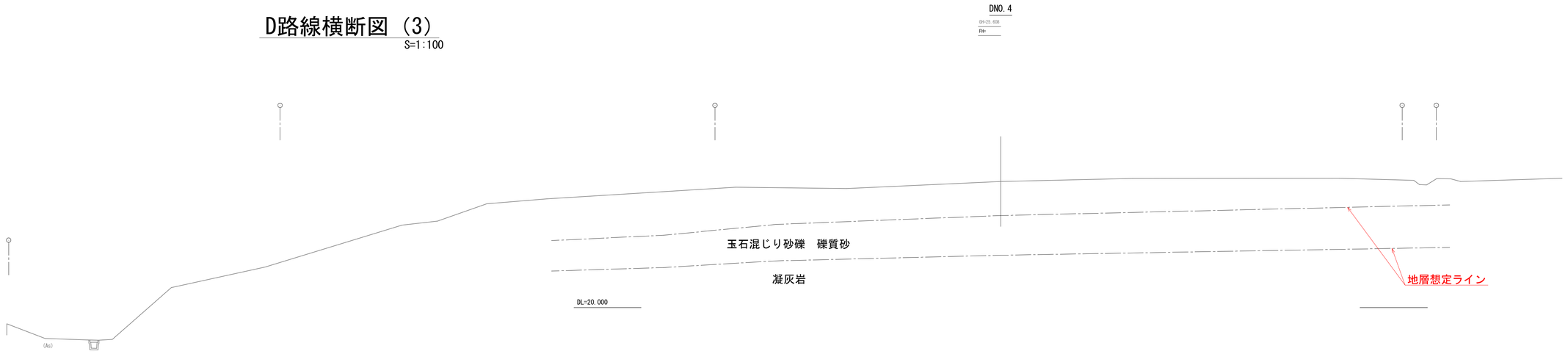
消防庁舎外構工事

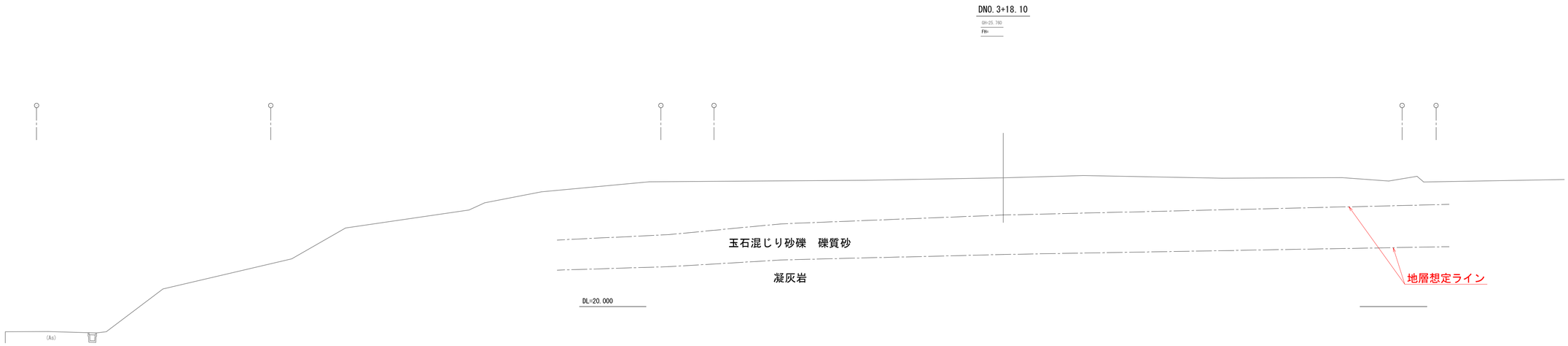
掘削（土砂）	CA1	10.2
掘削（礫混り）	CA2	－
床掘（土砂）	CA3	0.4
掘削（礫混り）	CA4	－
埋戻（B＜1.0m）	RA	0.2

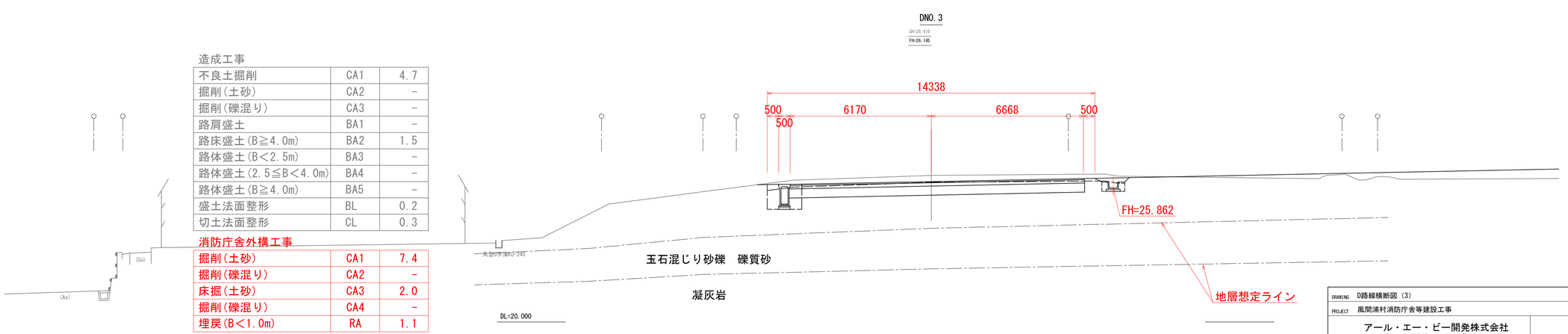
DRAWING	D路線横断図（2）	SCALE A1:1/100 A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. A-88

D路線横断図（3）

S=1:100







造成工事

不良土掘削	CA1	4.7
掘削（土砂）	CA2	－
掘削（礫混り）	CA3	－
路肩盛土	BA1	－
路床盛土（B≧4.0m）	BA2	1.5
路体盛土（B＜2.5m）	BA3	－
路体盛土（2.5≦B＜4.0m）	BA4	－
路体盛土（B≧4.0m）	BA5	－
盛土法面整形	BL	0.2
切土法面整形	CL	0.3

消防庁舎外構工事

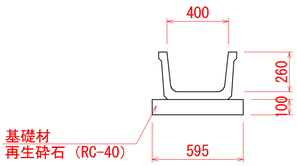
掘削（土砂）	CA1	7.4
掘削（礫混り）	CA2	－
床掘（土砂）	CA3	2.0
掘削（礫混り）	CA4	－
埋戻（B＜1.0m）	RA	1.1

DRAWING	D路線横断図（3）	SCALE A1:1/100 A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. A-88

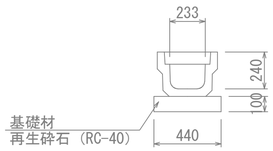
構 造 物 詳 細 図

S=1:20

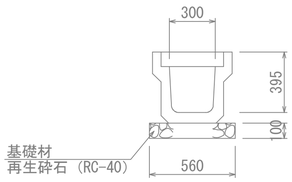
BF-400



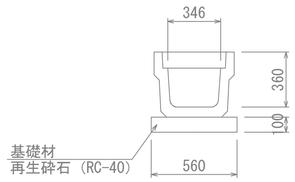
落蓋型側溝（240型）



落蓋型側溝（300A型）



落蓋型側溝（360型）



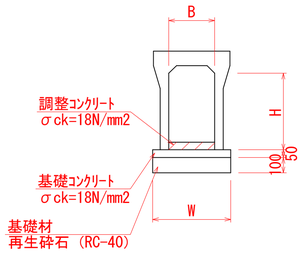
ヒューム管φ500



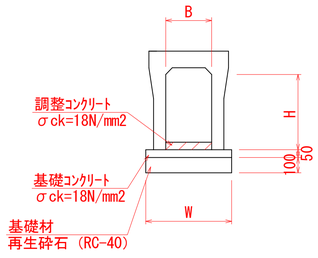
高密度ポリエチレン管（φ250）（シングル直管）



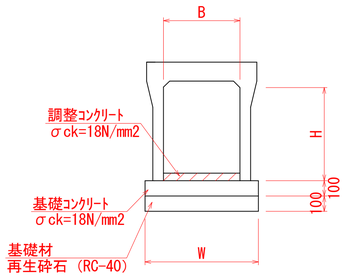
自由勾配側溝（縦断用）（300型）



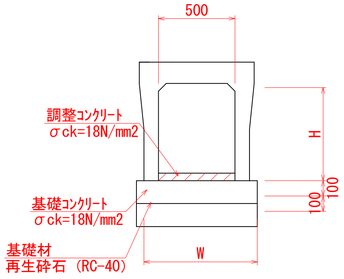
自由勾配側溝（横断用）（300型）



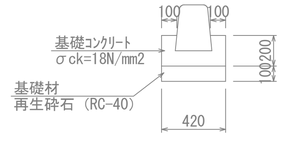
自由勾配側溝（縦断用）（500型）



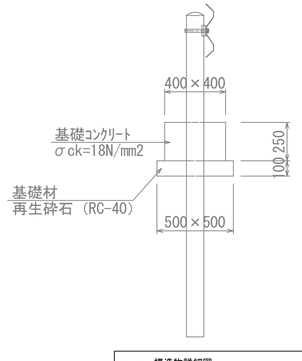
自由勾配側溝（横断用）（500型）



歩車道境界ブロック（C種）（両・R）



ガードレール（耐雪型）（Gr-C2-3E）



寸法表　及び　材料表

記号	寸法表 (mm) B	H	W	参考重量 (kg/個)	参考数量表（10m当り） 勾配調整コンクリート (m3)	基礎コンクリート (m3)	ｺﾝｸﾘｰﾄ計 (m3)	基礎材 t=10cm (m2)
US9-B-B300-H 300	300	300	500	326	0.30	0.25	0.6	5
US9-B-B300-H 400	300	400	510	403	0.30	0.26	0.6	5
US9-B-B300-H 500	300	500	510	455	0.30	0.26	0.6	5
US9-B-B300-H 600	300	600	530	560	0.30	0.27	0.6	5
US9-B-B300-H 700	300	700	530	625	0.30	0.27	0.6	5
US9-B-B300-H 800	300	800	550	760	0.30	0.28	0.6	6
US9-B-B300-H 900	300	900	550	830	0.30	0.28	0.6	6
US9-B-B300-H1000	300	1,000	570	995	0.30	0.29	0.6	6

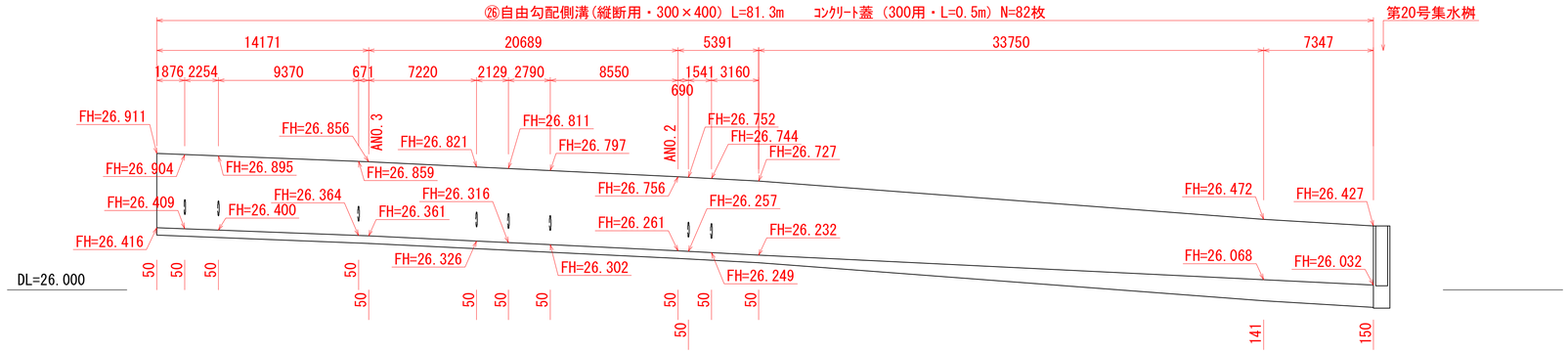
寸法表及び材料表

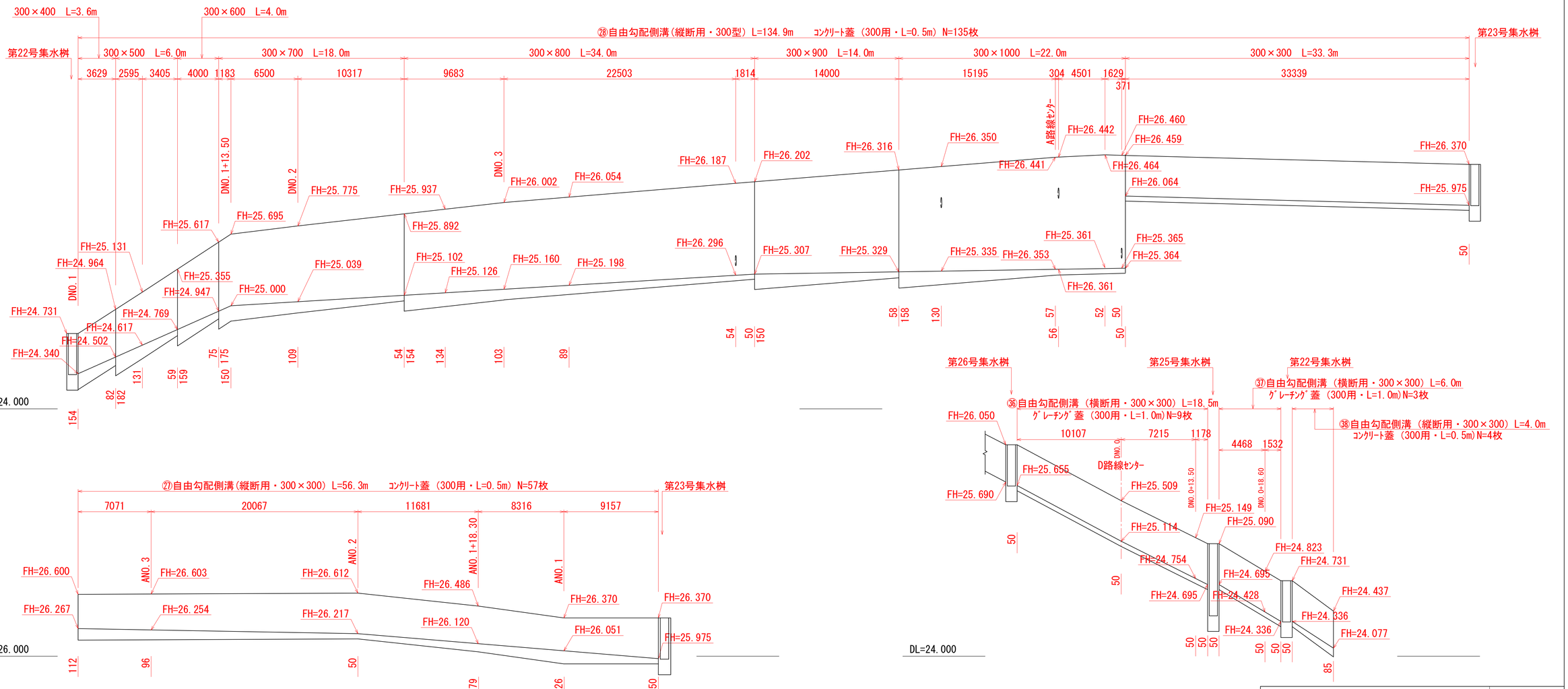
記号	寸法表 (mm) B	H	W	参考重量 (kg/個)	参考数量表（10m当り） 勾配調整コンクリート (m3)	基礎コンクリート (m3)	ｺﾝｸﾘｰﾄ計 (m3)	型枠 (m2)	基礎材 t=10cm (m2)
US9-B-B500-H 400	500	400	720	545	0.50	0.72	1.2	2	7
US9-B-B500-H 500	500	500	720	600	0.50	0.72	1.2	2	7
US9-B-B500-H 600	500	600	740	715	0.50	0.74	1.2	2	7
US9-B-B500-H 700	500	700	740	780	0.50	0.74	1.2	2	7
US9-B-B500-H 800	500	800	740	845	0.50	0.74	1.2	2	7
US9-B-B500-H 900	500	900	770	1,040	0.50	0.77	1.3	2	8
US9-B-B500-H1000	500	1,000	770	1,120	0.50	0.77	1.3	2	8

DRAWING	構造物詳細図	SCALE	A1:1/20 A3:1/40
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024. 03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男	DRAWING No.	A-90

自由勾配側溝展開図（その.2）

V=1:100
H=1:200



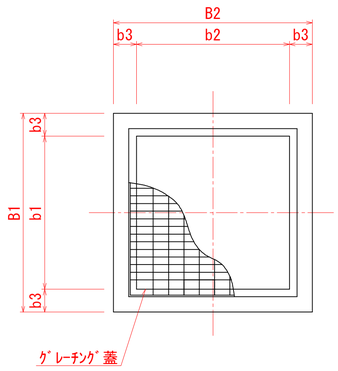


DRAWING	自由勾配側溝展開図（その.2）	SCALE	A1:1/100 A3:1/200 A1:1/200 A3:1/400
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. A-91

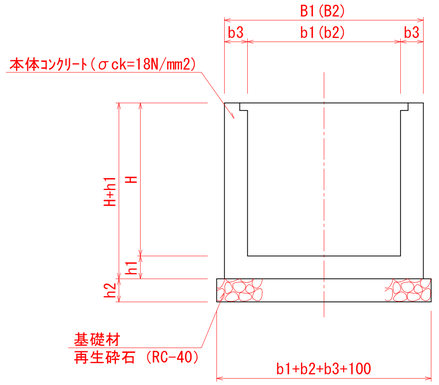
集水桝工詳細図

S=1:20

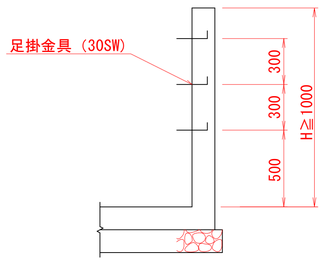
平面図



断面図



足掛金具詳細図



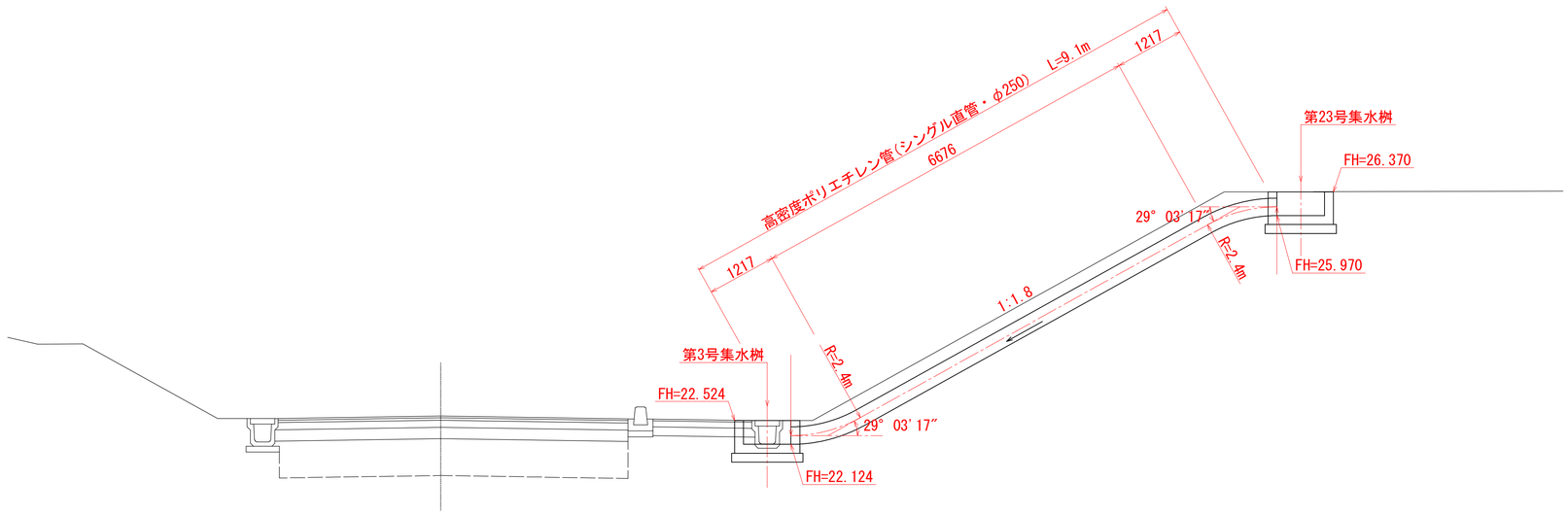
桝番号	内寸法	b1	b2	b3	H	h1	h2	桝天端高	関連側溝及び底高(m) ①	②	③	④	足掛金具(本)	蓋 版	系統図	備考
第 1号集水桝工	800×800×400	800	800	150	400	150	150	22.468	落蓋型側溝 (300A型) 22.073	–	自由勾配側溝(横) (300×300) 22.073	(既設)落蓋型側溝 (300型) 22.108	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第 2号集水桝工	800×800×400	800	800	150	400	150	150	21.890	落蓋型側溝 (300A型) 21.495	–	(既設)落蓋型側溝 (300型) 21.486	自由勾配側溝(横) (300×300) 21.495	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第 3号集水桝工	800×800×400	800	800	150	400	150	150	22.524	落蓋型側溝 (300A型) 22.129	落蓋型側溝 (300A型) 22.129	高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 (φ250) 22.129	–	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第 4号集水桝工	800×800×400	800	800	150	400	150	150	25.190	自由勾配側溝(横) (300×300) 24.795	落蓋型側溝 (300A型) 24.795	–	–	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第 5号集水桝工	800×800×400	800	800	150	400	150	150	25.730	落蓋型側溝 (300A型) 25.335	自由勾配側溝(横) (300×300) 25.335	自由勾配側溝(縦) (300×300) 25.335	–	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第 6号集水桝工	800×1000×400	800	1000	150	400	150	150	27.391	自由勾配側溝(横) (300×300) 26.996	落蓋型側溝 (300A型) 26.996	–	–	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第 7号集水桝工	800×1000×400	800	1000	150	400	150	150	27.616	落蓋型側溝 (300A型) 27.221	自由勾配側溝(横) (300×300) 27.221	–	–	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第 8号集水桝工	800×800×400	800	800	150	400	150	150	31.034	自由勾配側溝(横) (300×300) 30.656	(既設)落蓋型側溝 (300型) 30.656	–	落蓋型側溝 (300A型) 30.639	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第 9号集水桝工	800×800×750	800	800	150	750	150	150	27.352	自由勾配側溝(横) (500×600) 26.627	自由勾配側溝(縦) (500×600) 26.627	自由勾配側溝(横) (300×400) 26.957	–	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第10号集水桝工	800×800×850	800	800	150	850	150	150	26.779	自由勾配側溝(縦) (500×600) 25.954	ヒューム管 (φ500) 25.954	–	–	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第11号集水桝工	800×800×650	800	800	150	650	150	150	27.328	–	自由勾配側溝(横) (500×600) 26.701	自由勾配側溝(横) (500×600) 27.708	–	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第12号集水桝工	800×800×850	800	800	150	850	150	150	30.772	BF-400 30.513	–	自由勾配側溝(縦) (500×600) 30.047	自由勾配側溝(横) (500×600) 29.952	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第13号集水桝工	800×800×750	800	800	150	750	150	150	30.863	BF-400 30.604	–	自由勾配側溝(縦) (500×600) 30.138	自由勾配側溝(縦) (500×600) 30.138	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第14号集水桝工	800×800×750	800	800	150	750	150	150	30.996	BF-400 30.736	–	自由勾配側溝(縦) (300×400) 30.601	自由勾配側溝(縦) (500×600) 30.271	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第15号集水桝工	800×800×400	800	800	150	400	150	150	31.225	BF-400 31.341	–	落蓋型側溝 (300A型) 30.830	自由勾配側溝(縦) (300×400) 30.830	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第16号集水桝工	800×800×400	800	800	150	400	150	150	31.601	(既設)落蓋型側溝 (300型) 31.259	自由勾配側溝(横) (300×300) 31.259	–	落蓋型側溝 (300A型) 31.206	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第17号集水桝工	800×800×600	800	800	150	600	150	150	26.600	自由勾配側溝(縦) (300×500) 26.005	–	自由勾配側溝(横) (300×600) 26.019	自由勾配側溝(縦) (300×500) 26.005	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第18号集水桝工	800×800×800	800	800	150	800	150	150	26.984	自由勾配側溝(縦) (300×800) 26.189	–	自由勾配側溝(横) (300×400) 26.489	自由勾配側溝(横) (300×700) 26.189	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第19号集水桝工	800×800×500	800	800	150	500	150	150	27.149	自由勾配側溝(縦) (300×400) 26.654	–	落蓋型側溝 (300A型) 26.754	自由勾配側溝(横) (300×400) 26.654	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第20号集水桝工	800×800×400	800	800	150	400	150	150	26.427	BF-400 26.032	BF-400 26.032	**自由勾配側溝(縦) (300×400) 26.032**	–	–	–		
第21号集水桝工	800×800×500	800	800	150	500	150	150	25.491	–	BF-400 24.991	BF-400 24.991	**自由勾配側溝(横) (300×500) 24.991**	–	–		
第22号集水桝工	800×800×400	800	800	150	400	150	150	24.731	**自由勾配側溝(縦) (300×500) 24.340**	–	**(既設)落蓋型側溝 (300型) 24.340**	**(既設)落蓋型側溝 (300型) 24.340**	–	**ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25**		
第23号集水桝工	800×800×400	800	800	150	400	150	150	26.370	**自由勾配側溝(縦) (300×300) 25.975**	–	**自由勾配側溝(縦) (300×300) 25.975**	**高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 (φ250) 25.975**	–	**ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25**		
第24号集水桝工	800×800×400	800	800	150	400	150	150	22.600	落蓋型側溝 (360型) 22.240	–	(既設)落蓋型側溝 (300型) 22.219	(既設)落蓋型側溝 (300型) 22.260	–	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25		
第25号集水桝工	800×800×700	800	800	150	700	150	150	25.090	**自由勾配側溝(横) (300×700) 24.420**	**(既設)ヒューム管 (φ500) 24.420**	**自由勾配側溝(横) (300×300) 24.695**	**自由勾配側溝(横) (300×300) 24.695**	–	**ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25**		
第26号集水桝工	800×800×400	800	800	150	400	150	150	26.050	**(既設)落蓋型側溝 (300型) 25.690**	**自由勾配側溝(横) (300×300) 25.655**	–	–	–	**ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋 T-25**		



DRAWING	集水桝詳細図	SCALE	A1:1/20 A3:1/40
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男			DRAWING No. A-92

流 末 処 理 工

側 面 図
S=1:50

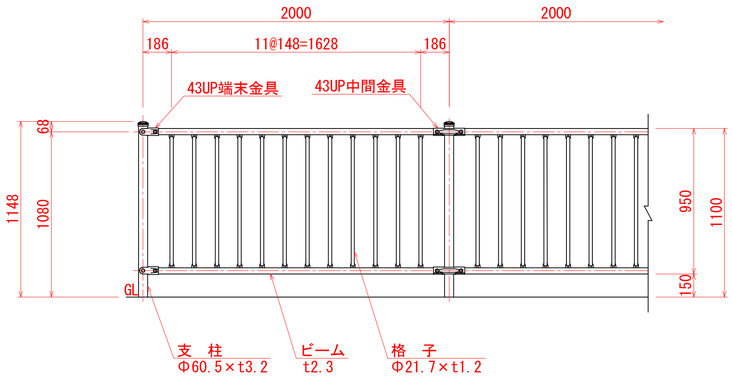


DL=20.000

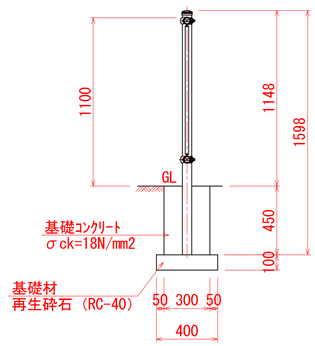
DRAWING	流末処理工	SCALE	A1:1/50 A3:1/100
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No. A-93

転落防止柵詳細図

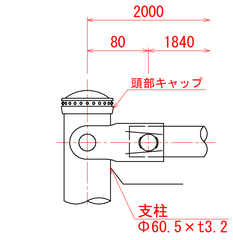
設 置 図
S=1:20

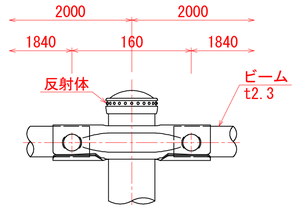


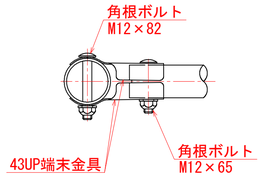
断 面 図
S=1:20

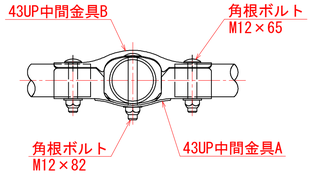


取付部詳細図
S=1:4







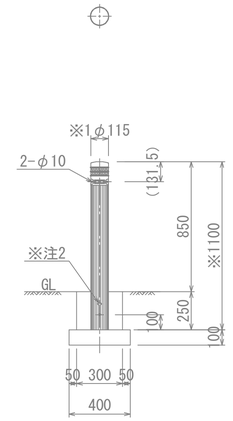


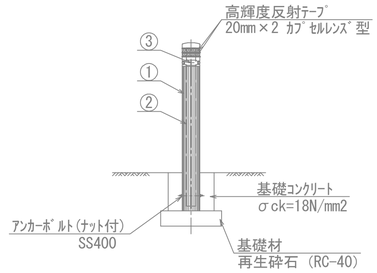
品 名	材 質	摘 要
支 柱	STK400	亜鉛めっき＋静電粉体塗装
ビーム	SGH490	亜鉛めっき＋静電粉体塗装
格 子	STK400	亜鉛めっき＋静電粉体塗装
43UP中間金具	SGH400	亜鉛めっき＋静電粉体塗装
43UP端末金具	SGH400	亜鉛めっき＋静電粉体塗装
角根ボルト	4.6相当	溶融亜鉛めっき M12×65
角根ボルト	4.6相当	溶融亜鉛めっき M12×82
頭部キャップ	PE	着色樹脂
反射体	ガラスビーズ	ベース 黒・反射体 黄
ナットアンカー		溶融亜鉛めっき M12
取付ボルト	4.6相当	溶融亜鉛めっき M12×30

《注記》部品は場合により多少変更することがあります。

車止め詳細図

設 置 図
S=1:20





※注１．※印の寸法は製造上φ115+0^-5;、1100+10^-5;の公差範囲になります。

※注２．指示部にφ20程度の製造上の跡がでます。

※注３．表面のマーブル調の模様は成形時に偶発的にできるもので、製品ごとに異なります。

番号	品 名	数量	材 質	備 考
1	本体	1	リサイクルポリエチレン	φ115（最大φ121）
2	中芯パイプ	1	亜鉛メッキ鋼管	φ60.5×ｔ2.3
3	フック	1	ステンレス SUS304	ｔ3 H.L.仕上げ

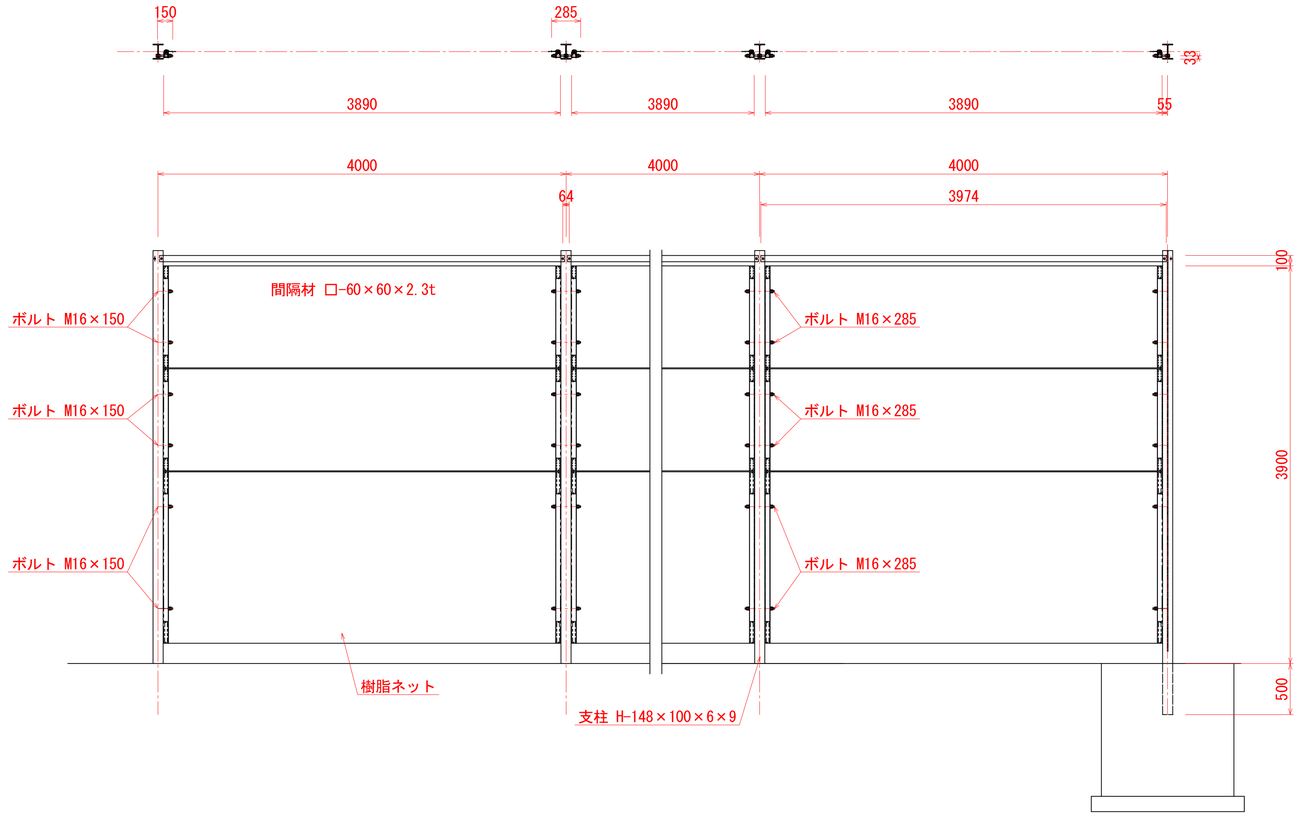
＜本体仕様＞

色 番	色	高輝度反射テープ
□C	ブラウン	黄色
□N	グレー	白色

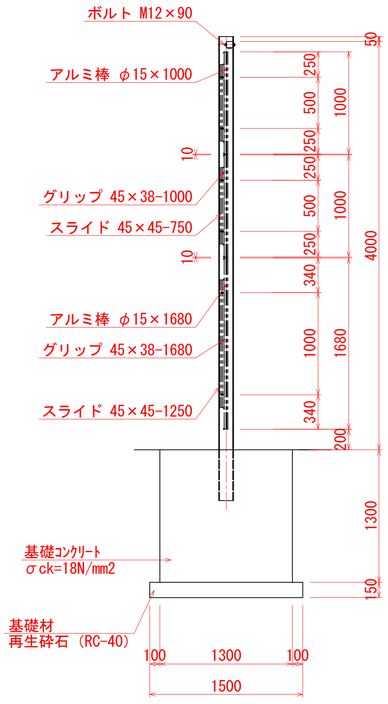
DRAWING 転落防止柵・車止め詳細図		SCALE A1:1/20 A3:1/40
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事		DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No. A-94

防風柵詳細図

設置正面図
S=1:30



断面図
S=1:30



部材数量表（1スパン当たり）

品　　名	規　　格	材　質	数　量	単重(kg)	備　　考
支柱	H-148×100×6×9	SS400	1	94.32	HDZT77
間隔材	□-60×60×2.3-3974	STKR400	1	16.13	HDZT56
グリップ	45×38-1680	A6063S-T5	2	3.48	シルバーアルマイト仕様
グリップ	45×38-1000	A6063S-T5	4	2.07	シルバーアルマイト仕様
スライド	45×45-1250	A6063S-T5	2	2.45	シルバーアルマイト仕様
スライド	45×45-750	A6063S-T5	4	1.47	シルバーアルマイト仕様
アルミ棒	φ15×1680	A6063S-T5	2	0.84	シルバーアルマイト仕様
アルミ棒	φ15×1000	A6063S-T5	4	0.50	シルバーアルマイト仕様
樹脂ネット	1680×4000	ー	1	3.83	ポリエステル+アクリル樹脂
樹脂ネット	1000×4000	ー	2	2.28	ポリエステル+アクリル樹脂
取付ボルト	M16×285　B,W4,N6	8.8 相当	6	0.65	HDZT49
取付ボルト	M12×90　B,W2,SW,N	4.6 相当	2	0.12	HDZT49

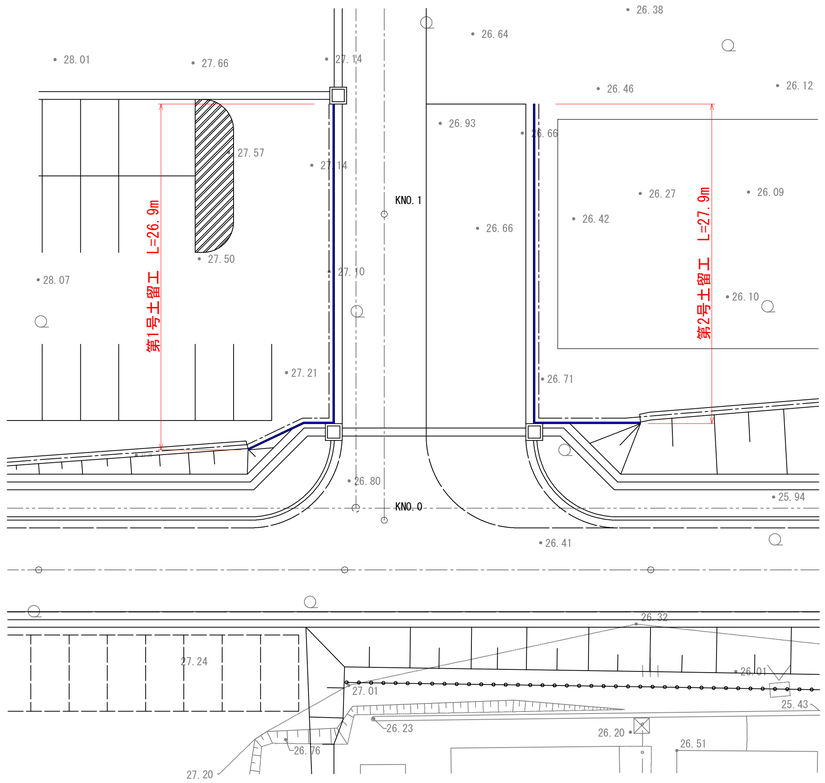
<注記> 部品は場合により多少変更することがあります。

1スパン分の重量　152.68kg
1ｍ当たりの重量　38.17kg

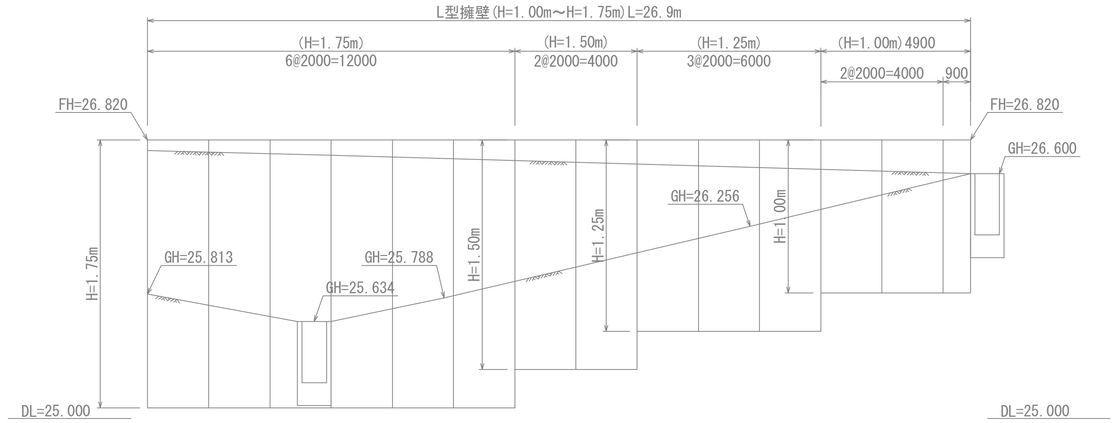
DRAWING	防風柵詳細図	SCALE	A1:1/30 A3:1/60
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	A-95

土留工詳細図

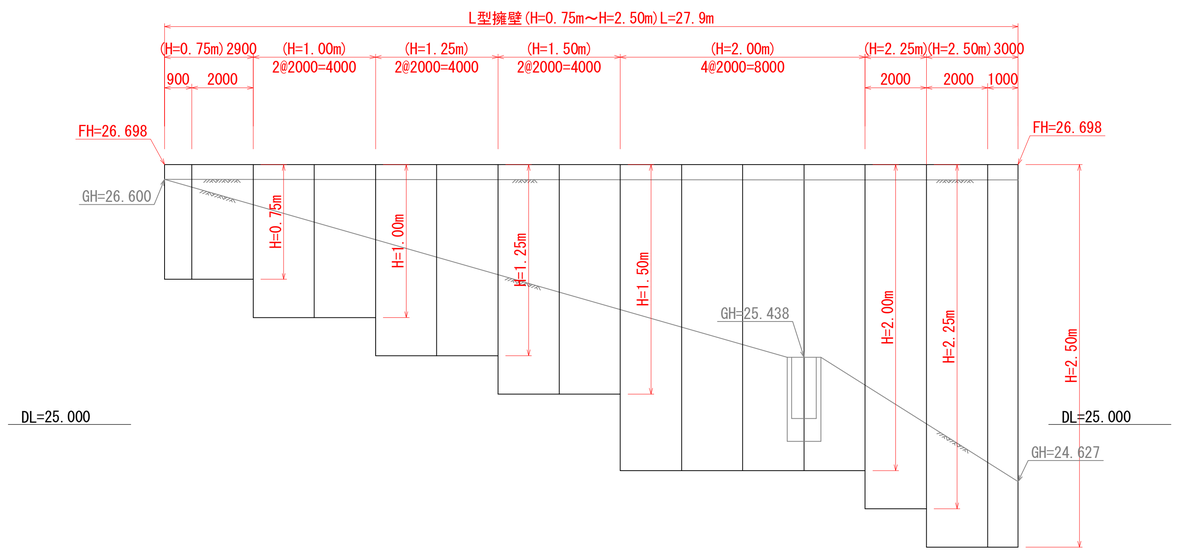
平面図
S=1:200



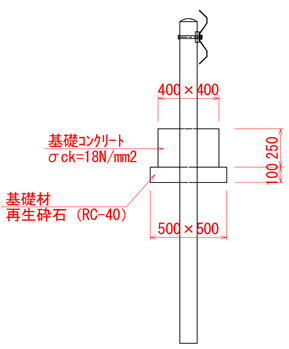
第1号土留工展開図
V=1:20
H=1:100



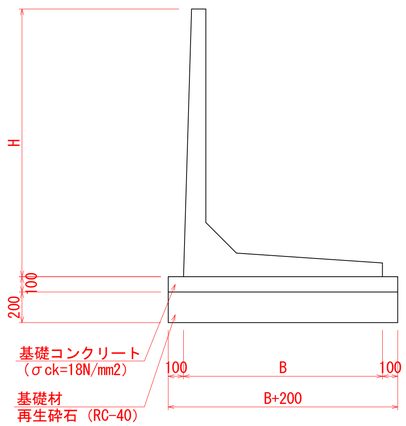
第2号土留工展開図
V=1:20
H=1:100



ガードレール(耐雪型)
(Gr-C2-3E)



L型擁壁断面図
S=1:20



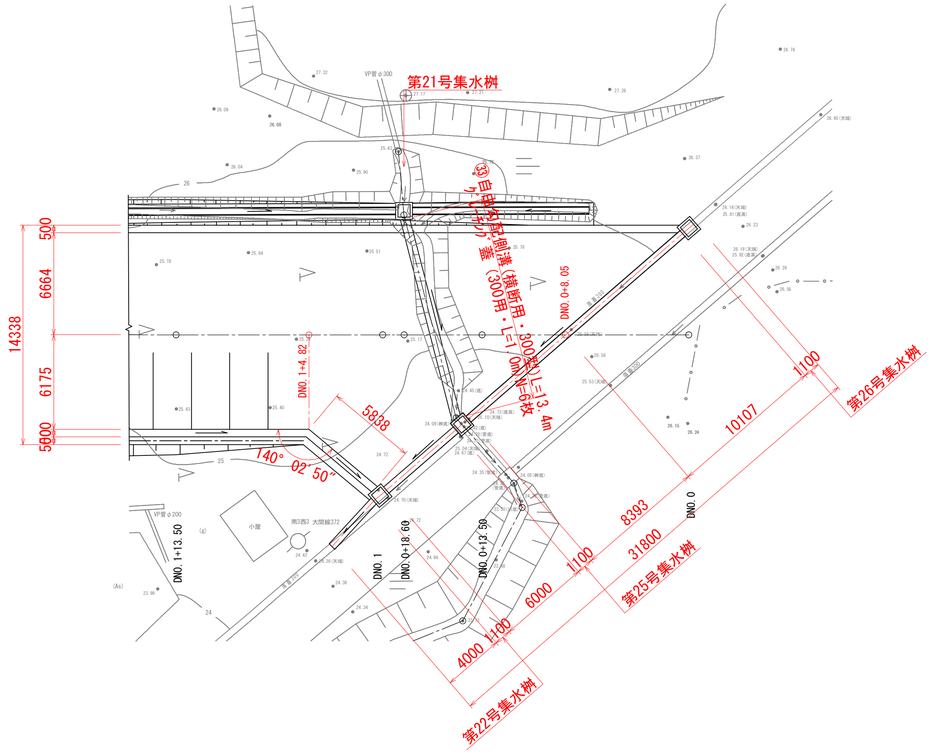
寸法表

H(m)	B(mm)	B+200(mm)
0.75	750	950
1.00	850	1050
1.25	1000	1200
1.50	1150	1350
1.75	1300	1500
2.00	1450	1650
2.25	1600	1800
2.50	1750	1950

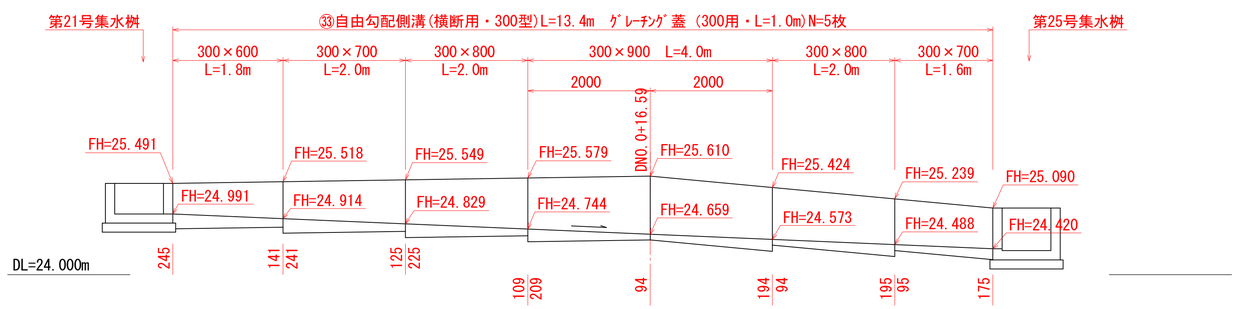
DRAWING	土留工詳細図	SCALE	A1:1/200 A3:1/400
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男			DRAWING No. A-96

交差点詳細図

消防庁舎出入口部
S=1:200



㉝自由勾配側溝
S=1:50



DRAWING	交差点詳細図	SCALE	A1:1/200.4 A3:1/400
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No. A-97

電気設備工事　特記仕様書

Ⅰ.工事概要

1.工事場所　下北郡風間浦村大字易国間　地内

2.建物概要

建物名称	構造	階数 地上	階数 地下	階数 塔屋	建築基準法による 延べ面積(㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	施設の分類	備考
庁舎	S造	2階			9357.2	１５項	特定の施設	新築１棟
防災倉庫	木造	1階			133.32	１４項	一般の施設	新築１棟

3.工事種目（●印の付いたものを適用する。）

	工事種目 庁舎	防災倉庫		屋外	備考
● 電灯設備	新設ｰ式	新設ｰ式			
● 動力設備	新設ｰ式	新設ｰ式			
○ 電気自動車用充電設備					
○ 電熱設備					
○ 雷保護設備					
● 受変電設備		新設ｰ式			
○ 電力貯蔵設備					
● 発電設備		新設ｰ式			
● 構内情報通信網設備	新設ｰ式				
● 構内交換設備	新設ｰ式				
○ 情報表示設備					
● 映像・音響設備	新設ｰ式				
● 拡声設備	新設ｰ式				
● 誘導支援設備	新設ｰ式				
● テレビ共同受信設備	新設ｰ式				
● 監視カメラ設備	新設ｰ式				
○ 駐車場管制設備					
○ 防犯・入退室管理設備					
○ 火災報知設備					
○ 中央監視制御設備					
○					
● 構内配電線路				新設ｰ式	外灯設備を含む
● 構内通信線路				新設ｰ式	
○					
○					

4.指定部分　●なし
○あり　範囲：　工期：令和　年　月　日

Ⅱ.工事仕様

1.共通仕様

（1）図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印が付いたものを適用する。
- ● 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）（以下「標準仕様書」という。）
- ● 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和４年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
- ● 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（令和４年版）（以下「標準図」という。）

（2）機械設備工事を本工事に含む場合は、機械設備工事は機械設備の部の特記仕様書を適用する。
なお、機械設備の部の特記仕様書は（　／　）図による。

2.特記仕様

項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。

章	項目	特記事項
一般共通事項	●適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○ 風圧力 風速（Ｖｏ＝　） 地表面粗度区分（　） ○ 積雪荷重 建設省告示第１４５５号における区域 別表（　）
	●電気工作物保安規程	東北地方整備局制定の営繕工事事業用電気工作物保安規程を適用する。
	●電気工事士	最大電力５００ｋＷ以上の場合においても、第１種電気工事士により施工を行う。
	●機材の品質等	（1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （2）下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。 ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

機材名	製造業者等名
LED照明器具（一般屋内用に限る。）	
照明制御装置	
可変速運転用インバータ装置	
分電盤	
制御盤	
キュービクル式配電盤	
高圧スイッチギア（CW形）	
高圧スイッチギア（PW形）	
高圧交流遮断器	
高圧変圧器（特定機器）	
高圧進相コンデンサ	
高圧限流ヒューズ	
高圧負荷開閉器	
交流無停電電源装置	
太陽光発電装置（パワーコンディショナ及び系統連系保護装置）	
監視カメラ装置	
中央監視制御（監視制御装置）	

一般共通事項

●環境への配慮　（1）本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成１２年法律第１００号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和４年２月閣議決定）」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

（2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③ 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジーｎ－ブチル及びフタル酸ジー２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

●他工事との取合い　施工範囲　図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。

●耐震施工　（1）設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。
ただし、重量１ｋＮ以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。

①設計用水平地震力
機器の重量［ｋＮ］に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合は設計用標準水平震度は次による。

設計用標準水平震度

機器種別		特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・１階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３階、１３階建以上の場合は上層４階とする。
・中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しない階とする。
・水槽類には燃料小出タンクを含む。
・重要機器は次のものを示す。
○ 配電盤　○ 発電装置（防災用）　○ 直流電源装置
○ 交流無停電電源装置　○ 交換装置　○ 自動火災報知受信機
○ 中央監視制御装置　○　○

②設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

（2）横引き配管等の耐震支持は、施設の耐震安全性の分類に応じたものとする。

●仮設工事　○（○○○○の部）特記仕様書による。

●足場その他
● 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。
○ 本工事で設置する。
「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
○ 内部足場　種別　○ 脚立、足場板等　○
○ 外部足場　種別　○ A種　○ B種　○ C種　○ D種　○ E種
防護シート　○ 設置する。　○ 設置しない。

一般共通事項

○電源周波数　５０ＨＺ

●支持金物・固定金具　イ）屋外機器及び屋外の配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
ロ）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。

●電線・ケーブル　新設する電線類は、図面に「ＥＭ－○○」の記載がなくとも、ＥＭ電線、ＥＭケーブルを使用する。

●厚鋼電線管　屋外、及び地下ピットで使用する厚鋼電線管のうち特記のないものは「内外面溶融亜鉛めっき（めっき付着量３００ｇ／㎡以上）」仕上げとする。

●合成樹脂製可とう管　合成樹脂製可とう管はＰＦ管（一重管）とし、湿度による分類はタイプ－２５とする。

●電線本数、管路など　分電盤、制御盤、端子盤などの２次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受けて、変更してもさしつかえない。

●インサート　床版で断熱材打込み部分は、断熱材用インサートとする。

●フラッシプレート　● 金属製（ステンレス、新金属も含む）　○ 樹脂製

●フロアプレート　○ アルミ製　● 鋼合金製
水平調整付プレート（空転防止リング付）とする。

●接地極の種別及び位置表示　図面に特記なき場合は、表１「接地極一覧表」による。

○塗装　○ 居室に設置する分電盤は指定色塗装を施す。
○ 下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
（○ 居室　○　○　○　）

●機器取付高さ　○ 図面に特記なき場合は、表２「機器取付高さ」による。

各設備

●タンブラスイッチ　ネーム付きとする。

●ＯＡフロアー用配線器具の蓋　● アルミ製　○ 樹脂製

●ﾊｰﾈｽｼﾞｮｲﾝﾄ用ＯＡﾀｯﾌﾟ　特記の無いﾊｰﾈｽｼﾞｮｲﾝﾄ用ＯＡﾀｯﾌﾟは次の仕様とする。
２Ｐ１５Ａ（接地極付抜止形）×４ ｺｰﾄﾞ3m（ﾏｸﾞﾈｯﾄ付）通電表示灯付

●人感センサー用プレート　照明の人感センサー制御を行う部屋には、下記の注意プレートを設置する。
材質：アクリル　文字：印刷文字　寸法：Ｗ=180mm程度、H=50mm程度
参考文例：「人の動きを検知して点灯します。一定時間動きがなければ消灯しますので、その際は再度身体を動かしてください。」
注意プレート設置室：● 便　所（計 5枚）○　（計　枚）

○ﾀｰﾐﾅﾙﾕﾆｯﾄ付ﾘﾓｺﾝﾘﾚｰ　天井内に取付けるターミナルユニット付リモコンリレーの設置場所は、原則として点滅系統内の第１照明器具近傍とする。
ただし、これによりがたい場合は監督職員と協議する。

●ＬＥＤ照明器具　ＬＥＤ照明器具の制御装置記号が特記されていないものは「一般形（ＬＮ）」とする。

●照度測定　一般照明の照度測定箇所は、下記によるものとし監督職員に報告する。
○明るさセンサが設置される部屋は、センサ１個につき１箇所以上
○明るさセンサが設置されない部屋は、工事全体で　部屋箇所数　以上

●照度測定（非常用の照明装置）　非常用の照明装置の照度測定箇所は、工事全体で計　１６　箇所以上とし、監督職員に報告する。

●分電盤　● 分電盤の分岐回路に使用する配線用遮断器及び漏電遮断器は、JIS協約形の１Ｐサイズ（100V2P1E,200V2P2E）とする。

○ 埋込形分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器４個以下の場合（ＰＦ２２）を１本、５個以上の場合（ＰＦ２２）を２本、天井まで立上げる。

○制御盤　配管ボンドとなる負荷には接地端子を設けなくともよい。

表１「接地極一覧表」
接地極の種別は下記を標準としEBの長さは1,500mmとする。ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。又、装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

	接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格、数量
○	雷保護用接地	E_{LA}	Ω以下	ＥＰ×２
○	雷保護用接地	E_{LA}	Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×　連ー　組
○	共同接地	$E_A E_D E_{LH}$	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×３連ー２組
●	共同接地	$E_A E_C E_D$	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×３連ー２組
●	Ａ種接地	E_A	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×３連ー２組
●	Ｂ種接地	E_B	Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×２
○	Ｃ種接地	E_C	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×３連ー２組
●	Ｄ種接地	E_D	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×１
○	漏電遮断器回路	E_{t1}	５００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×１
○	構内交換機（隊極用）	E_{t}	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×３連ー２組
○	本配線盤の保安装置	E_{A1}	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×３連ー２組
○	電話引込口の保安器	E_{L1}	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×１
○	アンテナ保安器	E_{L1}	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×１
○	拡声増幅器	E_{D1}	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×１
○	防犯装置用	E_S	Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×３連ー　組
○				
○	測定用補助接地極	E_Q	―――	ＥＢ（Ｄ＝１０又はＷ＝３０）×１
○	避雷器用（低圧用）	E_{LL}	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×３連ー２組
○	避雷器用（高圧用）	E_{LH}	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×３連ー２組
○	避雷器用（モデム用）	E_{MD}	１００Ω以下	ＥＢ（Ｄ＝１４又はＷ＝４０）×１

表２「機器取付高さ」

	機器	測点	取付高(mm)
共通	積算用計器	地上～窓中心	1,800～2,000
	引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200
電灯	分電盤	床上～中心	1,500（上限1,900以下）
	ｽｲｯﾁ（一般）	床上～中心	1,300
	ｽｲｯﾁ（自動ドア）	床上～中心	1,300
	ｽｲｯﾁ（和室）	床上～中心	1,200
	ｺﾝｾﾝﾄ（一般）	床上～中心	300
	ｺﾝｾﾝﾄ（和室）	床上～中心	150
	ｺﾝｾﾝﾄ（台上）	台上～中心	150～200
	ｺﾝｾﾝﾄ（厨房）	床上～中心	800～1,000
	ｺﾝｾﾝﾄ（車庫）	床上～中心	1,300
	ｺﾝｾﾝﾄ（機械室）	床上～中心	500～1,000
	ｺﾝｾﾝﾄ（屋外）	地上～中心	1,000～1,300
	ﾌﾞﾗｹｯﾄ（一般）	床上～中心	2,100～2,300
	ﾌﾞﾗｹｯﾄ（踊場）	床上～中心	2,000～2,500
	ﾌﾞﾗｹｯﾄ（鏡上）	鏡上端～中心	150
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500（上限1,900以下）
	開閉器箱	床上～中心	1,500
	制御用ｽｲｯﾁ	床上～中心	1,300
雷保護	試験用接地端子箱	床上～下端	800
受変電	接地端子箱	床上～中心	500
誘導支援等	呼出しﾎﾞﾀﾝ（多機能ﾄｲﾚ用）	床上～中心	900、400（各1個）
	壁付ｲﾝﾀｰﾎﾝ（親機）	床上～中心	1,300
	壁付ｲﾝﾀｰﾎﾝ（玄関子機）	床上～中心	1,100
	廊下表示灯（復旧ﾎﾞﾀﾝ付）	床上～中心	1,300
	ｽｲｯﾁ（車椅子用）	床上～中心	1,100
	ｺﾝｾﾝﾄ（車椅子用）	床上～中心	900
電話	集合保安器箱	天井～上端	200
	端子盤（廊下、室内）	床上～下端	300
	端子盤（EPSなど）	床上～中心	1,500
	壁付電話機	床上～中心	1,300
	壁付ﾌｧｸﾄﾚｯﾄ（一般）	床上～中心	300
	壁付ﾌｧｸﾄﾚｯﾄ（和室）	床上～中心	150
時計拡声	壁掛形親時計	床上～中心	1,500（上端1,900以下）
表示等	壁付子時計	床上～中心	天井高×0.9
	壁付形ｽﾋﾟｰｶ	床上～中心	天井高×0.9
	壁付ｱﾝﾌﾟﾏｰｶ	床上～中心	1,300
	情報表示盤	床上～中心	天井高×0.9
	壁付発信機	床上～中心	1,300
	ﾍﾞﾙ ﾌﾞｻﾞｰ ﾁｬｲﾑ	床上～中心	2,300
	壁付押ﾎﾞﾀﾝ（一般）	床上～中心	1,300
インターホン	ﾃﾚﾋﾞｲﾝﾀｰﾎﾝ（親器）	床上～中心	1,400
	ﾃﾚﾋﾞｲﾝﾀｰﾎﾝ（子機）	床上～中心	約1,350
	壁付ｲﾝﾀｰﾎﾝ（一般）	床上～中心	1,300
	壁付ﾌｧｸﾄﾚｯﾄ（一般）	床上～中心	1,300
テレビ	機器収容箱	天井～上端	200
	機器収容箱（EPS）	床上～中心	1,500
	ﾃﾚﾋﾞ端子（一般）	床上～中心	300
	ﾃﾚﾋﾞ端子（和室）	床上～中心	150
火災報知	受信機	床上～操作部	800～1,500
	副受信機	床上～操作部	800～1,500
	機器収容箱	床上～操作部	800～1,500
	発信機	床上～操作部	800～1,500
	表示灯	床上～中心	2,100
	警報ﾍﾞﾙ	床上～中心	2,300
ガス漏れ検知器	液化石油ｶﾞｽ用	床上～上端	300
	都市ｶﾞｽ用（軽質）	天井～上端	150
	都市ｶﾞｽ用（重質）	床上～上端	300

注）天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さにおいて機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

DRAWING	電気設備　特記仕様書	SCALE　Non
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男	DRAWING No. E-01

章	項目	特記事項
一般共通事項	●本受電後の基本料金	● 計上する（想定契約電力　93kW、想定期間　1ヶ月間） ○ 計上しない
	●耐震措置	（1）地域係数　　○ 1.0　● 0.9 （2）設備機器の固定はⅡ工事仕様（一般共通事項）耐震施工による他、「建築設備耐震設計・施工指針・２０１４年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。
	●保温、結露防止	外部に面する壁、天井で建築工事でFP版（スタイロフォーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは保温、結露防止処理を行う。
	●呼び線	長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mm以上のEM-IE電線を挿入する。
	○再使用機材・養生	○ 指定機材（　　）　　○ 特別清掃（　　）
	●環境に配慮した電線	LAN用ツイストペアケーブルは、下記による。 記号：仕様 EM-UTPｹｰﾌﾞﾙ：JCS5503 耐燃性ﾎﾟﾘｵﾚﾌｨﾝｼｰｽ LAN用ﾂｲｽﾄﾍﾟｱｹｰﾌﾞﾙ (EM-UTP5E)：耐燃性ﾎﾟﾘｵﾚﾌｨﾝｼｰｽ ｶﾃｺﾞﾘ5e UTPｹｰﾌﾞﾙ(ECO-UTP-CAT5E/F) (EM-UTP6)：耐燃性ﾎﾟﾘｵﾚﾌｨﾝｼｰｽ ｶﾃｺﾞﾘ6 UTPｹｰﾌﾞﾙ(ECO-UTP-CAT6/F) (EM-UTP6A)：耐燃性ﾎﾟﾘｵﾚﾌｨﾝｼｰｽ ｶﾃｺﾞﾘ6A UTPｹｰﾌﾞﾙ(ECO-UTP-CAT6A/F) (EM-F/UTP6A)：耐燃性ﾎﾟﾘｵﾚﾌｨﾝｼｰｽ ｶﾃｺﾞﾘ6A F/UTPｹｰﾌﾞﾙ(ECO-F/UTP-CAT6A/F)
	○はつり	既存コンクリート部の床・壁の配管貫通部等の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
	●キュービクル、分電盤、制御盤等	キャビネットの仕上げ： ○ 製造者の標準色仕上げとする。 ● 下記部位に取付けるものは、指定色仕上げとし、それ以外は製造者の標準色仕上げとする。 ○ 屋外　● 居室（　事務室　）
	●屋外部の支持金具等	屋外に設置する機器付属金物・ボルトナット類及び外壁等への取付用配管支持金具は、溶融亜鉛めっき製またはステンレス製とする。
電灯設備	●電気方式	幹線：単相　3線式　200/100V 分岐：単相　2線式　200V 分岐：単相　2線式　100V
	●連続調光形LEDとする室名等	室名（事務室・災害対策室・分所長室）
	○誘導灯	● 電池内蔵形　　○ 電池別置形
	●非常用照明器具	● 電池内蔵形　　○ 電池別置形
	●ハイテンションアウトレット	○ 飛び出し形　　● 外部固定形 ● 銅合金形　　○ アルミ製
動力設備	●電気方式	幹線：三相　3線式　200V 分岐：三相　3線式　200V
	○警報盤	○ 壁掛式（電源装置　● 内蔵　○ 別置）
	○電磁開閉器用押釦	○ 埋込連用形配線器具　　○
	●機器への接続	電動機等への接続は本工事とする。
	●電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
	○総合動作試験	○ 無　　○ 有（　　）
電熱設備	○電気方式	幹線：　相　線式　V 分岐：　相　線式　V
	○発熱線	● 第2種 ○ 第4種
	○施工場所及び面積	○ 表玄関ポーチ　約　㎡ ○　約　㎡ ○　約　㎡

章	項目	特記事項
雷保護設備	○保護レベル	○ Ⅰ　○ Ⅱ　○ Ⅲ　○ Ⅳ
	○受雷部	○ 突針　○ 水平導体　　○ メッシュ導体　○ 構造体利用（　）
	○避雷導線	● 建築構造体利用　　○ 引下げ導線
	○接地極	● 建築構造体利用　　○ 接地極埋設
受変電設備	●電気方式	高圧：三相　3線式　6kV 低圧：三相　3線式　200V 低圧：単相　3線式　100V/200V
	●配電盤	● 屋内用　　○ 屋外用（材質（● 鋼板　○ ステンレス）） ● キュービクル式配電盤　○ 高圧スイッチギア
	●主遮断装置	● 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器(PF-S)　○ 高圧交流遮断器(CB) 定格遮断電流　72kA以上
	●設備容量	変圧器総容量：　130kVA
	●変圧器	○ 油入（● 屋外キュービクル　○　）　● モールド（○　）
	●進相用コンデンサ	○ 高圧　● 低圧
	○自動力率制御装置	● 無効電力検出方式　　○ 力率検出方式
電力貯蔵設備	○直流電源装置	● 非常照明器具電源・受変電設備制御電源共用 ○ 非常照明器具専用 ○ 受変電設備専用
	○蓄電池	○ 鉛蓄電池（ ○ HS　○ MSE　○　） ○ アルカリ蓄電池（ ○ AH　○ AMH　○ AHH　○　） ○ リチウムイオン電池（ ○　）
	○交流無停電電源装置(UPS)	給電方式：● 常時インバータ給電方式　○ ラインインタラクティブ方式 ○ 常時商用給電方式 方式：　○ 単相2線　　○ 単相3線　　○ 三相3線 電圧：　○ 100V　　○ 200/100V　　○ 200V 容量：　　kVA 補償時間：　分以上　　電解液処理： 盤類据付方法：
発電設備	●形式	○ 簡易形　　● キュービクル式　　○ オーブン形
	●発電機	電気方式：三相3線式　50Hz 電圧：　200V 定格出力：　100kVA
	●原動機	形式：　● ディーゼル　○ ガスタービン　○ マイクロガスタービン ○ ガスエンジン 定格出力：　99.3kW(PS)以上 定格出力：　kVA 方式等：　始動方式　● 電気方式　○ 空気式 冷却方式　● ラジエータ式　○ 水冷循環式 冷却水　● 不凍液を混合した水道水　○ 水道水
	●排気系統配管	断熱材：● ロックウール　○ 厚さ等：● 75mm　○
	●燃料	種類：　○ 軽油　● 灯油　○ A重油　○ 燃料ガス（● 燃料小出槽　ﾘｯﾄﾙ） 主貯油槽(地下)：○ なし　● あり（ ● 別途　○ 本工事）
	○太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称電力：　kW パワーコンディショナ　電気方式：　相　線式 交流出力電圧：　V 定格出力：　kW
構内交換設備	○電話交換機	形式：　○ 電子交換　　○ ボタン電話装置 ○ PBX　○ VoIPｼｽﾃﾑ 回線数：○ 内線　/　回線 ○ 局線　/　回線 ○ 専用データ（　回線） ○ 主装置等の撤去（支障時の取り扱い：　）
	●電話機	○ 本工事　　● 別途工事 ○ ボタン電話機　○ 多機能電話機　○ 内線電話機 ○ デジタルコードレス電話機
	○電話機への配線	電話機1台につき、次のものを見込む。 ○ EM-TIEF0.65-2C（ ○ 20m　○　m） ○ EM-BTIEE0.4-2P（ ○ 20m　○　m）

章	項目	特記事項
	●ローテーションアウトレット	● 一般電話用　個（ ○ 納入する　○ 取付ける） ● 鋼合金製　　○ アルミ製
	○保安器用接地	○ 本工事　　○ 別途工事
情報表示・拡声その他通信設備	●構内情報通信網設備	● イーサネット（方式：　）　　○ 無線LAN（方式：　） ○
	●拡声設備	● 増幅器：　90W ○ 卓上形　　○ キャビネットラック形　● 壁掛形 ● 一般用　　○ 非常用　　○ 併用
	●映像・音響設備	● 増幅器：　W ○ レコーダー：　○ 8時間以上録画又は録音のできる記憶容量 ○ 時間以上 ● プロジェクタ：● 前面投写式　○ 背面投写式 ● スクリーンサイズ：　１２０インチ
	○情報表示設備	○ 出退表示盤：　○ 多線直接式　○ パルス伝送式 ○ 親時計：　回線 ○ 時刻補正：　○ 標準電波方式　○ FMﾗｼﾞｵ方式　○ GPS方式 ○ ● 壁掛式　○ 自立形 ○ 電子式チャイム組込み　　○ プログラムタイマー組込み
	●誘導支援設備	○ 庁舎内連絡用　● 身体障害者用　○ 夜間受付用　○ エレベーター用
	●テレビ共同受信設備	○ テレビアンテナ：○ AU-　　○ CSBSA-　　○ CSA- ○ 地上波アンテナマスト：　○ 壁面取付形　　○ 自立形 ○ BS・CS用アンテナマスト：○ 壁面取付形　　○ 自立形 ○ 工事着手前アンテナの設置予定位置における電界強度等の調査測定をし、受像の可否を判定した報告書を提出する。
	●監視カメラ設備	○ 白黒方式　　● カラー方式 ○ ネットワーク接続方式　● 専用回線方式
	○駐車場管制設備	○ 検知器：　　○ 光線式　　○ ループコイル式
	○防犯・入退室管理設備	接地工事：　● 本工事　　○ 別途工事　○ 時刻補正：　○ 親時計　　○ 時刻補正装置　○
自動火災報知設備	○自動火災報知装置	○ 受信機：　型　級　回線 ○ 壁掛形　　○ 自立形 ○ 単独　　○ 複合盤（自火報　回線、自動閉鎖　回線、ガス漏れ警報　回線） ○ 副受信機：　回線 ○ 機器収容箱：　○ 専用形（ ○ 埋込形　○ 露出形） ○ 屋内消火栓箱に組込み
	○非常警報装置	○ 埋込形　　○ 露出形 緊急地震放送：　● 行わない　　○ 行う
	○自動閉鎖装置	○ 連動制御器　回線（遠方復帰機構：　回線） ○ 単独（ ○ 壁掛形　○ 自立形）○ 自火報受信機等との複合盤 ○ 自動閉鎖機構 ○ 防火戸用（本工事、電磁式又はラッチ式、DC24V、0.6A以下） ○ 防煙ダンパ用(別途工事、瞬時通電式又は電動式、DC24V、0.6A以下、遠方復帰機構（電動式）、DC24V、0.7A以下） ○ 防火シャッター用（別途工事、DC24V、0.6A以下） ○ 自動開放機構 ○ 排煙ダンパ（別途工事、排煙機運転用連動機構付）
	○ガス漏れ警報装置	○ 受信機：　型　回線（ ○ 都市ガス用　○ 液化石油ガス用） ○ 単独（ ○ 壁掛型　○ 自立形）○ 自火報受信機等との複合盤
中央監視制御設備	○監視制御対象設備	○ 動力設備　　○ 受変電設備　　○ 自家発電設備　○ 火災報知設備
	○監視操作装置	○ 空調　○ 衛生
	○監視制御装置	○ Ⅰ型　○ Ⅱ型　○ Ⅲ型　○ 壁掛式○ 自立形 組込み機器：　○ グラフィックパネル　　○ 表示装置 ○ キーボード 構成機器： ○ グラフィックパネル　○ モザイクパネル ○ 合成樹脂パネル ○ ディスプレイ：　● 内照式液晶方式 ○ タッチパネル式の内照式液晶方式 ○ 17型　○ 19型　○ 21型 ○ 信号処理装置　　○ 記録装置 ○ 補助盤　　○ 電源装置

章	項目	特記事項
構内配電線路	●工事範囲	● 管路　● 配線　● 機器類
	●電気方式	高圧：三相　3線式　6kV 低圧：三相　3線式　200V 低圧：単相　2線式　200V
	●配管路（材質）	○ PLP　○ GP　● FEP　○ PE　○ GLP　○ GLT
	●敷設方法	● 地中埋設式　　○ 架空線式
	●標識シートの埋設	○ 低圧　● 高圧　○ 特別高圧
	●柱上機器	● 高圧負荷開閉器：○ 一般用　　● 耐重塩じん用 ● 地絡継電器付（● 方向性　○ 無方向性） ○ 避雷器：　○ 一般用　　○ 耐塩用 ○ 高圧カットアウト、碍子等：　● 一般用　　○ 耐塩用
	●高圧ケーブルの端末処理	屋外側：○ 一般用　　● 耐塩用
	●外灯設備	● 定格電圧：　200V　W ● ポール内には、配線用遮断器（トリップ機構無し）を設ける。
	○その他	東北電力(株)外線工事基準（架空線編）に準ずる。
構内通信線路	●工事範囲	● 管路　○ 配線
	●用途	● 電話用○ 時計・拡声用　○ 火災報知用　○ 情報通信　● 情報通信
	●配管路（材質）	○ PLP　○ GP　● FEP　○ PE　○ GLP　○ GLT
	●敷設方法	● 地中埋設式（標識シート ● 埋設しない　○ 埋設する） ○ 架空線式

DRAWING	電気設備工事　特記仕様書（補足）
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事
SCALE	Non
DATE	2024.03
DRAWING No.	E-02

アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男

工事区分表（他工事との取合い等）

区分は○印を適用する　　A　建築工事　E　電気設備工事　M　機械設備工事　EV　エレベーター設備工事　　※複数箇所に○印があるものは、各工事を適用する

	項目	A	E	M	EV		備考
躯体関係							
RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ	○	○	○	○		
	貫通スリーブの補強	○					
	開口部の型枠・補強	○					
	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○		
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画
S・SRC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	鉄骨貫通鋼管スリーブ	○					
	貫通スリーブ	○	○	○	○		
	貫通スリーブの補強	○					
	開口部の型枠・補強	○					
	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○		
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画
設備機器の基礎	機器取り付け用アンカー・架台		○	○	○		
	基礎	○					
	太陽光発電設備基礎	○					
	太陽光発電設備架台		○				
その他	トラフ・ピット類（ふたを含む）	○					
	RC造各種ピット	○					
	同上用マンホール・タラップ	○					
	排水溝	○					
	オイルサービスタンクの防油堤	○					
	フリーアクセスフロア内の防水堤	○					
	設備室内床排水管			○			
	既設埋設配管配線調査（X線探査含む）	○	○	○			
仕上関係							
軽鉄天井・壁下地	ボード類の切り込み	○					
	下地材の切込み・補強	○					
	開口部の墨だし	○	○	○	○		
可動間仕切	切込み・補強	○					
	各種ボックス類	○	○	○			
吊りボルト及びインサート	設備機器類用		○	○			
給排気関係	外壁ガラリ	○					
	防風板	○					
	ウェザーカバー・ベントキャップ			○			
	排気フード（標準詳細図によるステンレス製）	○					
	排気フード（レンジフード等既製品）			○			
水廻り機器	流し台・吊り戸棚・水切り棚・コンロ台	○					厨房用はM
	手洗い・洗面器カウンター	○					
	鏡（既製品）			○			
	鏡（注文品）	○					
	バリアフリートイレ手すり・便器類手すり	○					
	トイレブース内小物棚	○					
	ベビーシート	○					

	項目	A	E	M	EV		備考
	ユニットバス・シャワーユニット			○			
	既製浴槽			○			
	コンクリート浴槽	○					
	浴槽排水金物			○			
	洗濯機パン			○			
事務室廻り	フリーアクセスフロアパネル切込み加工	○					
	フリーアクセスフロア給排気グリル	○					
	フリーアクセスフロアコンセント		○				
	壁・天井空調用給排気グリル			○			
その他	感知器連動防火戸のレリーズ用切込み	○					
	消火器ボックス	○					
	表面仕上が必要な全熱交換機等の表面仕上	○					ボード類、塗装のみ
	壁・天井・床点検口	○					M・E用含む
	駆動装置が電動の建具類の１次電源、１次・２次配管、及び手元電源スイッチ		○				レールヒータ用の手元スイッチを含む
	同上本体・駆動装置・検出装置（センサー）	○					
	駆動装置が電動のブラインド・揉煙オペレーター等の１次配線及び１次・２次配管		○				
	同上本体・操作スイッチ及び２次配線	○					
	電動スクリーン用ボックス	○					
	電気錠及び扉～枠通電金具及び２次配線	○					
	同上用１次配線及び１次・２次配管		○				
	避雷導体の接続		○				
	笠木を棟上げ導体とした場合の笠木～笠木の接続	○					
	ルーフドレン及びたてどい	○					
	煙突の水抜き管（排水管）	○					
	地震感知器の配管配線			○			
	防煙ダンパーと連動制御器までの配管配線及び連動制御盤から煙感知器までの配管配線		○				
屋外関係							
排水・ハンドホール廻り	雨水排水設備	○					
	くつ洗いの排水金物・排水管	○					
	駐車場・車庫廻りのガソリントラップ	○					
	雑排水・汚水排水設備			○			
	ハンドホール		○				
	E・M桝で充填用マンホールふたを使用した場合の表面仕上	○					
	雨水利用設備（ルーフドレン、縦樋はA、縦樋から集水桝までM）	○		○			
オイルタンク廻り	オイルタンク本体（充填砂共）		○	○			
	オイルタンクの外郭、基礎	○					土工事含む
	同上杭及び杭頭処理	○					
ユニット型浄化槽	ピット型の躯体	○					
	上記以外のユニット型浄化槽本体・配管及び据付等（充填砂共）			○			

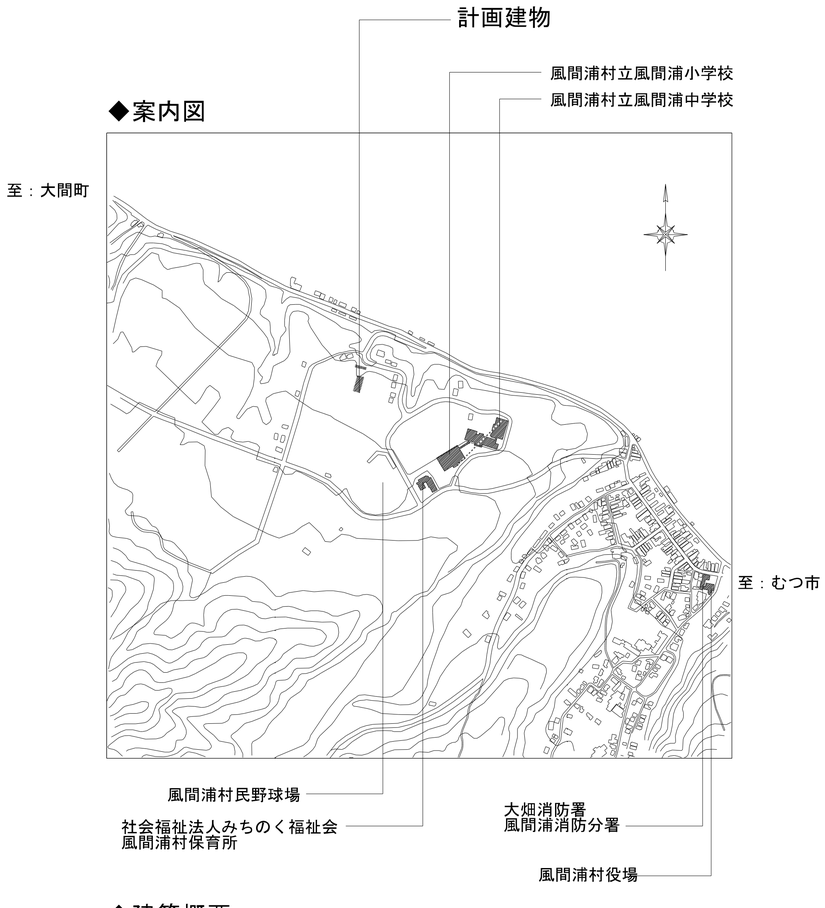
	項目	A	E	M	EV		備考
自家発電設備							
	自家発電装置		○				
	発電装置　基礎	○					
	トレンチ	○					
	トレンチ用　蓋	○					
	主燃料タンク（充填砂共）		○				
	主燃料タンク用　基礎、外郭工事	○					
	同上杭及び杭頭処理	○					
	燃料小出タンク		○				
	燃料小出タンク基礎	○					
	防油堤	○					
	通気管		○				
	給油ボックス		○				
	給油ボックス　基礎	○					
	屋外トレンチ	○					
	屋外トレンチ用　蓋	○					
	危険物表示板		○				
電気配管配線							
	機器附属の制御盤以降の２次側配管配線（接地線共）			○	○		
	機器附属の制御盤への１次側電源供給配管配線（接地線共）		○				
	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線（接地線共）		○				
	機器と附属操作スイッチの渡り配管配線			○	○		
	注油口内アース端子からのアース用配管配線		○	○			
	ＡＣＰ屋外機と屋内機の渡り電源・信号・アース用配管配線			○			
	ＡＣＰマルチ形屋内機の電源・アース用配管配線		○				
	機器・電極棒用の電源配管配線		○				電極棒はM
	屋内消火栓ポンプ制御盤から消火栓ポンプ始動装置への電源・信号線の配管配線		○				

	項目	A	E	M	EV		備考
エレベーター設備							
	機械室・昇降路の躯体	○					
	機械室の床開口	○					
	機械室の床配管ピット・蓋	○					
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上	○					
	巻上機周囲のチェッカープレート敷				○		
	昇降路内ピット防水	○					
	ピット点検タラップ				○		
	各階出入口穴あけ・同補強	○					
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補強				○		
	昇降路がS造の場合の出入口扉・三方枠及び幕板の受け	○					
	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、他昇降路内の鋼製部材一式				○		
	昇降路がS造の場合の中間ビーム及びブラケットの受けピース	○					
	機械室天井・昇降路内フック取付	○					
	ホール押釦・インジケータなどの壁開口	○					
	機械室内換気設備			○			
	エレベーター制御盤までの一次側動力用配管配線工事（AC３相　200V50HZ）		○				
	エレベーター制御盤までの一次側電灯用配管配線工事（AC単相　100V50HZ）		○				
	エレベーター制御盤までの接地用配管配線工事（D種接地）		○				
	エレベーター制御盤までの火災警報用配管配線工事		○				
	エレベーター制御盤から非常用インターホンまでの配線及びインターホン取付工事				○		
	エレベーター制御盤までの館内放送用配管配線工事		○				
	エレベーター保守遠隔監視用（電話回線）配線工事（MDFからエレベーター制御盤まで）※図示された場合				○		
	エレベーター保守遠隔監視用（電話回線）配管工事（MDFからエレベーター制御盤まで）		○				
	エレベーター制御盤からエレベーター監視盤又は警報盤までの配管配線工事				○		
	エレベーター制御盤からエレベーター内監視カメラまでの配管配線工事				○		
	緊急地震速報受信用配管工事		○				
	昇降路頂部煙感知器・熱感知器設備工事		○				
	ピット内点検用コンセント設備工事		○				
	エレベーターシャフト吊りフック（必要な場合、建築工事に支給）				○		
	レールブラケット取り付けファスナー（必要な場合、建築工事に支給）				○		
	動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事			○			

この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター工事（EV）といった施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体の工事内容を示すものではないことに留意すること。

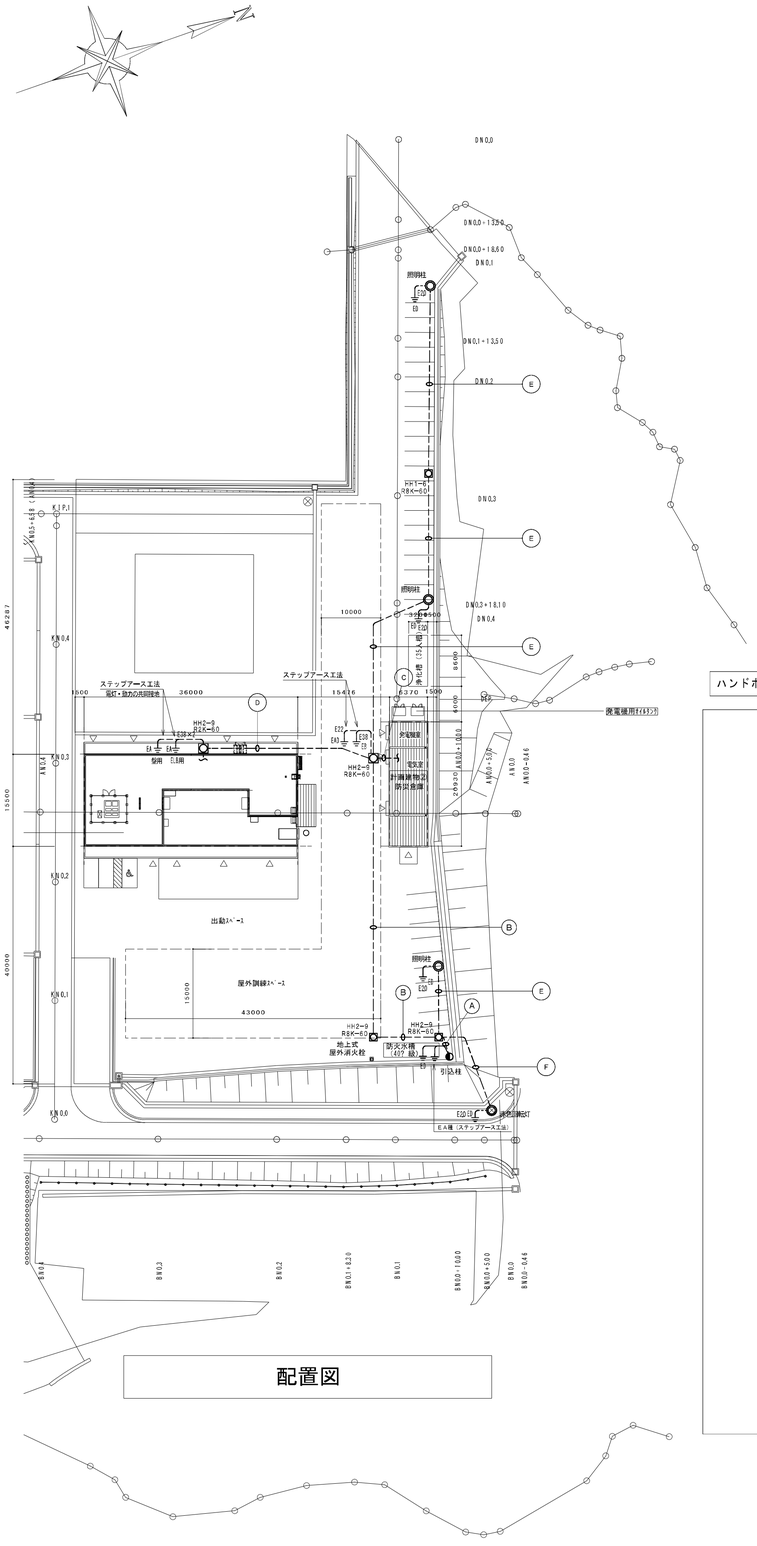
DRAWING　工事区分表	SCALE　Non	
PROJECT　風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03	
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.　E-03

◆案内図



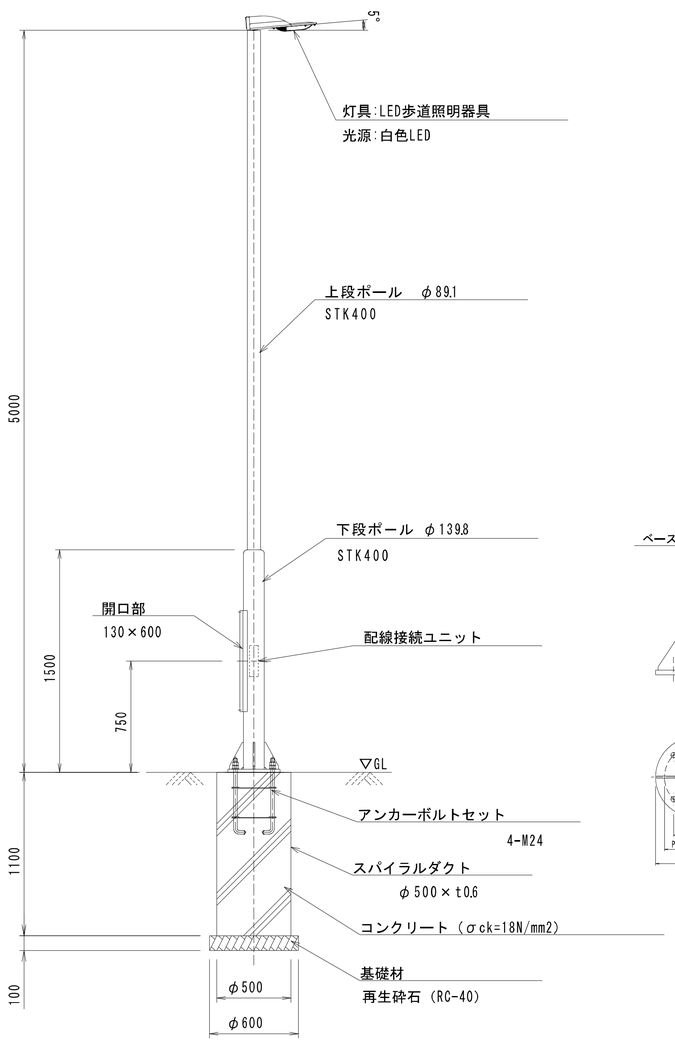
◆建築概要

地名地番	下北郡風間浦村大字易国間　地内			
都市計画区分	都市計画区域外			
用途地域	な し			
防火指定	なし			
建蔽率				
容積率				
建物用途	消防庁舎			
構造・階数	消防庁舎：準耐火構造　2階　　防災倉庫：木造平屋建て			
敷地面積				
番号	計画建物①	計画建物②		
棟名	消防庁舎	防災倉庫		
建築面積	6300.0㎡	133.2㎡		
建築面積　計	7633.2㎡			
建蔽率				
延床面積	9357.2㎡	133.2㎡		
延床面積　計	10690.4㎡			
容積率				
最高高さ	12594m	4.75m		
最高軒高	9.35m	4.10m		


DN0.0
DN0.0→1.35.0
DN0.0→18.6.0
DN0.1
DN0.1→13.5.0
DN0.2
DN0.3
DN0.3→18.1.0
DN0.4
照明柱
HH1−6 R8K−60
HH2−9 R8K−60
HH2−8 R8K−60
10000
ステップアース工法
電灯・動力共用変圧
36000
15416
6370
1500
1500
6400
6400
6400

照明灯参考図

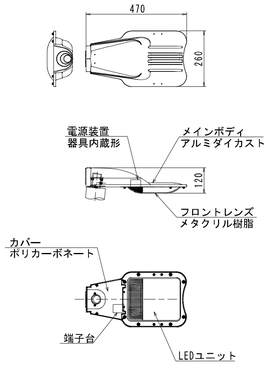
照明灯姿図 S=1/20



注)ポールは溶融亜鉛メッキ(JIS H8641 2種 HDZ55)仕上げとする。

灯具外形図

KHE030(LEV-1247K03)

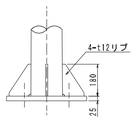


仕 様

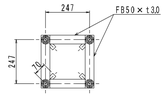
1	電源は、専用電源装置内蔵
2	光　　源：白色LED (5000K,Ra65)
3	光源定格寿命：60,000h
4	塗　装　色：マンセルN7
5	防 水 性 能：灯　具　JIS C 8105-1 IP23
	光源部　JIS C 8105-1 IP44
6	適合アダプター：φ340×65L
7	周 囲 温 度：-20℃～+35℃
8	耐　風　速：60m/s
9	電　源　電　圧：AC200V

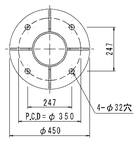
照明灯詳細図(2)

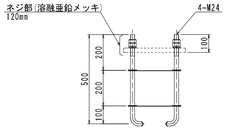
ベースプレート図 S=Non



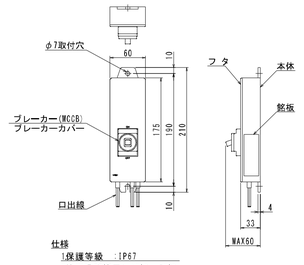
アンカーボルトセット図 S=Non







配線接続ユニット外形図



仕様

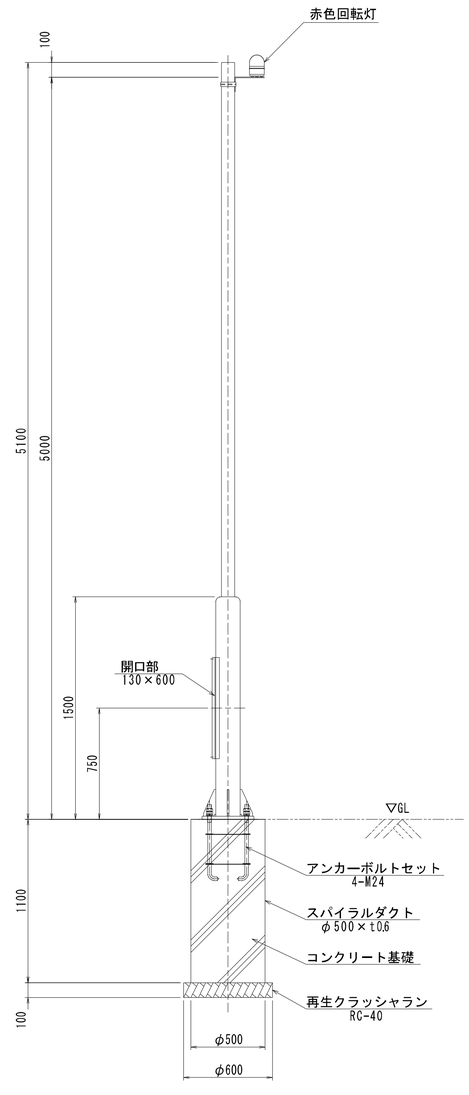
1	保護等級　：IP67
2	使用温度範囲：-10℃～50℃

注記

付属品:取付ネジ M6×16(ミガキ座金、バネ座金付き)・・2 /台

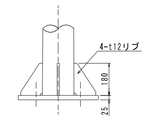
赤色回転灯参考図

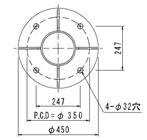
回転灯外形図 S=1/20



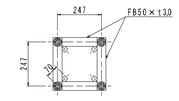
注) ポールは溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
注) 寸法・構造は参考とする。

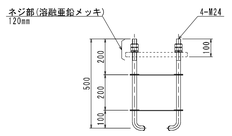
ベースプレート図 S=Non





アンカーボルトセット図 S=Non



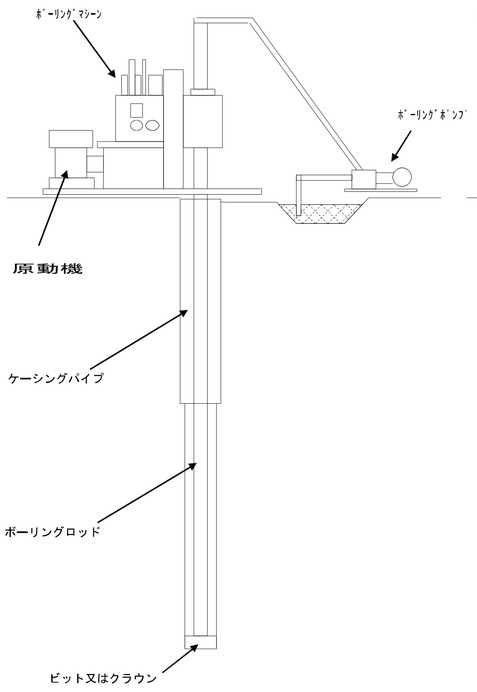


DRAWING	照明灯・回転灯　参考姿図	SCALE　N:1/100　A3 1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　順男		DRAWING No. E-05

据置型ボーリングマシンによるボーリングステップ工法

【接地極埋設】

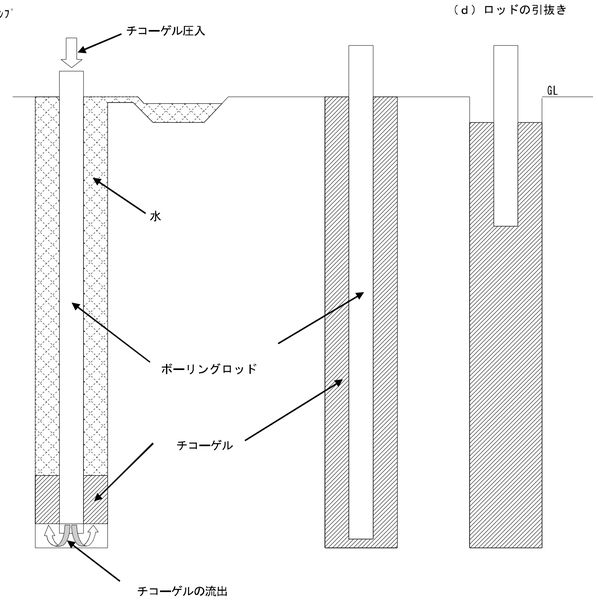
（ａ）ボーリング



（ｂ）チコーゲルの圧入

（ｂ）静水をチコーゲルで置換

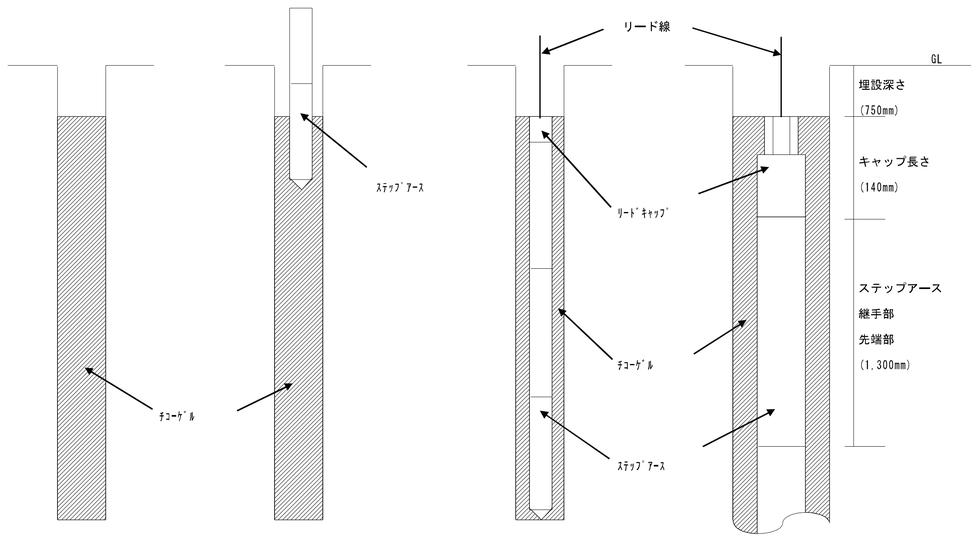
（ｄ）ロッドの引抜き



（ｅ）チコーゲル注入状態

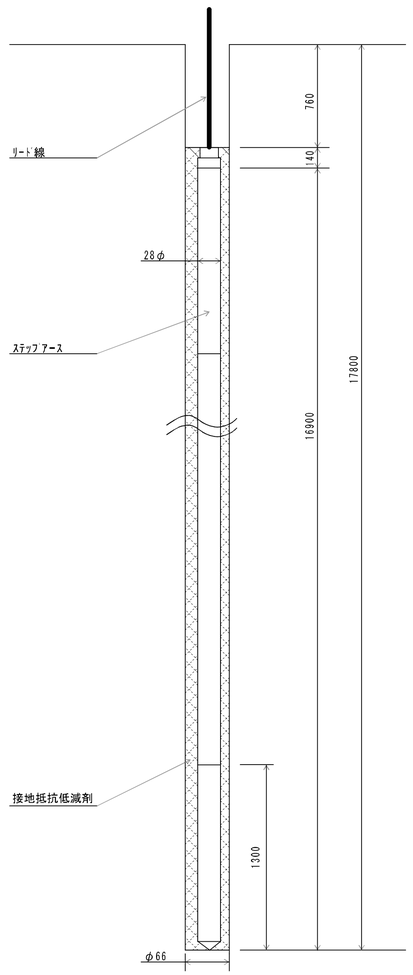
（ｆ）接地極挿入

（ｇ）接地極（ステップアース）挿入状態



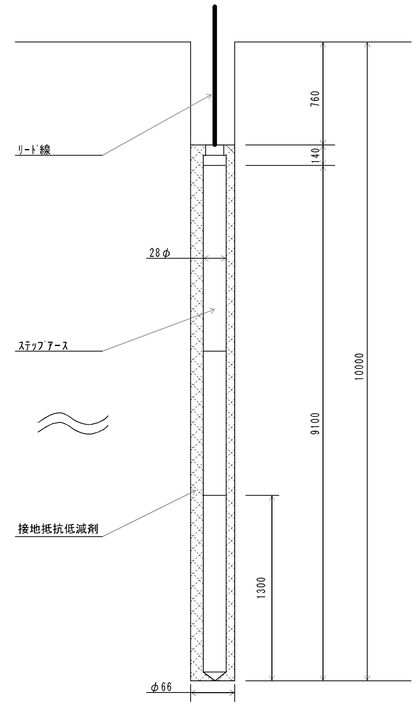
接地極埋設図

ＥＡ種　１７.８ｍ



接地極埋設図

ＥＢ種　１０.０ｍ



DRAWING ステップアース　参考施工例	SCALE N:1/100 A3:1/200	
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03	
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No. E-06

照明器具　参考姿図

A1	LEDベースライト　40形　直付型 （LSS9−4−65　LN） 45VA	B1	LEDベースライト40形　天井埋込型 （LRS6−4−65　LN） 埋込穴□ 150×1235 45VA	C	LEDベースライト40形　天井埋込型　防湿・防雨型 （LRS10MP/RP−4−58LN） 埋込穴□ 150×1250 45VA	D1	LEDダウンライト （LRS1−22　LN） 埋込穴□ 6150 20VA	E	LEDベースライト40形　天井埋込型 下面開放型（6900lm）　ひとセンサ付 埋込穴□ 150×1235 44VA	F	LED高天井照明器具　300形相当 （11000lm） 60VA	G	LEDベースライト40形　直付型　クリーンルーム向け （6900lm） 38VA
A2	LEDベースライト　40形　直付型 （LSS9−4−48　LN） 33VA	B2	LEDベースライト40形　天井埋込型 （LRS6−4−37　LN） 埋込穴□ 150×1235 26VA			D2	LEDダウンライト （LRS1−13　LN） 埋込穴□ 6150 13VA		On/Off　段調光切替				ISOクラス8
A3	LEDベースライト　40形　直付型 （LSS9−4−23　LN） 17VA	B3	LEDベースライト20形　天井埋込型 （LRS6−2−30　LN） 埋込穴□ 150×617 22VA			D3	LEDダウンライト （LRS1−05　LN） 埋込穴□ 6100 5VA						
H	LED耐圧防爆照明　天井吊下型 （6100lm） 56VA	I	LEDウォールライト　防湿・防雨型 （LBF3MP/RP−4−26） 30VA	J1	LEDベースライト　40形　埋込天井型 （LRS6CG1A−4−41　LN） 埋込穴□ 150×1235 39VA	K1	LEDミラーライト　40形　壁直付型 （2645lm） 23VA	L	LEDキッチンライト　20形　直付型 （980　lm） 20VA	M	LEDペットライト　壁直付型 （135lm） 9VA	N	LEDスクエアベースライト　天井埋込型　埋込穴□ 450 （LRS9−4−45　LX） 34VA
				J2	LEDベースライト　40形　埋込天井型 （LRS6CG1A−4−41　LX） 埋込穴□ 150×1235 33VA	K2	LEDミラーライト　20形　壁直付型 （1320lm） 12VA						
					グレアセーブ								
O	LEDベースライト40形　天井埋込型 （3250lm）　調光タイプ 埋込穴□ 150×1235 33VA	P	LEDダウンライト　750形 （7965lm） 埋込穴□ 6150 58VA	Q1	LED軒下用ダウンライト　250形 （1875lm） 埋込穴□ 6100 20VA	R	LEDブラケットライト　200形　防雨型 （790　lm）　出入口用 8VA	S	LED投光器　250形 （9500　lm） 68VA	T	LEDベースライト40形　天井直付型　反射笠付 （4840lm）　防湿・防雨型 34VA	U	殺菌灯　殺菌線遮光式　ファン循環タイプ 42VA
				Q2	LED軒下用ダウンライト　100形 （790lm） 埋込穴□ 6100 8VA								
V	一体型LEDベースライト・片反射笠付 （3200lm）　調光タイプ 33VA			●RASCOF	熱線式自動スイッチ　親器（換気扇端子付）	●RAS	熱線式自動スイッチ　親器（8A）	●RASCL	熱線式自動スイッチ　子器（換気扇端子付）				熱線式自動スイッチ　制御ユニット　2回路用
					熱線式自動スイッチ　換気扇連動用 明るさセンサ付・検知後動作保持時間10秒～30分可変形		熱線式自動スイッチ 明るさセンサ付・検知後動作保持時間10秒～30分可変形		熱線センサ付自動スイッチ（子器・換気扇接続端子付） 1A　AC100V・検知後動作保持時間10秒～30分可変形				埋込熱線センサ用自動スイッチ付操作ユニット （2回路用）
aLED	LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付 （K1−LRS11−1） 埋込穴□100	bLED	LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付 （K1−LRS11−3） 埋込穴□100	cLED	LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付	dLED	LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付 （K1−LSS11−3）		点検用リモコン		避難口誘導標識板（中輝度蓄光形）		通路誘導標識（中輝度蓄光形）
											避難口誘導標識（中輝度蓄光形）　両面		通路誘導標識（中輝度蓄光形）　両面
	φ100低天井用（～3m）、20分型タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイト2つや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ（緑）付、リモコン（別売）		φ100中天井用（～6m）、30分型タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイト2つや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ（緑）付、リモコン（別売）		直付中天井用（～6m）、30分型タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 非常灯評定番号：LALE−006 レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイト2つや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ（緑）付、リモコン（別売）		直付中天井用（～6m）、30分型タイプ LED内蔵、非常時・非常灯用LED点灯／常時消灯 非常灯評定番号：LALE−006 レンズ：ガラス、カバー：鋼板（クールホワイト2つや消し仕上） 電圧：100～242V、蓄電池：ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニタ（緑）付、リモコン（別売）						

器具取付高さ		2.1ｍ	2.4ｍ	2.5ｍ	2.7ｍ	3.0ｍ
単体配置	At	3.8	4.0	(4.7)	(3.5)	3.3

器具取付高さ		2.1ｍ	2.4ｍ	2.7ｍ	3.0ｍ	4.0ｍ	5.0ｍ	6.0ｍ
単体配置	At	5.4	5.9	(6.4)	6.9	7.9	8.7	6.4

器具取付高さ		2.1ｍ	3.0ｍ	4.0ｍ	5.0ｍ	6.0ｍ	7.5ｍ	8.0ｍ
単体配置	At	5.3	6.4	7.4	8.0	6.5	(5.7)	4.2

器具取付高さ		2.1ｍ	2.4ｍ	2.7ｍ	3.0ｍ	4.1ｍ	5.0ｍ	6.0ｍ
単体配置	At	5.4	5.9	6.4	6.9	(8.1)	8.7	6.4

照明器具の消費電力は、JIS C 8105-3「照明器具-第３部：性能要求事項通則」で規定された方法により測定された値である。

DRAWING	照明器具　参考姿図	SCALE	Non
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. E-07

倉庫3	
A3	1
R	1

ロッカー室	
A2	2

ポーチ	
Q1	1
Q2	1

風除室	
D1	1

男子トイレ	
D2	3
D3	1
K2	1

本部分団室	
B1	2

出動準備室	
E	5

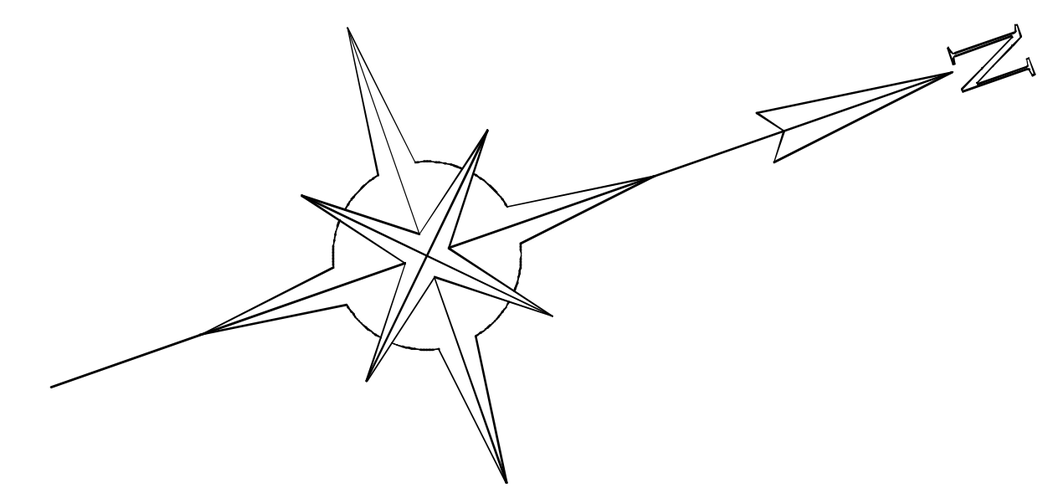
シャワー・洗濯室	
C	1

脱衣室	
D2	1

本部分団防火衣室 兼乾燥室	
C	3
R	1

本部分団資材庫	
A1	3
R	1

油倉庫	
H	1
R	1



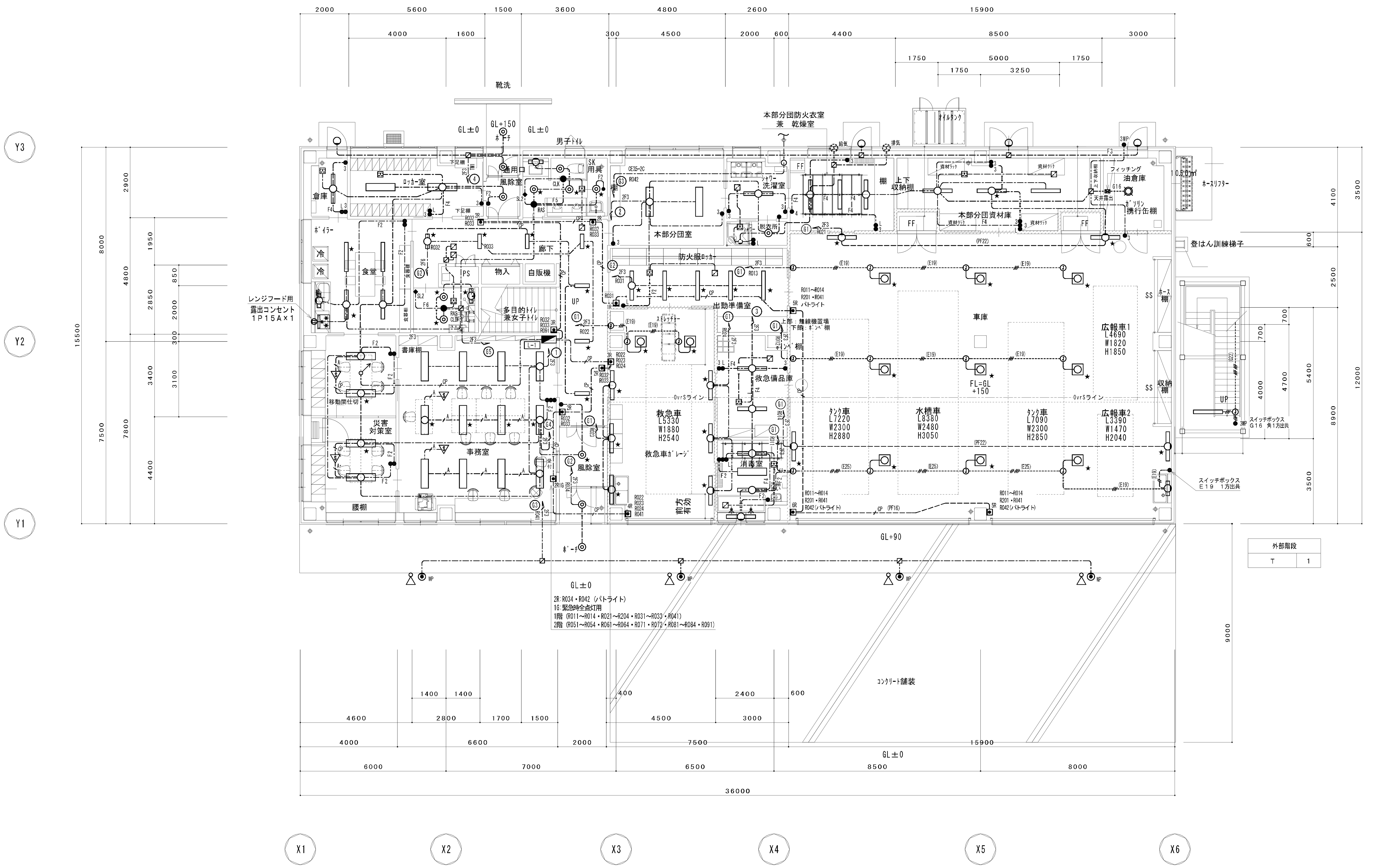
食堂	
B2	4
L	1

廊下	
B3	7

多目的トイレ兼女子トイレ	
D2	2
K2	1

災害対策室	
J2	2
J2	2

事務室	
J1	4
J2	8



外部階段	
T	1

風除室	
D1	1

ポーチ	
Q1	1
Q2	1

救急車ガレージ	
F	2
I	6

救急備品庫	
A1	2

消毒保管庫	
G	2
I	1
U	1

庇（訓練スペース用）	
S	4

車庫	
F	9
I	4
K2	1

1階平面図

機器凡例

図記号	名称
1.特記無き配線配管は、下記による。	
(電灯分電盤記号)	電灯分電盤　(別図参照)
●	埋込スイッチ　1P15A×1 ネーム付、プレート共(新金属製)
●3	埋込スイッチ　3W15A×1 ネーム付、プレート共(新金属製)
●3W-5	埋込スイッチ　3W15A×5 ネーム付、プレート共(新金属製)
●4	埋込スイッチ　4W15A×1 ネーム付、プレート共(新金属製)
●4WP	埋込スイッチ　4W15A×1　防水型
●L	埋込スイッチ　(ON表示灯付)　1P4AL×1 ネーム付、プレート共(新金属製)
●RAS	熱線式自動スイッチ（親器）8A 広角検知形、明るさセンサ付 検知後動作保持時間10秒～30分可変形
●RAS CLDF	熱線式自動スイッチ　1.2A 換気扇接続端子付き、明るさセンサ付 検知後動作保持時間10秒～30分可変形
●CLK	熱線式自動スイッチ（子器）換気扇接続端子付
◆SL2	熱線式自動スイッチ　操作ユニット(2回路用)　プレート共
(記号)nR	ワイド形多重伝送用リモコンスイッチ (回路数は傍記による。) 小形パターン･グループ設定器共
(記号)	調光センサー 明るさセンサ内蔵形・連続調光タイプ (国交省DS1―A形)
(記号)5	調光スイッチ　信号線式　3路スイッチ付　×5 樹脂製スイッチボックス　5連共
(記号)	入線プレート　角型・新金製
(記号)WP	防雨入線カバー
(記号)	露出丸形ボックス
(記号)	アウトレットトボックス（中形四角　深型　樹脂製）
⊠PB-Z 222WP	プルボックス　SS200×200×200　溶融亜鉛メッキ
(記号)	熱交換型換気扇用リモコンスイッチ　(別途機械設備支給品)
(記号)	天井埋込型換気扇　・給気扇　(別途機械設備工事)
2.天井扇及び換気扇類は機械設備工事とする。	
3.小形パターン・グループ設定器（ワイヤレスアドレス設定機能付）×1台納入。	
4.スイッチは全てネーム付とする。	

配管・配線凡例

注　記		
1. 特記無き配線配管・施工方法は、下記による。		
ケーブルの立上り引下げは電線管にて保護すること。		
		保護配管
2F3	EM－EEF 2.0－3C	(PF22)
2F6	EM－EEF 2.0－3C×2	(PF28)
F2	EM－EEF 1.6－2C	(PF16)
―・―・―	EM－EEF 1.6－3C	(PF16)
F4	EM－EEF 1.6－2C×2	(PF22)
F5	EM－EEF 1.6－2C+3C	(PF28)
F6	EM－EEF 1.6－3C×2	(PF28)
F7	EM－EEF 1.6－2C×2+3C	(PF28)
CP	EM－FCPEE 1.2－1P	(PF16)
A	EM－EEF 1.6－3C EM－FCPEE 1.2－1P	(PF22)
B	EM－EEF 1.6－2C×2 EM－FCPEE 1.2－1P	(PF22)
CES	EM－CEE－S 2.0sq－2C	
2.0	EM－IE 2.0×3	
//	EM－IE 1.6×2	
///	EM－IE 1.6×3	
////	EM－IE 1.6×4	
/////	EM－IE 1.6×5	
//////	EM－IE 1.6×6	
(En)	ねじなし電線管	(nはサイズを示す。)
(PFn)	合成樹脂製可とう電線管	(nはサイズを示す。)
(Gn)	厚鋼電線管	(nはサイズを示す。)
―・―・―	天井フトコロ	
―――	露出配線	
― ― ―	床隠蔽配管	
- - - -	露出配管	
防火区画壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通箇所は耐火処理を施すこと。		
2. 図中★印のある照明器具は、発電機回路とする。		
3. スイッチは全てネーム付とする。		
4. 発電機により点灯する照明の点滅器には、発電回路表示付新金属製プレートとする。		

DRAWING 電灯分岐設備　1階平面図		SCALE A1:1/100 A3:1/200
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事		DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No. E-08

団長室・分団長室	
N	4
L	1

女子仮眠室	
D1	1
D2	1
M	1
K2	2

洗面室	
C	1
D2	1
K1	2

男子トイレ	
D2	3
D3	2
K2	1

消防団会議室	
O	10

会議室用収納庫	
A2	2

消防団書庫	
A3	9

廊下	
B3	7

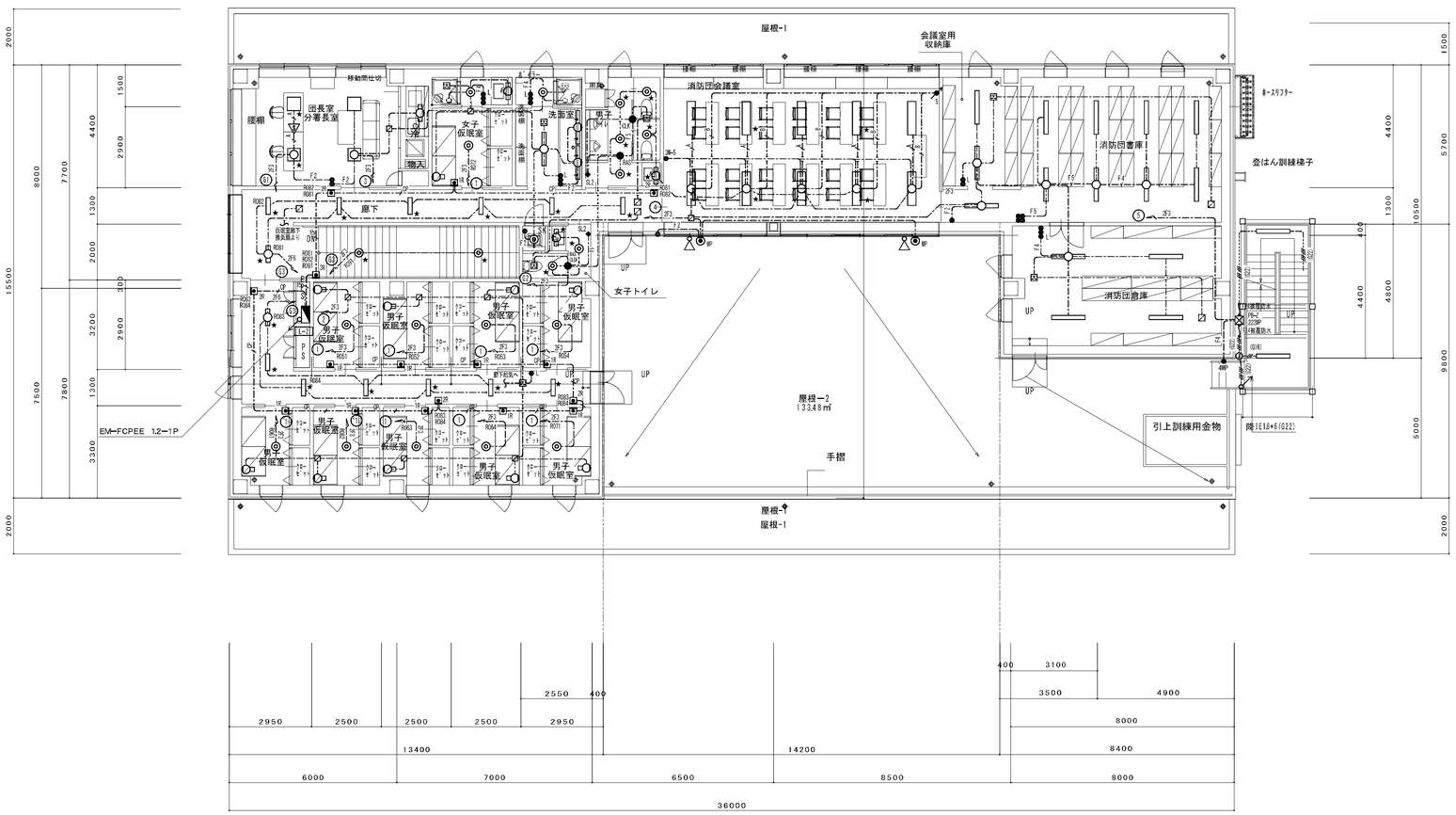
階段	
P	2

女子トイレ・SK	
D1	1
D3	2
K2	1

×9部屋

仮眠室前通路	
B3	7

男子仮眠室	
D1	1
M	1



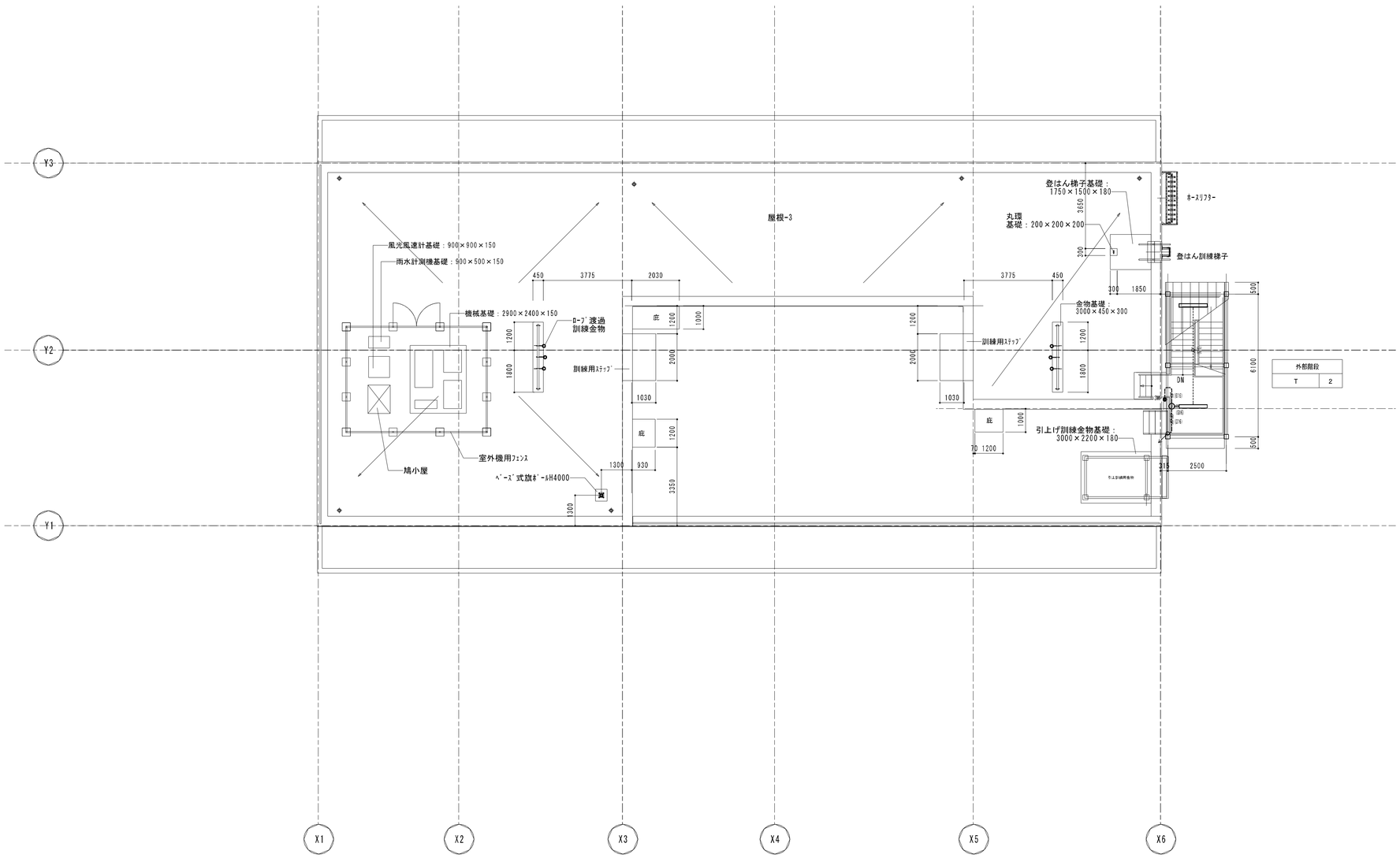
消防団倉庫	
A1	4

外部階段	
T	2

屋根2	
S	2

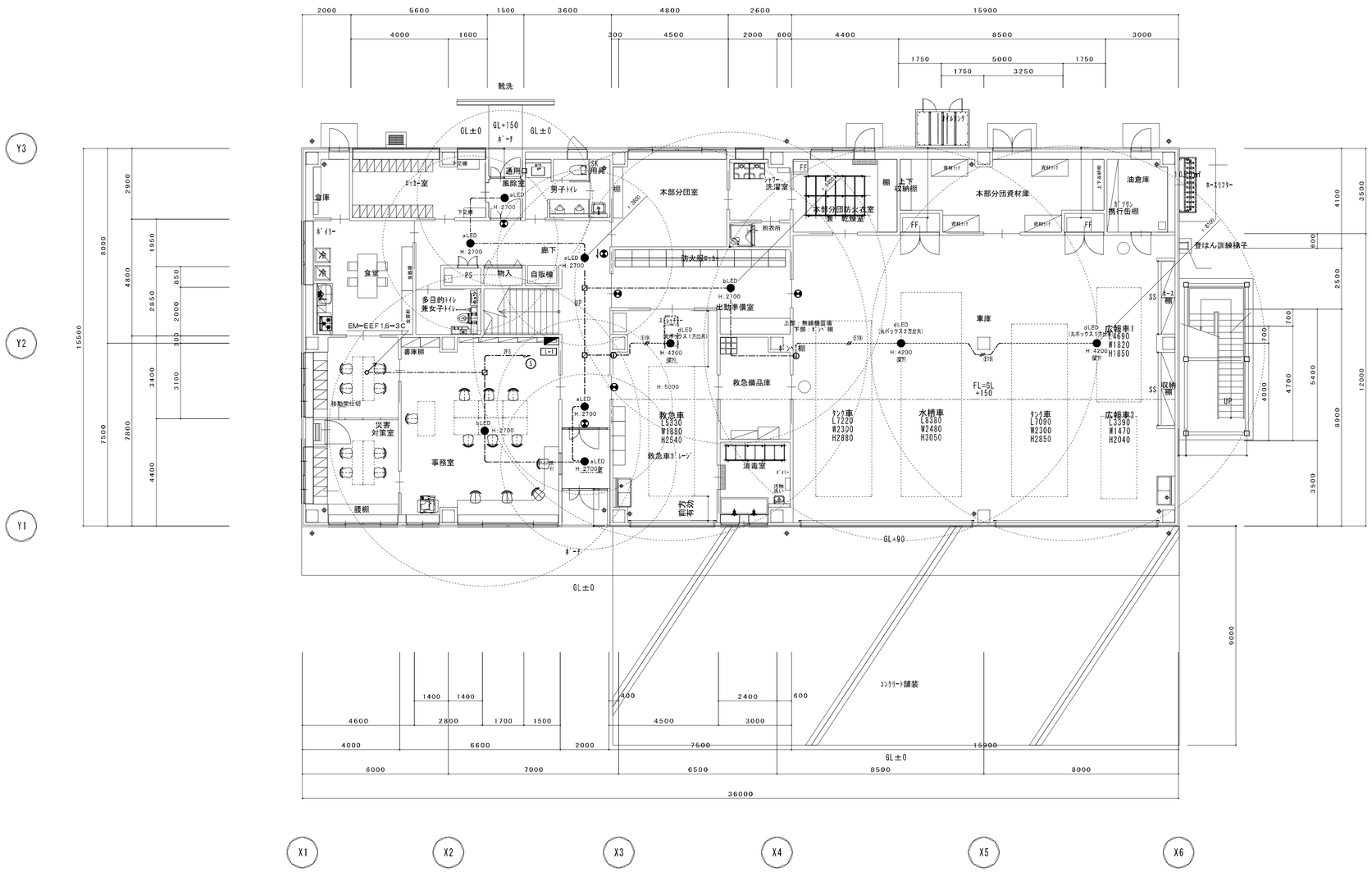
2階平面図

DRAWING	電灯分岐設備　2階平面図	SCALE	N1:1/100 A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	E-09



屋根伏図

DRAWING	電灯分岐設備　R階平面図	SCALE	N:1/100 A3 1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	E-10

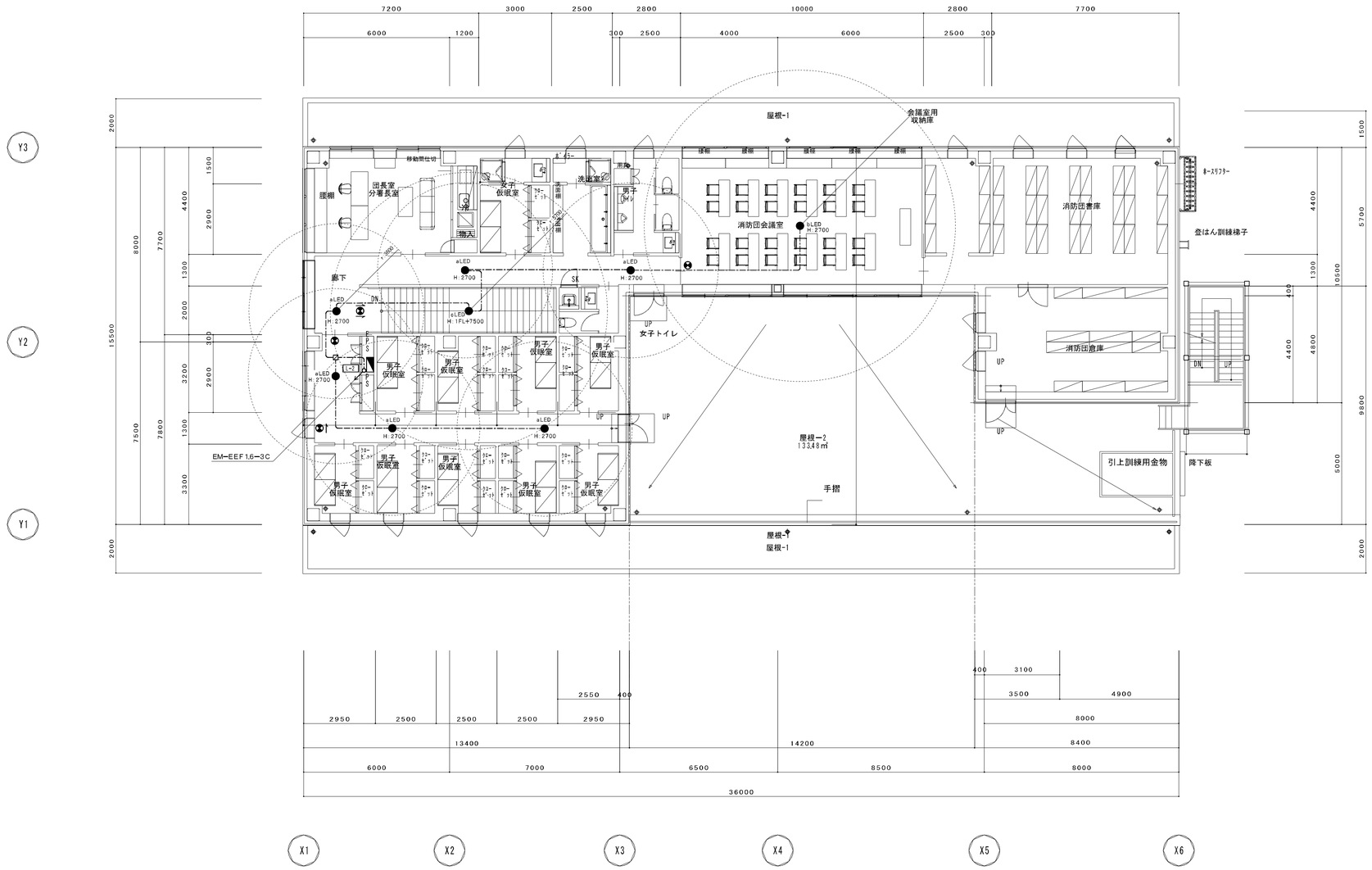


1階平面図

注記

本部分団室、食堂、災害対策室の非常照明は
平成１２年建設省告示第１４１１号１項一号により、避難口までの
距離が３０m以下であり、避難上支障がないため緩和とする。

DRAWING 防災照明設備　１階平面図	SCALE A1:1/100 A3:1/200	
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03	
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No. E-11

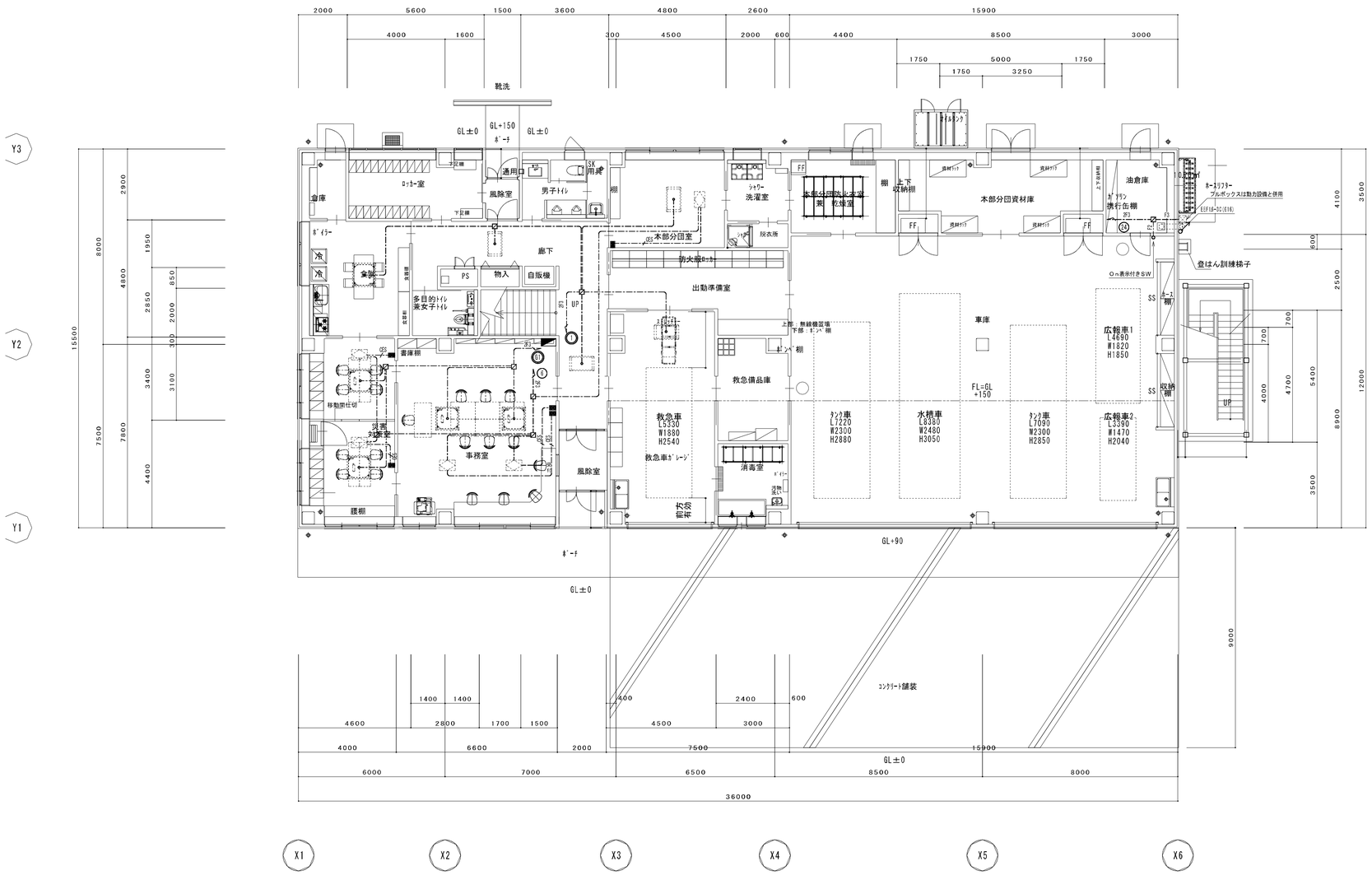


2階平面図

注記

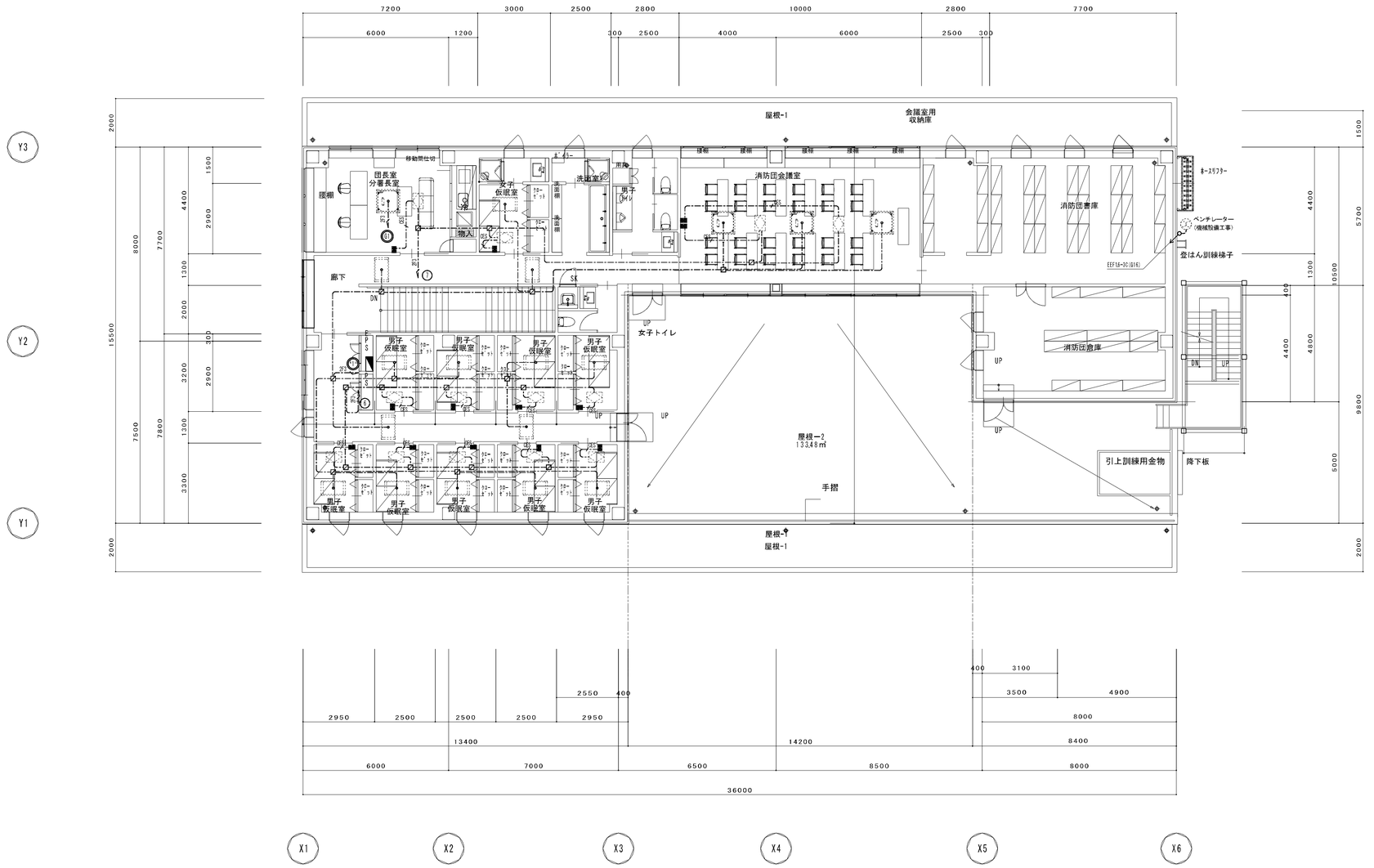
団長室分団長室、女子仮眠室、男子仮眠室の非常照明は
平成１２年建設省告示第１４１１号１項二号により、避難通路に
非常照明を設け避難上支障がないため緩和とする。

DRAWING	防災照明設備　２階平面図	SCALE	N1:1/100 A3 1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	E-12



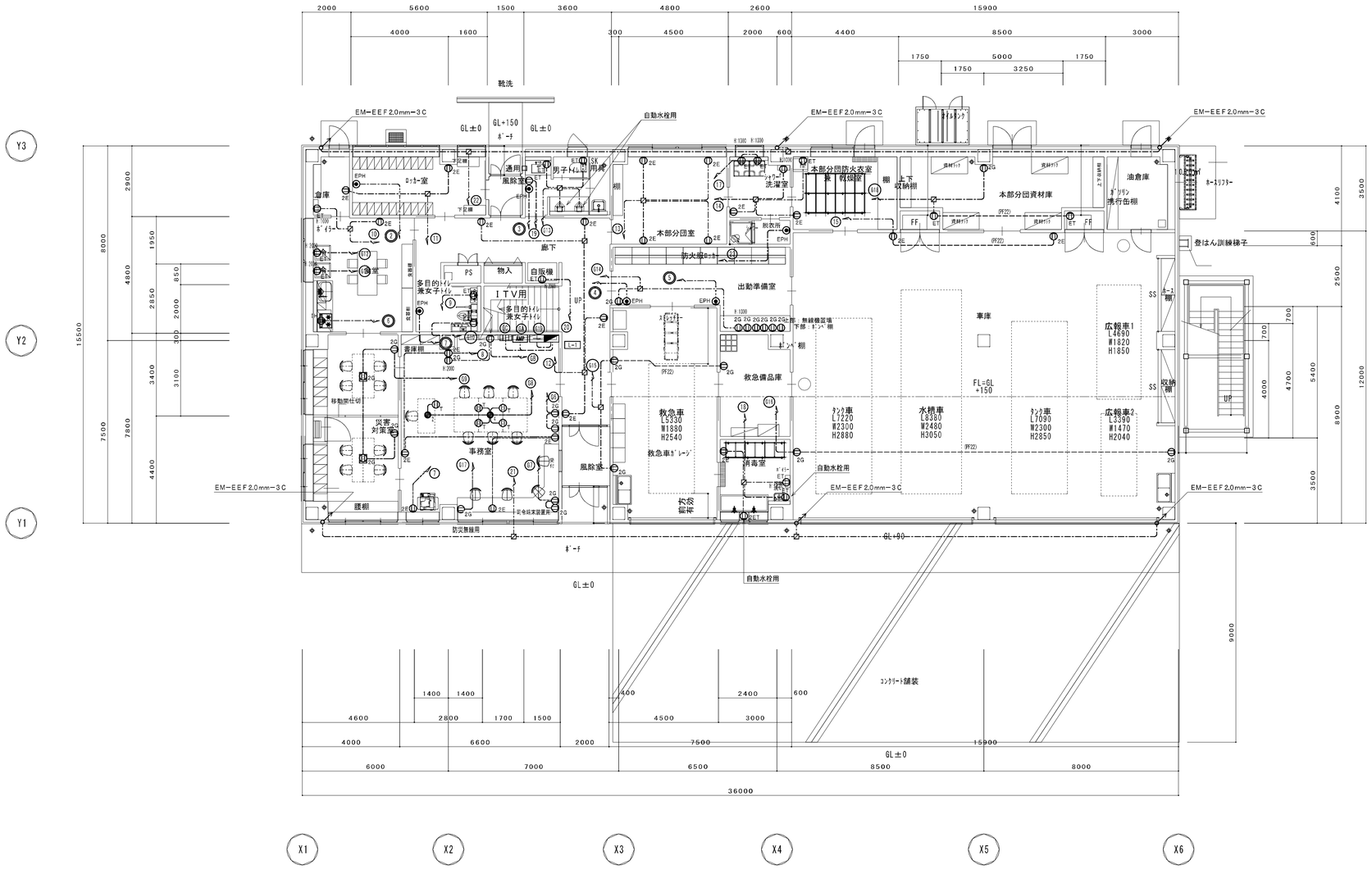
1階平面図

DRAWING	設備機器電源設備　1階平面図	SCALE	N1:1/100 A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　晴男		DRAWING No.	E-13



2階平面図

DRAWING	設備機器電源設備　2階平面図	SCALE	A1:1/100 A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　明男		DRAWING No.	E-14



1階平面図

機器凡例

図記号	名　　称
1.特記無き配線配管は、下記による。	
	電灯分電盤　(別図参照)
	端子盤　T−1（露出コンセント　2P15A・E×2　3コ実装）
	警報表示盤　5窓用　埋込型　幹線設備
AMP	放送アンプ　拡声設備
2E	埋込コンセント　2P15A・E×2　プレート共(新金属製)
ET	埋込コンセント　2P15A・E×1　接地端子付 プレート共(新金属製)
2ET	埋込コンセント　2P15A・E×2　接地端子付 プレート共(新金属製)
2G	埋込コンセント　2P15A・E×2（赤）　プレート共(新金属製)
IH	埋込コンセント　2P20A・接地極付　プレート共(新金属製)
T	OAタップ　2P15A・E×4口　コード3m
2G	2重床用　OAコンセント　2P15A・E×2（赤）
E	アップコンセント　2P15A・E×1
WP	防水コンセント　2P15A・E×2　接地極付
EPH	ノズルプレート
	アウトレットトボックス（中形四角　深型　樹脂製）
4	ハーネスジョイント　4分岐　送り付
2	ハーネスジョイント　2分岐　送り付
S	住宅用火災警報器（煙感知器　電池式）
2.各コンセントプレートに回線番号を表示すること。	

配管・配線凡例

注　記

1. 特記無き配線配管・施工方法は、下記による。

ケーブルの立上り引下げは電線管にて保護すること。

		保護配管
2F3	EM−EEF　2.0−3C	(PF22)
(En)	ねじなし電線管　（nはサイズを示す。）	
(Pfn)	合成樹脂製可とう電線管　（nはサイズを示す。）	
(Gn)	厚鋼電線管　（nはサイズを示す。）	

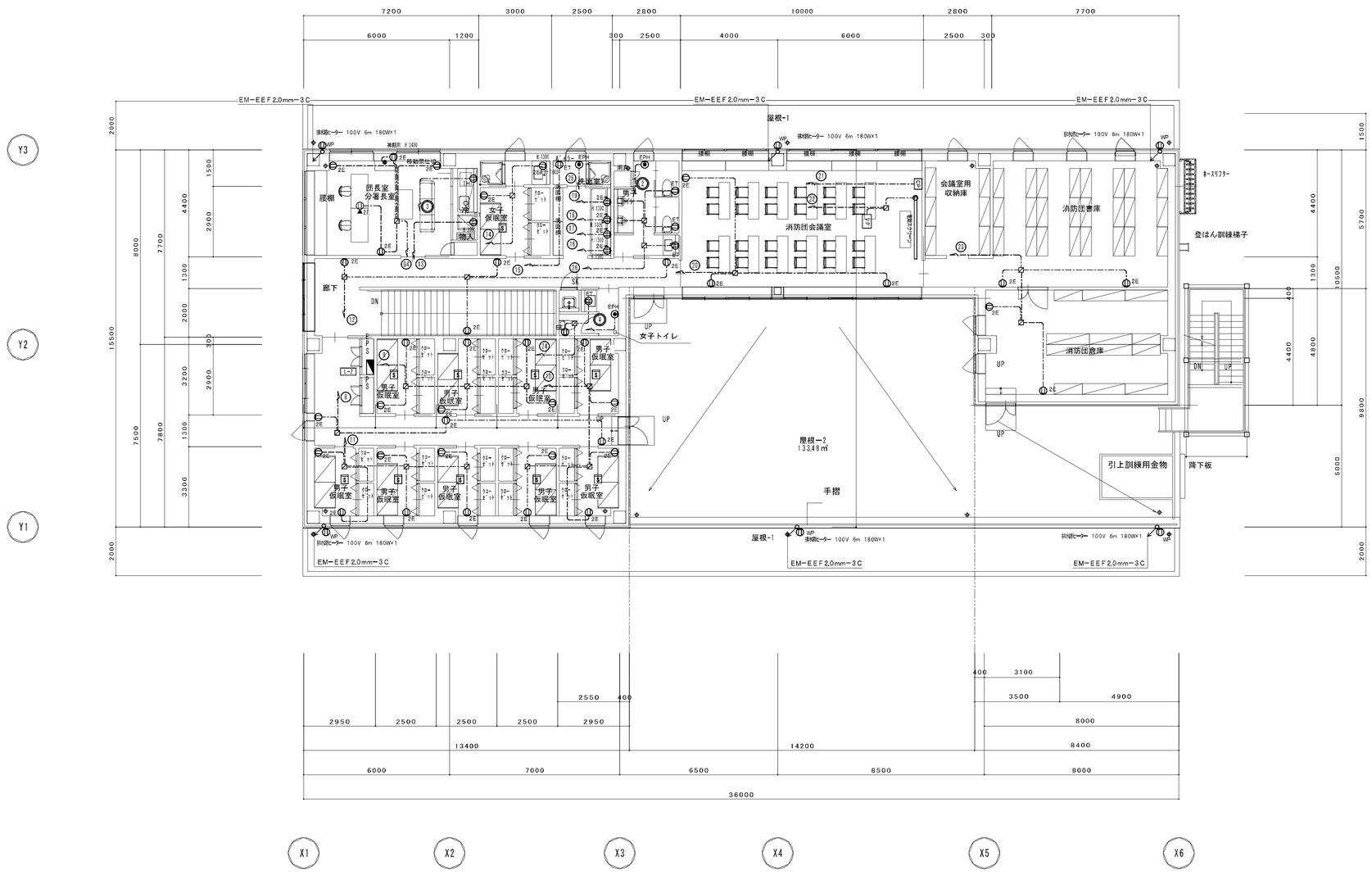
施工凡例

	天井フトコロ
	露出配線
	2重床隠蔽配線
	床隠蔽配管
	露出配管

防火区画壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通箇所は耐火処理を施すこと。

2. 図中★印のある照明器具は、発電機回路とする。
3. スイッチは全てネーム付とする。
4. 発電機により点灯する照明の点滅器には、発電回路表示付新金属製プレートとする。

DRAWING	コンセント設備　1階平面図	SCALE	N1:1/100　A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	E-15



2階平面図

DRAWING	コンセント設備　2階平面図	SCALE	N:1/100 A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎建設工事	DATE	2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男	DRAWING No.	E-16

電灯分電盤　Ｌ－１　単線結線図

（鋼板製　自立型）
盤上端～天井＋５０までケーブルダクト　【　ＣＨ＝２７００　】

AC1φ3W200／100V
EM−CET　60sq
MCCB3P
225ﾌﾚｰﾑ125A
中性線欠相保護付

備　考	負荷容量	負荷名称	遮断器	回路番号
	340	エアコン室内機	ELCB2P 50／20A	①
	1，000	電気パネルヒーター	〃	③
	1，000	電気パネルヒーター	〃	⑤
	500	電気パネルヒーター	〃	⑦
	815	電　灯	ELCB2P 50／20A	1
	310	〃	〃	3
	10	非常灯	〃	5
	400	事務室 ー般コンセント	〃	7
	800	女子トイレ ハンドタオル	〃	9
	200	倉庫ロッカー室 コンセント	〃	11
	400	本部分団室 コンセント	〃	13
	200	車庫コンセント	〃	15
	466	消毒室コンセント	〃	17
	800	男子トイレ ハンドタオル	〃	19
	540	排水路ヒーター	〃	21
	250	電気パネルヒーター	〃	23
		〃	〃	25
		〃	〃	27
		〃	〃	29

回路番号	遮断器	負荷名称	負荷容量	備　考
②	ELCB2P 50／20A	電気パネルヒーター	1，500	
④	〃	電気パネルヒーター	1，000	
⑥	〃	ＩＨクッキングヒーター	2，000	
⑧	〃	予備		
2	ELCB2P 50／20A	電　灯	672	
4	〃	〃	60	２４時間タイマー
6	〃	全熱交換機	1，478	
8	〃	事務室 ＯＡコンセント	1，000	
10	〃	食堂コンセント	316	
12	〃	廊下コンセント	400	
14	〃	シャワー室・乾燥室 コンセント	816	
16	〃	予備		
18	〃	洗濯機コンセント	1，600	
20	〃	自動販売機	1，300	
22	〃	排水路ヒーター	1，300	
24	〃	ベンチレーター	0.025	
26	〃	〃		
28	〃	〃		
30	〃	〃		

合　計　２０，６３７ ＶＡ

GC1φ3W200／100V
EM−CET38sq
MCCB3P
100／75A
中性線欠相保護付

備　考	負荷容量	負荷名称	遮断器	回路番号
	400	放送アンプ	ELCB2P 50／20A	A
		警報表示盤	〃	C

回路番号	遮断器	負荷名称	負荷容量	備　考
B	ELCB2P 50／20A	監視カメラ装置	400	
D	〃	予備		

備　考	負荷容量	負荷名称	遮断器	回路番号
	430	エアコン室内機	ELCB2P 50／20A	G1
リモコン番号 R011～014 R021～024	960	電灯	〃	G1
リモコン番号 R041・042	292	電灯	〃	G3
	177	電灯	〃	G5
	400	司令補末装置	〃	G7
	400	災害対策室 コンセント	〃	G9
	1，000	食堂冷蔵庫	〃	G11
	638	洗浄便座	〃	G13
	300	救急車ガレージ他 コンセント	〃	G15
	100	防災無線用 コンセント	〃	G17
	300	端子盤コンセント	〃	G19
		予備	〃	G20

×8　×2

回路番号	遮断器	負荷名称	負荷容量	備　考
G2	ELCB2P 50／20A	予　備	−	
G2	〃	電灯	402	リモコン番号 R031～034
G4	〃	電灯	198	
G6	〃	気象観測装置	200	
G8	〃	事務室 OAコンセント	500	
G10	〃	洗浄便座	1，200	
G12	〃	食堂冷蔵庫	1，000	
G14	〃	出勤準備室 コンセント	700	
G16	〃	車庫コンセント	200	
G18	〃	FFコンセント	900	
G20	〃	予備		
G21	〃	リモコン機器	64	

×4

RT
Ry−T／U　×4
CPU

合　計　１２，０２４ ＶＡ

電灯分電盤　Ｌ－２　単線結線図

（鋼板製　自立型　扉なし）
盤上端～天井＋５０までケーブルダクト　【　ＣＨ＝２７００　】

AC1φ3W200／100V
EM−CET100sq
MCCB3P
225ﾌﾚｰﾑ125A
中性線欠相保護付

備　考	負荷容量	負荷名称	遮断器	回路番号
	840	エアコン室内機	ELCB2P 50／20A	①
	2．000	ＩＨクッキングヒーター	〃	③
		予備	〃	⑤
			〃	⑦
リモコン番号 R051～054 R061～064 R071・072	200	電　灯	ELCB2P 50／20A	1
	246	〃	〃	3
	170	外部階段	〃	5
	679	全熱交換機	〃	7
	600	男子仮眠室 コンセント	〃	9
	600	男子仮眠室 コンセント	〃	11
	1，000	団長室冷蔵庫 コンセント	〃	13
	216	洗面室ボイラー	〃	15
	1，300	洗面室 コンセント	〃	17
	1，300	洗面室 コンセント	〃	19
	800	アンプ架	〃	21
	400	書庫・倉庫 コンセント	〃	23
	250	電気パネルヒーター	〃	25
		〃	〃	27
		〃	〃	29

×10

回路番号	遮断器	負荷名称	負荷容量	備　考
2	ELCB2P 50／20A	電気パネルヒーター	1，000	
4	〃	電気パネルヒーター	400	
6	〃	予備		
8	〃	予備		
2	ELCB2P 50／20A	電　灯	81	
4	〃	〃	617	
6	〃	全熱交換機	351	
8	〃	男子仮眠室前廊下 コンセント	300	
10	〃	男子仮眠室 コンセント	700	
12	〃	廊下コンセント	400	
14	〃	女子仮眠室 コンセント	1，400	
16	〃	洗面室 コンセント	1，300	
18	〃	洗面室 コンセント	1，300	
20	〃	消防団会議室 コンセント	300	
22	〃	電動スクリーン他	600	
24	〃	女子トイレコンセント	600	
26	〃	男子トイレコンセント	600	
28	〃	〃		
30	〃	〃		

合　計　２０，５５０ ＶＡ

RT
Ry−T／U　×3
CPU
※１

GC1φ3W200／100V
EM−CE8sq−3C
MCCB3P
50／30A
中性線欠相保護付

備　考	負荷容量	負荷名称	遮断器	回路番号
	60	エアコン室内機	ELCB2P 50／20A	G1
	68	電灯	〃	G1
リモコン番号 R081～084 R091	292	電灯	〃	G3
		温度発信機	〃	G5
		予備	〃	G7

×5

回路番号	遮断器	負荷名称	負荷容量	備　考
G2	ELCB2P 50／20A	予　備	−	
G2	〃	電灯	402	
G4	〃	コンセント	500	
G6	〃	雨量計		
		リモコン機器		

合　計　１，６５８ ＶＡ

RT
Ry−T／U　×2
CPU
※１

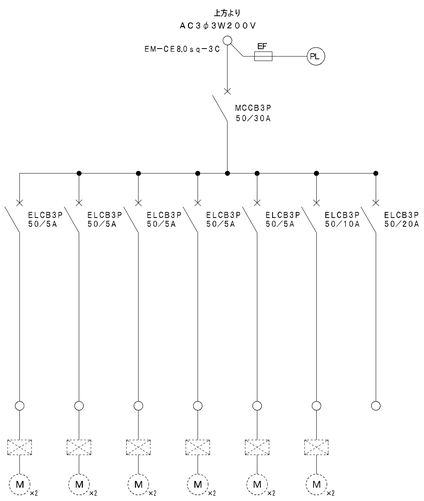
No　１００Ｖ回路を示す。
No　２００Ｖ回路を示す。

▲　リモコンリレー　１Ｐ２０Ａ（２００Ｖ回路は２Ｐ）
ＲＴ　リモコントランス　１００／２４Ｖ　３６ＶＡ
Ry−T／U　リレー制御用Ｔ／Ｕ（４回路用）
CPU　伝送ユニット　１００Ｖ　３０Ｗ

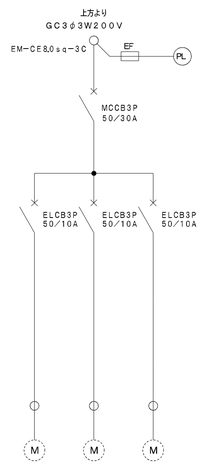
注　記
1.分岐用遮断器は、ＪＩＳ協約形（ＲＣ２.５ＫＡ以上）
　とし、ハーフサイズブレーカを使用する。
2.分電盤は、指定色仕上げとする。
3.接地端子は、盤体用及びＥＬＣＢ負荷用（回路分）の２端子を設けること。
　（ＥＬＣＢ用接地端子は、盤体と絶縁すること。）

DRAWING	電灯分電盤　単線結線図	SCALE　Non
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. E-17

盤名称		P−1	
キャビネット形式		V	
電気方式	種別	常用回路	発電回路
	相別	3φ3W	3φ3W
	電圧	200V	200V
負荷容量（KW）		5.3	2.38
主幹器具	定格電流	30A	30A
幹線サイズ		EM−CE8.0sq−3C	EM−CE8.0sq−3C
入線方向		下方 ＋ 上方	
設置場所		1F車庫	
備考			

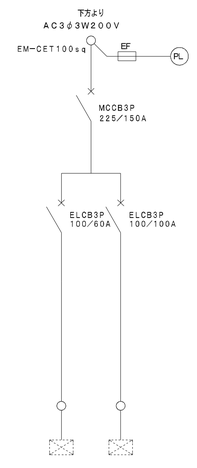


負荷名称		吸排気ファン	吸排気ファン	吸排気ファン	吸排気ファン	吸排気ファン	ホースリフター	予備
負荷容量（KW）		0.72	0.72	0.72	0.40	0.16	1.50	
制御装置	始動方式							
	操作・制御方式							
	操作・制御スイッチ							
負荷記号		◇1	◇2	◇3	◇4	◇5	◇6	
連動								
インターロック								
備考		別途制御盤	別途制御盤	別途制御盤	別途制御盤	別途制御盤	別途制御盤	

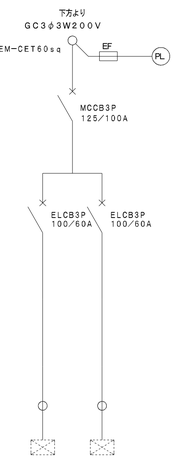


オーバースライダー	オーバースライダー	オーバースライダー
1.10	1.10	1.10
◇G1	◇G2	◇G3
別途制御盤	別途制御盤	別途制御盤

盤名称		P−2	
キャビネット形式		W	
電気方式	種別	常用回路	発電回路
	相別	3φ3W	3φ3W
	電圧	200V	200V
負荷容量（KW）		40.0	21.0
主幹器具	定格電流	150A	100A
幹線サイズ		EM−CET100sq	EM−CET60sq
入線方向		下方 ＋ 上方	
設置場所		2F EPS	
備考		扉なし	



負荷名称		エアコン室外機	エアコン室外機
負荷容量（KW）		16.4	23.6
制御装置	始動方式		
	操作・制御方式		
	操作・制御スイッチ		
負荷記号		AC−3	AC−4
連動			
インターロック			
備考			



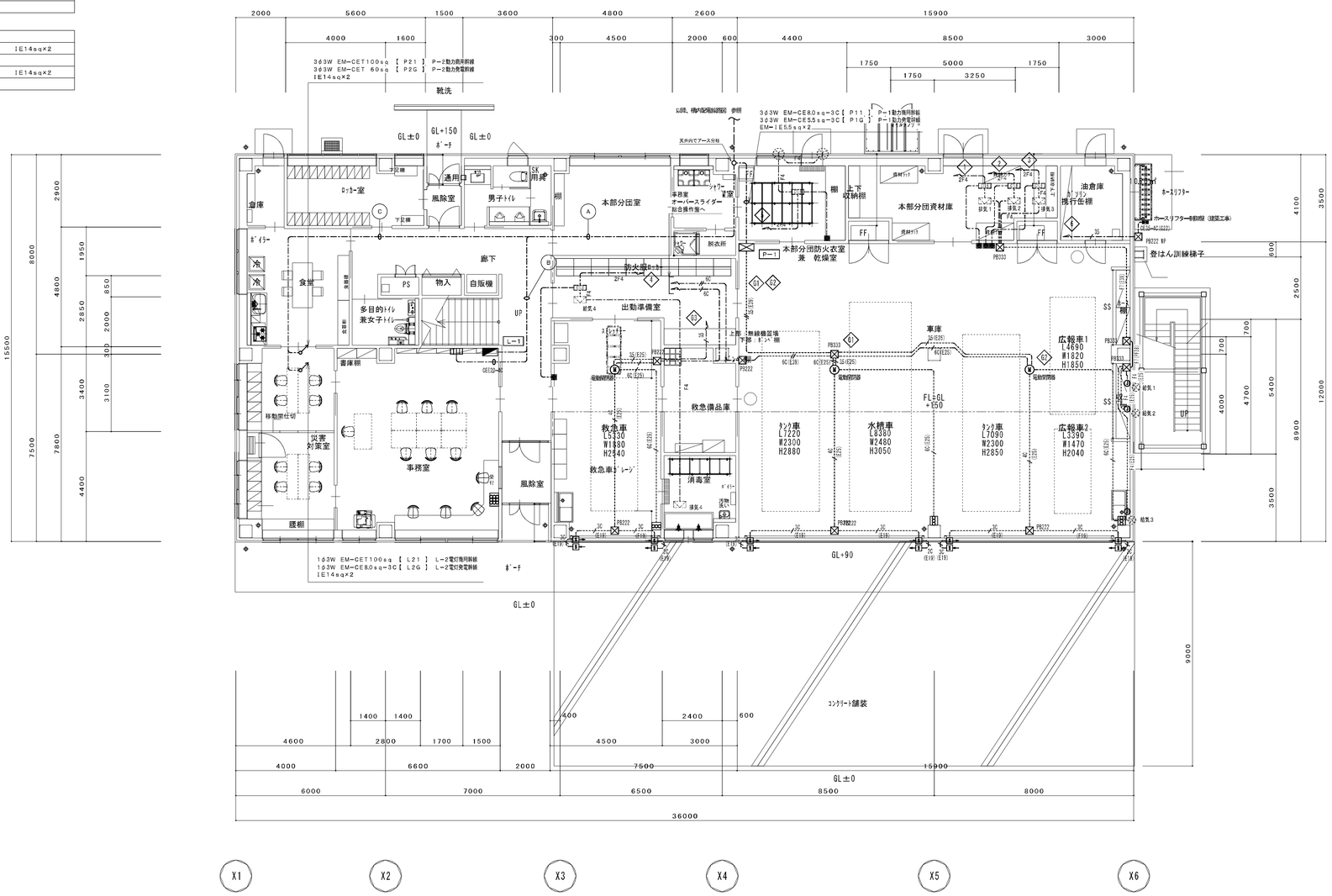
エアコン室外機	エアコン室外機
11.0	10.0
AC−1	AC−2

DRAWING	動力分電盤　単線結線図	SCALE	Non
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　朗男		DRAWING No.	E-18

記載路	種別	
Ⓐ	3φ3W EM-CET100sq 【 P21 】 P-2動力盤用幹線	IE14sq×2
	3φ3W EM-CET 60sq 【 P2G 】 P-2動力発電幹線	
	1φ3W EM-CET 60sq 【 L11 】 L-1電灯盤用幹線	IE8.0sq×2
	1φ3W EM-CET 38sq 【 L1G 】 L-1電灯発電幹線	
	1φ3W EM-CET100sq 【 L21 】 L-2電灯盤用幹線	IE14sq×2
	1φ3W EM-CE8.0sq-3C【 L2G 】 L-2電灯発電幹線	
	CEE2.0sq-4C【キュービクル・発電機 警報一括】	

記載路	種別	
Ⓑ	1φ3W EM-CET 60sq 【 L11 】 L-1電灯盤用幹線	IE8.0sq×2
	1φ3W EM-CET 38sq 【 L1G 】 L-1電灯発電幹線	
	CEE2.0sq-4C【キュービクル・発電機 警報一括】	

記載路	種別	
Ⓒ	3φ3W EM-CET100sq 【 P21 】 P-2動力盤用幹線	IE14sq×2
	3φ3W EM-CET 60sq 【 P2G 】 P-2動力発電幹線	
	1φ3W EM-CET100sq 【 L21 】 L-2電灯盤用幹線	IE14sq×2
	1φ3W EM-CE8.0sq-3C【 L2G 】 L-2電灯発電幹線	



1階平面図

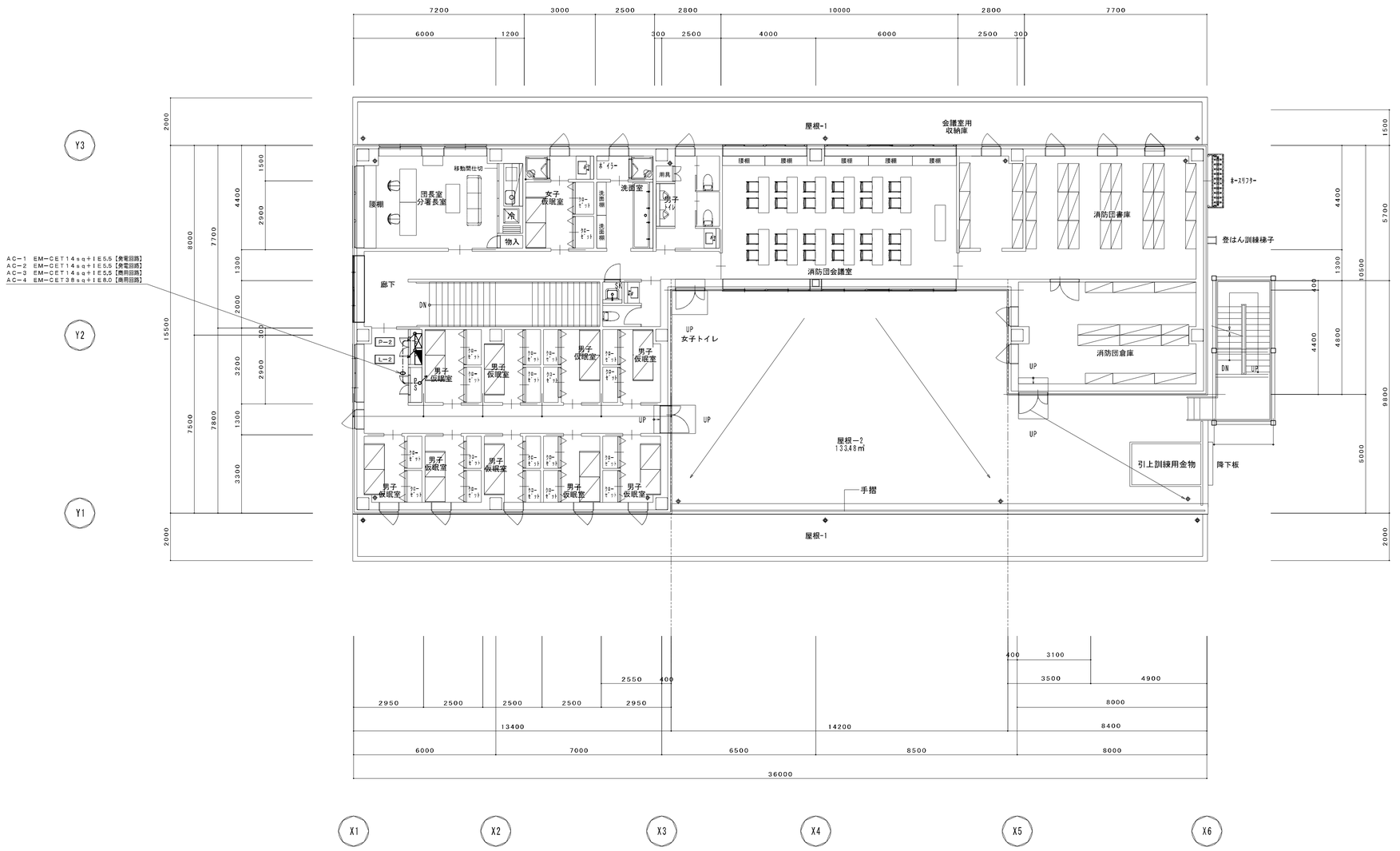
機器凡例

図記号	名称	
1.特記無き配線配管は、下記による。		
	電灯分電盤 (別図参照)	
→B	障害物センサ 光電スイッチ (受光)	(別途建築工事)
B→	障害物センサ 光電スイッチ (投光)	(別途建築工事)
	オーバースライダー 操作盤	(別途建築工事)
	オーバースライダー 総合操作盤	(別途建築工事)
CPS	コントロールボックス	(機械設備支給品)
	コントロールスイッチ	(機械設備支給品)
	露出丸形ボックス	
	警報盤 5窓用 埋込形	
	電動開閉器	(別途建築工事)
	給気・排気ファン	(別途機械設備工事)
2.天井扇及び換気扇類は機械設備工事とする。		
3.PBnnnは プルボックスH=n×100mm W=n×100mm D=n×100mmを示す		
4.プルボックスの「WP」は溶融亜鉛メッキ+防水とする。		

配管・配線凡例

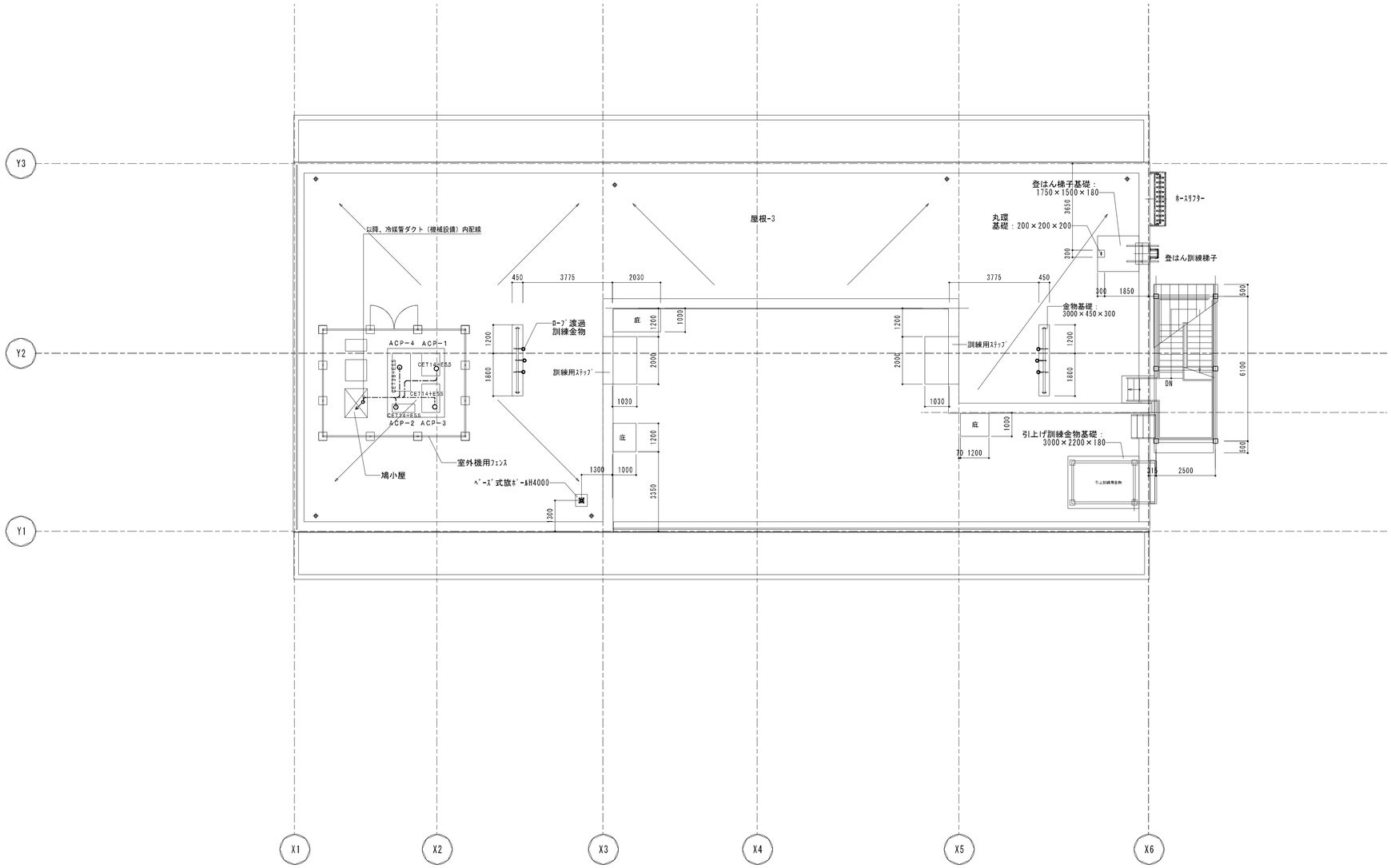
注記		
1. 特記無き配線配管・施工方法は、下記による。		
ケーブルの立上り引下げは電線管にて保護すること。		
		保護配管
2F4	EM-EEF 2.0-3C+E2.0	(PF22)
	EM-EEF 1.6-3C	(PF22)
F4	EM-EEF 1.6-3C+E1.6	(PF22)
F7	EM-EEF 1.6-2C×2+3C	(PF28)
5S	EM-CE3.5sq-4C	(PF22)
5S	EM-CE3.5sq-4C×2	(PF28)
3C	EM-CEE1.25sq-3C	(PF16)
4C	EM-CEE1.25sq-4C	(PF22)
6C	EM-CEE1.25sq-6C	(PF28)
6C	EM-CEE1.25sq-6C×2	(PF28)
2D	EM-IE 2.0×3	
	EM-IE 1.6×2	
	EM-IE 1.6×3	
	EM-IE 1.6×4	
	EM-IE 1.6×5	
	EM-IE 1.6×6	
(Dn)	ねじなし電線管 (nはサイズを示す。)	
(PFn)	合成樹脂製可とう電線管 (nはサイズを示す。)	
(Gn)	厚鋼電線管 (nはサイズを示す。)	
	天井フトコロ	
	露出配線	
	床隠蔽配管	
	露出配管	
防火区画壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通箇所は耐火処理を施すこと。		
2. 図中★印のある照明器具は、発電機回路とする。		
3. スイッチは全てネーム付とする。		
4. 発電機により点灯する照明の点滅器には、発電回路表示付新金属製プレートとする。		

DRAWING	幹線・動力分岐設備 1階平面図	SCALE N1:1/100 A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No. E-19



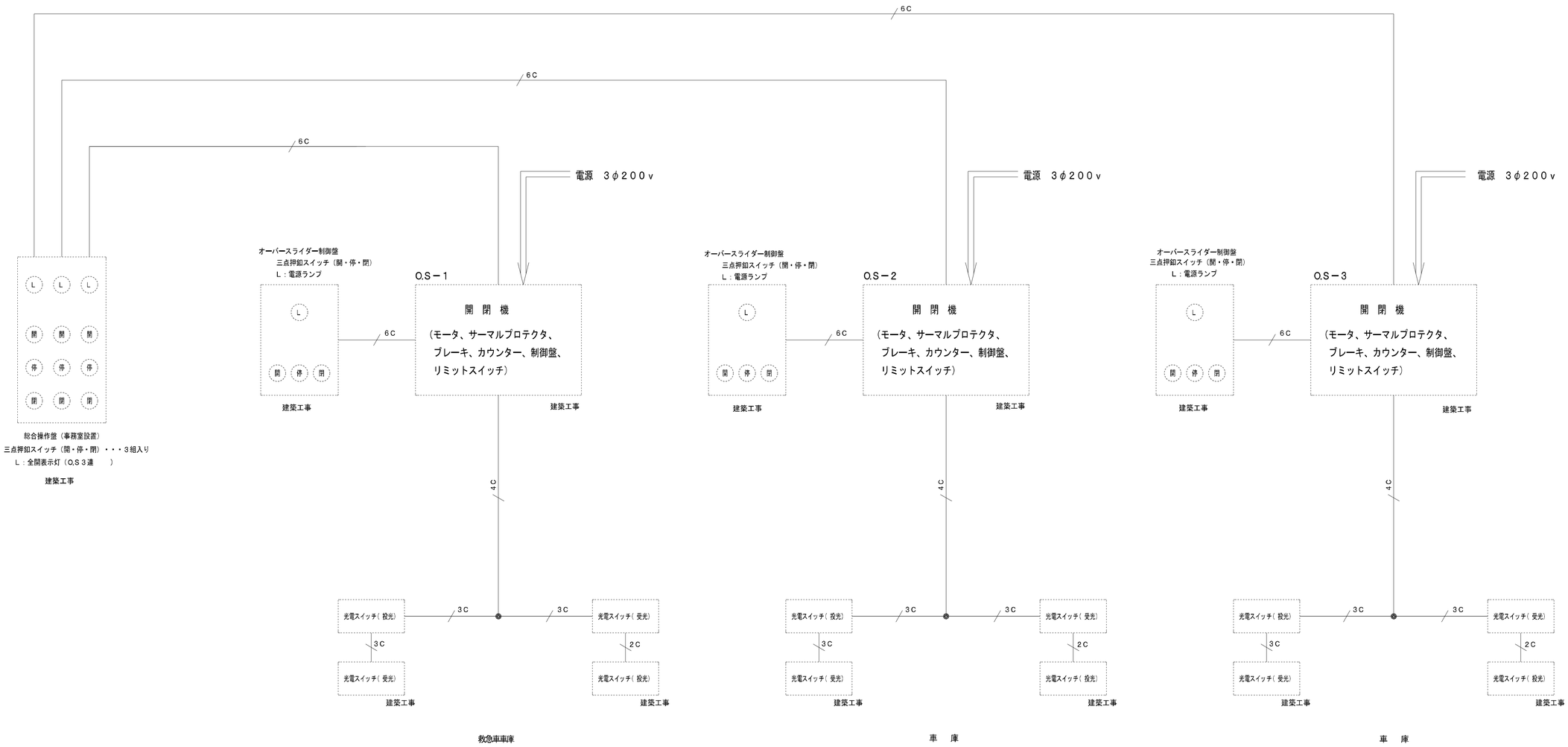
2階平面図

DRAWING	幹線・動力分岐設備　2階平面図	SCALE	N:1/100 A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　順男		DRAWING No.	E-20



屋根伏図

DRAWING	幹線・動力分岐設備　R階平面図	SCALE	N1:1/100 A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　明男			DRAWING No. E-21



救急車車庫　　車　庫　　車　庫

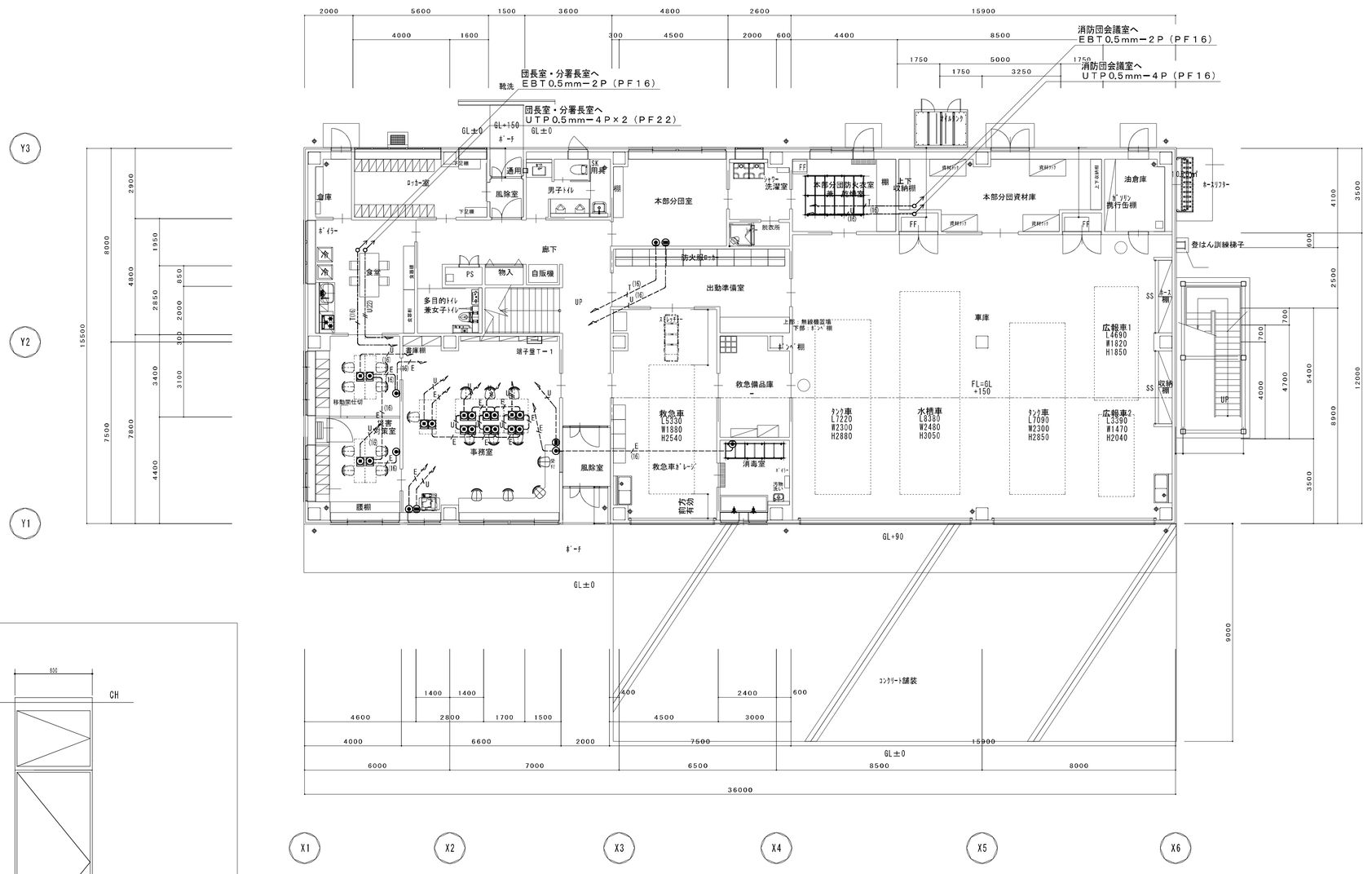
オーバースライダー系統図

工事区分

1、電気工事：一次側電源・二次側配管

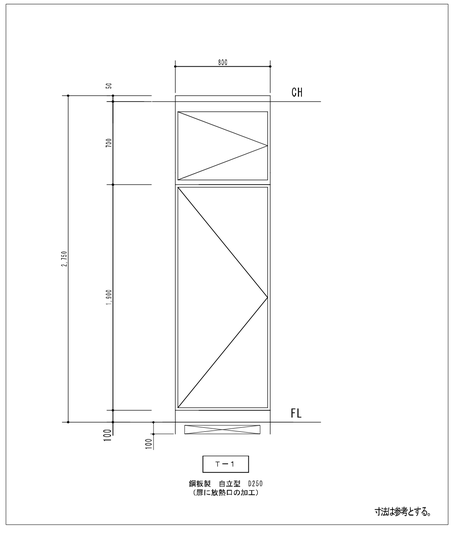
2、オーバースライダー工事（建築工事）：機器の取付・二次側通線及び結線調整

DRAWING	オーバースライダー系統配線図	SCALE　Non
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. E-22



1階平面図

端子盤Ｔ－1　参考図



寸法は参考とする。

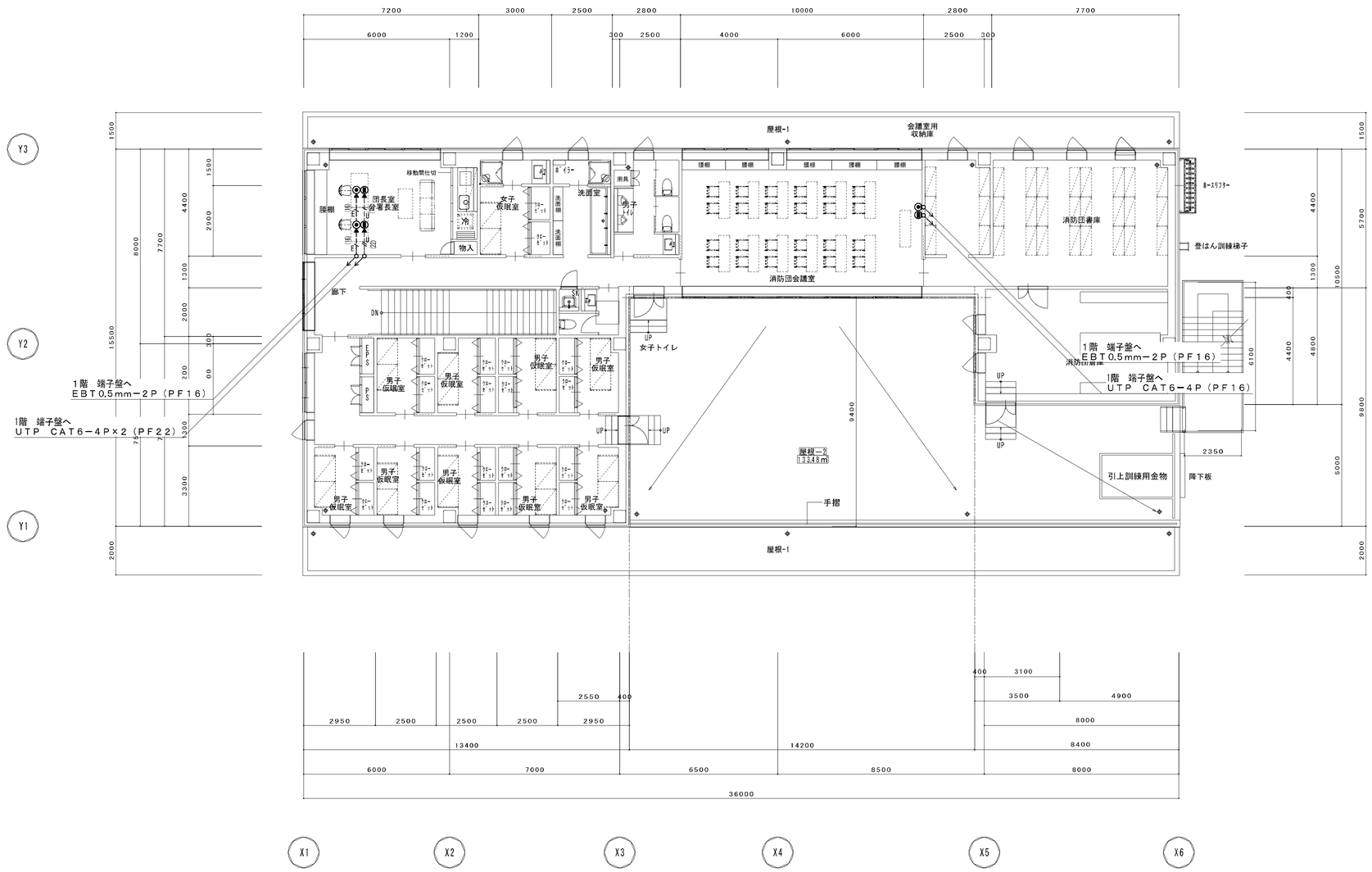
機器凡例

図記号	名　　称
1.特記無き配線配管は、下記による。	
―	端子盤　　（別図参照）
◉	埋込電話用　モジュラジャック　（６極２芯）
◉	２重床　電話モジュラジャック　（６極２芯）
◉	アップコン　電話モジュラジャック　（６極２芯）
◉	埋込情報用モジュラジャック（ＣＡＴ６）
◉	２重床　情報用モジュラジャック　（ＣＡＴ６）
◉	アップコン　情報用モジュラジャック　（ＣＡＴ６）
3.PBｎｎｎは　プルボックスH＝ｎ×100mm　W＝ｎ×100mm　D＝ｎ×100mmを示す	
4.プルボックスの「WP」は溶融亜鉛メッキ＋防水とする。	

配管・配線凡例

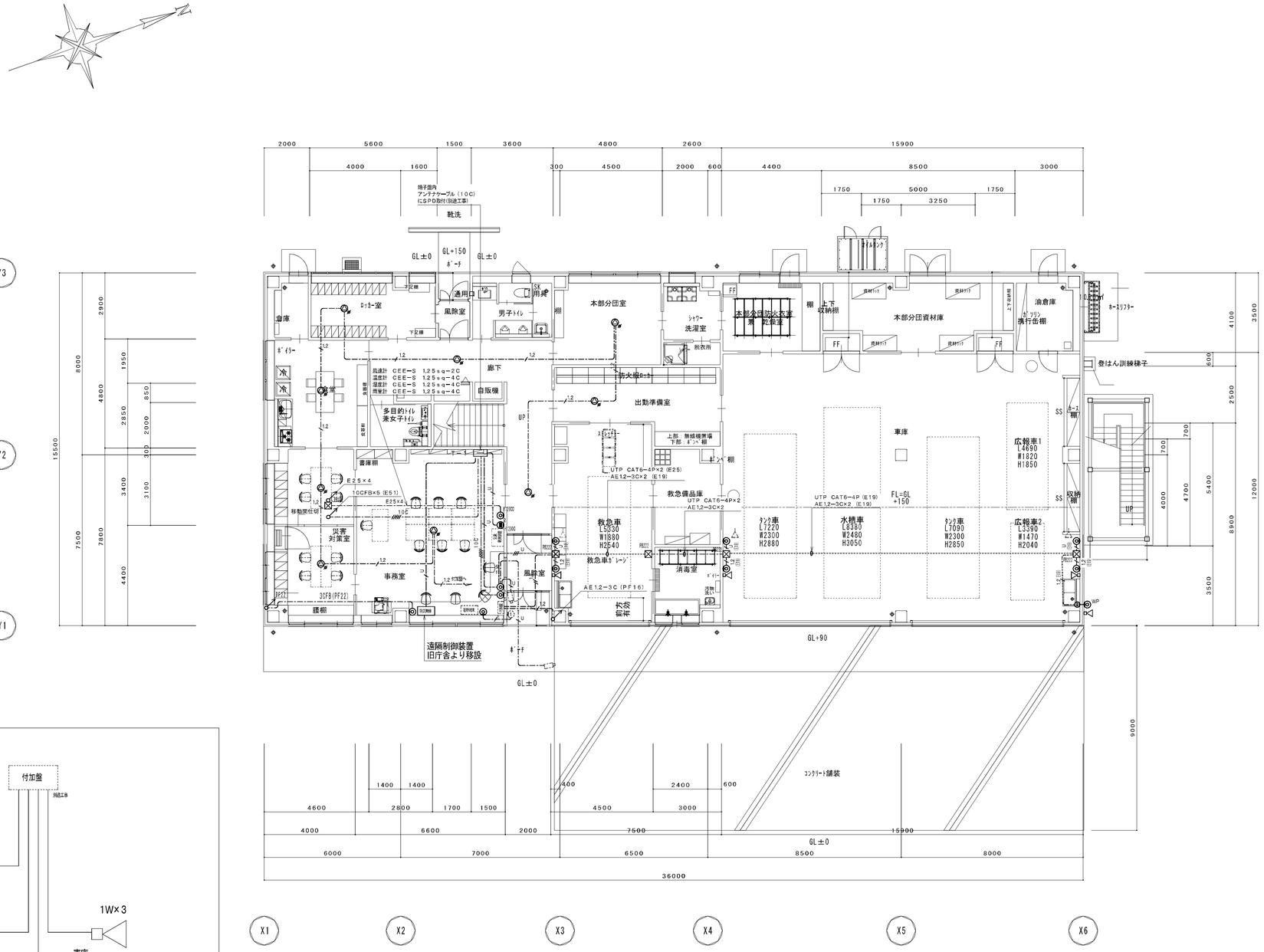
注　　記	
1、特記無き配線配管・施工方法は、下記による。	
ケーブルの立上り引下げは電線管にて保護すること。	
	保護配管
―――E―――― ＥＭ－ＥＢＴ0.4－2Ｐ	(PF16)
―――V―――― ＥＭ－ＵＴＰ　ＣＡＴ６－4Ｐ	(PF16)
(En) ねじなし電線管　（ｎはサイズを示す。）	
(PFn) 合成樹脂製可とう電線管　（ｎはサイズを示す。）	
(Gn) 厚鋼電線管　（ｎはサイズを示す。）	
－－－－－－－－ 天井フトコロ	
―――――― 露出配線	
－－－－－－－－ 床隠蔽配管	
---------- 露出配管	
防火区画壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通箇所は耐火処理を施すこと。	

DRAWING	構内交換設備・構内情報通信網設備　１階平面図	SCALE　N:1/100　A3 1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. E-23

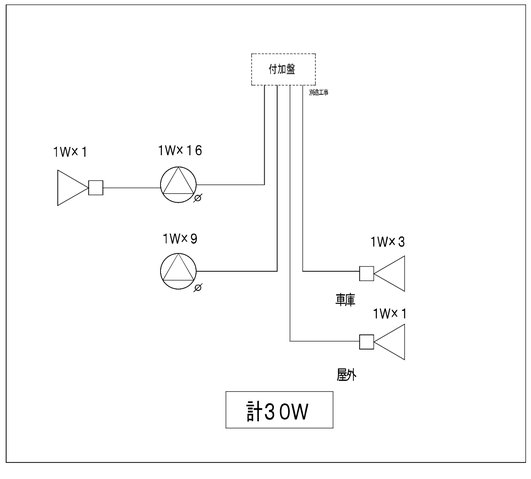


2階平面図

DRAWING	構内交換設備・構内情報通信網設備　2階平面図	SCALE N1:1/100 A3 1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No. E-24

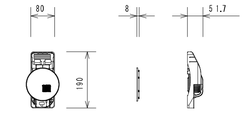


司令放送系統図



1階平面図

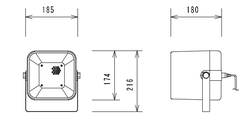
天井埋込型スピーカー（ATT付）



L級

スピーカーユニット	8 cmコーン型
定格入力	3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W（1 m）
周波数特性	150 Hz～20 kHz
入力インピーダンス	3.3 kΩ/10 kΩ
本体仕上	黒色モールド成型
パネル/フレーム	アルミパンチング/ABS樹脂
アッテネータ	4段階（大/中/小/切）

ホーンスピーカー



L級

スピーカーユニット	12 cm防滴型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	96 dB/W（1 m）
周波数特性	150 Hz～15 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
防水保護等級	IPX4準拠（JIS C 0920-2003）
使用温度範囲	-30 ℃～+60 ℃

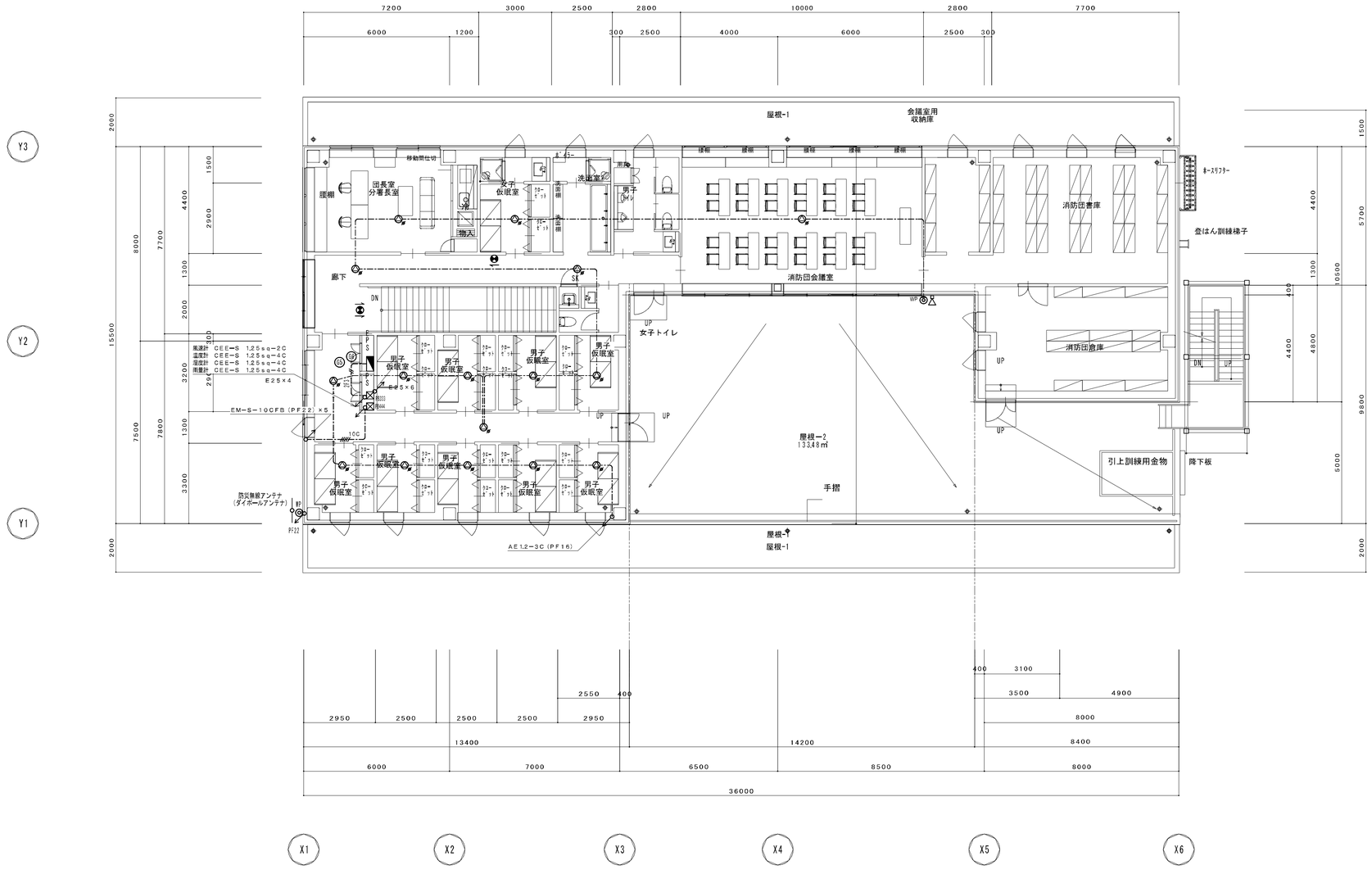
機器凡例

図記号	名称	
1.特記無き配線配管は、下記による。		
	端子盤 （別図参照）	
2	ノズルプレート2連	
5	ノズルプレート5連	
	ノズルプレート	
WP	防雨入線カバー	
	埋込情報用モジュラジャック（CAT6）	
	露出丸形ボックス	
	基礎ブロック L450×H130	
署所端末	署所端末	（別途工事）
付加盤	付加盤	（別途工事）
	ビーコン	（別途工事）
	ネットワークカメラ	（別途工事）
	壁付込み電話	（別途工事）
気象観測装置	気象観測装置	（別途工事）
3.PBnnnは プルボックスH=n×100mm W=n×100mm D=n×100mmを示す		
4.プルボックスの「WP」は溶融亜鉛メッキ+防水とする。		

配管・配線凡例

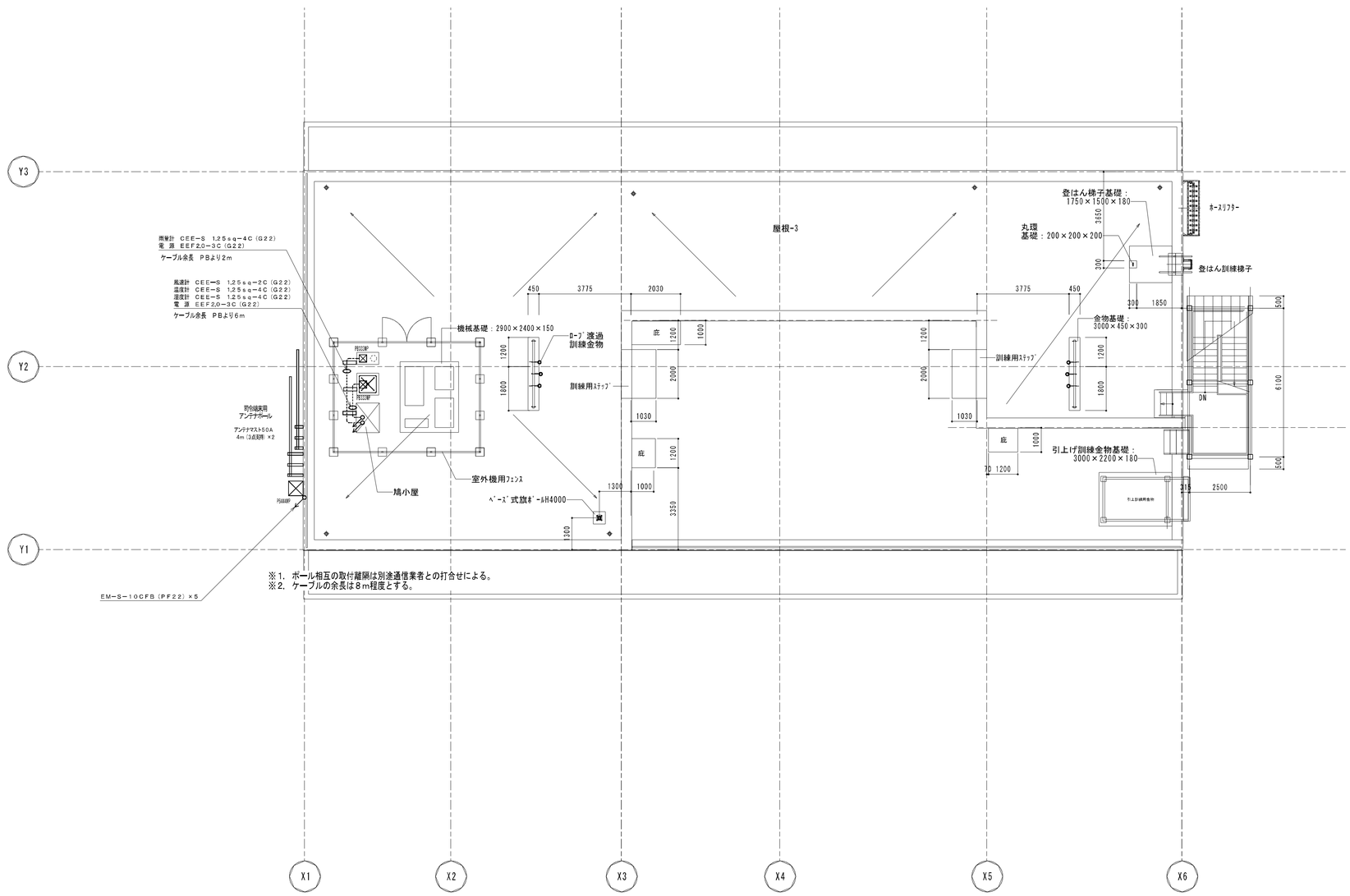
注 記	
1. 特記無き配線配管・施工方法は、下記による。	
ケーブルの立より引下げは電線管にて保護すること。	
	保護配管
----/E---- EM-EBT0.4-2P	(PF16)
----/U---- EM-UTP CAT6-4P	(PF16)
----/10C---- EM-S-10CFB	(PF22)
----/12---- EM-AE1.2-3C	(PF16)
----C---- 導入幅 1.2mm	
(Gn) ねじなし電線管	（nはサイズを示す。）
(PFn) 合成樹脂製可とう電線管	（nはサイズを示す。）
(Gn) 厚鋼電線管	（nはサイズを示す。）
天井フトコロ	
露出配線	
床隠蔽配管	
露出配管	
防火区画壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通箇所は耐火処理を施すこと。	

DRAWING	司令端末設備・気象観測設備・防災無線設備 1階平面図	SCALE N1:1/100 A3 1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No. E-25

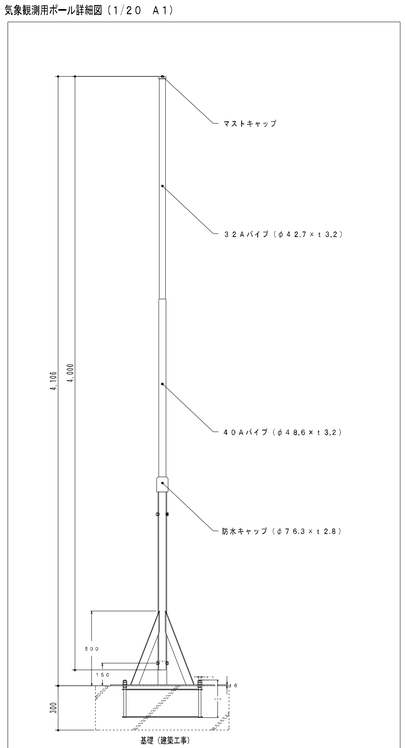


2階平面図

DRAWING	司令端末設備・気象観測設備・防災無線設備　２階平面図	SCALE	A1:1/100 A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	E-26



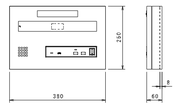
気象観測用ポール詳細図（1/20 A1）



屋根伏図

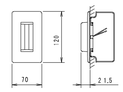
DRAWING	司令端末設備・気象観測設備・防災無線設備 R階平面図	SCALE	N:1/100 A3 1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 順男		DRAWING No.	E-27

IW	1窓用呼出表示器	⊗	廊下灯	⊠	復旧ボタン	n	呼出ボタン（引きひも付）



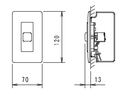
電源電圧	AC100V 50/60Hz（内部電源DC12V）
形　状	組込形（IX規格ラック）
M　数	2PCS（×2
並　数	1並

CBR-4B



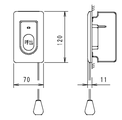
形　状	埋込形（ＪＩＳ１信用スイッチボックス）
材　質	本体:ABS樹脂、カバー:ポリカ（アイスグレード）
表示灯	赤色（LED）

NBR-2A-C



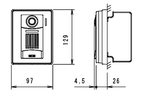
形　状	埋込形（ＪＩＳ１信用スイッチボックス）
材　質	樹脂

NBR-7HWA



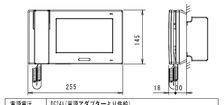
形　状	埋込形（ＪＩＳ１個用スイッチボックス）
材　質	自己消火性樹脂
備　考	呼出確認表示灯付、ひも式・押ボタン式両用
	防まつ形(JIS C0920 IP54相当)
	引きひも 55cm（調整可）

JP-DA

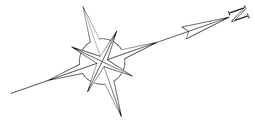


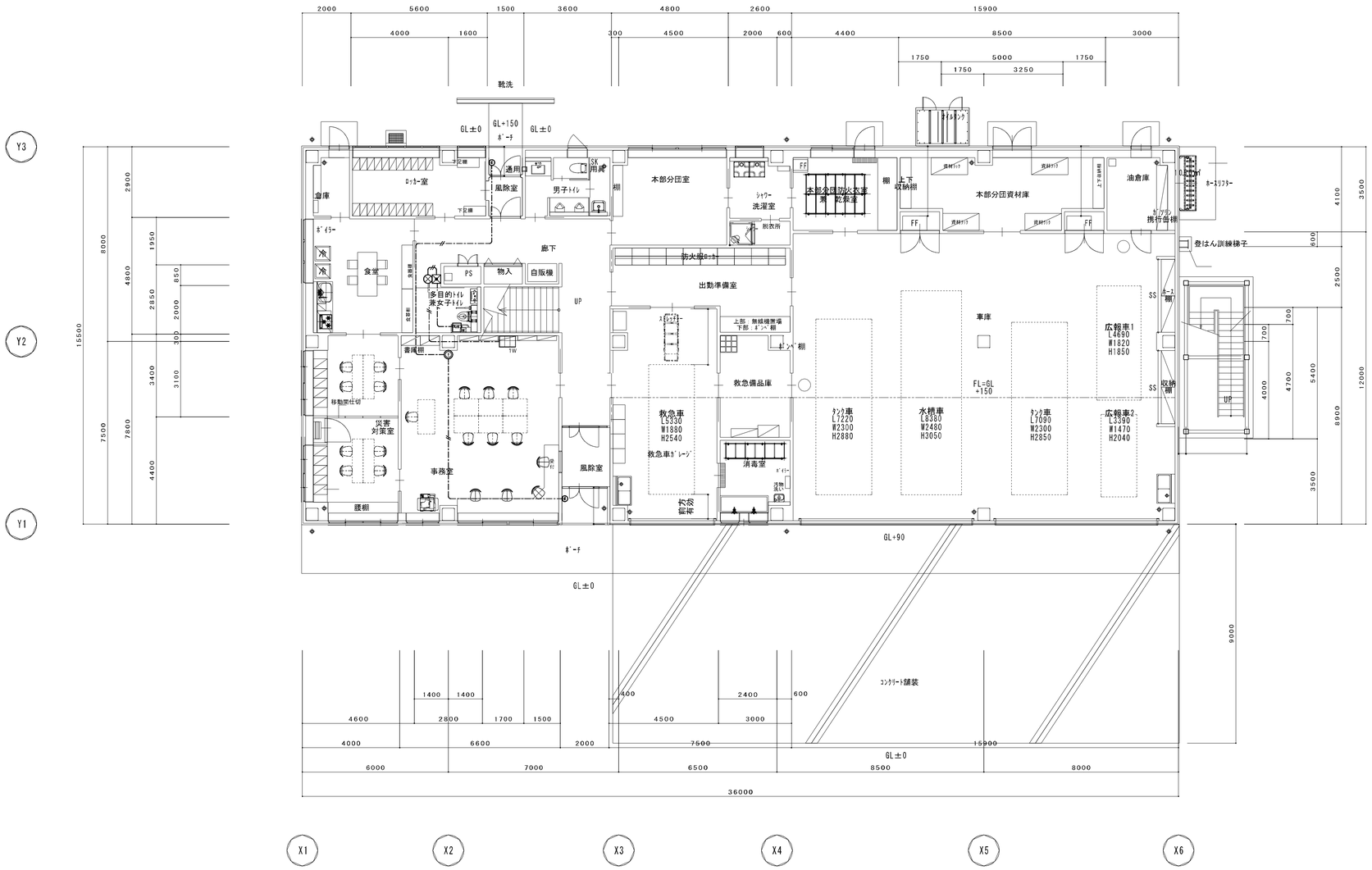
電源電圧	モニター付親機または映像長距離・監視カメラ接続
	アダプターから供給
形　状	壁取付型(露出型スイッチボックス)
材　質	自己消火性樹脂
カメラ	1.4型カラーCMOS
通話方式	自動交互通話
備　考	防塵・防まつ形/JIS C 0920 IP54 相当）

JP-4MED



電源電圧	DC24V(電源アダプターより供給)
形　状	据置・壁及び卓上型
	（ハンド受話器またはスイッチボックス）
	（卓上型用のため、卓上スタンド(JP-HS)を使用する）
材　質	本体:自己消火性樹脂、アクリルパネル部:難燃性樹脂
モニター	7型TFTカラー液晶
通話方式	拡声自動交互通話
	受話器　電話型同時通話
録画機能	自動・手動録画、再生、保存





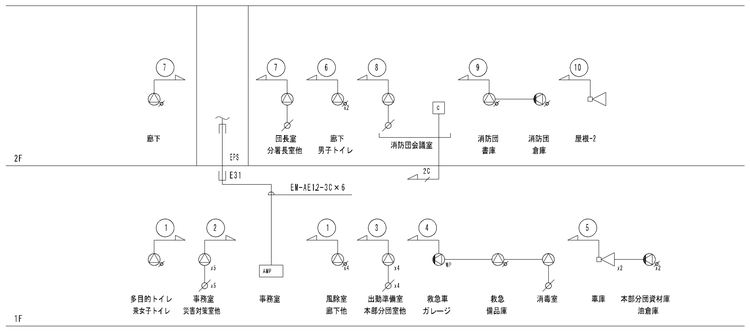
1階平面図

配管・配線凡例

注　記	
1. 特記無き配線配管・施工方法は、下記による。	
ケーブルの立上り引下げは電線管にて保護すること。	
	保護配管
――／――――　EM－AE1.2－2C	(PF16)
――／／――――　EM－AE1.2－3C	(PF16)
(En)　ねじなし電線管	（nはサイズを示す。）
(PFn)　合成樹脂製可とう電線管	（nはサイズを示す。）
(Gn)　厚鋼電線管	（nはサイズを示す。）
――・――・――　天井フトコロ	
――――――　露出配線	
― ― ― ― ― ―　床隠蔽配管	
・・・・・・・・・・・・　露出配管	
防火区画壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通箇所は耐火処理を施すこと。	
2. 図中★印のある照明器具は、発電機回路とする。	
3. スイッチは全てネーム付とする。	
4. 発電機により点灯する照明の点滅器には、発電回路表示付新金属製プレートとする。	

DRAWING	誘導支援設備　1階平面図	SCALE　A1:1/100　A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. E-28

非常放送設備　系統図



凡　例

シンボル	品　名
ARP	壁掛型非常業務放送装置
	天井埋込型スピーカー（ATT無）
	天井埋込型スピーカー（ATT付）
	壁掛型スピーカー（ATT付）
	防滴型壁掛スピーカー
	ホーンスピーカー
	アッテネータ
C	電源遮断ユニット

配管・配線

※特記なき配管配線は下記とする。

EM-AE12-3C　　保護管（PF16）

2C
EM-HP12-2C　　保護管（PF16）

EM-AE12-3C　　(E19)

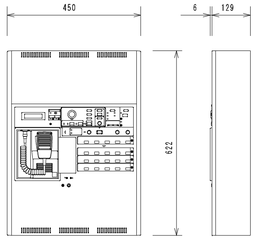
※二重天井内はコロガシ配線とし、立上げ・引き下げ
壁・梁貫通部は上記保護管により保護のこと。
※ケーブルの防火区画及び防火上主要な間仕切の貫通部は、
国土交通大臣認定工法により、耐火処理を施す事とする。

回線容量表

非常系統番号	業務系統番号	階	放送区域	使用スピーカー種別・入力（W）・数量					合 計（W）		
										φ	C
				1W	1W	1W	3W	6W		ATT	CR
1	1	1階	風除室、廊下 他		5				5 W		
	2		事務室 他	5					5 W	5	
	3		出動準備室、本部分団室 他	4					4 W	4	
	4		救急者ガレージ 他	1	1		1		5 W	1	
	5		車庫、本部分団師在庫 他			2		2	14 W		
2	6	2階	廊下、男子トイレ		2				2 W		
	7		団長室・分署長室、仮眠室	1	1				2 W	1	
	8		消防団会議室	1					1 W	1	1
	9		消防団書庫、消防団倉庫		1	1			2 W		
	10		屋根-2					1	6 W		
	11		（予備）								
	12		（予備）								
	13		（予備）								
	14		（予備）								
	15		（予備）								
			合　計（台）	12	10	3	1	3	29　台	12	1
			合　計（W）	12	10	3	3	18	46　W		

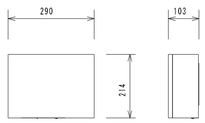
DRAWING　拡声設備　系統図	SCALE　Non
PROJECT　風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男	DRAWING No. E-29

壁掛型　業務放送装置（非常兼用）



定格出力	160 W（デジタルパワーアンプ）
出力制御	15回線および一斉（非常業務放送兼用）
非常放送	音声警報式、一斉火災放送移行機能付
緊急地震放送	非常放送より優先可（NHKチャイム音/REICサイン音）
ブロック放送	最大5ブロック（緊急優先ブロック、業務ブロック、BGMブロック）
自火報連動	連動、連動一斉
音声警報メッセージ	日本語・英語131種類内蔵、151種類搭載可能
業務放送メッセージ	最大43種類（38種類内蔵）
	（ウエストミンスター、ラジオ体操第一、他）
業務放送優先順位	6段階
操作スイッチ	非常起動、火災放送、非火災放送、放送階選択、ブロック
	選択、非常復旧、緊急優先一斉、一斉、放送復旧、チャイム、他
表　　示	火災、発報放送、火災放送、非火災放送、出火階、作動
	連動、連動一斉、発報連動停止、放送中、液晶表示、他
タイマー機能	週間/臨時スケジュール、総ステップ数：250、パターン9
状態出力	11回路11種類
音声入力	非常業務兼用マイク、マイク x2、ライン、ユニットケース、臨時チャイム
	電話ページング、アナウンスユニット、非常リモコン、マルチ業務リモコン、業務リモコン、BGM
モニタースピーカー	出力 0.45 W（音量調節器、ハウリング防止回路付）
電　　源	常用：AC100 V、非常時：DC24 V（ニッカド蓄電池）

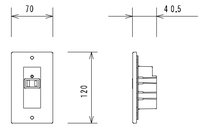
壁掛型スピーカー（ATT付）



L級

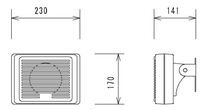
スピーカーユニット	16 cmコーン型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W（1 m）
周波数特性	120 Hz～13 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
アッテネータ	4段階（大/中/小/切）
キャビネット	木製

電源遮断ユニット



コンセント	AC100 V、50/60 Hz
電力容量	最大800 W
電流容量	最大10 A（ACアウトレット1個）
制御電源	DC24 V、10 mA（非常制御信号RB）
制御方法	RB端子0 Vで商用電源出力をOFF
表示灯（LED）	1（通常時：緑色点灯、非常時：消灯）
プレート	付

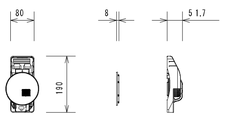
防滴型スピーカー



L級

スピーカーユニット	12 cm防滴型
定格入力	5 W/3 W
出力音圧レベル	87 dB/W（1 m）
周波数特性	130 Hz～18 kHz
入力インピーダンス	2 kΩ/3.3 kΩ
防水保護等級	IPX4準拠（JIS C 0920-2003）

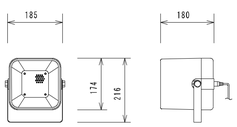
天井埋込型スピーカー（ATT無）



L級

スピーカーユニット	8 cmコーン型
定格入力	3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W（1 m）
周波数特性	150 Hz～20 kHz
入力インピーダンス	3.3 kΩ/10 kΩ
本体仕上	黒色モールド成型
パネル/フレーム	アルミパンチング/ABS樹脂

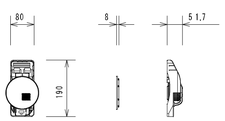
ホーンスピーカー



L級

スピーカーユニット	12 cm防滴型
定格入力	6 W/3 W/1 W
出力音圧レベル	96 dB/W（1 m）
周波数特性	150 Hz～15 kHz
入力インピーダンス	1.7 kΩ/3.3 kΩ/10 kΩ
防水保護等級	IPX4準拠（JIS C 0920-2003）
使用温度範囲	-30 ℃～+60 ℃

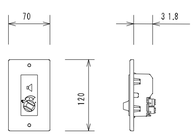
天井埋込型スピーカー（ATT付）



L級

スピーカーユニット	8 cmコーン型
定格入力	3 W/1 W
出力音圧レベル	92 dB/W（1 m）
周波数特性	150 Hz～20 kHz
入力インピーダンス	3.3 kΩ/10 kΩ
本体仕上	黒色モールド成型
パネル/フレーム	アルミパンチング/ABS樹脂
アッテネータ	4段階（大/中/小/切）

アッテネータ

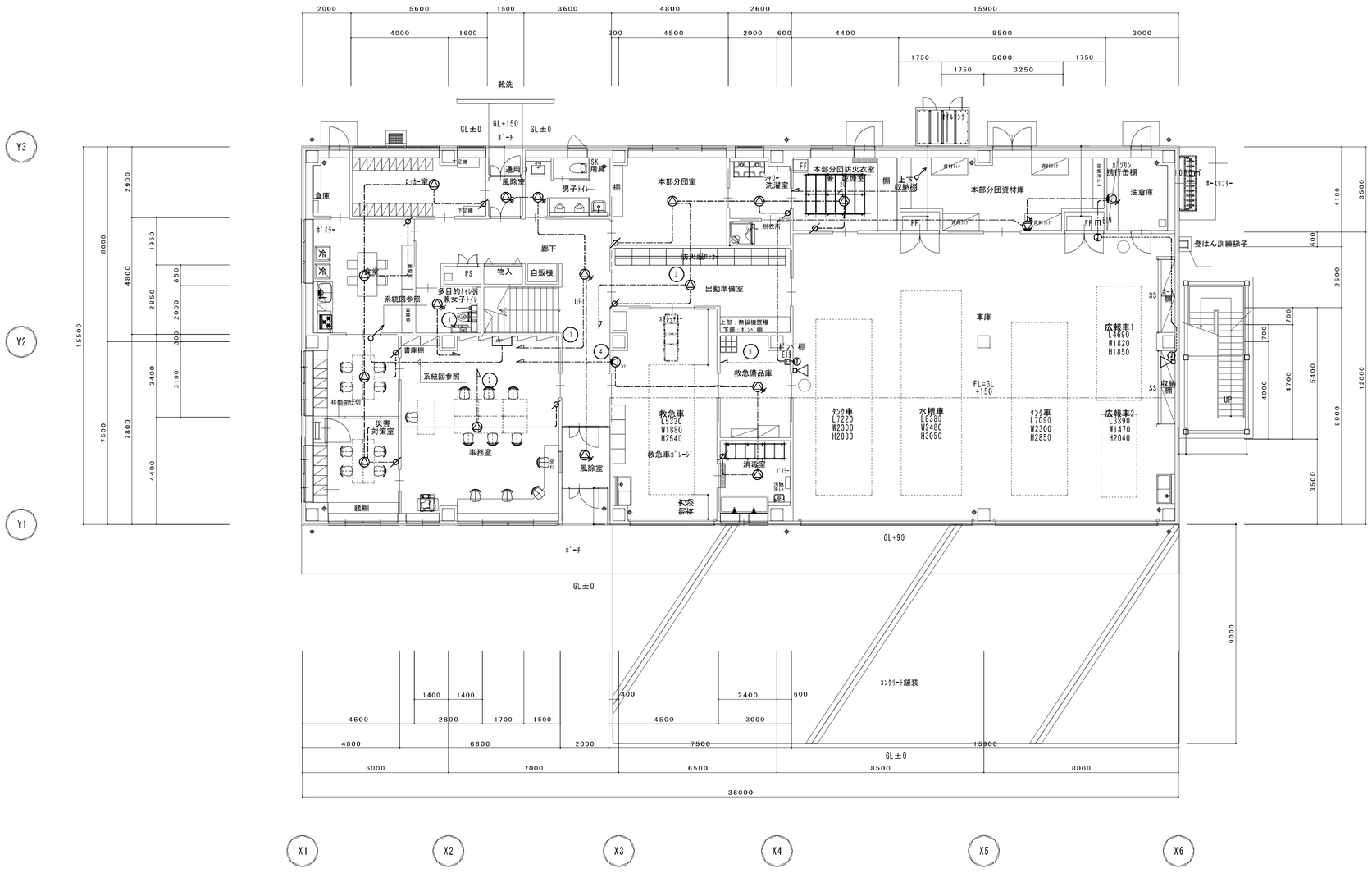


入力容量	6 W（0.5 W～6 W適合）
入力インピーダンス	1.7 kΩ～20 kΩ
音量調節	5段階（OFF、-18、-12、-6、0 dB）

DRAWING	拡声設備　機器参考姿図	SCALE	Mon
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03

アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男

DRAWING No. E-30



凡　例

シンボル	品　名
AMP	壁掛型非常業務放送装置（複合器に組込）
	天井埋込型スピーカー（ATT無）
ATT	天井埋込型スピーカー（ATT付）
ATT	壁掛型スピーカー（ATT付）
ATT	防滴型壁掛スピーカー
	ホーンスピーカー
	アッテネータ
RP	防雨入線カバー
	露出丸形ボックス
C	電源遮断ユニット

配管・配線

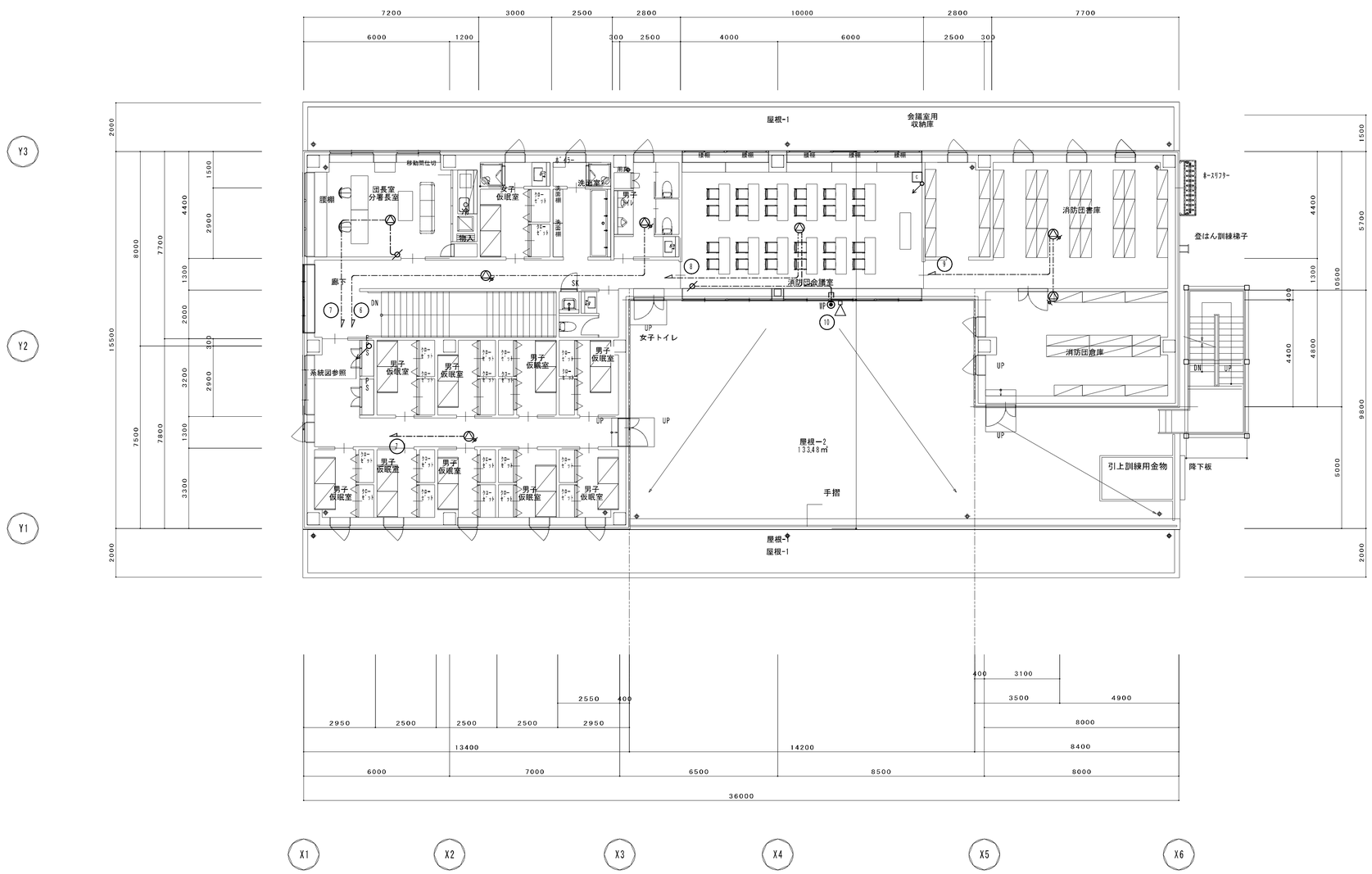
※特記なき配管配線は下記とする。

――――	EM-AE1.2-3C	保護管（PF16）
―― 2C ――	EM-AE1.2-2C	保護管（PF16）
------	EM-AE1.2-3C	（E19）

※二重天井内はコロガシ配線とし、立上げ・引き下げ
　壁・梁貫通部は上記保護管により保護のこと。
※ケーブルの防火区画及び防火上主要な間仕切の貫通部は、
　国土交通大臣認定工法により、耐火処理を施す事とする。

1階平面図

DRAWING	拡声設備　1階平面図	SCALE　A1:1/100　A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　明男		DRAWING No.　E-31



2階平面図

DRAWING	拡声設備　2階平面図	SCALE	N:1/100　A3 1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. E-32

2F消防団会議室　映像音響設備　平面図（S=A1：1/100）

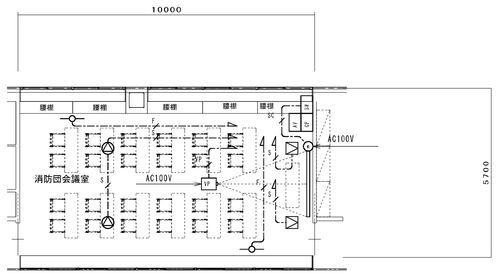
凡　例

シンボル	
XY	AVワゴン
CP	ワゴン接続プレート
SW	スクリーン昇降スイッチ
VP	液晶プロジェクター
	メインスピーカー
	シーリングスピーカー
	ワイヤレスアンテナ
	100型電動巻上スクリーン

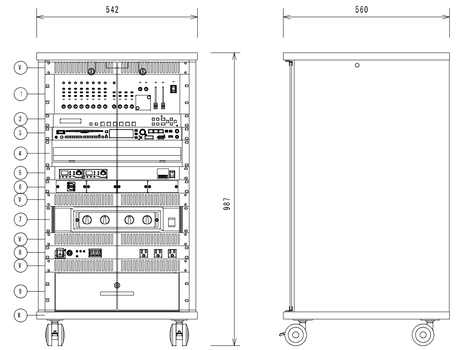
配管・配線

特記無き配管配線は下記による。

S	4S6-EM	保護管（PF16）
F	EM-S-5C-FB	保護管（PF16）
VP	EM-UTP05-4P（Cat5）	保護管（PF16）
SC	EM-CPEEOS-3P	保護管（PF22）



AVワゴン

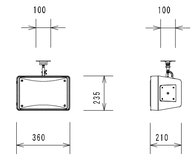


1	デジタルミキサー
2	マルチスイッチャー
3	CD/メモリープレーヤー
4	ブルーレイディスクレコーダー
5	デジタルワイヤレスチューナー
6	外部入力パネル
7	パワーアンプ
8	パワーディストリビューター
9	引出ユニット
B	ブランクパネル
V	ベンチレートパネル
W	ワゴン

デジタルミキサー	
入　力	モノラル x8、ステレオ（L/R） x4
出　力	ステレオ（L/R） x2、モノラル x2、
	録音（L/R） x1
周波数特性	20 Hz～20 kHz：+0.5 dB -1 dB
付加機能	ハウリングサプレッサー、コンプレッサー、
	スピーカーパラメーター設定
マルチスイッチャー	
映像入力	HDMI x4、DVI-I//アナログ x1
映像出力	HDMI x1、HDBaseT x1
外部制御	RS-232C、LAN
機　能	リップシンク、PJLink対応、EDIDエミュレート
CD/メモリープレーヤー	
対応メディア	CD、CD-R/RW、USB、SD、SDHC
再生ファイル形式	CD-DA/MP3/WMA/WAV/AAC
Bluetooth	対応A2DPコーデック：SBC、AAC、aptX
FM/AMチューナー	FM：76～108 MHz、AM：522～1,629 kHz
外部入力	ステレオミニジャック（前面）

ブルーレイディスクレコーダー	
チューナー	BS/110度CS/地上デジタル
HDD容量	500 GB
デジタルワイヤレスチューナー	
受信方式	ダイバシティ・ダブルスーパーヘテロダイン
受信周波数	800 MHz帯の30波から最大2波を受信
機　能	セキュリティ、チャンネルサーチ
外部入力パネル	HDMI
パワーアンプ	
定格出力	100 W x4（8 Ω）、150 W x4（4 Ω）
2チャンネル出力	300 W x2（8 Ω）
周波数特性	20 Hz～20 kHz（8 Ω、1W出力時）
S/N	100 dB以上
パワーディストリビューター	
AC100 V入力	15 Aサーキットブレーカー x1
ワゴン	キャスター、鍵付強化ガラス扉（270° 開閉可）
材　質	木製（EIAマウントタイプ）

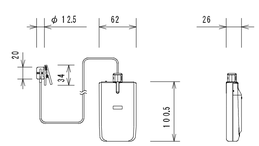
メインスピーカー



スピーカーユニット	高音用：定指向性ホーン型
	低音用：16 cmコーン型
定格／最大入力	90 W（RMS）／180 W（連続プログラム）
出力音圧レベル	90 dB/W（1m）
周波数特性	65 Hz～20 kHz
指向角度	水平：70°、垂直：70°
その他	天井吊下金具付

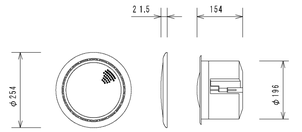
デジタルワイヤレスマイクロホン（タイピン型）

x1台



送信周波数	800 MHz帯の30波から1波選択
電波形式	G1E/G1D
マイクロホン形式	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
空中線電力	5 mW/1 mW 切換式
電　源	DC15 V（単3乾電池 x1）又は専用充電式電池
セキュリティ機能	あり
同時使用本数	10本（標準モード）、15本（多チャンネルモード）
付属品	ストラップ、マイク部用ネックホルダー

シーリングスピーカー

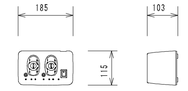


L級

スピーカーユニット	13.5 cmフルレンジコーン型
定格入力	3 W/5 W/15 W、40 W（RMS）
出力音圧レベル	91 dB/W（1m）
周波数特性	80 Hz～20 kHz
入力インピーダンス	3.3 kΩ/2 kΩ/670 Ω又は8 Ω
質　量	2.4 kg

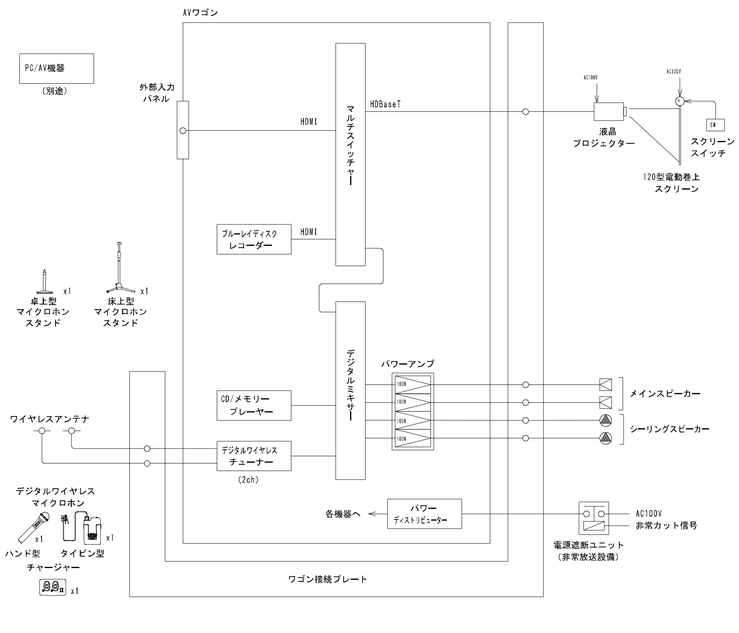
チャージャー

x1台

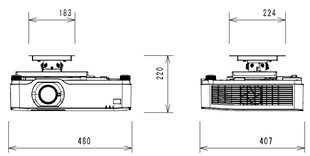


充電方式	タイマー式
標準充電時間	約5時間
電　源	DC6 V（専用ACアダプター付）
質　量	0.8 kg
付属品	専用充電式電池 x2

2F消防団会議室　映像音響設備　ブロック図

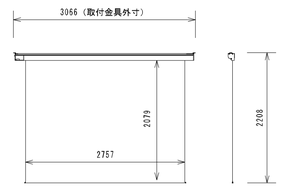


液晶プロジェクター



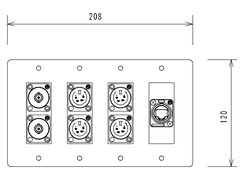
方　式	3原色液晶シャッタ投映方式
パネルサイズ	0.64型WLA付 x3枚（アスペクト比16：10）
画素数	2,304,000画素（1920 x 1200）
光　源	レーザーダイオード
投写距離	0.8～12.9 m（30～300型）
色再現性	10ビットカラープロセッシング
明るさ	5400 lm
コントラスト比	3,000,000：1（ダイナミックコントラストオン時）
最大表示解像度	アナログ：1920 x 1200
	デジタル：3840 x 2160
デジタル入力端子	HDMIタイプA（HDCP1.4） x2
	HDBaseT x1
コンピュータ入力端子	ミニD-Sub15ピン x1
コンポーネント入力端子	ミニD-Sub15ピン x1（PC入力と共用）
音声出力	ステレオミニジャック x1（コンピュータ、HDMI共通）
スピーカ	20Wモノラルスピーカ内蔵
USBポート	USBタイプA x1（USBメモリ用）
有線LAN	RJ-45（10OBASE-IX） x1
無線LAN	USBタイプA（IEEE802.11a/b/g/n） x1
電源・消費電力	AC100 V 50/60 Hz、最大303 W
質量（本体+金具）	約11.4 kg

120型電動巻上スクリーン



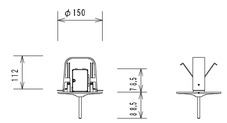
形　式	モータードライブタイプ
スクリーンサイズ	120型（16：10、ボーダレス・黒縁マスクなし）
スクリーン生地	リアルホワイト、防炎材質
電　源	AC100 V 50/60Hz
その他	スクリーンスイッチ付

ワゴン接続プレート



コネクター	BNC x2（ワイヤレス用）
	XLR-4-32タイプ x4（スピーカー用）
	NE8FDX-P6相当 x1（プロジェクター用）
プレート	鉄金属

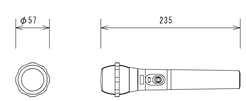
ワイヤレスアンテナ（天井埋込型）



受信周波数範囲	806 MHz～810 MHz
ダイポール相対利得	10 dB（ブースターアンプ含む）
推奨同軸ケーブル	5C-FB（BS用）
アッテネーター	3段階切換（広、中、狭）
電　源	DC8 V～15 V（同軸ケーブルに重畳）、10 mA
質　量	145 g

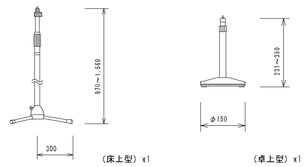
デジタルワイヤレスマイクロホン（ハンド型）

x1本



送信周波数	800 MHz帯の30波から1波選択
電波形式	G1E/G1D
マイクロホン形式	単一指向性エレクトレットコンデンサー型
空中線電力	5 mW/1 mW 切換式
電　源	DC15 V（単3乾電池 x1）又は専用充電式電池
セキュリティ機能	あり
同時使用本数	10本（標準モード）、15本（多チャンネルモード）

マイクスタンド



（床上型）x1　　（卓上型）x1

床上型

マイク取付高さ	最高1,560 mm～最低970 mm
ロック方式	スリーブ・ロック方式
質　量	約2.6 kg

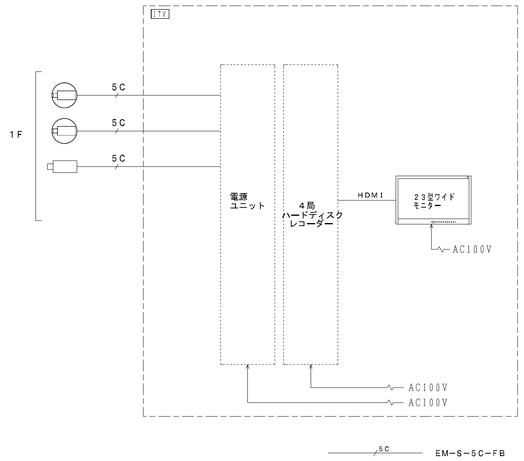
卓上型

マイク取付高さ	最高380 mm～最低231 mm
ロック方式	スリーブ・ロック方式
質　量	約1.1 kg

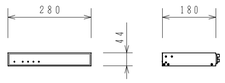
DRAWING	音響設備　平面図・機器参考姿図
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事
SCALE	N:1/100　A3 1/200
DATE	2024.03
DRAWING No.	E-33

アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　明男

監視カメラ設備　システムブロック図

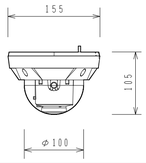


電源　4Ch　電源ユニット



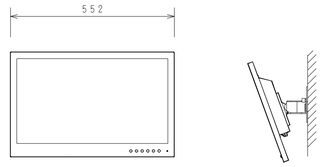
入出力信号	AHD：2M 30p、4M 30p、5M 20p/12.5p
	TVI：2M 30p、4M 30p、5M 20p/12.5p
映像入力	BNC（電源重畳端子）x4
出力電源	COAX DC42 V（VP DC42 V OUT）
伝送距離	5C-2V：最大500 m
入力電源	AC100-240 V（50/60 Hz）、50 W
質　量	約1.4 kg

HD屋外対応ドームカメラ



画像センサー	1/2.8型CMOS
最高解像度	2592 x 1944
レンズ	焦点距離：f＝3.0 mm～13.5 mm
アイリスコントロール	Auto IRIS
最低被写体照度	カラー：0.13 lx、白黒：0 lx
機　能	赤外LED、デイナイト、プライバシーマスク、
	ワイドダイナミックレンジ、モーション感知
電　源	同軸重畳（POC 42 V）
環境性能	IP67、IK10

23型液晶モニター



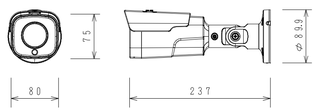
液晶パネル	23V型ワイド、LEDバックライト
表示画素数	1,920x1,080ピクセル
入　力	コンポジット x2、RGB、HDMI、音声 x3
内部スピーカー	0.5 W+0.5 W（ステレオ）
電　源	AC 100 V、50/60 Hz、33 W
質　量	5.5 kg（本体のみ）、7.2 kg（スタンド含む）

ハードディスクレコーダー



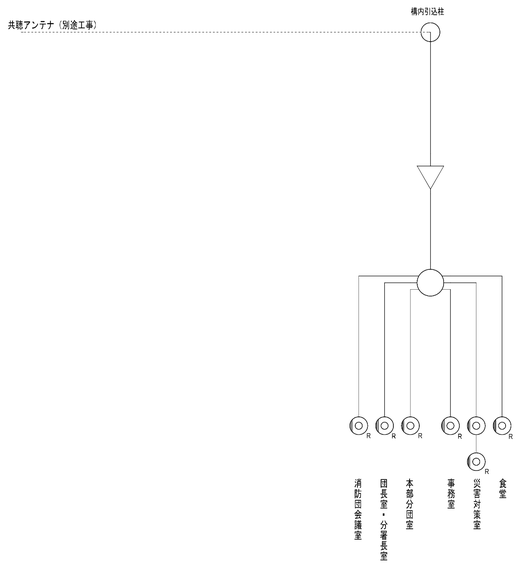
映像入力	BNC x4
映像圧縮方式	H265、H264
内蔵HDD容量	2 TB
最大性能（本体）	録画：120 ips（1080p）、表示：120 ips
映像出力	VGA、HDMI
その他端子	音声入出力、シリアル、ネットワーク、アラーム入出力
電　源	DC12 V
質　量	約3.0 kg

HD屋外ハウジングカメラ



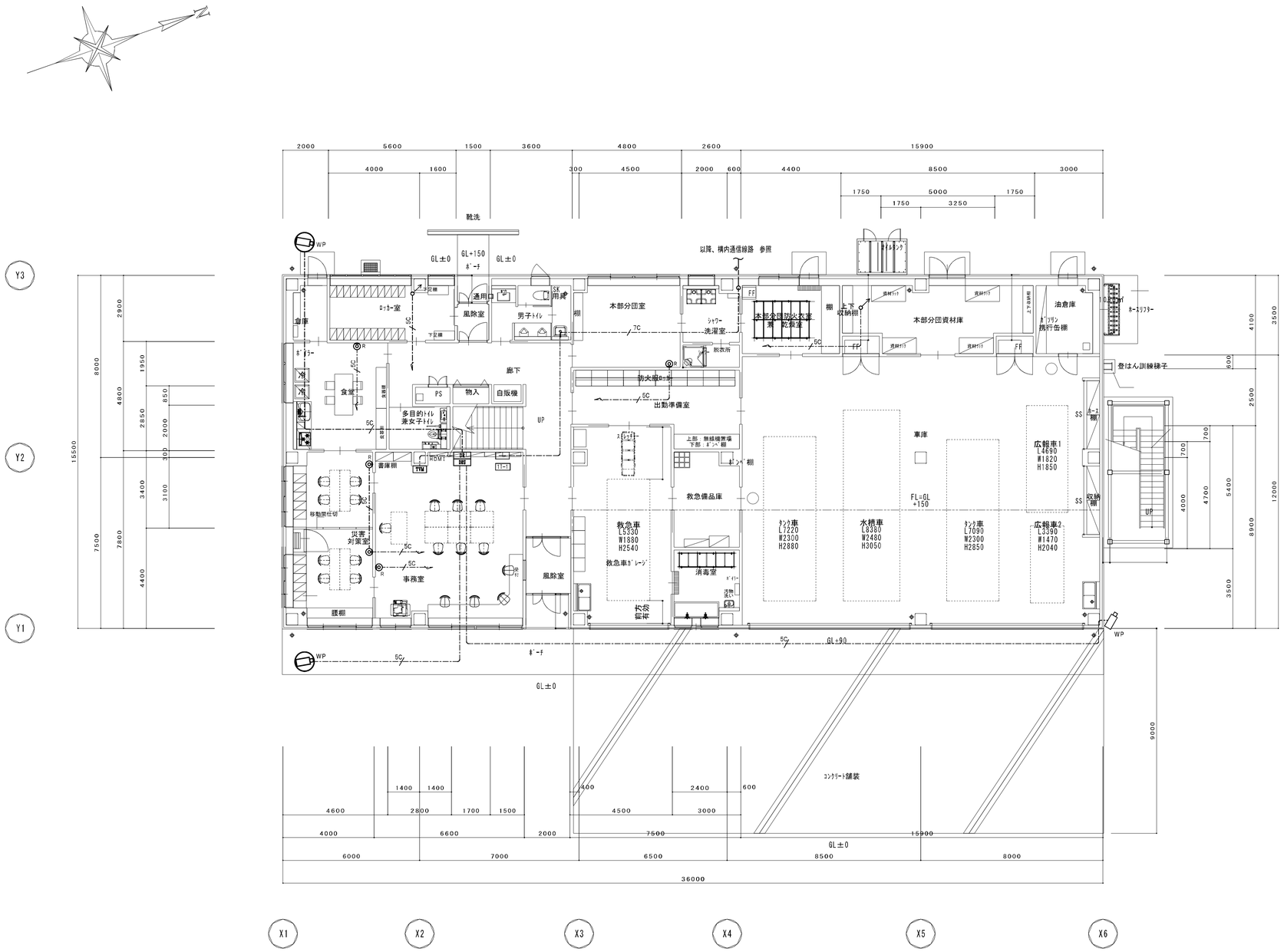
画像センサー	1/2.8型CMOS
最高解像度	2592 x 1944
レンズ	焦点距離：f＝3.0 mm～13.5 mm
アイリスコントロール	Auto IRIS
最低被写体照度	カラー：0.13 lx、白黒：0 lx
機　能	赤外LED、デイナイト、プライバシーマスク、
	ワイドダイナミックレンジ、モーション感知
電　源	同軸重畳（POC 42 V）
環境性能	IP67、IK10

監視カメラ設備　参考姿図



テレビ共同受信設備　系統図

DRAWING	監視カメラ設備　参考姿図・テレビ共同受信設備　系統図	SCALE	N.T.S/OO A3 1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No. E-34



1階平面図

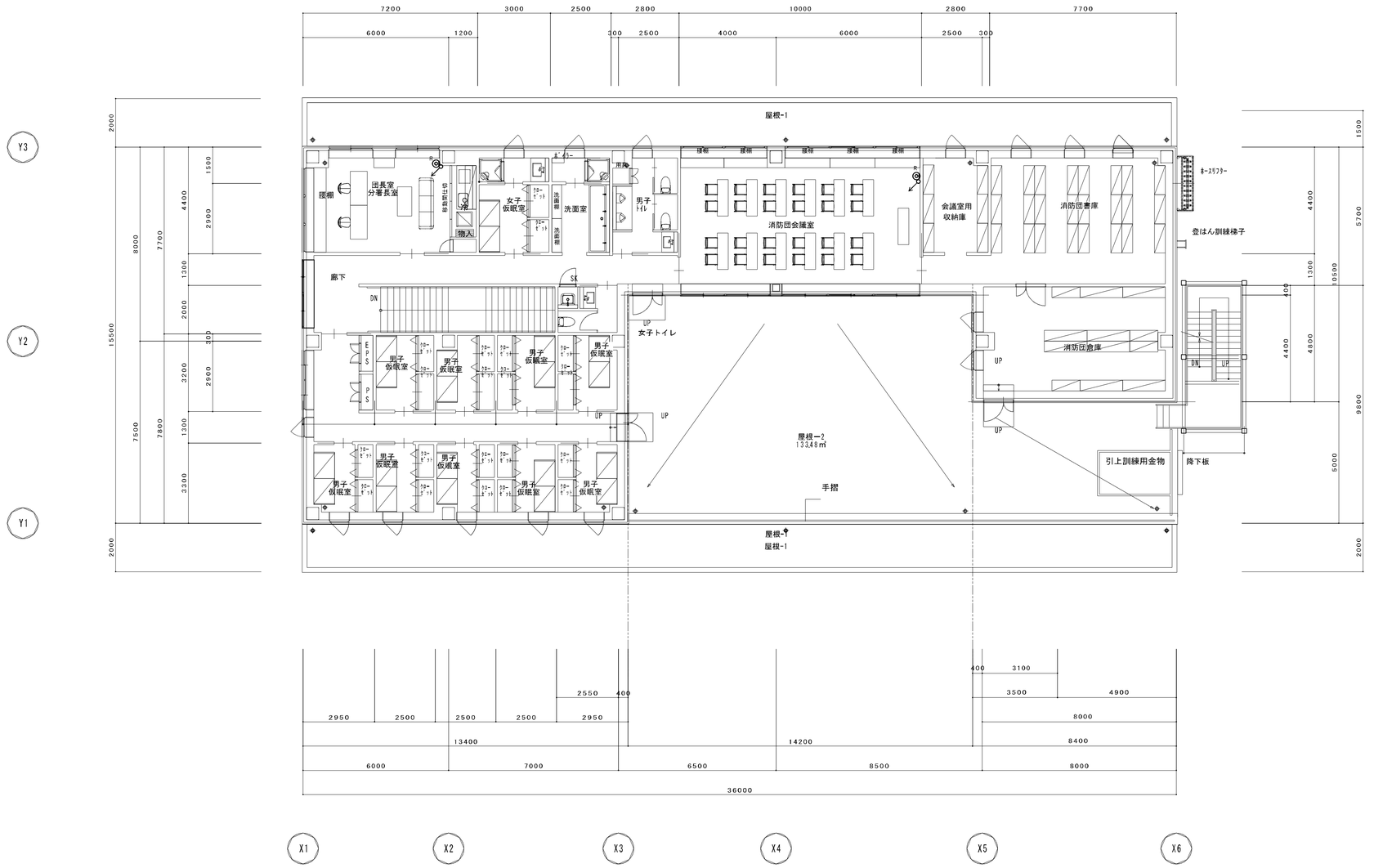
機器凡例

図記号	名　　称
1.特記無き配線配管は、下記による。	
	端子盤　(別図参照)
	直列ユニット　中継用
R	直列ユニット　末端用
3.PBnnnは　プルボックスH=n×100mm　W=n×100mm　D=n×100mmを示す	
4.プルボックスの「WP」は溶融亜鉛メッキ+防水とする。	

配管・配線凡例

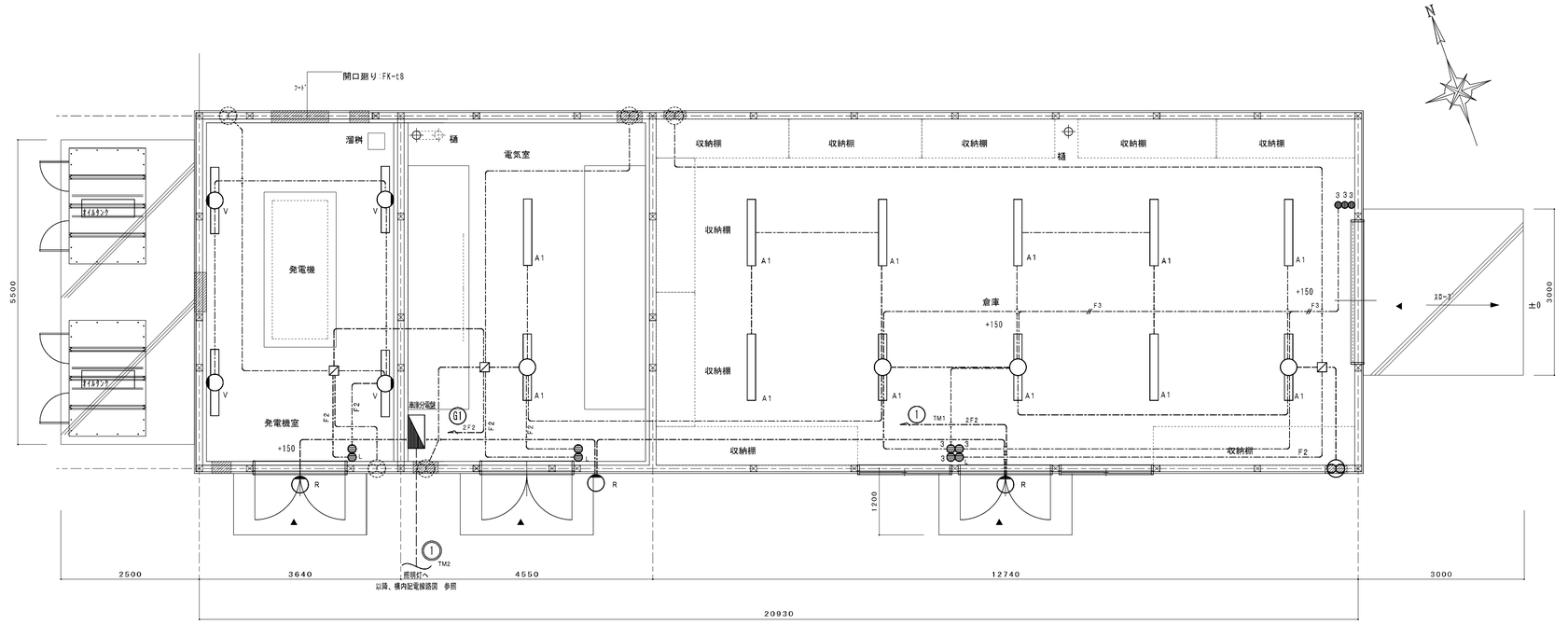
注　記	
1.　特記無き配線配管・施工方法は、下記による。	
ケーブルの立上り引下げは電線管にて保護すること。	
	保護配管
5C　EM−S−5CFB	(PF16)
7C　EM−S−7CFB	(PF22)
	(PF22)
	(PF16)
(Fn)　ねじなし電線管　(nはサイズを示す。)	
(Pfn)　合成樹脂製可とう電線管　(nはサイズを示す。)	
(Gn)　厚鋼電線管　(nはサイズを示す。)	
天井フトコロ	
露出配線	
床隠蔽配管	
露出配管	
防火区面壁及び防火上主要な間仕切壁の貫通箇所は耐火処理を施すこと。	

DRAWING	監視カメラ設備・テレビ共同受信設備　1階平面図	SCALE	N1:1/100 A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No.	E-35

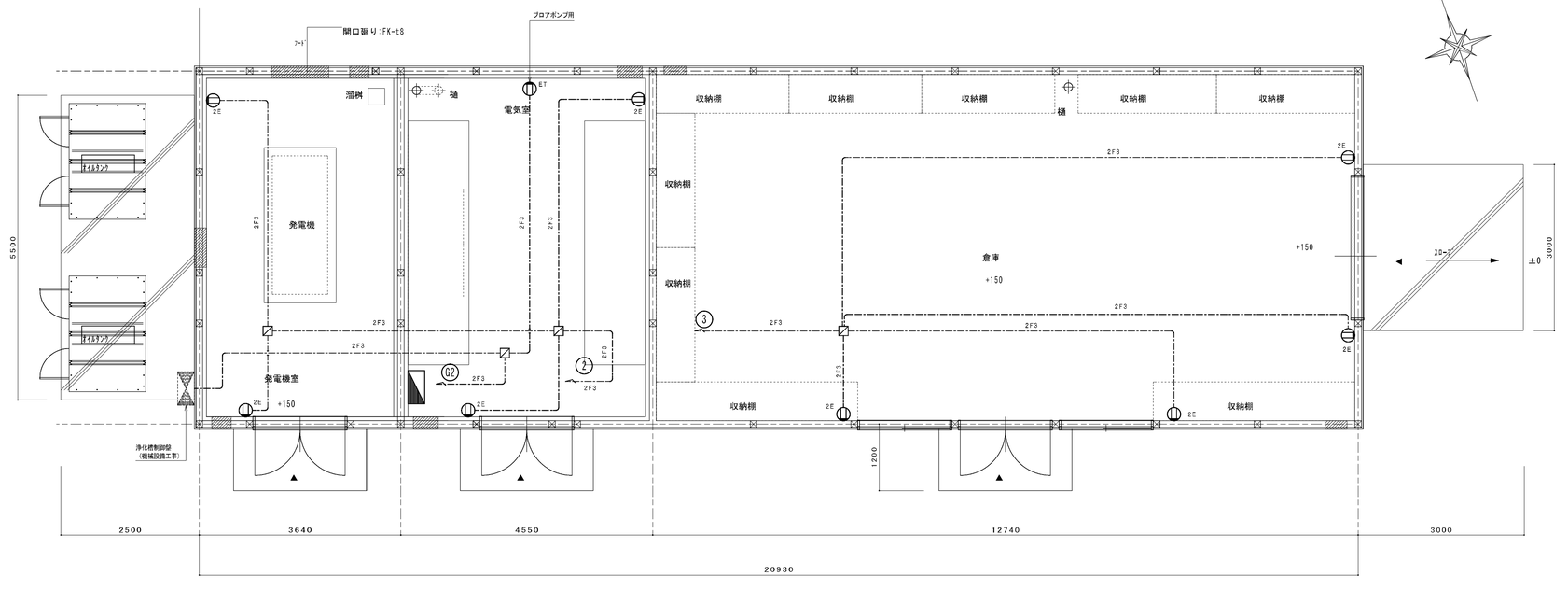


2階平面図

DRAWING 監視カメラ設備・テレビ共同受信設備　1階平面図	SCALE N1:1/100 A3 1/200	
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03	
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号 山内　剛男		DRAWING No. E-36



電灯分岐設備　平面図　S＝1/50（A1）



コンセント設備　平面図　S＝1/50（A1）

床面積　133.32㎡

※1照明器具はE－07　照明器具参考姿図による。

※2配線及び機器記号は
E－08　電灯分岐設備　1階平面図
および
E－15　コンセント設備　1階平面図
の凡例による。

DRAWING 防災倉庫棟　電灯設備　平面図	SCALE A1:1/100 A3:1/200	
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03	
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. E-37

3φ3W6，600V50Hz

PAS
7.2KV3P200A 方向性
(雷部品・VT・LA内蔵型)
(SUS製)

DGR

付属ケーブル（HIVE28）

VCT
東北電力貸与品

VCT

（HIVE22）

WH 東北電力貸与品

CH
(耐塩型・屋外)

屋外接地端子盤
SUS・WP

ET ET

E5.5° ×1（HIVE16）

E14° ×2 （HIVE22）

ELH EA ED

6KV EM−CET38sq

CH
(屋内)

高圧受電盤

接地端子

ET ET ET ET ET

E5.5sq E5.5sq E38sq E38sq

E0 E0 EAD EB

LBS 7.2KV
3P200A
ストライカ・警報接点付
（PF：40A）

CH
(屋内)

6KV EM−CET38sq

CH
(屋内)

低圧動力変圧器盤

PCS7.2KV 30A×3
PF：30A

3φ T
100KVA
6，600V／210V
モールド型
（ダイヤル温度計・防振ゴム付）

※2 LGR2 ZCT

CT
400／5A
×2

F V MDA ×2

低圧電灯変圧器盤

PCS7.2KV 20A×3
PF：30A

1φ T
30KVA
6，600V／210−105V
モールド型
（ダイヤル温度計・防振ゴム付）

※2 LGR2 ZCT

CT
300／5A
×2

F V MDA ×2

発電設備

ENG

G

100KVA

※1 EM−CET 200sq

EM−CET 200sq

非常変圧器盤

MCCB
3P100／75A

警報付

スコットTr 15KVA
P：3φ3W210V
S：1φ3W210／105V ×2

CT
100／5A
×2

F V A

CT
100／5A
×2

V A

低圧動力配電盤

コンデンサ盤

警報付

※1

EM−CET200sq	EM−CE8sq−3C	EM−CET100sq	EM−CE8sq−2C		
MCCB3P400／300A	MCCB3P50／30A	MCCB3P250／150A	MCCB3P50／20A	MCCB3P100／100A	MCCB3P100／100A
スコットTR・動力負荷	動力配電盤P−1	動力配電盤P−2	予備	予備	コンデンサ
P01	P11	P21			

SR6%
SC
16Kvar

低圧電灯配電盤

警報付

EM−CET 100sq	EM−CET60sq	EM−CE3.5sq−3C			
MCCB3P225／125A	MCCB3P225／125A	MCCB3P50／30A	MCCB3P100／100A	MCCB3P50／20A	
電灯分電盤 L−1	電灯分電盤 L−2	防災倉庫 電灯分電盤	予備	予備	
L11	L21				

非常配電盤

警報付

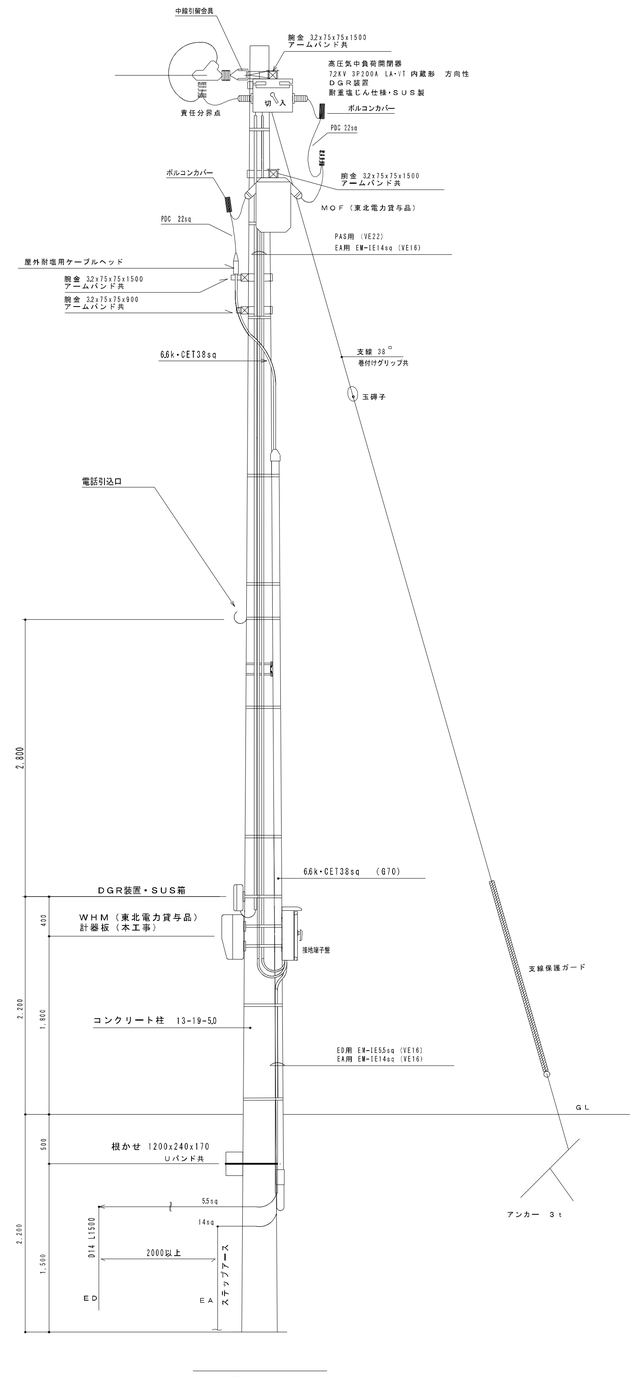
EM−CET 38sq	EM−CE8sq−3C	EM−CE3.5sq−2C			
MCCB3P100／75A	MCCB3P50／30A	MCCB3P50／30A	MCCB3P50／20A	MCCB3P50／50A	
電灯分電盤 L−1（G）	電灯分電盤 L−2（G）	防災倉庫 電灯分電盤	所内電源	予備	
L1G	L2G	L5G	G−1	G−S	

EM−CE3.5sq−3C	EM−CET60sq	EM−CE3.5−3Csq			
MCCB3P50／30A	MCCB3P100／100A	ELCB3P50／10A	MCCB3P50／50A		
動力配電盤 P−1（G）	動力配電盤 P−2（G）	発電機 給気ファン	予備		
P1G	P2G	P2G	GP−S		

故障表示項目　　下記の項目を複合型防災盤に表示する。

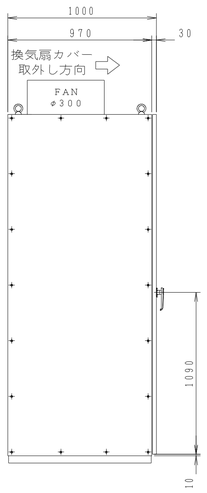
項目		配電盤 表示ランプ	配電盤 ブザー	外部端子 複合型防災盤
デマンド監視盤		○		
限流ヒューズ溶断		○		
最大需要電流計（警報接点付）	電灯変圧器	○	○	○
	動力変圧器	○		
	スコット変圧器 No1	○		
	スコット変圧器 No1	○		
漏電警報器		○		
直列リアクトル		○		
配線用遮断器トリップ（一括）		○		

注記
1.警報電源はニッケルカドミウム電池（10分容量）
　DC24V整流装置付とする。
2.表示ランプチェック回路を設ける。
3.ブザーは30分の停止回路（タイマー）を設ける。

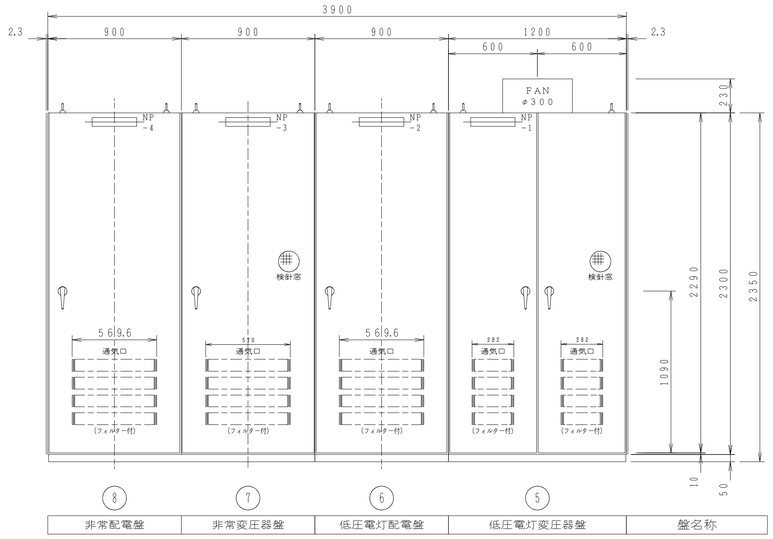


装柱参考図 S＝1／30（A1）

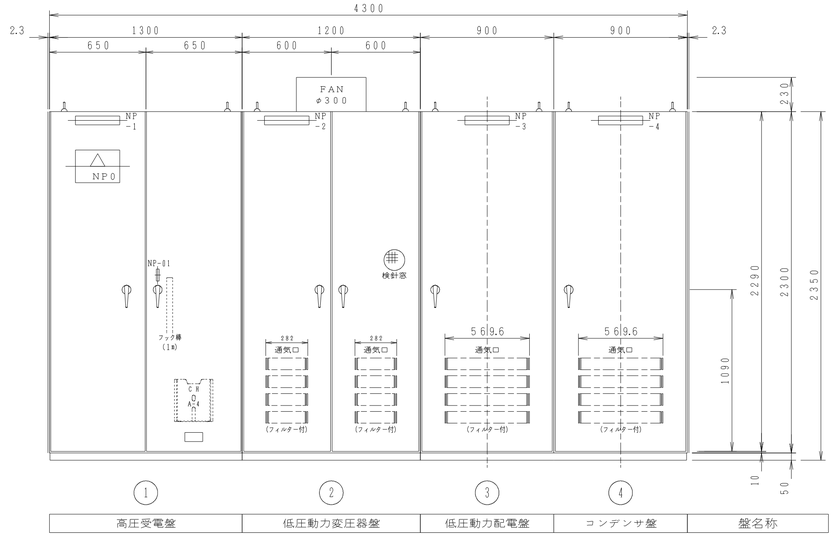
DRAWING	受変電設備 単線結線図・参考装柱図	SCALE	Non
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		DRAWING No.	E-38



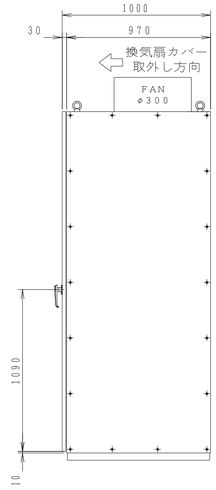
左　側　面　図



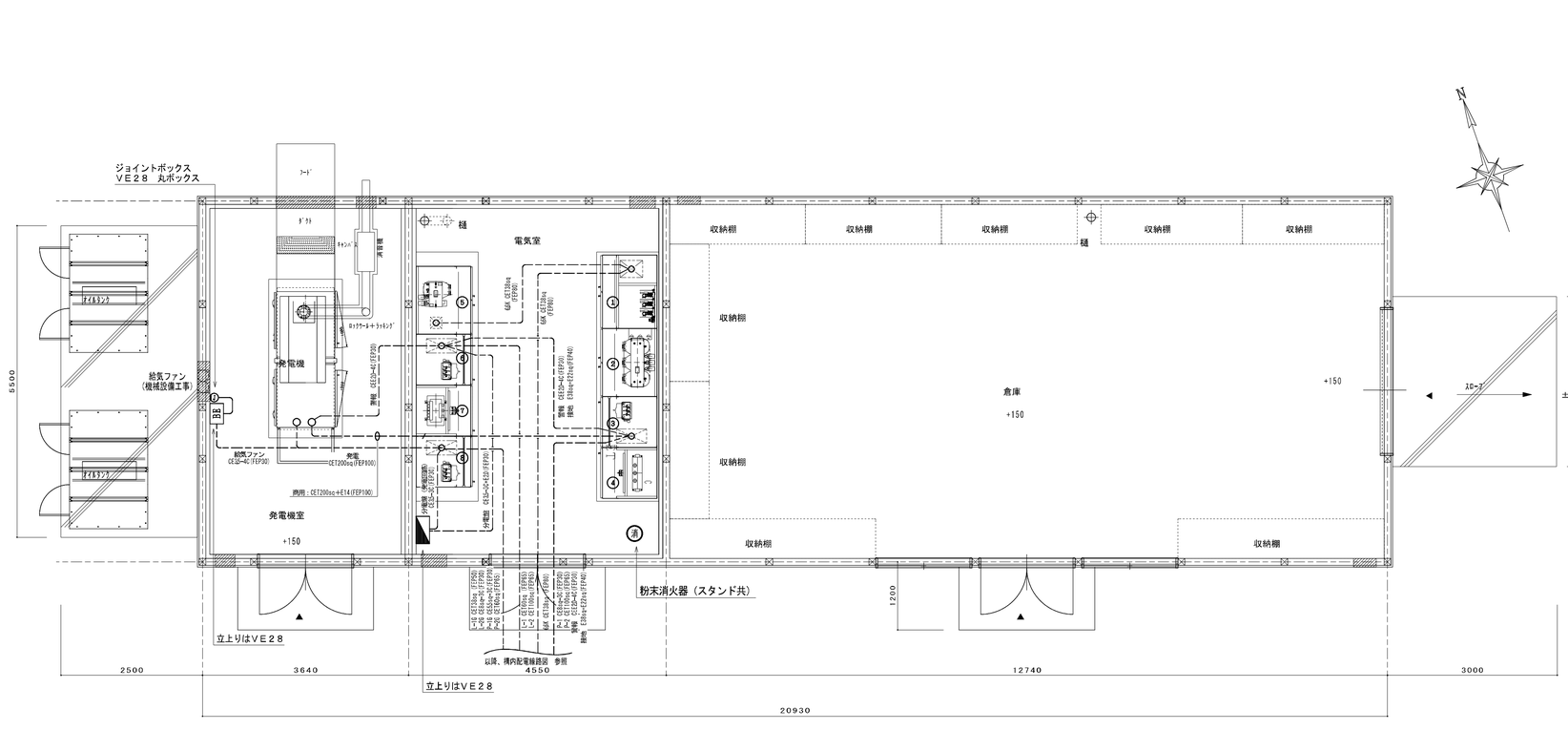
正　面　図



正　面　図



右　側　面　図


ジョイントボックス
VE28　丸ボックス
ﾌｰﾄﾞ
ﾀﾞｸﾄ
ｷｬﾝﾊﾞｽ
排気筒
ロックワールドウィンドベンド
オイルタンク
発電機
給気ファン
(機械設備工事)
給気ファン
CE325-4G(FEP30)
発電
CET200sc(FEP100)
燃料 CE15-4G(FEP20)
排気筒 CE15-4G(FEP20)
燃料 CE15-4G(FEP20)
CET200sc+E14(FEP100)
発電機室
+150
電気室
収納棚
倉庫
+150
CET50sc
(FEP50)
CET50sc
(FEP50)
CE15-4G(FEP20)
CE15-4G(FEP20)
CE15-5G+E10(FEP20)
分電盤
CE15-5G(FEP20)
分電盤
CE15-5G+E10(FEP20)
CE15-4G(FEP20)
CE15-4G(FEP20)
CE15-4G

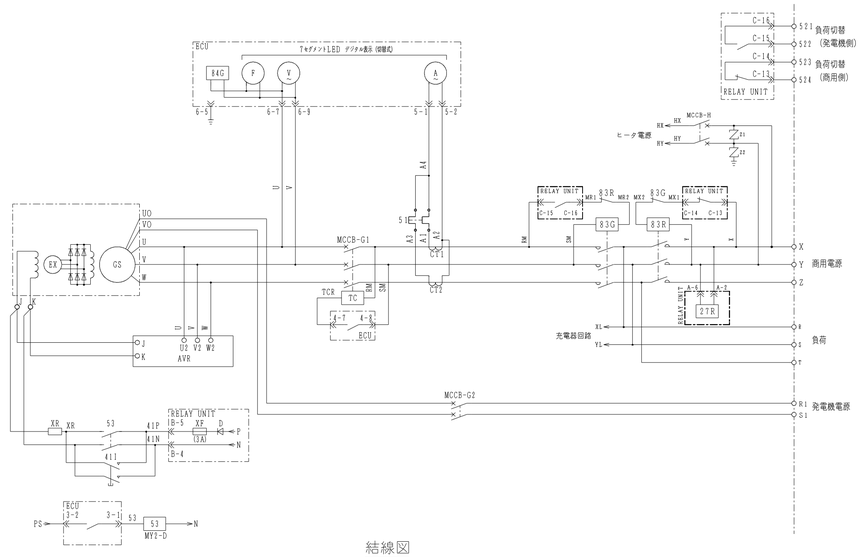
要目表

用途		防災用自家発電装置	種類		低騒音キュービクル型
認　定　（一社）日本内燃力発電設備協会		即時長時間型	騒音値　※		８５ｄＢ（Ａ）以下
使用条件	設置場所	屋内	始動時間		１０秒以内
	周囲温度	－１５～４０℃	最大荷重		約３２.７ｋＮ
	相対湿度	８５%以下	静荷重		約２２.４ｋＮ
	高度	海抜１５０ｍ以下	連続運転可能時間		７２時間
発電機	形　式	横軸回転界磁形同期発電機	エンジン	形　式	立形水冷４サイクルディーゼル機関
	容　量	１００ｋＶＡ		燃焼方式	直接噴射式
		８０ｋＷ		定格出力	９９.３ｋＷ
	電　圧	２００Ｖ		回転速度	１５００ｍｉｎ$^{-1}$
	電　流	２８９Ａ		総排気量	５.８１３Ｌ
	周波数	５０Ｈｚ		冷却方式	ラジエータ冷却
	回転速度	１５００ｍｉｎ$^{-1}$		冷却水量	２１.３Ｌ
	相　数	３相３線		始動方式	セルモータによる電気始動
	極　数	４極		使用燃料　種　類	灯油
	力　率	８０%		燃料タンク	別置
	励磁方法	ブラシレス		燃料消費量	２５.２　Ｌ／ｈ
	耐熱クラス　発電機	電機子：１５５（Ｆ）　界磁：１５５（Ｆ）		潤滑油量（全量／有効量）	２２／１４Ｌ
	耐熱クラス　励磁機	電機子：１５５（Ｆ）　界磁：１５５（Ｆ）		必要給気量	１６４.７　ｍ^{3}／ｍｉｎ
	保護方式	保護形（ＩＰ２０）		ラジエータファン排風量	１５５　　ｍ^{3}／ｍｉｎ
	冷却方式	ＩＣ０１（自由通流形）	蓄電池	種　類	制御弁式鉛蓄電池（ＲＥＨ）
	補助出力	単相１００Ｖ　６ｋＷ		容　量	ＤＣ２４Ｖ－４０Ａｈ
発電機盤		搭載型			
直流電源装置		搭載型（半導体式全自動充電）			
電源切替装置		搭載型（三相）			

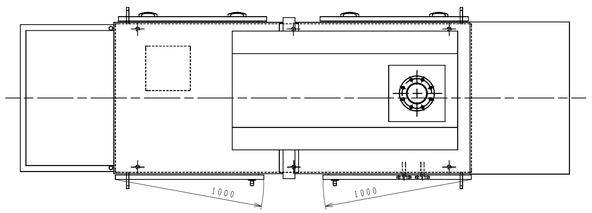
※４方向エネルギー平均
機側１ｍ、高さ１.２ｍ　半自由音場下による

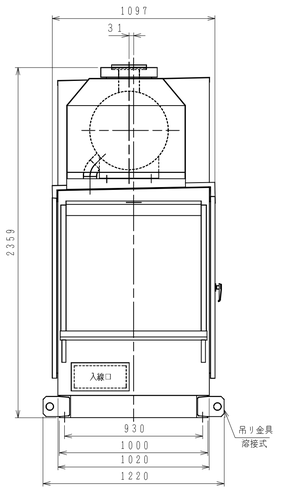
保護装置一覧表

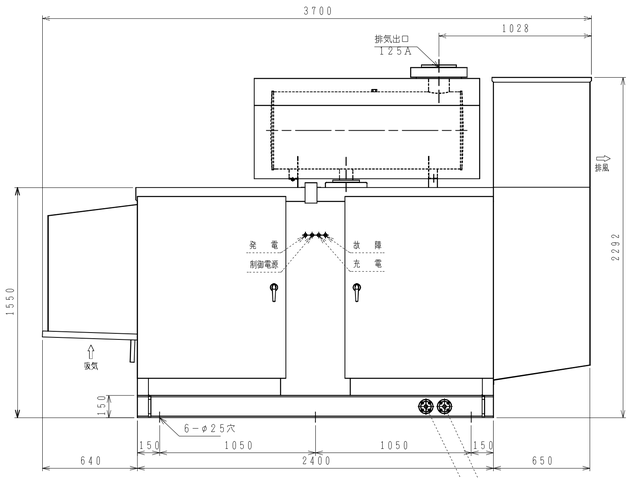
項　目	デバイス	警報表示灯	警　報	機　関 自動停止	主回路遮断	外部信号
潤滑油油圧低下	６３Ｑ	○	○	○	○	○（一括）
冷却水温度上昇	２６Ｗ	○	○	○	○	
過回転（過速度）	１２	○	○	○	○	
始　動　放　滞	４８Ｔ	○	○	○	—	
過　電　流	５１	○	○	×	○	
緊　急　停　止	５Ｅ	○	○	○	○	
最　低　油　量	３３ＱＬＬ	○	○	○	○	
燃料油油面低下	３３ＱＬ	○	○	×	×	



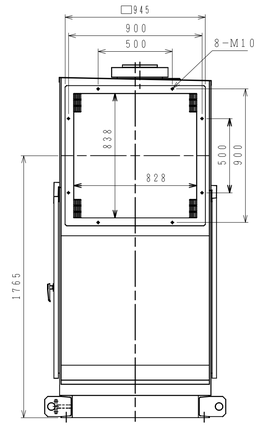
結線図

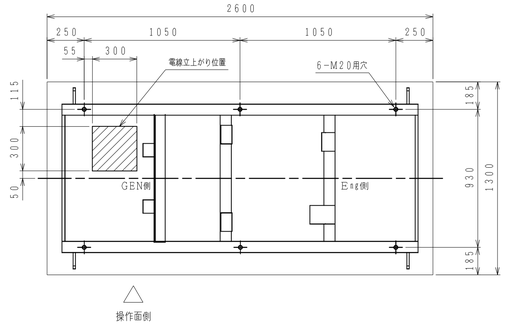




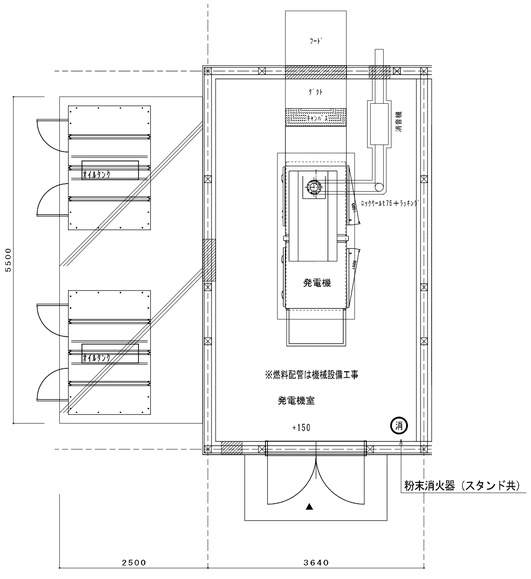


発電設備外形図（Ｓ＝１／２５）





基礎及び電線立上がり位置図（Ｓ＝１／２５）



DRAWING	発電設備　特記仕様書・機器参考姿図	SCALE	Non
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	E-40

機械設備工事　特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　　下北郡風間浦村大字易国間　地内

2．建物概要

建物名称	構造	階数 地上	階数 地下	階数 塔屋	建築基準法による延べ面積(㎡)	消防法施行令別表第１の区分	施設の分類	備考
風間浦村消防庁舎	S造	2階			935.72㎡	15項　事務所	▪	▪
防災倉庫	S造	1階			133.32㎡	14項　倉庫	▪	▪

3．工事種目（●印のついたものが対象工事）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別 屋内					屋外
●　空気調和設備	○					
●　換気設備	○					
○　排煙設備						
●　自動制御設備	○					
●　衛生器具設備	○					
●　給水設備	○					○
●　排水設備	○					○
●　給湯設備	○					
●　消火設備	○					
○　ガス設備						
●　浄化槽設備						○

4．指定部分　　○ 無　　○ 有　　指定部分工期：令和　年　月　日

対象部分（　　）

5．設備概要　（●印の付いたものを適用する。）

方式及び種別	設備概要
空気調和方式	○ダクト方式（○中央　○各階ユニット） ○ファンコイル・ダクト併用方式　●パッケージ方式
主要熱源機器	○鋼製ボイラー　○鋳鉄製易ボイラー　○小型貫流ボイラー ○簡易貫流ボイラー　○鋳鉄製ボイラー　○鋳鉄製簡易ボイラー ○温風暖房機　○温水発生機（○真空式　○無圧式） ○チリングユニット　○空気熱源ヒートポンプユニット　○吸収冷凍機 ○吸収冷温水機　○吸収冷温水機ユニット　○パッケージ形空気調和機 ○マルチパッケージ形空気調和機
換気設備	○１種換気　○２種換気　●３種換気
排煙設備	○建築基準法　○消防法
自動制御設備	○電気式　○電子式　○デジタル式
給水方式	●水道直結方式　○水道直結増圧方式 ○高置タンク方式　○受水タンク＋ポンプ直送方式
排水方式	建物内の汚水と雑排水（○分流式　●合流式） ポンプ排水　○有（○汚水　雑排水　○湧水）　○無 放流先　汚　水（○直放流下水管　●浄化槽） 雑排水（○直放流下水管　●浄化槽）
給湯設備	●局所式　○中央式
消火設備	○屋内消火栓設備　○スプリンクラー設備　○泡消火設備 ○粉末消火設備　○不活性ガス消火設備（○　　） ○連結送水管設備　○連結散水設備　○フード等用簡易自動消火装置
ガス設備	○都市ガス（種別　　、高位発熱量　　MJ/m3(N)、低位発熱量　　MJ/m3(N)、 供給圧力　　Pa、一般ガス導管事業者名：　　）　●液化石油ガス

Ⅱ 工事仕様

1．共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和４年版）」（以下，「標準仕様書」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課制定「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和４年版）」（以下，「標準図」という。）による。

2．特記仕様

●印の付いたものを適用する。

なお、特記事項の選択する事項のうち、●印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

章	項目	特記事項
一般共通事項	○ 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重の算定は次の条件による。 ○　風圧力 風速（Vo=　　m/s）、地表面粗度区分（　　） ○　積雪荷重 建設省告示第1455号における区域　別表（　　）
	● 機材の品質等	（１）本工事に使用する材料・機材等は設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 （２）別表に機材等名が記載された製造業者等は次の①から⑥すべて事項を満たす証明となる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制が整えられていること。 別　表　（品質及び性能に該当する材料・機材等）

鋼製簡易ボイラー	鋳鉄製ボイラー	鋼製小型ボイラー
鋼製ボイラー	真空式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）	無圧式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）
チリングユニット及び空気熱源	ヒートポンプユニット	吸収冷温水機
吸収冷温水機ユニット	遠心冷凍機	冷却塔
ユニット形空気調和機	ファンコイルユニット及びカセット形ファンコイルユニット	
コンパクト形空気調和機	パッケージ形空気調和機	マルチパッケージ形空気調和機
ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	エアフィルター（パネル形，折込み形）	自動巻取形エアフィルター
電気集じん器	全熱交換器（回転形，静止形）	遠心送風機（多翼形送風機）
斜流送風機	軸流送風機	消音ボックス付送風機
横形遠心ポンプ	水中モーターポンプ（汚水用，雑排水用，汚物用）	
立形遠心ポンプ	風量ユニット（定風量・変風量）	自動制御システム
衛生器具ユニット	密閉形隔膜式膨張タンク（空調用，給湯用）	
ＦＲＰ製パネルタンク	ステンレス鋼板製パネルタンク（溶接組立形）	
ステンレス鋼板製パネルタンク	（ボルト組立形）	スプリンクラー消火システム
不活性ガス消火システム	泡消火システム	ハロゲン化物消火システム
厨房システム	マンホールふた・弁桝ふた	

章	項目	特記事項
一般共通事項	● 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集（令和４年版）によるほか、監督職員の指示による。
	● 環境への配慮	（１）本工事において、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和４年２月閣議決定）」による特定調達品目の判断の基準を満たす環境物品等を選択するよう努める。 ただし、公共工事分野の特定調達品目の機材を使用する場合は、判断の基準を満たすものとする。 （２）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④までを満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	● 足場その他	※別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 足場を設ける場合は、「「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（２）手すり提置方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行う。 ○内部足場（○　　種、○　　種）　○外部足場（○　　種、○　　種）
	● 埋戻し土及び盛土	イ）管周囲の保護　※山砂の類（ただし、コンクリート管の周囲は根切り土の良質土） ロ）埋戻し土及び盛土　※根切り土の中の良質土　○山砂の類
	● 容量等の表示	（１）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。 （２）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は原則として表示された数値以下とする。
	● 電源周波数	50 Hzとする。
	● 電動機	換気扇、圧力扇及び標準仕様書に記載なく特記のないものの電動機の保護規格は製造者規格による標準品としてもよい。
	● 耐震施工	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。 ただし、重量１kN以下の一般機器について、製造者の指定する固定方法を採用する場合はこの限りではない。 （１）設計用水平地震力 機器の重量［kN］（水槽類は満水時の液体重量を含む設備機器総重量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

設計用標準水平震度

機器種別		特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階・屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・１階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは地階を除く２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、10～12階建の場合は上層３階、13階以上の場合は上層４階とする。
・中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの。
・水槽類にはオイルタンクを含む。
・重要機器は次による。
［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］
［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］
［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］
［名称：　、記号：　］［名称：　、記号：　］

（２）設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の１／２とする。

	● 総合試運転調整	各機器の個別運転調整後に次の総合調整を行い、測定報告書を提出する。 ○風量調整　○水量調整　○室内外空気の温湿度の測定 ○室内気流及びじんあいの測定　○騒音測定 ○飲料水の水質の測定：費用（○本工事　○別途） ○雑用水の水質の測定：費用（○本工事　○別途）
	● 弁等のサイズ	特記されていない弁等のサイズは機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。
	○ 建物導入部配管の変位吸収	図示の箇所に施工する。 施工方法は「標準図」建築物導入部の変位吸収配管要領（一）、（二）による。　（　○（ａ）　○（ｂ）　○（ｃ）　）
	● 絶縁継手取付箇所	図示による。
	● 支持及び固定	標準仕様書記載以外の天井吊形、カセット形、天井隠べい形の機器の支持は吊り用ボルトで行い、振れ止めを施したものとする。
	● 支持金物・固定金具	イ）ポンプ、屋外機器及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）とする。 ロ）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。 ハ）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。 ニ）冷媒管の吊り用支持受け材として保護プレートを、断熱材被覆銅管と吊り金物との間に設け、自重による断熱材の食込みを防止する。
	● 地中埋設標等	１）地中埋設標（図示の位置）　※要　○不要 ２）埋設表示テープ（排水管を除く）　※要　○不要
	○ 配管	（１）ステンレス鋼管の接合は、下記による。 ※呼び径60Su以下（※SAS322を満たした継手　○　　） （２）溶接部の非破壊検査　※不要　○要（　　）
	● 技能士の適用	●配管施工（配管工事）　○建築板金施工（ダクト製作及び取付け） ●熱絶縁施工（保温工事） ○冷凍空気調和機器施工　（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付け及び整備）
	● 他工事との工事区分	工事区分表による。
	○ 保温外装	屋内露出の保温外装は、合成樹脂製カバー２とする。
	○ 塗装	○保温を行わない居室・便所・湯沸室及び屋外の露出配管（鋼管）、ダクトには塗装を行う。 ○図示による。
	● 電線類	電線及びＥＭケーブルは標準仕様書第４編１．５．１表４．１１による。
	○ 案内板等	機器等の取扱い方法及び系統を書いた図面呼称Ａ１の図面（　枚）をプラスチックケースに入れ、監督職員の指示する場所に設置する。 屋外に設置する危険物表示版等の材質はアルミニウム製とする。

空気調和設備			外気条件 湿度(DB)	外気条件 湿度(RH)	屋内(調整目標) 一般系統 湿度(DB)	屋内(調整目標) 一般系統 湿度(RH)
	● 設計温湿度	夏季 9時	℃	%		
		夏季 12時	℃	%	28 ℃	45 %
		夏季 14時	℃	%		
		夏季 16時	℃	%		
		冬季	℃	%	19 ℃	40 %

	○ ばい煙濃度計	取付箇所は図示による。
	○ 煙突	※別途　○本工事（鋼板厚　　mm、高さ　　m以上）
	○ 鋼板製煙道	板厚は煙道径300mm以下は3.2mm、300mmを超えるものは４.5mmとする。 煙道を設置する場合、ばいじん測定口（口径100ø、タッピング）を設けること。 （煙道径400mmを超えるものには、掃除口に蝶番を取り付けること。）
	○ ダクト	※低圧ダクト（長方形ダクトは　※コーナーボルト工法 （長辺の長さが1,500mm以下の部分）　○アングルフランジ工法） ○高圧１ダクト（　適用範囲は図面による）
	○ 風量測定口	取付箇所は図示による。取付面は監督職員の指示による。
	○ ダンパー	１）防煙ダンパー　　復帰方式　遠隔式　　（定格入力はＤＣ24Ｖ、0.7Ａ以下とする。） ２）ピストンダンパー　復帰方式　遠隔式
	○ 配管材料	イ）冷温水管　　※配管用炭素鋼鋼管（白） ロ）冷却水管　　※配管用炭素鋼鋼管（白） ハ）蒸気管（給気管）　※配管用炭素鋼鋼管（黒） （還管）　※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）（Sch40） ニ）油管、油用通気管（一般）　※配管用炭素鋼鋼管（黒） （土中）　※ポリエチレン被覆鋼管 ホ）膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラー等への補給水管　※配管用炭素鋼鋼管（白） ヘ）空調用補給水管　※ステンレス鋼管（SUS304） ト）空調用排水管　※配管用炭素鋼鋼管（白） ○硬質ポリ塩化ビニル管（VP） チ）冷媒管　※断熱材被覆銅管（難燃性）
	○ 弁類	※５Ｋ 呼び径65Ａ以上の弁は、バタフライ弁とする。 ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
	○ 鋼管用伸縮管継手	○ベローズ形　○スリーブ形
	○ 温度計	円形指示計とする。
	○ 瞬間流量計	止水コック付とする。　（※　固定形　　○　着脱形） 着脱形の流量指示部（○40Ａ用　個、○100Ａ用　個、○250Ａ　個）を付属。
	○ チャンバー	イ）内貼を施すチャンバー類の表示寸法は、外形寸法を示す。 ロ）空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系統で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお、大きさは図示による。 ハ）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバーは雨水の滞留のないように施工する。
	○ 保温	イ）蒸気還り管は保温不要とする。（屋内露出は除く） ロ）建物内のエア抜き管の保温は、標準仕様書第２編３．１．４表２．３．２温水管の項による。（エア抜き弁以降の配管は除く。） ハ）屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第２編３．１．４表２．３　Ｅ２・(ハ)とし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。 ニ）還気ダクトの保温　※不要　○要（保温の厚さ25mm、範囲は図示による） ホ）外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温　※要　○不要 ヘ）排気ダクトは外壁開放部より１m程度を保温する。　（チャンバーボックスを含む） ト）冷媒管の保温外装 居室露出部　※保温化粧ケース（樹脂製） 屋外　※保温化粧ケース（樹脂製） ○保温化粧ケース（※亜鉛めっき鋼板製　○SUS製）
	○ 塗装	次の部位に使用するダクトには塗装を行う。 ○制気口ボックス内面（居室・便所の見えかかり部） ○図示による。

換気設備		
	● 準拠事項	［　空気調和設備の当該事項に準ずる。］ ○ダクト　○風量測定口　○ダンパー ○チャンバー　○塗装
	○ 開放形湯沸器用排気フード	○別途　○本工事
	○ 厨房用排気ダクト	アングルフランジ工法とする。 ○亜鉛鉄板　○ステンレス鋼板（SUS304） （板厚は衛生器具表空調１の厨房排気ダクトの板厚表による）
	○ 厨房用排気フード	イ）材質（天蓋とも）　○ステンレス鋼板（SUS304）　○ ロ）フード周囲の天蓋　（フード面から天井面まで）　○取り付ける　○取り付けない ハ）フードコック　○取り付ける　○取り付けない
	○ 多湿箇所の排気ダクト	イ）厨房系統、浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統のダクトのシールは「標準図」シールの施工例（一）、（二）のＨシール＋Ａシール＋Ｂシールとする。 ロ）水抜き管　○　要　○　不要
	● 保温	空気調和設備の当該事項による他、全熱交換器の給気ダクトの保温を行う。

排煙設備		
	○ ダクト	○亜鉛鉄板　○普通鋼板（厚1.6mm）
	○ 排煙口の形式	○パネル形　（○天井取付　○壁取付） ○スリット形（○天井取付　○壁取付） ○ダンパー形（○天井内取付　○　）
	○ 排煙口開放及び復帰方法	○電気式（遠隔操作　○要　○不要） 排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第４編１．５．１　表４．１．１１による耐熱・耐火ケーブルとする。
	○ 排煙風量測定方法	建築設備定期検査業務基準書2016年版（(一財)日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準じる。

自動制御設備		
	○ システム構成その他	別図による。
	○ 計装用配線	電線及びＥＭケーブルは標準仕様書第４編１．５．１表４．１．１１による。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。

衛生器具設備		
	○ 衛生器具ユニット	別図による。

給水設備		
	● 量水器	●親メーター　（※貸与品　○貸取り） （○現地表示式（直読式）　○遠隔表示式（○電文式　○パルス式）） ○子メーター　（○貸与品　※貸取り） （○現地表示式（直読式）　○遠隔表示式（○電文式　○パルス式））
	● 量水器桝	イ）親メーター用　●水道事業者指定品　○「標準図」量水器桝 ロ）子メーター用　○水道事業者指定品　○「標準図」量水器桝
	○ 配管材料	イ）一般配管　※ステンレス鋼管（SUS304） ○塩ビライニング鋼管（○VA　○VB） ○ポリ粉体ライニング鋼管（○PA　○PB） ロ）土間配管（厨房、浴室等のシンダー内含む） ※ステンレス鋼管（SUS316） ○ポリ粉体ライニング鋼管（○PD） ○塩ビライニング鋼管（○VD） ハ）屋外地中　※ポリエチレン二層管　○水道配水用ポリエチレン管
	● 弁類	イ）水道直結部分　※10Ｋ ロ）その他の部分　※５Ｋ ハ）呼び径65Ａ以上の弁は、バタフライ弁とする。 ステンレス鋼管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。
	● 不凍水栓柱	※化粧ケーシング（※アルミニウム合金製　○合成樹脂製）　○伸縮式
	● 給水栓	イ）屋内（○一般水栓　●耐寒水栓）　屋外（●耐寒水栓　○一般水栓） ロ）湯沸室、台所、厨房用水栓は浄水式とする。耐寒水栓はＪＷＷＡの認証品とする。
	● 埋設深さ	イ）一般敷地内（0．6m以上）　ロ）敷地内車両通行部分（○．○m以上）
	● 保温	屋外露出管（弁、フランジを含む）の保温は、標準仕様書第２編３．１．５表２．３．５ e2 ・(ハ)とし厚さは呼び径２５mm以下は５０mm、呼び径３２mm以上は４０mmとする。
	● 引込給付金等	○要　（○本工事　○別途）　●不要

排水設備		
	○ 配管材料	イ）屋内汚水配管（屋外第１桝まで）※排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ※ビニル管（RF-VP，衛生器具との接続部分に限る） ロ）屋内雑排水管（屋外第１桝まで）※排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 ○配管用炭素鋼鋼管（白） ハ）屋外汚水、雑排水管　※リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU）（車道部以外） ※硬質ポリ塩化ビニル管（VP）（車道部） ニ）通気管　※配管用炭素鋼鋼管（白） ホ）ポンプアップ排水管（汚水系）　※排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（圧送MD） （雑配水・湧水系）　※配管用炭素鋼鋼管（白）（圧送MD）
	○ 満水試験継手	図示の位置に取り付ける。
	○ 台所流し等の排水管	台所流し等の床上露出部分の配管は、ビニル管（RF-VP）でもよい。
	● 放流桝付金等	○要　（○本工事　○別途）　●不要

給湯設備		
	○ 配管材料	※ステンレス鋼管(SUS304)　○ （膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む）
	● 弁類	給水設備の当該事項による。
	○ 保温	湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。 （保温の種別は標準仕様書第２編３．１．５表２．３．５のｈ・(イ)・Ⅸとする）

消火設備		
	○ 配管材料	イ）屋内消火栓配管　一般　※配管用炭素鋼鋼管（白） 地中　※外面被覆鋼管（SGP-VS） ロ）連結送水配管　一般　※圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40） 地中　※外面被覆鋼管（STPG-370VS）
	○ 屋内消火栓種別	○１号消火栓　○易操作性１号消火栓　○２号消火栓　○広範囲型２号消火栓
	○ 屋内消火栓開閉弁	※１０Ｋ
	○ 地中埋設配管の接合	外面被覆鋼管の呼び径100Ａ以下はねじ接合とする。
	○ 保温	イ）充水タンクの保温は、標準仕様書第２編３．１．５表２．３．５　鋼板製タンクの項による。 ロ）消火配管の保温は、標準仕様書第２編３．１．５表２．３．５　給水管の項による。 ハ）屋外露出管については給水管に準ずる。
	○ 不活性ガス消火設備	別図による。
	○ 泡消火設備	別図による。

ガス設備		
	○ 配管材料	イ）一般　○ガス事業者の規定による　○配管用炭素鋼鋼管（白） ロ）地中埋設部　○ガス事業者の規定による　○ガス用ポリエチレン管 ○ポリエチレン被覆鋼管
	● 親メーター	○実測式　○パルス式　●貸与品
	○ 子メーター	○実測式　○パルス式　○買取り
	● ガスボンベ	貸与品　（○　50kg　○○本）
		イ）集合装置　○「標準図」液化石油ガス容器廻り配管要領による　○本立て
		ロ）転倒防止等　○「標準図」液化石油ガス容器転倒防止施工要領 （　○（ａ）　○（ｂ）　） ○容器固定具をＧＬ＋300に追加設置する。
	○ バルクタンク	○有　○無
	● ガス漏れ警報器	●本工事（図示の箇所に取り付ける）（○分離形　○一体形）○別途工事 外部出力端子　（○有　○無）
	○ 埋設深さ	イ）一般敷地内（○．○m以上）　ロ）敷地内車両通行部分（○．○m以上）

DRAWING	機械設備　特記仕様書−1	SCALE A1:・ A3:・
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. M-01

章	項　　目	特記事項
一般共通事項	○ 耐震措置	(1)地域係数　　○ 1.0　　○ 0.9 (2)設備機器の固定はⅡ工事仕様（一般共通事項）耐震施工による他、「建築設備耐震設計・施工指針・２０１４年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。 (3)１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものを除く）においても耐震を考慮し、据付又は取付を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。
	○ 計器類	(1)　熱源機器には、個々に地震感知器を付属とする。 (2)　圧力計、連成計、水高計及び電流計等の計器類には、正常値を示す赤指針を設ける。
	● 配管施工	(1)　呼び径50以下の鋼管のねじ加工は原則として転造ねじ加工とする。ただし、樹脂ライニング鋼管(ポリ粉体鋼管を除く)のねじ加工は切削ねじ加工とする。 (2)　排水管の90°曲管は原則として大曲管とする。
	● 土工事	(1)　配管は下記による。 埋設深さ(m)　土工事区分　埋戻し用土 構内ー般 構内車路 機械土工 人力土工 掘削土 客土 給水管 0.6 ○ ○ ○ ○ 排水管 ○ ○ ○ ○ ガス管 消火管 油管 (2)　公道部は、水道事業者、下水道事業者、ガス供給事業者及び道路管理者規定による。 (3)　設計図書に示された配管工事で掘削深さが1,500mmを超える場合は、図示による方法で土留めを行う。 (4)　土中埋設配管は、配管下100mm・配管上100mmを山砂等で埋め戻す。 (5)　残土(発生土を含む)処理 ○ 構内指示の場所に散き均し ○ 構内指示の場所に堆積 ● 構外搬出適正処理：　○本工事(約　km(搬出調書等を提出する)) ○ 別途工事
	○ 貫通部の処理	標準仕様書によるほか、冷温水管及び蒸気配管の貫通部には、鞘管を入れ隙間を断熱材等で埋める。
	● 保温	(1)　建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁(空気抜き弁を含む)までとし、仕様は標準仕様書の冷温水管の項による。 (2)　全熱交換器の外気取入れダクト、給気ダクト及び排気ダクトは全て保温する。 (3)　高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚さ：　　mm (4)　量水器桝内の保温 ○　行う　　● 行わない (5)　温水暖房のパネルヒーターへの屋内露出管 ○　施工する　　○ 施工しない (6)　蒸気管の保温 暖房する室の暖房用蒸気立て管(主管を除く)及び分枝管： ○ 施工する　　○ 施工しない (7)　床下暗渠内(ピット内を含む)の保温に使用する着色アルミガラスクロスの外装色の分類は、以下を標準とする。 外装色 消火管 白系 給水管 青系 給湯管 黒系 冷水・冷温水管 緑系 温水・蒸気管 赤系
	○ 消音内貼り	吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは図示による。
	○ 塗装	(1)　壁面取付の吹出口・吸込口チャンバーの内面(消音内貼りを施したものは除く)は、黒色系の塗装を行う。 (2)　露出金属電線管は次の部分の塗装を行う。 ○　屋外架空部　　○ 機械室　　○ 屋内ー般
	○ はつり	既存コンクリート部の床・壁の配管貫通部等の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
	● 危険物設置時の屋外表示板	● 樹脂製　　○ アルミ製
空気調和設備	○ 設計温湿度	熱源機器の水温条件 暖房用温水ボイラー 送水温度 70.0 ℃ ℃ ℃ ℃ 出入口温度差 15.0 ℃ ℃ ℃ ℃
	○ 弁類	(1)　冷温水コイル及び蒸気加熱コイル廻り(標準図施工35-39)の弁は仕切弁とする。 (2)　冷温水管の呼び径65A以上の弁はバタフライ弁とする。
	○ 緊急遮断弁	オイルサービスタンクに設置する緊急遮断弁は、停電時に閉じるものとする。
	○ 注油口及び指示ボックス	○　単独形　　○　共用形(　○　油量指示計　○　ローリーアース)
	カセット形ファン ○ コイルユニット (風量分配ダクト)	○　亜鉛鉄板 ○　自己消火性のポリスチレンフォーム製 ○
	○ 温水パネルヒーター	○　鋼板製　　○　アルミ製　　○
	● 電気パネルヒーター	(1)　ケーシングはステンレス製とする。 (2)　便所に設置する場合は、いたずら防止カバー付とする。
換気設備	● 換気扇類	換気扇類は低騒音形以上とし、有圧換気扇は保護ガード付とする。
	○ 給排気口	外壁に設置するベントキャップは、給気用に防虫網、排気用に防鳥網を取り付ける。

自動制御設備	○ 電動弁	開閉状態の遠方表示用接点を　○設ける　○設けない。
	○ 弁駆圧	○　　ＭＰａ
	○ その他	(1)　室内温湿度検出器等を2個以上併設する場合は、サーモケースを使用する。 (2)　電動機用電流計は延長目盛電流計とし、赤指針付きとする。
衛生器具設備	● 身障者用洗浄弁	○ センサー式　○ タッチスイッチ式　○ くつべら式押しボタン
	● 大便器用便座	● 暖房便座(　○　脱臭機能付　○　脱音装置付)　○ 普通便座
		● 温水洗浄便座： 加熱方式：　● 貯湯式　○ 瞬間式 付加機能：　○ 節電機能　○ 脱臭機能 ○ 温風乾燥機能　○ 脱音装置　○ リモコン 温水洗浄便座への給水は市水を接続する。
	● 注記板	● 設けない　○ 設ける(　○ 陶器製　○ 樹脂製) 対象器具は図示による。
給水設備	○ 小形給水ポンプユニット	(1)　自動交互並列運転とする。 (2)　24時間強制ローテーション機能：　○ 付加する　○ 付加しない
	○ 水槽	(1)　FRP製タンクのタンク天板(点検用蓋を含む) ○　複合板　　○ 複合板としない (2)　タンク接続用配管のフレキシブル継手は合成ゴム製とし、水槽用鋼製架台は溶融亜鉛めっき仕上げとする。 (3)　吐水配管(受水槽)の給水用緊急遮断弁 ○　設けない　　○ 設ける
	○ 壁埋込形散水栓ボックス	SUS製とし、鍵付とする。
	● その他	給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。
排水設備	● インバート桝	● 樹脂製桝(小口径桝) ○ コンクリート製桝：　○ 国土交通省仕様桝 ○ 頂部補強を施した市販重ね桝 ○ 日本下水道協会規格桝
	● ため桝	● 樹脂製桝 ○ コンクリート製桝：　○ 国土交通省仕様桝 ○ 頂部補強を施した市販重ね桝 ○ 日本下水道協会規格桝
	● 樹脂製桝	樹脂製桝(小口径桝)は、プラスチック・マスマンホール協会及び日本下水道協会規格に準ずる。
	● 雨水桝	雨排水用ため桝は、配管エルボによるトラップ桝とする。
	○ グリース阻集器	(1)　工場製作品で実用量が1.0m3以下のもの ○ ステンレス鋼板製　　○ FRP製 (2)　設置箇所は図示による。
	○ 間接排水	次のものは間接排水とする。 ○　　○
	○ 試験	(1)　排水管は満水試験を行い、衛生器具等の取付け完了後に通水試験を行う。 (2)　煙試験：　○ 行わない　　○ 行う
	○ その他	別途、工場製作の流しのトラップは別途工事とするが、接続は配管(硬質塩化ビニル管でもよい)とし、本工事とする。
給湯設備	○ 貯湯槽	ステンレス鋼板製　○ SUS304　○ SUS304L　○ SUS316　○ SUS316L ○ SUS444
	○ 貯湯式電気温水器	(1)　週間タイマー：　○ 取付ける　○ 取付けない (2)　制御盤の節電機能：　○ 組み込む　○ 組み込まない
	● 湯水混合栓	逆止弁機能：　● 有り　○ 無し ● シングルレバー式　○ サーモスタット式　○ 2バルブ式
消火設備	○ 弁類	○ ステンレス製　　○ 鋳鋼製
	○ その他	(1)　連結送水管に取付ける弁は16Kとする。 (2)　その他の弁：　○ JIS10K　○ JIS20K
厨房機器設備	○ 厨房システム	○ ドライシステム　○ ウェットシステム　○ セミドライシステム
	○ 付属制御盤	機器付属の制御盤は、製造者規格品とする。
	○ 付属品(弁類)	JISB2011:2003又はJV同等性能品　○ 5K　○ 10K
ガス設備	○ 緊急遮断弁	○ 取付けない ○ 取付ける(ガス漏れ警報機と連動して作動するものとし、系統は図示による)

○配管材料

配管種別	新設配管 凡例記号	新設配管材料	接続方法	既設配管材料(改修)
○ 蒸気往管	ー S ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(黒管)　○		
○ 蒸気還管	ー SR ー	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370(黒管Sch40)) ○		
○ 冷却水往管	ー CD ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)　○		
○ 冷却水還管	ー CDR ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)　○		
○ 冷水往管	ー C ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)　○		
○ 冷水還管	ー CR ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)　○		
● 冷媒往管	ー R ー	○ 断熱材被覆鋼管(難燃性)　○		
● 冷媒還管	ー RR ー	○ 断熱材被覆鋼管(難燃性)　○		
○ 温水往管	ー H ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)　○		
○ 温水還管	ー HR ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)　○		
○ 冷温水往管	ー CH ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)　○		
○ 冷温水還管	ー CHR ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)　○		
○ 空調用排水管	ー D ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ○ 硬質塩化ビニル管(VP)		
○ 膨張管	ー E ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)　○		
○ 空気抜き管	ー AV ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)　○		
● 油往管	ー O ー	● 外面被覆鋼管(黒管)　● 灯油用被覆鋼管		
● 油還管	ー OR ー	● 外面被覆鋼管(黒管)　○ 灯油用被覆鋼管		
○ 油通気管	ー OV ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(黒管)　○		
● 市水給水管	ー ー ー	● 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(　●　PB　●　PD) ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管　(　○　VB　○　VD) ● 水道用ポリエチレン管(　○　架橋ポリエチレン管		
○ 井水及び雑用水給水管	ー ー ー	○ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管(　○　PB　○　PD) ○ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管　(　○　VB　○　VD) ○ 水道用ポリエチレン管(　○　水道配水用ポリエチレン管		
● 給湯往管	ー | ー	○ ステンレス鋼管　　○ 耐熱鋼管		
○ 給湯還管	ー || ー	○ ステンレス鋼管　　○		
● 汚水排水管	ー (ー	● 耐火二層管 (○　天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中　　) ● 硬質塩化ビニル管(VP) (○　最下階の床下・ピット内　○　　) ○ 排水用鉛管(器具接続部) ○ 排水用塩化ビニルライニング鋼管 (○ 露出配管　○　　) ○ 硬質塩化ビニルリサイクル三層管(RF-VP) (○　最下階の床下・ピット内　○　　)		
● 雑排水管	ー	● 耐火二層管 (○　天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中　　) ● 硬質塩化ビニル管(VP) (○　最下階の床下・ピット内　○　　) ○ 排水用塩化ビニルライニング鋼管 (○ 露出配管　○　　) ○ 硬質塩化ビニルリサイクル三層管(RF-VP) (○　最下階の床下・ピット内　○　　)		
● 雨水排水管	ー RD ー	● 配管用炭素鋼鋼管(白管) ● 硬質塩化ビニル管(VP)		
● 排水通気管	ー V ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ○ 硬質塩化ビニル管(VP) ● 耐火二層管		
● 屋外排水管	ー	○ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(RS-VU) ● 硬質塩化ビニル管(　● VU　○ VP)		
○ 消火栓管	ー X ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管) ○ 消火用外面被覆鋼管(VS)		
○ 連結送水管	ー XS ー	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370(白管Sch40)) ○ 消火用外面被覆鋼管(VS)		
○ 連結散水管	ー XB ー	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370(白管Sch40)) ○ 消火用外面被覆鋼管(VS)		
○ スプリンクラー管	ー SP ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)		
○ 二酸化炭素消火管	ー CO2 ー	○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(STPG370(白管Sch40))		
○ ガス管	ー G ー	○ ポリエチレン被覆鋼管(PLS) ○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)　○ ガス用ポリエチレン管		
○ 液化石油ガス管	ー PG ー	○ ポリエチレン被覆鋼管(PLS) ○ 配管用炭素鋼鋼管(白管)　○ ガス用ポリエチレン管		
○ ブライン往管	ー B ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(黒管)　○		
○ ブライン還管	ー BR ー	○ 配管用炭素鋼鋼管(黒管)　○		

適用	名称	凡例記号	摘　　要
・	給水栓・給湯栓		寒冷地仕様
・	湯水混合栓		寒冷地仕様
・	湯　水抜栓		浸透桝付
・	仕切弁・逆止弁		※
・	伸縮継手		ＳＵＳ製　ベローズ　複式
・	フレキシブル継手		ＳＵＳ製　ベローズ
・	〃		ゴム製
・	自動空気抜弁		逆止構構付
・	掃除口		COA, THS
・	〃		CO
・	排水金物		オーバーブロー
・	インバート桝		塩ビ製小口径インバート桝
・	〃		ＳＣ型
・	ため桝		樹脂ため桝
・	〃		ＲＣ型
・	消火器		ＡＢＣー10型
・	ガス栓		ヒューズコック
・	ガスコック		ボールバルブ
・	埋設表		鉄　製
・	埋設標		樹脂製
・	給油口		埋込ボックス付
・	電気暖房機		
・	換気扇		有圧形・壁付
・	換気扇		天井埋込形
・	全熱交換器		天井埋込形・カセット
・	全熱交換器		壁掛形
・	円形風道		※　換気ダクト
・	ダンパー		・ VD－調整　・ FD－防火　・ ED－電気式 ・ MD－電動　・ CD－逆止
・	吹出口		
・	吸込口		
・	換気フード		

DRAWING	機械設備　特記仕様書-2
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事
SCALE	A1：・　A3：・
DATE	2024.03
DRAWING No.	M-02

アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男

工事区分表

（他工事との取合い等）　区分は○印を適用する　A　建築工事　E　電気設備工事　M　機械設備工事　EV　エレベーター設備工事　※複数箇所に○印があるものは、各工事を適用する

	項目	A	E	M	EV		備考
躯体関係							
RC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ	○	○	○	○		
	貫通スリーブの補強	○					
	開口部の型枠・補強	○					
	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○		
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画
S・SRC造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	鉄骨貫通鋼管スリーブ	○					
	貫通スリーブ	○	○	○	○		
	貫通スリーブの補強	○					
	開口部の型枠・補強	○					
	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○		
	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画
	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○		防火・防煙区画
設備機器の基礎	機器取り付け用アンカー・架台		○	○	○		
	基礎	○					
	太陽光発電設備基礎	○					
	太陽光発電設備架台		○				
その他	トラフ・ピット類（ふたを含む）	○					
	RC造各種ピット	○					
	同上用マンホール・タラップ	○					
	排水溝	○					
	オイルサービスタンクの防油堤	○					
	フリーアクセスフロア内の防水堤	○					
	設備室内床排水管			○			
	既設埋設配管配線調査（X線探査含む）	○	○	○			
仕上関係							
軽鉄天井・壁下地	ボード類の切り込み	○					
	下地材の切込み・補強	○					
	開口部の墨だし	○	○	○	○		
可動間仕切	切込み・補強	○					
	各種ボックス類	○	○	○			
吊りボルト及びインサート	設備機器類用		○	○			
給排気関係	外壁ガラリ	○					
	防風板	○					
	ウェザーカバー・ベントキャップ			○			
	排気フード（標準詳細図によるステンレス製）	○					
	排気フード（レンジフード等既製品）			○			
水廻り機器	流し台・吊り戸棚・水切り棚・コンロ台	○					厨房用はM
	手洗い・洗面器カウンター	○					
	鏡（既製品）			○			
	鏡（注文品）	○					
	バリアフリートイレ手すり・便器類手すり	○					
	トイレブース内小物棚	○					
	ベビーシート	○					

	項目	A	E	M	EV		備考
	ユニットバス・シャワーユニット			○			
	既製浴槽			○			
	コンクリート浴槽	○					
	浴槽排水金物			○			
	洗濯機パン			○			
事務室廻り	フリーアクセスフロアパネル切込み加工	○					
	フリーアクセスフロア給排気グリル	○					
	フリーアクセスフロアコンセント		○				
	壁・天井空調用給排気グリル			○			
その他	感知器連動防火戸のレリーズ用切込み	○					
	消火器ボックス	○					
	表面仕上が必要な全熱交換機等の表面仕上	○					ボード類、塗装のみ
	壁・天井・床点検口	○					M・E用含む
	駆動装置が電動の建具類の１次電源、１次・２次配管、及び手元電源スイッチ		○				レールヒータ用の手元スイッチを含む
	同上本体・駆動装置・検出装置（センサー）	○					
	駆動装置が電動のブラインド・排煙オペレーター等の１次配線及び１次・２次配管		○				
	同上本体・操作スイッチ及び２次配線	○					
	映像音響設備のある室で操作卓にスイッチを組み込む電動ブラインド		○				
	電動スクリーン及びボックス		○				
	電気錠及び扉～枠通電金具及び２次配線	○					
	同上用１次配線及び１次・２次配管		○				
	避雷導体の接続		○				
	笠木を棟上げ導体とした場合の笠木～笠木の接続	○					
	ルーフドレン及びたてどい	○					
	煙突の水抜き管（排水管）	○					
	地震感知器の配管配線			○			
	防煙ダンパーと連動制御器までの配管配線及び連動制御盤から煙感知器までの配管配線		○				
屋外関係							
排水・ハンドホール廻り	雨水排水設備	○					
	くつ洗いの排水金物・排水管	○					
	駐車場・車庫廻りのガソリントラップ	○					
	雑排水・汚水排水設備			○			
	ハンドホール		○				
	E・M桝で充填用マンホールふたを使用した場合の表面仕上	○					
	雨水利用設備（ルーフドレン、縦樋はA、縦樋から集水桝までM）	○		○			
オイルタンク廻り	オイルタンク本体（充填砂共）		○	○			
	オイルタンクの外郭、基礎	○					土工事含む
	同上杭及び杭頭処理	○					
ユニット型浄化槽	ピット型の躯体	○					
	上記以外のユニット型浄化槽本体・配管及び据付等（充填砂共）			○			

	項目	A	E	M	EV		備考
自家発電設備							
	自家発電装置		○				
	発電装置　基礎	○					
	トレンチ	○					
	トレンチ用　蓋	○					
	主燃料タンク（充填砂共）		○				
	主燃料タンク用　基礎、外郭工事	○					
	同上杭及び杭頭処理	○					
	燃料小出タンク		○				
	燃料小出タンク基礎	○					
	防油堤	○					
	通気管		○				
	給油ボックス		○				
	給油ボックス　基礎	○					
	屋外トレンチ	○					
	屋外トレンチ用　蓋	○					
	危険物表示板		○				
電気配管配線							
	機器附属の制御盤以降の２次側配管配線（接地線共）			○	○		
	機器附属の制御盤への１次側電源供給配管配線（接地線共）		○				
	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線（接地線共）		○				
	機器と附属操作スイッチの渡り配管配線			○	○		
	注油口内アース端子からのアース用配管配線		○	○			
	ＡＣＰ屋外機と屋内機の渡り電源・信号・アース用配管配線			○			
	ＡＣＰマルチ形屋内機の電源・アース用配管配線		○				
	機器・電極棒用の電源配管配線		○				電極棒はM
	屋内消火栓ポンプ制御盤から消火栓ポンプ始動装置への電源・信号線の配管配線		○				

	項目	A	E	M	EV		備考
エレベーター設備							
	機械室・昇降路の躯体	○					
	機械室の床開口	○					
	機械室の床配管ピット・蓋	○					
	機械室の上げ床コンクリート打設・仕上	○					
	巻上機周囲のチェッカープレート敷				○		
	昇降路内ピット防水	○					
	ピット点検タラップ				○		
	各階出入口穴あけ・同補強	○					
	三方枠取付・枠廻り埋戻し・同補強				○		
	昇降路がS造の場合の出入口扉・三方枠及び幕板の受け	○					
	昇降路の中間ビーム、ブラケット、レールブラケット支持柱、他昇降路内の鋼製部材一式				○		
	昇降路がS造の場合の中間ビーム及びブラケットの受けピース	○					
	機械室天井・昇降路内フック取付	○					
	ホール押釦・インジケータなどの壁開口	○					
	機械室内換気設備			○			
	エレベーター制御盤までの一次側動力用配管配線工事（ＡＣ３相　２００Ｖ５０ＨＺ）		○				
	エレベーター制御盤までの一次側電灯用配管配線工事（ＡＣ単相　１００Ｖ５０ＨＺ）		○				
	エレベーター制御盤までの接地用配管配線工事（Ｄ種接地）		○				
	エレベーター制御盤までの火災警報用配管配線工事		○				
	エレベーター制御盤から非常用インターホンまでの配線及びインターホン取付工事				○		
	エレベーター制御盤までの館内放送用配管配線工事		○				
	エレベーター保守遠隔監視用（電話回線）配線工事（ＭＤＦからエレベーター制御盤まで）※図示された場合				○		
	エレベーター保守遠隔監視用（電話回線）配管工事（ＭＤＦからエレベーター制御盤まで）		○				
	エレベーター制御盤からエレベーター監視盤又は警報盤までの配管配線工事				○		
	エレベーター制御盤からエレベーター内監視カメラまでの配管配線工事				○		
	緊急地震速報受信用配管工事		○				
	昇降路頂部煙感知器・熱感知器設備工事		○				
	ピット内点検用コンセント設備工事		○				
	エレベーターシャフト吊りフック（必要な場合、建築工事に支給）				○		
	レールブラケット取り付けファスナー（必要な場合、建築工事に支給）				○		
	動力計測用電力計から自動制御盤までの配管・配線工事			○			

この工事区分表は、建築工事（A）、電気設備工事（E）、機械設備工事（M）、エレベーター工事（EV）といった施工上密接に関連する各工事において、材料や作業がどの工事に含まれているかを明確にするために共通事項として添付しているものである。よって、本工事の設計図書に記載されていない、工事範囲外の項目も含んでおり、本工事の具体の工事内容を示すものではないことに留意すること。

DRAWING	機械設備　特記仕様書-3	SCALE　A1：-　A3：-
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.　M-03

特記

■ウォーターハンマーの防止措置

推定末端圧一定加圧方式により水圧及び流速も安定している。
次の1~3の箇所等に該当しない為、ウォーターハンマーの防止措置は講じないものとする。
ウォーターハンマーの発生しやすい場所、箇所

1. 管内の常用圧力が著しく高い所及び速い場所
2. 水温が高い所及び水柱分離が起こりやすい所
3. 給水ポンプの揚水管及び曲折が多い配管等

■腐食防止の措置

埋設配管は以下の腐食防止材料を使用するものとする。
給水管：ポリエチレン(PP管、継手は砲金製)
排水管：塩化ビニール管(VP.VU管、継手も同質部材)
※管と継手の隙間は防食用テープで保護のこと。

■給水管の凍結による破壊に講じた措置

埋設管は凍結震度(GL-550)以下に埋設し水抜栓の取付部他、凍結及び破壊等のおそれのある部分は保温材にて保護するものとする。

■給湯設備の転倒防止措置について

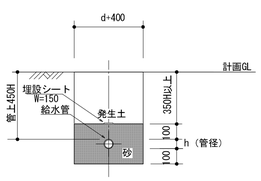
給湯設備の転倒防止措置は、国土交通省告示第1447号「建築設備構造耐力上安全な構造方法を定める件の一部を改正する件」に対するものとする。

※外部排水管勾配は市基準とする。

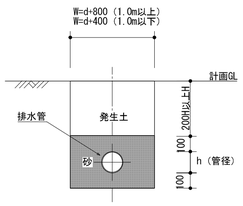
排水桝リスト

記　号	種　　別	寸　法　・　形　状	深さ	蓋	備　　考
1	小口径塩ビ汚水桝	100-150　90 L	-450	T 2 5	台座付き　鎖SUS
2	〃	〃　90 L	-560	〃	〃
3	〃	〃　90 Y	-626	〃	〃
4	〃	〃　90 Y	-651	〃	〃
5	〃	〃　90 Y	-685	〃	〃
6	〃	〃　90 Y	-708	〃	〃
7	〃	〃　90 Y	-780	〃	〃
8	〃	〃　90 Y	-788	〃	〃
9	〃	〃　ST	-904	〃	〃
10	〃	〃　90 L	-450	〃	〃
11	〃	〃　90 Y	-510	〃	〃
12	〃	〃　ST	-630	〃	〃
13	〃	〃　90 L	-754	〃	〃
14	〃	〃　90 Y	-780	〃	〃
15	〃	〃　ST	-880	〃	〃
16	〃	150-200　90 Y	-1038	〃	〃
17	〃	〃　90 L	-1169	〃	〃
18	〃	〃　90 L	-1264	〃	〃
19	〃	〃　90 L	-1350	〃	〃
A	小口径塩ビ雨水桝	100-200　ST	-400	T 2 5	台座付き　鎖SUS　バケット付
B	〃	150-200　90 L	-400	〃	〃
C	〃	〃　90 Y	-411	〃	〃
D	〃	〃　90 Y	-528	〃	〃
E	〃	〃　90 Y	-540	〃	〃
F	〃	〃　90 Y	-578	〃	〃
G	〃	〃　90 Y	-596	〃	〃
H	〃	200-200　90 Y	-667	〃	〃
I	〃	〃　90 Y	-745	〃	〃
J	〃	〃　90 Y	-754	〃	〃
K	〃	〃　ST	-894	〃	〃
L	〃	100-200　ST	-400	T	鎖SUS　バケット付

※掘削深さH=1.5m以上の部分は土留工事を行うこと

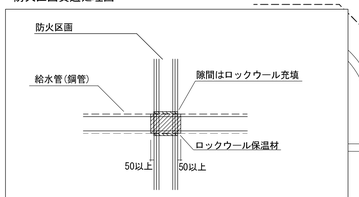


給水管断面図　S=FREE



排水管断面図　S=FREE

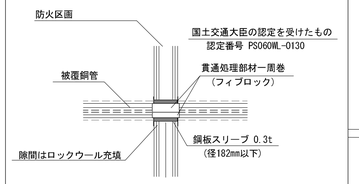
-防火区画貫通処理図-



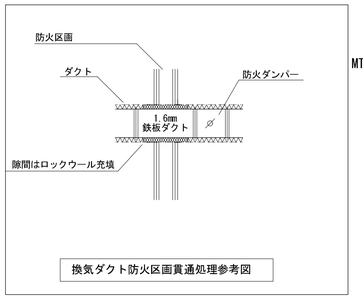
＊給水管（鋼管）・給湯管（鋼管）・スプリンクラー管（鋼管）
汚水・排水管及びドレン管（耐火二層管）を貫通している部分

令129条の2の4.1項.七号

鋼管類共通　防火区画貫通処理参考図



冷媒配管防火区画貫通処理参考図



換気ダクト防火区画貫通処理参考図

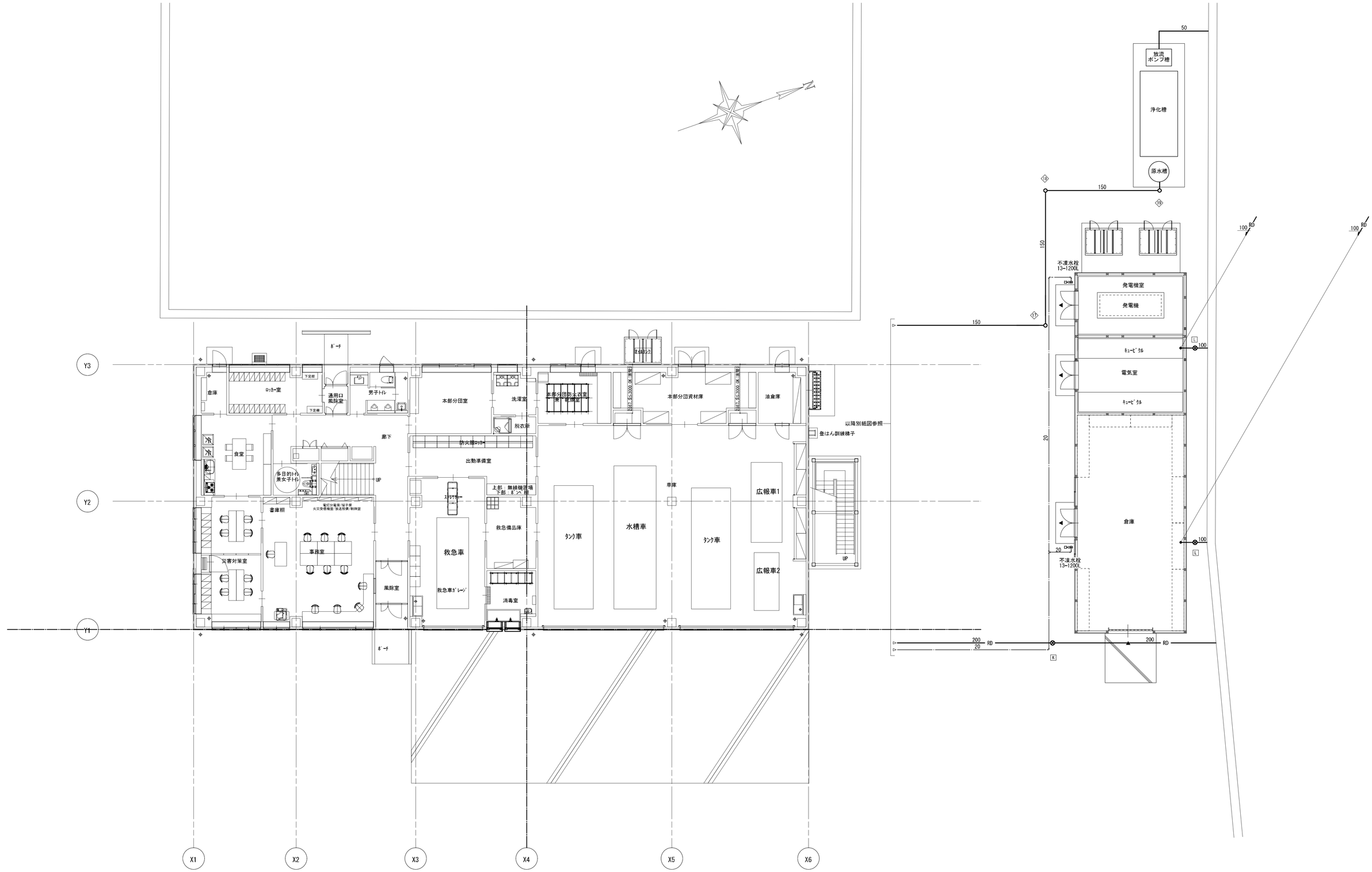


DRAWING	機械設備　配置図・桝リスト	SCALE	A1:1/200　A3:1/400
PROJECT	風間浦村消防庁舎建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. M-04

衛生器具・機器表

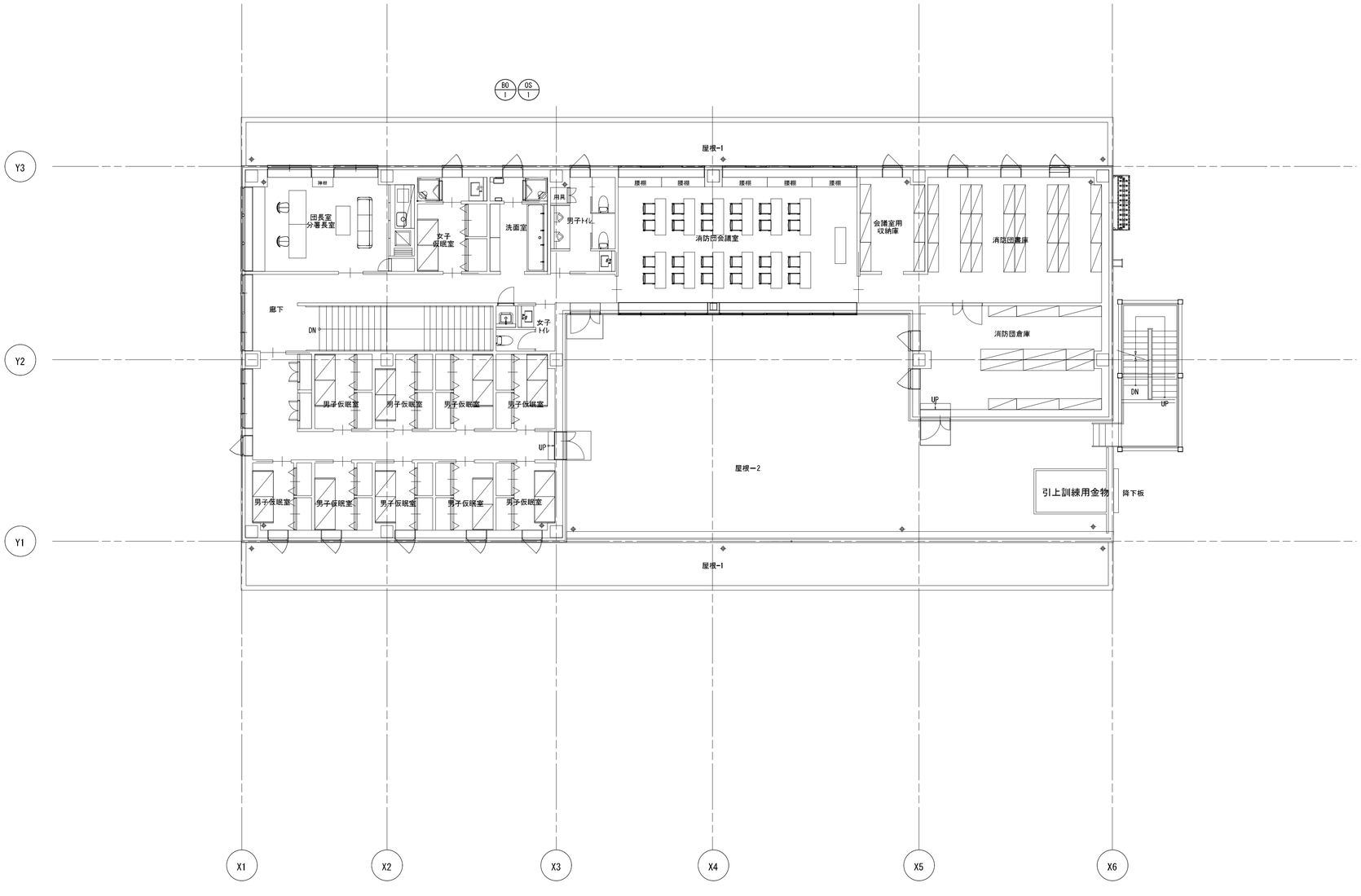
名　称	仕　様	参考品番 （各器具は取付金具等を含むセット型番とする）	1階									2階							屋外		靴洗場	合計	備考
			多目的トイレ	食堂	男子トイレ	洗濯室	ユニットバス	救急車ガレージ	消毒室	車庫		女子トイレ	男子トイレ	ユニットバス	女子仮眠室	洗面室			靴洗場				
腰掛式便器	便器　ﾀﾝｸ等金具一式　洗浄便座　棚付2連紙巻器　他一式	BC-P110SA,DO-PA150CH,CW-PA21QE-NE,CF-AA64,CF-O2O-SET			1							1	2									4	
ｵｽﾄﾒｲﾄ対応ﾄｲﾚﾊﾟｯｸ	便器　汚物流し　ﾀｯﾁｽｲｯﾁ式ﾘﾓｺﾝ洗浄ﾕﾆｯﾄ	PTWC-HC104R1A1AWNW,CW-PC12-CK-UR-TU	1																			1	
	各種手すり　ﾜﾝﾀｯﾁ紙巻器　前板　側板　甲板　幅木　設置フレーム																						
壁掛ストール小便器	小便器　自動ﾌﾗｯｼｭ弁	U-A51AP			2																	2	
カウンター付手洗器	カウンター手洗器（W=）　立水栓　排水金具	MB-501KAWS,AM-300CV1,LF-105SAL-H			1							1	1		1							4	
掃除用流し	横水栓　床排水金具他一式	S-202A,LF-7E-19-U,SF-20SAF-P			1												1					2	
多目的流し	水栓　排水金具他一式	S-5,SF-WL435SYN(170),SF-3PA							1													1	
ハンドドライヤー	壁掛型　ヒーター無	KS-570A			1								1									2	
〃	壁掛型　ヒーター無	KS-580A	1									1										2	
洗濯機パン	50A	PF-6464AC,TP-51				2																2	
化粧鏡	450×1000H	KF-4510A	1																			1	
〃	（建築工事）																						
シャワーユニット	（建築工事）																						
混合水栓	シングルレバー式 13A	SF-WL435SYN														4						4	
〃	タッチレス式 13A	SF-NAB451SYXN		1																		1	
〃	ホース引出式 13A	SF-HE452SYXN							2													2	
洗濯機用混合水栓	ツーハンドル式 13A	SF-WL63KQAN				2																2	
横水栓	13A	LF-7KE-13-U						1		1												2	
〃	13A	LF-7R-13-U																	1		2	3	
石油給湯器　BO-1	水道直結　壁掛型　強制給排気式　46.5KW　　1φ100V-14OW			1		1			1							1							4	
オイルリフター　OS-1	1φ100V-14OW										2					1							3	
キッチン	（建築工事）																						
ミニキッチン	（建築工事）																						

DRAWING	衛生設備　衛生器具・機器表	SCALE	A1：・　A3：・
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	M-05



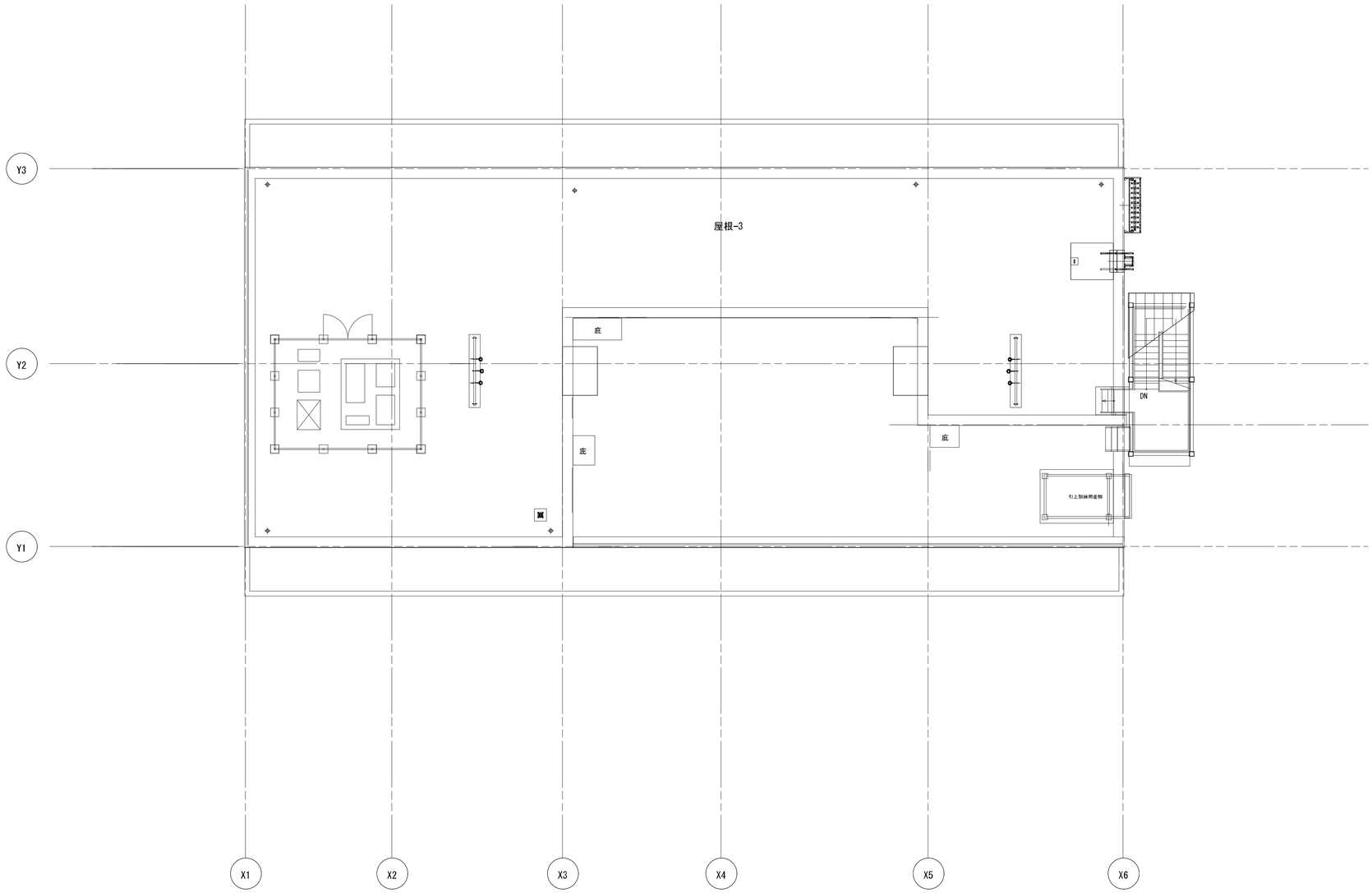
1階平面図

DRAWING	衛生設備　1階平面図	SCALE	A1:1/100　A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. M-06



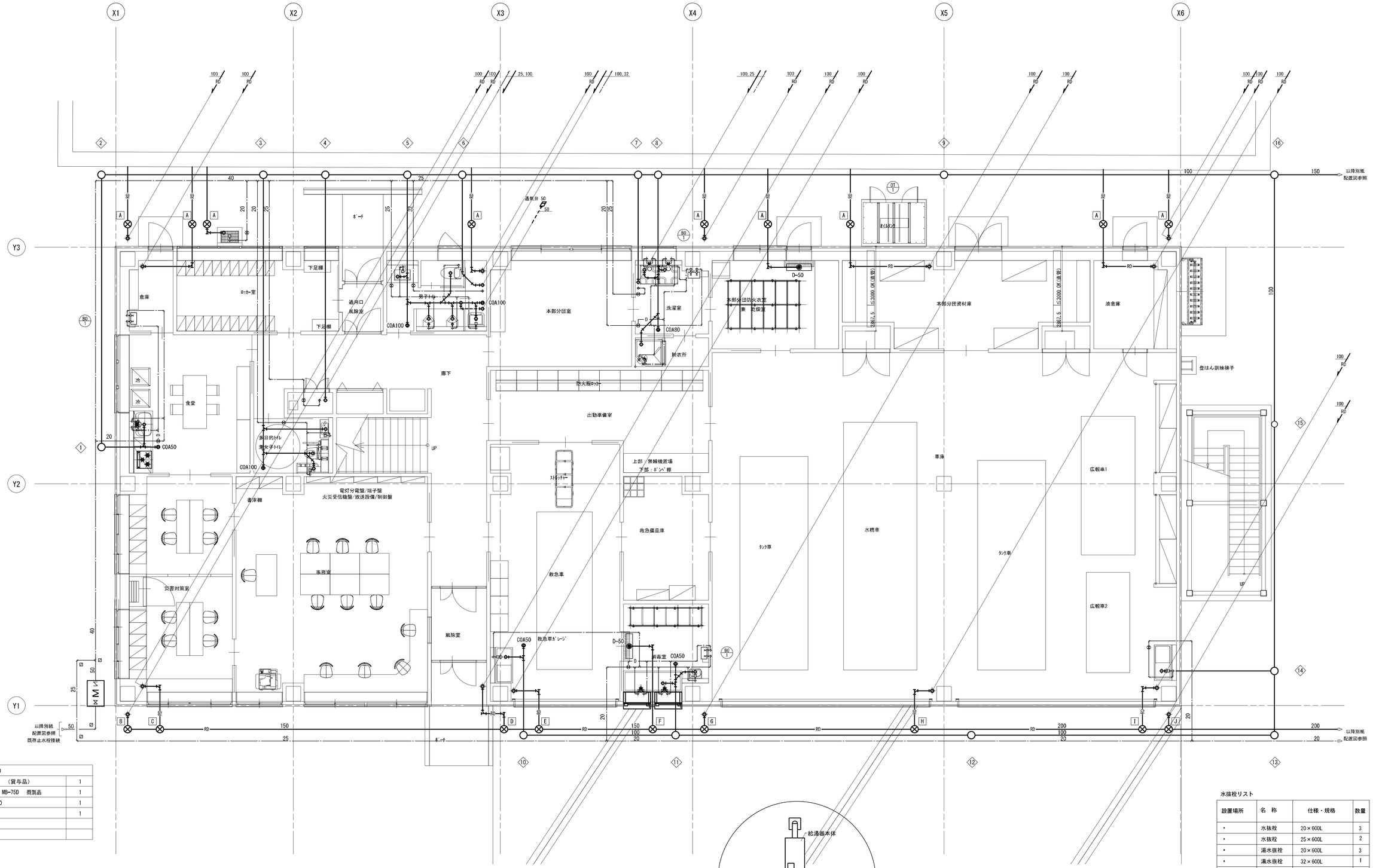
2階平面図

DRAWING	衛生設備　2階平面図	SCALE	A1 1/100 A3 1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. M-07

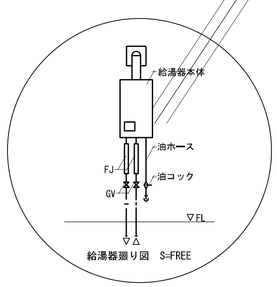


屋根伏図

DRAWING	衛生設備　ＲＦ階平面図	SCALE	A1:1/100　A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. M-08



量水器廻り	
量水器-50　（貸与品）	1
量水器桝　MB-75D　既製品	1
止水弁　50	1
CV　50	1



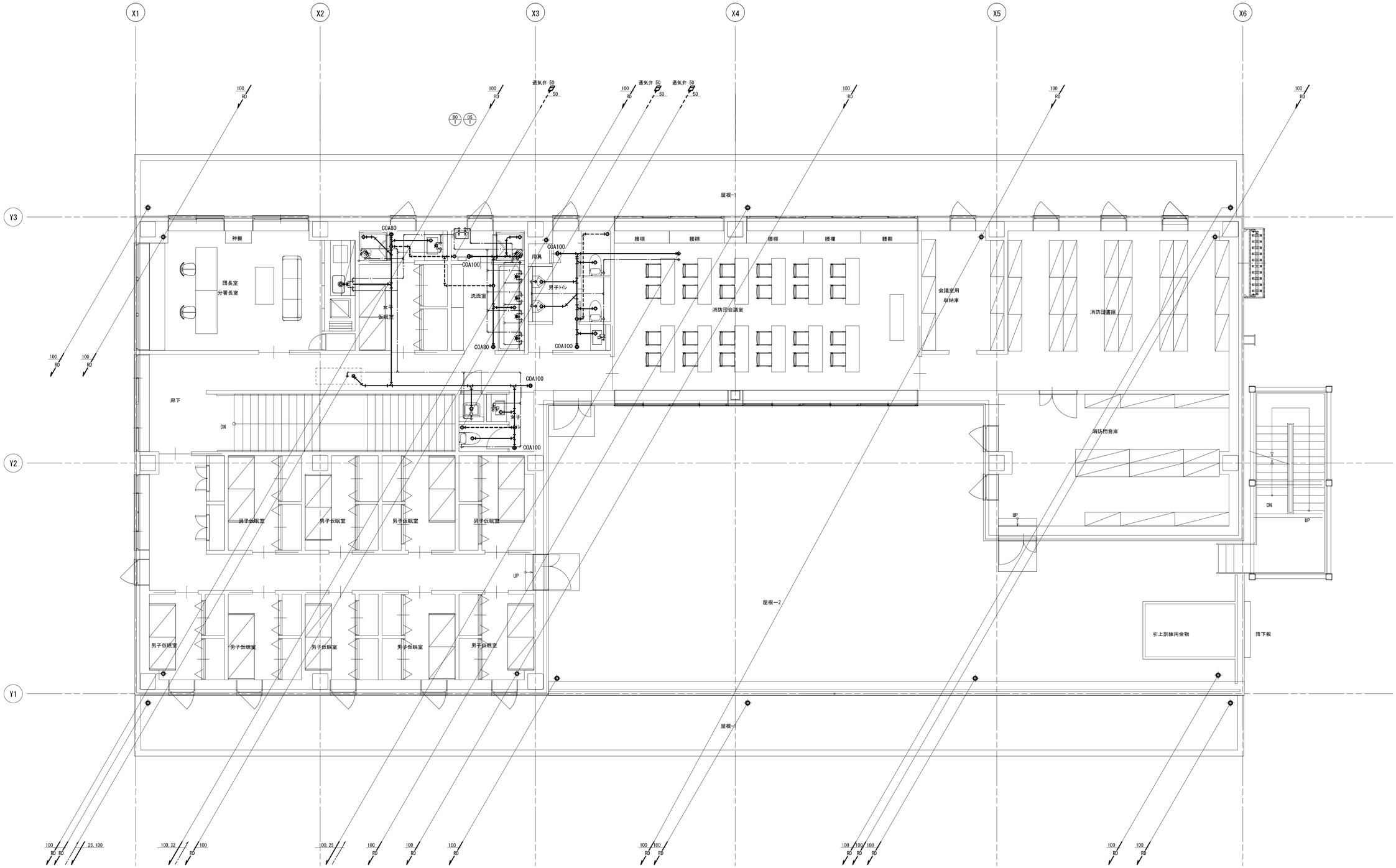
給湯器廻り図　S=FREE

給湯器(BO-1)廻り	
GV（コア付）　20　給水用	1
GV（コア付）　20　給湯用	1
フレキシブルジョイント　20	1×2
油コック　15	1
油用ゴムホース	1

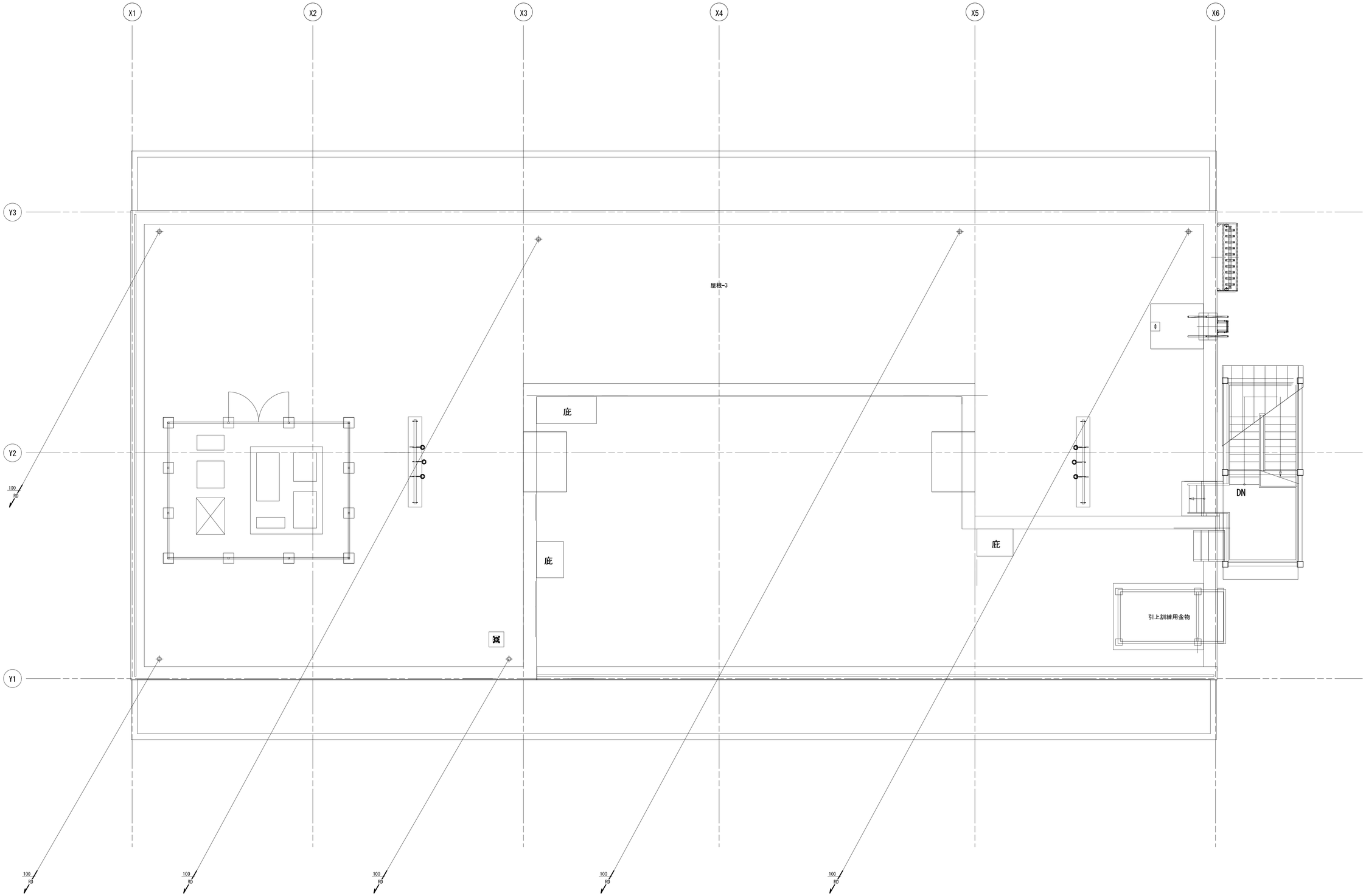
水抜栓リスト

設置場所	名　称	仕様・規格	数量
・	水抜栓	20×600L	3
・	水抜栓	25×600L	2
・	湯水抜栓	20×600L	3
・	湯水抜栓	32×600L	1
・			

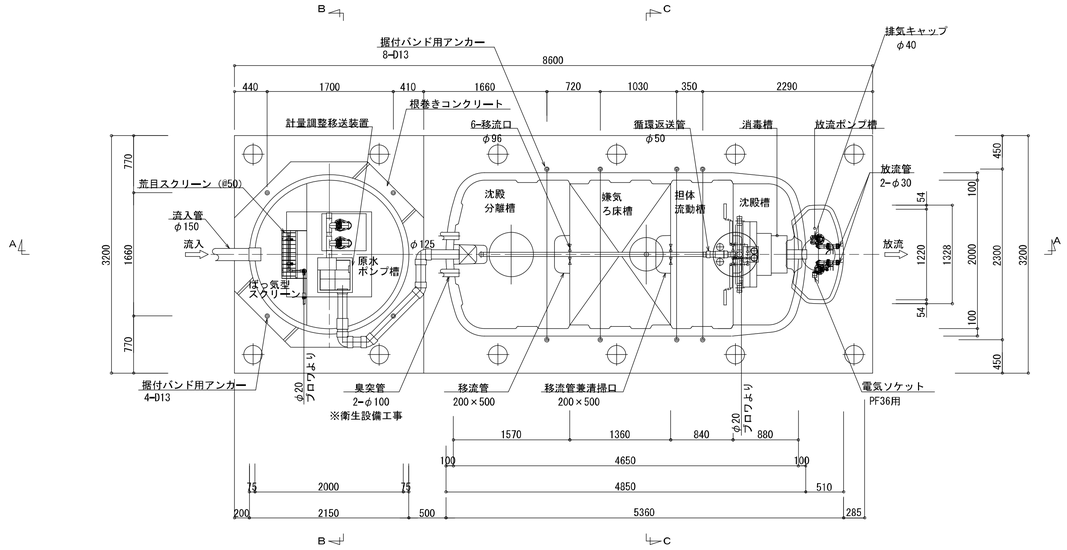
DRAWING	衛生設備　1階平面詳細図	SCALE	A1:1/60　A3:1/120
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	M-09



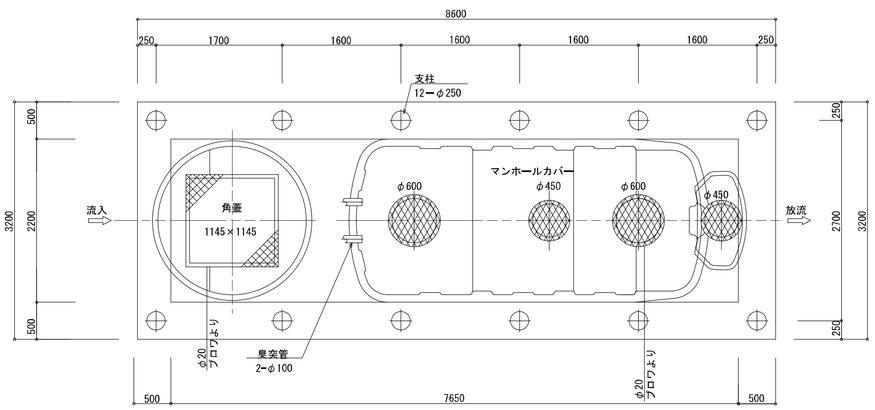
DRAWING	衛生設備　２階平面詳細図	SCALE	A1 1/60 A3 1/120
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛秀			DRAWING No. M-10



DRAWING	衛生設備　ＲＦ階平面詳細図	SCALE	A1:1/100　A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	M-11

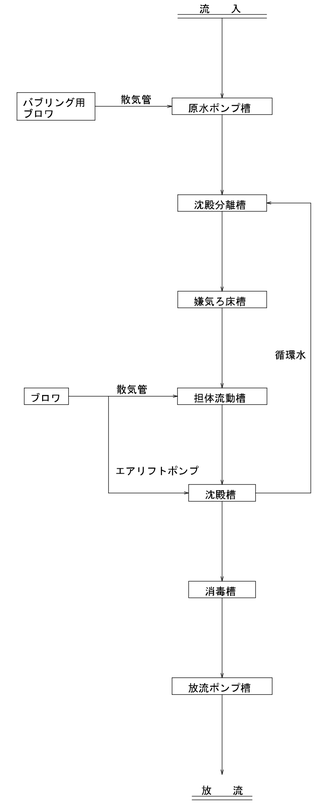


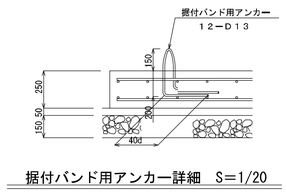
平　面　図　S=1/40



スラブ平面図　S=1/40

フローシート





据付バンド用アンカー詳細　S=1/20

建築基準法第６８条の２６第１項の規定に基づき、同法施行令第３５条第１項の大臣認定による分離嫌気ろ床担体流動方式		
型式認定	番号	２－２３－Ｈ－００１－４
	年月日	令和５年１０月２０日
型式適合認定	番号	型０１ＣａｄＯａ０３５４７９９
	年月日	令和５年７月１３日
型　式		カヤエース　ＫＡＭ－３５ＣⅣ型
処理対象人員		３５人
日平均汚水量		７ｍ３／日
流入水質		ＢＯＤ２００ｍｇ／Ｌ　ＣＯＤ１００ｍｇ／Ｌ　ＳＳ１８０ｍｇ／Ｌ　Ｔ－Ｎ４５ｍｇ／Ｌ
放流水質		ＢＯＤ　２０ｍｇ／Ｌ　ＣＯＤ　３０ｍｇ／Ｌ　ＳＳ　２０ｍｇ／Ｌ　Ｔ－Ｎ２０ｍｇ／Ｌ

容　量　表

項　目	設計容量
ばっ気型スクリーン	１．１０５　m3
原水ポンプ槽	１．４０４　m3
原水ポンプ槽総容量	２．５０９　m3
沈殿分離槽	４．６０５　m3
嫌気ろ床槽	３．９８９　m3
担体流動槽	２．７０２　m3
沈殿槽	１．８３０　m3
消毒槽	０．１０４　m3
総容量	１３．２３０　m3
放流ポンプ槽	０．０７４　m3

機器仕様表　（単相・１００Ｖ）

機器名	口　径	入　力（５０Ｈｚ）	吐出量（５０Ｈｚ）	台　数
ブロワ用ブロワ	φ２０	０．２０　ｋｗ	０．１２　m3／ｍｉｎ	１台
ブロワ	φ２０	０．２０　ｋｗ	０．２０　m3／ｍｉｎ	１台
原水ポンプ	４０Ａ	０．２５　ｋｗ	０．２０　m3／ｍｉｎ	２台
放流ポンプ	３２Ａ	０．１３　ｋｗ	０．０８　m3／ｍｉｎ	２台

放流ポンプ槽排気管について

下記の処理を怠ると、浄化槽内で発生する塩素ガス等が浄化槽内および電線管の接続先付近に設置している機器類を腐食させて、機器の破損、故障を生ずる恐れがあります。

注１）放流ポンプ槽の排気管は必ず接続して下さい。

注２）排気管の放出先は、側溝の最大水位より上に設置して下さい。設置位置の目安は側溝の最大水位より100mm以上、上部とします。

注３）排気管は途中で水たまりが出来ないように、適切な勾配で配管して下さい。Ｖ字配管で、配管内が水たまりで水封されると排気管の設置効果がなくなります。

注４）電線管の両端は、シリコンまたはパテ等でコーキング処理を必ず行って下さい。

※管理用水栓は１０ｍ以内に設置すること（浄化槽工事範囲外）

※浄化槽本体全高にはかさ上げ２００Ｈ含む

※臭突管は別途工事とする

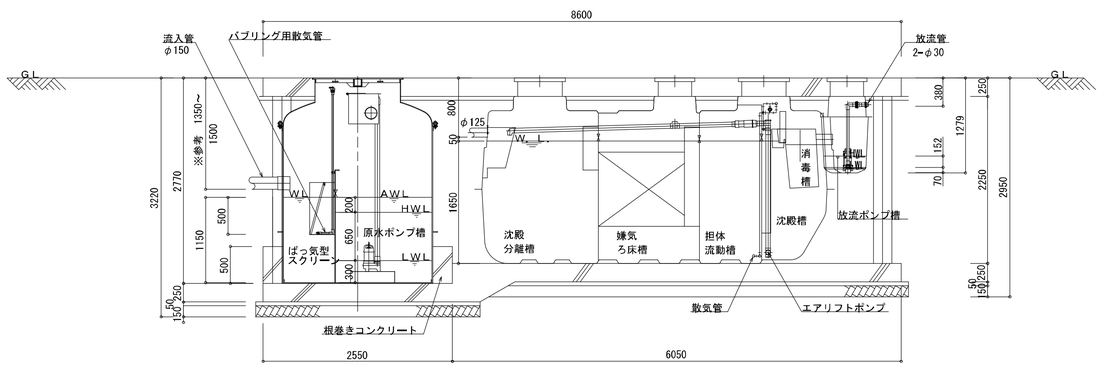
上蓋仕様表

名称	寸法	数量	材質	安全荷重	備考
マンホールカバー	φ４５０	２	鋳鉄	15.0ｋＮ	ボルト締め
	φ６００	２			
角　蓋	１１４５×１１４５	１			

使用材料共通事項

材料名称	強度　または　種類
鉄筋コンクリート	Ｆｃ：　21　Ｎ／mm2
均しコンクリート	Ｆｃ：　18　Ｎ／mm2
鉄　　筋	ＳＤ２９５Ａ

DRAWING	浄化槽設備　-1	SCALE	A1・A3・
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	M-12



Ａ－Ａ　断　面　図　S=1/40

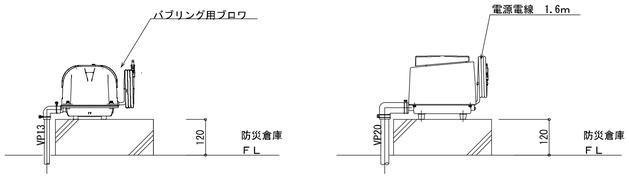
配筋仕様表			
名　称	記　号	寸法　mm	配　筋　仕　様
スラブ		厚250	主筋　D13　@150　ダブル 配力筋　D13　@150　ダブル
底　版		厚250	主筋　D13　@150　ダブル 配力筋　D13　@150　ダブル
支　柱		φ250	主筋　4-D13 フープ　D10　@100
梁		D　250 b　500	主筋　4-D16

開口部補強筋

タテ筋　１－Ｄ１３（上・下筋共）
ヨコ筋　１－Ｄ１３（上・下筋共）
ナナメ筋　１－Ｄ１０（上・下筋共）

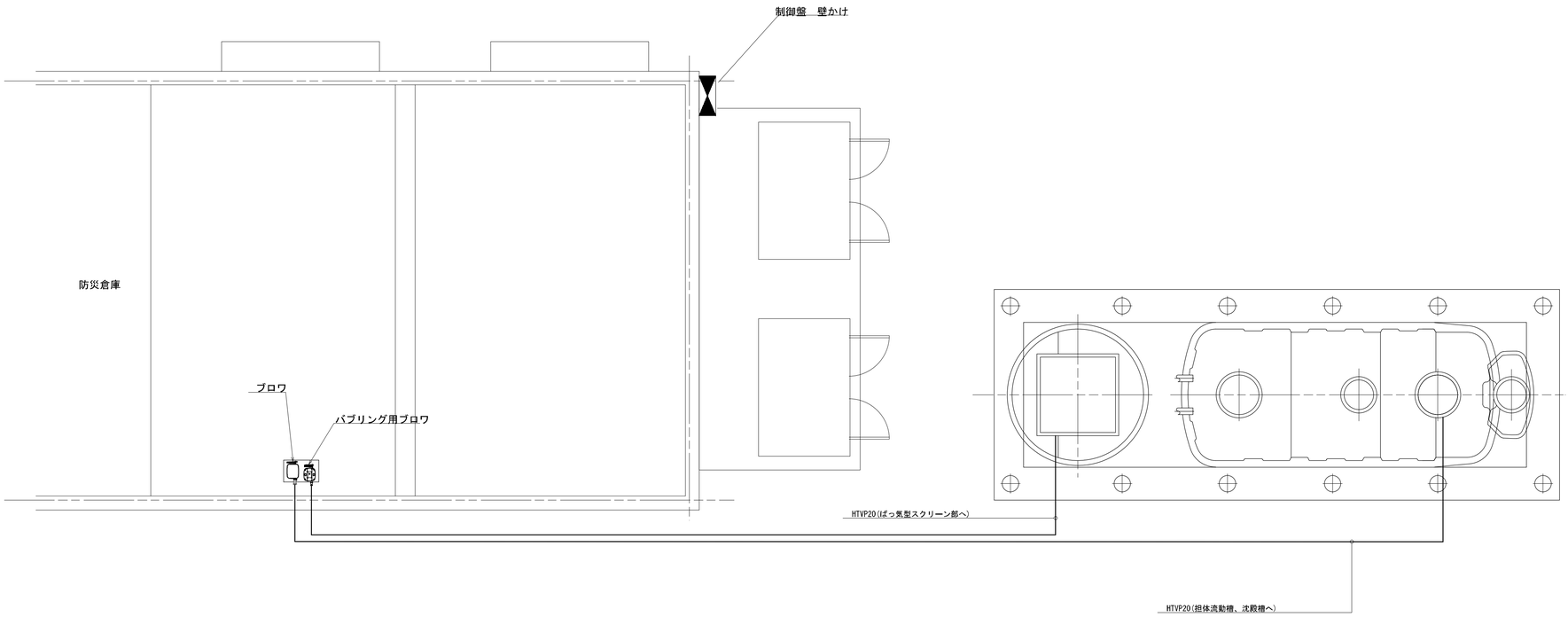
Ｂ－Ｂ　断　面　図　S=1/40

Ｃ－Ｃ　断　面　図　S=1/40



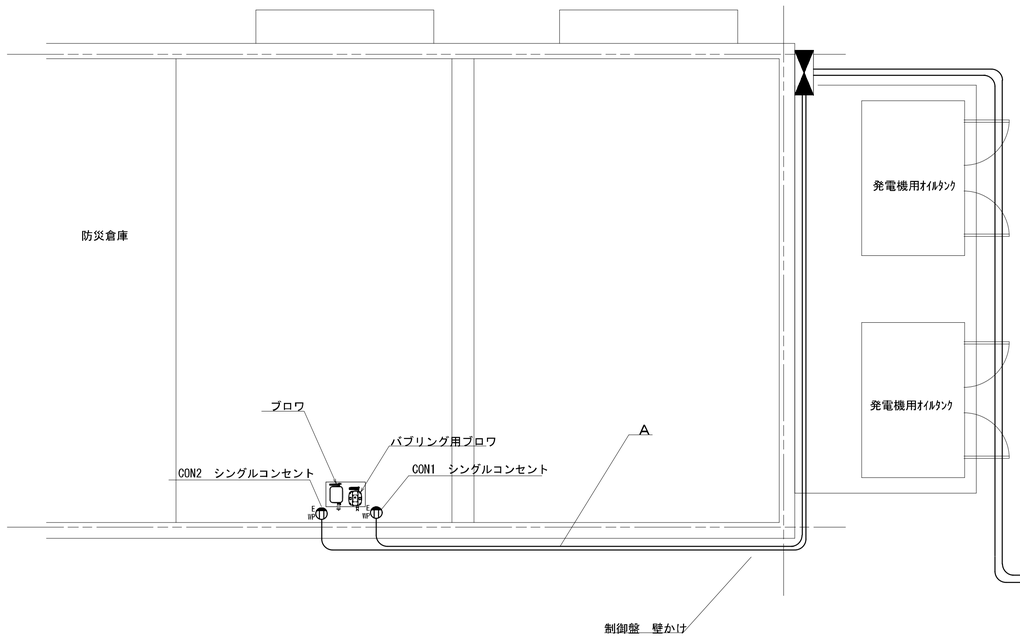
ブロワ据付詳細図　S=1/10

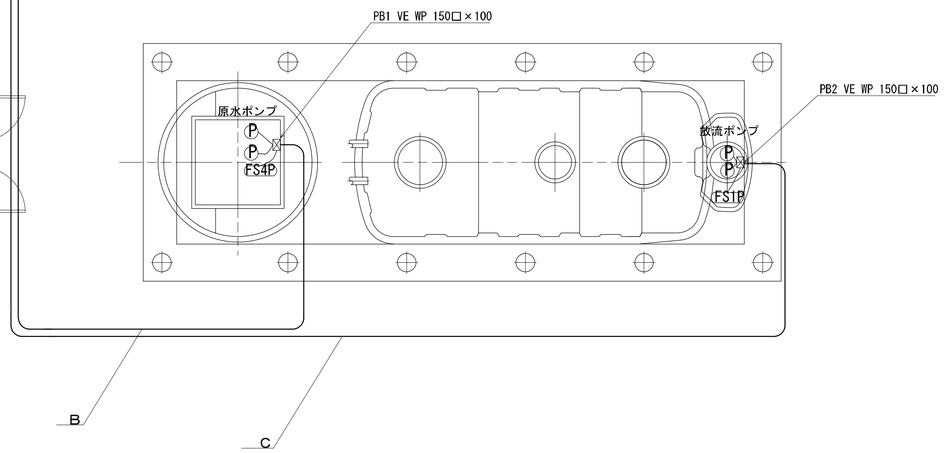
DRAWING	浄化槽設備　−2	SCALE　A1：・　A3：・
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　期男		DRAWING No. M-13



設備外構図　S=1/40

DRAWING	浄化槽設備　-3	SCALE	A1:- A3:-
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	M-14





電気工事図　S=1/40

浄化槽制御盤　壁掛け(屋外)

配線表

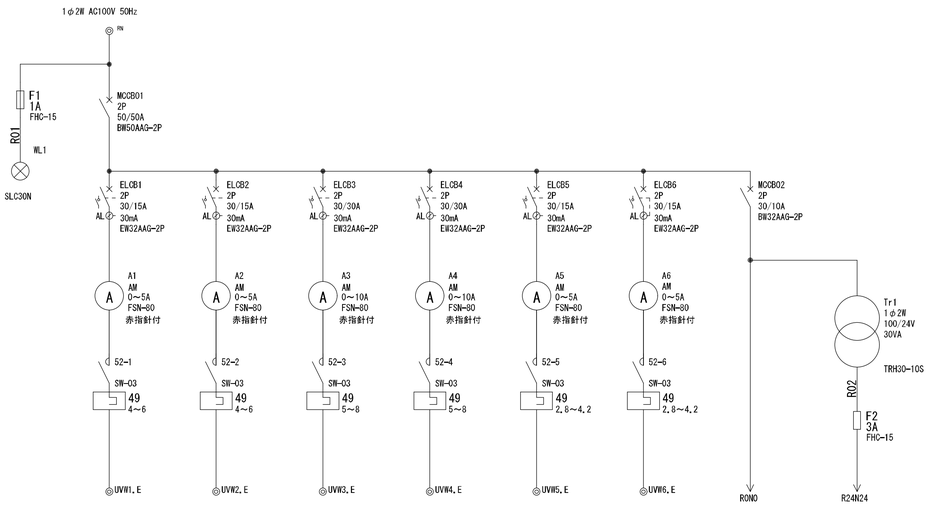
自	番　号	ケーブルサイズ	本数	管路種別	本数	至
浄化槽制御盤	A	CE2sq-3C	1	PF22	1	CON1
		CE2sq-3C	1	PF22	1	CON2
	B	CE2sq-3C	2	PF28	1	PB1
		CEE1.25sq-5C	1	PF22	1	

自	番　号	ケーブルサイズ	本数	管路種別	本数	至
浄化槽制御盤	C	CE2sq-3C	2	PF28	1	PB2
		CEE1.25sq-2C	1	PF22	1	

DRAWING	浄化槽設備　-4
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事
SCALE	A1・A3・
DATE	2024.03
DRAWING No.	M-15

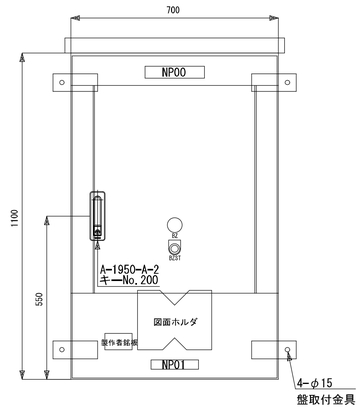
アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　崩男

単線結線図

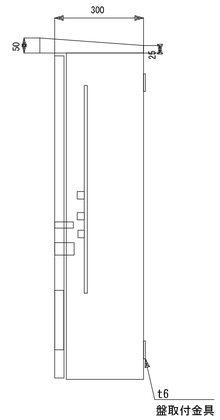


ばっ気ブロワ	ポンプ槽用ブロワ	原水ポンプ		放流ポンプ		操作回路	フロートスイッチ回路
		NO1	NO2	NO1	NO2		
0.20kW	0.20kW	0.25kW		0.13kW			

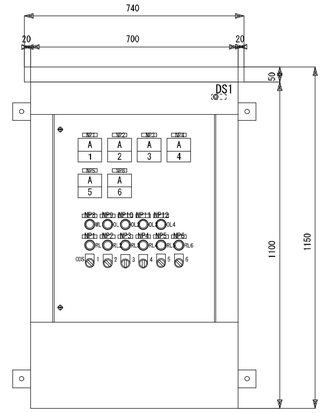
無電圧警報　1点
有電圧警報　1点（AC100V）



正面図



右側面図



中扉正面図

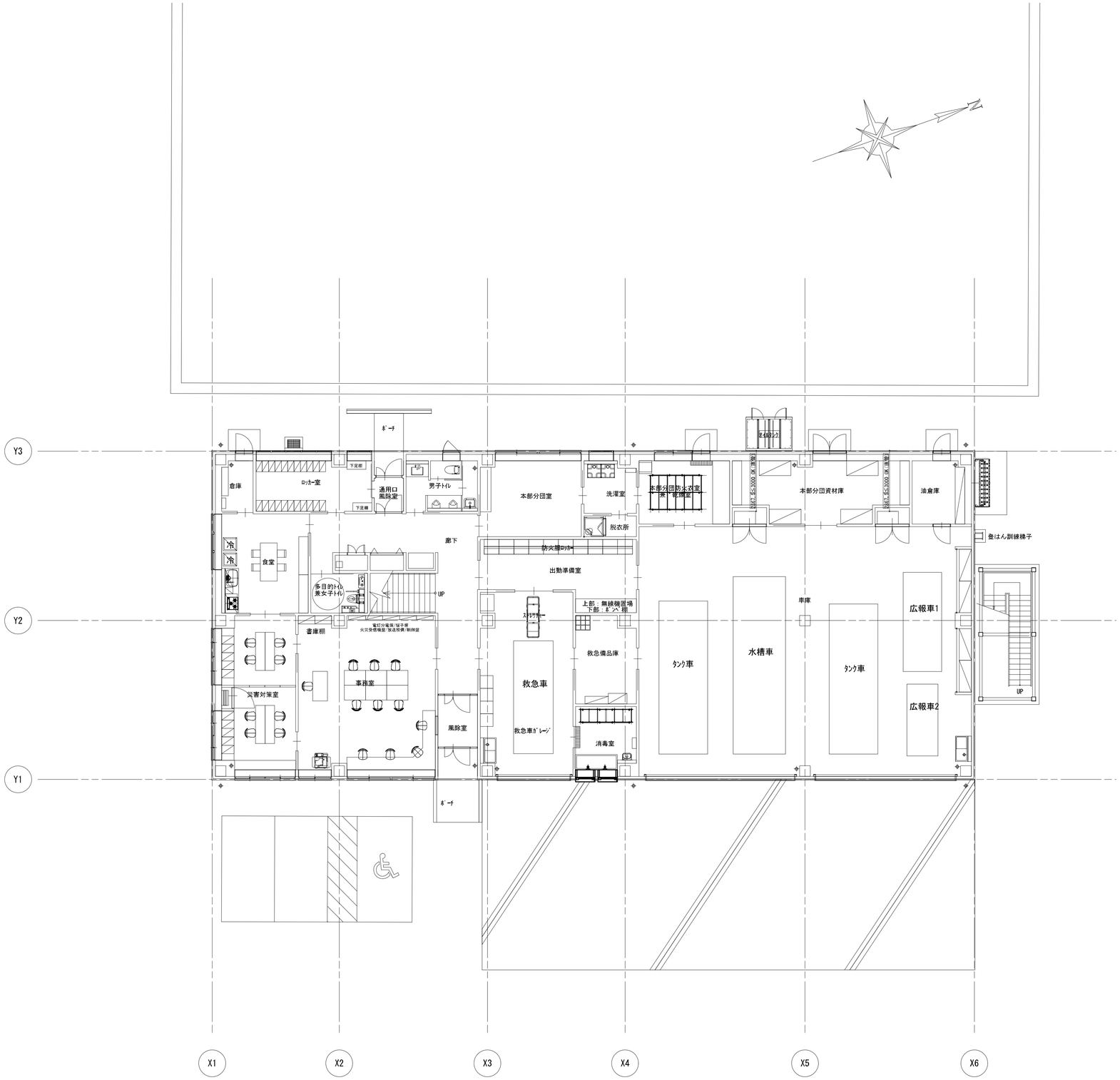
【銘板記入文字】

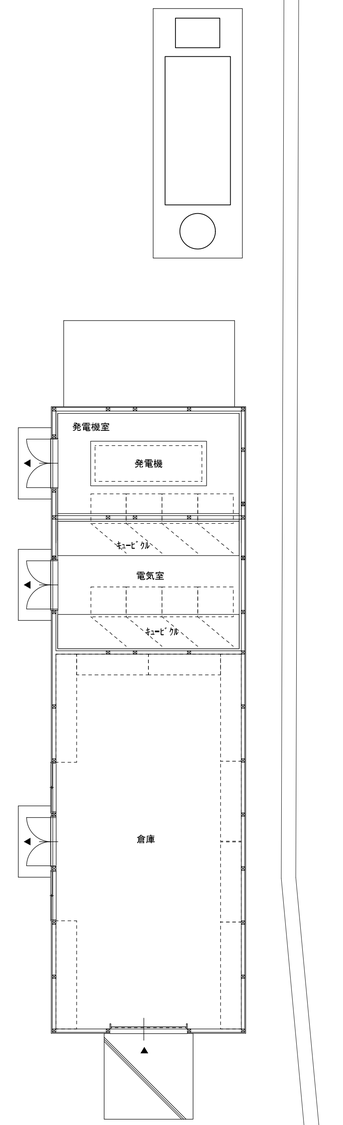
記号	名称	寸法（W×H）	備考
NP00	浄化槽制御盤	200×40	名称：ネームプレート 材質：アクリル樹脂 取付方法：貼付 字体：丸ゴシック 彫刻方法：裏面彫刻 プレート板厚：　W315以上 5mm W160以上 3mm W50以上 2mm ※機器容量は、電流計のみとする。
NP01	施工業者名	160×31.5	
NP1	ばっ気ブロワ　（0.20kW）	50×12.5	
NP2	ポンプ槽用ブロワ　（0.20kW）	50×12.5	
NP3	原水ポンプNO1　（0.25kW）	50×12.5	
NP4	原水ポンプNO2　（0.25kW）	50×12.5	
NP5	放流ポンプNO1　（0.13kW）	50×12.5	
NP6	放流ポンプNO2　（0.13kW）	50×12.5	
NP7	原水ポンプ	50×12.5	
NP8	電源	50×12.5	
NP9	過負荷	50×12.5	
NP10	漏電	50×12.5	
NP11	原水ポンプ槽満水	50×12.5	
NP12	放流ポンプ槽満水	50×12.5	

塗装仕様	溶融亜鉛メッキ仕上げ	板厚仕様	扉	3.2mm
			函体	3.2mm
			機器取付板	2.3mm

制御盤参考寸法図　S＝1／10

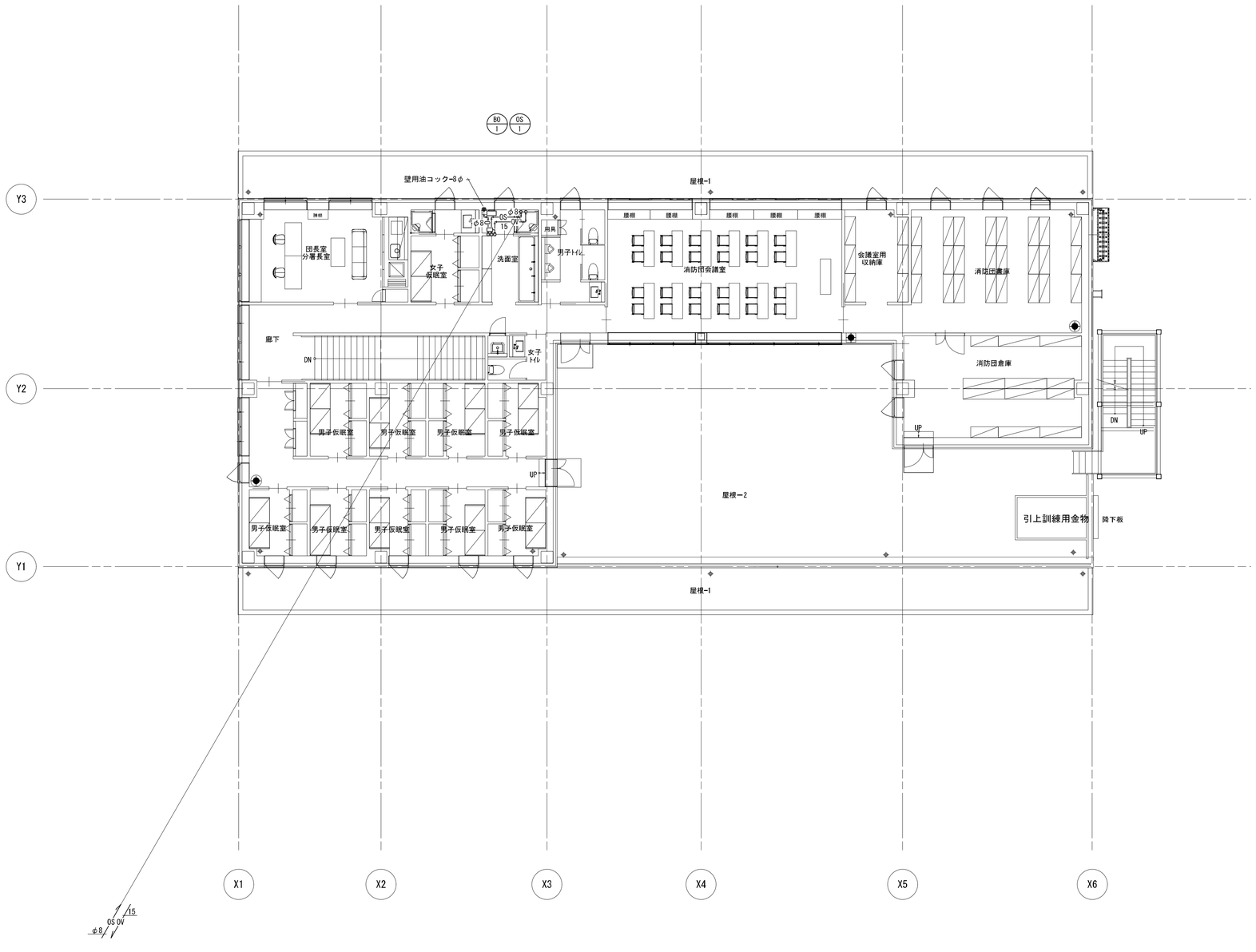
DRAWING	浄化槽設備　-5	SCALE	A1：- A3：-
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. M-16





1階平面図

DRAWING	油送・消火設備　1階平面図	SCALE	A1 1/100　A3 1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	M-17



-凡例-

- ・・・消火器(床置スタンド)
- ・・・消火器(格納箱)
- ・・・消火器(壁ボックス-建築工事)

-凡例-

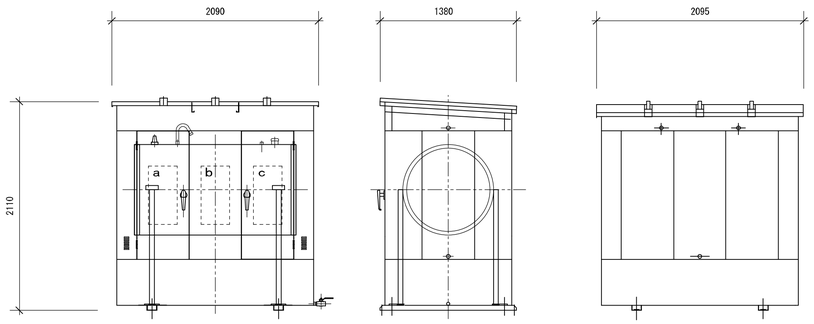
- ABC消火器10型(SUS露出BOX)
  危険物表示板 (SUSU製3枚1組)
- ABC消火器10型(丸型スタンド)
- ABC消火器10型(埋込ボックス)

※屋内埋込ボックスは建築工事

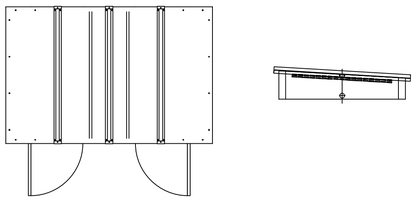
2階平面図

DRAWING	油送・消火設備　２階平面図	SCALE	A1 1/100　A3 1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. M-18

灯油タンク姿図・仕様表



-立面図-



-平面図-

灯油タンク仕様表（給湯機・石油暖房器用）

記　号	機　器　名　称	仕　様　・　規　格	数量	備考　・　参考品番
OT-1	灯油タンク	格納式オイルタンク　1000L	1	TIN-990G

灯油タンク仕様表(非常発電機用)

記　号	機　器　名　称	仕　様　・　規　格	数量	備考　・　参考品番
OT-2	灯油タンク	格納式オイルタンク　1000L	2	TIN-990G

DRAWING 油送設備　タンク姿図・機器表	SCALE A1：- A3：-	
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE 2024.03	
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. M-19

空調機器表-1　※屋外機は重耐塩害仕様とする

記号	名称	台数	仕様	電気 φ	電気 V	電気 kW	起動方式	設置場所	備考
ACP-1	ヒートポンプエアコン	1	型式　寒冷地仕様冷暖切換型					屋外	インバーター運転
	（室外ユニット）		冷房能力　22.4kW						冷暖房能力はJIS基準
			暖房能力　26.5kW						RAS-AP224TN(J)
			圧縮機　5.47KW　送風機　0.34Kw						
			消費電力	3	200	11.0	INV		
			付属品　アクティ部フィルター						
			分岐管　亜鉛ﾒｯｷ防振架台　防雪ﾌｰﾄﾞ(SUS)						
ACP-1-1	ヒートポンプエアコン	2	型式　4方向カセット型					1階事務室	冷暖房能力はJIS基準
	（室内ユニット）		冷房能力　6.3kW						RCI-GP63K3
			暖房能力　7.5kW						
			送風機	1	200	0.06	L-S		
			付属品　リモコン　化粧パネル						
ACP-1-2	ヒートポンプエアコン	1	型式　2方向カセット型					1階災害対策室	冷暖房能力はJIS基準
	（室内ユニット）		冷房能力　4.0kW						RCID-GP40K2
			暖房能力　4.8kW						
			送風機	1	200	0.06	L-S		
			付属品　リモコン　化粧パネル						
ACP-1-3	ヒートポンプエアコン	1	型式　2方向カセット型					1階災害対策室	冷暖房能力はJIS基準
	（室内ユニット）		冷房能力　3.6kW						RCID-GP36K2
			暖房能力　4.0kW						
			送風機	1	200	0.06	L-S		
			付属品　リモコン　化粧パネル						
ACP-2	ヒートポンプエアコン	1	型式　寒冷地仕様冷暖切換型					屋外	インバーター運転
	（室外ユニット）		冷房能力　7.1kW						冷暖房能力はJIS基準
			暖房能力　8.0kW						RCI-GP80RHN3(J)
			圧縮機　1.2KW　送風機　0.17KW						
			消費電力	3	200	10.0	INV		
			付属品　亜鉛ﾒｯｷ防振架台　防雪ﾌｰﾄﾞ(SUS)						
ACP-2-1	ヒートポンプエアコン	1	型式　4方向カセット型					2階団長室	
	（室内ユニット）		冷房能力　7.1kW					分署長室	
			暖房能力　8.0kW						
			送風機	1	200	0.06	L-S		
			付属品　リモコン　化粧パネル						

記号	名称	台数	仕様	電気 φ	電気 V	電気 kW	起動方式	設置場所	備考
ACP-3	ヒートポンプエアコン	1	型式　寒冷地仕様冷暖切換型					屋外	インバーター運転
	（室外ユニット）		冷房能力　28.0kW						冷暖房能力はJIS基準
			暖房能力　33.5kW						RAS-AP280TN(J)
			圧縮機　7.58KW　送風機　0.44KW						
			消費電力	3	200	16.4	INV		
			付属品　アクティ部フィルター						
			分岐管　亜鉛ﾒｯｷ防振架台　防雪ﾌｰﾄﾞ(SUS)						
ACP-3-1	ヒートポンプエアコン	1	型式　4方向カセット型					1階食堂	冷暖房能力はJIS基準
	（室内ユニット）		冷房能力　8.0kW						RCI-GP80K3
			暖房能力　9.0kW						
			送風機	1	200	0.06	L-S		
			付属品　リモコン　化粧パネル						
ACP-3-2	ヒートポンプエアコン	1	型式　2方向カセット型					1階本部分団室	冷暖房能力はJIS基準
	（室内ユニット）		冷房能力　5.0kW						RCID-GP50K2
			暖房能力　5.6kW						
			送風機	1	200	0.06	L-S		
			付属品　リモコン　化粧パネル						
ACP-3-3	ヒートポンプエアコン	2	型式　2方向カセット型					1階廊下	冷暖房能力はJIS基準
	（室内ユニット）		冷房能力　2.2kW						RCID-GP22K2
			暖房能力　2.5kW						
			送風機	1	200	0.06	L-S		
			付属品　リモコン　化粧パネル						
ACP-3-4	ヒートポンプエアコン	1	型式　天吊露出型					1階救急車ガレージ	冷暖房能力はJIS基準
	（室内ユニット）		冷房能力　11.2kW						RPC-GP112K3
			暖房能力　12.5kW						
			送風機	1	200	0.16	L-S		
			付属品　リモコン　ドレンアップ						
ACP-4	ヒートポンプエアコン	1	型式　寒冷地仕様冷暖切換型					屋外	インバーター運転
	（室外ユニット）		冷房能力　45.0kW						冷暖房能力はJIS基準
			暖房能力　53.0kW						RAS-AP450TN(J)
			圧縮機　11.08KW　送風機　1.04KW						
			消費電力	3	200	23.6	INV		
			付属品　アクティ部フィルター						
			分岐管　亜鉛ﾒｯｷ防振架台　防雪ﾌｰﾄﾞ(SUS)						
ACP-4-1	ヒートポンプエアコン	3	型式　4方向カセット型					2階消防団会議室	冷暖房能力はJIS基準
	（室内ユニット）		冷房能力　5.0kw						RCI-GP50K3
			暖房能力　5.6kw						
			送風機	1	200	0.06	L-S		
			付属品　リモコン　化粧パネル						
ACP-4-2	ヒートポンプエアコン	14	型式　2方向カセット型					2階仮眠室	冷暖房能力はJIS基準
	（室内ユニット）		冷房能力　2.2kw					2階廊下他	RCID-GP22K2
			暖房能力　2.5kw						
			送風機	1	200	0.06	L-S		
			付属品　リモコン　化粧パネル						

DRAWING	空調設備　空調機器表-1	SCALE	A1：・　A3：・
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男			DRAWING No. M-20

空調機器表-2

記　号	名　称	台数	仕　様	電気 φ	電気 V	電気 kW	起動方式	設置場所	備考
FF-1	石油暖房機	2	型式　FF式温風暖房機（縦形）					1階車庫	FF-288CTS　A1
			暖房能力　28.7kW						
			参考寸法：1850H×1000W×450D						
			消費電力　点火時：86W	1	100	0.38			
			付属品　給排気筒・給排気延長管・保護ガード						
FF-2	石油暖房機	1	型式　FF式温風暖房機（縦形）					1階乾燥室	FF-18000CTS　B
			暖房能力　10.8kW						
			参考寸法：1730H×450W×420D						
			消費電力　点火時：615W	1	100	0.74			
			付属品　給排気筒・給排気延長管・保護ガード						
EPH-1	電気パネルヒーター	1	型式　壁掛け型（ステンレス製）					1階ロッカー室	NZS-1500
			暖房能力　1.5kW						
			参考寸法：880L×500H×70D	1	200	1.50			
			付属品　壁掛け用ブラケット・いたずら防止カバー						
EPH-2	電気パネルヒーター	4	型式　壁掛け型（ステンレス製）					1階男子トイレ	NYS-1000
			暖房能力　1.0kW					1階出動準備室	
								2階男子トイレ	
			参考寸法：680L×500H×70D	1	200	1.00			
			付属品　壁掛け用ブラケット・いたずら防止カバー						
EPH-3	電気パネルヒーター	2	型式　壁掛け型（ステンレス製）					1階多目的トイレ	NXS-500
			暖房能力　0.50kW					2階女子トイレ	
			参考寸法：490L×500H×70D	1	200	0.50			
			付属品　壁掛け用ブラケット・いたずら防止カバー						
EPH-4	電気パネルヒーター	2	型式　壁掛け型（ステンレス製）					1階脱衣所	NXS-250
			暖房能力　0.25kW					2階ボイラー室	
			参考寸法：490L×500H×70D	1	200	0.25			
			付属品　壁掛け用ブラケット・いたずら防止カバー						

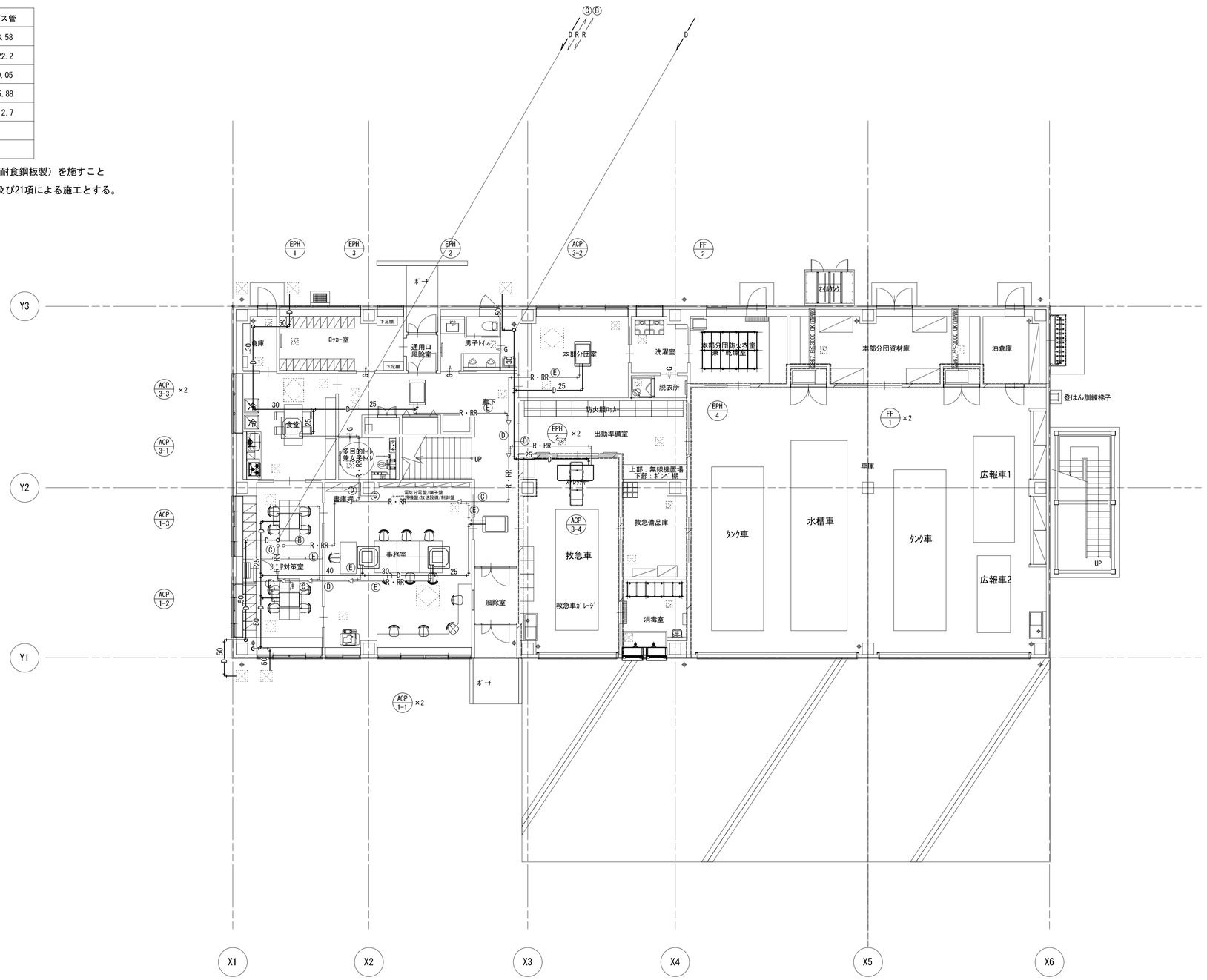
DRAWING	空調設備　空調機器表-2	SCALE　A1：・　A3：・
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. M-21

冷媒配管サイズ表

番号	液　管	ガス管
A	12.7	28.58
B	9.52	22.2
C	9.52	19.05
D	9.52	15.88
E	6.35	12.7

※屋外露出管は化粧カバー（高耐食鋼板製）を施すこと

※防火区画貫通は令112条20項及び21項による施工とする。



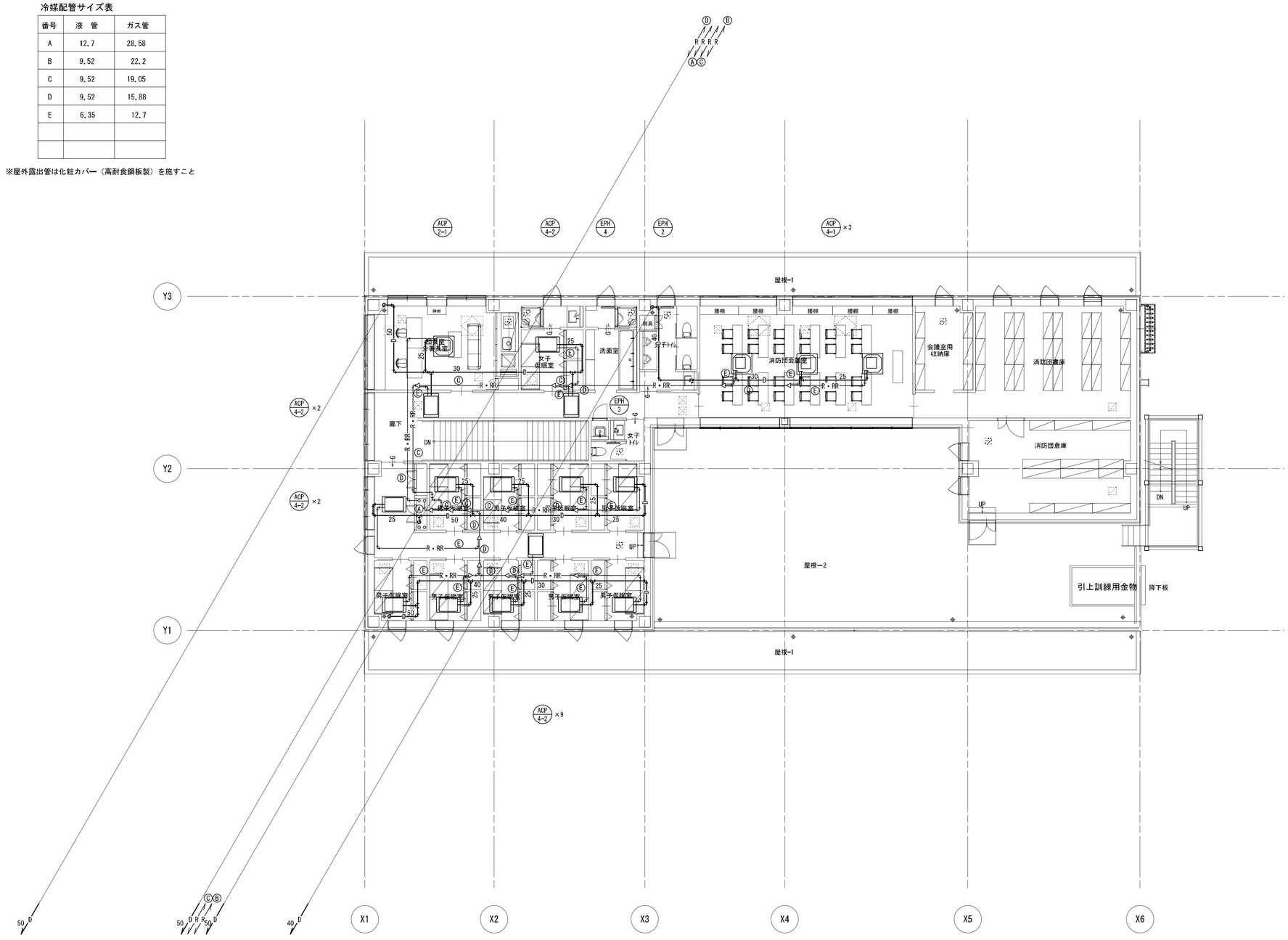
1階平面図

DRAWING	空調設備　1階平面図	SCALE	A1:1/100　A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	M-22

冷媒配管サイズ表

番号	液　管	ガス管
A	12.7	28.58
B	9.52	22.2
C	9.52	19.05
D	9.52	15.88
E	6.35	12.7

※屋外露出管は化粧カバー（高耐食鋼板製）を施すこと



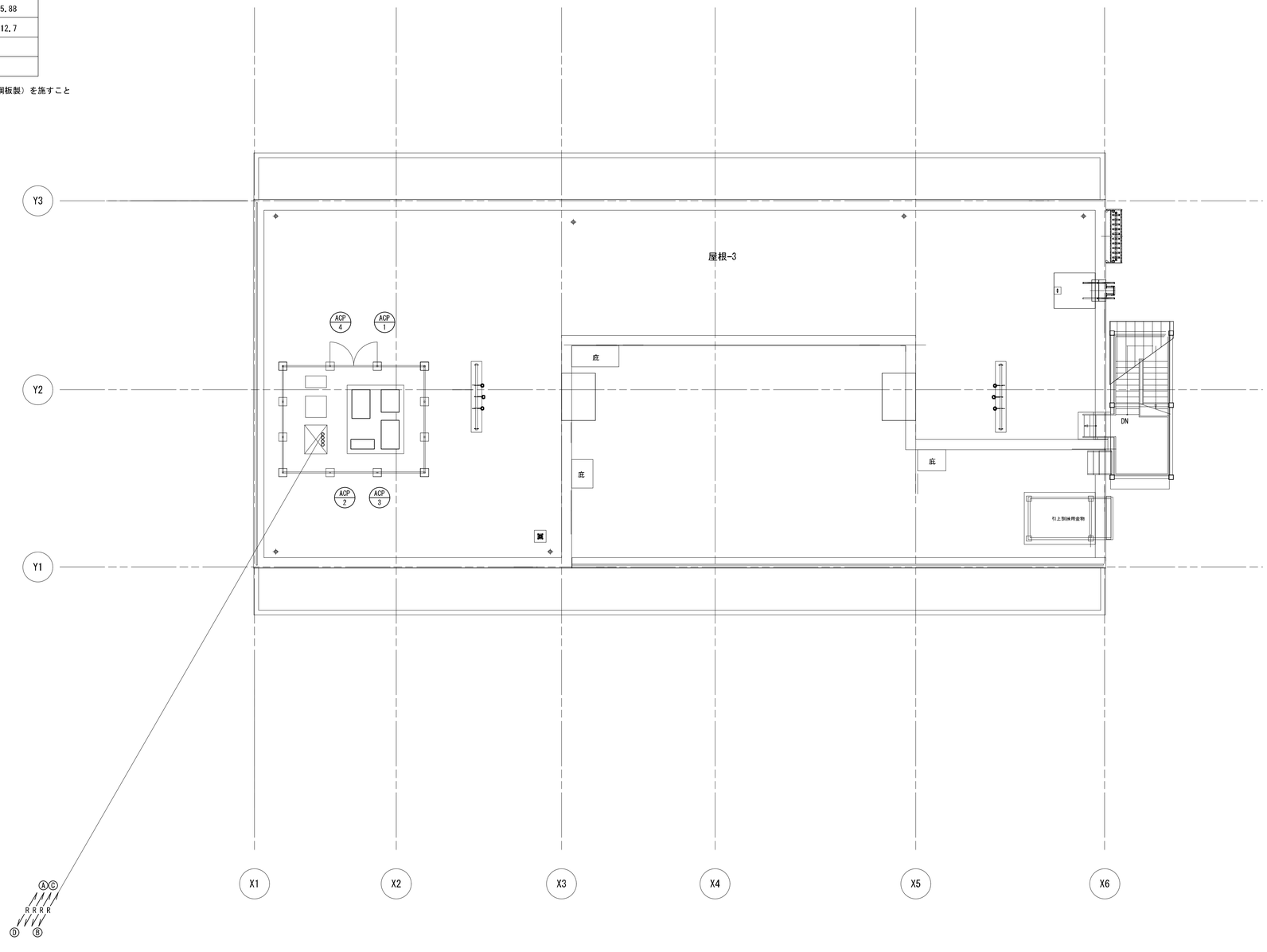
2階平面図

DRAWING	空調設備　2階平面図	SCALE	A1 1/100 A3 1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
	アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男	DRAWING No.	M-23

冷媒配管サイズ表

番号	液　管	ガス管
A	12.7	28.58
B	9.52	22.2
C	9.52	19.05
D	9.52	15.88
E	6.35	12.7

※屋外露出管は化粧カバー（高耐食鋼板製）を施すこと



屋根伏図

DRAWING	空調設備　屋根伏せ図	SCALE　A1:1/100　A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. M-24

換気機器表 1

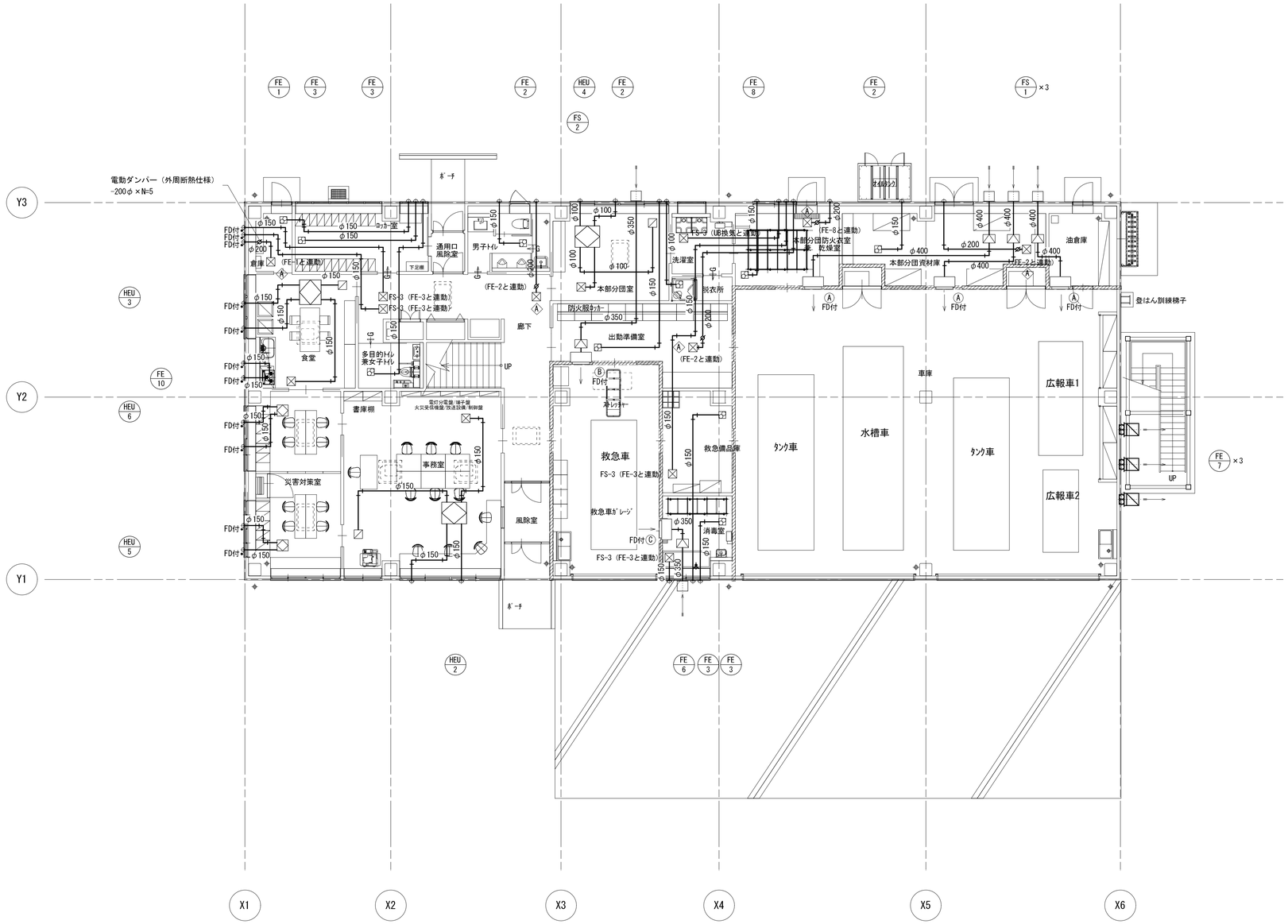
記号	名称	台数	仕様		電気 φ	電気 V	電気 W	起動方式	設置場所	備考・参考品番
HEU-1	全熱交換ユニット	2	型式	天井埋込ダクト形					2階消防団会議室	LGH-N50RX4
			能力	200φ×460m3/h×68Pa	1	100	261	L-S		
			付属品	防振吊金具　24時間対応スイッチ　給排気グリル						SWは電気設備工事へ支給
				深形フード（指定色品）						
HEU-2	全熱交換ユニット	1	型式	天井埋込ダクト形					1階事務室	LGH-N35RX4
			能力	150φ×310m3/h×91Pa	1	100	197	L-S		
			付属品	防振吊金具　24時間対応スイッチ　給排気グリル						SWは電気設備工事へ支給
				深形フード（指定色品）						
HEU-3	全熱交換ユニット	2	型式	天井埋込ダクト形					1階食堂	LGH-N25RX4
			能力	150φ×200m3/h×47Pa	1	100	118	L-S	2階団長室　分署長室	
			付属品	防振吊金具　24時間対応スイッチ　給排気グリル						SWは電気設備工事へ支給
				深形フード（指定色品）						
HEU-4	全熱交換ユニット	1	型式	天井埋込ダクト形					1階本部分団室	LGH-N15RX4
			能力	100φ×130m3/h×49Pa	1	100	105	L-S		
			付属品	防振吊金具　24時間対応スイッチ　給排気グリル						SWは電気設備工事へ支給
				深形フード（指定色品）						
HEU-5	全熱交換ユニット	1	型式	天井カセット形					1階災害対策室-1	LGH-N35CX3
			能力	150φ×270m/h×55Pa	1	100	153	L-S		
			付属品	防振吊金具　24時間対応スイッチ　パネル						SWは電気設備工事へ支給
				深形フード（指定色品）						
HEU-6	全熱交換ユニット	1	型式	天井カセット形					1階災害対策室-1	LGH-N25CX3
			能力	150φ×210m/h×29Pa	1	100	107	L-S		
			付属品	防振吊金具　24時間対応スイッチ　パネル						SWは電気設備工事へ支給
				深形フード（指定色品）						
HEU-7	全熱交換ユニット	10	型式	電気シャッター付天吊埋込カセット形					2階男子仮眠室×9	VL-100ZSD3
			能力	100φ×30m/h×13Pa	1	100	39	L-S	2階女子仮眠室×1	
			付属品	防振吊金具　24時間対応スイッチ						SWは電気設備工事へ支給
				深形フード（指定色品）						
FS-1	給気ファン	3	型式	斜流ダクト形					車庫	JF-300TA2
			能力	400φ×3180m3/h×100Pa	3	200	580	L-S		
			付属品	三相用コントロールスイッチ他						FE-7と連動
				防振吊金具　・						
				ウェザーカバー						
FS-2	給気ファン	1	型式	斜流ダクト形					救急車ガレージ	JF-160TA2
			能力	325φ×2010m3/h×100Pa	3	200	200	L-S		
				三相用コントロールスイッチ他						FE-6と連動
				防振吊金具　・						
				ウェザーカバー						
FS-3	電動給気口	9	型式	天井埋込形電動給気シャッター					各室	P-180DZ3
			能力	310□	1	100	4.1	・		
				防振吊金具　・						FE-と連動
				深形フード（指定色品）						

※換気機器の換気量はJIS B 8330、消費電力はJIS C 9603で規定された値である

記号	名称	台数	仕様		電気 φ	電気 V	電気 W	起動方式	設置場所	備考・参考品番
FE-1	排気ファン	2	型式	低騒音天井埋込形					1階倉庫	VD-23ZB13
			能力	150φ×320m3/h×74Pa	1	100	74	L-S	2階男子トイレ	
			付属品	吊金具　深形フード（指定色品）						
FE-2	排気ファン	3	型式	低騒音天井埋込形					1階男子トイレ	VD-20ZB13
			能力	150φ×270m3/h×89Pa	1	100	44	L-S	1階出動準備室	
			付属品	吊金具　深形フード（指定色品）					1階資材庫	
FE-3	排気ファン	5	型式	低騒音天井埋込形					1階ロッカー室	VD-18ZB13
			能力	150φ×210m3/h×53Pa	1	100	26	L-S	1階多目的トイレ	
			付属品	吊金具　深形フード（指定色品）					1階救急備品庫	
									1階消毒室	
									2階女子トイレ	
FE-4	排気ファン	1	型式	低騒音天井埋込形					2階収納庫・書庫	VD-15Z13
			能力	100φ×90m3/h×50Pa	1	100	14	L-S		
			付属品	吊金具　深形フード（指定色品）						
FE-5	排気ファン	1	型式	低騒音天井埋込形					2階倉庫	VD-13Z13
			能力	100φ×70m3/h×59Pa	1	100	13	L-S		
			付属品	吊金具　深形フード（指定色品）						
FE-6	排気ファン	1	型式	斜流ダクト形					1階救急車ガレージ	JF-160TA2
			能力	325φ×2010m3/h×100Pa	3	200	200	L-S		
			付属品	防振吊金具　・						
				ウェザーカバー						
FE-7	排気ファン	3	型式	壁付有圧扇（ステンレス製）					1階車庫	EF-40DTXC2
			能力	400φ×3180m3/h×100Pa	3	200	135	L-S		
			付属品	取付枠等部材　他一式						FS-1と連動
				ウェザーカバー						
FE-8	排気ファン	1	型式	低騒音天井埋込形					1階乾燥室	VD-23ZB13
			能力	150φ×420m3/h×70Pa	1	100	74	L-S		
			付属品	取付枠等部材　他一式						
				ウェザーカバー						
FE-9	排気ファン	1	型式	低騒音天井埋込形					2階通路	VD-13Z13
			能力	100φ×70m3/h×60Pa	1	100	13	L-S		
			付属品	吊金具　深形フード（指定色品）						
FE-10	レンジフードファン	1	型式	ブーツ形給排気式					1階食堂	V-
			能力	150φ×300m3/h×60Pa	1	100	100	L-S		
			付属品	吊金具　深形フード（指定色品）						
FE-11	ミニキッチンファン	1	型式	天井埋込形					2階団長　分署長室	V-
			能力	100φ×20m3/h×60Pa	1	100	100	L-S		
			付属品	吊金具　深形フード（指定色品）						

DRAWING 空調設備　換気機器表
SCALE A1:- A3:-
PROJECT 風間浦村消防庁舎建設工事
DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社
一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男
DRAWING No. M-25

Ⓐ 給気口	
給気グリル　φ200　(P-23GSF3) 深型フード .	5 (組)



車庫(外気取入口)	Ⓐ
VS　950×500　(FD付)	3
Q=・m³/h	
BOX 1200×750×450H(内貼25t)	

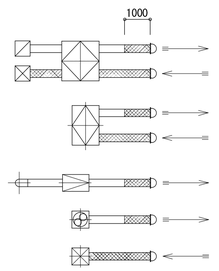
車庫(外気取入口)	Ⓑ
VS　700×500　(FD付)	1
Q=・m³/h	
BOX 950×750×450H(内貼25t)	

車庫(排気口)	Ⓒ
VS　700×500　(FD付)	1
Q=・m³/h	
BOX 900×700×450H	

― 凡例 ―

MS ⊘ 中間取付電動シャッター

MD ▣ モーターカバー付電動ダンパー



▨ は防露部分を示す

※排気ダクト：外壁面より1.0m以内の部分
※給気ダクト：全ての部分

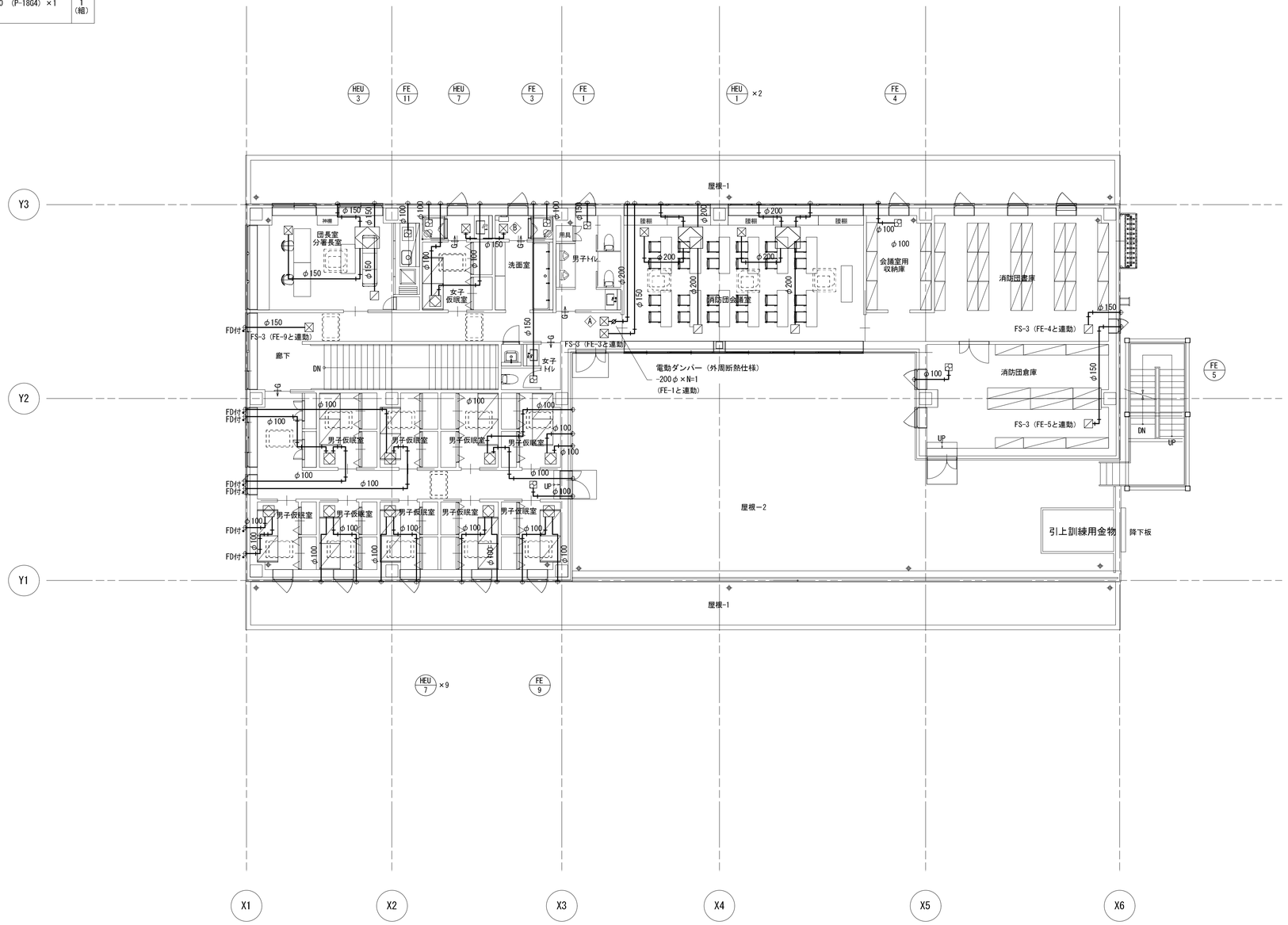
-防露部分詳細図（参考図）-

1階平面図

DRAWING	換気設備　1階平面図	SCALE	A1:1/100　A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	M-26

Ⓐ 給気口	
給気グリル　φ200　(P-23GSF3) 深型フード ・	1 (組)

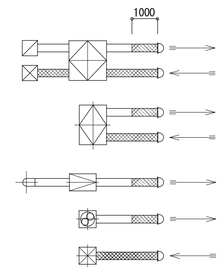
Ⓑ パスダクト	
給気グリル　φ150　(P-18GLC4)　×1 排気グリル　φ150　(P-18G4)　×1 ・	1 (組)



2階平面図

― 凡例 ―

MS ∅　中間取付電動シャッター
MD ▭　モーターカバー付電動ダンパー



▨ は防露部分を示す

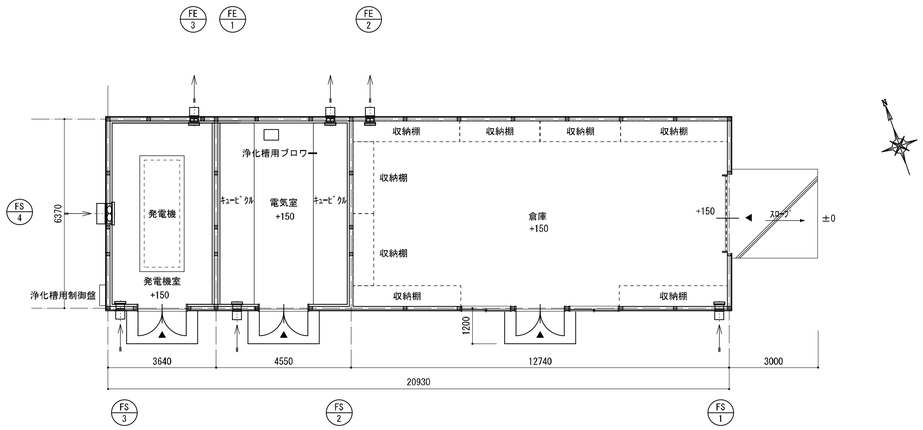
※排気ダクト：外壁面より1.0m以内の部分
※給気ダクト：全ての部分

-防露部分詳細図（参考図）-

DRAWING	換気設備　2階平面図	SCALE	A1:1/100　A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	M-27

換気機器表

記　号	機　器　名　称	仕　様　・　規　格	消費電力 φ	消費電力 V	消費電力 KW・W	数量	備　　考
FS-1	給　気　口	電動給気シャッター（ステンレス製） □322 フィルターユニット ウェザーカバー（防虫網付）その他取付け枠等一式	1	100	7W	1	PS-30SM
FS-2	〃	電動給気シャッター（ステンレス製） □272 フィルターユニット ウェザーカバー（防虫網付）その他取付け枠等一式	1	100	7W	1	PS-25SM
FS-3	〃	電動給気シャッター（ステンレス製） □222 フィルターユニット ウェザーカバー（防虫網付）その他取付け枠等一式	1	100	7W	1	PS-20SM
FS-4	給　気　機	給気扇 φ600×9800m3/h×100Pa 電動シャッター ウェザーカバー（防虫網付）その他取付け枠等一式	3	200	410W	1	EWG-60FTA2-Q
FE-1	排　風　機	有圧扇（ステンレス製） φ300×500m3/h×100Pa 電動シャッター ウェザーカバー（防鳥網付）その他取付け枠等一式	1	100	61W	1	EF-30BSXC2
FE-2	〃	有圧扇（ステンレス製） φ250×300m3/h×100Pa 電動シャッター ウェザーカバー（防鳥網付）その他取付け枠等一式	1	100	48W	1	EF-25ASXC2
FE-3	〃	有圧扇（ステンレス製） φ200×100m3/h×40Pa 電動シャッター ウェザーカバー（防鳥網付）その他取付け枠等一式	1	100	28W	1	EF-20YSXC2

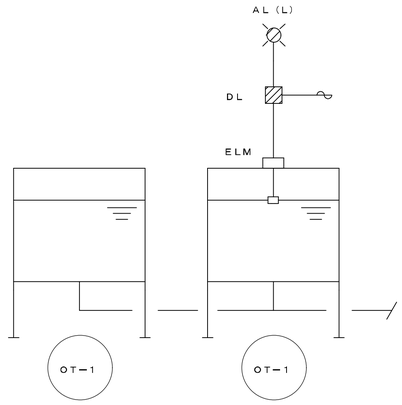


平面図

DRAWING	機械設備　防災倉庫平面図	SCALE	A1:1/100　A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	M-28

１．オイルタンク廻り制御（２ＳＥＴ’Ｓ）　＜ＣＰ−１＞

機器記号	台数	備考
ＯＴ−１	１	一般用
ＯＴ−１	２	発電機用

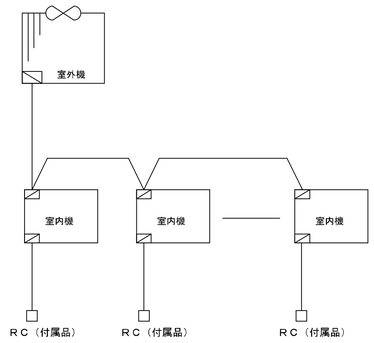


制御内容

１．残油量の監視を行なう。
　減油時は警報を表示する。

２．ヒートポンプエアコン配線工事（４ＳＥＴ’Ｓ）

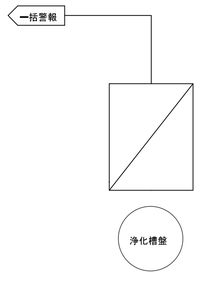
室外機記号	室内機台数
ＡＣＰ−１	４
ＡＣＰ−２	１
ＡＣＰ−３	７
ＡＣＰ−４	１７



制御内容

１．リモコンスイッチ（ＲＣ）によるエアコンの運転・停止を行う

３．浄化槽盤警報移報（１ＳＥＴ）　＜ＣＰ−１＞



制御内容

１．移報：浄化槽盤一括警報を制御盤ＣＰ−１に表示する。

自動制御機器表

記　号	名　　称	参　考　型　番	備　　考
ＥＬＭ	液面発信器	ＥＬＭ−２Ｈ１	
ＤＬ	液面計	ＤＬ−４３４	
ＷＳ	ワイヤレスリモコン		ＡＣＰ付属品

凡例

―――　：　電線又はケーブルを示す
▨　：　盤内取付機器を示す
～　：　電源（AC100又は200V）を示す

制御盤参考寸法

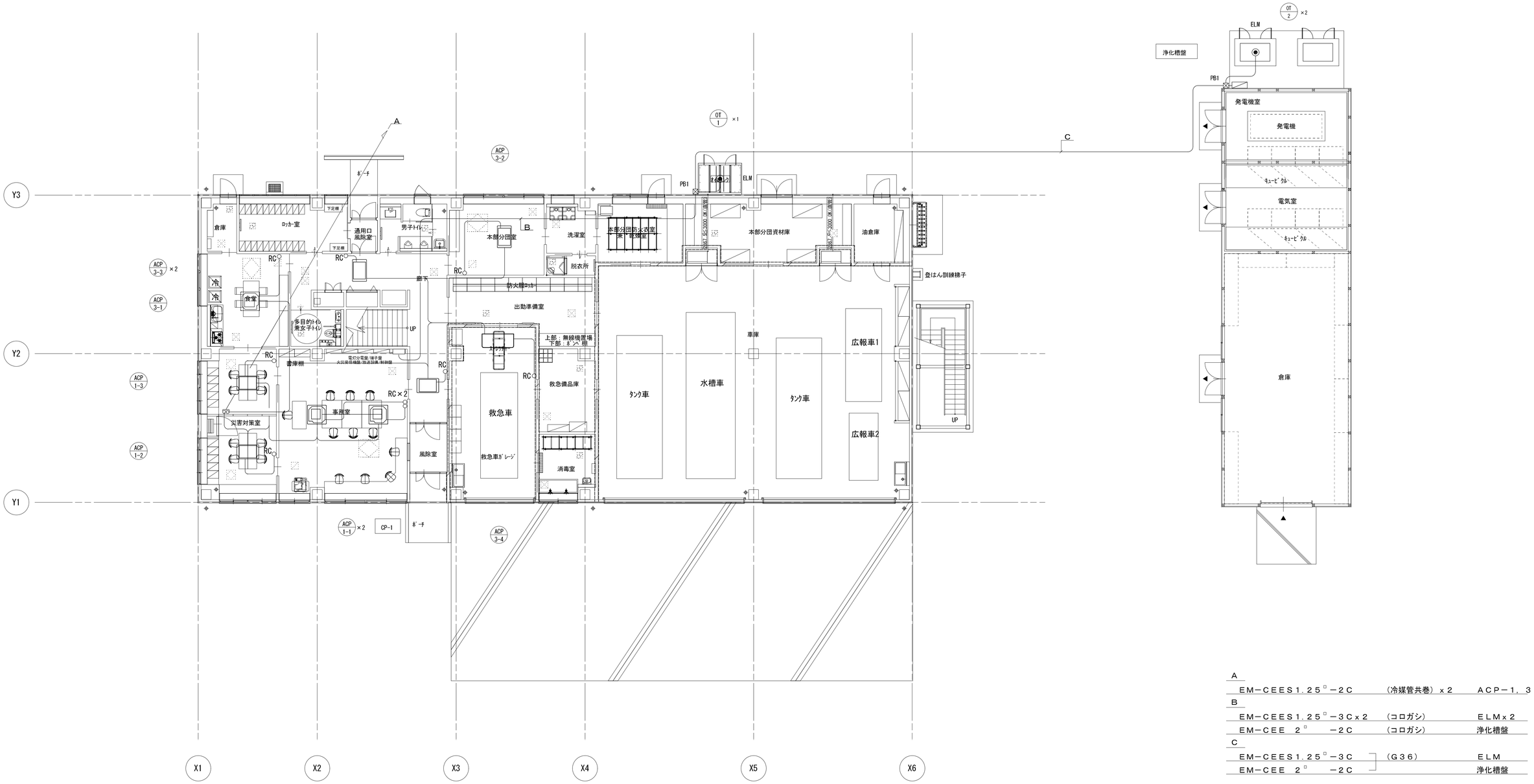
名　称	形　状	寸　法			備　　考
		Ｗ	Ｈ	Ｄ	
ＣＰ−１	屋内壁掛	５００	７００	２５０	

DRAWING	自動制御設備　計装図	SCALE　A1:1/100　A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. M−29

凡例

シンボル	記　号	配　線	配　管
◉	ＥＬＭ	ＥＭ－ＣＥＥＳ１．２５　－３Ｃ	Ｇ２２
	浄化槽盤	ＥＭ－ＣＥＥ　２　□　－２Ｃ	Ｇ２２

※防火区画貫通は令112条20項及び21項による施工とする。



A

ＥＭ－ＣＥＥＳ１．２５□－２Ｃ　（冷媒管共巻）ｘ２　ＡＣＰ－１，３

B

ＥＭ－ＣＥＥＳ１．２５□－３Ｃｘ２　（コロガシ）　ＥＬＭｘ２

ＥＭ－ＣＥＥ　２□　－２Ｃ　（コロガシ）　浄化槽盤

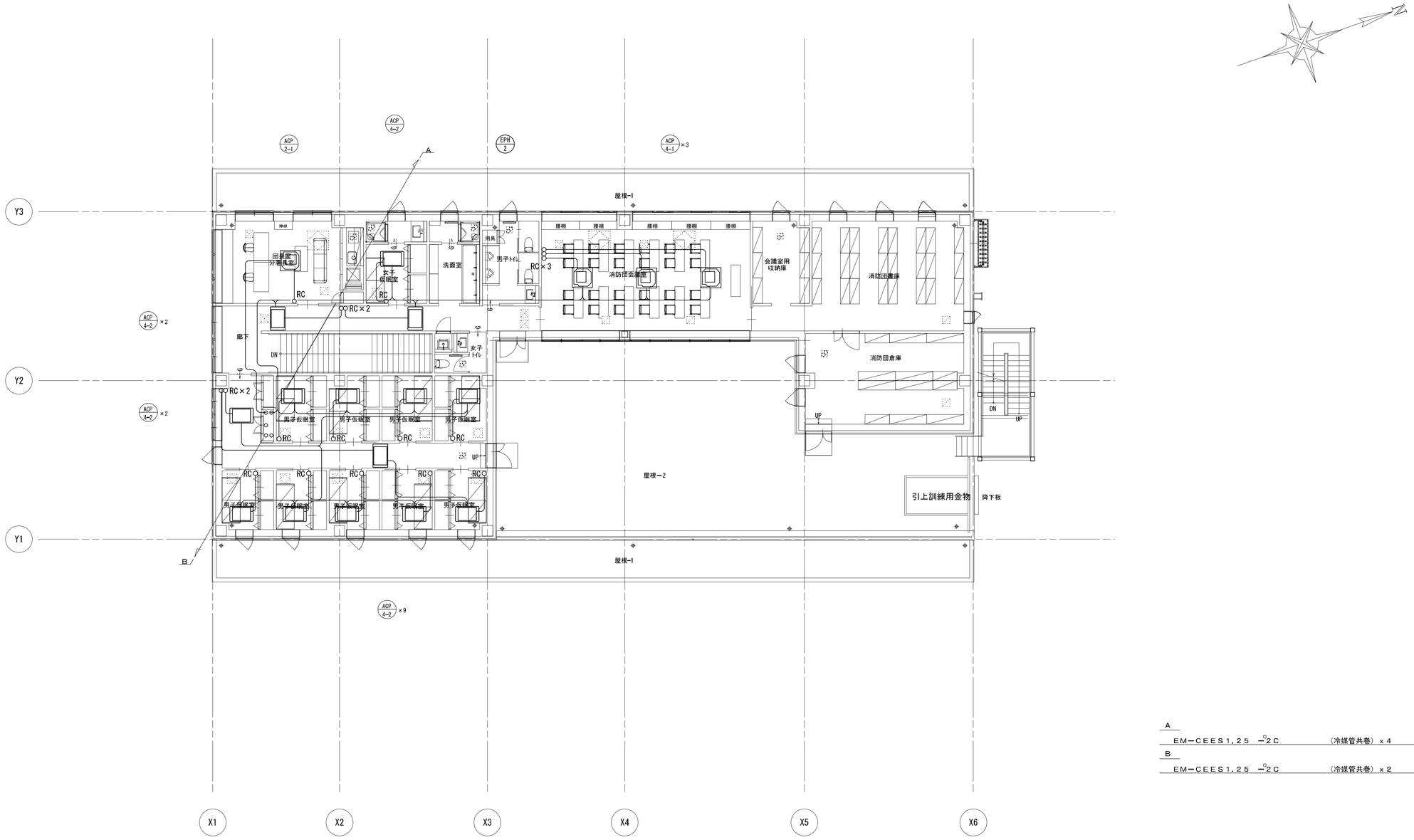
C

ＥＭ－ＣＥＥＳ１．２５□－３Ｃ　（Ｇ３６）　ＥＬＭ

ＥＭ－ＣＥＥ　２□　－２Ｃ　浄化槽盤

1階平面図

DRAWING 自動制御設備　1階平面図		SCALE A1:1/100 A3:1/200
PROJECT 風間浦村消防庁舎等建設工事		DATE 2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. M-30



A

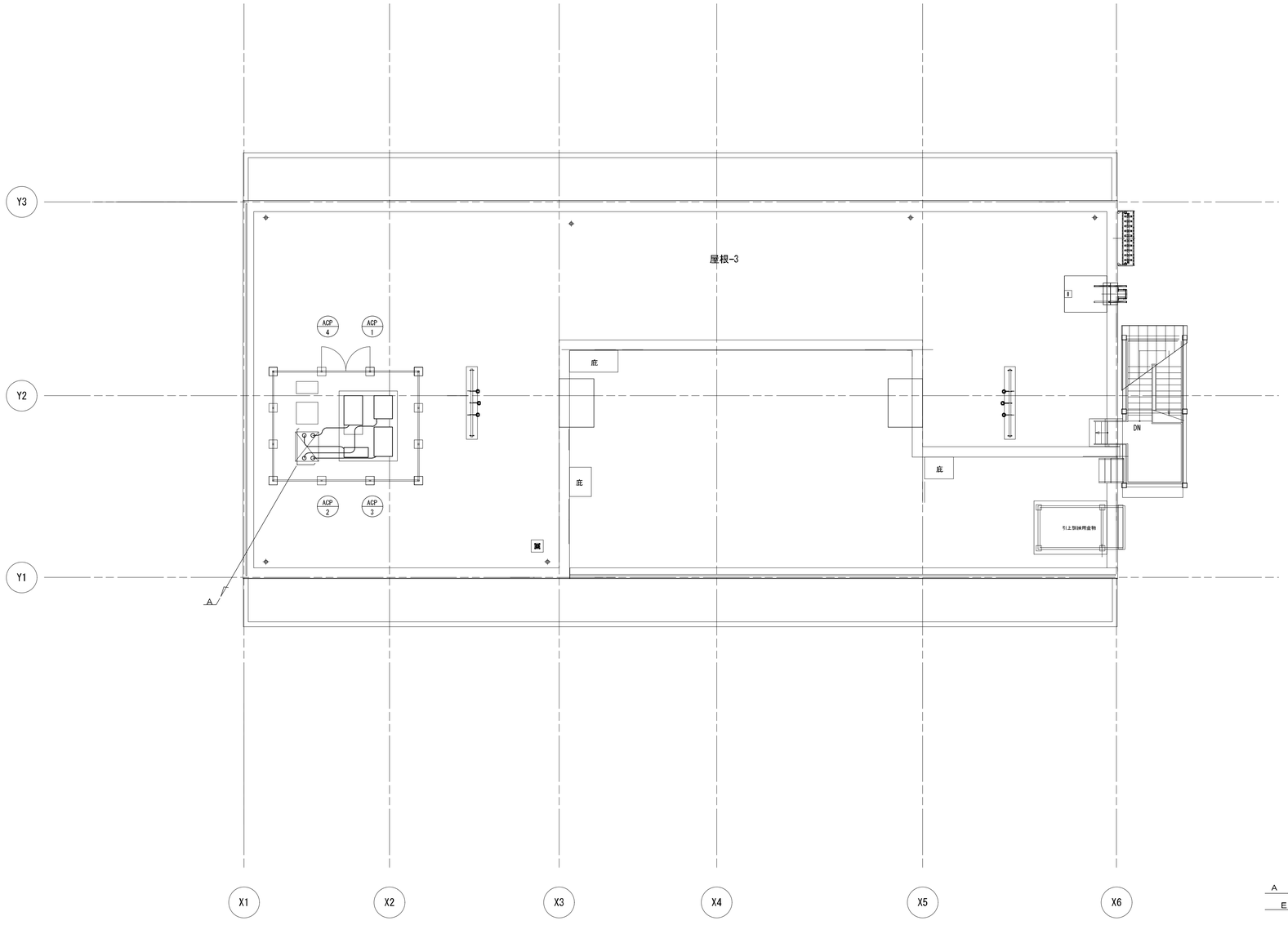
EM−CEES1.25 −□2C （冷媒管共巻）x4 ACP−1〜4

B

EM−CEES1.25 −□2C （冷媒管共巻）x2 ACP−1，3

2階平面図

DRAWING	自動制御設備　2階平面図	SCALE	A1:1/100 A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE	2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No.	M−31

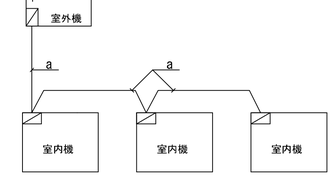


配線凡例

平面図記号	内　　容
———	天井内ケーブル配線
———	露出配管配線
———	埋設配管配線
———	冷媒管共巻
☒ PB1	SUS 200 x 200 x 200

凡例

ヒートポンプエアコン廻り



a

EM－CEES1.25 －□2C　　（冷媒管共巻）x２

A

EM－CEES1.25 －□2C　　（冷媒管共巻）x４　　ACP－1～4

屋根伏図

DRAWING	空調設備　屋根伏せ図	SCALE　A1:1/100　A3:1/200
PROJECT	風間浦村消防庁舎等建設工事	DATE　2024.03
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士　大臣登録　第253491号　山内　剛男		DRAWING No. M-32